

羽曳野市

子どもの生活に関する実態調査

令和6年3月

羽曳野市

調査研究業務 受注者

公立大学法人大阪 大阪公立大学

目次

はじめに	2
I 調査概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査方法	3
3. 調査内容	3
4. 調査対象者	3
5. 調査実施日	3
6. 調査配布・回収率(数)	3
7. 調査実施主体	5
8. 研究者一覧	5
9. 大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い	5
II 調査結果	7
1. 単純集計結果〔小学生・中学生〕	7
2. 単純集計結果〔保護者〕	76
3. クロス集計および分析結果	159
3－1. 基本情報	159
(1) 経済状況	159
(2) 家庭状況（制度等）	177
3－2. 雇用	221
3－3. 健康	229
3－4. 家庭生活、学習	272
3－5. 対人関係	331
III 総合考察	397
1) 大阪府共同調査の意義	397
2) 単純集計	397
3) クロス集計	400
まとめ	405
IV 資料編	413

はじめに

2014年1月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されたことをスタートに、2014年8月「子供の貧困対策に関する大綱」が策定された。これら政府の動きを受けて、大阪市や大阪府内自治体含む大阪府は約10万件にも及ぶ子どもの生活に関する実態調査に共同で取り組んだ。府内すべてを網羅したこと、同じ調査で実施したことの意味は、大きい。なぜなら、各自治体がばらばらに実施し結果を見せても共通の指標にならず、この数値がどうなのか、意味があるのか、よくわからない実態も少なくない。世間でもかなり話題になり、マスコミに多数取り上げられた。この頃には、子どもの貧困が広く知られ社会問題化されつつあったが、この大規模な調査の動きは拍車をかけたのみならず、データ数の多さから、全て実証され、以下に示す政策にも少なからず影響をもたらした。

2019年6月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が5年ぶりに見直され、「子どもの貧困対策の推進に関する法律の一部を改正する法律」が施行された。それを受けて、同年11月「子供の貧困対策に関する大綱～日本の将来を担う子供たちを誰一人取り残すことがない社会に向けて～」が再策定された。大綱では、「支援が届いていない、又は届きにくい子ども・家庭に配慮して対策を推進する」、「困窮層が多様であること」、「社会的孤立に陥ることのないように配慮する」など新たな視点が基本方針として追加され、ヤングケアラーと思われる子どもや、外国籍や障がいを持つ子どもたちなど、具体的な困窮層の子どもや家庭が示された。同時に、2023年4月にこども家庭庁が発足され、貧困をはじめとする子どもを取り巻く社会問題にシームレスに向き合い、途切れない政策・支援を打ち立てていくことが期待されている。

こうして子どもの貧困に関する社会的認知や政策が知られるようになったが、子どもの実態はどう変わったのであろうか。政策の効果は表れたであろうか。そんな思いをもって、大阪府では再度府内自治体とともに子どもの生活に関する実態調査が共同実施されることになった。全国的にここまで一体的に実施する都道府県は存在せず、大阪府が、大阪府内の大半を占める大阪市も含めて牽引した役割は大きい。

子どもの貧困については、前回と同様に、その国の貧困線未満の所得で暮らす相対的貧困の17歳以下の子どもの存在および生活状況を指す相対的貧困率でとらえる。OECDや厚生労働省調査の貧困率には等価可処分所得の中央値の50%が使用されているが、絶対的なものではなく、EU、ユニセフは公式の貧困基準のひとつに中央値の60%を使用（ただし、常に60%基準採用ではない）している。前回同様、60%のラインも含め検討している。子どもの相対的貧困率については、発表主体、統計利用データ年次によって変動する。内容的には、タウンゼンドの定義を元にChild Poverty Action Group (CPAG) が示している、① 所得や資産など経済的資本 (capital) の欠如、②健康や教育など人的資本 (human capital) の欠如、③つながりやネットワークなど社会関係資本 (social capital) の欠如、の3つの資本の欠如を基本的な枠組みとしてとらえる。

I 調査概要

1. 調査の目的

羽曳野市では、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策計画（令和7年から5か年）の策定を検討している。そのため本調査では、子どもの生活実態、学習環境や保護者を含めた支援ニーズ等を把握し、効果的な子どもの貧困対策に資することを目的としている。

2. 調査方法

羽曳野市内の小・中学校を通じて調査票を配付し、郵送回収を得たもの。

3. 調査内容

巻末の調査票参照

4. 調査対象者

小学校5年生・その保護者（833世帯） 中学校2年生・その保護者（814世帯）

5. 調査実施日

羽曳野市：令和5年7月10日～令和5年7月31日

（大阪府内全自治体：令和5年6月27日～令和5年9月30日）

6. 調査配布・回収率(数)

表1. 調査票の回収状況

		回収率(%)	回収数	配布数
羽曳野市	小学5年生	26.8	223	833
	小学5年生の保護者	25.9	216	833
	中学2年生	25.4	207	814
	中学2年生の保護者	24.1	196	814
	小学5年生・中学2年生合計	26.1	430	1,647
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	25.0	412	1,647
	計	25.6	842	3,294
大阪府全自治体	小学5年生	56.2	23,289	41,458
	小学5年生の保護者	55.0	22,819	41,458
	中学2年生	51.4	19,990	38,911
	中学2年生の保護者	49.8	19,390	38,911
	小学5年生・中学2年生合計	54.0	43,370	80,369
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	53.9	43,358	80,369
	計	54.0	86,728	160,738

※大阪府内全自治体の小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども：91件、保護者：1,149件）

※大阪府内全自治体の小学5年生、小学5年生保護者、中学2年生、中学2年生保護者、小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。

※「計」は、「小学5年生・中学2年生合計」と「小学5年生保護者・中学2年生保護者合計」の合計となっている。

大阪府内全自治体回収状況配布・回収方法別

		回収率(%)	回収数	配布数
学校配布・学校回収	小学5年生	61.6	15,927	25,852
	小学5年生の保護者	62.6	16,178	25,852
	中学2年生	58.3	13,712	23,539
	中学2年生の保護者	58.2	13,707	23,539
	小学5年生・中学2年生合計	60.1	29,674	49,391
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	60.7	29,977	49,391
	計	60.4	59,651	98,782
学校配布・郵送回収	小学5年生	22.6	1,401	6,191
	小学5年生の保護者	22.2	1,376	6,191
	中学2年生	15.3	936	6,099
	中学2年生の保護者	15.5	943	6,099
	小学5年生・中学2年生合計	19.2	2,362	12,290
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.2	2,361	12,290
	計	19.2	4,723	24,580
郵送配布・郵送回収	小学5年生	21.3	2,003	9,415
	小学5年生の保護者	21.0	1,978	9,415
	中学2年生	17.8	1,646	9,273
	中学2年生の保護者	17.8	1,653	9,273
	小学5年生・中学2年生合計	19.7	3,676	18,688
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.7	3,675	18,688
	計	19.7	7,351	37,376
学校配布・WEB回答	小学5年生	23.0	3,007	13,068
	小学5年生の保護者	17.0	2,228	13,068
	中学2年生	21.3	2,714	12,718
	中学2年生の保護者	16.0	2,037	12,718
	小学5年生・中学2年生合計	22.2	5,723	25,786
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.2	4,949	25,786
	計	20.7	10,672	51,572
郵送配布・WEB回答	小学5年生	10.1	951	9,415
	小学5年生の保護者	11.2	1,059	9,415
	中学2年生	10.6	982	9,273
	中学2年生の保護者	11.3	1,050	9,273
	小学5年生・中学2年生合計	10.4	1,935	18,688
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	12.8	2,396	18,688
	計	11.6	4,331	37,376

※各配布・回収方法の小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども：91件、保護者：1,149件）

※大阪府内全自治体の小学5年生、小学5年生保護者、中学2年生、中学2年生保護者、小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。

※「計」は、「小学5年生・中学2年生合計」と「小学5年生保護者・中学2年生保護者合計」の合計となっている。

なお、未就学児童の保護者を対象とした調査も大阪府内の3自治体において実施した。さらに1自治体では、小5・中2以外の学年の児童とその保護者を対象とした調査も実施した。これらの合計配布数は、19,513件、回収数は14,626件、回収率は75.0%であった。

7. 調査実施主体

羽曳野市

調査研究業務受託者

公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

8. 研究者一覧

担当者	公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授 山野 則子（業務責任者） 特任講師 橋本 麿和 シニア研究員 永田 麻衣 佐伯 厘咲 李 孟
協力者	公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 准教授 嵯峨 嘉子
研究補助者	公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 経済学研究科 准教授 牛 冰 武庫川女子大学 社会情報学部 社会情報学科 助教 駒田 安紀 大阪商業大学 公共学部 公共学科 助教 林 萍萍 奈良佐保短期大学 地域こども学科 講師 河村 信子 公立大学法人大阪 大阪公立大学 研究員 黄 健育 渡邊 陽亮 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 専攻社会福祉学分野 林 慎吾 松浦 孝範 久地井 寿哉 渡邊 祐作

9. 大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い

本報告書においては、羽曳野市と大阪府内全自治体をそれぞれ掲載している。羽曳野市のデータについては既に「Ⅰ 調査概要 2～8」で述べた方法で収集したものである。大阪府内全自治体については、大阪府25市町村のデータに共同実施18市町のデータを統合したものである。これら全自治体においては、小学生・中学生27問、保護者26問をそれぞれ共通設問として調査項目を設計し、全体を統合して扱うあるいは比較することが可能なものとした。なお、一部の市においては、これらの共通設問とは別途把握したい内容がある場合に限り、追加で独自設問を設けている。

調査の結果、府と他共同実施18市町との間で回収率や回収数に差が生じた。府では、予めサンプリングした対象8000件への配布を行いその約30%の回収となったのに対し、他共同実施市ではほとんどの市が全数配布の結果、高いところでは70%に近い回収率となっている。このため、自治体間で回収率あるいはサンプルサイズの補正を行うか否かについて検討し、補正は行わないとの結論に達した。

1点目の理由としては、今回の調査では調査票配布の方法に郵送配布と学校配布の2種類があり、いずれを用いるかは自治体の状況に基づいて決定された。配布方法が異なることで回収率に差が生じることは避けられないものであった。

2点目の理由としては、このような状況に対して、例えば回収率の高かった自治体についてデータの再サンプリングなどの方法を用いて削減を行うことも意見が出された。しかし、その場合、どのような基準で選択するのかが恣意的になってしまうこと、削減後の結果を提示した

場合、施策を提言するための貴重な調査結果であるにもかかわらずその一部が掬い取られないことになり、全数調査をした市においては意義が失われてしまう。

このような理由から、大阪府内全自治体のデータは回収したデータをすべて統合したものとなっている。

本報告書では、「羽曳野市」、「大阪府内全自治体」両者のグラフを掲載しているため、このように書き分けて論じていく。

なお、報告書においてはパーセンテージを用いて記述し、議論を進める。この中で、パーセンテージで示される数値同士の加・減・除を行う（合計する・差を把握する・何倍かに着目する）ことがあるが、実際に示された数値で算出しても結果が異なることがある。これは、示されている数値は小数第二位以下を四捨五入しているものであり、算出には四捨五入前の厳密な数値を用いていることによるものである。

Ⅱ 調査結果

1. 単純集計結果〔小学生・中学生〕

羽曳野市

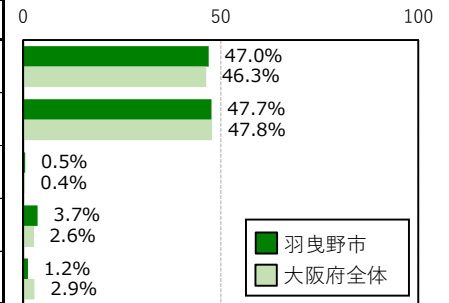
回答者の属性

問27 性別

全体は、「女子」が47.7%で最も多く、次いで「男子」が47.0%となっている。
小学生は、「女子」が48.4%で最も多く、次いで「男子」が46.6%となっている。
中学生は、「男子」が47.8%で最も多く、次いで「女子」が46.4%となっている。

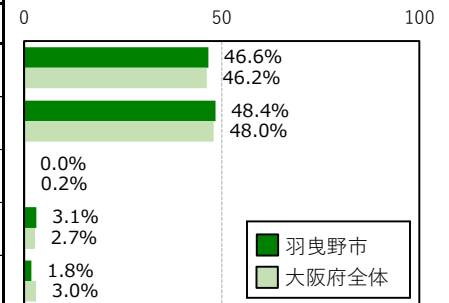
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
男子	203名	47.0%	20,086名	46.3%
女子	206名	47.7%	20,729名	47.8%
その他	2名	0.5%	169名	0.4%
答えたくない	16名	3.7%	1,134名	2.6%
無回答	5名	1.2%	1,252名	2.9%



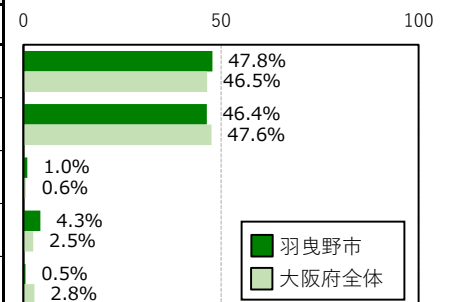
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
男子	104名	46.6%	10,752名	46.2%
女子	108名	48.4%	11,171名	48.0%
その他	-	-	42名	0.2%
答えたくない	7名	3.1%	636名	2.7%
無回答	4名	1.8%	688名	3.0%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
男子	99名	47.8%	9,295名	46.5%
女子	96名	46.4%	9,516名	47.6%
その他	2名	1.0%	127名	0.6%
答えたくない	9名	4.3%	493名	2.5%
無回答	1名	0.5%	559名	2.8%



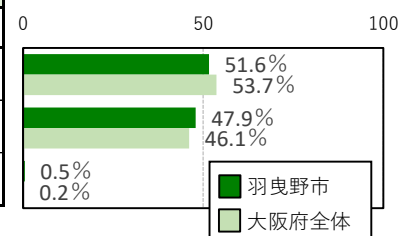
回答者の属性

問1 学年

回答者の学年は、「小学生」が223名・51.6%、「中学生」が207名・47.9%となっている。

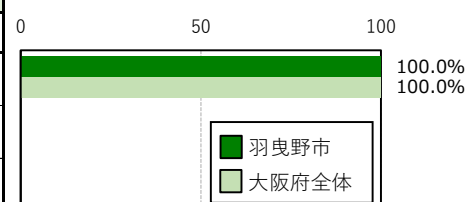
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
小学生	223名	51.6%	23,289名	53.7%
中学生	207名	47.9%	19,990名	46.1%
無回答	2名	0.5%	91名	0.2%



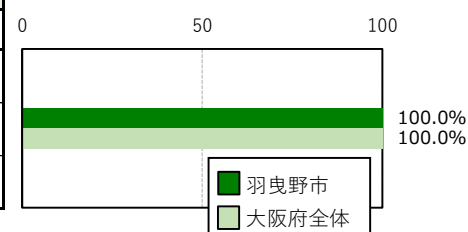
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
小学生	223名	100.0%	23,289名	100.0%
中学生	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
小学生	-	-	-	-
中学生	207名	100.0%	19,990名	100.0%
無回答	-	-	-	-



ふだんの生活のことについて

問2 起床時間の規則性

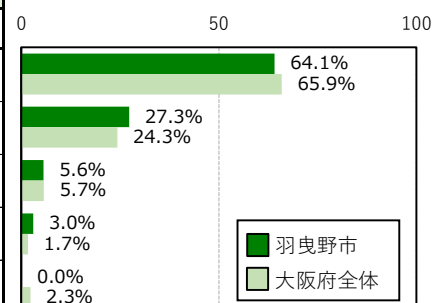
全体は、「起きている」が64.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が27.3%、「あまり、起きていない」が5.6%となっている。

小学生は、「起きている」が64.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が28.3%、「あまり、起きていない」が5.8%となっている。

中学生は、「起きている」が63.8%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が26.6%、「あまり、起きていない」が5.3%となっている。

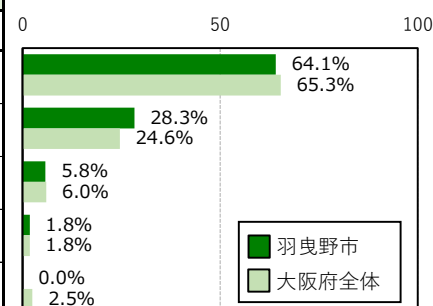
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
起きている	277名	64.1%	28,594名	65.9%
どちらかといえば、起きている	118名	27.3%	10,539名	24.3%
あまり、起きていない	24名	5.6%	2,478名	5.7%
起きていない	13名	3.0%	741名	1.7%
無回答	-	-	1,018名	2.3%



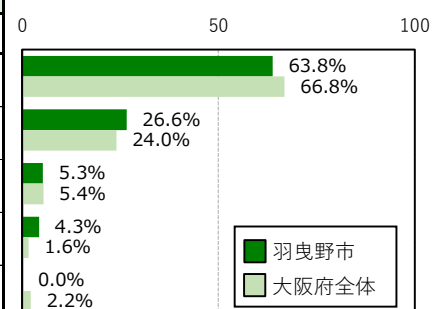
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
起きている	143名	64.1%	15,198名	65.3%
どちらかといえば、起きている	63名	28.3%	5,722名	24.6%
あまり、起きていない	13名	5.8%	1,386名	6.0%
起きていない	4名	1.8%	410名	1.8%
無回答	-	-	573名	2.5%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
起きている	132名	63.8%	13,344名	66.8%
どちらかといえば、起きている	55名	26.6%	4,791名	24.0%
あまり、起きていない	11名	5.3%	1,088名	5.4%
起きていない	9名	4.3%	328名	1.6%
無回答	-	-	439名	2.2%



ふだんの生活のことについて

問3 就寝時間

全体は、「午後10時台」が30.8%で最も多く、次いで「午後9時台」と「午後11時台」がそれぞれ22.7%、「午前0時台」が11.1%、「きまっていない」が7.2%となっている。

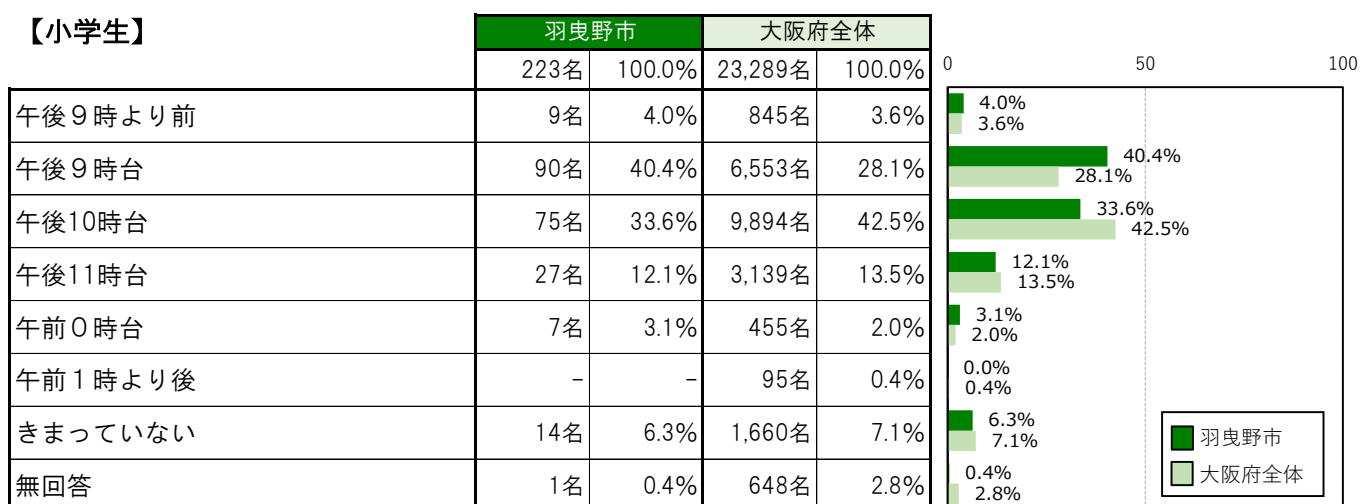
小学生は、「午後9時台」が40.4%で最も多く、次いで「午後10時台」が33.6%、「午後11時台」が12.1%、「きまっていない」が6.3%となっている。

中学生は、「午後11時台」が34.3%で最も多く、次いで「午後10時台」が27.5%、「午前0時台」が19.3%、「きまっていない」が8.2%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問4（1）朝食の頻度

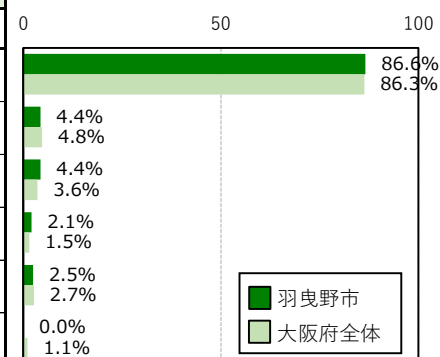
全体は、「毎日またはほとんど毎日」が86.6%で最も多く、次いで「週に4～5回」と「週に2～3回」がそれぞれ4.4%、「食べない」が2.5%となっている。

小学生は、「毎日またはほとんど毎日」が91.0%で最も多く、次いで「週に2～3回」が4.5%、「週に4～5回」が2.7%、「週に1回程度」が1.3%となっている。

中学生は、「毎日またはほとんど毎日」が81.6%で最も多く、次いで「週に4～5回」が6.3%、「食べない」が4.8%、「週に2～3回」が4.3%となっている。

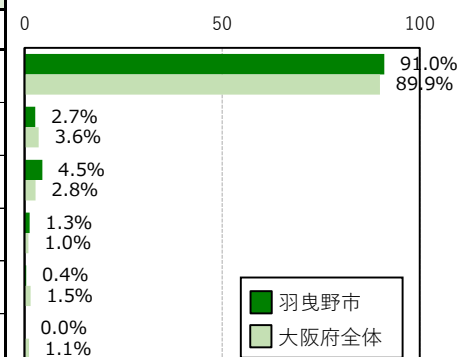
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	432名	100.0%	43,370名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	374名	86.6%	37,447名	86.3%
週に4～5回	19名	4.4%	2,062名	4.8%
週に2～3回	19名	4.4%	1,564名	3.6%
週に1回程度	9名	2.1%	649名	1.5%
食べない	11名	2.5%	1,180名	2.7%
無回答	-	-	468名	1.1%



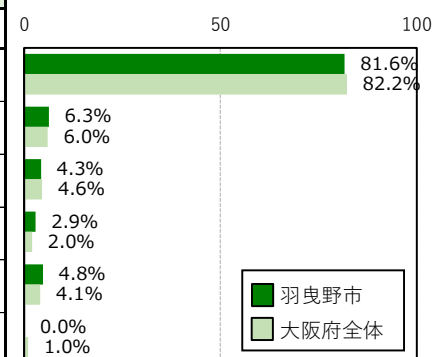
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	223名	100.0%	23,289名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	203名	91.0%	20,939名	89.9%
週に4～5回	6名	2.7%	849名	3.6%
週に2～3回	10名	4.5%	647名	2.8%
週に1回程度	3名	1.3%	241名	1.0%
食べない	1名	0.4%	359名	1.5%
無回答	-	-	254名	1.1%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	207名	100.0%	19,990名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	169名	81.6%	16,433名	82.2%
週に4～5回	13名	6.3%	1,207名	6.0%
週に2～3回	9名	4.3%	913名	4.6%
週に1回程度	6名	2.9%	408名	2.0%
食べない	10名	4.8%	820名	4.1%
無回答	-	-	209名	1.0%



ふだんの生活のことについて

問4（2）朝食を食べない理由

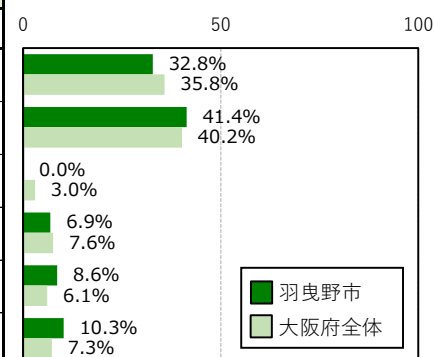
全体は、「おなかがすいていない」が41.4%で最も多く、次いで「時間がない」が32.8%、「食べる習慣がない」が6.9%となっている。

小学生は、「おなかがすいていない」が40.0%（8名）で最も多く、次いで「時間がない」が25.0%（5名）となっている。

中学生は、「おなかがすいていない」が42.1%で最も多く、次いで「時間がない」が36.8%、「食べる習慣がない」が10.5%となっている。

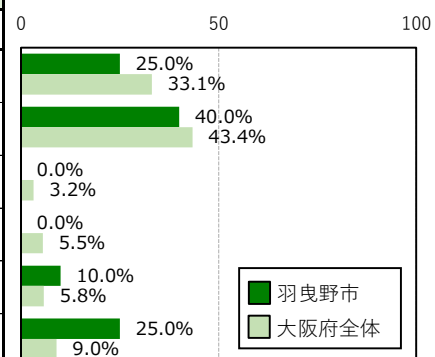
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	58名	100.0%	5,455名	100.0%
時間がない	19名	32.8%	1,954名	35.8%
おなかがすいていない	24名	41.4%	2,194名	40.2%
用意されていない	-	-	162名	3.0%
食べる習慣がない	4名	6.9%	414名	7.6%
わからない	5名	8.6%	334名	6.1%
無回答	6名	10.3%	397名	7.3%



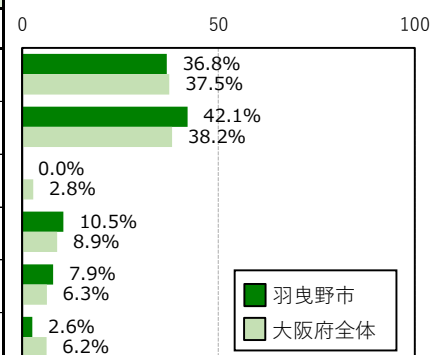
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	20名	100.0%	2,096名	100.0%
時間がない	5名	25.0%	694名	33.1%
おなかがすいていない	8名	40.0%	909名	43.4%
用意されていない	-	-	68名	3.2%
食べる習慣がない	-	-	116名	5.5%
わからない	2名	10.0%	121名	5.8%
無回答	5名	25.0%	188名	9.0%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	38名	100.0%	3,348名	100.0%
時間がない	14名	36.8%	1,257名	37.5%
おなかがすいていない	16名	42.1%	1,280名	38.2%
用意されていない	-	-	94名	2.8%
食べる習慣がない	4名	10.5%	298名	8.9%
わからない	3名	7.9%	212名	6.3%
無回答	1名	2.6%	207名	6.2%



ふだんの生活のことについて

問5（1）夕食の頻度

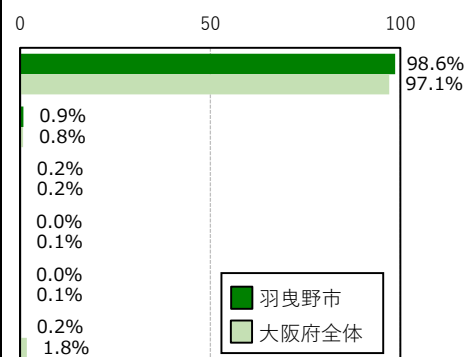
全体は、「毎日またはほとんど毎日」が98.6%で最も多く、次いで「週に4～5回」が0.9%となっている。

小学生は、「毎日またはほとんど毎日」が98.7%で最も多く、次いで「週に4～5回」が1.3%となっている。

中学生は、「毎日またはほとんど毎日」が98.6%で最も多く、次いで「週に4～5回」と「週に2～3回」がそれぞれ0.5%となっている。

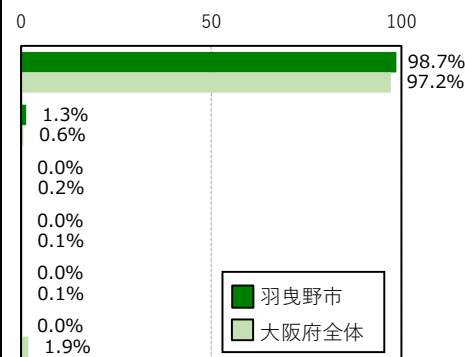
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	432名	100.0%	43,370名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	426名	98.6%	42,110名	97.1%
週に4～5回	4名	0.9%	327名	0.8%
週に2～3回	1名	0.2%	100名	0.2%
週に1回程度	-	-	31名	0.1%
食べない	-	-	32名	0.1%
無回答	1名	0.2%	770名	1.8%



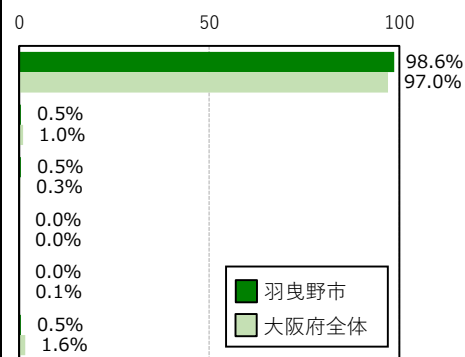
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	223名	100.0%	23,289名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	220名	98.7%	22,637名	97.2%
週に4～5回	3名	1.3%	132名	0.6%
週に2～3回	-	-	39名	0.2%
週に1回程度	-	-	23名	0.1%
食べない	-	-	16名	0.1%
無回答	-	-	442名	1.9%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	207名	100.0%	19,990名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	204名	98.6%	19,393名	97.0%
週に4～5回	1名	0.5%	195名	1.0%
週に2～3回	1名	0.5%	60名	0.3%
週に1回程度	-	-	8名	0.0%
食べない	-	-	16名	0.1%
無回答	1名	0.5%	318名	1.6%



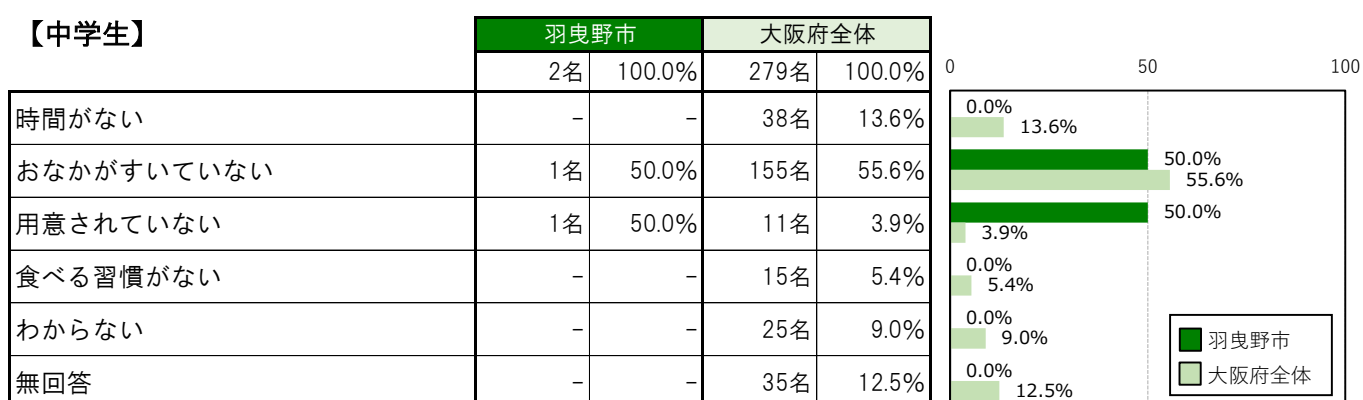
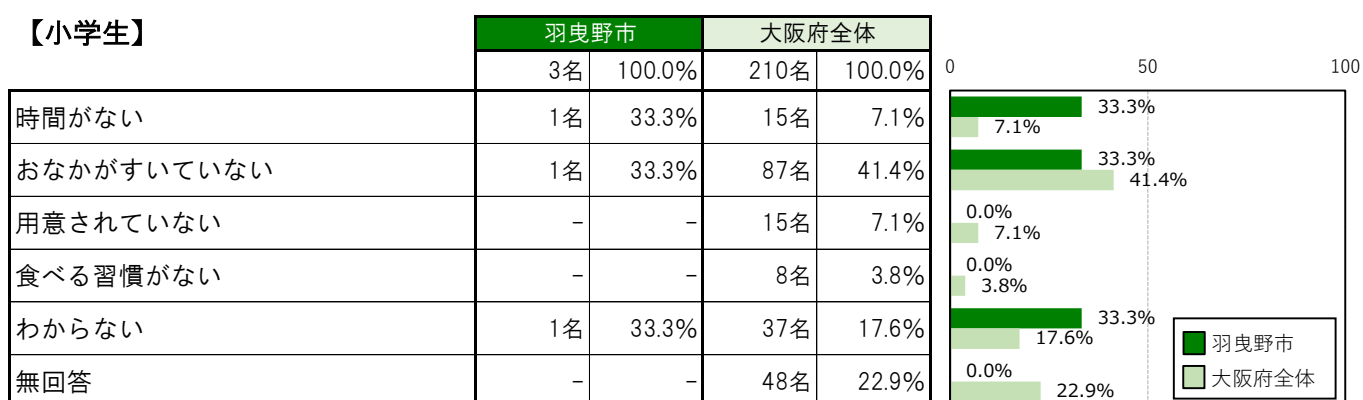
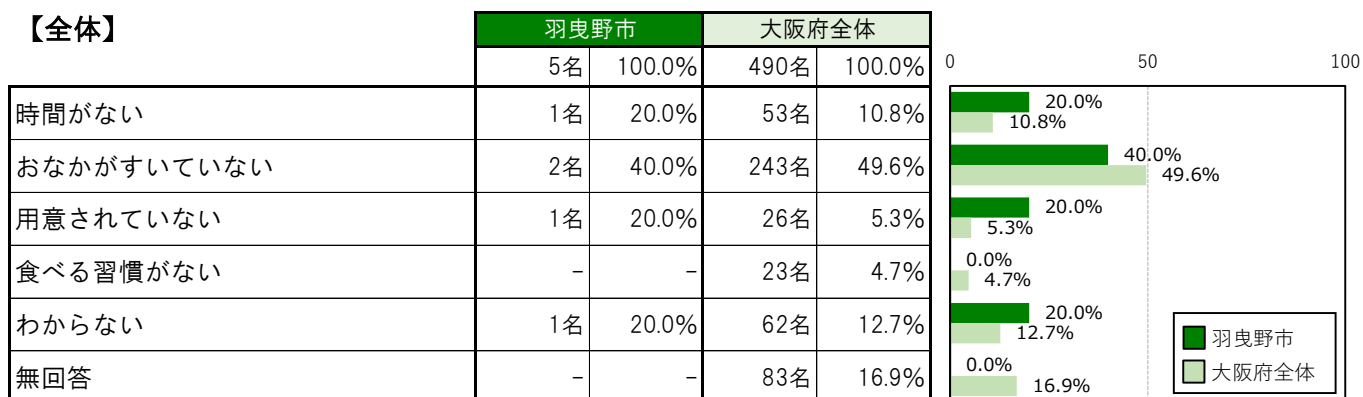
ふだんの生活のことについて

問5（2）夕食を食べない理由

全体は、「おなかがすいていない」が40.0%（2名）で最も多く、次いで「時間がない」と「用意されていない」がそれぞれ20.0%（1名）となっている。

小学生は、「時間がない」と「おなかがすいていない」がそれぞれ33.3%（1名）と最も多くなっている。

中学生は、「おなかがすいていない」と「用意されていない」がそれぞれ50.0%（1名）となっている。



ふだんの生活のことについて

問6（１）休日の昼食の頻度

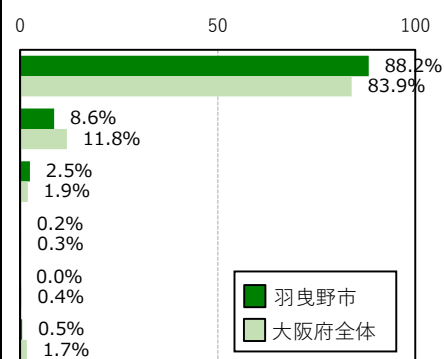
全体は、「必ず食べる」が88.2%で最も多く、次いで「食べることが多い」が8.6%、「食べないことが多い」が2.5%となっている。

小学生は、「必ず食べる」が90.6%で最も多く、次いで「食べることが多い」が8.1%、「食べないことが多い」が1.3%となっている。

中学生は、「必ず食べる」が85.5%で最も多く、次いで「食べることが多い」が9.2%、「食べないことが多い」が3.9%となっている。

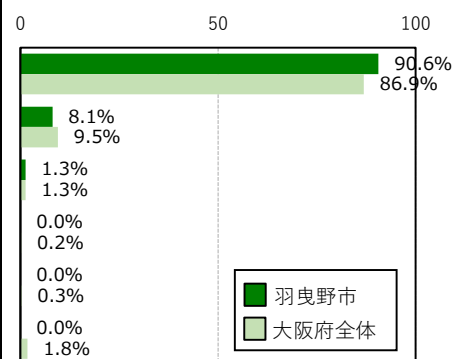
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
必ず食べる	381名	88.2%	36,388名	83.9%
食べるが多い	37名	8.6%	5,118名	11.8%
食べないことが多い	11名	2.5%	830名	1.9%
食べない	1名	0.2%	117名	0.3%
わからない	-	-	180名	0.4%
無回答	2名	0.5%	737名	1.7%



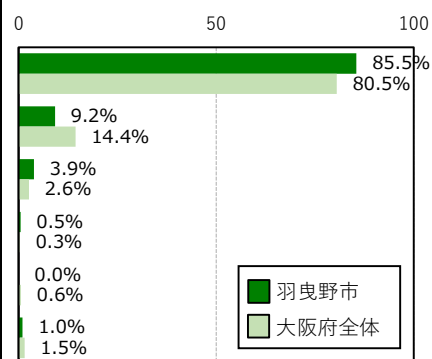
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
必ず食べる	202名	90.6%	20,227名	86.9%
食べるが多い	18名	8.1%	2,221名	9.5%
食べないことが多い	3名	1.3%	306名	1.3%
食べない	-	-	51名	0.2%
わからない	-	-	62名	0.3%
無回答	-	-	422名	1.8%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
必ず食べる	177名	85.5%	16,090名	80.5%
食べるが多い	19名	9.2%	2,886名	14.4%
食べないことが多い	8名	3.9%	524名	2.6%
食べない	1名	0.5%	66名	0.3%
わからない	-	-	117名	0.6%
無回答	2名	1.0%	307名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問6（2）休日に昼食を食べない理由

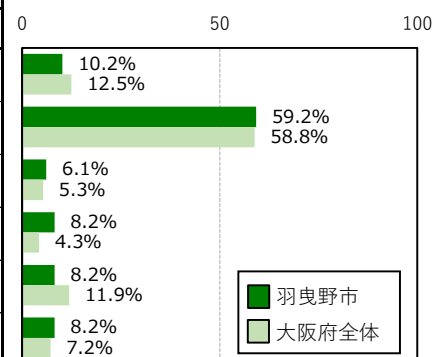
全体は、「おなかがすいていない」が59.2%で最も多く、次いで「時間がない」が10.2%、「食べる習慣がない」が8.2%となっている。

小学生は、「おなかがすいていない」が57.1%（12名）で最も多く、次いで「時間がない」が9.5%（2名）、「用意されていない」と「食べる習慣がない」がそれぞれ4.8%（1名）となっている。

中学生は、「おなかがすいていない」が60.7%（17名）で最も多く、次いで「時間がない」と「食べる習慣がない」がそれぞれ10.7%（3名）、「用意されていない」が7.1%（2名）となっている。

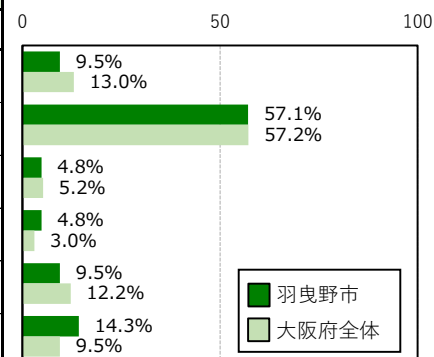
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	49名	100.0%	6,245名	100.0%
時間がない	5名	10.2%	783名	12.5%
おなかがすいていない	29名	59.2%	3,674名	58.8%
用意されていない	3名	6.1%	328名	5.3%
食べる習慣がない	4名	8.2%	266名	4.3%
わからない	4名	8.2%	744名	11.9%
無回答	4名	8.2%	450名	7.2%



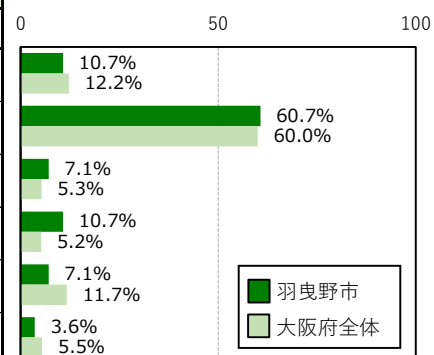
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	21名	100.0%	2,640名	100.0%
時間がない	2名	9.5%	343名	13.0%
おなかがすいていない	12名	57.1%	1,510名	57.2%
用意されていない	1名	4.8%	136名	5.2%
食べる習慣がない	1名	4.8%	78名	3.0%
わからない	2名	9.5%	321名	12.2%
無回答	3名	14.3%	252名	9.5%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	28名	100.0%	3,593名	100.0%
時間がない	3名	10.7%	438名	12.2%
おなかがすいていない	17名	60.7%	2,156名	60.0%
用意されていない	2名	7.1%	192名	5.3%
食べる習慣がない	3名	10.7%	188名	5.2%
わからない	2名	7.1%	422名	11.7%
無回答	1名	3.6%	197名	5.5%



ふだんの生活のことについて

問7 学校への遅刻

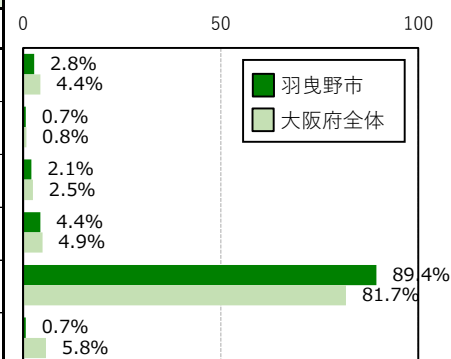
全体は、「遅刻はしない」が89.4%で最も多く、次いで「週に1回程度」が4.4%、「毎日またはほとんど毎日」が2.8%、「週に2～3回」が2.1%となっている。

小学生は、「遅刻はしない」が89.7%で最も多く、次いで「週に1回程度」が4.9%、「毎日またはほとんど毎日」と「週に2～3回」がそれぞれ2.2%となっている。

中学生は、「遅刻はしない」が88.9%で最も多く、次いで「週に1回程度」が3.9%、「毎日またはほとんど毎日」が3.4%、「週に2～3回」が1.9%となっている。

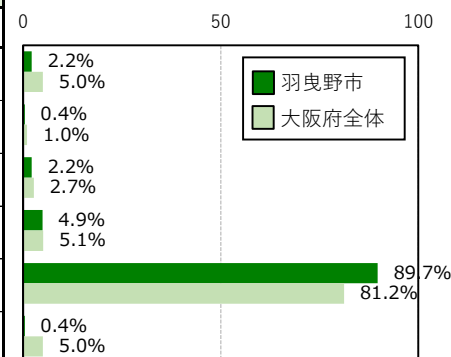
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	432名	100.0%	43,370名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	12名	2.8%	1,906名	4.4%
週に4～5回	3名	0.7%	333名	0.8%
週に2～3回	9名	2.1%	1,063名	2.5%
週に1回程度	19名	4.4%	2,132名	4.9%
遅刻はしない	386名	89.4%	35,435名	81.7%
無回答	3名	0.7%	2,501名	5.8%



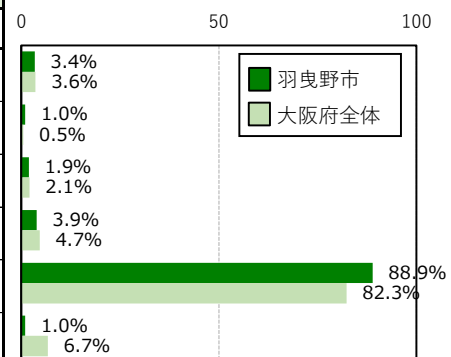
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	223名	100.0%	23,289名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	5名	2.2%	1,168名	5.0%
週に4～5回	1名	0.4%	223名	1.0%
週に2～3回	5名	2.2%	639名	2.7%
週に1回程度	11名	4.9%	1,194名	5.1%
遅刻はしない	200名	89.7%	18,907名	81.2%
無回答	1名	0.4%	1,158名	5.0%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	207名	100.0%	19,990名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	7名	3.4%	729名	3.6%
週に4～5回	2名	1.0%	109名	0.5%
週に2～3回	4名	1.9%	423名	2.1%
週に1回程度	8名	3.9%	935名	4.7%
遅刻はしない	184名	88.9%	16,459名	82.3%
無回答	2名	1.0%	1,335名	6.7%



ふだんの生活のことについて

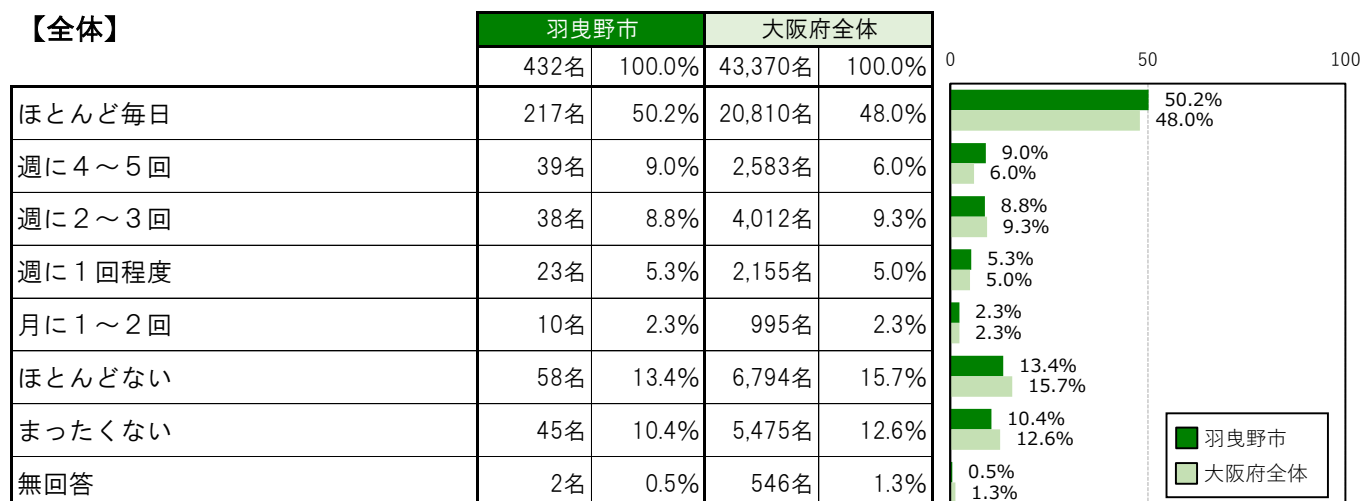
問8 保護者との関係性 ①おうちの大人のひとと一緒に朝食を食べているか

全体は、「ほとんど毎日」が50.2%で最も多く、次いで「ほとんどない」が13.4%、「まったくない」が10.4%、「週に4～5回」が9.0%となっている。

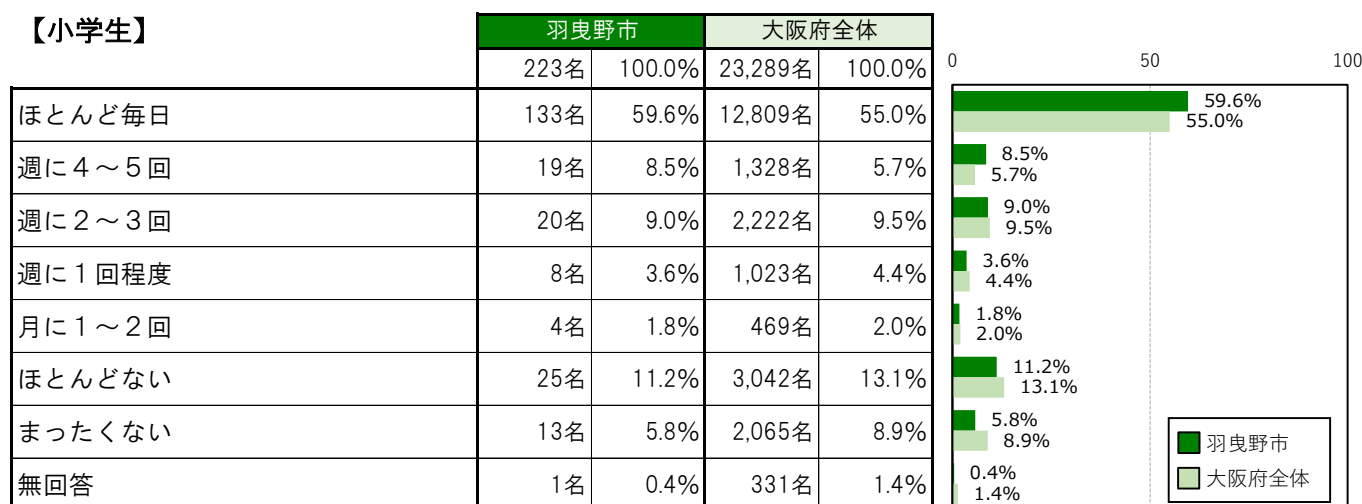
小学生は、「ほとんど毎日」が59.6%で最も多く、次いで「ほとんどない」が11.2%、「週に2～3回」が9.0%、「週に4～5回」が8.5%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が40.1%で最も多く、次いで「ほとんどない」が15.9%、「まったくない」が15.5%、「週に4～5回」が9.7%となっている。

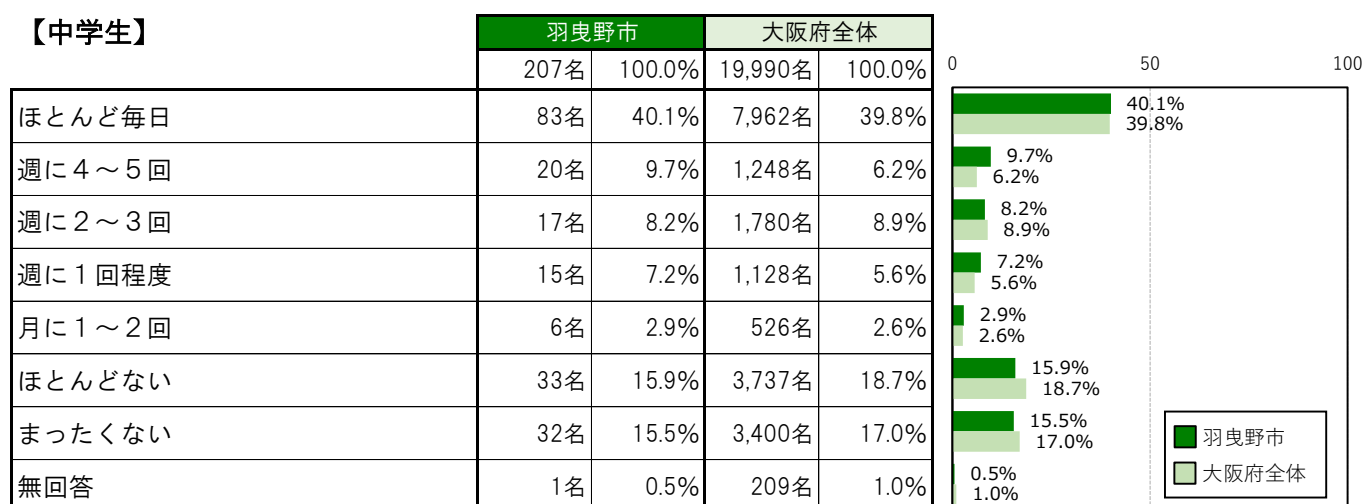
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ②おうちの大人のひとと一緒に夕食を食べているか

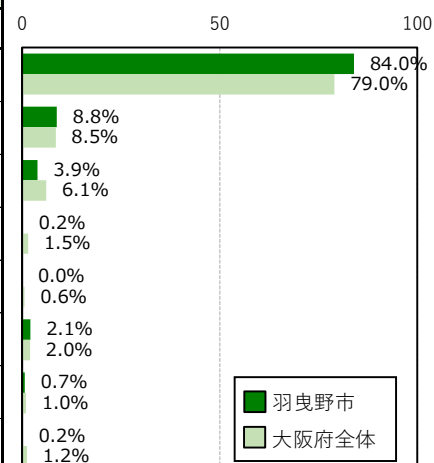
全体は、「ほとんど毎日」が84.0%で最も多く、次いで「週に4～5回」が8.8%、「週に2～3回」が3.9%、「ほとんどない」が2.1%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が88.3%で最も多く、次いで「週に4～5回」が4.9%、「週に2～3回」が4.5%、「ほとんどない」が1.8%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が79.2%で最も多く、次いで「週に4～5回」が13.0%、「週に2～3回」が3.4%、「ほとんどない」が2.4%となっている。

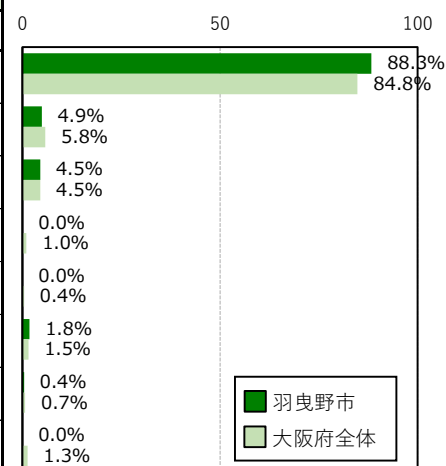
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	432名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	363名	84.0%	34,246名	79.0%
週に4～5回	38名	8.8%	3,679名	8.5%
週に2～3回	17名	3.9%	2,667名	6.1%
週に1回程度	1名	0.2%	656名	1.5%
月に1～2回	-	-	262名	0.6%
ほとんどない	9名	2.1%	889名	2.0%
まったくない	3名	0.7%	455名	1.0%
無回答	1名	0.2%	516名	1.2%



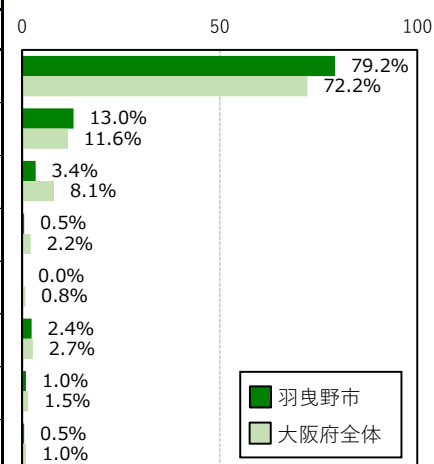
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	223名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	197名	88.3%	19,748名	84.8%
週に4～5回	11名	4.9%	1,360名	5.8%
週に2～3回	10名	4.5%	1,048名	4.5%
週に1回程度	-	-	222名	1.0%
月に1～2回	-	-	100名	0.4%
ほとんどない	4名	1.8%	349名	1.5%
まったくない	1名	0.4%	154名	0.7%
無回答	-	-	308名	1.3%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	207名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	164名	79.2%	14,429名	72.2%
週に4～5回	27名	13.0%	2,310名	11.6%
週に2～3回	7名	3.4%	1,616名	8.1%
週に1回程度	1名	0.5%	431名	2.2%
月に1～2回	-	-	162名	0.8%
ほとんどない	5名	2.4%	539名	2.7%
まったくない	2名	1.0%	301名	1.5%
無回答	1名	0.5%	202名	1.0%



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ③おうちの大人の人に朝、起こしてもらうか

全体は、「ほとんど毎日」が43.8%で最も多く、次いで「ほとんどない」が15.5%、「週に4～5回」が13.2%、「まったくない」が10.4%となっている。

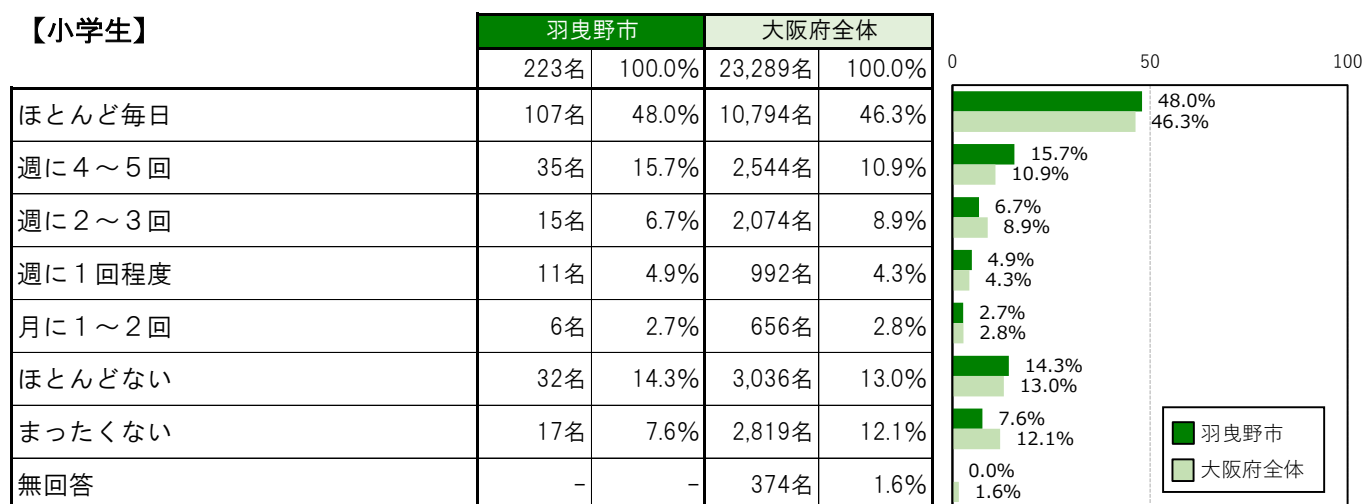
小学生は、「ほとんど毎日」が48.0%で最も多く、次いで「週に4～5回」が15.7%、「ほとんどない」が14.3%、「まったくない」が7.6%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が39.1%で最も多く、次いで「ほとんどない」が16.4%、「まったくない」が13.5%、「週に4～5回」が10.6%となっている。

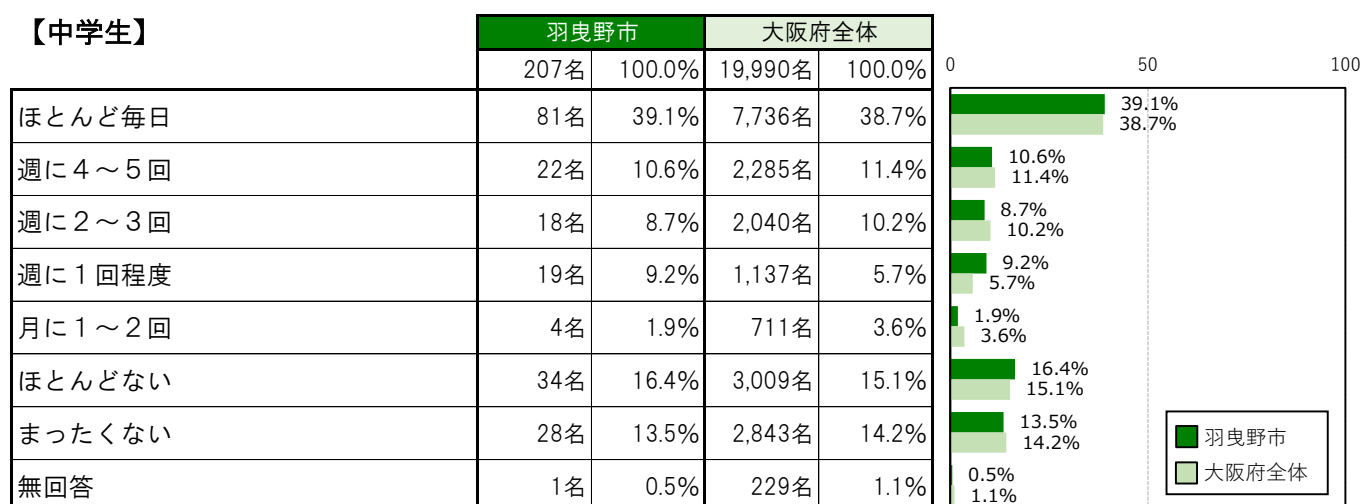
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ④おうちの手伝いをしているか

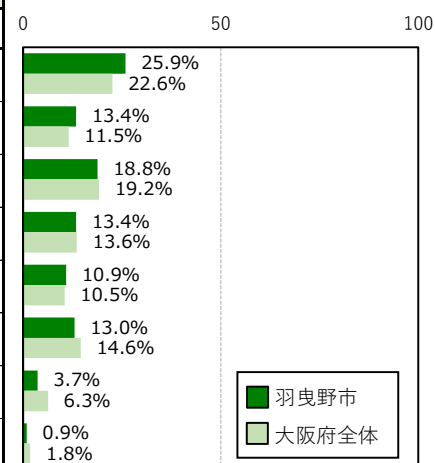
全体は、「ほとんど毎日」が25.9%で最も多く、次いで「週に2～3回」が18.8%、「週に4～5回」、「週に1回程度」がそれぞれ13.4%、「ほとんどない」が13.0%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が28.7%で最も多く、次いで「週に2～3回」が17.5%、「週に4～5回」が15.2%、「週に1回程度」が14.8%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が23.2%で最も多く、次いで「週に2～3回」が19.8%、「ほとんどない」が15.5%、「月に1～2回」が12.6%となっている。

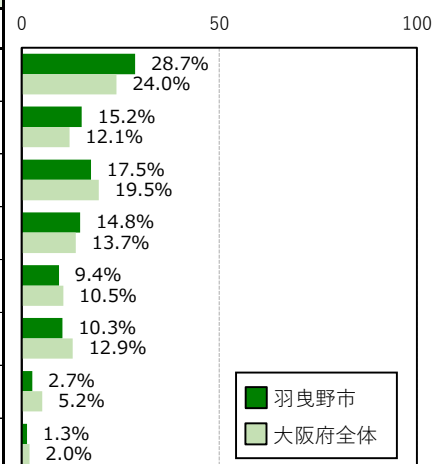
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	432名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	112名	25.9%	9,795名	22.6%
週に4～5回	58名	13.4%	5,006名	11.5%
週に2～3回	81名	18.8%	8,307名	19.2%
週に1回程度	58名	13.4%	5,879名	13.6%
月に1～2回	47名	10.9%	4,561名	10.5%
ほとんどない	56名	13.0%	6,329名	14.6%
まったくない	16名	3.7%	2,722名	6.3%
無回答	4名	0.9%	771名	1.8%



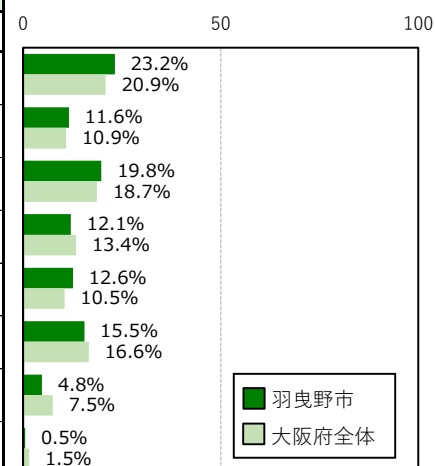
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	223名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	64名	28.7%	5,601名	24.0%
週に4～5回	34名	15.2%	2,812名	12.1%
週に2～3回	39名	17.5%	4,552名	19.5%
週に1回程度	33名	14.8%	3,186名	13.7%
月に1～2回	21名	9.4%	2,448名	10.5%
ほとんどない	23名	10.3%	3,000名	12.9%
まったくない	6名	2.7%	1,219名	5.2%
無回答	3名	1.3%	471名	2.0%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	207名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	48名	23.2%	4,171名	20.9%
週に4～5回	24名	11.6%	2,187名	10.9%
週に2～3回	41名	19.8%	3,741名	18.7%
週に1回程度	25名	12.1%	2,684名	13.4%
月に1～2回	26名	12.6%	2,103名	10.5%
ほとんどない	32名	15.5%	3,319名	16.6%
まったくない	10名	4.8%	1,494名	7.5%
無回答	1名	0.5%	291名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑤おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

全体は、「ほとんどない」が29.6%で最も多く、次いで「まったくない」が22.0%、「ほとんど毎日」が14.8%、「週に2～3回」が10.0%となっている。

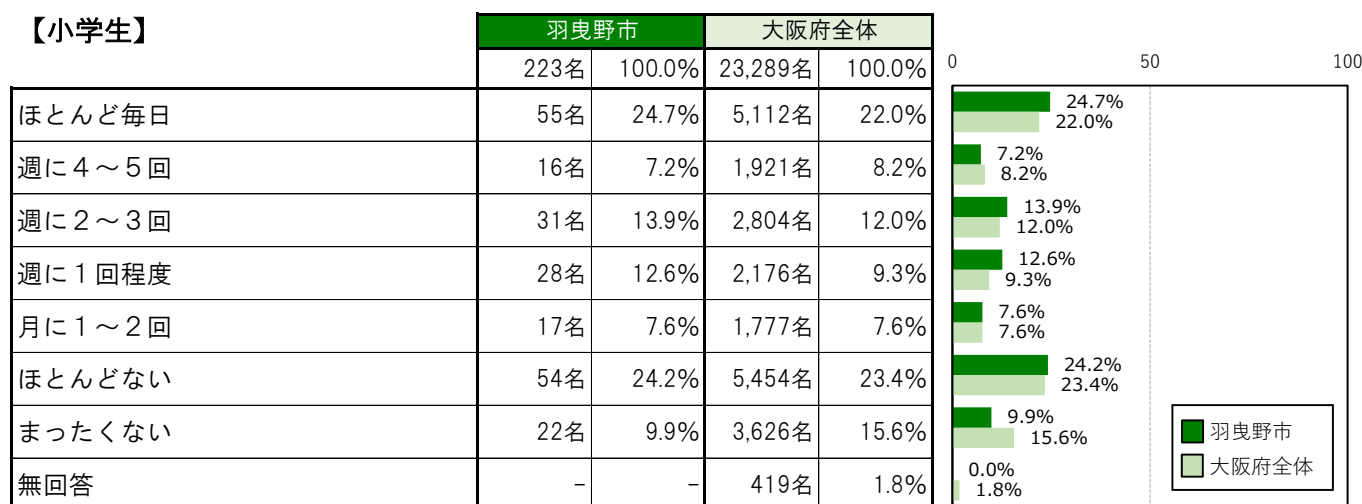
小学生は、「ほとんど毎日」が24.7%で最も多く、次いで「ほとんどない」が24.2%、「週に2～3回」が13.9%、「週に1回程度」が12.6%となっている。

中学生は、「ほとんどない」が35.3%で最も多く、次いで「まったくない」が34.8%、「月に1～2回」が10.1%、「週に2～3回」が5.8%となっている。

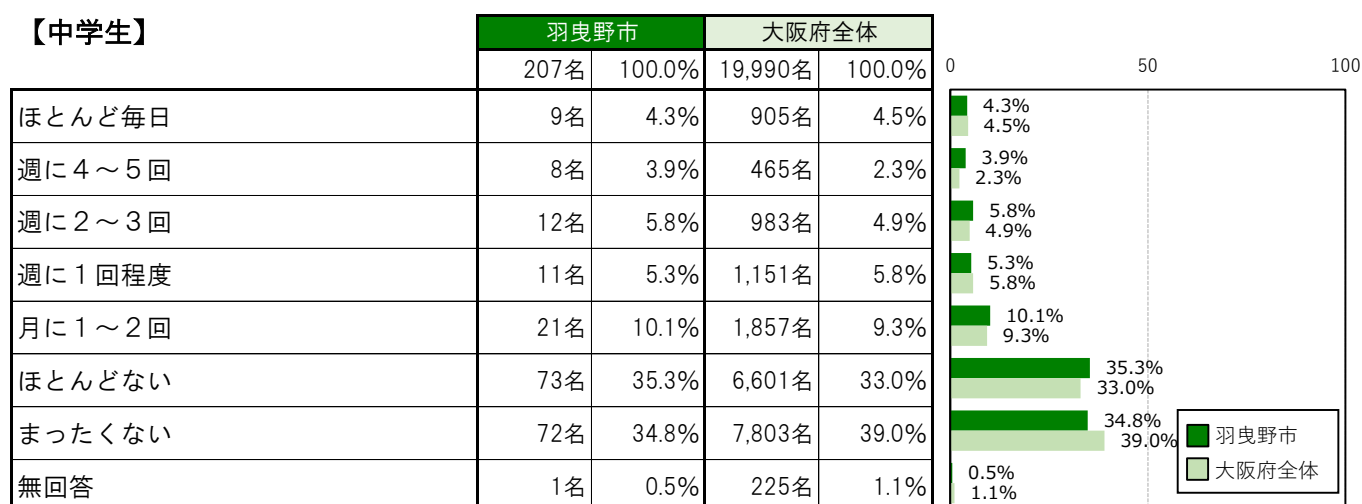
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑥おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すか

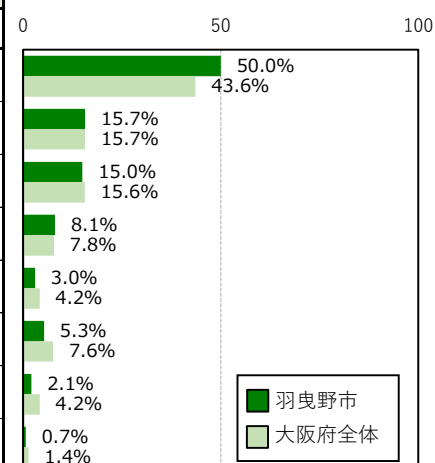
全体は、「ほとんど毎日」が50.0%で最も多く、次いで「週に4～5回」が15.7%、「週に2～3回」が15.0%、「週に1回程度」が8.1%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が54.7%で最も多く、次いで「週に4～5回」が17.0%、「週に2～3回」が14.3%、「週に1回程度」が5.4%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が44.4%で最も多く、次いで「週に2～3回」が15.9%、「週に4～5回」が14.5%、「週に1回程度」が11.1%となっている。

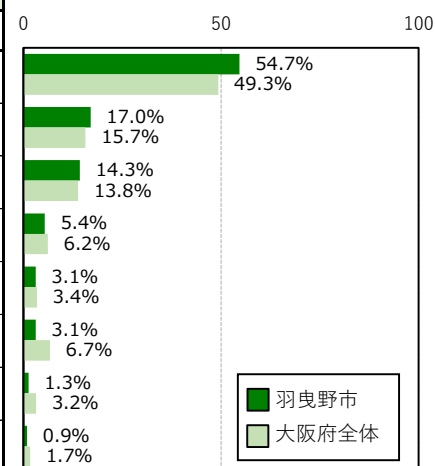
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	432名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	216名	50.0%	18,891名	43.6%
週に4～5回	68名	15.7%	6,809名	15.7%
週に2～3回	65名	15.0%	6,773名	15.6%
週に1回程度	35名	8.1%	3,386名	7.8%
月に1～2回	13名	3.0%	1,801名	4.2%
ほとんどない	23名	5.3%	3,283名	7.6%
まったくない	9名	2.1%	1,802名	4.2%
無回答	3名	0.7%	625名	1.4%



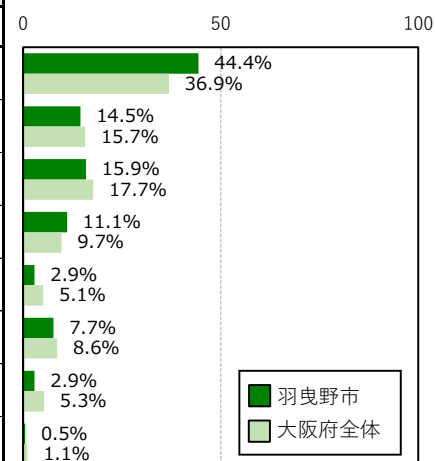
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	223名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	122名	54.7%	11,483名	49.3%
週に4～5回	38名	17.0%	3,660名	15.7%
週に2～3回	32名	14.3%	3,225名	13.8%
週に1回程度	12名	5.4%	1,447名	6.2%
月に1～2回	7名	3.1%	783名	3.4%
ほとんどない	7名	3.1%	1,558名	6.7%
まったくない	3名	1.3%	739名	3.2%
無回答	2名	0.9%	394名	1.7%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	207名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	92名	44.4%	7,374名	36.9%
週に4～5回	30名	14.5%	3,138名	15.7%
週に2～3回	33名	15.9%	3,533名	17.7%
週に1回程度	23名	11.1%	1,933名	9.7%
月に1～2回	6名	2.9%	1,015名	5.1%
ほとんどない	16名	7.7%	1,716名	8.6%
まったくない	6名	2.9%	1,056名	5.3%
無回答	1名	0.5%	225名	1.1%



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑦おうちの大人のひとと遊んだり、体を動かしたりするか

全体は、「ほとんどない」が21.5%で最も多く、次いで「週に2～3回」が18.8%、「週に1回程度」が16.7%、「月に1～2回」が14.8%となっている。

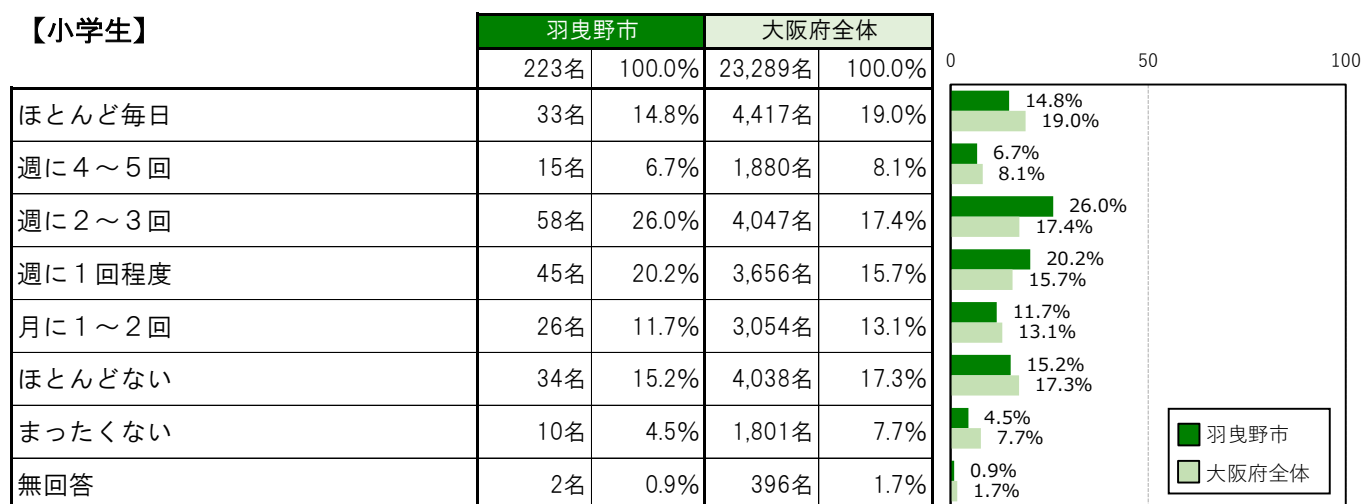
小学生は、「週に2～3回」が26.0%で最も多く、次いで「週に1回程度」が20.2%、「ほとんどない」が15.2%、「ほとんど毎日」が14.8%となっている。

中学生は、「ほとんどない」が28.5%で最も多く、次いで「月に1～2回」と「まったくない」がそれぞれ18.4%、「週に1回程度」が13.0%となっている。

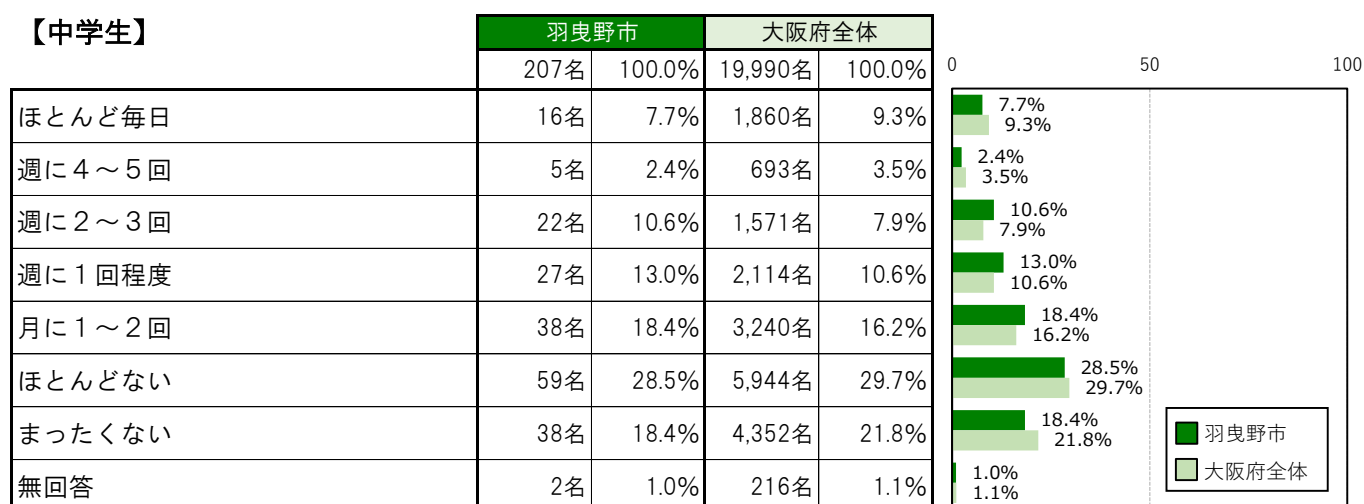
【全体】



【小学生】



【中学生】



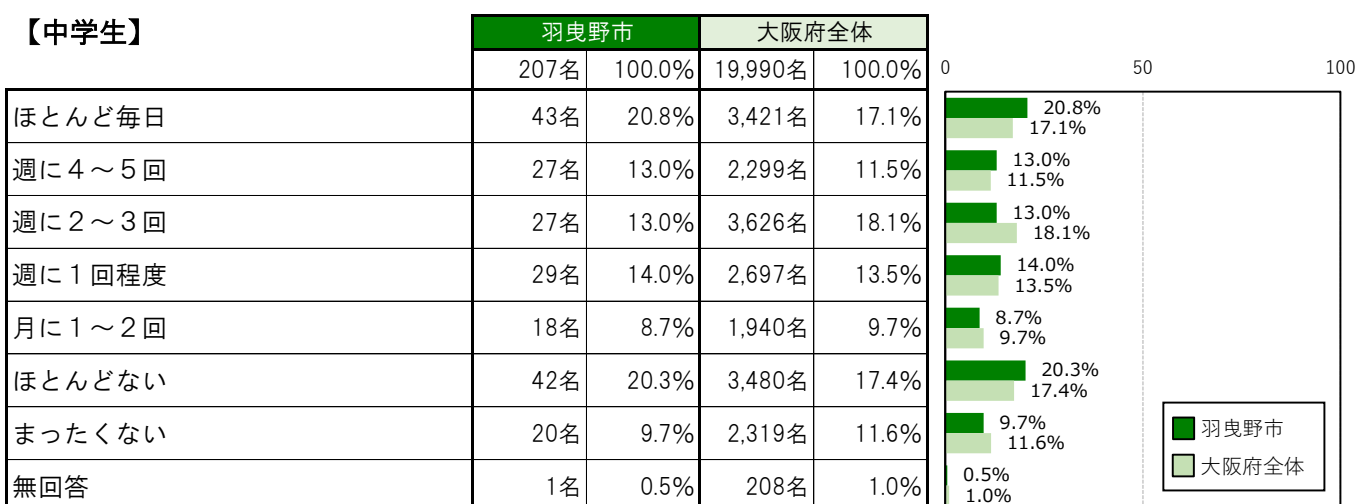
ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑧おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話すか

全体は、「ほとんど毎日」が20.6%で最も多く、次いで「ほとんどない」が18.5%、「週に2～3回」が16.2%、「週に1回程度」が15.3%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が20.2%で最も多く、次いで「週に2～3回」が19.3%、「ほとんどない」が17.0%、「週に1回程度」が16.6%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が20.8%で最も多く、次いで「ほとんどない」が20.3%、「週に1回程度」が14.0%、「週に4～5回」と「週に2～3回」がそれぞれ13.0%となっている。



ふだんの生活のことについて

問 8 保護者との関係性 ⑨おうちの大人のひとと文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をするか

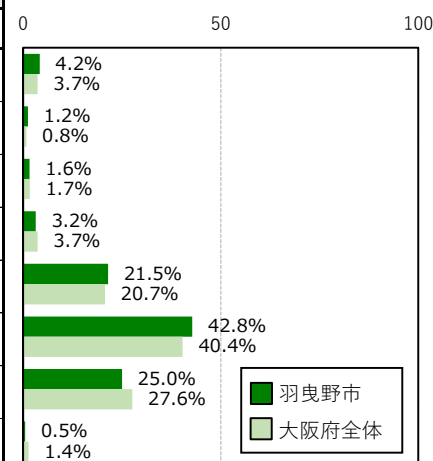
全体は、「ほとんどない」が42.8%で最も多く、次いで「まったくない」が25.0%、「月に1～2回」が21.5%、「ほとんど毎日」が4.2%となっている。

小学生は、「ほとんどない」が44.4%で最も多く、次いで「月に1～2回」が22.4%、「まったくない」が18.8%、「ほとんど毎日」が5.8%となっている。

中学生は、「ほとんどない」が41.5%で最も多く、次いで「まったくない」が31.9%、「月に1～2回」が19.8%、「ほとんど毎日」が2.4%となっている。

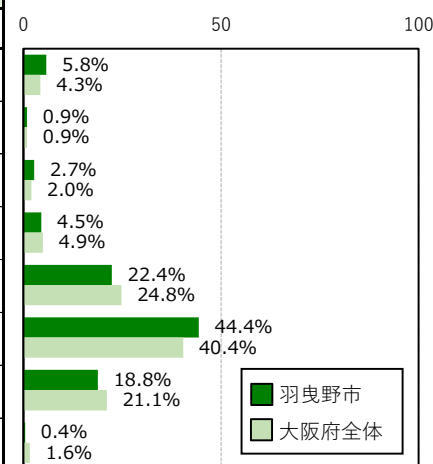
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	432名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	18名	4.2%	1,596名	3.7%
週に4～5回	5名	1.2%	344名	0.8%
週に2～3回	7名	1.6%	730名	1.7%
週に1回程度	14名	3.2%	1,609名	3.7%
月に1～2回	93名	21.5%	8,999名	20.7%
ほとんどない	185名	42.8%	17,538名	40.4%
まったくない	108名	25.0%	11,956名	27.6%
無回答	2名	0.5%	598名	1.4%



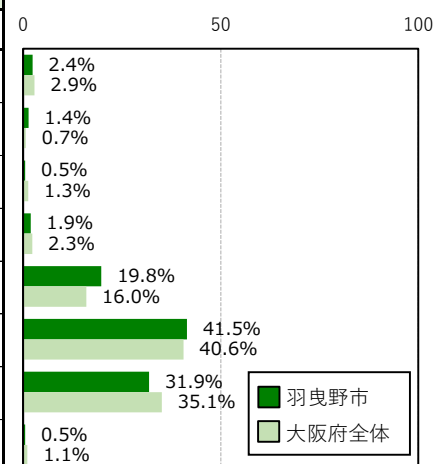
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	223名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	13名	5.8%	1,008名	4.3%
週に4～5回	2名	0.9%	204名	0.9%
週に2～3回	6名	2.7%	471名	2.0%
週に1回程度	10名	4.5%	1,140名	4.9%
月に1～2回	50名	22.4%	5,780名	24.8%
ほとんどない	99名	44.4%	9,401名	40.4%
まったくない	42名	18.8%	4,910名	21.1%
無回答	1名	0.4%	375名	1.6%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	207名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	5名	2.4%	583名	2.9%
週に4～5回	3名	1.4%	140名	0.7%
週に2～3回	1名	0.5%	257名	1.3%
週に1回程度	4名	1.9%	466名	2.3%
月に1～2回	41名	19.8%	3,195名	16.0%
ほとんどない	86名	41.5%	8,112名	40.6%
まったくない	66名	31.9%	7,020名	35.1%
無回答	1名	0.5%	217名	1.1%



ふだんの生活のことについて

問 8 保護者との関係性 ⑩おうちの大人の人と一緒に外出するか（散歩する・買い物に出かける・外食をするなど）

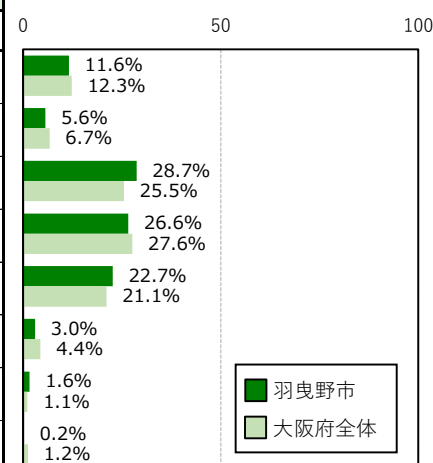
全体は、「週に2～3回」が28.7%で最も多く、次いで「週に1回程度」が26.6%、「月に1～2回」が22.7%、「ほとんど毎日」が11.6%となっている。

小学生は、「週に2～3回」が36.3%で最も多く、次いで「週に1回程度」が29.1%、「ほとんど毎日」が15.2%、「月に1～2回」が11.2%となっている。

中学生は、「月に1～2回」が35.3%で最も多く、次いで「週に1回程度」が23.2%、「週に2～3回」が20.8%、「ほとんど毎日」が7.7%となっている。

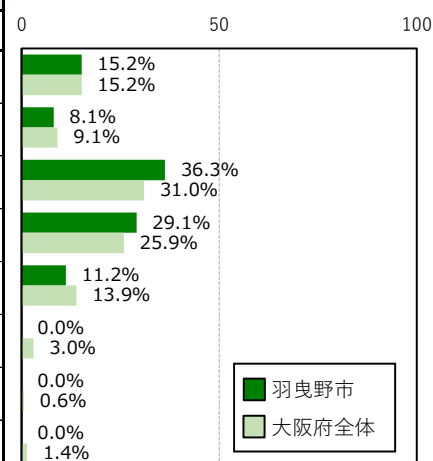
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	432名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	50名	11.6%	5,338名	12.3%
週に4～5回	24名	5.6%	2,912名	6.7%
週に2～3回	124名	28.7%	11,055名	25.5%
週に1回程度	115名	26.6%	11,977名	27.6%
月に1～2回	98名	22.7%	9,161名	21.1%
ほとんどない	13名	3.0%	1,915名	4.4%
まったくない	7名	1.6%	483名	1.1%
無回答	1名	0.2%	529名	1.2%



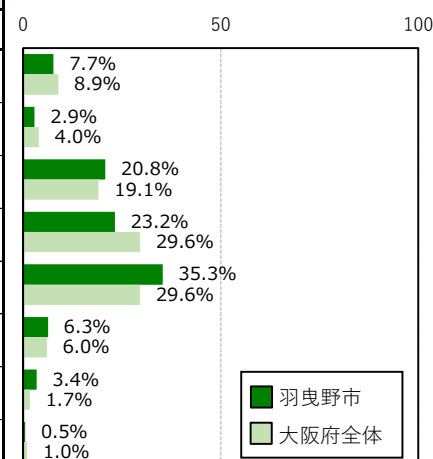
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	223名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	34名	15.2%	3,536名	15.2%
週に4～5回	18名	8.1%	2,109名	9.1%
週に2～3回	81名	36.3%	7,210名	31.0%
週に1回程度	65名	29.1%	6,032名	25.9%
月に1～2回	25名	11.2%	3,234名	13.9%
ほとんどない	-	-	705名	3.0%
まったくない	-	-	142名	0.6%
無回答	-	-	321名	1.4%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	207名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	16名	7.7%	1,787名	8.9%
週に4～5回	6名	2.9%	798名	4.0%
週に2～3回	43名	20.8%	3,820名	19.1%
週に1回程度	48名	23.2%	5,925名	29.6%
月に1～2回	73名	35.3%	5,911名	29.6%
ほとんどない	13名	6.3%	1,207名	6.0%
まったくない	7名	3.4%	340名	1.7%
無回答	1名	0.5%	202名	1.0%



ふだんの生活のことについて

問9 毎日の生活で楽しいこと

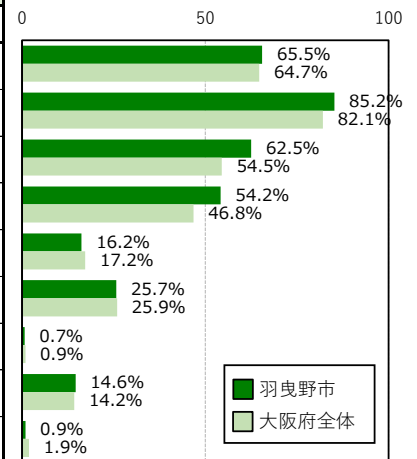
全体は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が85.2%で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が65.5%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が62.5%、「ひとりで過ごしているとき」が54.2%となっている。

小学生は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が87.0%で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が75.8%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が61.0%、「ひとりで過ごしているとき」が44.4%となっている。

中学生は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が83.1%で最も多く、次いで「ひとりで過ごしているとき」が64.3%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が63.8%、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が54.1%となっている。

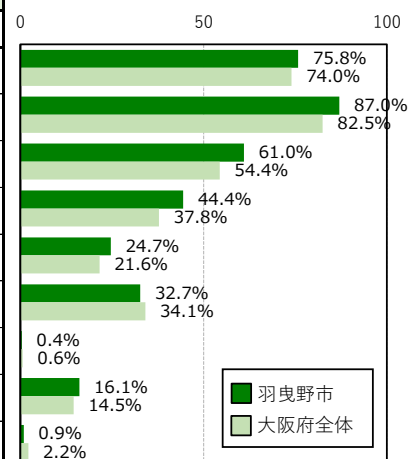
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	432名	100.0%	43,370名	100.0%
おうちの人と一緒に過ごしているとき	283名	65.5%	28,070名	64.7%
ともだちと一緒に過ごしているとき	368名	85.2%	35,599名	82.1%
学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	270名	62.5%	23,630名	54.5%
ひとりで過ごしているとき	234名	54.2%	20,290名	46.8%
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	70名	16.2%	7,469名	17.2%
塾や習いごとで過ごしているとき	111名	25.7%	11,215名	25.9%
特に楽しいと思うときはない	3名	0.7%	407名	0.9%
その他	63名	14.6%	6,162名	14.2%
無回答	4名	0.9%	829名	1.9%



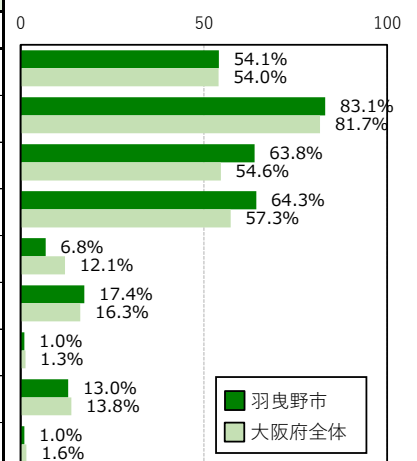
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	223名	100.0%	23,289名	100.0%
おうちの人と一緒に過ごしているとき	169名	75.8%	17,231名	74.0%
ともだちと一緒に過ごしているとき	194名	87.0%	19,212名	82.5%
学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	136名	61.0%	12,660名	54.4%
ひとりで過ごしているとき	99名	44.4%	8,805名	37.8%
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	55名	24.7%	5,032名	21.6%
塾や習いごとで過ごしているとき	73名	32.7%	7,944名	34.1%
特に楽しいと思うときはない	1名	0.4%	143名	0.6%
その他	36名	16.1%	3,380名	14.5%
無回答	2名	0.9%	501名	2.2%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	207名	100.0%	19,990名	100.0%
おうちの人と一緒に過ごしているとき	112名	54.1%	10,789名	54.0%
ともだちと一緒に過ごしているとき	172名	83.1%	16,324名	81.7%
学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	132名	63.8%	10,924名	54.6%
ひとりで過ごしているとき	133名	64.3%	11,451名	57.3%
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	14名	6.8%	2,426名	12.1%
塾や習いごとで過ごしているとき	36名	17.4%	3,256名	16.3%
特に楽しいと思うときはない	2名	1.0%	264名	1.3%
その他	27名	13.0%	2,768名	13.8%
無回答	2名	1.0%	319名	1.6%



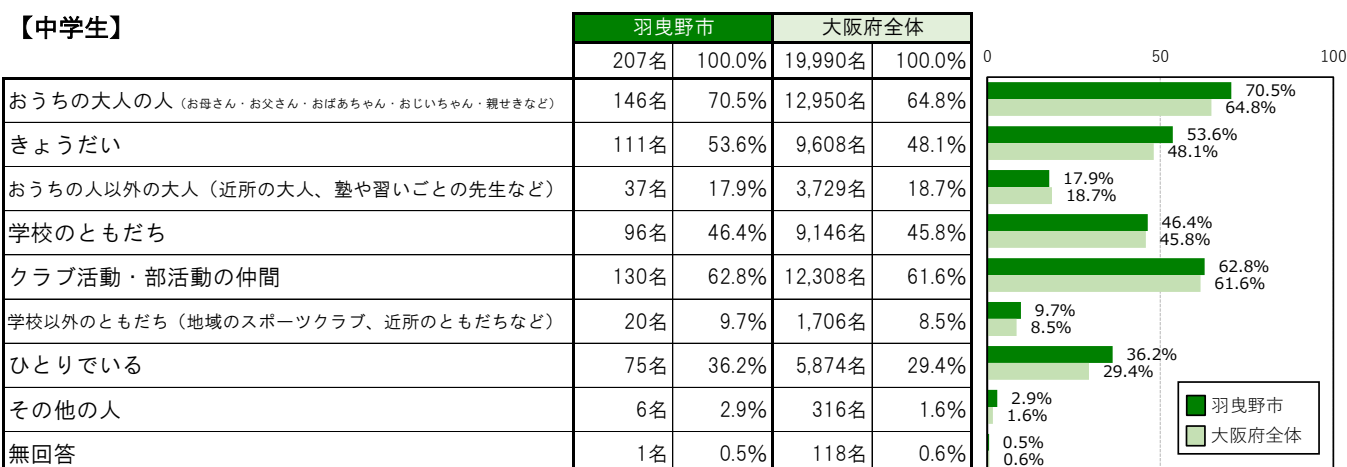
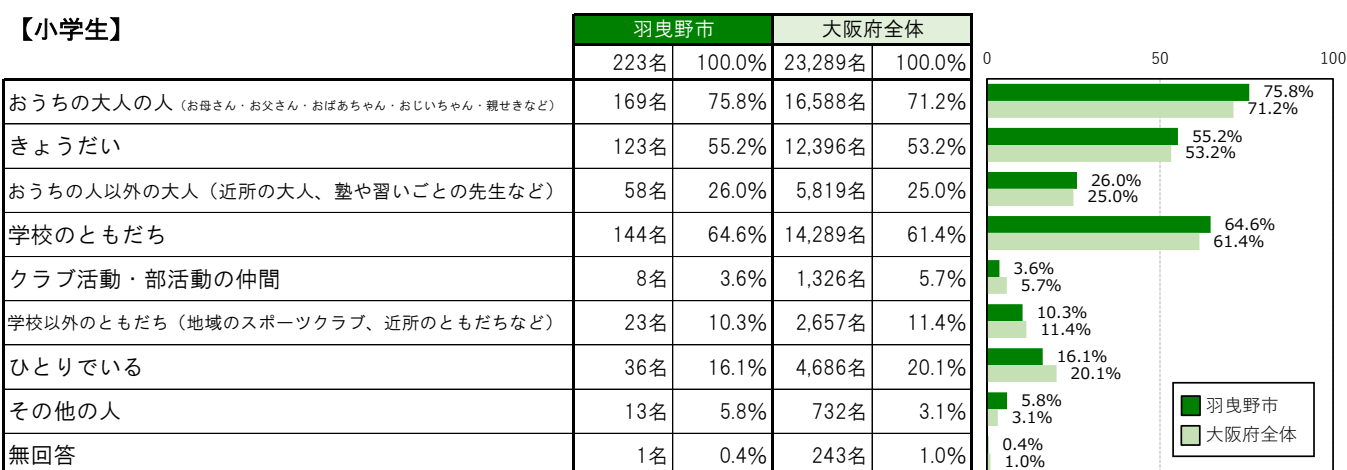
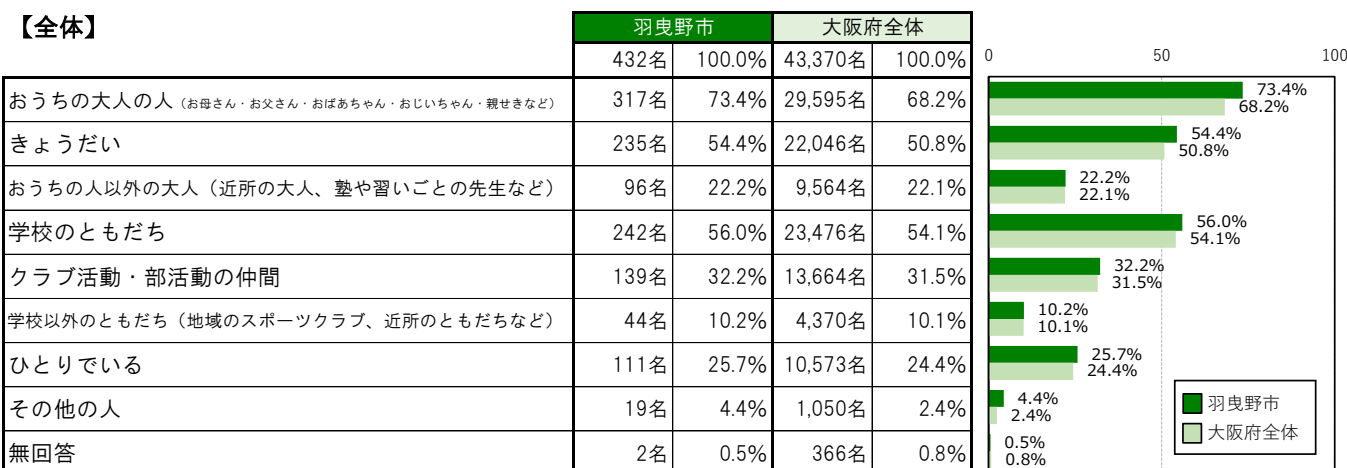
ふだんの生活のことについて

問10 放課後を一緒に過ごす人

全体は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が73.4%で最も多く、次いで「学校のともだち」が56.0%、「きょうだい」が54.4%、「クラブ活動・部活動の仲間」が32.2%となっている。

小学生は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が75.8%で最も多く、次いで「学校のともだち」が64.6%、「きょうだい」が55.2%、「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」が26.0%となっている。

中学生は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が70.5%で最も多く、次いで「クラブ活動・部活動の仲間」が62.8%、「きょうだい」が53.6%、「学校のともだち」が46.4%となっている。



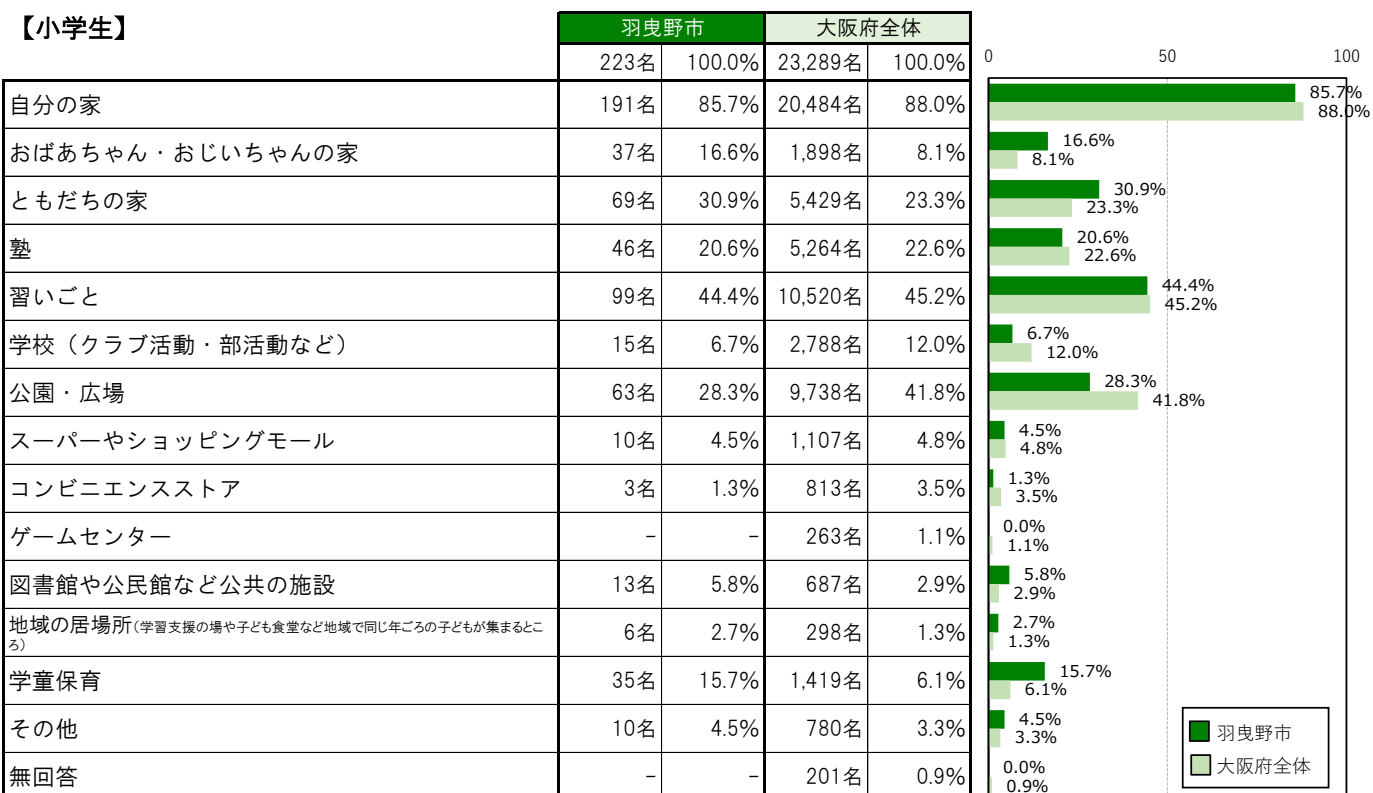
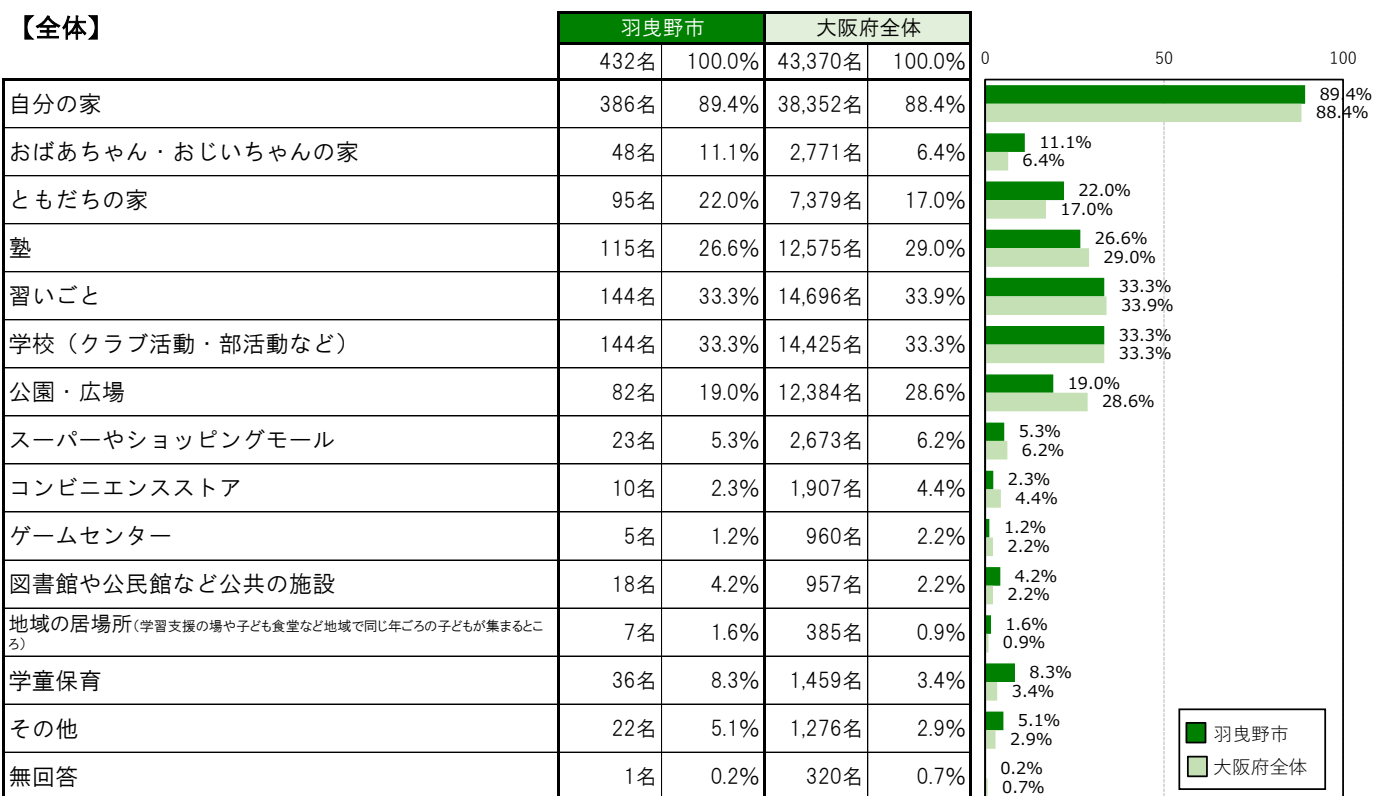
ふだんの生活のことについて

問11 放課後を過ごす場所

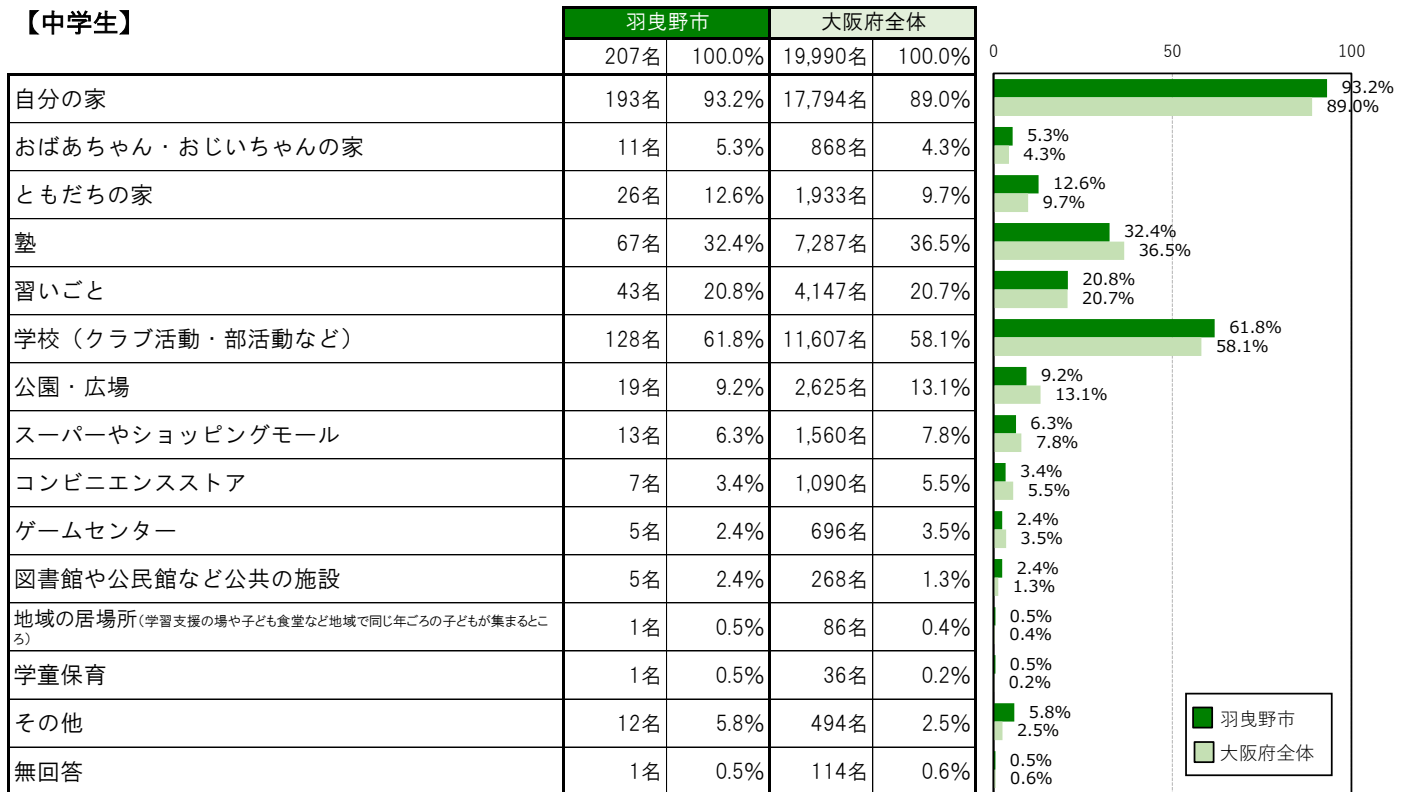
全体は、「自分の家」が89.4%で最も多く、次いで「習いごと」と「学校（クラブ活動・部活動など）」がそれぞれ33.3%、「塾」が26.6%となっている。

小学生は、「自分の家」が85.7%で最も多く、次いで「習いごと」が44.4%、「ともだちの家」が30.9%、「公園・広場」が28.3%となっている。

中学生は、「自分の家」が93.2%で最も多く、次いで「学校（クラブ活動・部活動など）」が61.8%、「塾」が32.4%、「習いごと」が20.8%となっている。



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問12 授業以外の勉強状況

全体は、「自分で勉強する」が69.9%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が40.3%、「おうちの人に教えてもらう」が36.3%、「ともだちと勉強する」が19.4%となっている。

小学生は、「自分で勉強する」が69.5%で最も多く、次いで「おうちの人に教えてもらう」が49.8%、「塾で勉強する」が33.6%、「ともだちと勉強する」が18.8%となっている。

中学生は、「自分で勉強する」が70.0%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が46.9%、「おうちの人に教えてもらう」が21.7%、「ともだちと勉強する」が20.3%となっている。



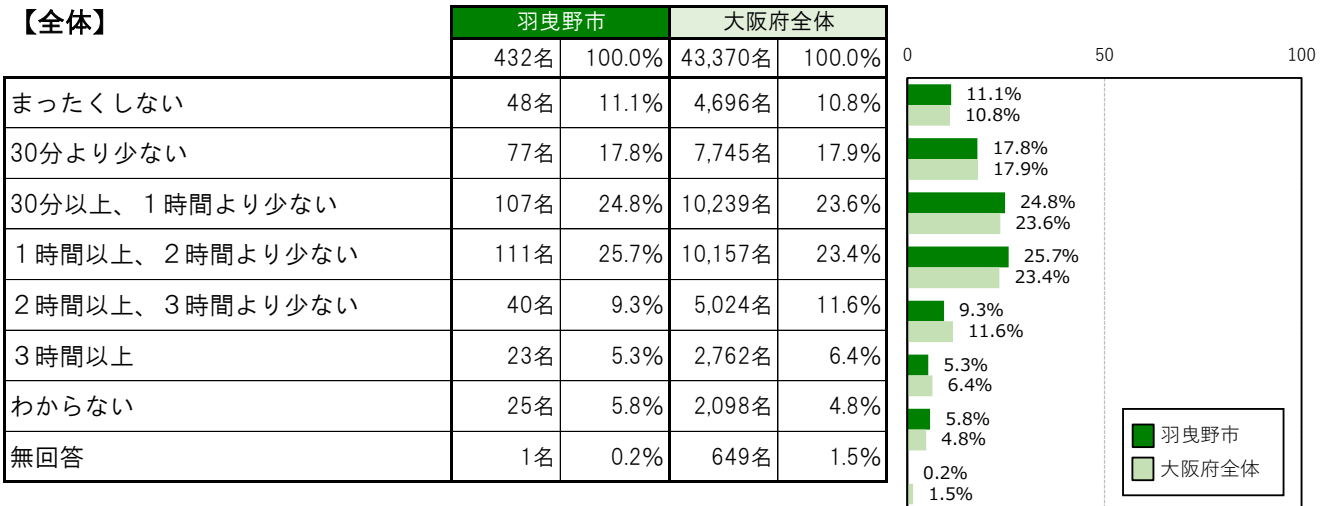
ふだんの生活のことについて

問13 授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）

全体は、「1時間以上、2時間より少ない」が25.7%で最も多く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が24.8%、「30分より少ない」が17.8%、「まったくしない」が11.1%となっている。

小学生は、「30分以上、1時間より少ない」が33.2%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が28.3%、「30分より少ない」が16.1%、「まったくしない」が9.0%となっている。

中学生は、「1時間以上、2時間より少ない」が22.7%で最も多く、次いで「30分より少ない」が19.8%、「30分以上、1時間より少ない」が15.9%、「まったくしない」と「2時間以上、3時間より少ない」がそれぞれ13.5%となっている。



ふだんの生活のことについて

問13 授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）

全体は、「まったくしない」、「30分より少ない」がそれぞれ22.7%で最も多く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が18.5%、「1時間以上、2時間より少ない」が15.5%、「2時間以上、3時間より少ない」が6.9%となっている。

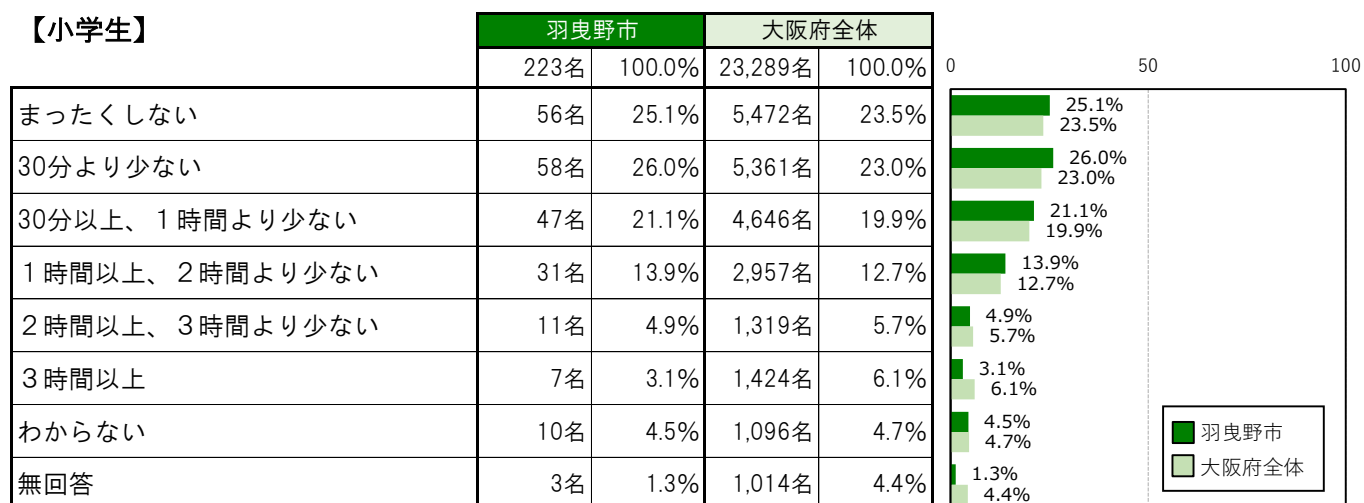
小学生は、「30分より少ない」が26.0%で最も多く、次いで「まったくしない」が25.1%、「30分以上、1時間より少ない」が21.1%、「1時間以上、2時間より少ない」が13.9%となっている。

中学生は、「まったくしない」が20.3%で最も多く、次いで「30分より少ない」が19.3%、「1時間以上、2時間より少ない」が16.9%、「30分以上、1時間より少ない」が15.9%となっている。

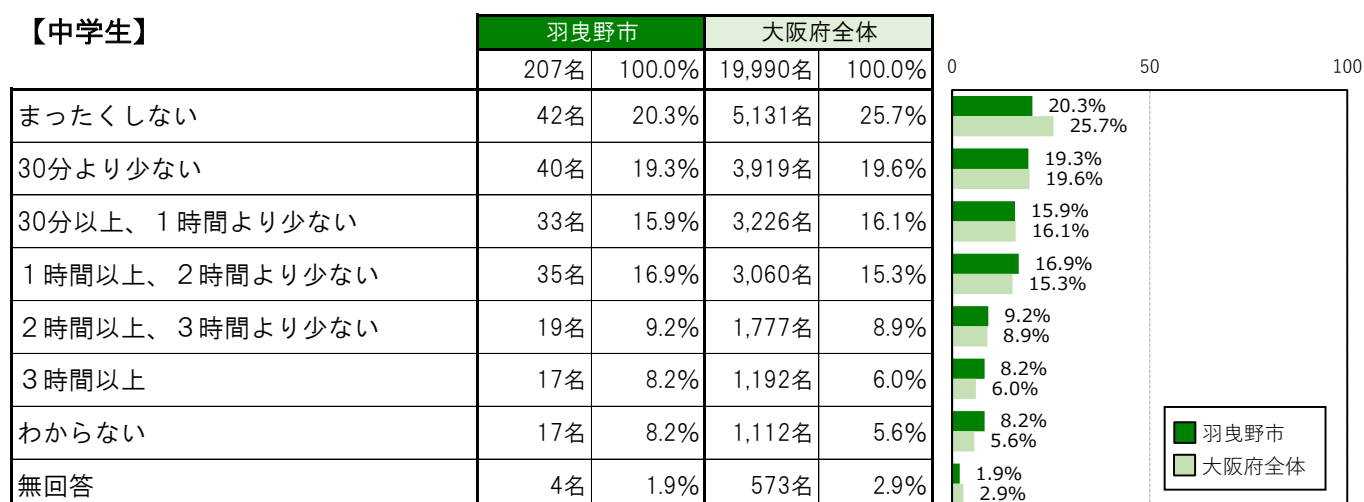
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問14（１）学校の勉強で気持ちに近いもの

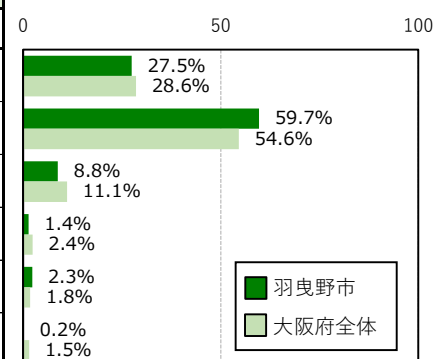
全体は、「だいたいわかる」が59.7%で最も多く、次いで「よくわかる」が27.5%、「あまりわからない」が8.8%、「ほとんどわからない」が1.4%となっている。

小学生は、「だいたいわかる」が57.4%で最も多く、次いで「よくわかる」が34.5%、「あまりわからない」が5.8%、「ほとんどわからない」が1.8%となっている。

中学生は、「だいたいわかる」が62.8%で最も多く、次いで「よくわかる」が19.3%、「あまりわからない」が12.1%、「ほとんどわからない」が1.0%となっている。

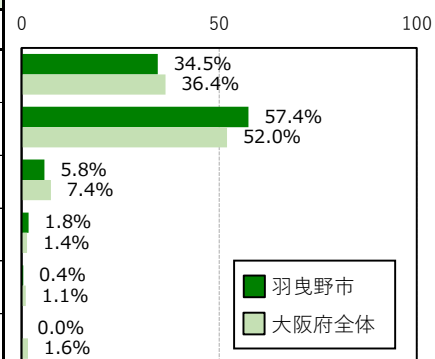
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	432名	100.0%	43,370名	100.0%
よくわかる	119名	27.5%	12,407名	28.6%
だいたいわかる	258名	59.7%	23,680名	54.6%
あまりわからない	38名	8.8%	4,834名	11.1%
ほとんどわからない	6名	1.4%	1,047名	2.4%
わからない	10名	2.3%	762名	1.8%
無回答	1名	0.2%	640名	1.5%



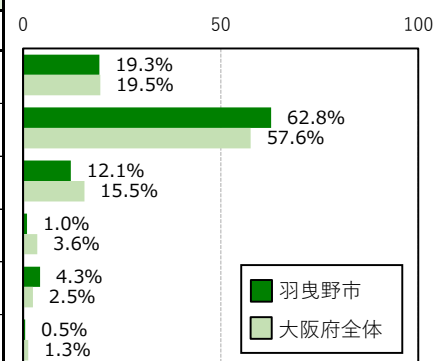
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	223名	100.0%	23,289名	100.0%
よくわかる	77名	34.5%	8,481名	36.4%
だいたいわかる	128名	57.4%	12,116名	52.0%
あまりわからない	13名	5.8%	1,721名	7.4%
ほとんどわからない	4名	1.8%	331名	1.4%
わからない	1名	0.4%	258名	1.1%
無回答	-	-	382名	1.6%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	207名	100.0%	19,990名	100.0%
よくわかる	40名	19.3%	3,902名	19.5%
だいたいわかる	130名	62.8%	11,516名	57.6%
あまりわからない	25名	12.1%	3,103名	15.5%
ほとんどわからない	2名	1.0%	715名	3.6%
わからない	9名	4.3%	500名	2.5%
無回答	1名	0.5%	254名	1.3%



ふだんの生活のことについて

問14（2）授業がわからなくなった時期

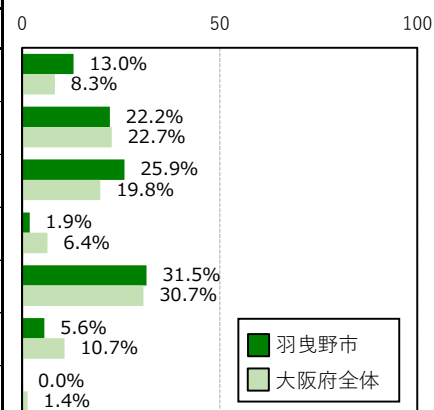
全体は、「中学1年生のころ」が31.5%で最も多く、次いで「小学5年生になってから」が25.9%、「小学3・4年生のころ」が22.2%、「小学1・2年生のころ」が13.0%となっている。

小学生は、「小学3・4年生のころ」が44.4%で最も多く、次いで「小学5年生になってから」が38.9%、「小学1・2年生のころ」が16.7%となっている。

中学生は、「中学1年生のころ」が47.2%で最も多く、次いで「小学5年生になってから」が19.4%、「小学1・2年生のころ」と「小学3・4年生のころ」がそれぞれ11.1%となっている。

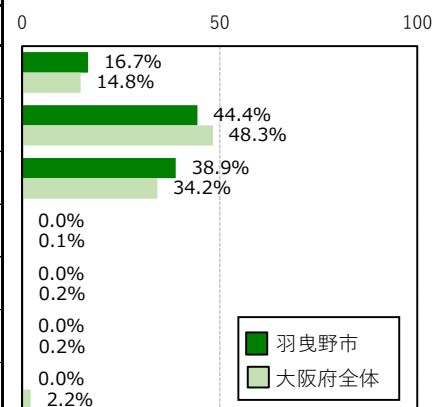
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	54名	100.0%	6,577名	100.0%
小学1・2年生のころ	7名	13.0%	547名	8.3%
小学3・4年生のころ	12名	22.2%	1,494名	22.7%
小学5年生になってから	14名	25.9%	1,301名	19.8%
小学6年生のころ	1名	1.9%	420名	6.4%
中学1年生のころ	17名	31.5%	2,022名	30.7%
中学2年生になってから	3名	5.6%	701名	10.7%
無回答	-	-	92名	1.4%



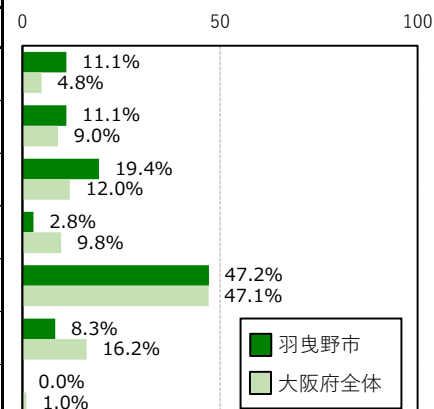
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	18名	100.0%	2,291名	100.0%
小学1・2年生のころ	3名	16.7%	339名	14.8%
小学3・4年生のころ	8名	44.4%	1,106名	48.3%
小学5年生になってから	7名	38.9%	784名	34.2%
小学6年生のころ	-	-	3名	0.1%
中学1年生のころ	-	-	5名	0.2%
中学2年生になってから	-	-	4名	0.2%
無回答	-	-	50名	2.2%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	36名	100.0%	4,272名	100.0%
小学1・2年生のころ	4名	11.1%	206名	4.8%
小学3・4年生のころ	4名	11.1%	386名	9.0%
小学5年生になってから	7名	19.4%	513名	12.0%
小学6年生のころ	1名	2.8%	417名	9.8%
中学1年生のころ	17名	47.2%	2,014名	47.1%
中学2年生になってから	3名	8.3%	694名	16.2%
無回答	-	-	42名	1.0%



ふだんの生活のことについて

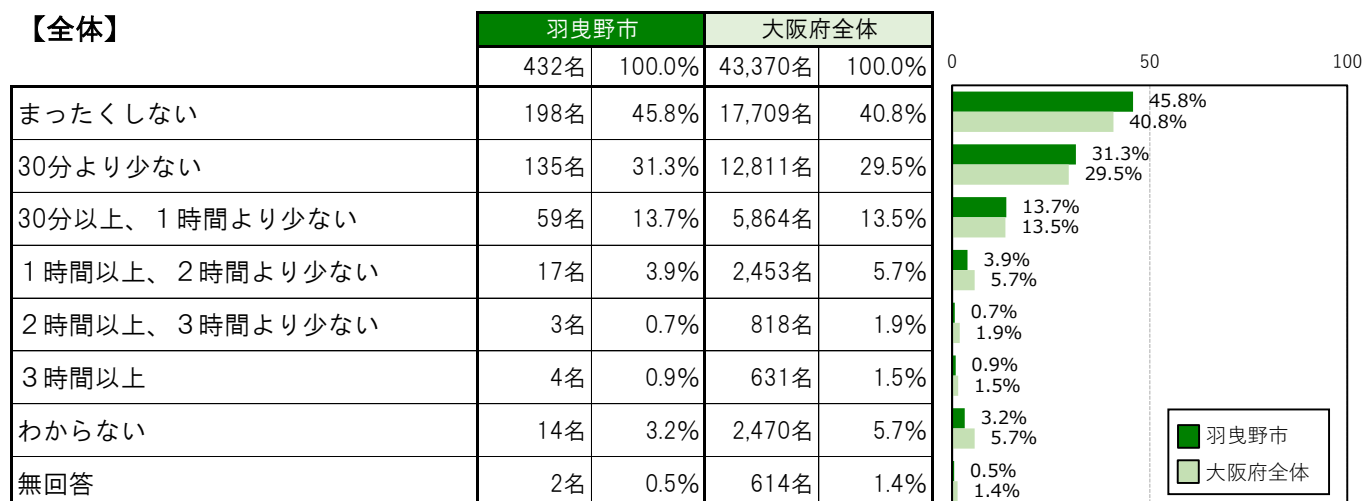
問15 授業以外の読書時間

全体は、「まったくしない」が45.8%で最も多く、次いで「30分より少ない」が31.3%、「30分以上、1時間より少ない」が13.7%、「1時間以上、2時間より少ない」が3.9%となっている。

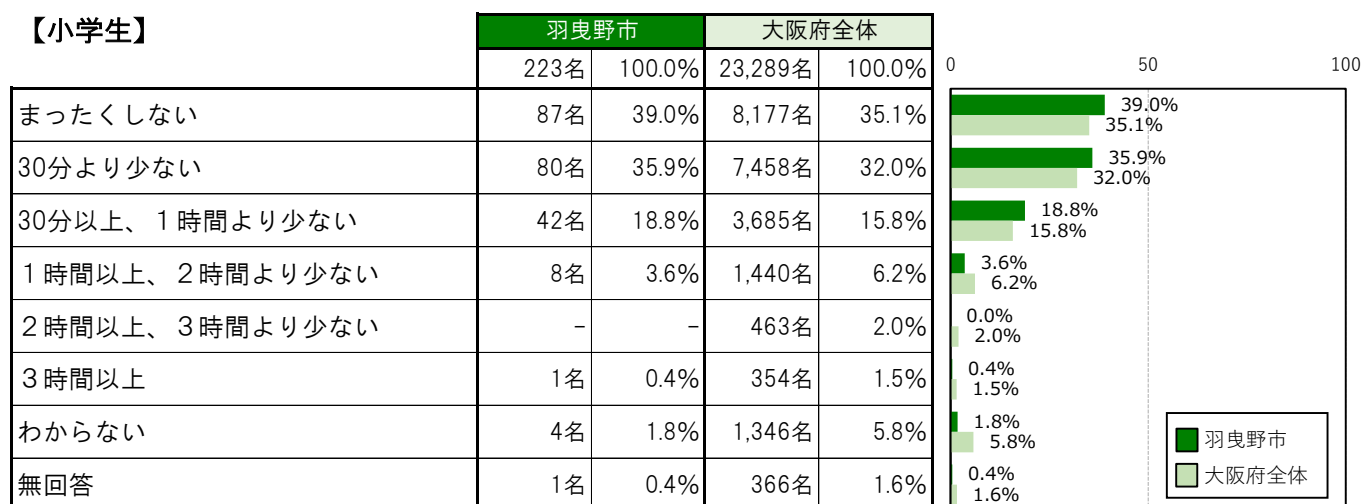
小学生は、「まったくしない」が39.0%で最も多く、次いで「30分より少ない」が35.9%、「30分以上、1時間より少ない」が18.8%、「1時間以上、2時間より少ない」が3.6%となっている。

中学生は、「まったくしない」が53.6%で最も多く、次いで「30分より少ない」が25.6%、「30分以上、1時間より少ない」が8.2%、「1時間以上、2時間より少ない」が4.3%となっている。

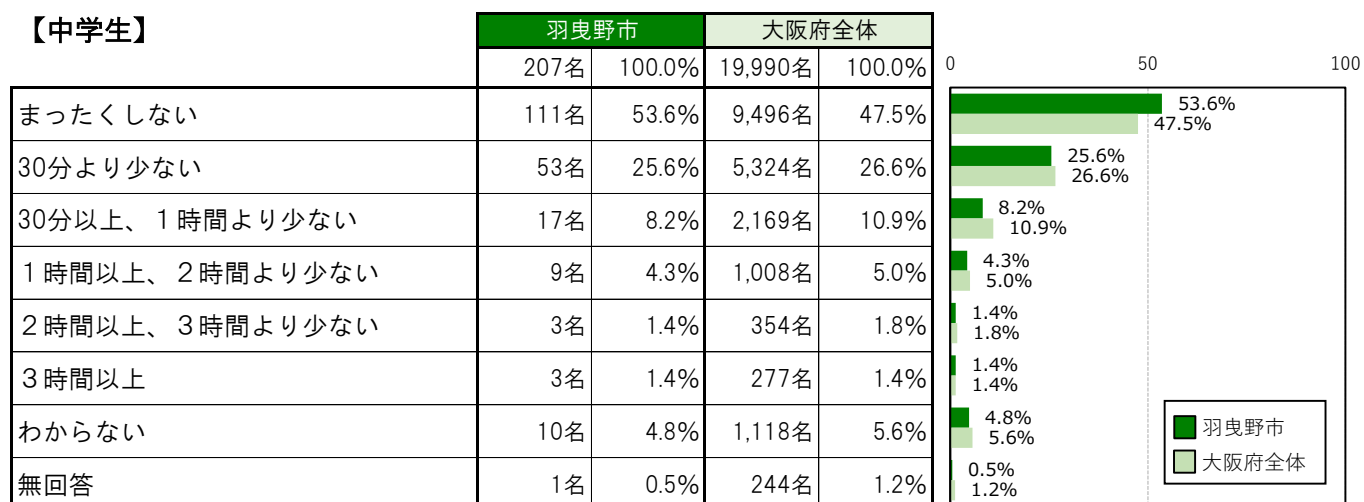
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

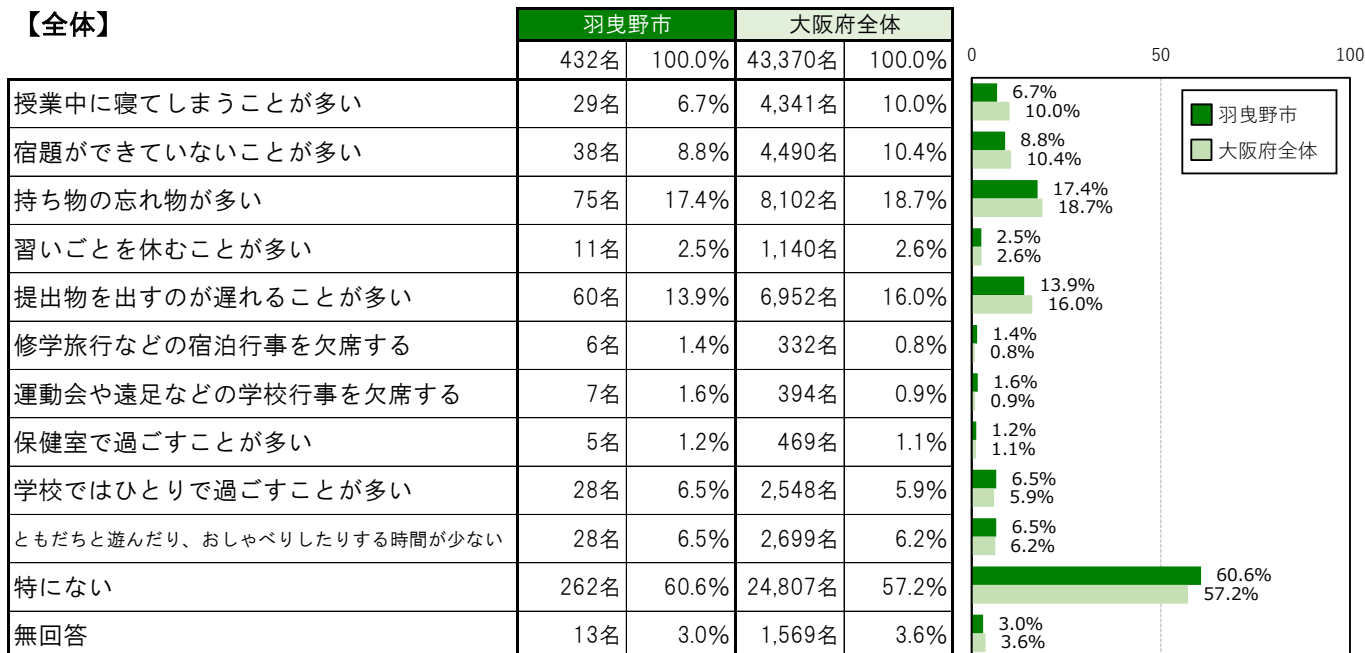
問16 学校や学校の行事等の状況

全体は、「持ち物の忘れ物が多い」が17.4%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が13.9%、「宿題ができていないことが多い」が8.8%、「授業中に寝てしまうことが多い」が6.7%となっている。一方、「特にない」は60.6%となっている。

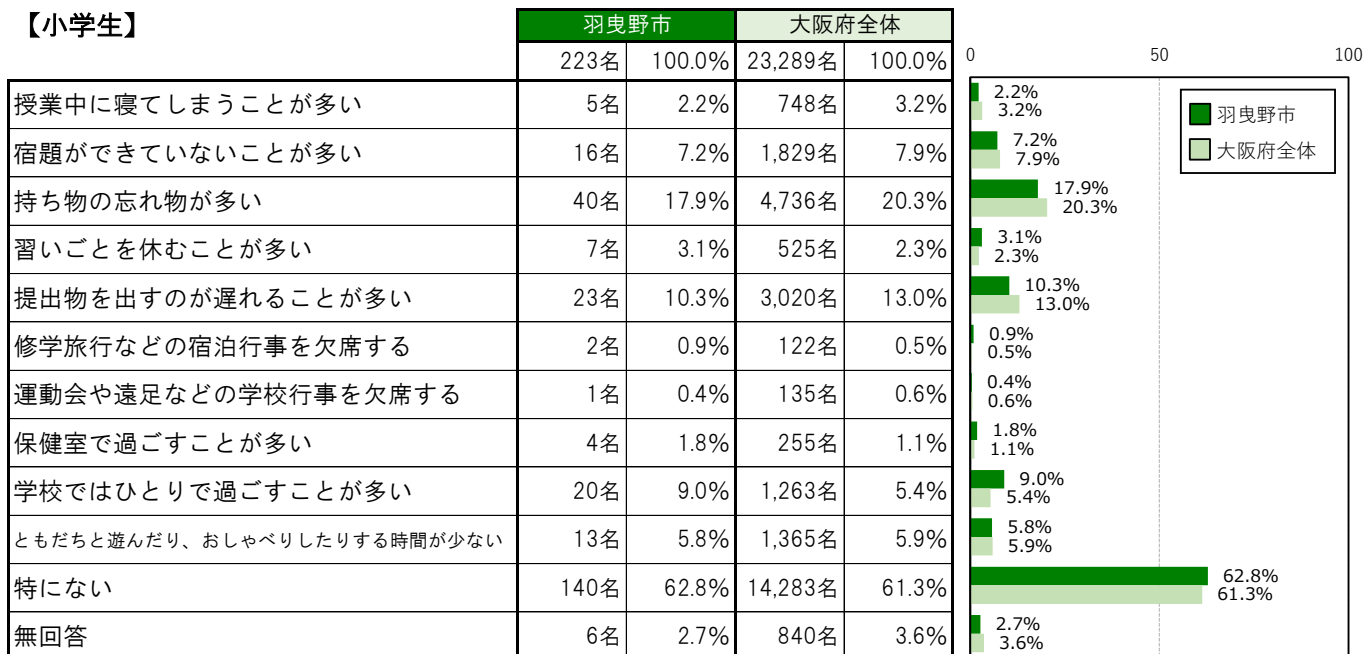
小学生は、「持ち物の忘れ物が多い」が17.9%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が10.3%、「学校ではひとりで過ごすことが多い」が9.0%、「宿題ができていないことが多い」が7.2%となっている。一方、「特にない」は62.8%となっている。

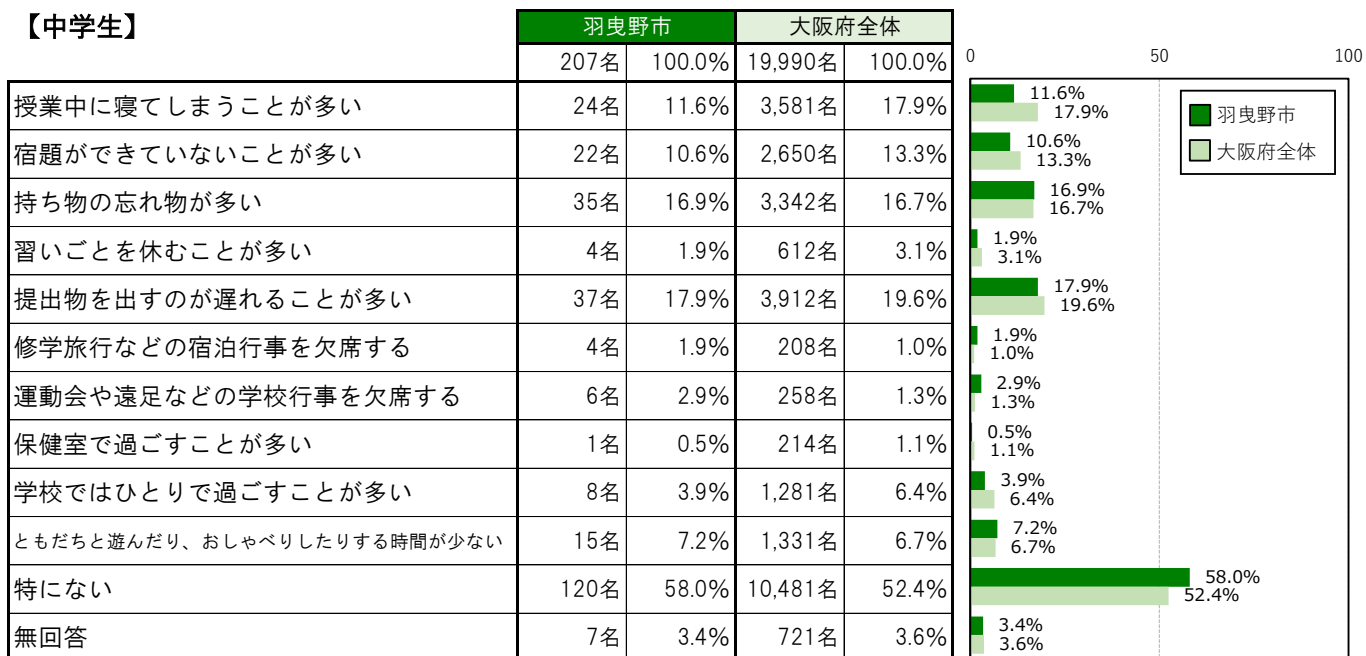
中学生は、「提出物を出すのが遅れることが多い」が17.9%で最も多く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」が16.9%、「授業中に寝てしまうことが多い」が11.6%、「宿題ができていないことが多い」が10.6%となっている。一方、「特にない」は58.0%となっている。

【全体】



【小学生】





ふだんの生活のことについて

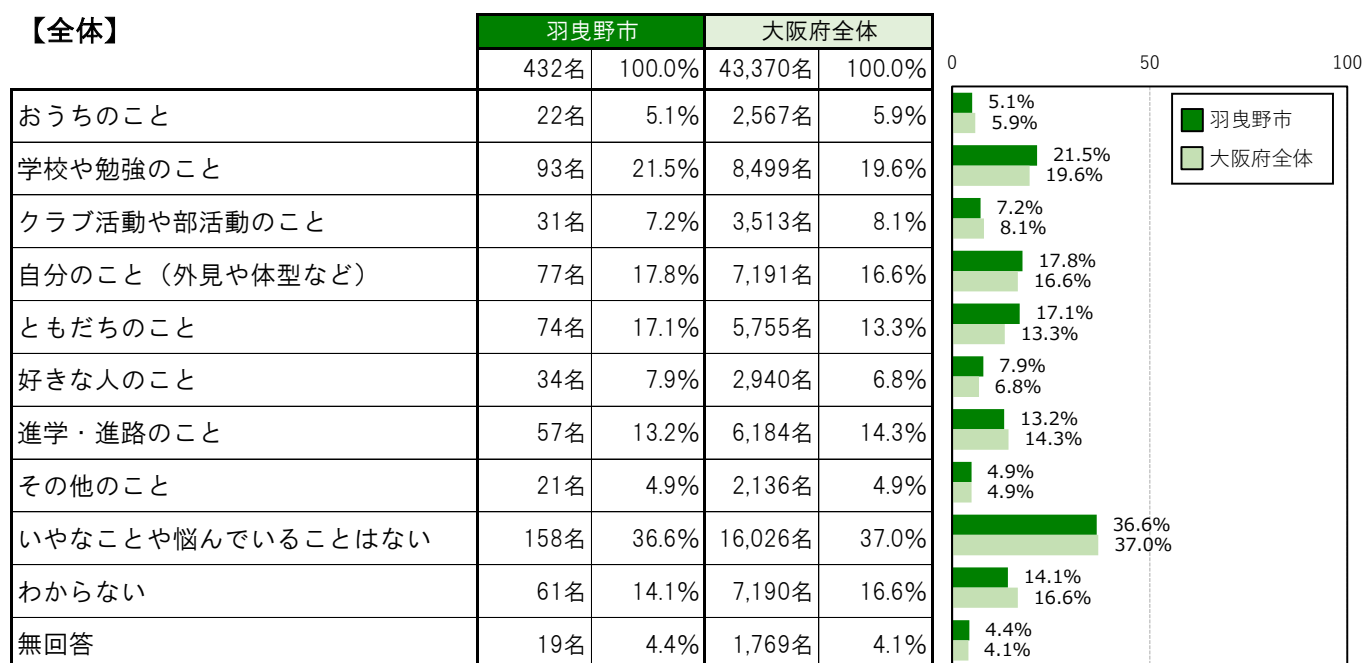
問17 嫌なことや悩んでいること

全体は、「いやなことや悩んでいることはない」が36.6%で最も多く、次いで「学校や勉強のこと」が21.5%、「自分のこと（外見や体型など）」が17.8%、「ともだちのこと」が17.1%となっている。

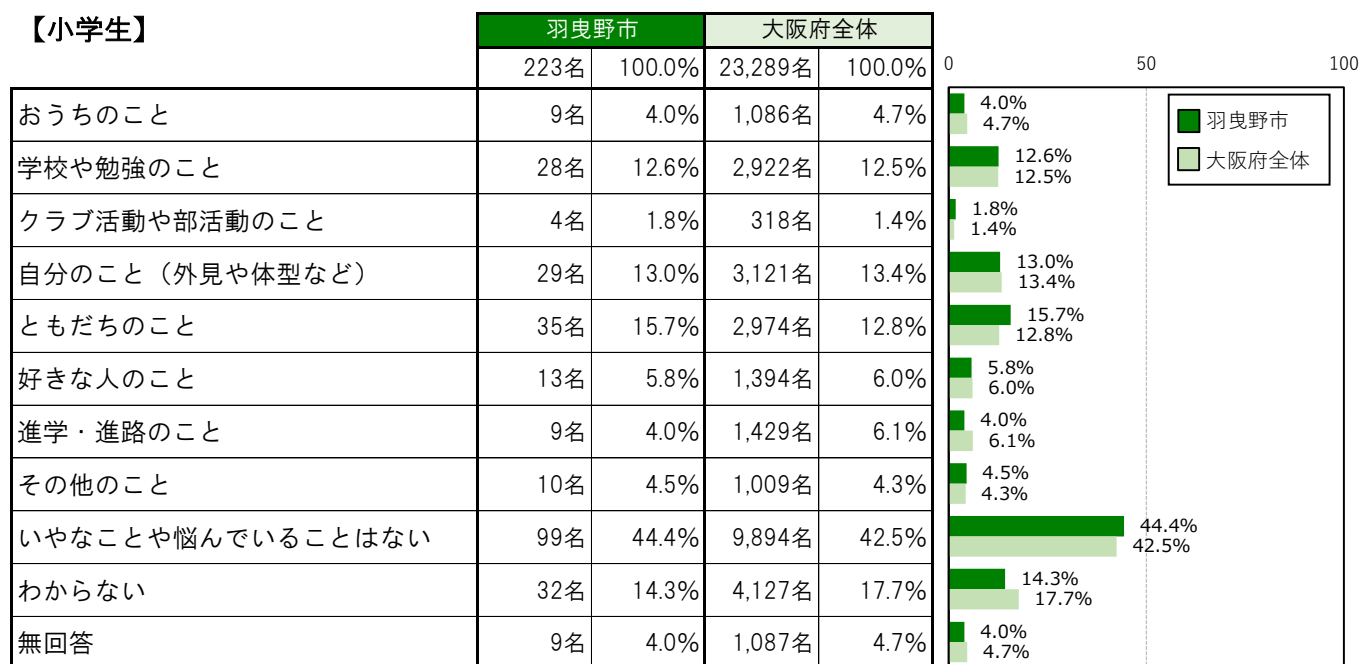
小学生は、「いやなことや悩んでいることはない」が44.4%で最も多く、次いで「ともだちのこと」が15.7%、「自分のこと（外見や体型など）」が13.0%、「学校や勉強のこと」が12.6%となっている。

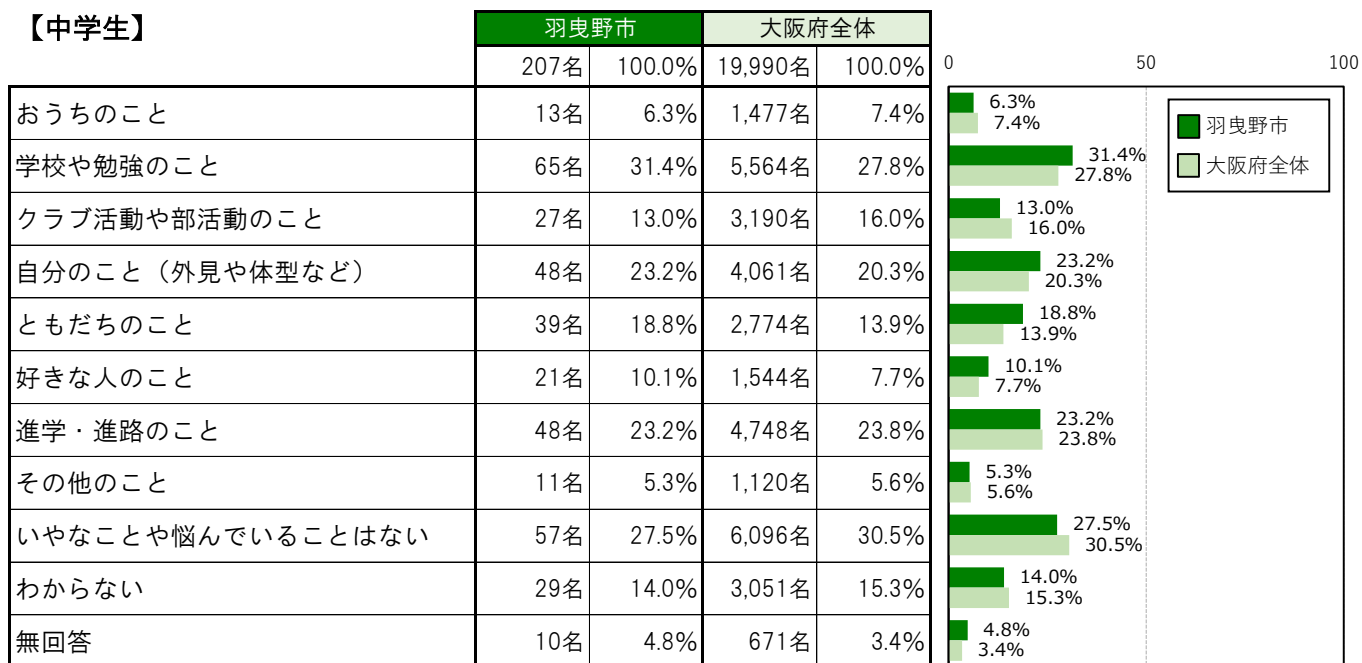
中学生は、「学校や勉強のこと」が31.4%で最も多く、次いで「いやなことや悩んでいることはない」が27.5%、「自分のこと（外見や体型など）」と「進学・進路のこと」がそれぞれ23.2%、「ともだちのこと」が18.8%となっている。

【全体】



【小学生】





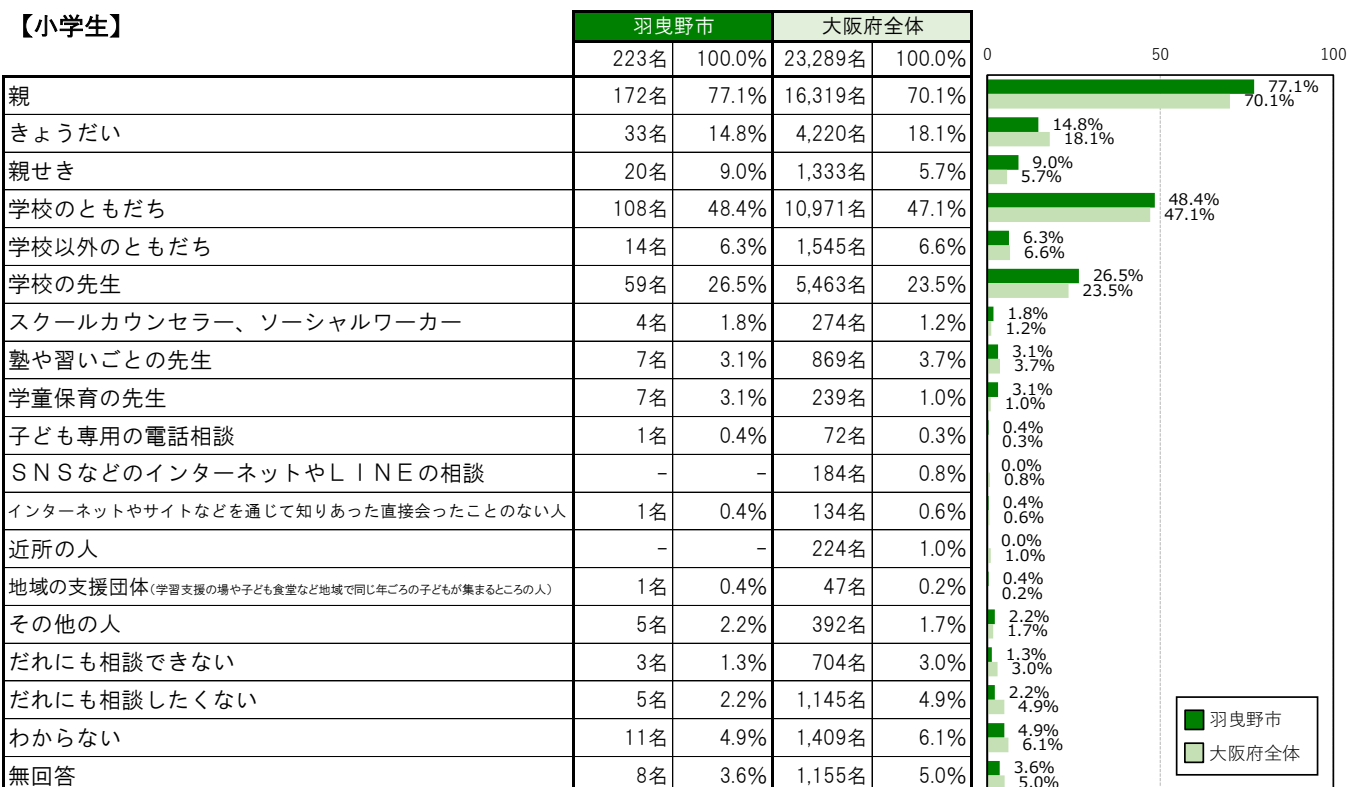
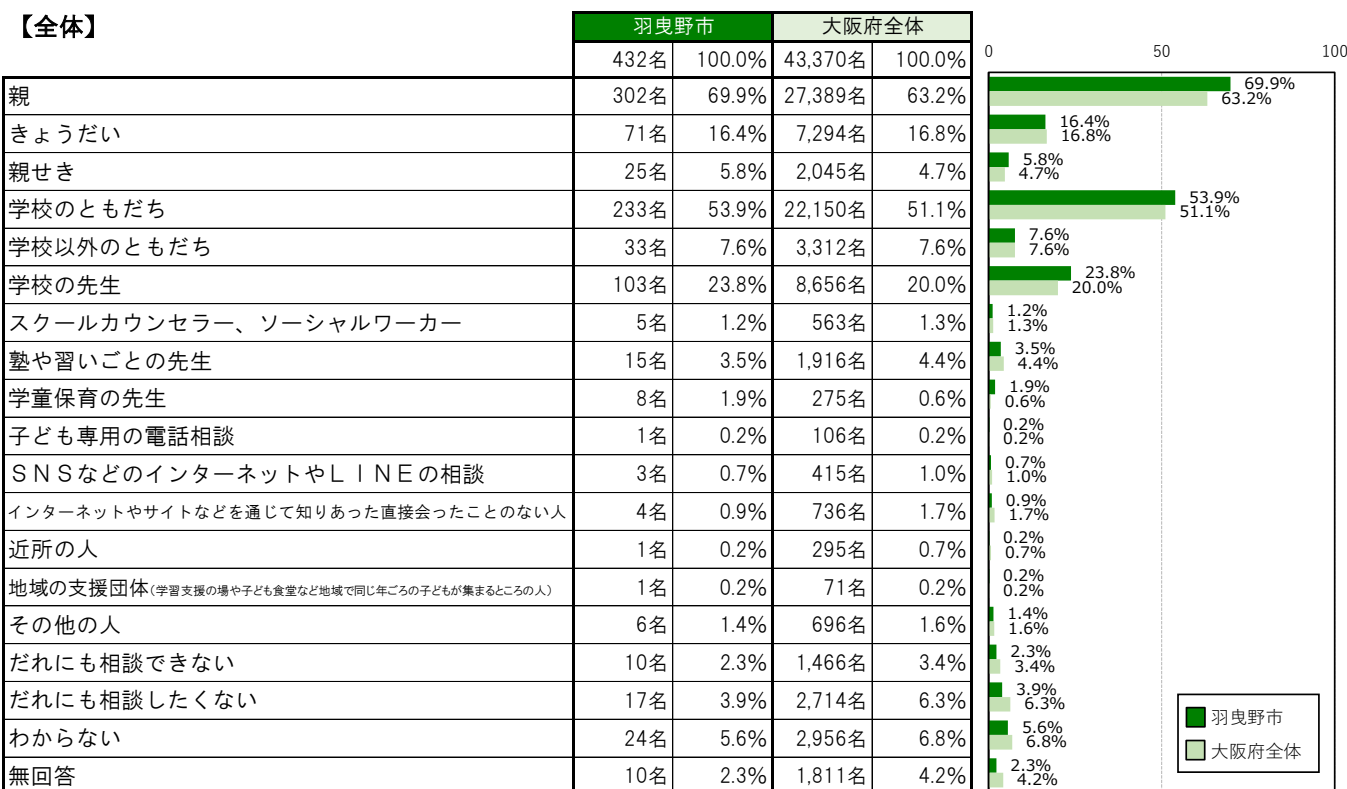
ふだんの生活のことについて

問18 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

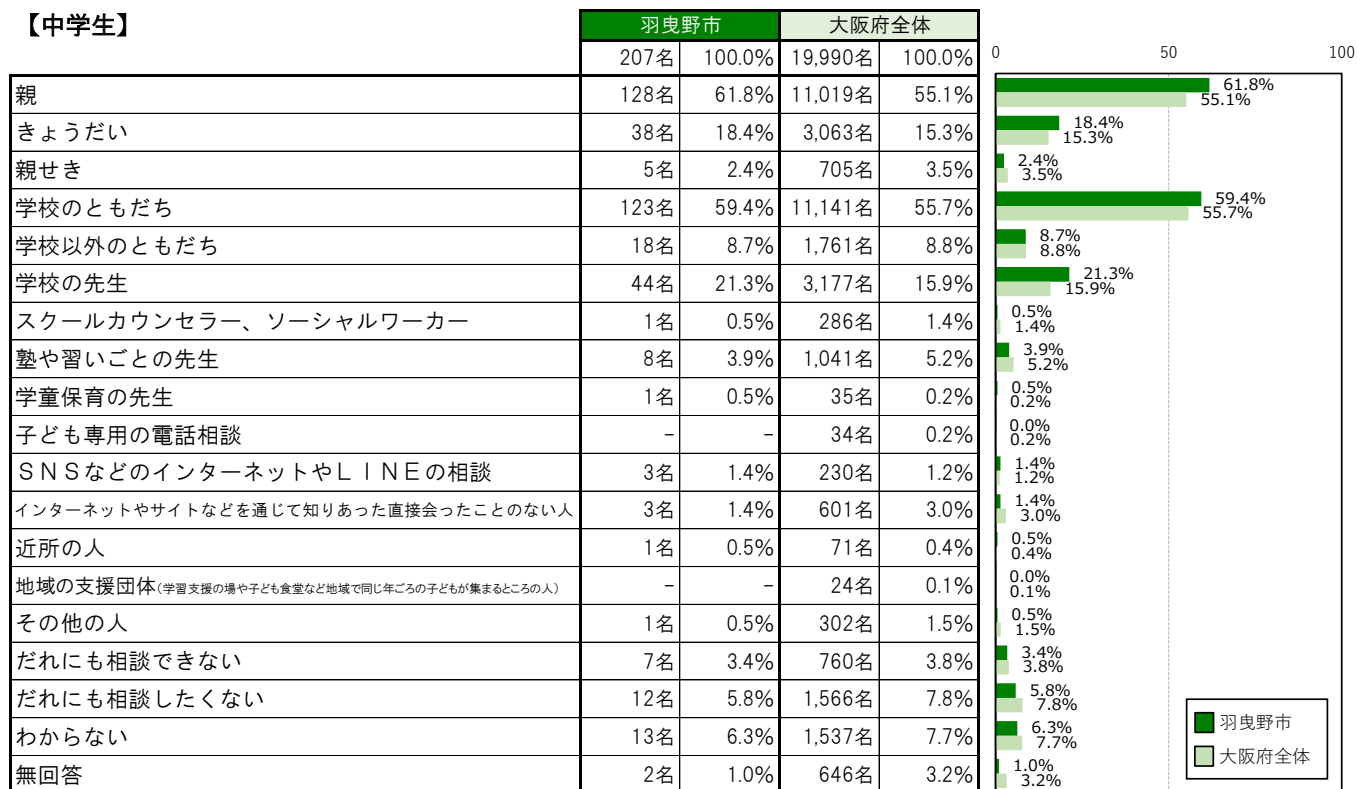
全体は、「親」が69.9%で最も多く、次いで「学校のともだち」が53.9%、「学校の先生」が23.8%、「きょうだい」が16.4%となっている。

小学生は、「親」が77.1%で最も多く、次いで「学校のともだち」が48.4%、「学校の先生」が26.5%、「きょうだい」が14.8%となっている。

中学生は、「親」が61.8%で最も多く、次いで「学校のともだち」が59.4%、「学校の先生」が21.3%、「きょうだい」が18.4%となっている。



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある

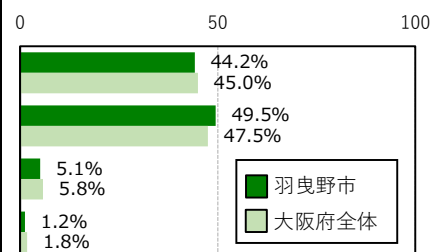
全体は、「ときどきそうだ」が49.5%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が44.2%、「そんなことはない」が5.1%となっている。

小学生は、「いつもそうだ」が47.5%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が47.1%、「そんなことはない」が3.1%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が52.7%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が40.1%、「そんなことはない」が7.2%となっている。

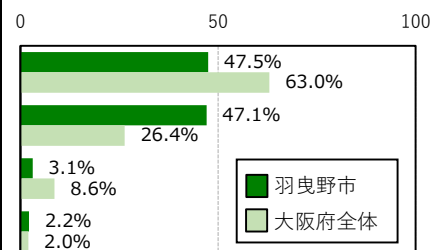
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	191名	44.2%	19,505名	45.0%
ときどきそうだ	214名	49.5%	20,583名	47.5%
そんなことはない	22名	5.1%	2,517名	5.8%
無回答	5名	1.2%	765名	1.8%



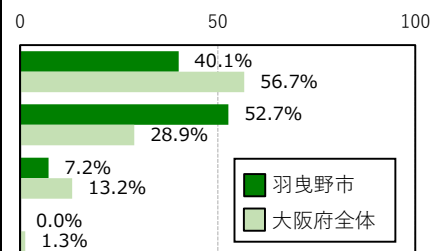
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	106名	47.5%	14,666名	63.0%
ときどきそうだ	105名	47.1%	6,154名	26.4%
そんなことはない	7名	3.1%	1,996名	8.6%
無回答	5名	2.2%	473名	2.0%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	83名	40.1%	11,325名	56.7%
ときどきそうだ	109名	52.7%	5,773名	28.9%
そんなことはない	15名	7.2%	2,634名	13.2%
無回答	-	-	258名	1.3%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ

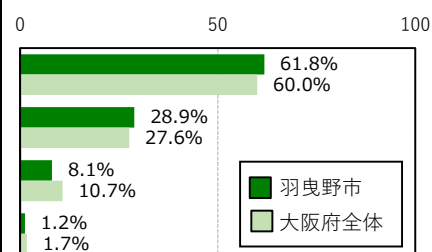
全体は、「いつもそうだ」が61.8%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が28.9%、「そんなことはない」が8.1%となっている。

小学生は、「いつもそうだ」が68.6%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が25.6%、「そんなことはない」が3.6%となっている。

中学生は、「いつもそうだ」が54.1%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が32.9%、「そんなことはない」が13.0%となっている。

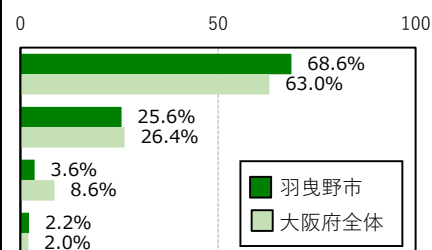
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	267名	61.8%	26,039名	60.0%
ときどきそうだ	125名	28.9%	11,956名	27.6%
そんなことはない	35名	8.1%	4,638名	10.7%
無回答	5名	1.2%	737名	1.7%



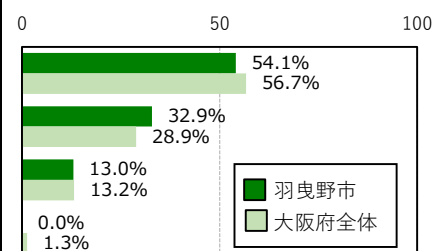
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	153名	68.6%	14,666名	63.0%
ときどきそうだ	57名	25.6%	6,154名	26.4%
そんなことはない	8名	3.6%	1,996名	8.6%
無回答	5名	2.2%	473名	2.0%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	112名	54.1%	11,325名	56.7%
ときどきそうだ	68名	32.9%	5,773名	28.9%
そんなことはない	27名	13.0%	2,634名	13.2%
無回答	-	-	258名	1.3%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ

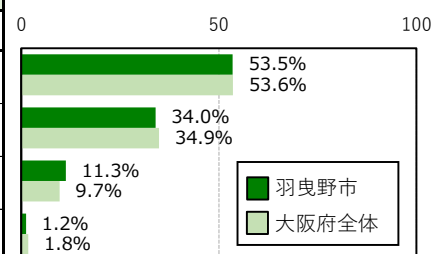
全体は、「いつもそうだ」が53.5%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が34.0%、「そんなことはない」が11.3%となっている。

小学生は、「いつもそうだ」が63.2%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が25.6%、「そんなことはない」が9.0%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が43.5%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が42.5%、「そんなことはない」が14.0%となっている。

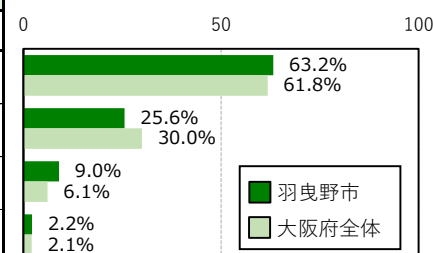
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	231名	53.5%	23,234名	53.6%
ときどきそうだ	147名	34.0%	15,146名	34.9%
そんなことはない	49名	11.3%	4,217名	9.7%
無回答	5名	1.2%	773名	1.8%



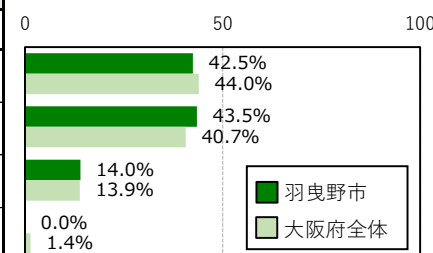
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	141名	63.2%	14,397名	61.8%
ときどきそうだ	57名	25.6%	6,978名	30.0%
そんなことはない	20名	9.0%	1,431名	6.1%
無回答	5名	2.2%	483名	2.1%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	88名	42.5%	8,796名	44.0%
ときどきそうだ	90名	43.5%	8,128名	40.7%
そんなことはない	29名	14.0%	2,782名	13.9%
無回答	-	-	284名	1.4%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる

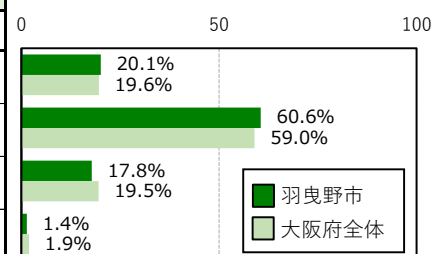
全体は、「ときどきそうだ」が60.6%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が20.1%、「そんなことはない」が17.8%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が59.2%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が24.7%、「そんなことはない」が13.5%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が62.8%で最も多く、次いで「そんなことはない」が22.7%、「いつもそうだ」が14.5%となっている。

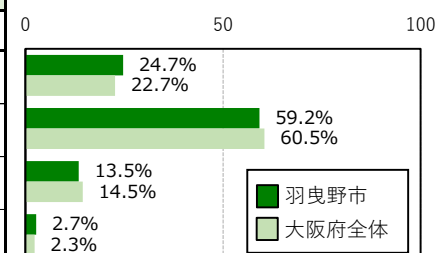
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	87名	20.1%	8,503名	19.6%
ときどきそうだ	262名	60.6%	25,567名	59.0%
そんなことはない	77名	17.8%	8,460名	19.5%
無回答	6名	1.4%	840名	1.9%



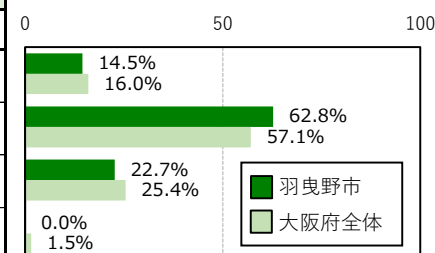
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	55名	24.7%	5,283名	22.7%
ときどきそうだ	132名	59.2%	14,099名	60.5%
そんなことはない	30名	13.5%	3,367名	14.5%
無回答	6名	2.7%	540名	2.3%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	30名	14.5%	3,199名	16.0%
ときどきそうだ	130名	62.8%	11,416名	57.1%
そんなことはない	47名	22.7%	5,081名	25.4%
無回答	-	-	294名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする

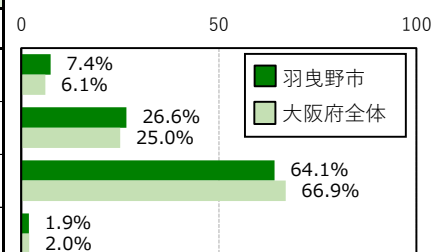
全体は、「そんなことはない」が64.1%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が26.6%、「いつもそうだ」が7.4%となっている。

小学生は、「そんなことはない」が69.1%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が21.5%、「いつもそうだ」が5.8%となっている。

中学生は、「そんなことはない」が58.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が31.9%、「いつもそうだ」が9.2%となっている。

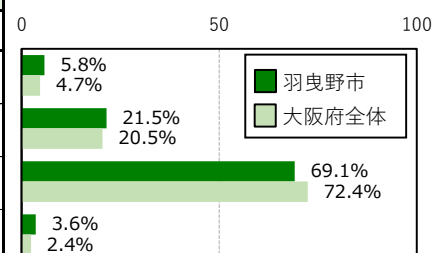
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	32名	7.4%	2,628名	6.1%
ときどきそうだ	115名	26.6%	10,860名	25.0%
そんなことはない	277名	64.1%	29,021名	66.9%
無回答	8名	1.9%	861名	2.0%



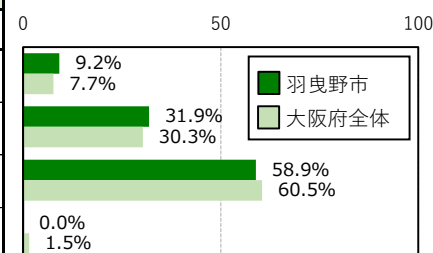
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	13名	5.8%	1,091名	4.7%
ときどきそうだ	48名	21.5%	4,776名	20.5%
そんなことはない	154名	69.1%	16,872名	72.4%
無回答	8名	3.6%	550名	2.4%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	19名	9.2%	1,534名	7.7%
ときどきそうだ	66名	31.9%	6,057名	30.3%
そんなことはない	122名	58.9%	12,095名	60.5%
無回答	-	-	304名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる

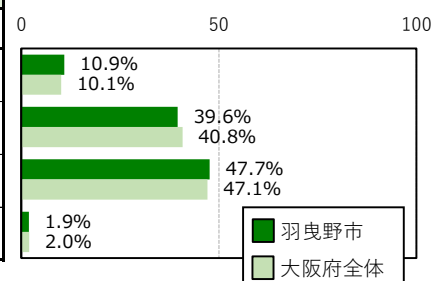
全体は、「そんなことはない」が47.7%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が39.6%、「いつもそうだ」が10.9%となっている。

小学生は、「そんなことはない」が53.8%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が36.8%、「いつもそうだ」が5.8%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が42.5%で最も多く、次いで「そんなことはない」が41.1%、「いつもそうだ」が16.4%となっている。

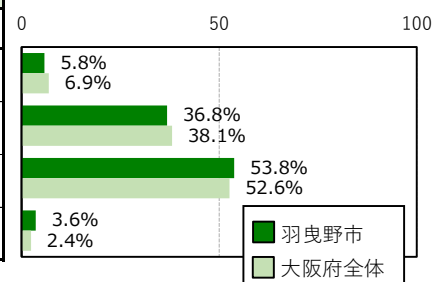
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	47名	10.9%	4,369名	10.1%
ときどきそうだ	171名	39.6%	17,713名	40.8%
そんなことはない	206名	47.7%	20,421名	47.1%
無回答	8名	1.9%	867名	2.0%



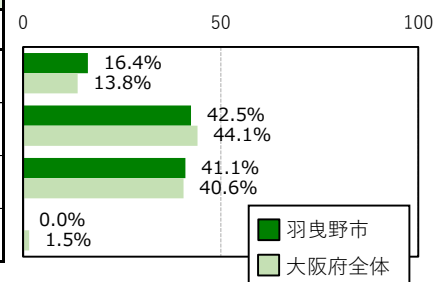
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	13名	5.8%	1,616名	6.9%
ときどきそうだ	82名	36.8%	8,865名	38.1%
そんなことはない	120名	53.8%	12,251名	52.6%
無回答	8名	3.6%	557名	2.4%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	34名	16.4%	2,750名	13.8%
ときどきそうだ	88名	42.5%	8,814名	44.1%
そんなことはない	85名	41.1%	8,122名	40.6%
無回答	-	-	304名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる

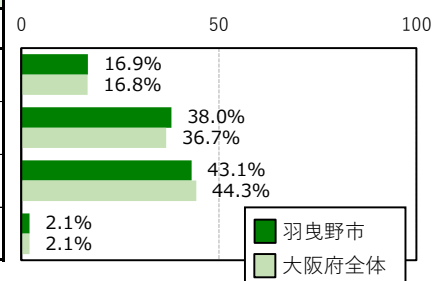
全体は、「そんなことはない」が43.1%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が38.0%、「いつもそうだ」が16.9%となっている。

小学生は、「そんなことはない」が50.2%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が34.5%、「いつもそうだ」が12.1%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が41.5%で最も多く、次いで「そんなことはない」が35.3%、「いつもそうだ」が22.2%となっている。

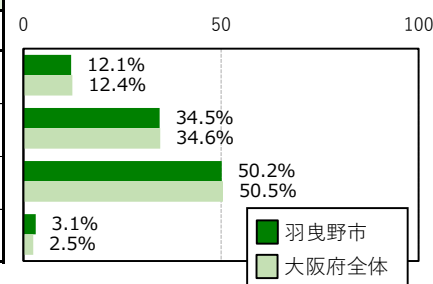
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	73名	16.9%	7,300名	16.8%
ときどきそうだ	164名	38.0%	15,932名	36.7%
そんなことはない	186名	43.1%	19,222名	44.3%
無回答	9名	2.1%	916名	2.1%



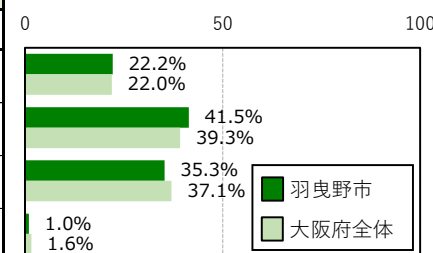
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	27名	12.1%	2,893名	12.4%
ときどきそうだ	77名	34.5%	8,049名	34.6%
そんなことはない	112名	50.2%	11,759名	50.5%
無回答	7名	3.1%	588名	2.5%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	46名	22.2%	4,399名	22.0%
ときどきそうだ	86名	41.5%	7,848名	39.3%
そんなことはない	73名	35.3%	7,422名	37.1%
無回答	2名	1.0%	321名	1.6%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない

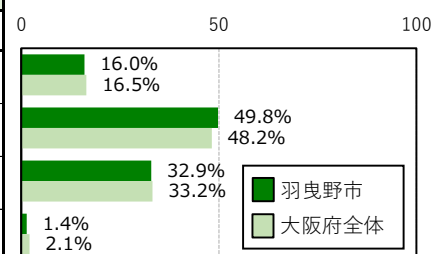
全体は、「ときどきそうだ」が49.8%で最も多く、次いで「そんなことはない」が32.9%、「いつもそうだ」が16.0%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が46.2%で最も多く、次いで「そんなことはない」が40.8%、「いつもそうだ」が10.3%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が53.6%で最も多く、次いで「そんなことはない」が24.2%、「いつもそうだ」が22.2%となっている。

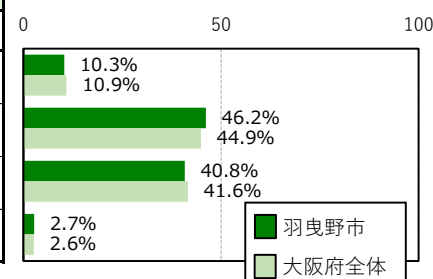
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	69名	16.0%	7,152名	16.5%
ときどきそうだ	215名	49.8%	20,902名	48.2%
そんなことはない	142名	32.9%	14,387名	33.2%
無回答	6名	1.4%	929名	2.1%



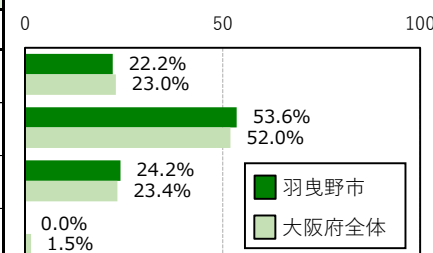
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	23名	10.3%	2,541名	10.9%
ときどきそうだ	103名	46.2%	10,454名	44.9%
そんなことはない	91名	40.8%	9,677名	41.6%
無回答	6名	2.7%	617名	2.6%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	46名	22.2%	4,606名	23.0%
ときどきそうだ	111名	53.6%	10,396名	52.0%
そんなことはない	50名	24.2%	4,682名	23.4%
無回答	-	-	306名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑨いろいろする

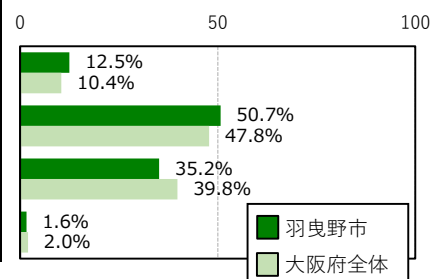
全体は、「ときどきそうだ」が50.7%で最も多く、次いで「そんなことはない」が35.2%、「いつもそうだ」が12.5%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が51.6%で最も多く、次いで「そんなことはない」が33.6%、「いつもそうだ」が11.7%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が49.8%で最も多く、次いで「そんなことはない」が36.7%、「いつもそうだ」が13.5%となっている。

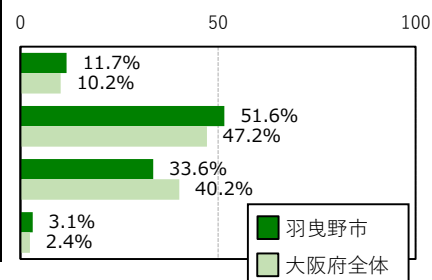
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	54名	12.5%	4,525名	10.4%
ときどきそうだ	219名	50.7%	20,712名	47.8%
そんなことはない	152名	35.2%	17,270名	39.8%
無回答	7名	1.6%	863名	2.0%



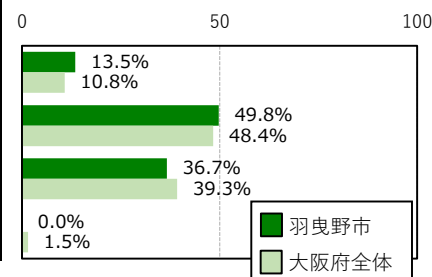
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	26名	11.7%	2,364名	10.2%
ときどきそうだ	115名	51.6%	10,997名	47.2%
そんなことはない	75名	33.6%	9,370名	40.2%
無回答	7名	3.1%	558名	2.4%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	28名	13.5%	2,152名	10.8%
ときどきそうだ	103名	49.8%	9,674名	48.4%
そんなことはない	76名	36.7%	7,865名	39.3%
無回答	-	-	299名	1.5%



ふだんの生活のことについて

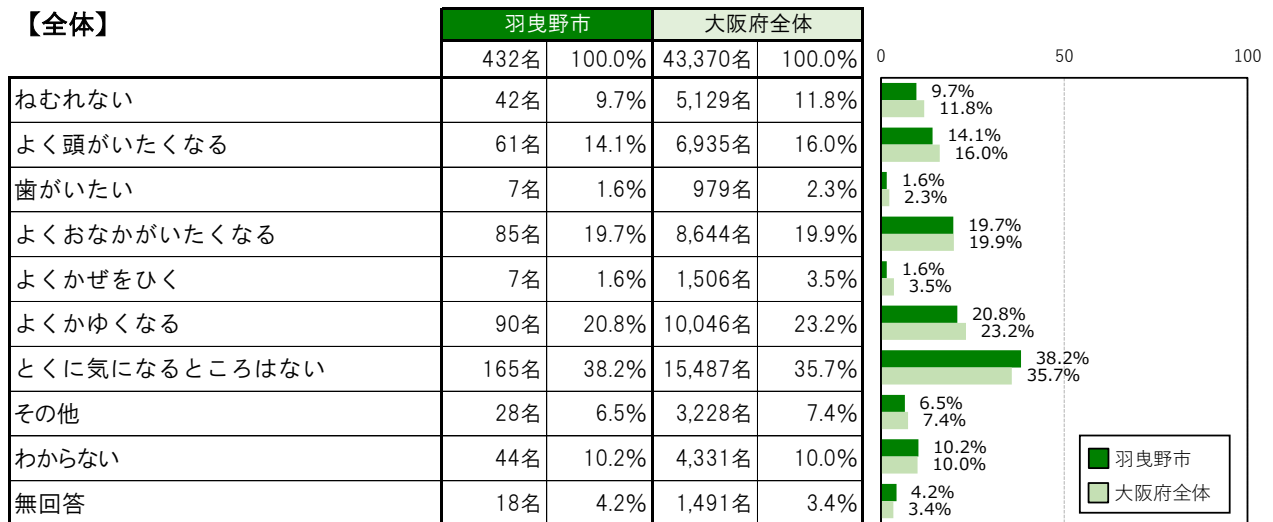
問20 自分の体の状態で気になること

全体は、「とくに気になるところはない」が38.2%で最も多く、次いで「よくかゆくなる」が20.8%、「よくおなかがいたくなる」が19.7%、「よく頭がいたくなる」が14.1%となっている。

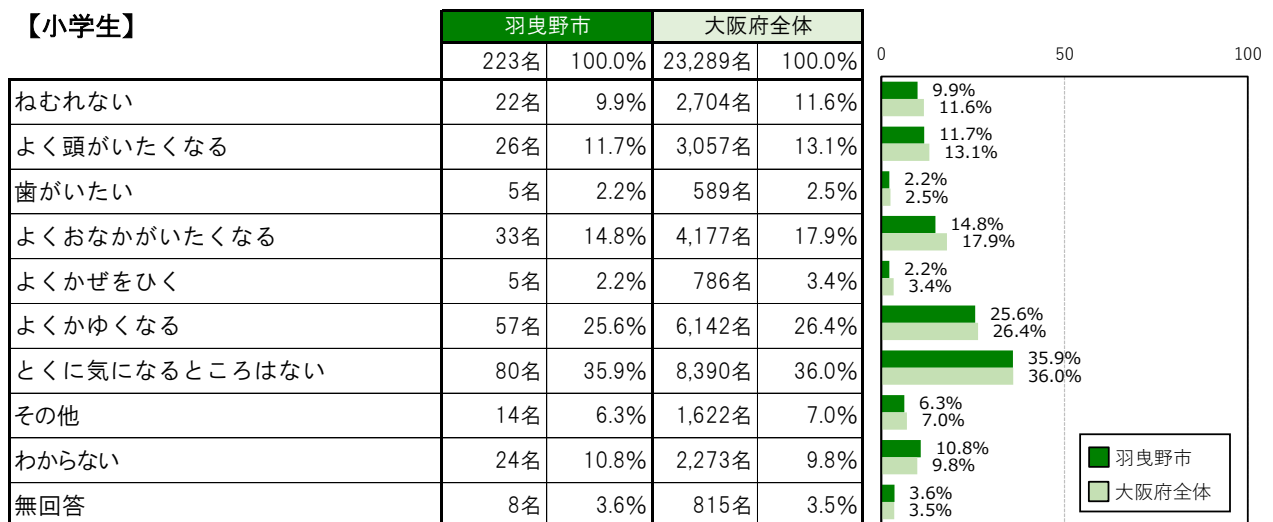
小学生は、「とくに気になるところはない」が35.9%で最も多く、次いで「よくかゆくなる」が25.6%、「よくおなかがいたくなる」が14.8%、「よく頭がいたくなる」が11.7%となっている。

中学生は、「とくに気になるところはない」が40.1%で最も多く、次いで「よくおなかがいたくなる」が25.1%、「よく頭がいたくなる」が16.9%、「よくかゆくなる」が15.9%となっている。

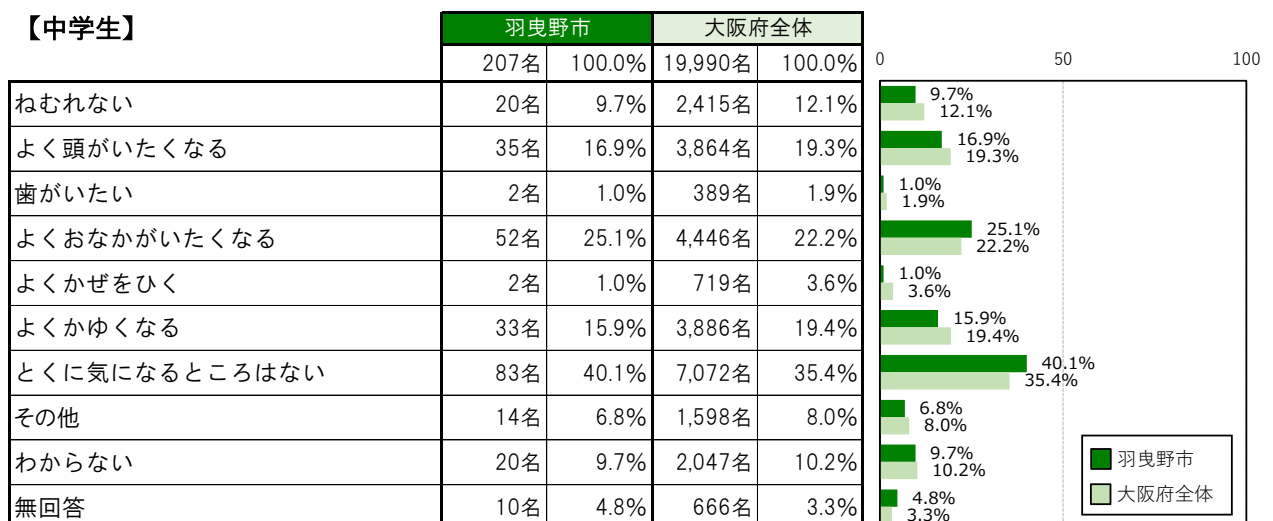
【全体】



【小学生】



【中学生】



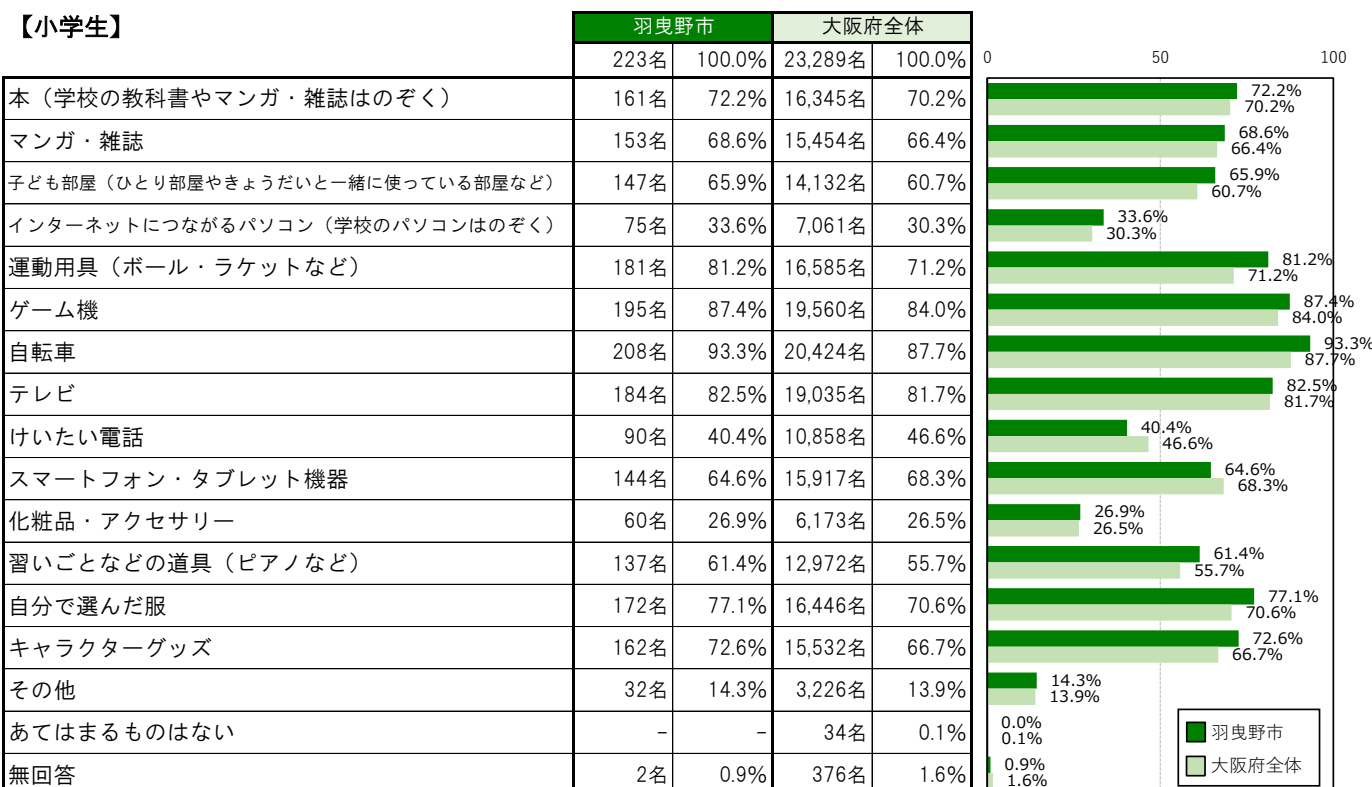
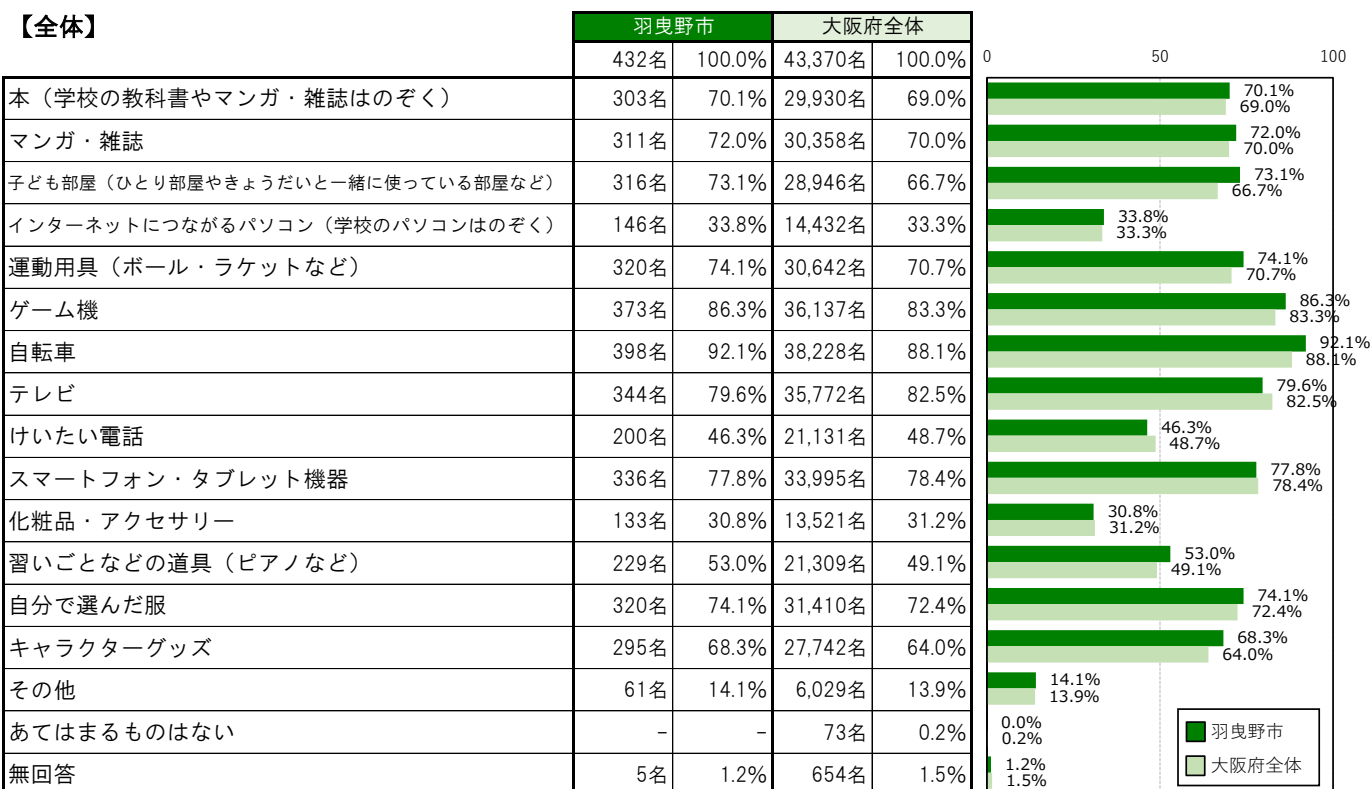
ふだんの生活のことについて

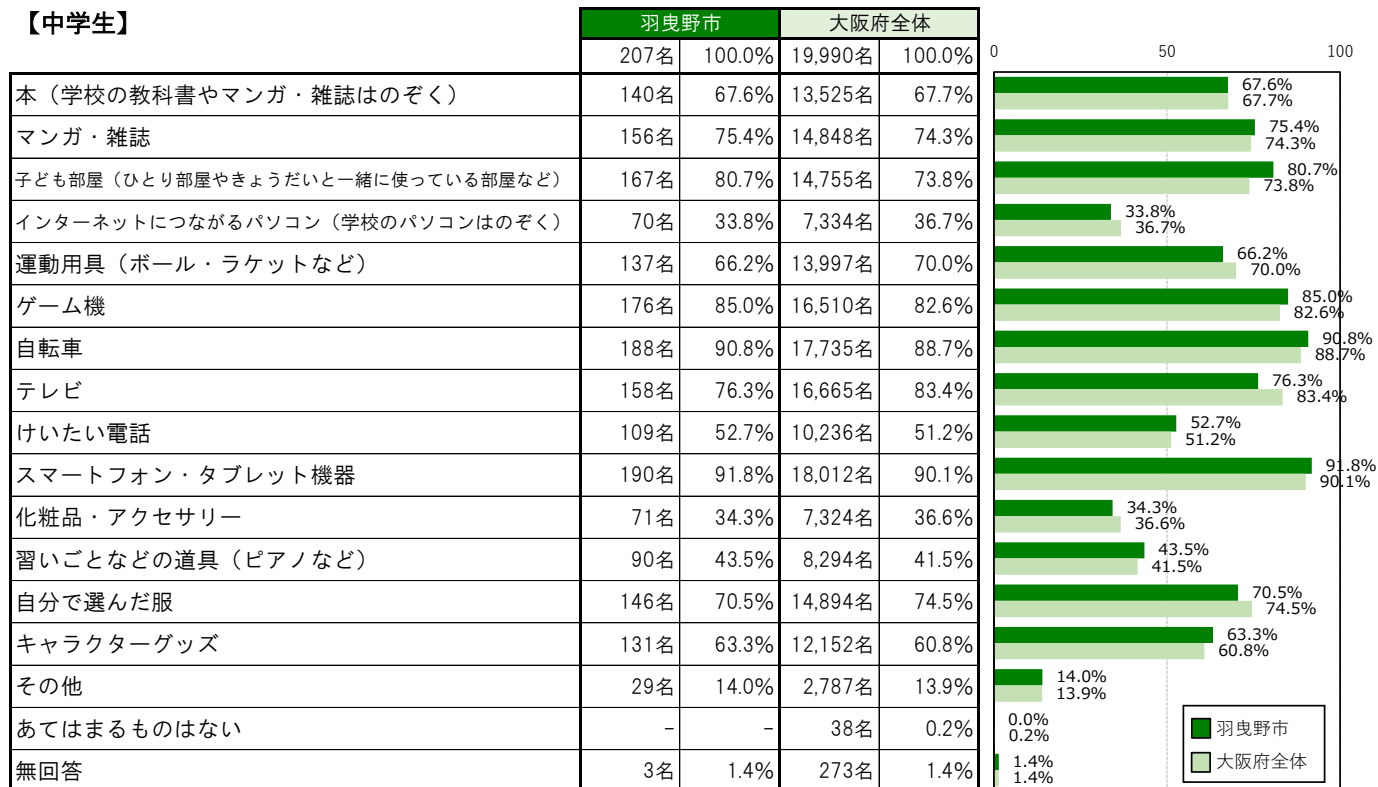
問21 持っているもの、使うことができるもの

全体は、「自転車」が92.1%で最も多く、次いで「ゲーム機」が86.3%、「テレビ」が79.6%、「スマートフォン・タブレット機器」が77.8%となっている。

小学生は、「自転車」が93.3%で最も多く、次いで「ゲーム機」が87.4%、「テレビ」が82.5%、「運動用具（ボール・ラケットなど）」が81.2%となっている。

中学生は、「スマートフォン・タブレット機器」が91.8%で最も多く、次いで「自転車」が90.8%、「ゲーム機」が85.0%、「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）」が80.7%となっている。





ふだん考えていることについて

問22 すぐに立ち直ることができる

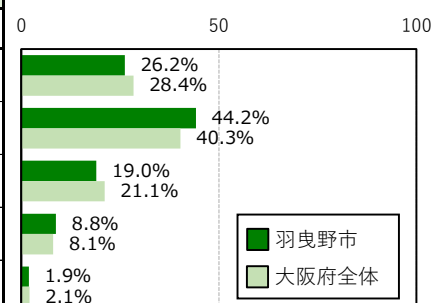
全体は、「どちらかというと思う」が44.2%で最も多く、次いで「そう思う」が26.2%、「どちらかというと思わない」が19.0%、「そう思わない」が8.8%となっている。

小学生は、「どちらかというと思う」が43.0%で最も多く、次いで「そう思う」が31.8%、「どちらかというと思わない」が18.4%、「そう思わない」が4.9%となっている。

中学生は、「どちらかというと思う」が45.9%で最も多く、次いで「どちらかというと思わない」が19.8%、「そう思う」が19.3%、「そう思わない」が13.0%となっている。

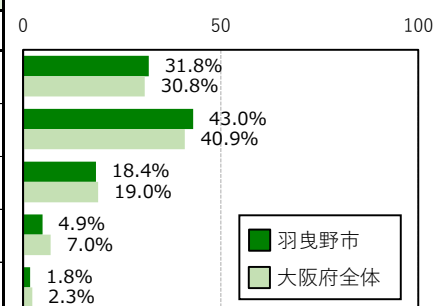
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
そう思う	113名	26.2%	12,318名	28.4%
どちらかというと思う	191名	44.2%	17,480名	40.3%
どちらかというと思わない	82名	19.0%	9,144名	21.1%
そう思わない	38名	8.8%	3,521名	8.1%
無回答	8名	1.9%	907名	2.1%



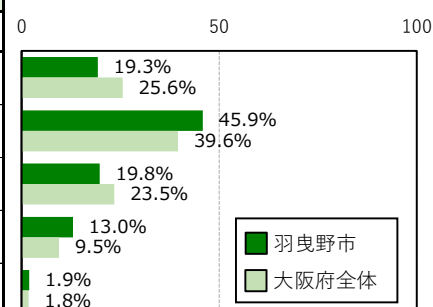
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
そう思う	71名	31.8%	7,172名	30.8%
どちらかというと思う	96名	43.0%	9,521名	40.9%
どちらかというと思わない	41名	18.4%	4,431名	19.0%
そう思わない	11名	4.9%	1,625名	7.0%
無回答	4名	1.8%	540名	2.3%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
そう思う	40名	19.3%	5,119名	25.6%
どちらかというと思う	95名	45.9%	7,917名	39.6%
どちらかというと思わない	41名	19.8%	4,703名	23.5%
そう思わない	27名	13.0%	1,891名	9.5%
無回答	4名	1.9%	360名	1.8%



ふだん考えていることについて

問23 ふだん考えていること（１）自分に自信がある

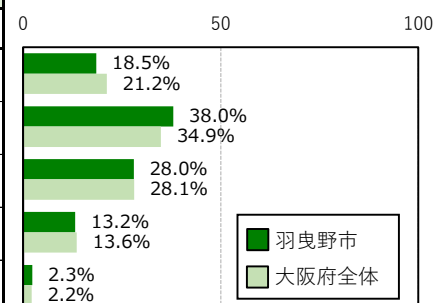
全体は、「どちらかというところある」が38.0%で最も多く、次いで「どちらかというところない」が28.0%、「ある」が18.5%、「ない」が13.2%となっている。

小学生は、「どちらかというところある」が43.0%で最も多く、次いで「ある」が25.1%、「どちらかというところない」が24.7%、「ない」が4.9%となっている。

中学生は、「どちらかというところある」が32.4%で最も多く、次いで「どちらかというところない」が31.9%、「ない」が22.2%、「ある」が11.1%となっている。

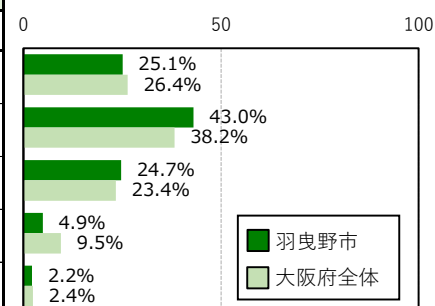
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ある	80名	18.5%	9,192名	21.2%
どちらかというところある	164名	38.0%	15,132名	34.9%
どちらかというところない	121名	28.0%	12,192名	28.1%
ない	57名	13.2%	5,898名	13.6%
無回答	10名	2.3%	956名	2.2%



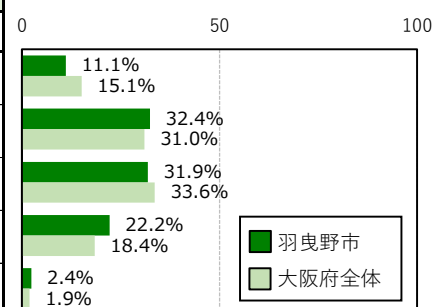
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ある	56名	25.1%	6,157名	26.4%
どちらかというところある	96名	43.0%	8,904名	38.2%
どちらかというところない	55名	24.7%	5,450名	23.4%
ない	11名	4.9%	2,211名	9.5%
無回答	5名	2.2%	567名	2.4%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ある	23名	11.1%	3,011名	15.1%
どちらかというところある	67名	32.4%	6,202名	31.0%
どちらかというところない	66名	31.9%	6,716名	33.6%
ない	46名	22.2%	3,679名	18.4%
無回答	5名	2.4%	382名	1.9%



ふだん考えていることについて

問23 ふだん考えていること（2）自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

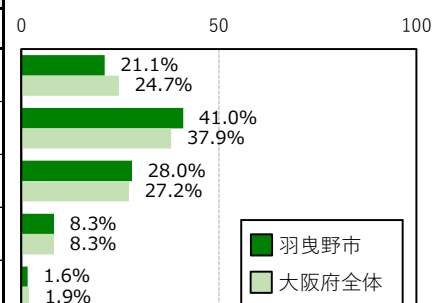
全体は、「どちらかというとできる」が41.0%で最も多く、次いで「どちらかというとできない」が28.0%、「できる」が21.1%、「できない」が8.3%となっている。

小学生は、「どちらかというとできる」が42.2%で最も多く、次いで「どちらかというとできない」が27.8%、「できる」が23.3%、「できない」が5.4%となっている。

中学生は、「どちらかというとできる」が39.6%で最も多く、次いで「どちらかというとできない」が28.5%、「できる」が18.4%、「できない」が11.6%となっている。

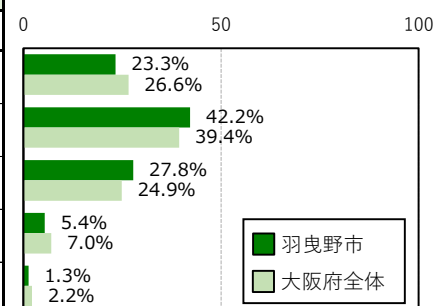
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
できる	91名	21.1%	10,725名	24.7%
どちらかというとできる	177名	41.0%	16,421名	37.9%
どちらかというとできない	121名	28.0%	11,801名	27.2%
できない	36名	8.3%	3,582名	8.3%
無回答	7名	1.6%	841名	1.9%



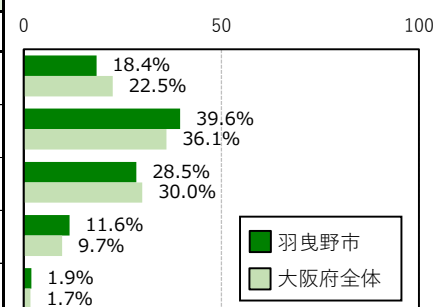
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
できる	52名	23.3%	6,187名	26.6%
どちらかというとできる	94名	42.2%	9,180名	39.4%
どちらかというとできない	62名	27.8%	5,791名	24.9%
できない	12名	5.4%	1,629名	7.0%
無回答	3名	1.3%	502名	2.2%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
できる	38名	18.4%	4,507名	22.5%
どちらかというとできる	82名	39.6%	7,209名	36.1%
どちらかというとできない	59名	28.5%	5,993名	30.0%
できない	24名	11.6%	1,947名	9.7%
無回答	4名	1.9%	334名	1.7%



ふだん考えていることについて

問23 ふだん考えていること（3）自分の将来の夢や目標を持っている

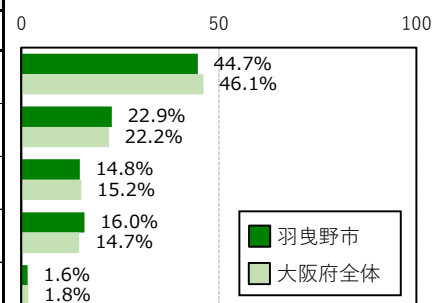
全体は、「持っている」が44.7%で最も多く、次いで「どちらかというを持っている」が22.9%、「持っていない」が16.0%、「どちらかという持っていない」が14.8%となっている。

小学生は、「持っている」が58.7%で最も多く、次いで「どちらかというを持っている」が17.9%、「持っていない」が12.6%、「どちらかという持っていない」が9.4%となっている。

中学生は、「持っている」が29.0%で最も多く、次いで「どちらかというを持っている」が28.5%、「どちらかという持っていない」が20.8%、「持っていない」が19.8%となっている。

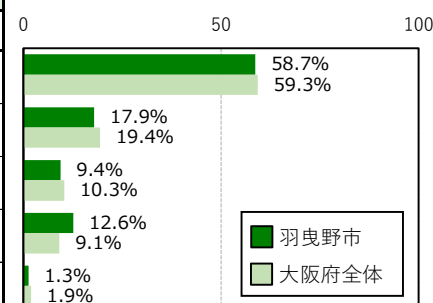
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
持っている	193名	44.7%	19,990名	46.1%
どちらかというを持っている	99名	22.9%	9,645名	22.2%
どちらかという持っていない	64名	14.8%	6,609名	15.2%
持っていない	69名	16.0%	6,354名	14.7%
無回答	7名	1.6%	772名	1.8%



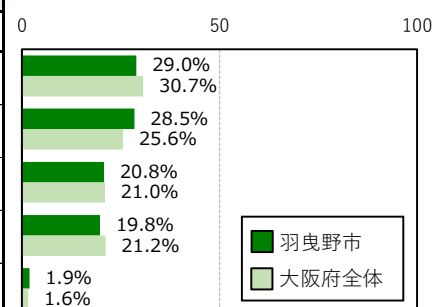
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
持っている	131名	58.7%	13,811名	59.3%
どちらかというを持っている	40名	17.9%	4,518名	19.4%
どちらかという持っていない	21名	9.4%	2,398名	10.3%
持っていない	28名	12.6%	2,108名	9.1%
無回答	3名	1.3%	454名	1.9%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
持っている	60名	29.0%	6,139名	30.7%
どちらかというを持っている	59名	28.5%	5,108名	25.6%
どちらかという持っていない	43名	20.8%	4,195名	21.0%
持っていない	41名	19.8%	4,235名	21.2%
無回答	4名	1.9%	313名	1.6%



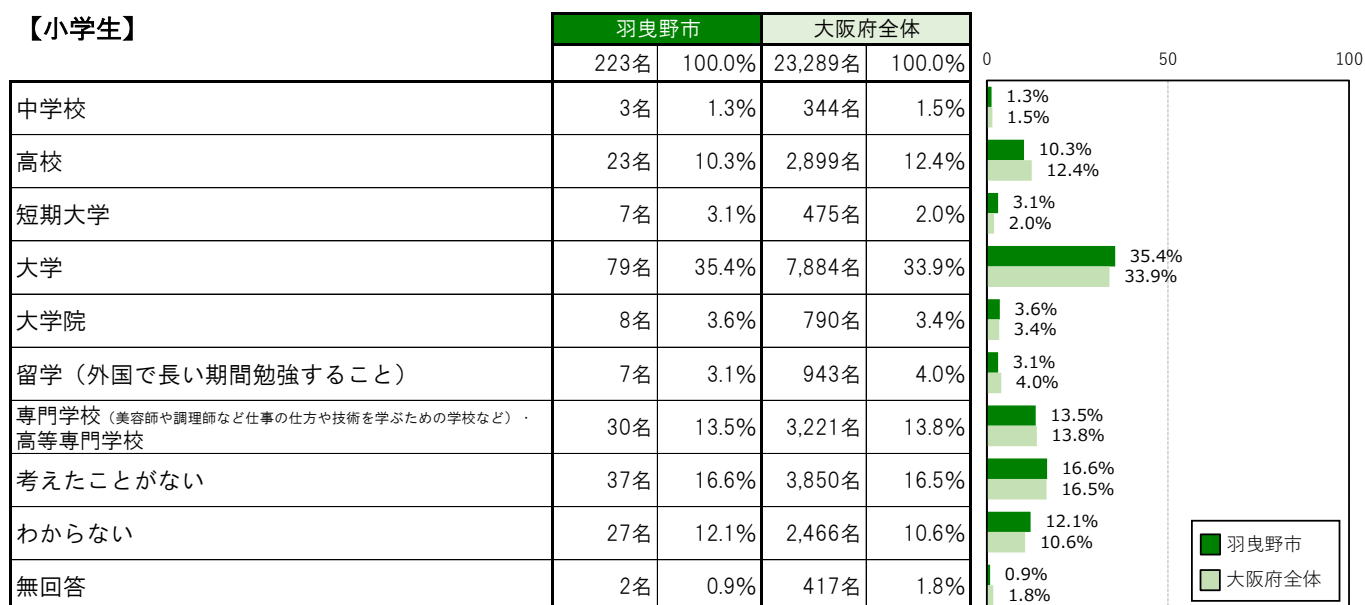
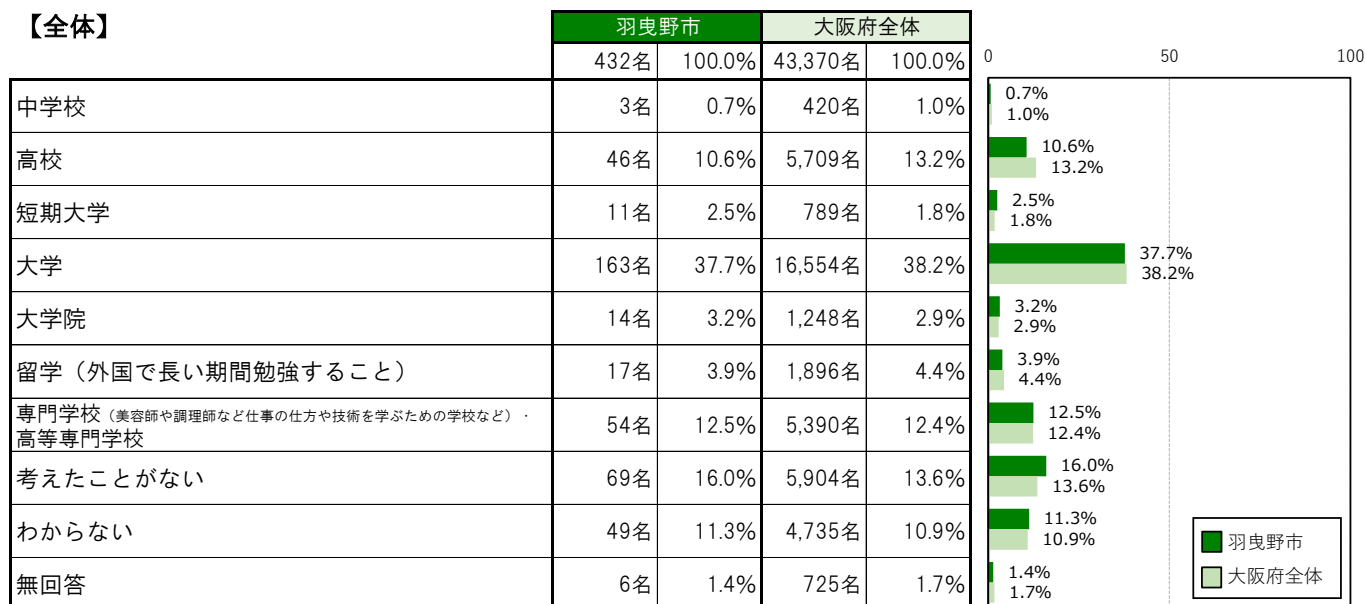
ふだん考えていることについて

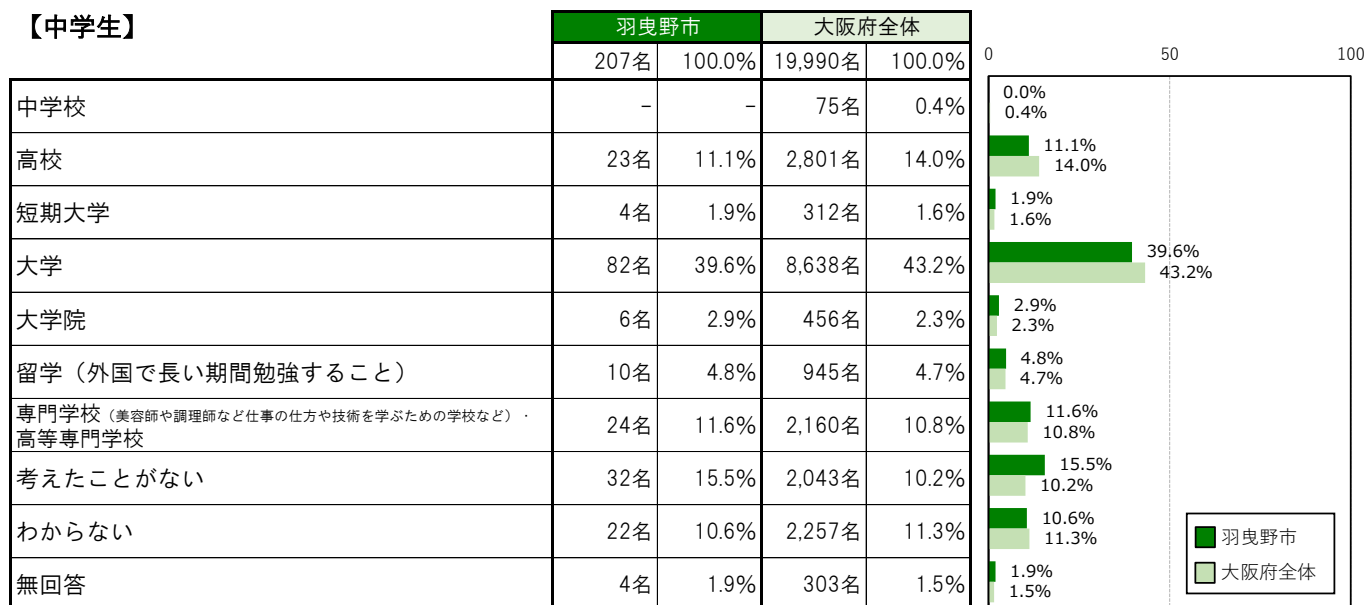
問24 希望する進学先

全体は、「大学」が37.7%で最も多く、次いで「考えたことがない」が16.0%、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が12.5%、「高校」が10.6%となっている。

小学生は、「大学」が35.4%で最も多く、次いで「考えたことがない」が16.6%、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が13.5%、「高校」が10.3%となっている。

中学生は、「大学」が39.6%で最も多く、次いで「考えたことがない」が15.5%、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が11.6%、「高校」が11.1%となっている。





あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況 ①平日の夜や休日を過ごすことができる場所（学童保育など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が37.7%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が28.9%、「利用したことがある」が26.4%となっている。

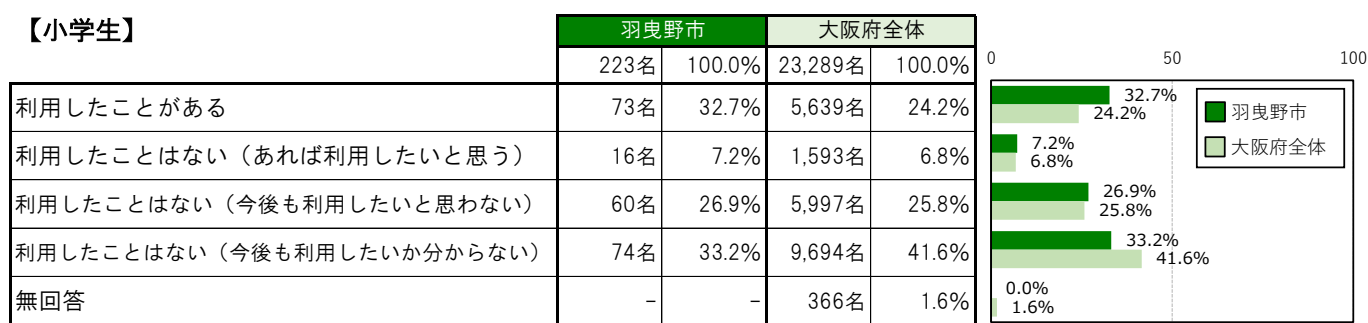
小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が33.2%で最も多く、次いで「利用したことがある」が32.7%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が26.9%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が42.5%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が31.4%、「利用したことがある」が19.3%となっている。

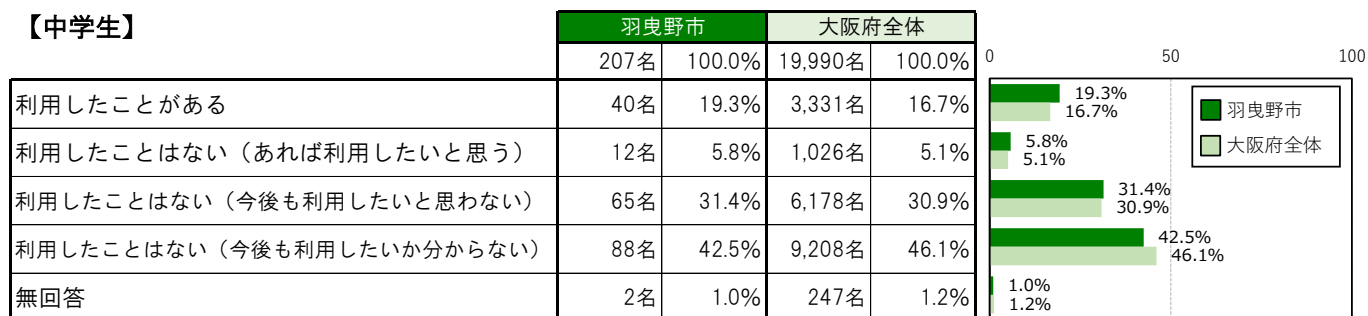
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況

②昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が47.2%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が28.2%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が17.6%となっている。

小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が40.8%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が27.4%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が24.2%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が53.6%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が29.5%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が10.6%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況

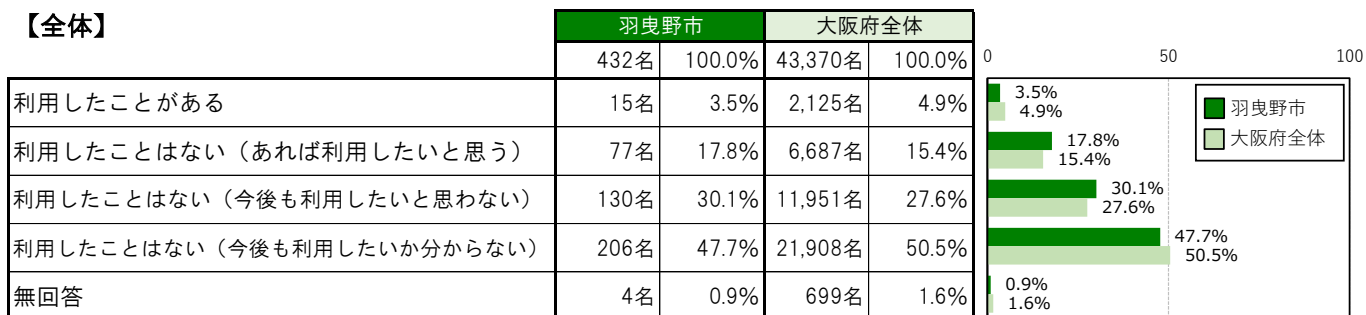
③勉強を無料か安い料金でみてくれる場所（一般的な学習塾とはちがう学習支援など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が47.7%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が30.1%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が17.8%となっている。

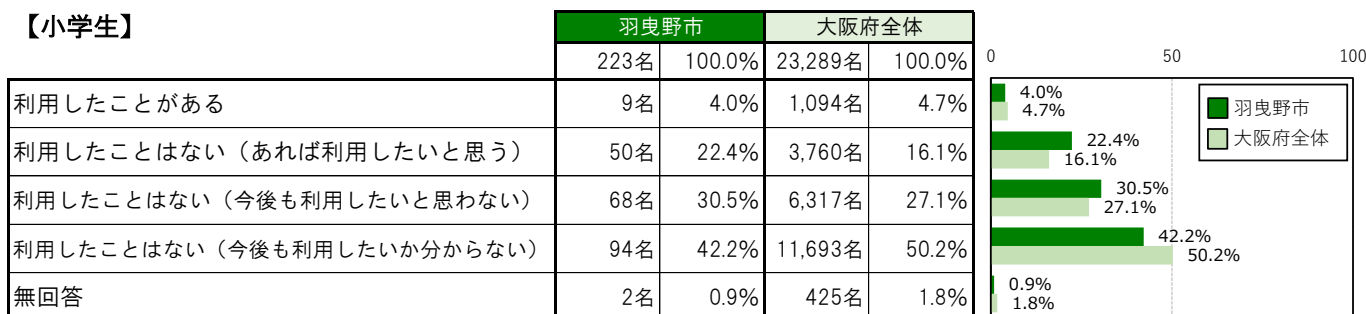
小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が42.2%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が30.5%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が22.4%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が53.1%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が30.0%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が13.0%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

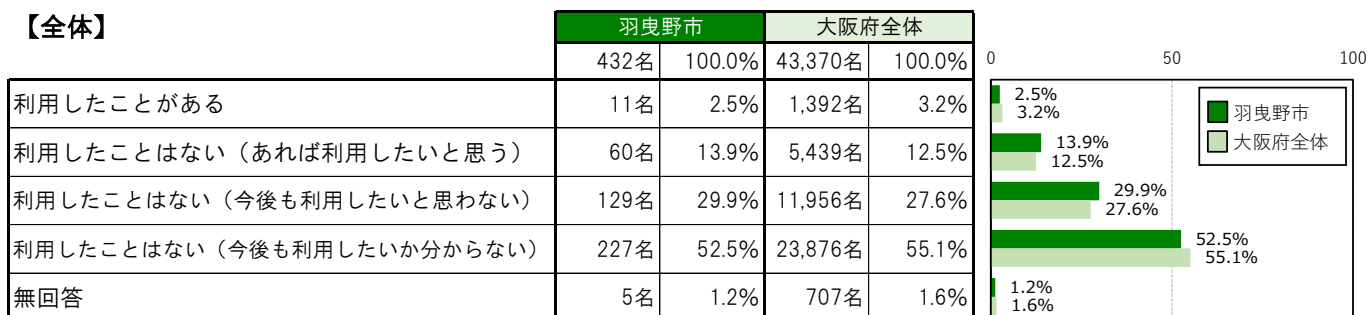
問25（１）子どもの居場所の利用状況 ④何でも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ。）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が52.5%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が29.9%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が13.9%となっている。

小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が48.9%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が27.8%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が19.7%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が56.0%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が32.4%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が7.7%となっている。

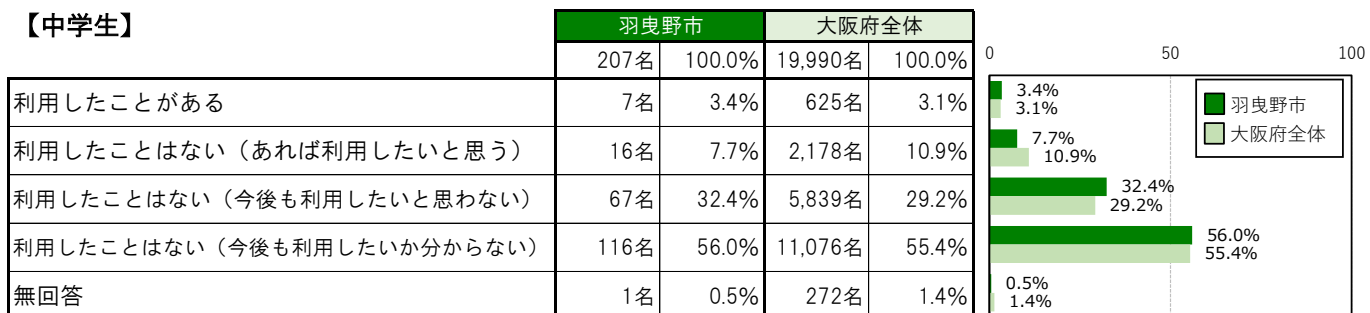
【全体】



【小学生】



【中学生】



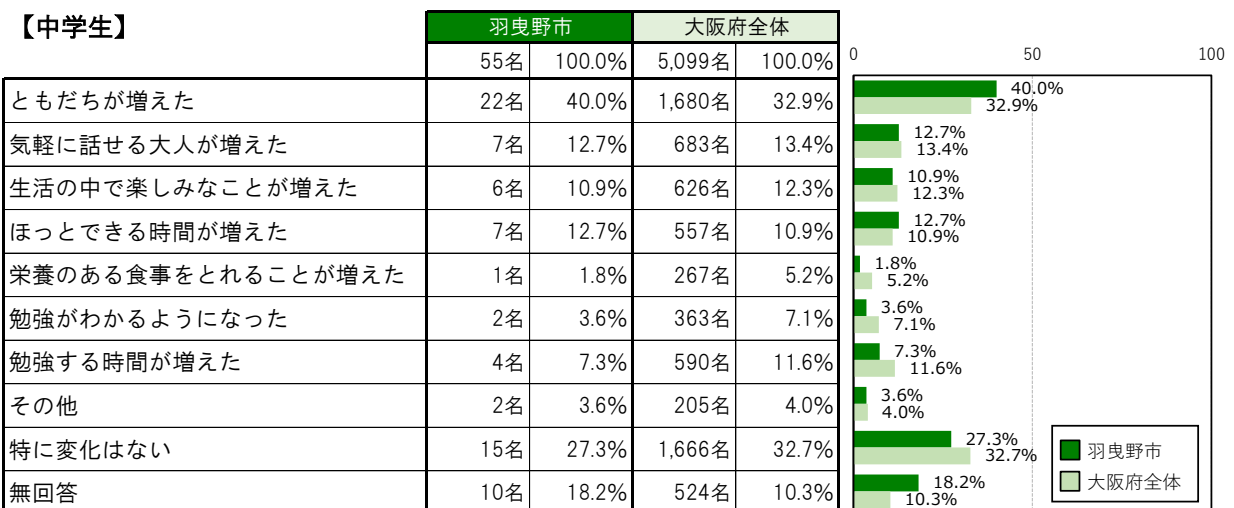
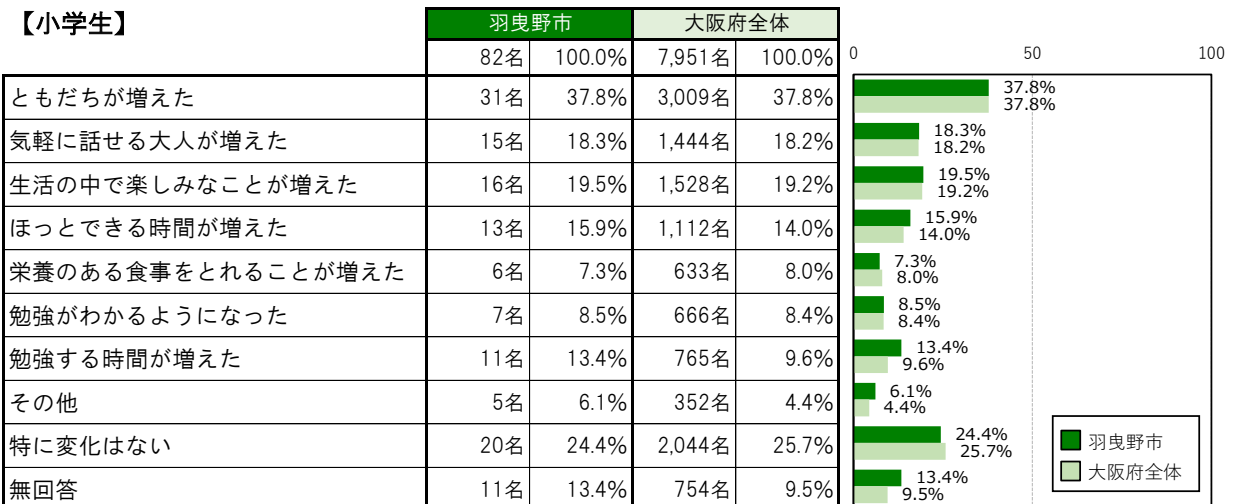
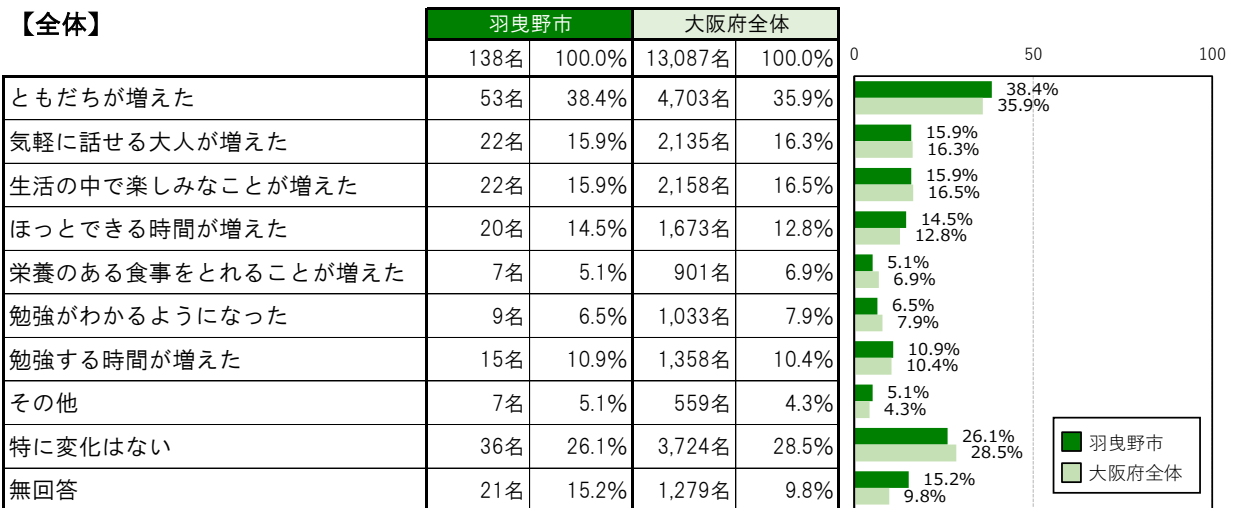
あなたのことについて

問25（２）子どもの居場所を利用したときの変化

全体は、「ともだちが増えた」が38.4%で最も多く、次いで「気軽に話せる大人が増えた」と「生活の中で楽しみなことが増えた」がそれぞれ15.9%、「ほっとできる時間が増えた」が14.5%、「勉強する時間が増えた」が10.9%となっている。

小学生は、「ともだちが増えた」が37.8%で最も多く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が19.5%、「気軽に話せる大人が増えた」が18.3%、「ほっとできる時間が増えた」が15.9%となっている。

中学生は、「ともだちが増えた」が40.0%で最も多く、次いで「気軽に話せる大人が増えた」と「ほっとできる時間が増えた」がそれぞれ12.7%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が10.9%、「勉強する時間が増えた」が7.3%となっている。



あなたのことについて

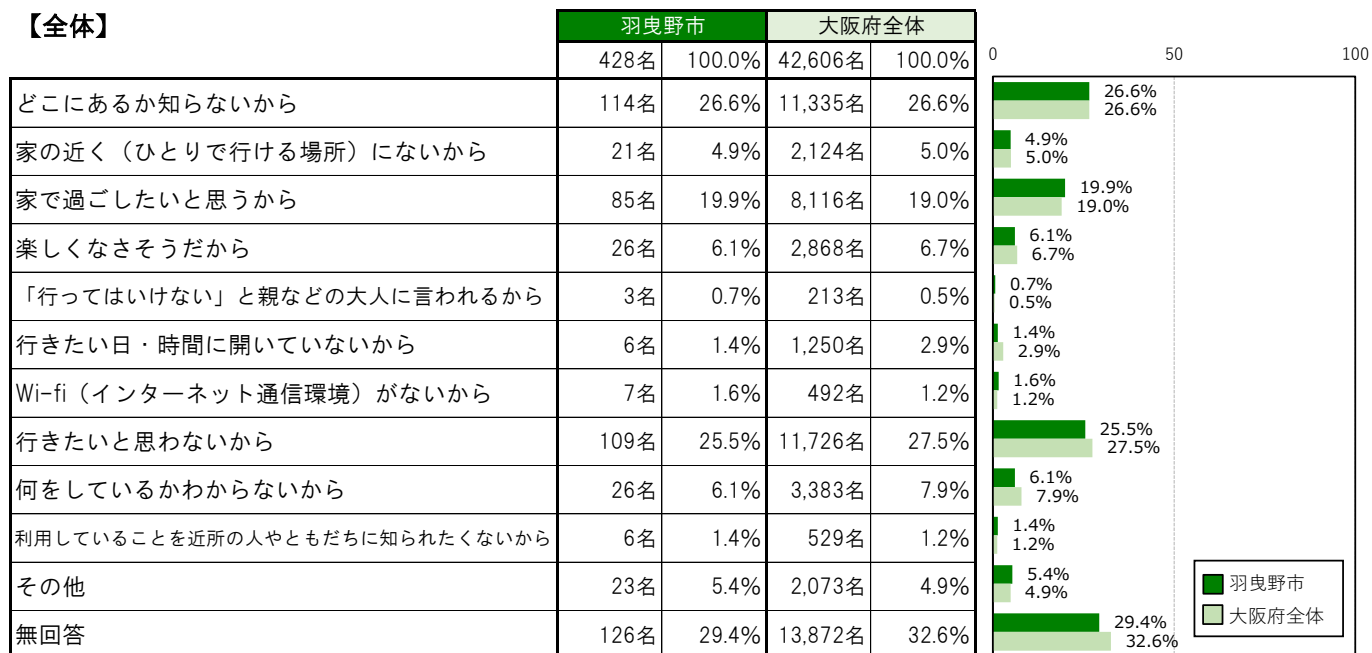
問25（3）子どもの居場所を利用したことがない理由

全体は、「どこにあるか知らないから」が26.6%で最も多く、次いで「行きたいと思わないから」が25.5%、「家で過ごしたいと思うから」が19.9%、「楽しくなさそうだから」と「何をしているかわからないから」がそれぞれ6.1%となっている。

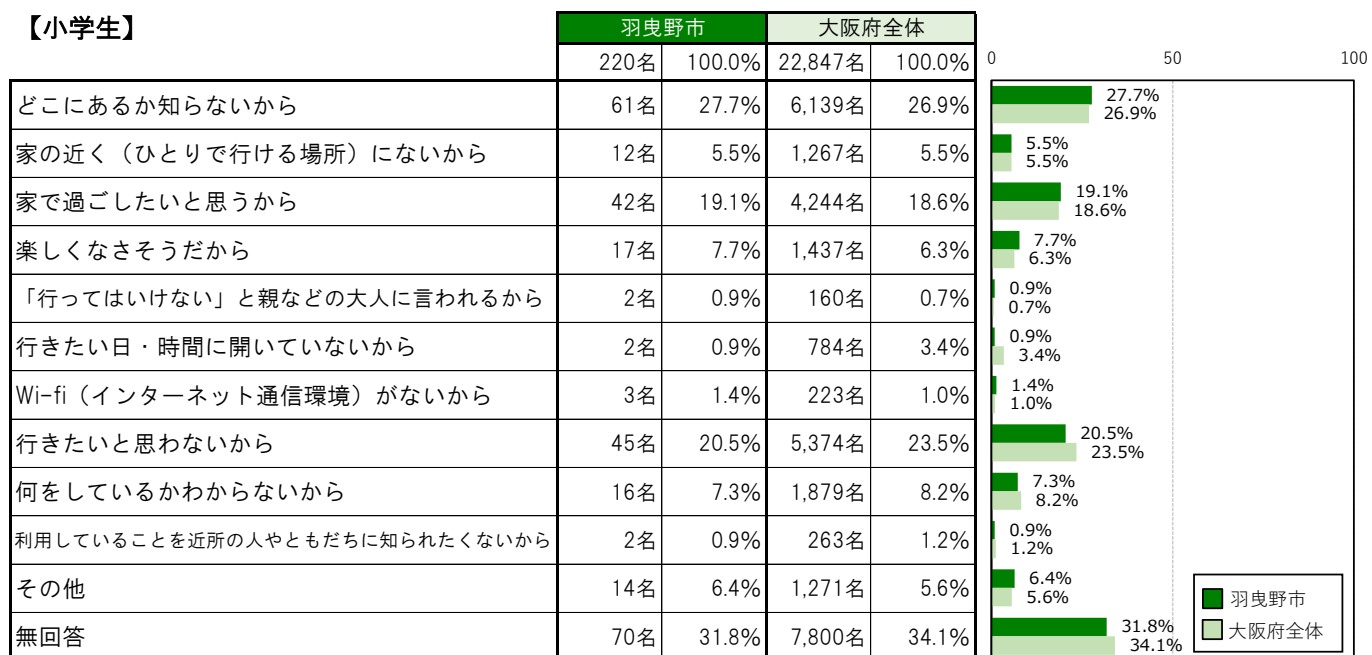
小学生は、「どこにあるか知らないから」が27.7%で最も多く、次いで「行きたいと思わないから」が20.5%、「家で過ごしたいと思うから」が19.1%、「楽しくなさそうだから」が7.7%となっている。

中学生は、「行きたいと思わないから」が30.6%で最も多く、次いで「どこにあるか知らないから」が25.7%、「家で過ごしたいと思うから」が20.9%、「何をしているかわからないから」が4.9%となっている。

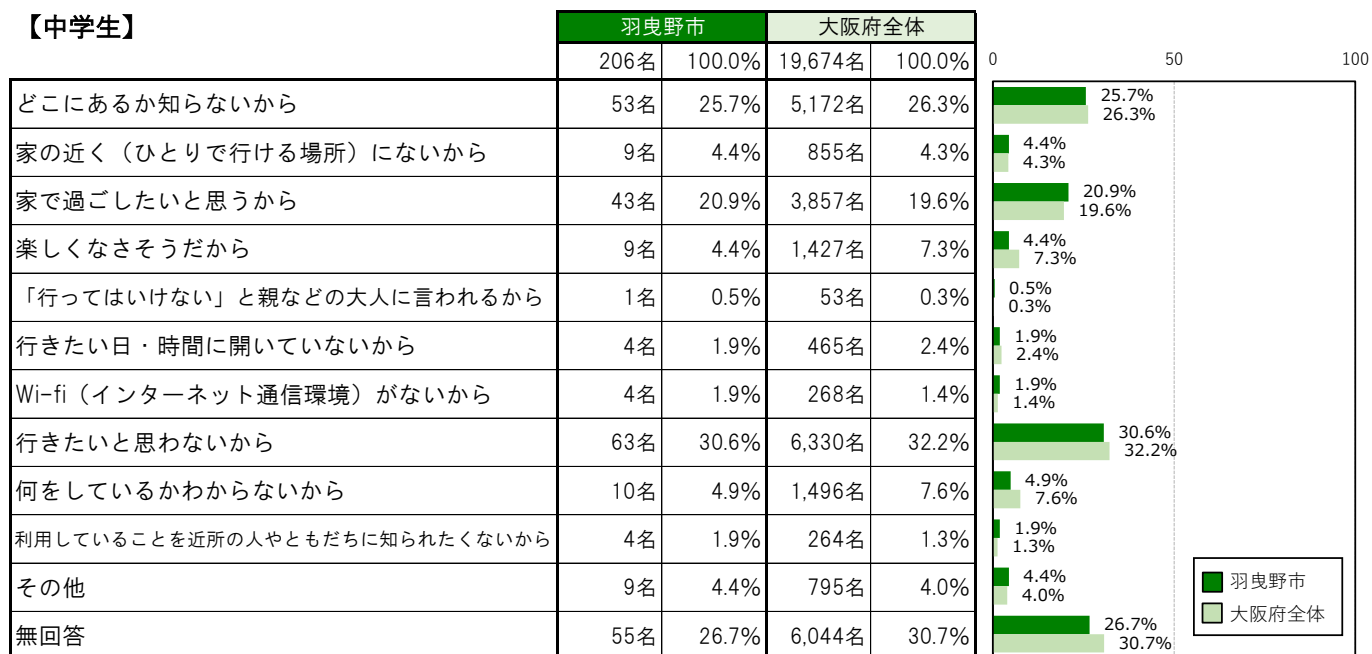
【全体】



【小学生】



【中学生】



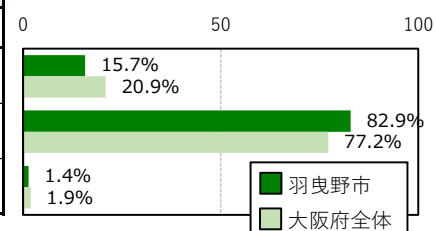
あなたのことについて

問26（１）自分が世話をしている人の有無

全体は、「いる」が15.7%、「いない」が82.9%となっている。
 小学生は、「いる」が19.7%、「いない」が80.3%となっている。
 中学生は、「いる」が11.6%、「いない」が85.5%となっている。

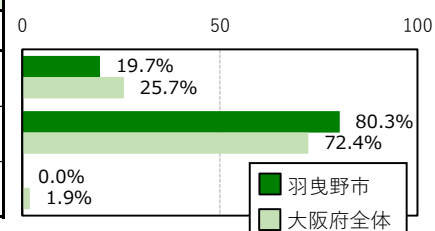
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
	432名	100.0%	43,370名	100.0%
いる	68名	15.7%	9,054名	20.9%
いない	358名	82.9%	33,476名	77.2%
無回答	6名	1.4%	840名	1.9%



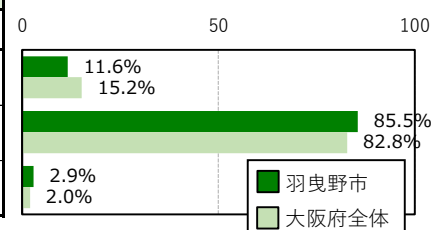
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
	223名	100.0%	23,289名	100.0%
いる	44名	19.7%	5,988名	25.7%
いない	179名	80.3%	16,856名	72.4%
無回答	-	-	445名	1.9%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
	207名	100.0%	19,990名	100.0%
いる	24名	11.6%	3,045名	15.2%
いない	177名	85.5%	16,553名	82.8%
無回答	6名	2.9%	392名	2.0%



あなたのことについて

問26（2）世話をしている相手

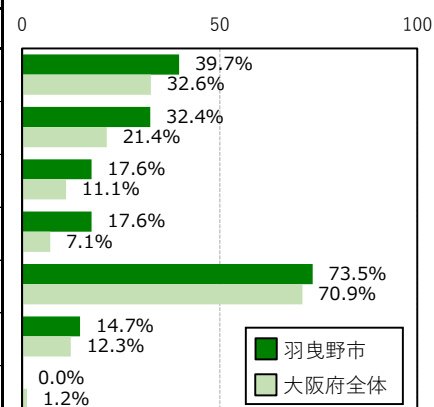
全体は、「きょうだい」が73.5%で最も多く、次いで「お母さん」が39.7%、「お父さん」が32.4%、「おばあちゃん」と「おじいちゃん」がそれぞれ17.6%となっている。

小学生は、「きょうだい」が77.3%で最も多く、次いで「お母さん」が43.2%、「お父さん」が36.4%、「おばあちゃん」が20.5%となっている。

中学生は、「きょうだい」が66.7%で最も多く、次いで「お母さん」が33.3%、「お父さん」が25.0%、「おじいちゃん」が20.8%となっている。

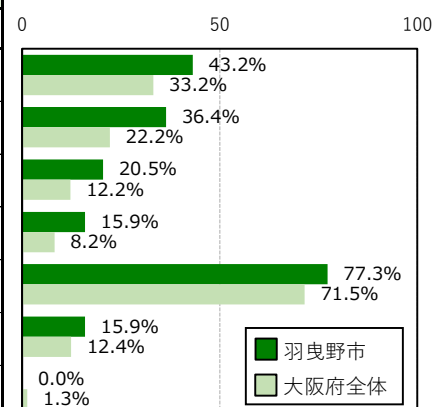
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
お母さん	27名	39.7%	2,954名	32.6%
お父さん	22名	32.4%	1,939名	21.4%
おばあちゃん	12名	17.6%	1,009名	11.1%
おじいちゃん	12名	17.6%	647名	7.1%
きょうだい	50名	73.5%	6,419名	70.9%
その他	10名	14.7%	1,117名	12.3%
無回答	-	-	112名	1.2%



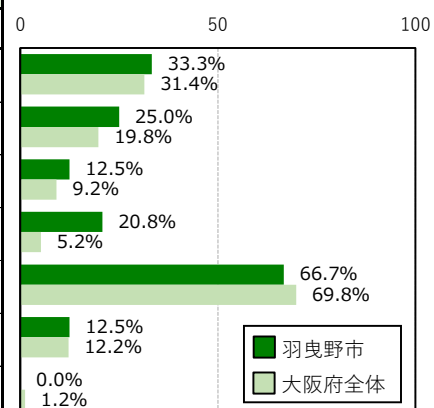
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
お母さん	19名	43.2%	1,990名	33.2%
お父さん	16名	36.4%	1,332名	22.2%
おばあちゃん	9名	20.5%	728名	12.2%
おじいちゃん	7名	15.9%	489名	8.2%
きょうだい	34名	77.3%	4,280名	71.5%
その他	7名	15.9%	741名	12.4%
無回答	-	-	75名	1.3%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
お母さん	8名	33.3%	957名	31.4%
お父さん	6名	25.0%	604名	19.8%
おばあちゃん	3名	12.5%	280名	9.2%
おじいちゃん	5名	20.8%	157名	5.2%
きょうだい	16名	66.7%	2,125名	69.8%
その他	3名	12.5%	370名	12.2%
無回答	-	-	37名	1.2%



あなたのことについて

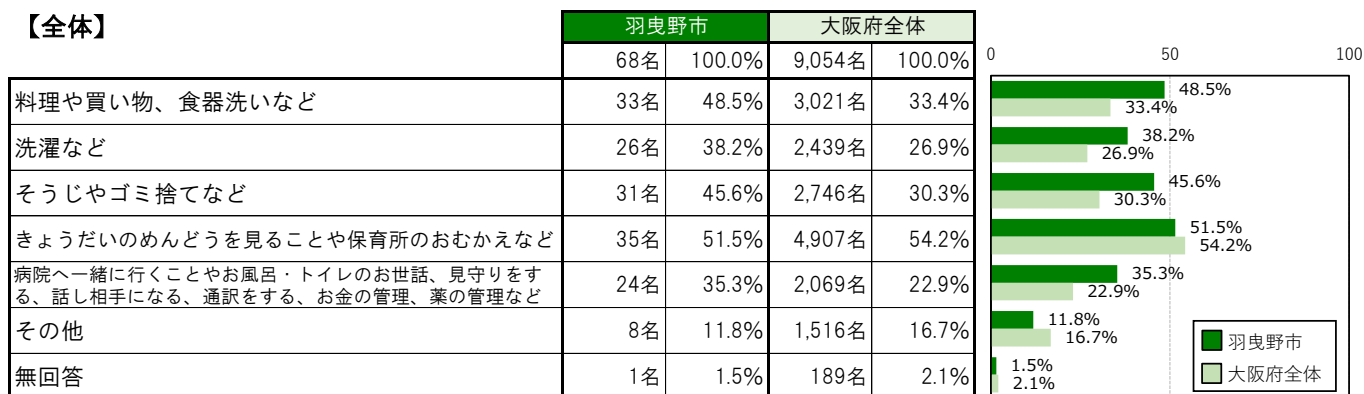
問26（3）世話をしている内容

全体は、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が51.5%で最も多く、次いで「料理や買い物、食器洗いなど」が48.5%、「そうじやゴミ捨てなど」が45.6%、「洗濯など」が38.2%となっている。

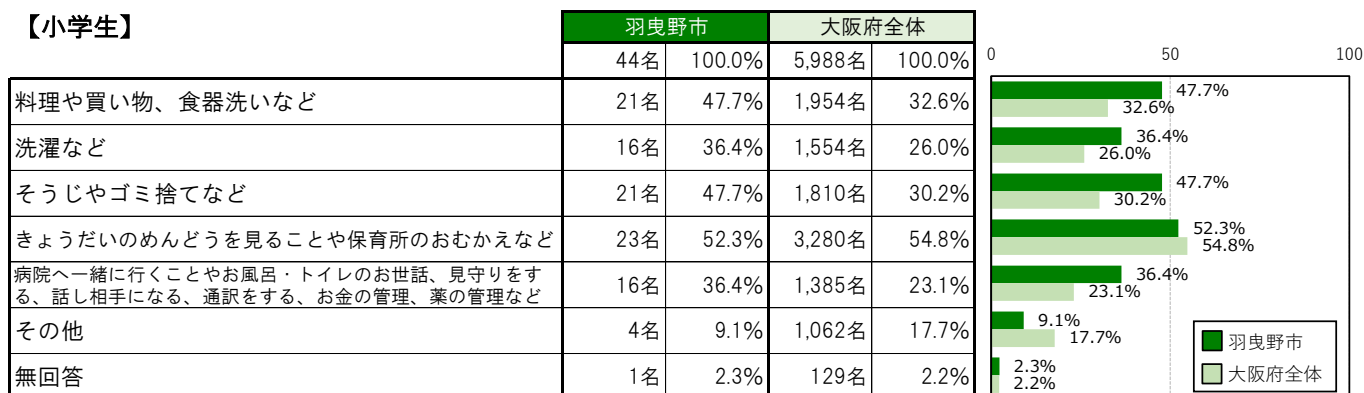
小学生は、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が52.3%で最も多く、次いで「料理や買い物、食器洗いなど」、「そうじやゴミ捨てなど」がそれぞれ47.7%、「洗濯など」と「病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など」がそれぞれ36.4%となっている。

中学生は、「料理や買い物、食器洗いなど」と「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」がそれぞれ50.0%で最も多く、次いで「洗濯など」と「そうじやゴミ捨てなど」がそれぞれ41.7%となっている。

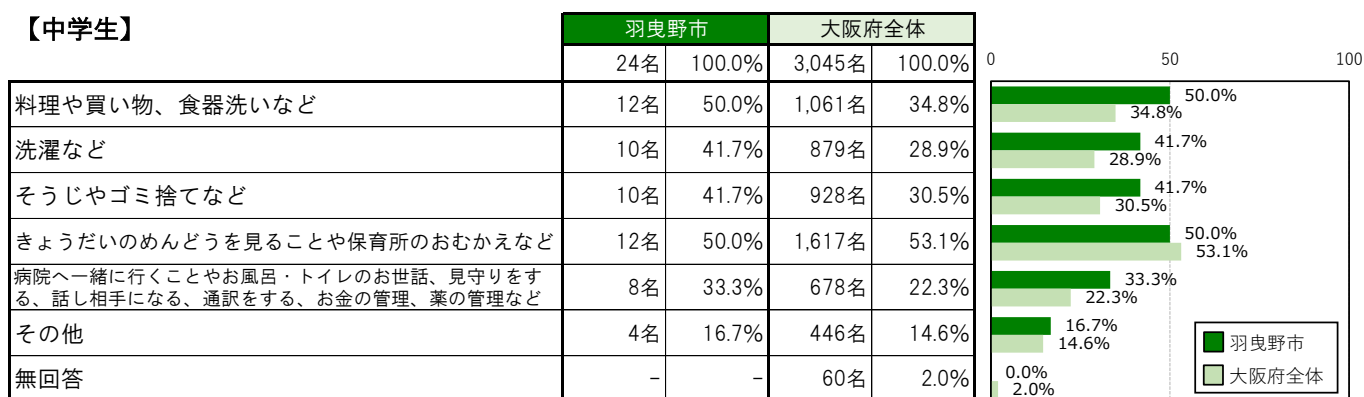
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

問26（５）世話をする頻度

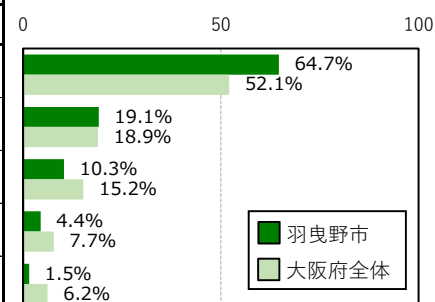
全体は、「ほぼ毎日」が64.7%で最も多く、次いで「週に3日～5日」が19.1%、「週に1日または2日」が10.3%、「1か月に数日」が4.4%となっている。

小学生は、「ほぼ毎日」が65.9%で最も多く、次いで「週に3日～5日」が22.7%、「週に1日または2日」が6.8%、「1か月に数日」が2.3%となっている。

中学生は、「ほぼ毎日」が62.5%で最も多く、次いで「週に1日または2日」が16.7%、「週に3日～5日」が12.5%、「1か月に数日」が8.3%となっている。

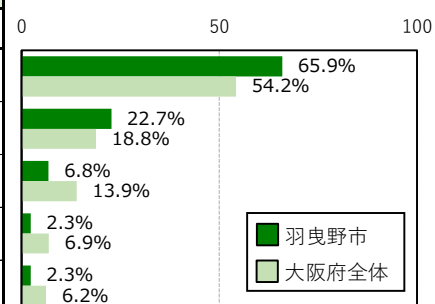
【全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
ほぼ毎日	68名	100.0%	9,054名	100.0%
週に3日～5日	44名	64.7%	4,716名	52.1%
週に1日または2日	13名	19.1%	1,708名	18.9%
1か月に数日	7名	10.3%	1,375名	15.2%
1か月に数日	3名	4.4%	694名	7.7%
無回答	1名	1.5%	561名	6.2%



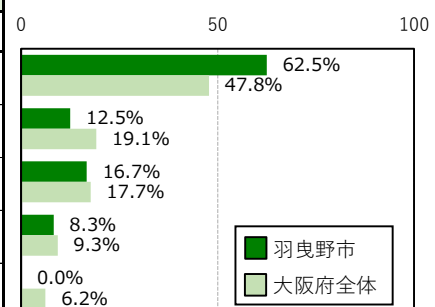
【小学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
ほぼ毎日	44名	100.0%	5,988名	100.0%
ほぼ毎日	29名	65.9%	3,246名	54.2%
週に3日～5日	10名	22.7%	1,125名	18.8%
週に1日または2日	3名	6.8%	832名	13.9%
1か月に数日	1名	2.3%	412名	6.9%
無回答	1名	2.3%	373名	6.2%



【中学生】

	羽曳野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
ほぼ毎日	24名	100.0%	3,045名	100.0%
ほぼ毎日	15名	62.5%	1,455名	47.8%
週に3日～5日	3名	12.5%	582名	19.1%
週に1日または2日	4名	16.7%	538名	17.7%
1か月に数日	2名	8.3%	282名	9.3%
無回答	-	-	188名	6.2%



あなたのことについて

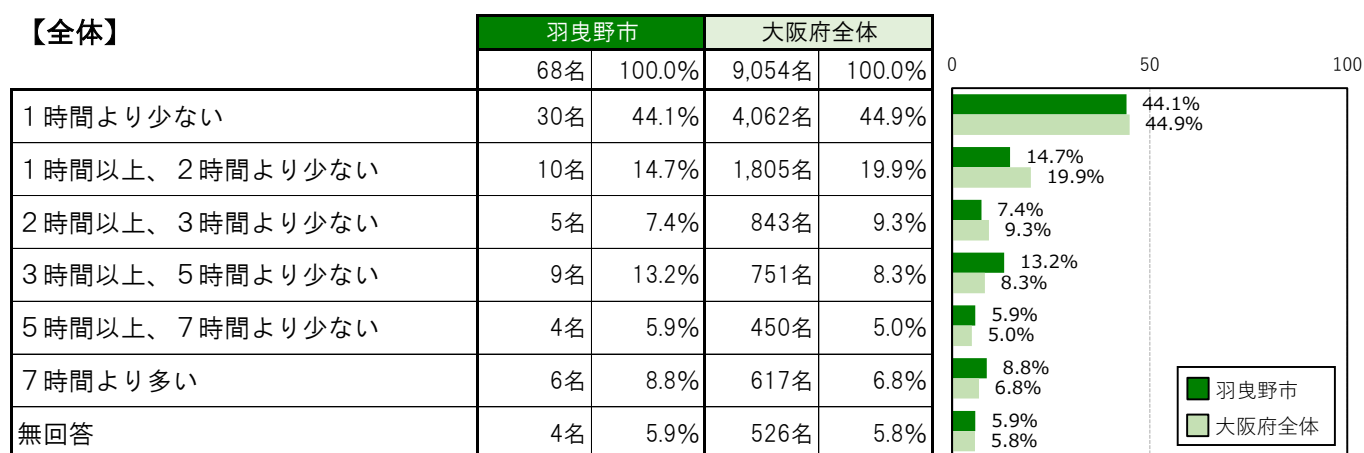
問26（6）学校がある日に世話をする1日の時間

全体は、「1時間より少ない」が44.1%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が14.7%、「3時間以上、5時間より少ない」が13.2%、「7時間より多い」が8.8%となっている。

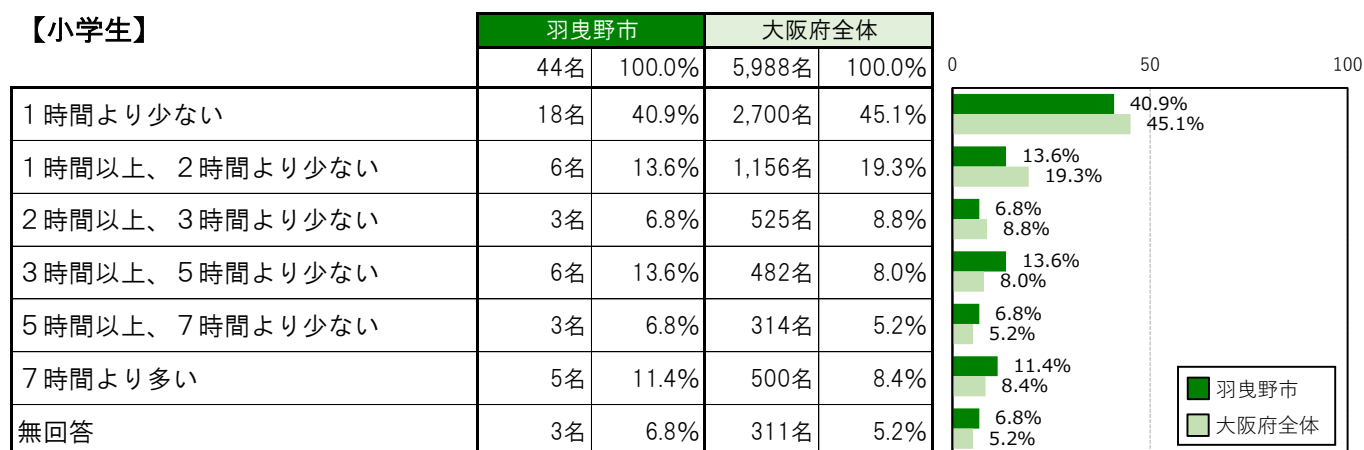
小学生は、「1時間より少ない」が40.9%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」と「3時間以上、5時間より少ない」がそれぞれ13.6%、「7時間より多い」が11.4%となっている。

中学生は、「1時間より少ない」が50.0%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が16.7%、「3時間以上、5時間より少ない」が12.5%、「2時間以上、3時間より少ない」が8.3%となっている。

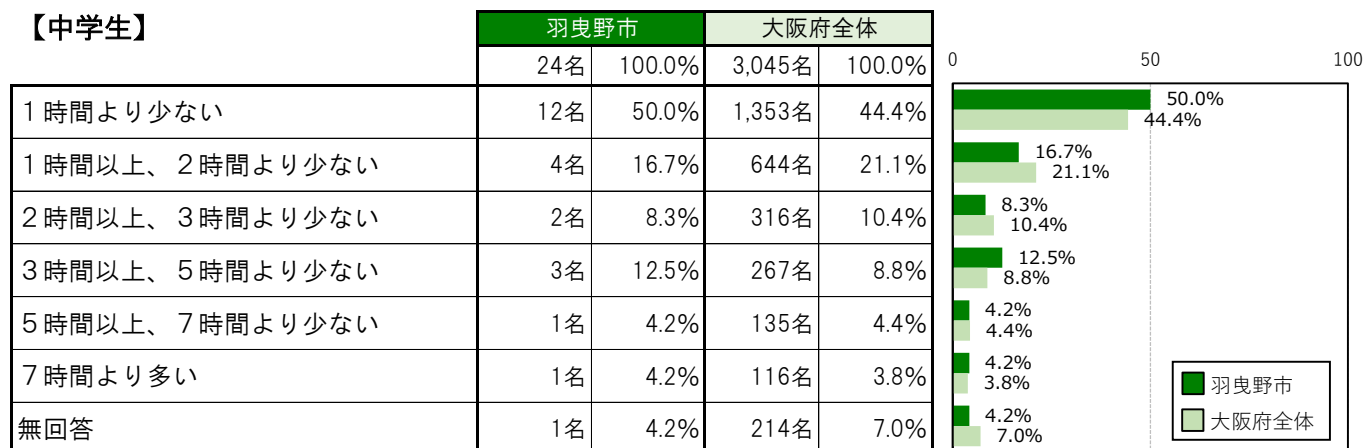
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

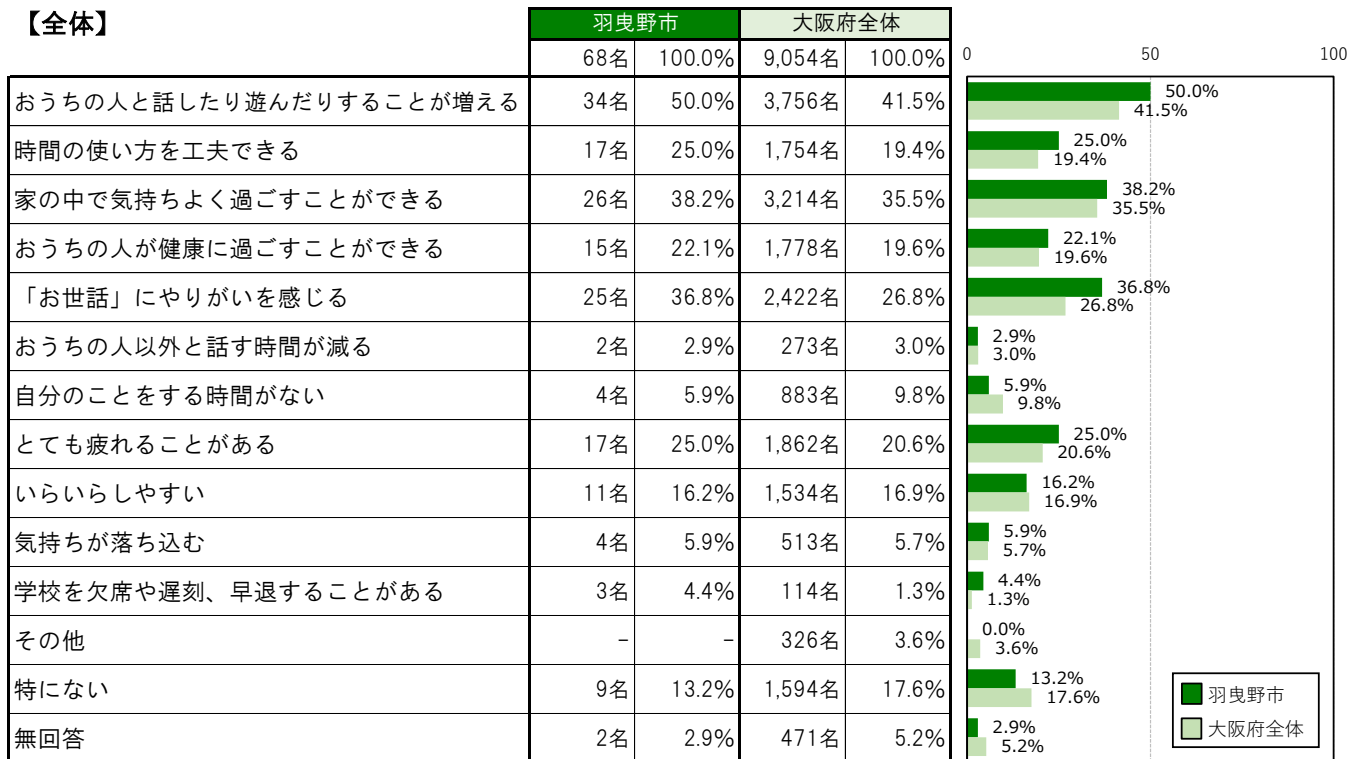
問26（7）世話をしていることの影響

全体は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が50.0%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が38.2%、「「お世話」にやりがいを感じる」が36.8%、「時間の使い方を工夫できる」と「とても疲れることがある」がそれぞれ25.0%となっている。

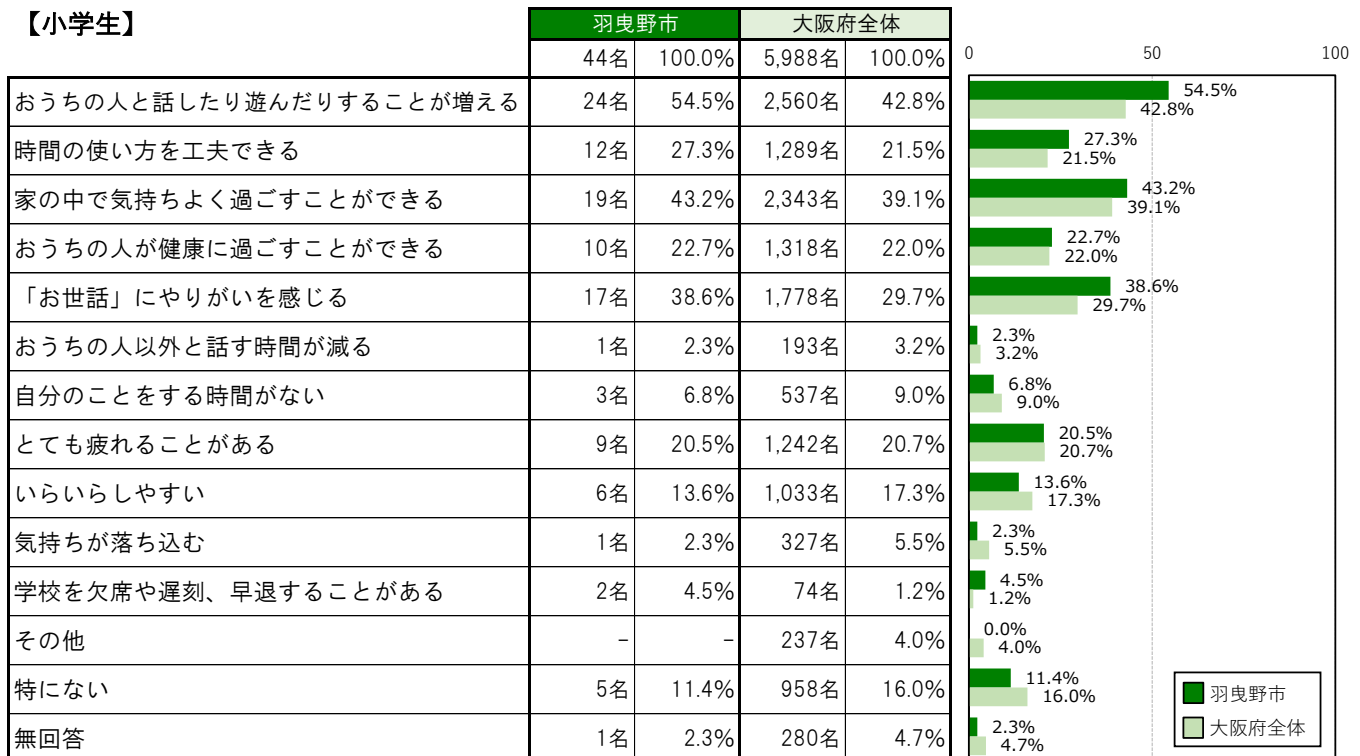
小学生は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が54.5%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が43.2%、「「お世話」にやりがいを感じる」が38.6%、「時間の使い方を工夫できる」が27.3%となっている。

中学生は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が41.7%で最も多く、次いで「「お世話」にやりがいを感じる」と「とても疲れることがある」がそれぞれ33.3%、「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が29.2%となっている。

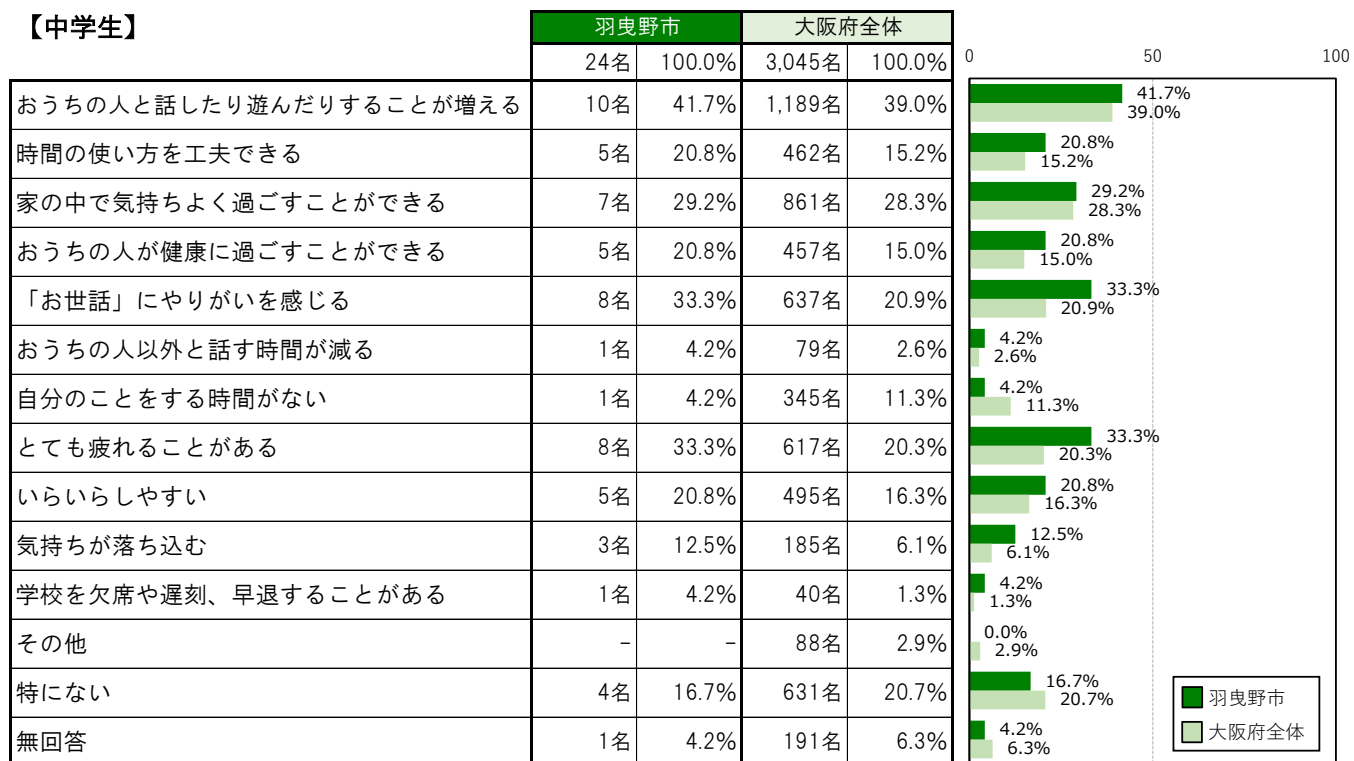
【全体】



【小学生】



【中学生】



2. 単純集計結果〔保護者〕

羽曳野市

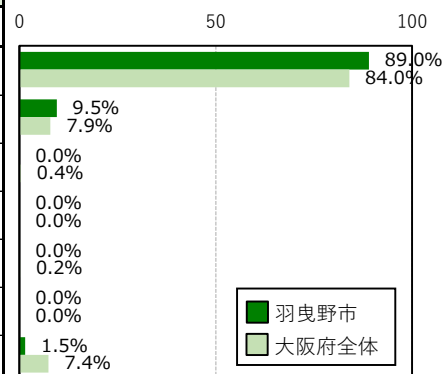
子どもとの関係について

問1 子どもとの続柄

保護者全体は、「お母さん」が89.0%で最も多く、次いで「お父さん」が9.5%となっている。
小学生の保護者は、「お母さん」が88.9%で最も多く、次いで「お父さん」が8.3%となっている。
中学生の保護者は、「お母さん」が88.8%で最も多く、次いで「お父さん」が10.7%となっている。

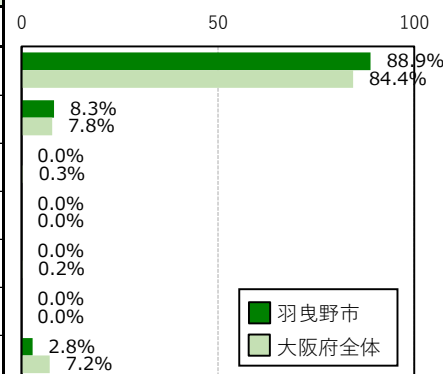
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	455名	100.0%	43,358名	100.0%
お父さん	43名	9.5%	3,426名	7.9%
おじいさん・おばあさん	-	-	154名	0.4%
おじ、おばなど親戚	-	-	15名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	91名	0.2%
その他の人	-	-	14名	0.0%
無回答	7名	1.5%	3,222名	7.4%



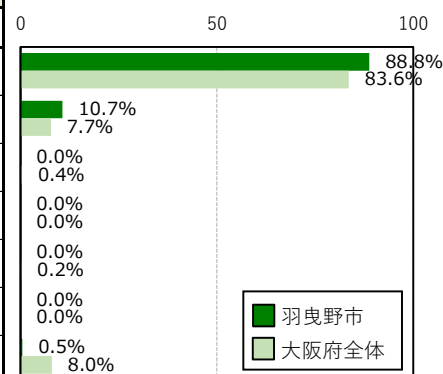
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	192名	88.9%	19,261名	84.4%
お父さん	18名	8.3%	1,776名	7.8%
おじいさん・おばあさん	-	-	75名	0.3%
おじ、おばなど親戚	-	-	7名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	47名	0.2%
その他の人	-	-	3名	0.0%
無回答	6名	2.8%	1,650名	7.2%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	174名	88.8%	16,208名	83.6%
お父さん	21名	10.7%	1,488名	7.7%
おじいさん・おばあさん	-	-	77名	0.4%
おじ、おばなど親戚	-	-	7名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	44名	0.2%
その他の人	-	-	8名	0.0%
無回答	1名	0.5%	1,558名	8.0%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ①おばあさん

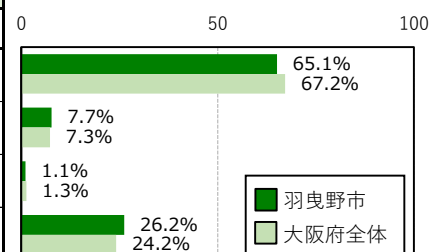
保護者全体は、「いない」が65.1%で最も多く、次いで「1人」が7.7%、「2人」が1.1%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が68.1%で最も多く、次いで「1人」が8.8%、「2人」が0.9%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が63.3%で最も多く、次いで「1人」が7.1%、「2人」が1.5%となっている。

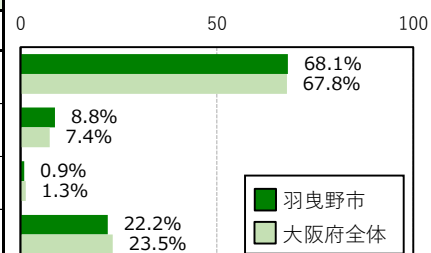
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	296名	65.1%	29,081名	67.2%
1人	35名	7.7%	3,181名	7.3%
2人	5名	1.1%	555名	1.3%
無回答	119名	26.2%	10,483名	24.2%



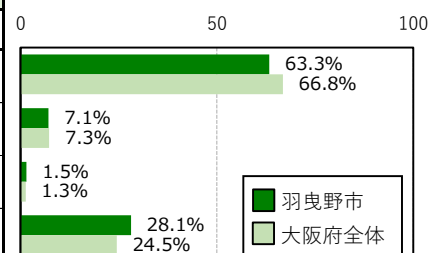
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	147名	68.1%	15,456名	67.8%
1人	19名	8.8%	1,681名	7.4%
2人	2名	0.9%	286名	1.3%
無回答	48名	22.2%	5,363名	23.5%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	124名	63.3%	12,942名	66.8%
1人	14名	7.1%	1,422名	7.3%
2人	3名	1.5%	257名	1.3%
無回答	55名	28.1%	4,744名	24.5%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ②おじいさん

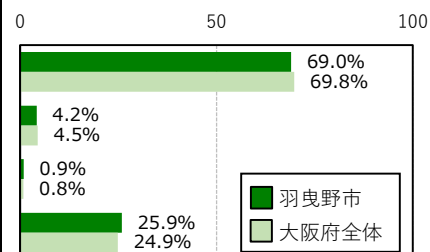
保護者全体は、「いない」が69.0%で最も多く、次いで「1人」が4.2%、「2人」が0.9%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が72.7%で最も多く、次いで「1人」が3.7%、「2人」が0.9%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が66.3%で最も多く、次いで「1人」が5.1%、「2人」が1.0%となっている。

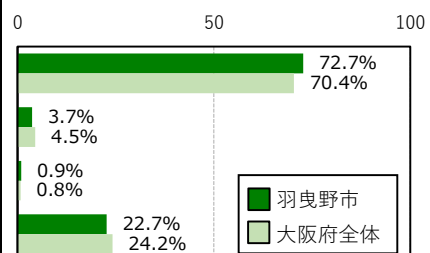
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	314名	69.0%	30,230名	69.8%
1人	19名	4.2%	1,932名	4.5%
2人	4名	0.9%	340名	0.8%
無回答	118名	25.9%	10,798名	24.9%



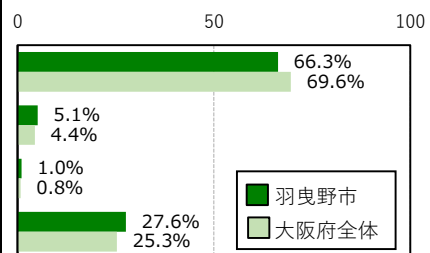
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	157名	72.7%	16,050名	70.4%
1人	8名	3.7%	1,031名	4.5%
2人	2名	0.9%	186名	0.8%
無回答	49名	22.7%	5,519名	24.2%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	130名	66.3%	13,474名	69.6%
1人	10名	5.1%	853名	4.4%
2人	2名	1.0%	148名	0.8%
無回答	54名	27.6%	4,890名	25.3%



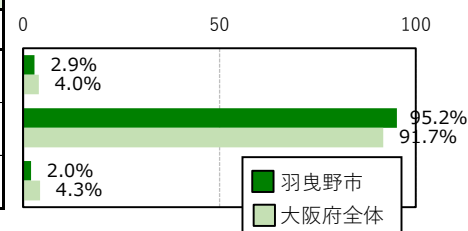
世帯の状況について

問2 世帯構成 ③お母さん

保護者全体は、「いない」が2.9%で、「1人」が95.2%となっている。
 小学生の保護者は、「いない」が4.2%で、「1人」が94.0%となっている。
 中学生の保護者は、「いない」が1.5%で、「1人」が95.9%となっている。

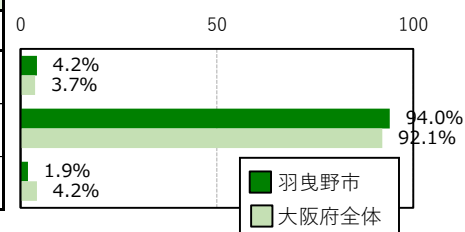
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	13名	2.9%	1,729名	4.0%
1人	433名	95.2%	39,706名	91.7%
無回答	9名	2.0%	1,865名	4.3%



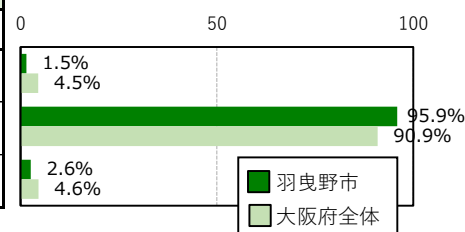
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	9名	4.2%	841名	3.7%
1人	203名	94.0%	20,990名	92.1%
無回答	4名	1.9%	955名	4.2%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	3名	1.5%	872名	4.5%
1人	188名	95.9%	17,597名	90.9%
無回答	5名	2.6%	896名	4.6%



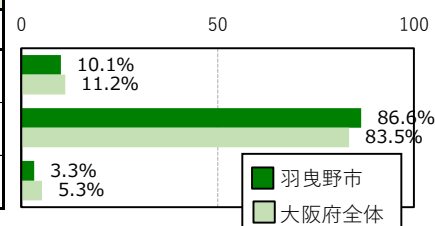
世帯の状況について

問2 世帯構成 ④お父さん

保護者全体は、「いない」が10.1%で、「1人」が86.6%となっている。
 小学生の保護者は、「いない」が12.0%で、「1人」が85.6%となっている。
 中学生の保護者は、「いない」が8.2%で、「1人」が88.3%となっている。

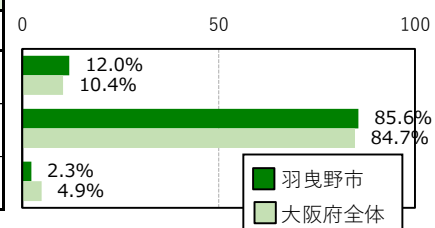
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
	455名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	46名	10.1%	4,852名	11.2%
1人	394名	86.6%	36,166名	83.5%
無回答	15名	3.3%	2,282名	5.3%



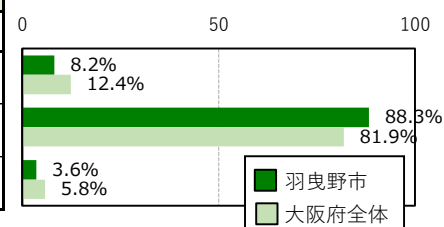
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
	216名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	26名	12.0%	2,372名	10.4%
1人	185名	85.6%	19,301名	84.7%
無回答	5名	2.3%	1,113名	4.9%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
	196名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	16名	8.2%	2,394名	12.4%
1人	173名	88.3%	15,852名	81.9%
無回答	7名	3.6%	1,119名	5.8%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ⑤姉・兄

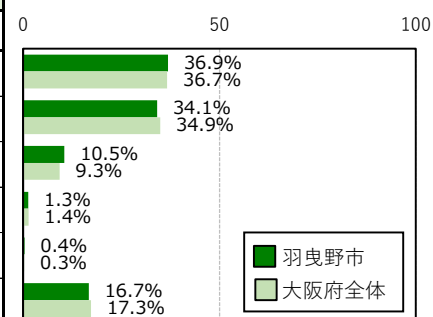
保護者全体は、「いない」が36.9%で最も多く、次いで「1人」が34.1%、「2人」が10.5%、「3人」が1.3%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が41.2%で最も多く、次いで「1人」が30.1%、「2人」が10.6%、「3人」が1.4%となっている。

中学生の保護者は、「1人」が39.3%で最も多く、次いで「いない」が32.7%、「2人」が10.2%、「3人」が1.5%となっている。

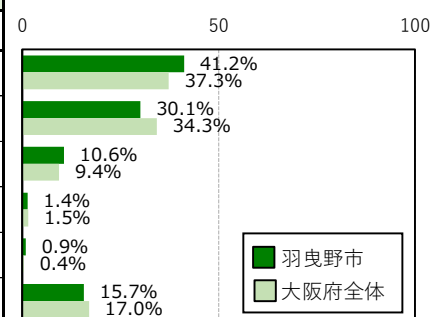
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	168名	36.9%	15,909名	36.7%
1人	155名	34.1%	15,123名	34.9%
2人	48名	10.5%	4,039名	9.3%
3人	6名	1.3%	601名	1.4%
4人以上	2名	0.4%	145名	0.3%
無回答	76名	16.7%	7,483名	17.3%



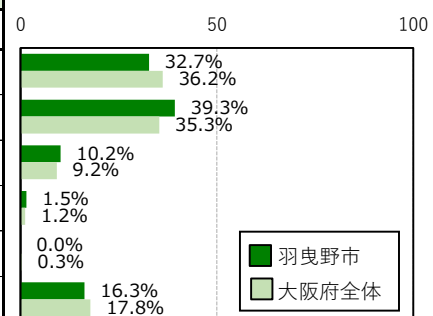
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	89名	41.2%	8,507名	37.3%
1人	65名	30.1%	7,823名	34.3%
2人	23名	10.6%	2,148名	9.4%
3人	3名	1.4%	350名	1.5%
4人以上	2名	0.9%	90名	0.4%
無回答	34名	15.7%	3,868名	17.0%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	64名	32.7%	7,016名	36.2%
1人	77名	39.3%	6,827名	35.3%
2人	20名	10.2%	1,782名	9.2%
3人	3名	1.5%	239名	1.2%
4人以上	-	-	50名	0.3%
無回答	32名	16.3%	3,451名	17.8%



世帯の状況について

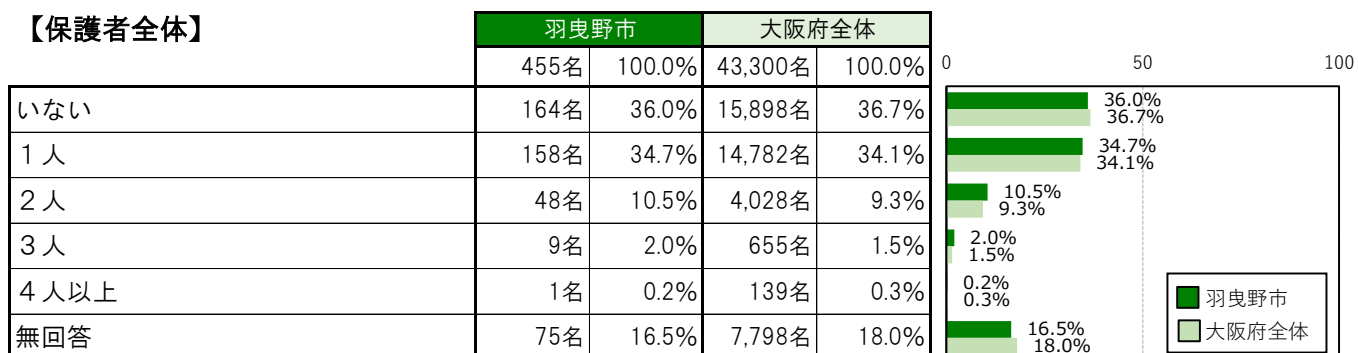
問2 世帯構成 ⑥妹・弟

保護者全体は、「いない」が36.0%で最も多く、次いで「1人」が34.7%、「2人」が10.5%、「3人」が2.0%となっている。

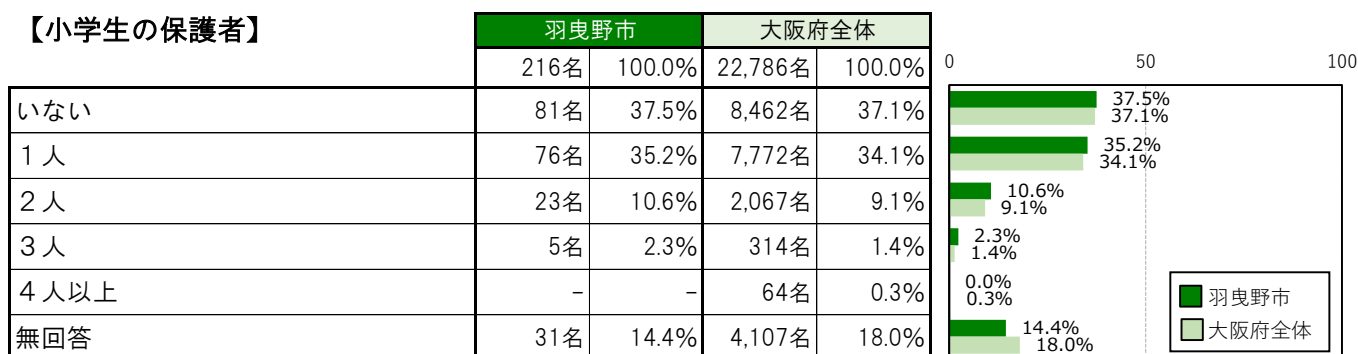
小学生の保護者は、「いない」が37.5%で最も多く、次いで「1人」が35.2%、「2人」が10.6%、「3人」が2.3%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が38.3%で最も多く、次いで「1人」が32.1%、「2人」が11.7%、「3人」が1.5%となっている。

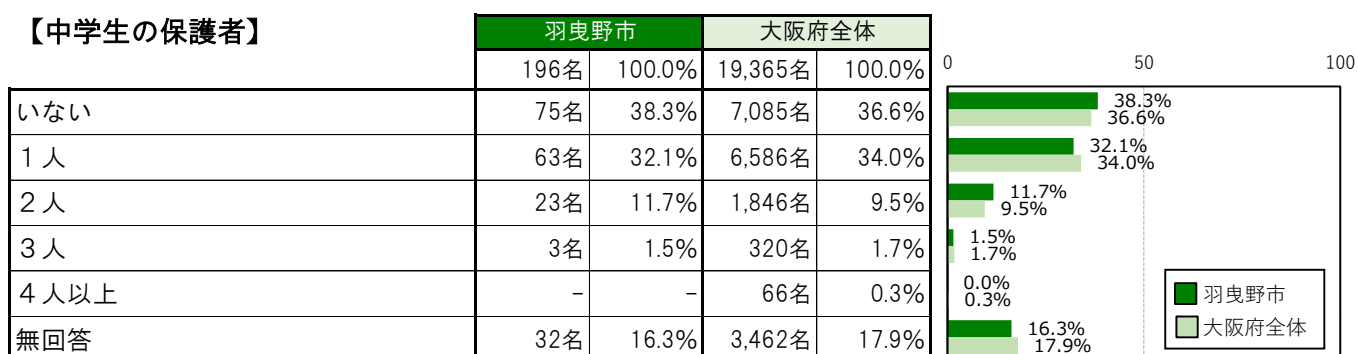
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問2 世帯構成 ⑦その他

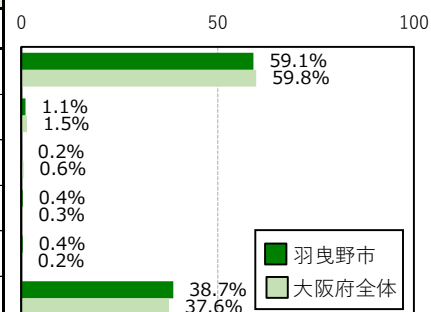
保護者全体は、「いない」が59.1%で最も多く、次いで「1人」が1.1%、「3人」と「4人以上」がそれぞれ0.4%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が61.6%で最も多くなっている。

中学生の保護者は、「いない」が60.2%で最も多く、次いで「1人」が2.0%、「4人以上」が0.5%となっている。

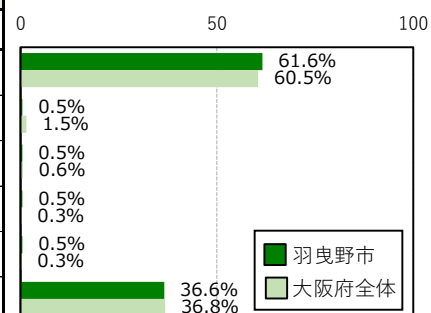
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	269名	59.1%	25,890名	59.8%
1人	5名	1.1%	628名	1.5%
2人	1名	0.2%	261名	0.6%
3人	2名	0.4%	133名	0.3%
4人以上	2名	0.4%	98名	0.2%
無回答	176名	38.7%	16,290名	37.6%



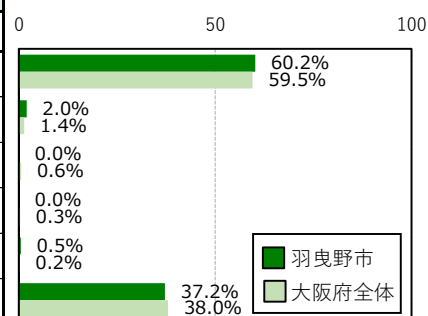
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	133名	61.6%	13,780名	60.5%
1人	1名	0.5%	347名	1.5%
2人	1名	0.5%	139名	0.6%
3人	1名	0.5%	73名	0.3%
4人以上	1名	0.5%	59名	0.3%
無回答	79名	36.6%	8,388名	36.8%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	118名	60.2%	11,529名	59.5%
1人	4名	2.0%	275名	1.4%
2人	-	-	119名	0.6%
3人	-	-	55名	0.3%
4人以上	1名	0.5%	36名	0.2%
無回答	73名	37.2%	7,351名	38.0%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ＜世帯員の続柄＞

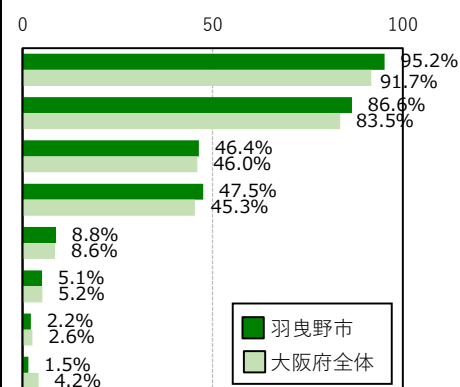
保護者全体は、「お母さん」が95.2%で最も多く、次いで「お父さん」が86.6%、「妹・弟」が47.5%、「姉・兄」が46.4%となっている。

小学生の保護者は、「お母さん」が94.0%で最も多く、次いで「お父さん」が85.6%、「妹・弟」が48.1%、「姉・兄」が43.1%となっている。

中学生の保護者は、「お母さん」が95.9%で最も多く、次いで「お父さん」が88.3%、「姉・兄」が51.0%、「妹・弟」が45.4%となっている。

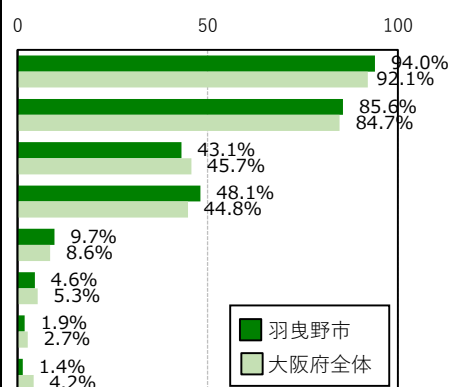
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	433名	95.2%	39,706名	91.7%
お父さん	394名	86.6%	36,166名	83.5%
姉・兄	211名	46.4%	19,908名	46.0%
妹・弟	216名	47.5%	19,604名	45.3%
おばあさん	40名	8.8%	3,736名	8.6%
おじいさん	23名	5.1%	2,272名	5.2%
その他	10名	2.2%	1,120名	2.6%
無回答	7名	1.5%	1,839名	4.2%



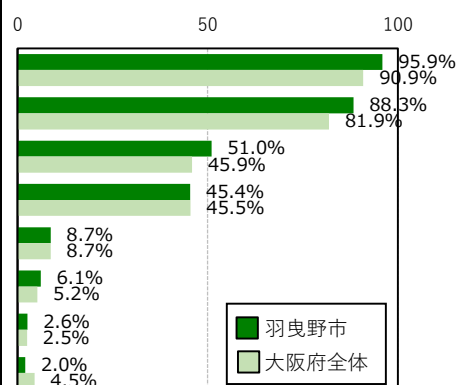
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	203名	94.0%	20,990名	92.1%
お父さん	185名	85.6%	19,301名	84.7%
姉・兄	93名	43.1%	10,411名	45.7%
妹・弟	104名	48.1%	10,217名	44.8%
おばあさん	21名	9.7%	1,967名	8.6%
おじいさん	10名	4.6%	1,217名	5.3%
その他	4名	1.9%	618名	2.7%
無回答	3名	1.4%	953名	4.2%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	188名	95.9%	17,597名	90.9%
お父さん	173名	88.3%	15,852名	81.9%
姉・兄	100名	51.0%	8,898名	45.9%
妹・弟	89名	45.4%	8,818名	45.5%
おばあさん	17名	8.7%	1,679名	8.7%
おじいさん	12名	6.1%	1,001名	5.2%
その他	5名	2.6%	485名	2.5%
無回答	4名	2.0%	876名	4.5%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ⑧世帯人数

保護者全体は、「4人」が44.0%で最も多く、次いで「5人」が26.2%、「3人」が14.5%、「6人」が7.3%となっている。

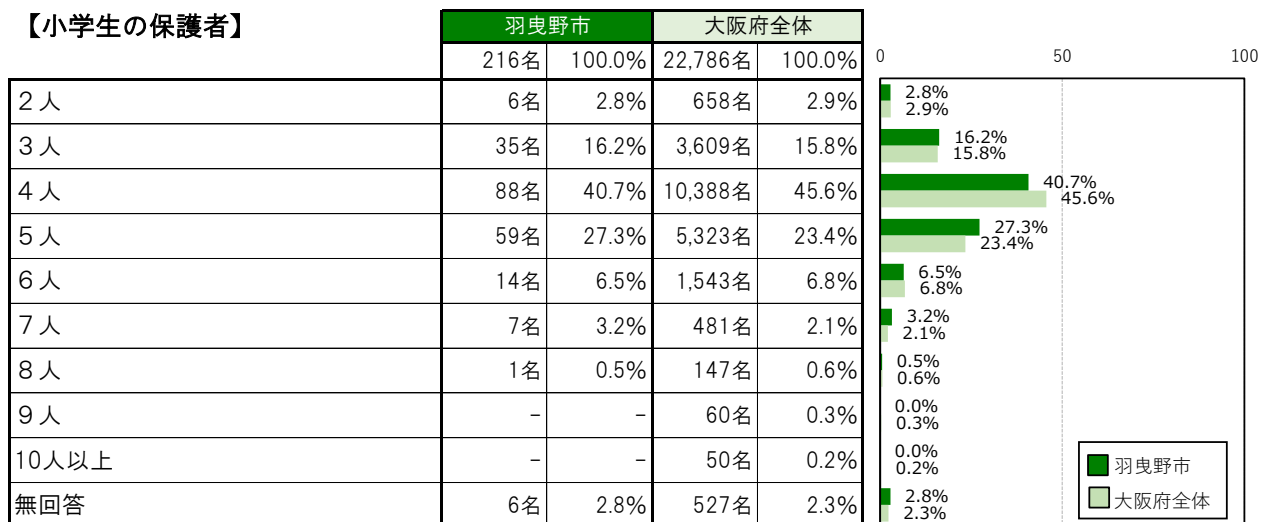
小学生の保護者は、「4人」が40.7%で最も多く、次いで「5人」が27.3%、「3人」が16.2%、「6人」が6.5%となっている。

中学生の保護者は、「4人」が45.9%で最も多く、次いで「5人」が26.5%、「3人」が12.8%、「6人」が8.2%となっている。

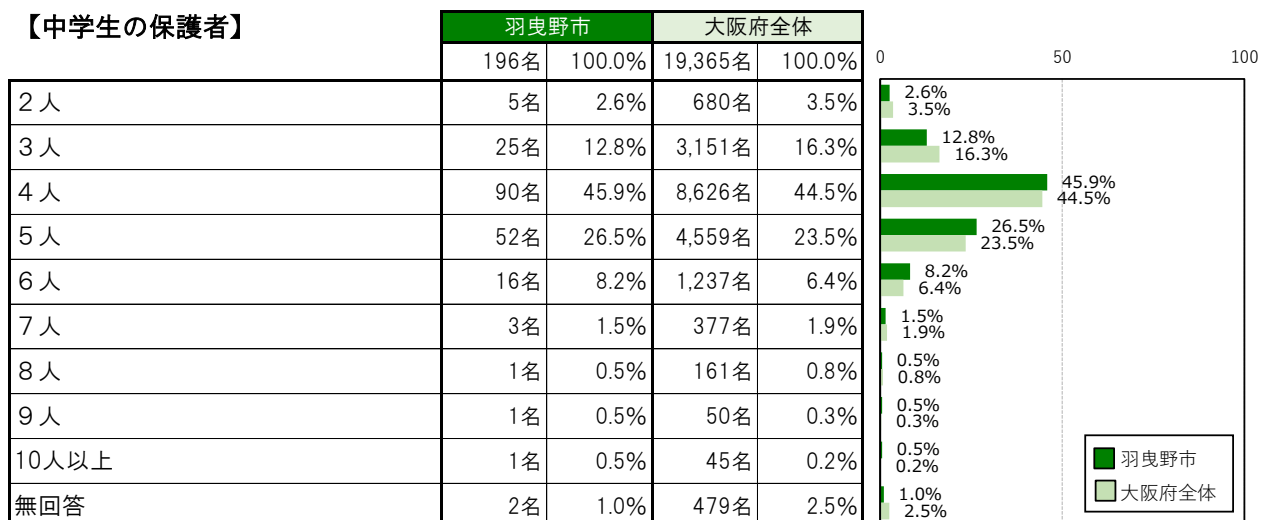
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問3 親の婚姻状況

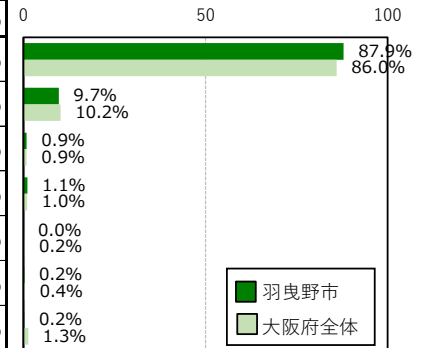
保護者全体は、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が87.9%で最も多く、次いで「離婚」が9.7%、「未婚」が1.1%となっている。

小学生の保護者は、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が87.5%で最も多く、次いで「離婚」が8.8%、「死別」が1.9%となっている。

中学生の保護者は、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が90.3%で最も多く、次いで「離婚」が9.2%となっている。

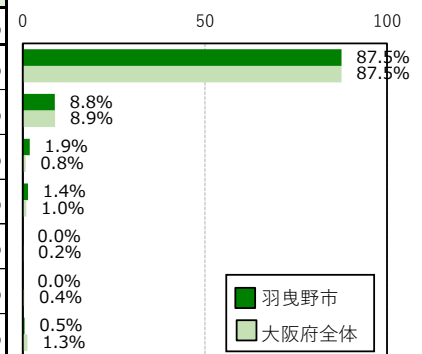
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	400名	87.9%	37,253名	86.0%
離婚	44名	9.7%	4,407名	10.2%
死別	4名	0.9%	400名	0.9%
未婚	5名	1.1%	412名	1.0%
わからない	-	-	77名	0.2%
いない	1名	0.2%	177名	0.4%
無回答	1名	0.2%	574名	1.3%



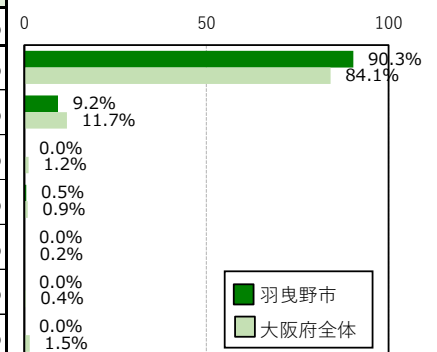
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	189名	87.5%	19,949名	87.5%
離婚	19名	8.8%	2,030名	8.9%
死別	4名	1.9%	172名	0.8%
未婚	3名	1.4%	224名	1.0%
わからない	-	-	39名	0.2%
いない	-	-	84名	0.4%
無回答	1名	0.5%	288名	1.3%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	177名	90.3%	16,290名	84.1%
離婚	18名	9.2%	2,273名	11.7%
死別	-	-	223名	1.2%
未婚	1名	0.5%	181名	0.9%
わからない	-	-	34名	0.2%
いない	-	-	82名	0.4%
無回答	-	-	282名	1.5%



世帯の状況について

問4 離婚相手との養育費の取り決めや受け取り

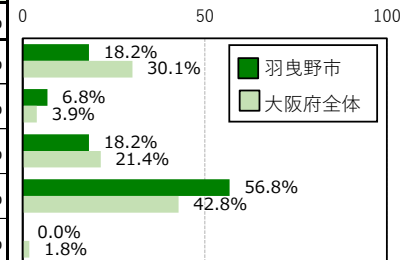
保護者全体は、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が56.8%で最も多く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」、「取り決めをしているが、受け取っていない」がそれぞれ18.2%となっている。

小学生の保護者は、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が57.9%（11名）で最も多く、次いで「取り決めをしているが、受け取っていない」が21.1%（4名）、「取り決めをしており、受け取っている」が15.8%（3名）となっている。

中学生の保護者は、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が55.6%（10名）で最も多く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」が22.2%（4名）となっている。

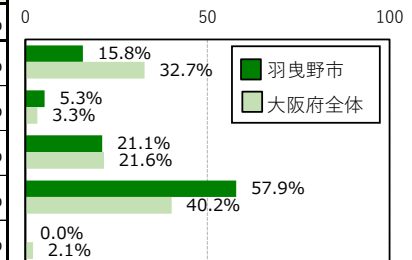
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	44名	100.0%	4,407名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	8名	18.2%	1,325名	30.1%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	3名	6.8%	174名	3.9%
取り決めをしているが、受け取っていない	8名	18.2%	941名	21.4%
取り決めをしておらず、受け取っていない	25名	56.8%	1,888名	42.8%
無回答	-	-	79名	1.8%



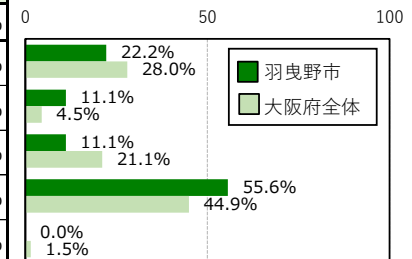
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	19名	100.0%	2,030名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	3名	15.8%	664名	32.7%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	1名	5.3%	68名	3.3%
取り決めをしているが、受け取っていない	4名	21.1%	438名	21.6%
取り決めをしておらず、受け取っていない	11名	57.9%	817名	40.2%
無回答	-	-	43名	2.1%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	18名	100.0%	2,273名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	4名	22.2%	636名	28.0%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	2名	11.1%	103名	4.5%
取り決めをしているが、受け取っていない	2名	11.1%	479名	21.1%
取り決めをしておらず、受け取っていない	10名	55.6%	1,020名	44.9%
無回答	-	-	35名	1.5%



世帯の状況について

問5 住居形態

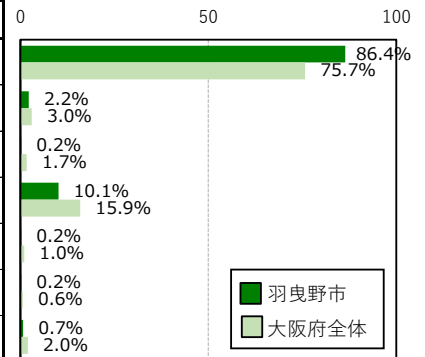
保護者全体は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が86.4%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が10.1%、「府営・市営の住宅」が2.2%となっている。

小学生の保護者は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が87.0%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が9.7%、「府営・市営の住宅」が1.9%となっている。

中学生の保護者は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が85.7%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が10.7%、「府営・市営の住宅」が2.6%となっている。

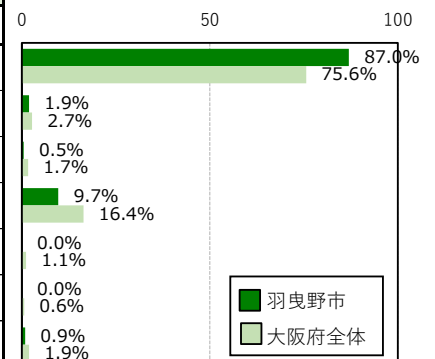
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	455名	100.0%	43,300名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	393名	86.4%	32,784名	75.7%
府営・市営の住宅	10名	2.2%	1,316名	3.0%
UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	1名	0.2%	752名	1.7%
民間の賃貸住宅	46名	10.1%	6,890名	15.9%
官舎・社宅	1名	0.2%	438名	1.0%
その他	1名	0.2%	257名	0.6%
無回答	3名	0.7%	863名	2.0%



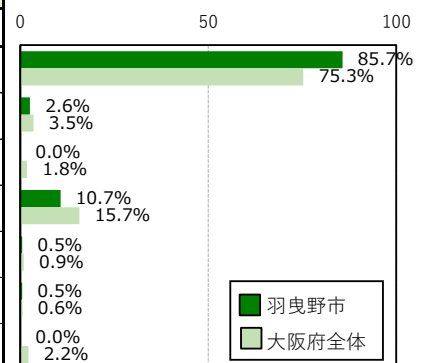
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	216名	100.0%	22,786名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	188名	87.0%	17,221名	75.6%
府営・市営の住宅	4名	1.9%	620名	2.7%
UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	1名	0.5%	386名	1.7%
民間の賃貸住宅	21名	9.7%	3,738名	16.4%
官舎・社宅	-	-	255名	1.1%
その他	-	-	129名	0.6%
無回答	2名	0.9%	437名	1.9%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	196名	100.0%	19,365名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	168名	85.7%	14,585名	75.3%
府営・市営の住宅	5名	2.6%	676名	3.5%
UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	-	-	356名	1.8%
民間の賃貸住宅	21名	10.7%	3,036名	15.7%
官舎・社宅	1名	0.5%	171名	0.9%
その他	1名	0.5%	121名	0.6%
無回答	-	-	420名	2.2%



世帯の状況について

問6(1) 家計の状況

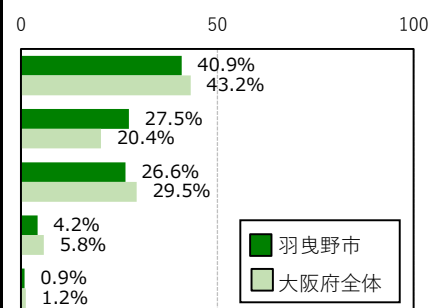
保護者全体は、「貯蓄ができています」が40.9%で最も多く、次いで「赤字である」が27.5%、「赤字でもなく黒字でもない」が26.6%となっている。

小学生の保護者は、「貯蓄ができています」が43.5%で最も多く、次いで「赤字である」が25.5%、「赤字でもなく黒字でもない」が25.0%となっている。

中学生の保護者は、「貯蓄ができています」が39.3%で最も多く、次いで「赤字である」が29.1%、「赤字でもなく黒字でもない」が27.6%となっている。

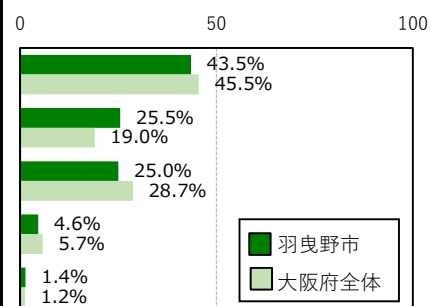
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
貯蓄ができています	186名	40.9%	18,686名	43.2%
赤字である	125名	27.5%	8,818名	20.4%
赤字でもなく黒字でもない	121名	26.6%	12,767名	29.5%
わからない	19名	4.2%	2,523名	5.8%
無回答	4名	0.9%	506名	1.2%



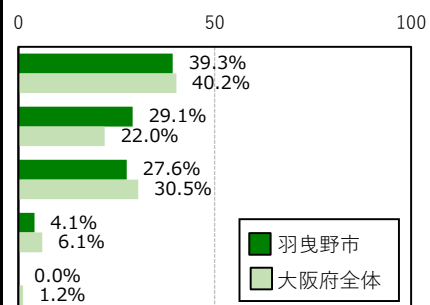
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
貯蓄ができています	94名	43.5%	10,376名	45.5%
赤字である	55名	25.5%	4,319名	19.0%
赤字でもなく黒字でもない	54名	25.0%	6,535名	28.7%
わからない	10名	4.6%	1,292名	5.7%
無回答	3名	1.4%	264名	1.2%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
貯蓄ができています	77名	39.3%	7,790名	40.2%
赤字である	57名	29.1%	4,255名	22.0%
赤字でもなく黒字でもない	54名	27.6%	5,912名	30.5%
わからない	8名	4.1%	1,173名	6.1%
無回答	-	-	235名	1.2%



世帯の状況について

問6（2）子どもの将来のための貯蓄状況

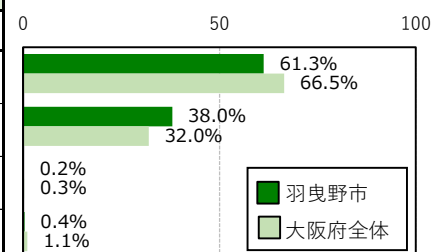
保護者全体は、「貯蓄をしている」が61.3%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が38.0%、「貯蓄をするつもりはない」が0.2%となっている。

小学生の保護者は、「貯蓄をしている」が64.8%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が33.8%、「貯蓄をするつもりはない」が0.5%となっている。

中学生の保護者は、「貯蓄をしている」が58.2%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が41.8%となっている。

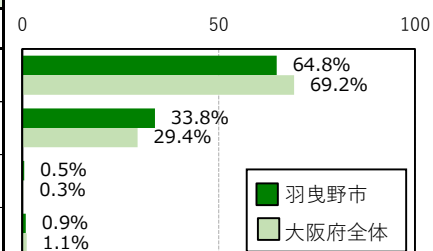
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
貯蓄をしている	279名	61.3%	28,802名	66.5%
貯蓄をしたいが、できていない	173名	38.0%	13,877名	32.0%
貯蓄をするつもりはない	1名	0.2%	138名	0.3%
無回答	2名	0.4%	483名	1.1%



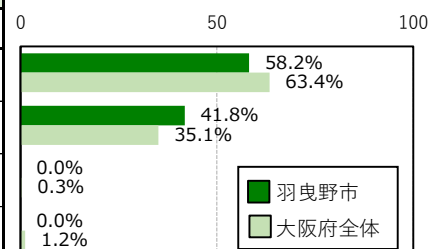
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
貯蓄をしている	140名	64.8%	15,765名	69.2%
貯蓄をしたいが、できていない	73名	33.8%	6,698名	29.4%
貯蓄をするつもりはない	1名	0.5%	74名	0.3%
無回答	2名	0.9%	249名	1.1%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
貯蓄をしている	114名	58.2%	12,277名	63.4%
貯蓄をしたいが、できていない	82名	41.8%	6,798名	35.1%
貯蓄をするつもりはない	-	-	63名	0.3%
無回答	-	-	227名	1.2%



世帯の状況について

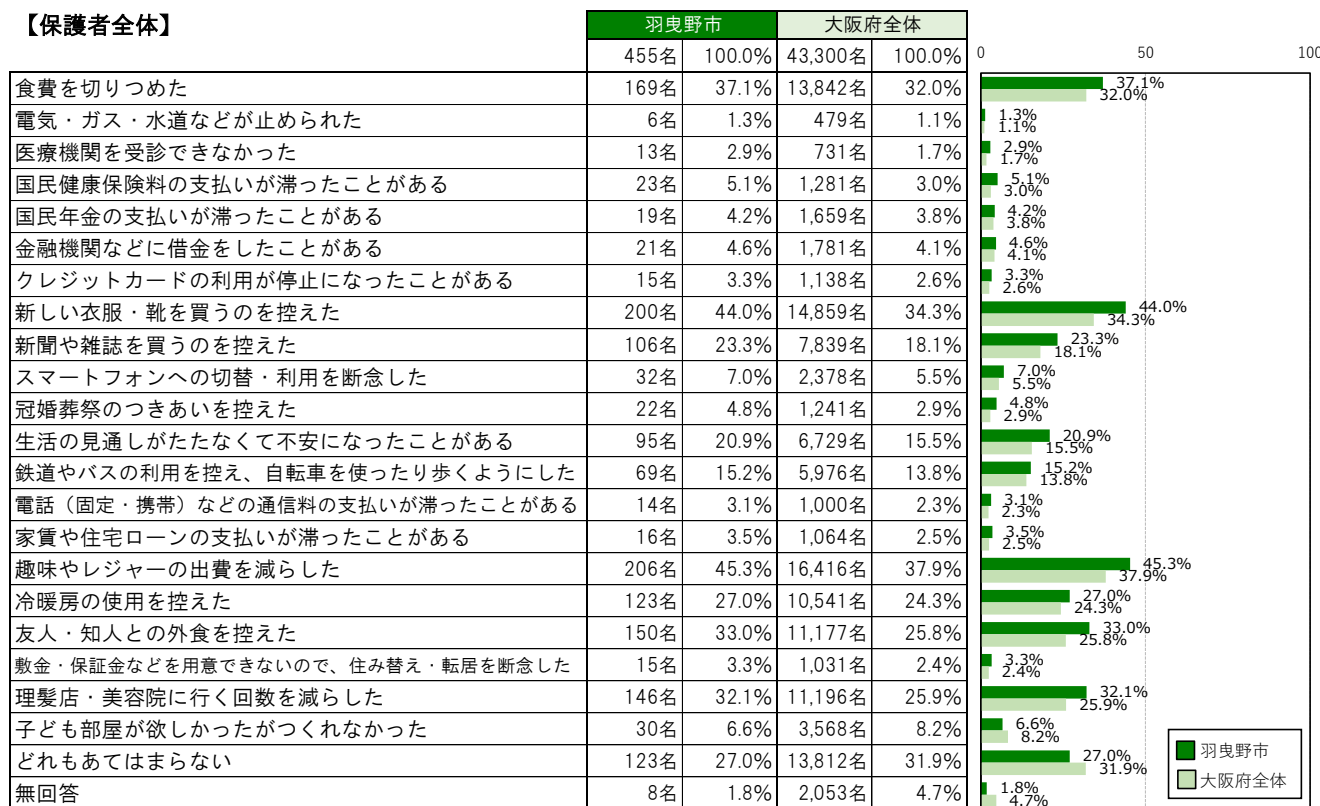
問7 経済的な理由による経験

保護者全体は、「趣味やレジャーの出費を減らした」が45.3%で最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が44.0%、「食費を切りつめた」が37.1%、「友人・知人との外食を控えた」が33.0%となっている。

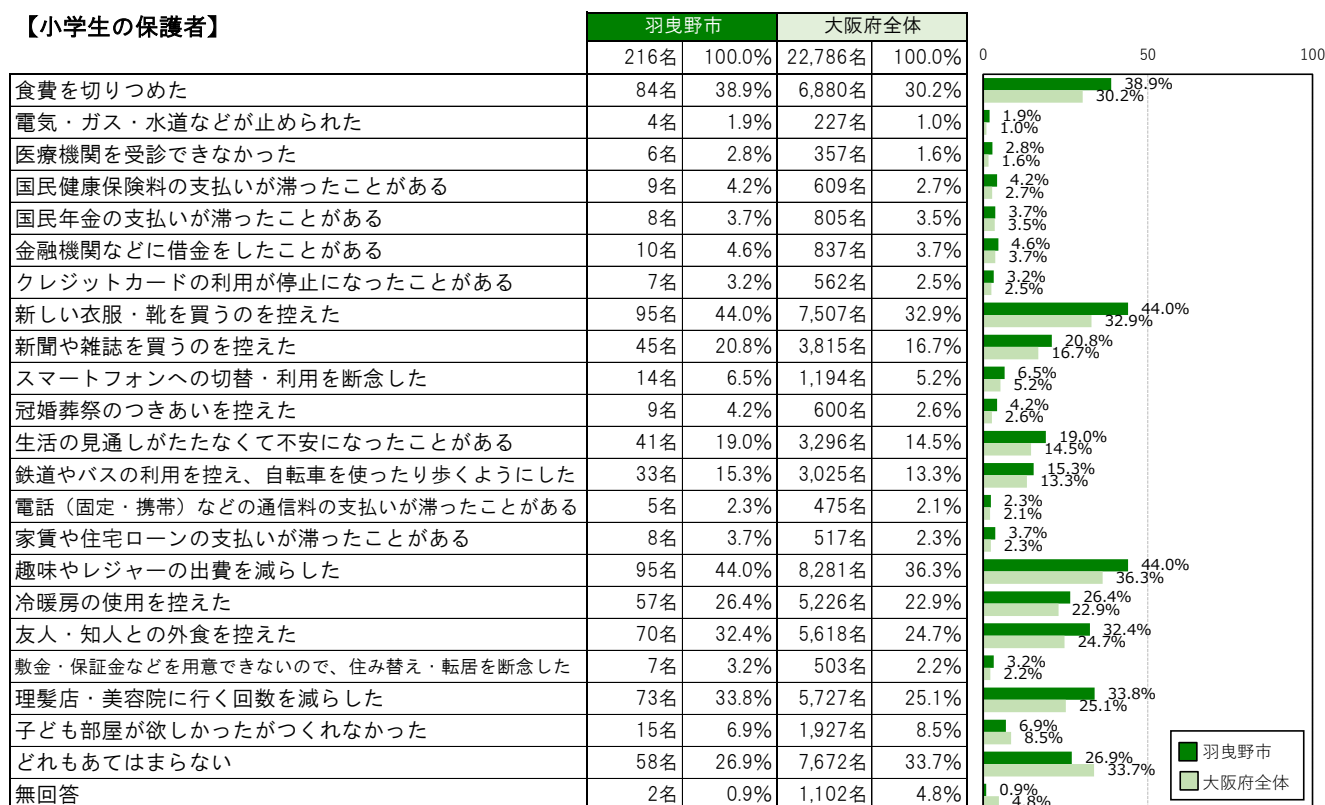
小学生の保護者は、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」、「趣味やレジャーの出費を減らした」がそれぞれ44.0%で最も多く、次いで「食費を切りつめた」が38.9%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が33.8%、「友人・知人との外食を控えた」が32.4%となっている。

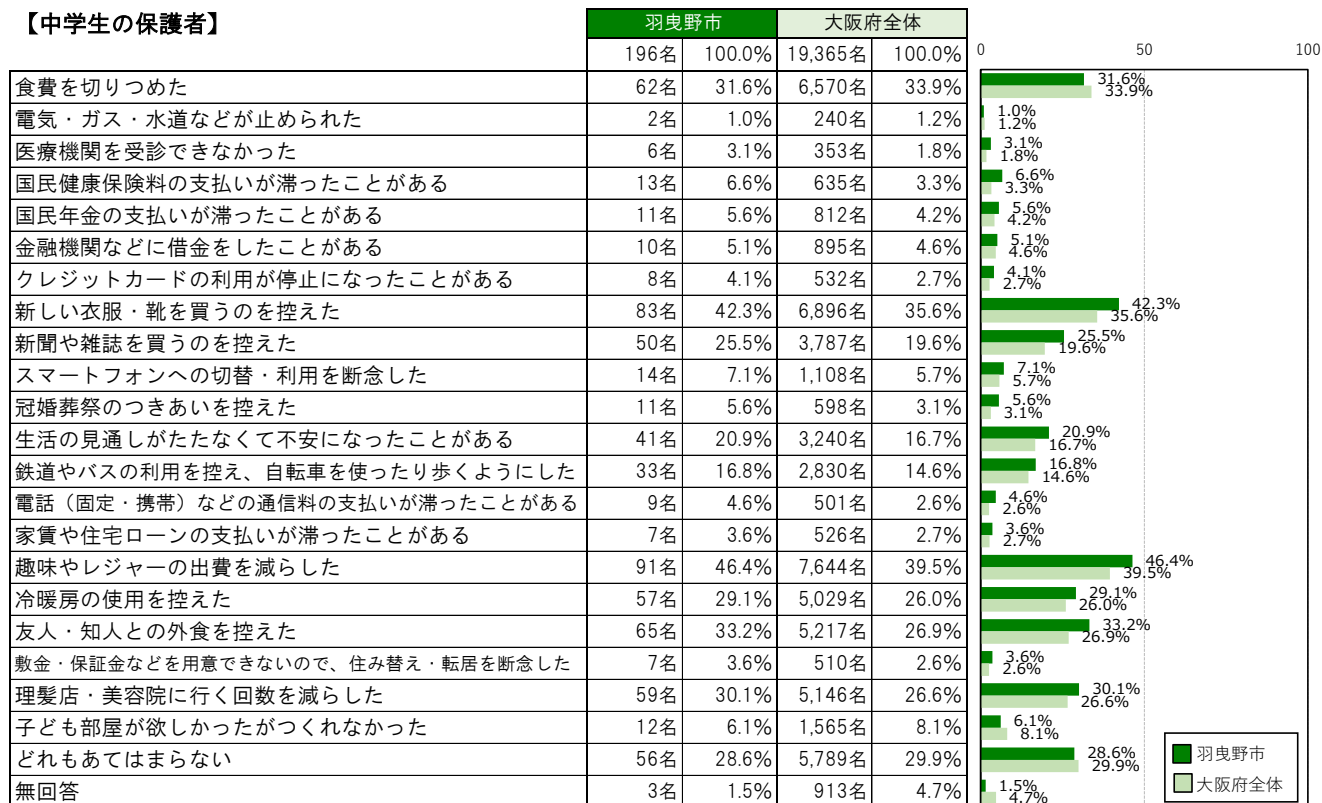
中学生の保護者は、「趣味やレジャーの出費を減らした」が46.4%で最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が42.3%、「友人・知人との外食を控えた」が33.2%、「食費を切りつめた」が31.6%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】





世帯の状況について

問7 経済的な理由による経験（はく奪指標）

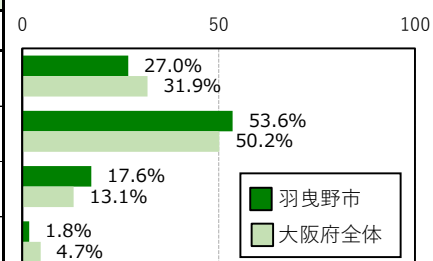
経済的な理由による経験について、はく奪指標で見ると、保護者全体は、「1～6個に該当」が53.6%で最も多く、次いで「該当なし」が27.0%、「7個以上に該当」が17.6%となっている。

小学生の保護者は、「1～6個に該当」が55.6%で最も多く、次いで「該当なし」が26.9%、「7個以上に該当」が16.7%となっている。

中学生の保護者は、「1～6個に該当」が51.5%で最も多く、次いで「該当なし」が28.6%、「7個以上に該当」が18.4%となっている。

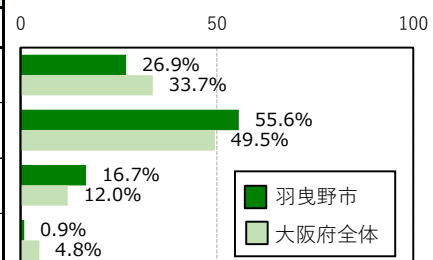
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
該当なし	455名	100.0%	43,300名	100.0%
1～6個に該当	123名	27.0%	13,812名	31.9%
7個以上に該当	244名	53.6%	21,747名	50.2%
7個以上に該当	80名	17.6%	5,688名	13.1%
無回答	8名	1.8%	2,053名	4.7%



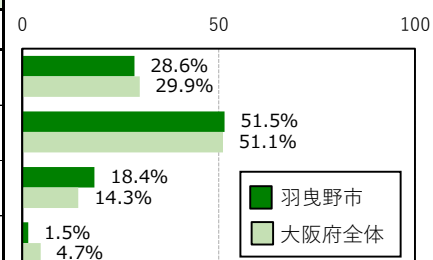
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
該当なし	216名	100.0%	22,786名	100.0%
該当なし	58名	26.9%	7,672名	33.7%
1～6個に該当	120名	55.6%	11,270名	49.5%
7個以上に該当	36名	16.7%	2,742名	12.0%
無回答	2名	0.9%	1,102名	4.8%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
該当なし	196名	100.0%	19,365名	100.0%
該当なし	56名	28.6%	5,789名	29.9%
1～6個に該当	101名	51.5%	9,888名	51.1%
7個以上に該当	36名	18.4%	2,775名	14.3%
無回答	3名	1.5%	913名	4.7%



世帯の状況について

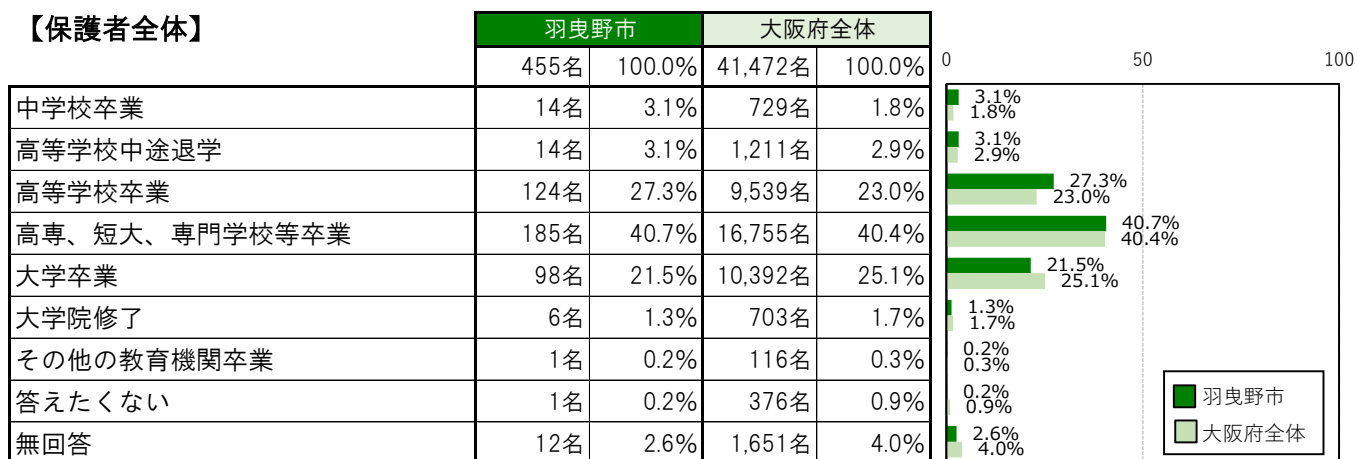
問8 お母さんの最終学歴

保護者全体は、「高専、短大、専門学校等卒業」が40.7%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が27.3%、「大学卒業」が21.5%、「中学校卒業」と「高等学校中途退学」がそれぞれ3.1%となっている。

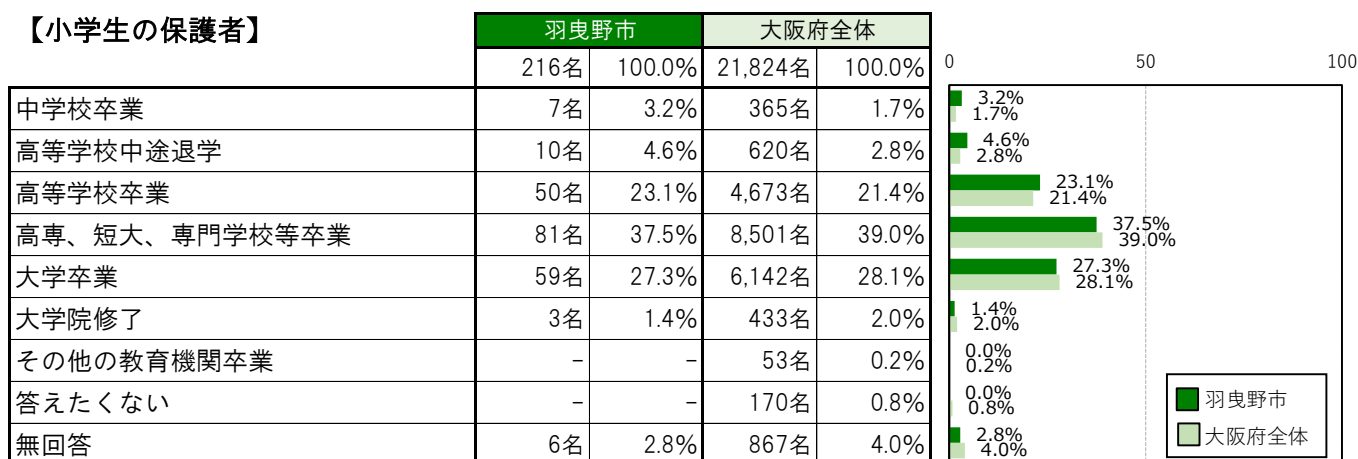
小学生の保護者は、「高専、短大、専門学校等卒業」が37.5%で最も多く、次いで「大学卒業」が27.3%、「高等学校卒業」が23.1%、「高等学校中途退学」が4.6%となっている。

中学生の保護者は、「高専、短大、専門学校等卒業」が41.8%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が31.1%、「大学卒業」が17.9%、「中学校卒業」が3.6%となっている。

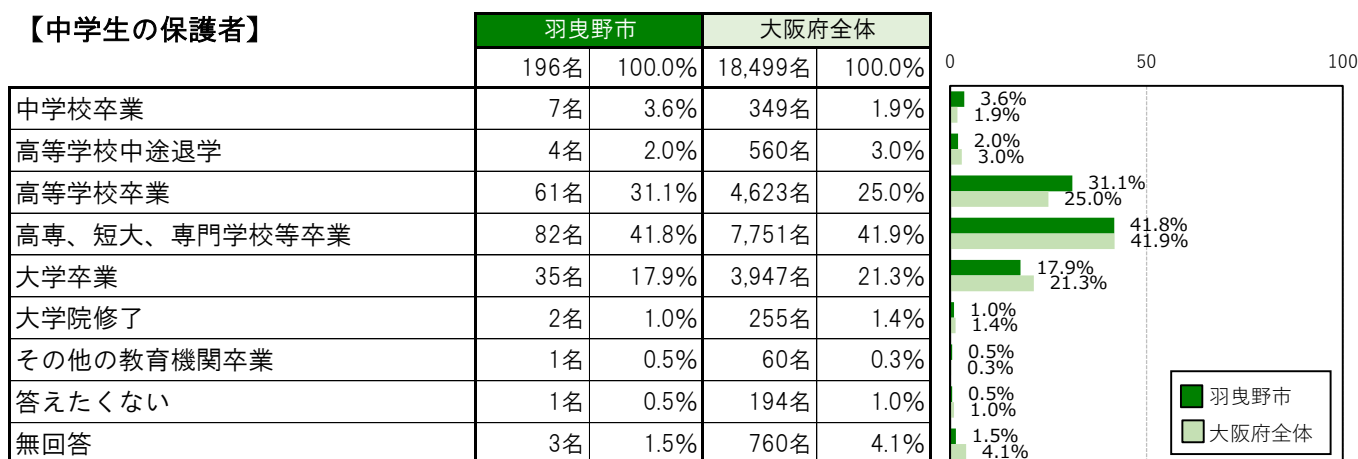
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問8 お父さんの最終学歴

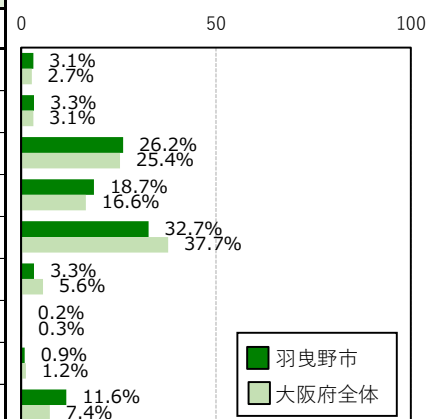
保護者全体は、「大学卒業」が32.7%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が26.2%、「高専、短大、専門学校等卒業」が18.7%、「高等学校中途退学」と「大学院修了」がそれぞれ3.3%となっている。

小学生の保護者は、「大学卒業」が32.4%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が25.0%、「高専、短大、専門学校等卒業」が20.4%、「大学院修了」が5.1%となっている。

中学生の保護者は、「大学卒業」が34.2%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が26.5%、「高専、短大、専門学校等卒業」が16.8%、「高等学校中途退学」が4.1%となっている。

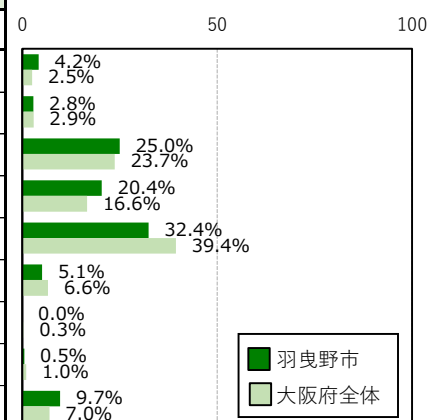
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
中学校卒業	14名	3.1%	1,048名	2.7%
高等学校中途退学	15名	3.3%	1,205名	3.1%
高等学校卒業	119名	26.2%	10,006名	25.4%
高専、短大、専門学校等卒業	85名	18.7%	6,549名	16.6%
大学卒業	149名	32.7%	14,832名	37.7%
大学院修了	15名	3.3%	2,219名	5.6%
その他の教育機関卒業	1名	0.2%	104名	0.3%
答えたくない	4名	0.9%	477名	1.2%
無回答	53名	11.6%	2,896名	7.4%



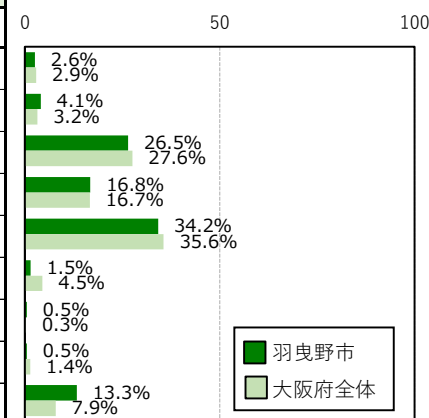
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
中学校卒業	9名	4.2%	524名	2.5%
高等学校中途退学	6名	2.8%	603名	2.9%
高等学校卒業	54名	25.0%	4,950名	23.7%
高専、短大、専門学校等卒業	44名	20.4%	3,468名	16.6%
大学卒業	70名	32.4%	8,211名	39.4%
大学院修了	11名	5.1%	1,384名	6.6%
その他の教育機関卒業	-	-	56名	0.3%
答えたくない	1名	0.5%	217名	1.0%
無回答	21名	9.7%	1,450名	7.0%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
中学校卒業	5名	2.6%	500名	2.9%
高等学校中途退学	8名	4.1%	561名	3.2%
高等学校卒業	52名	26.5%	4,775名	27.6%
高専、短大、専門学校等卒業	33名	16.8%	2,900名	16.7%
大学卒業	67名	34.2%	6,169名	35.6%
大学院修了	3名	1.5%	772名	4.5%
その他の教育機関卒業	1名	0.5%	45名	0.3%
答えたくない	1名	0.5%	235名	1.4%
無回答	26名	13.3%	1,367名	7.9%



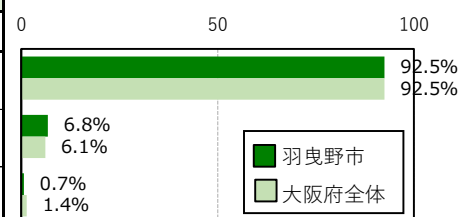
世帯の状況について

問9 お母さんの有無

保護者全体は、「いる」が92.5%、「いない」が6.8%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が92.6%、「いない」が6.5%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が93.4%、「いない」が6.1%となっている。

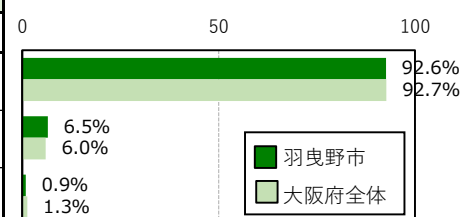
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	421名	92.5%	40,053名	92.5%
いない	31名	6.8%	2,634名	6.1%
無回答	3名	0.7%	613名	1.4%



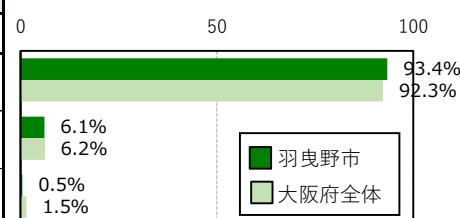
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	200名	92.6%	21,115名	92.7%
いない	14名	6.5%	1,368名	6.0%
無回答	2名	0.9%	303名	1.3%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	183名	93.4%	17,877名	92.3%
いない	12名	6.1%	1,192名	6.2%
無回答	1名	0.5%	296名	1.5%



世帯の状況について

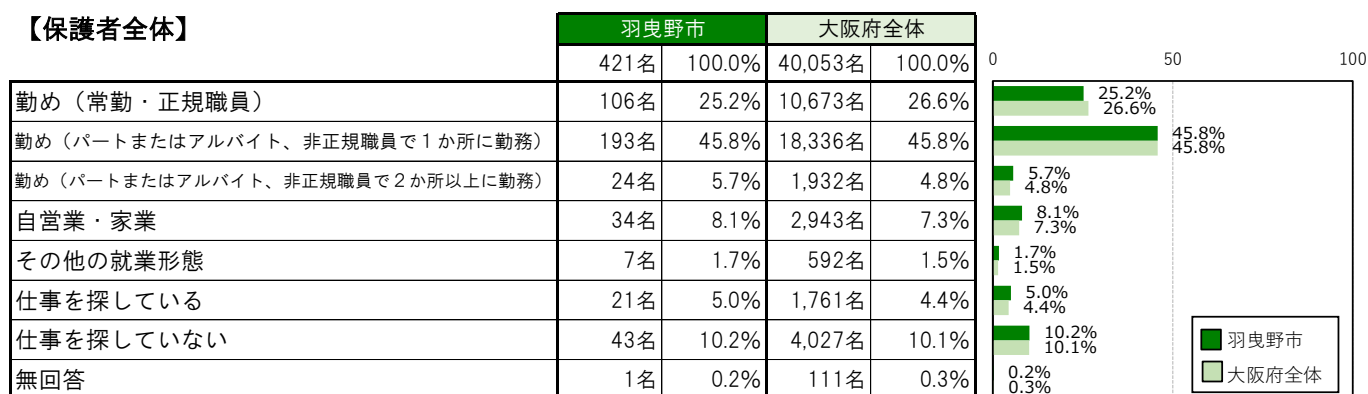
問9 お母さんの就業状況

保護者全体は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が45.8%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が25.2%、「仕事を探していない」が10.2%、「自営業・家業」が8.1%となっている。

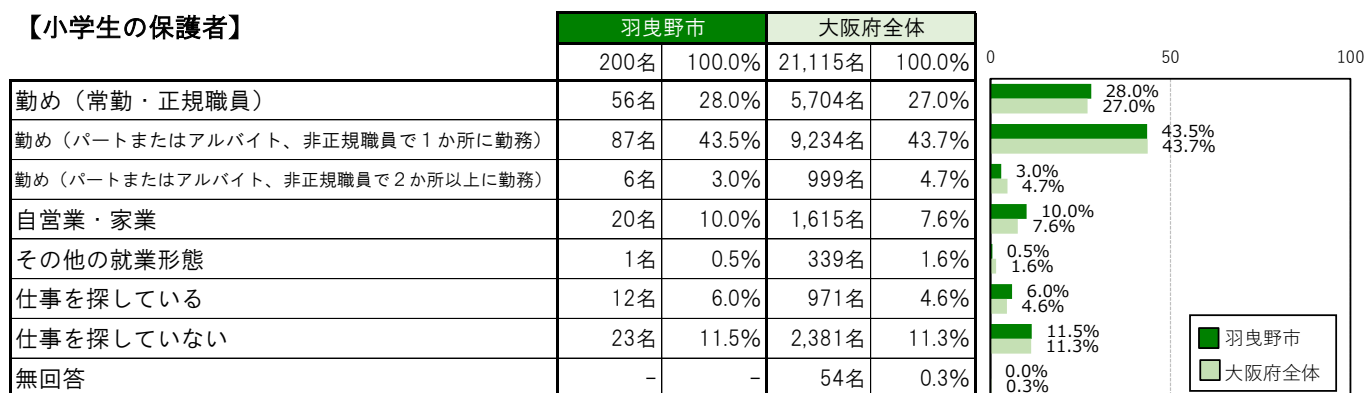
小学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が43.5%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が28.0%、「仕事を探していない」が11.5%、「自営業・家業」が10.0%となっている。

中学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が47.5%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が22.4%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）」と「仕事を探していない」がそれぞれ9.3%となっている。

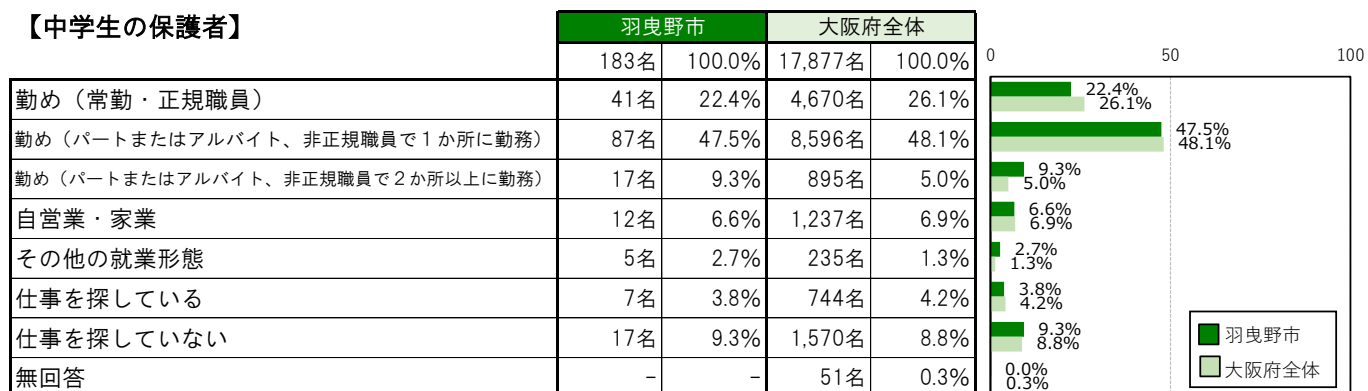
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問9 お母さんが仕事を探していない理由

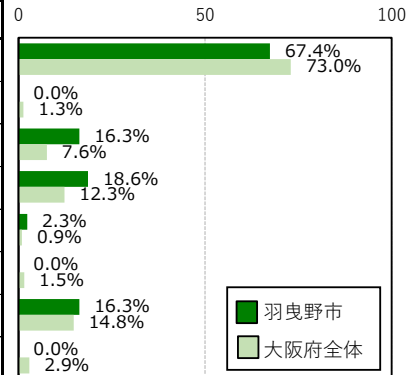
保護者全体は、「家事や育児に専念したいため」が67.4%で最も多く、次いで「病気療養のため」が18.6%、「おうちの人の介護や介助のため」が16.3%、「年金収入があるため」が2.3%となっている。

小学生の保護者は、「家事や育児に専念したいため」が69.6%(16名)で最も多く、次いで「おうちの人の介護や介助のため」が17.4%(4名)、「病気療養のため」が8.7%(2名)となっている。

中学生の保護者は、「家事や育児に専念したいため」が64.7%(11名)で最も多く、次いで「病気療養のため」が35.3%(6名)、「おうちの人の介護や介助のため」が17.6%(3名)となっている。

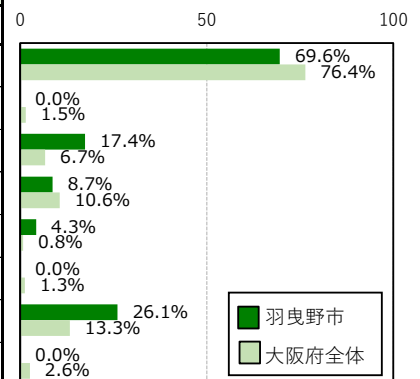
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	43名	100.0%	4,027名	100.0%
家事や育児に専念したいため	29名	67.4%	2,939名	73.0%
学生のため	-	-	51名	1.3%
おうちの人の介護や介助のため	7名	16.3%	307名	7.6%
病気療養のため	8名	18.6%	496名	12.3%
年金収入があるため	1名	2.3%	35名	0.9%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	-	-	62名	1.5%
その他	7名	16.3%	595名	14.8%
無回答	-	-	115名	2.9%



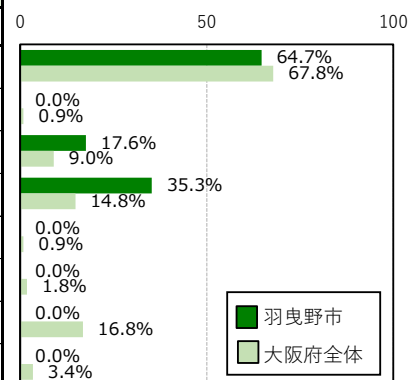
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	23名	100.0%	2,381名	100.0%
家事や育児に専念したいため	16名	69.6%	1,820名	76.4%
学生のため	-	-	36名	1.5%
おうちの人の介護や介助のため	4名	17.4%	160名	6.7%
病気療養のため	2名	8.7%	252名	10.6%
年金収入があるため	1名	4.3%	20名	0.8%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	-	-	32名	1.3%
その他	6名	26.1%	317名	13.3%
無回答	-	-	61名	2.6%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	17名	100.0%	1,570名	100.0%
家事や育児に専念したいため	11名	64.7%	1,064名	67.8%
学生のため	-	-	14名	0.9%
おうちの人の介護や介助のため	3名	17.6%	141名	9.0%
病気療養のため	6名	35.3%	232名	14.8%
年金収入があるため	-	-	14名	0.9%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	-	-	29名	1.8%
その他	-	-	263名	16.8%
無回答	-	-	54名	3.4%



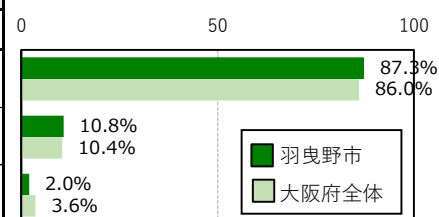
世帯の状況について

問9 お父さんの有無

保護者全体は、「いる」が87.3%、「いない」が10.8%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が86.6%、「いない」が12.0%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が88.8%、「いない」が8.7%となっている。

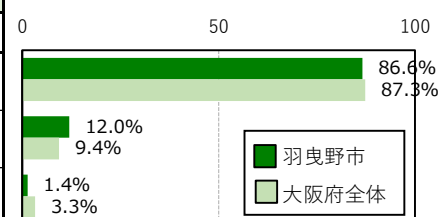
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	397名	87.3%	37,256名	86.0%
いない	49名	10.8%	4,504名	10.4%
無回答	9名	2.0%	1,540名	3.6%



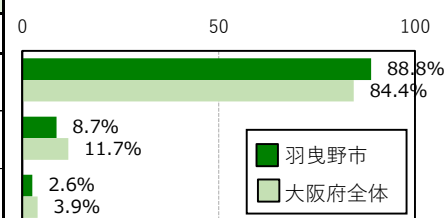
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	187名	86.6%	19,882名	87.3%
いない	26名	12.0%	2,149名	9.4%
無回答	3名	1.4%	755名	3.3%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	174名	88.8%	16,352名	84.4%
いない	17名	8.7%	2,261名	11.7%
無回答	5名	2.6%	752名	3.9%



世帯の状況について

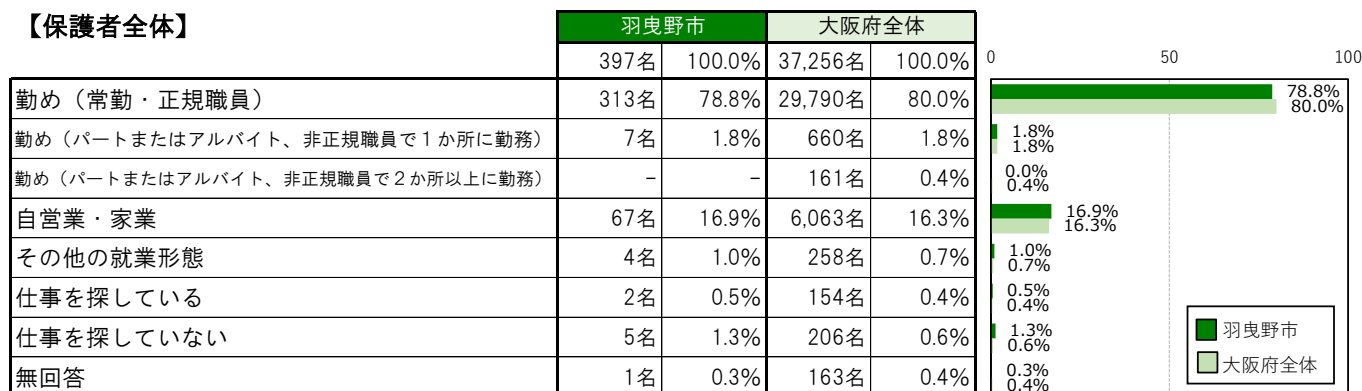
問9 お父さんの就業状況

保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」が78.8%で最も多く、次いで「自営業・家業」が16.9%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が1.8%となっている。

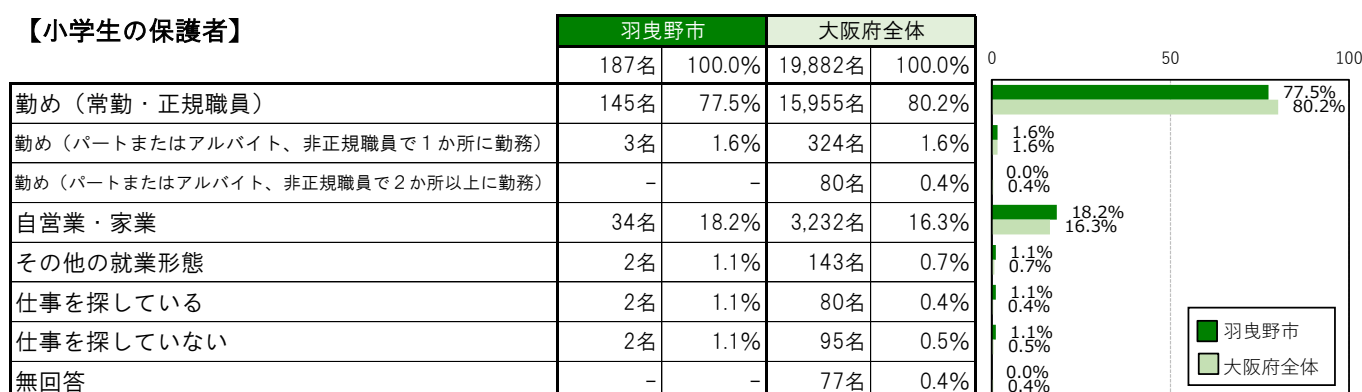
小学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が77.5%で最も多く、次いで「自営業・家業」が18.2%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が1.6%となっている。

中学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が78.7%で最も多く、次いで「自営業・家業」が16.7%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が2.3%、「仕事を探していない」が1.7%となっている。

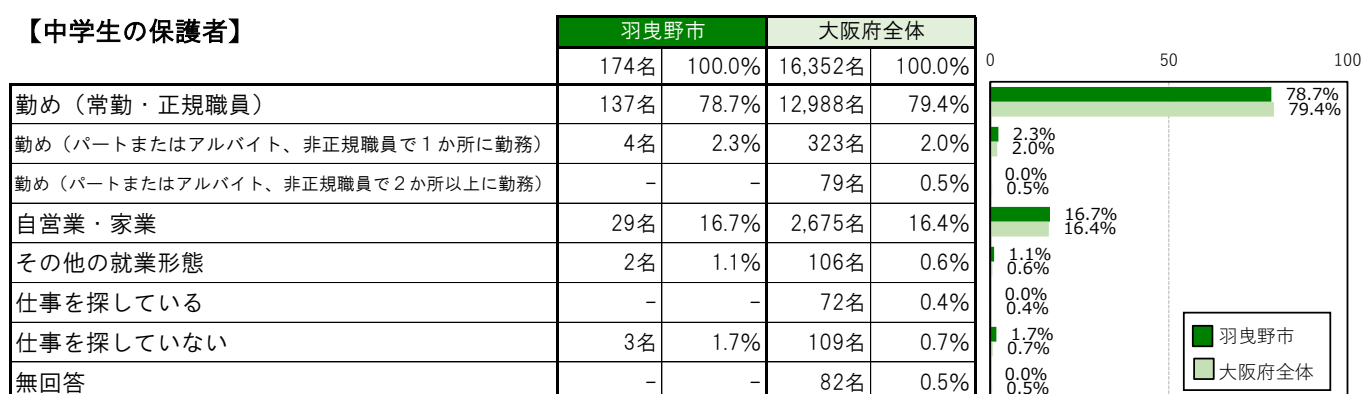
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



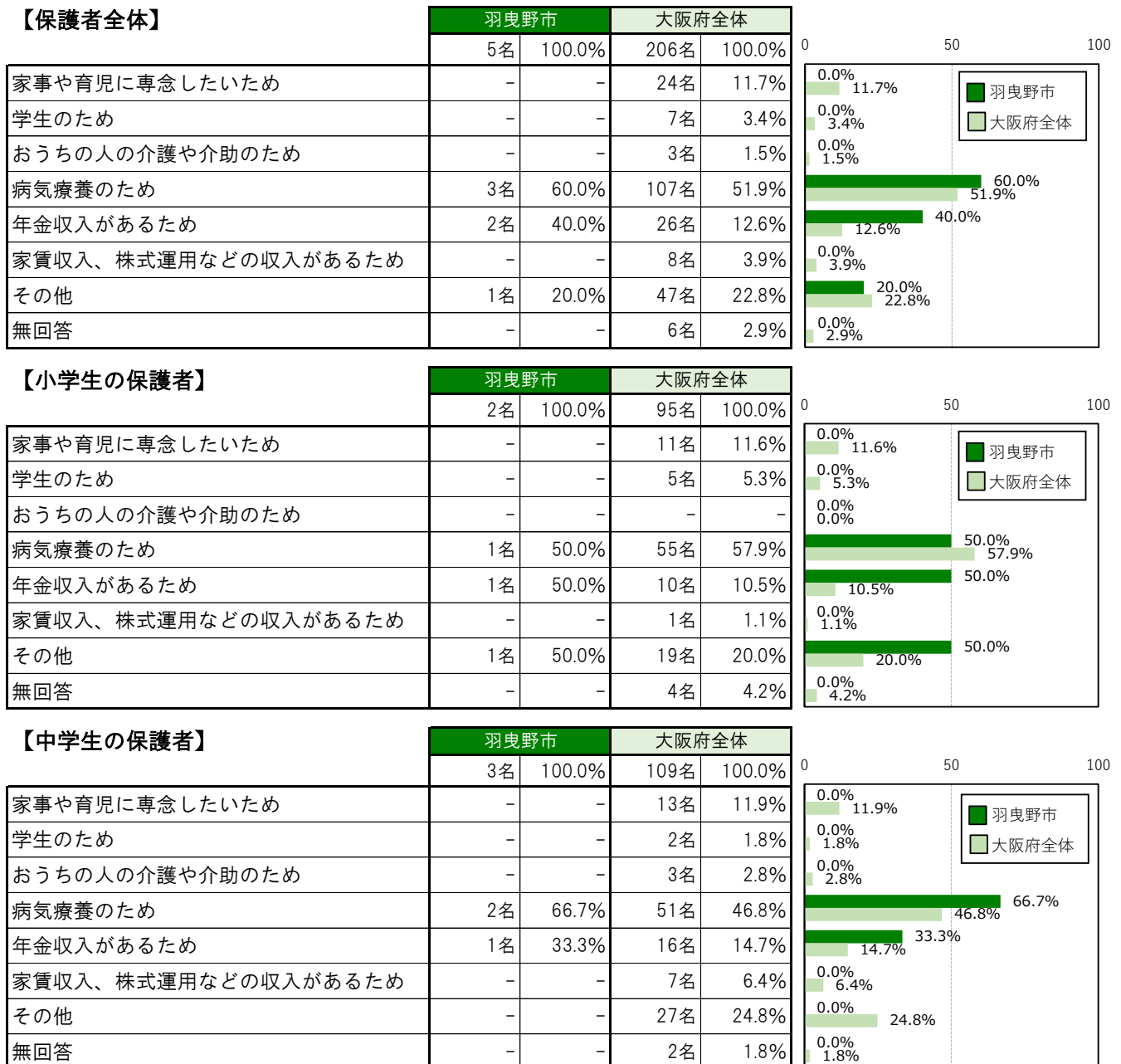
世帯の状況について

問9 お父さんが仕事を探していない理由

保護者全体は、「病気療養のため」が60.0%(3名)で最も多く、次いで「年金収入があるため」が40.0%(2名)となっている。

小学生の保護者は、「病気療養のため」と「年金収入があるため」がそれぞれ50.0%(1名)となっている。

中学生の保護者は、「病気療養のため」が66.7%(2名)で最も多く、次いで「年金収入があるため」が33.3%(1名)となっている。



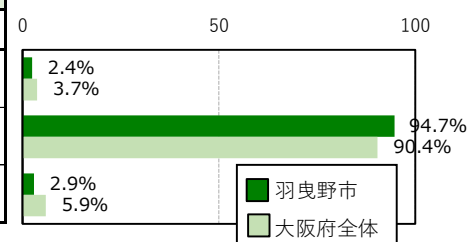
世帯の状況について

問9 親以外に主として家計を支えている人の有無

保護者全体は、「いる」が2.4%、「いない」が94.7%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が2.8%、「いない」が94.4%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が2.0%、「いない」が94.4%となっている。

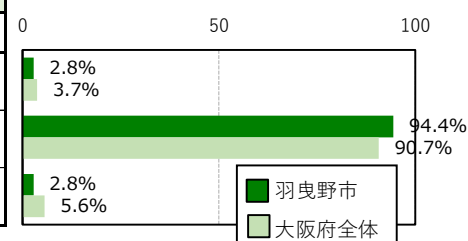
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	11名	2.4%	1,611名	3.7%
いない	431名	94.7%	39,140名	90.4%
無回答	13名	2.9%	2,549名	5.9%



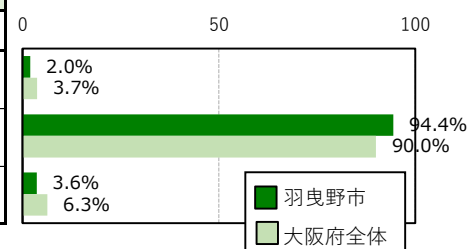
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	6名	2.8%	854名	3.7%
いない	204名	94.4%	20,666名	90.7%
無回答	6名	2.8%	1,266名	5.6%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	4名	2.0%	718名	3.7%
いない	185名	94.4%	17,432名	90.0%
無回答	7名	3.6%	1,215名	6.3%



世帯の状況について

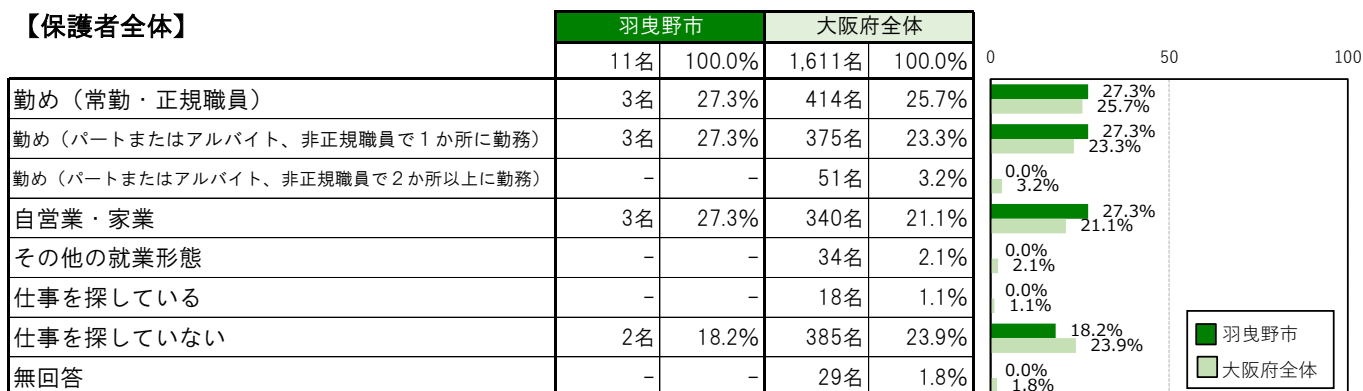
問9 親以外に主として家計を支えている人の就業状況

保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」と「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」、「自営業・家業」がそれぞれ27.3%（3名）で最も多く、次いで「仕事を探していない」が18.2%（2名）となっている。

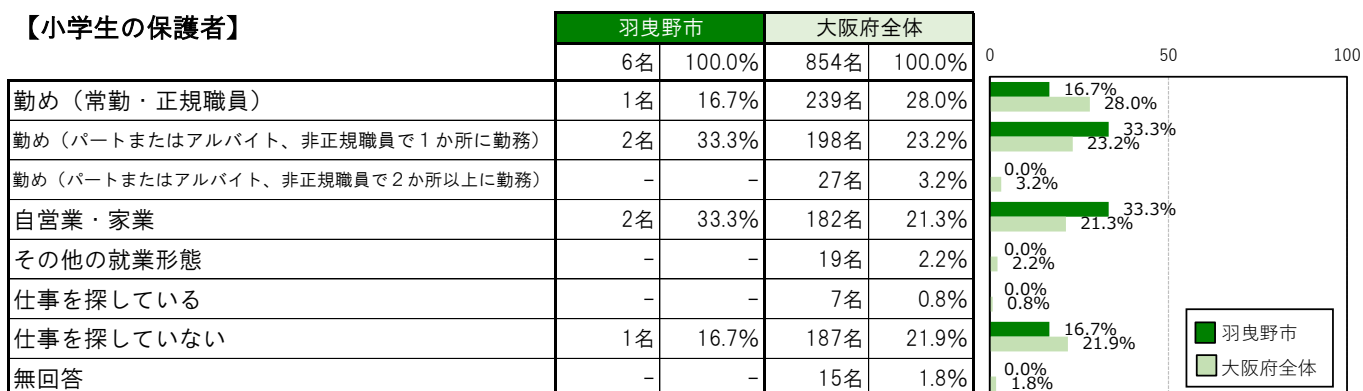
小学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」と「自営業・家業」がそれぞれ33.3%（2名）で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」と「仕事を探していない」がそれぞれ16.7%（1名）となっている。

中学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が50.0%（2名）で最も多く、次いで「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」と「自営業・家業」がそれぞれ25.0%（1名）となっている。

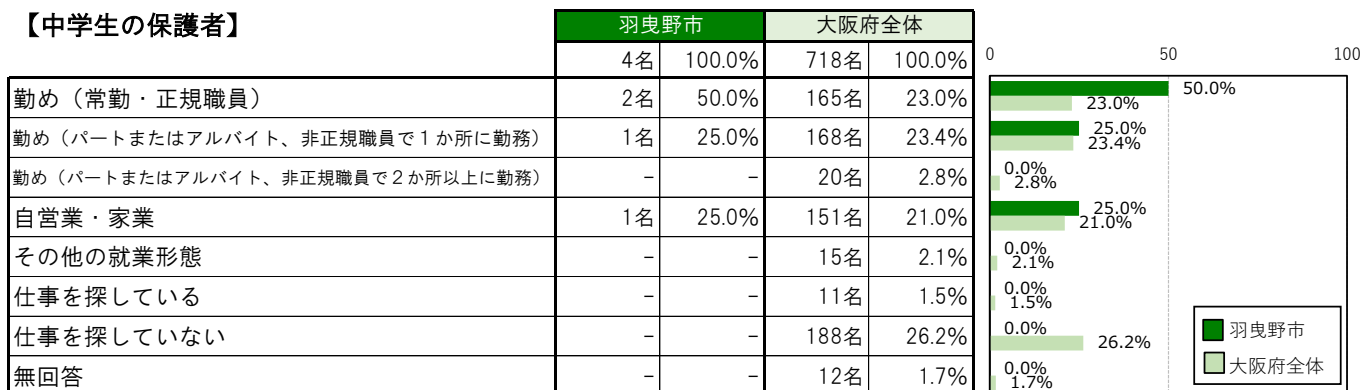
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】

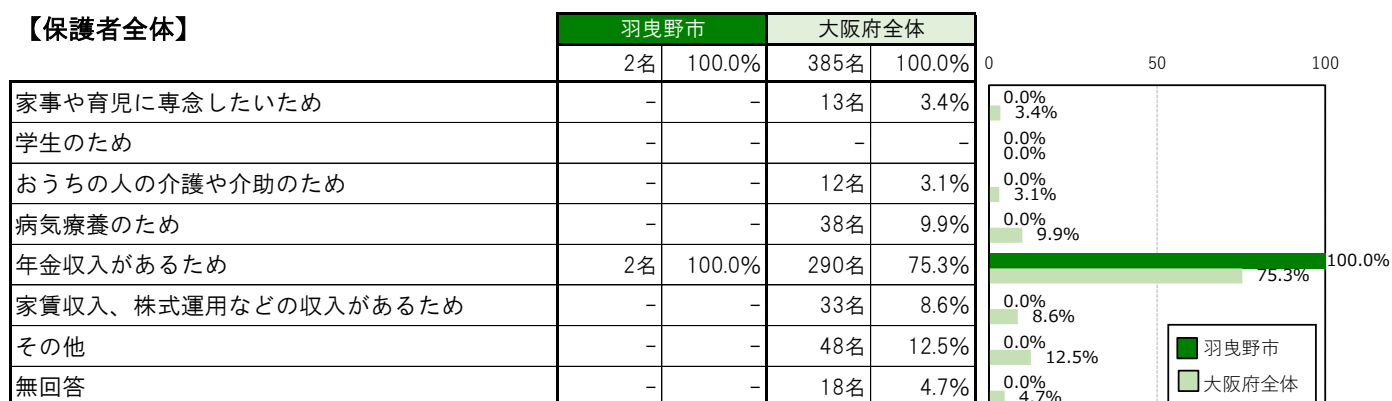


世帯の状況について

問9 親以外に主として家計を支えている人が仕事を探していない理由

保護者全体は、「年金収入があるため」が100.0%(2名)となっている。
小学生の保護者は、「年金収入があるため」が100.0%(1名)となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問10 保護者が家にいる時間帯

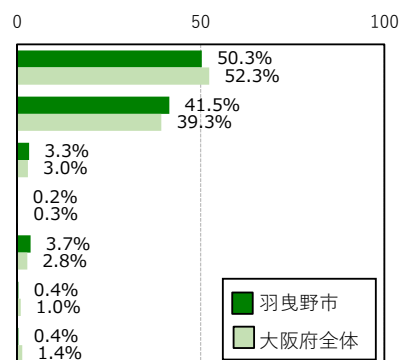
保護者全体は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が50.3%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が41.5%、「帰宅時間が決まっていない」が3.7%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が3.3%となっている。

小学生の保護者は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が53.2%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が40.3%、「帰宅時間が決まっていない」が2.8%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が46.9%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が42.9%、「お子さんの寝る時間には家にいる」と「帰宅時間が決まっていない」がそれぞれ4.6%となっている。

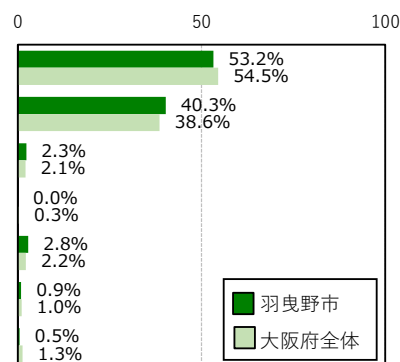
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	455名	100.0%	43,300名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	229名	50.3%	22,638名	52.3%
お子さんの夕食時間には家にいる	189名	41.5%	17,029名	39.3%
お子さんの寝る時間には家にいる	15名	3.3%	1,283名	3.0%
お子さんが寝た後に帰ってくる	1名	0.2%	129名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	17名	3.7%	1,212名	2.8%
その他	2名	0.4%	416名	1.0%
無回答	2名	0.4%	593名	1.4%



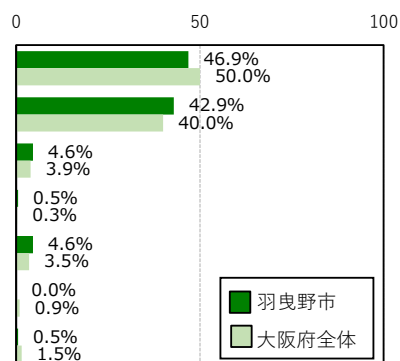
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	216名	100.0%	22,786名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	115名	53.2%	12,408名	54.5%
お子さんの夕食時間には家にいる	87名	40.3%	8,796名	38.6%
お子さんの寝る時間には家にいる	5名	2.3%	489名	2.1%
お子さんが寝た後に帰ってくる	-	-	66名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	6名	2.8%	505名	2.2%
その他	2名	0.9%	222名	1.0%
無回答	1名	0.5%	300名	1.3%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	196名	100.0%	19,365名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	92名	46.9%	9,674名	50.0%
お子さんの夕食時間には家にいる	84名	42.9%	7,739名	40.0%
お子さんの寝る時間には家にいる	9名	4.6%	747名	3.9%
お子さんが寝た後に帰ってくる	1名	0.5%	61名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	9名	4.6%	676名	3.5%
その他	-	-	182名	0.9%
無回答	1名	0.5%	286名	1.5%



世帯の状況について

問11 日本語以外の言語の使用状況

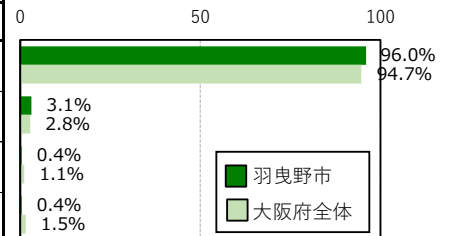
保護者全体は、「日本語のみを使用している」が96.0%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が3.1%となっている。

小学生の保護者は、「日本語のみを使用している」が95.4%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が3.7%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が0.5%となっている。

中学生の保護者は、「日本語のみを使用している」が95.9%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が3.1%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が0.5%となっている。

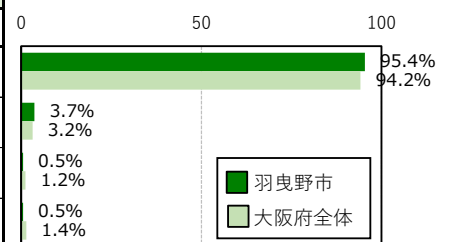
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	455名	100.0%	43,300名	100.0%
日本語のみを使用している	437名	96.0%	40,991名	94.7%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	14名	3.1%	1,201名	2.8%
日本語以外の言語を使うことが多い	2名	0.4%	476名	1.1%
無回答	2名	0.4%	632名	1.5%



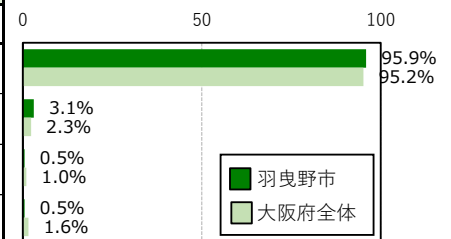
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	216名	100.0%	22,786名	100.0%
日本語のみを使用している	206名	95.4%	21,457名	94.2%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	8名	3.7%	729名	3.2%
日本語以外の言語を使うことが多い	1名	0.5%	280名	1.2%
無回答	1名	0.5%	320名	1.4%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	196名	100.0%	19,365名	100.0%
日本語のみを使用している	188名	95.9%	18,426名	95.2%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	6名	3.1%	446名	2.3%
日本語以外の言語を使うことが多い	1名	0.5%	188名	1.0%
無回答	1名	0.5%	305名	1.6%



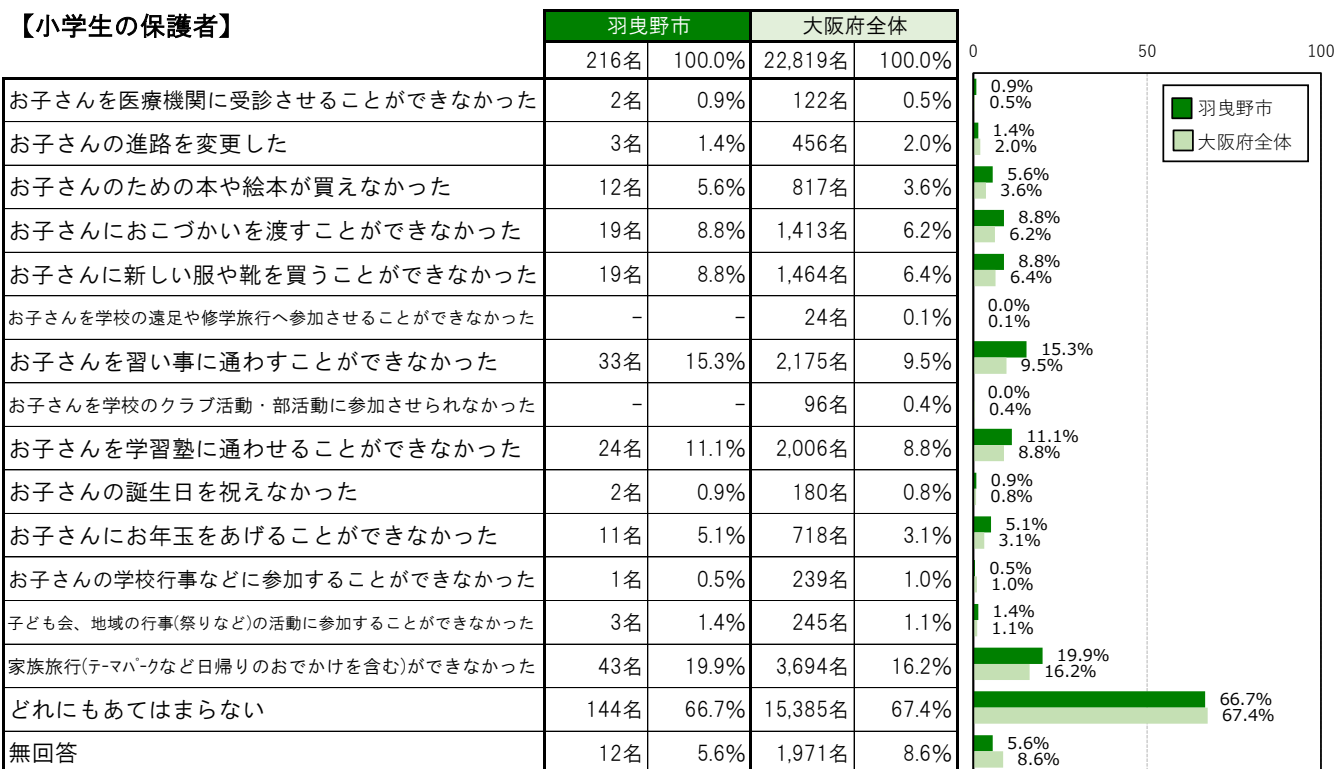
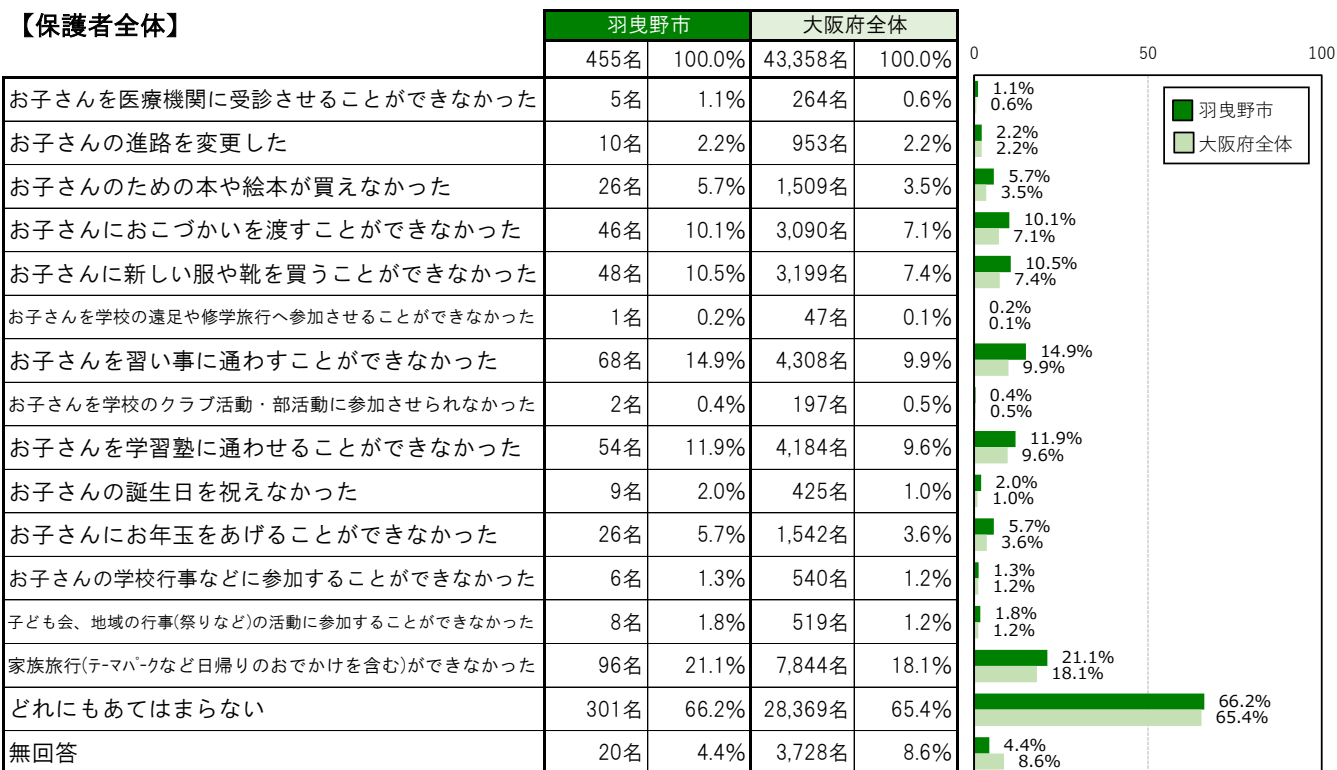
子どもに関することについて

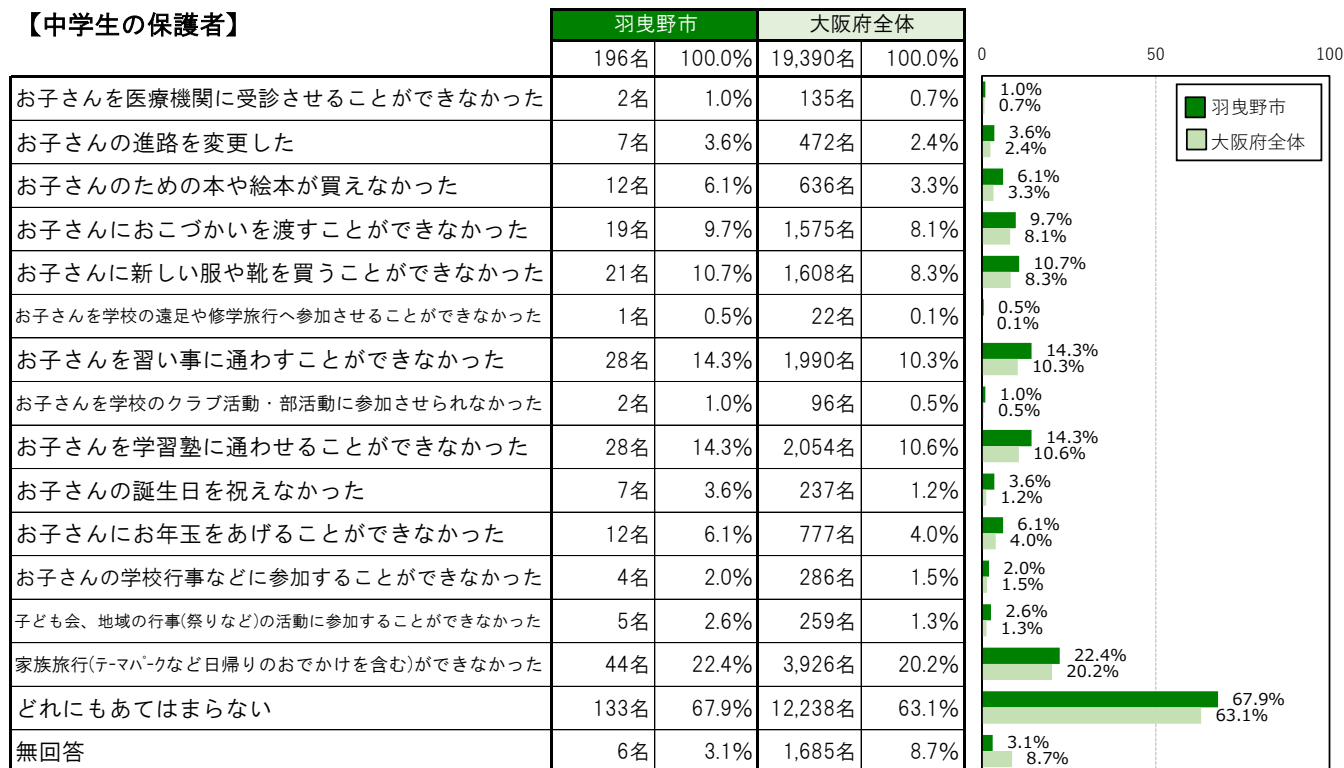
問12 経済的な理由による子どもに関する経験

保護者全体は、「どれにもあてはまらない」が66.2%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が21.1%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」が14.9%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が11.9%となっている。

小学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が66.7%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が19.9%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」が15.3%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が11.1%となっている。

中学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が67.9%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が22.4%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」と「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」がそれぞれ14.3%となっている。





子どもに関することについて

問13（１）子どもへの信頼度

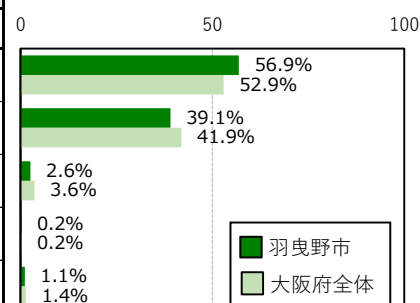
保護者全体は、「とても信頼している」が56.9%で最も多く、次いで「信頼している」が39.1%、「あまり信頼していない」が2.6%となっている。

小学生の保護者は、「とても信頼している」が58.3%で最も多く、次いで「信頼している」が39.4%、「あまり信頼していない」が1.4%となっている。

中学生の保護者は、「とても信頼している」が56.1%で最も多く、次いで「信頼している」が38.3%、「あまり信頼していない」が3.6%となっている。

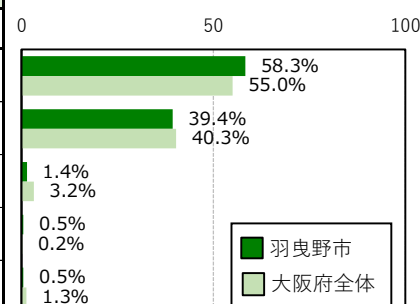
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても信頼している	259名	56.9%	22,948名	52.9%
信頼している	178名	39.1%	18,151名	41.9%
あまり信頼していない	12名	2.6%	1,566名	3.6%
信頼していない	1名	0.2%	101名	0.2%
無回答	5名	1.1%	592名	1.4%



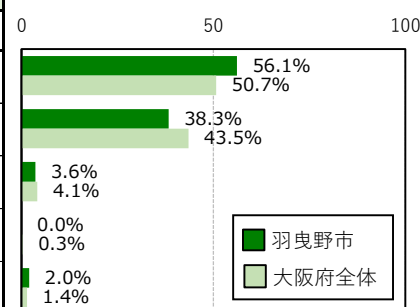
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても信頼している	126名	58.3%	12,553名	55.0%
信頼している	85名	39.4%	9,191名	40.3%
あまり信頼していない	3名	1.4%	720名	3.2%
信頼していない	1名	0.5%	48名	0.2%
無回答	1名	0.5%	307名	1.3%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても信頼している	110名	56.1%	9,835名	50.7%
信頼している	75名	38.3%	8,429名	43.5%
あまり信頼していない	7名	3.6%	796名	4.1%
信頼していない	-	-	50名	0.3%
無回答	4名	2.0%	280名	1.4%



子どもに関することについて

問13（２）子どもとの会話頻度

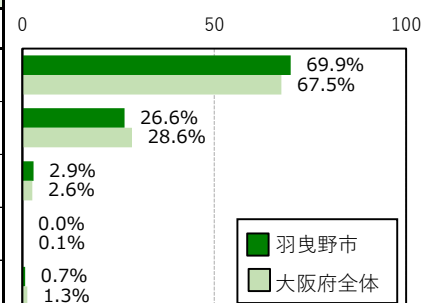
保護者全体は、「よくする」が69.9%で最も多く、次いで「する」が26.6%、「あまりしない」が2.9%となっている。

小学生の保護者は、「よくする」が72.7%で最も多く、次いで「する」が25.0%、「あまりしない」が2.3%となっている。

中学生の保護者は、「よくする」が67.9%で最も多く、次いで「する」が27.0%、「あまりしない」が3.6%となっている。

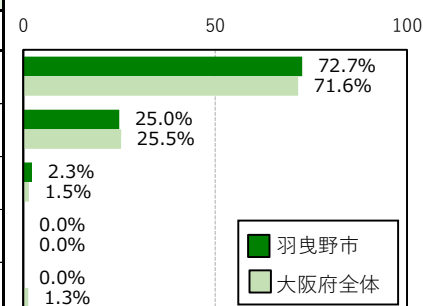
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
よくする	318名	69.9%	29,262名	67.5%
する	121名	26.6%	12,391名	28.6%
あまりしない	13名	2.9%	1,110名	2.6%
しない	-	-	30名	0.1%
無回答	3名	0.7%	565名	1.3%



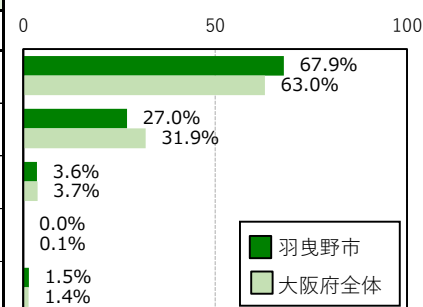
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
よくする	157名	72.7%	16,345名	71.6%
する	54名	25.0%	5,827名	25.5%
あまりしない	5名	2.3%	337名	1.5%
しない	-	-	10名	0.0%
無回答	-	-	300名	1.3%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
よくする	133名	67.9%	12,214名	63.0%
する	53名	27.0%	6,176名	31.9%
あまりしない	7名	3.6%	719名	3.7%
しない	-	-	19名	0.1%
無回答	3名	1.5%	262名	1.4%



子どもに関することについて

問13（3）平日での子どもとの関わり時間

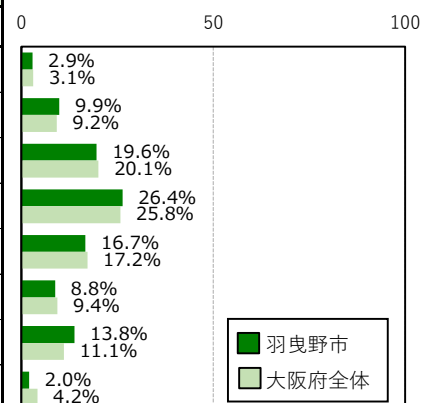
保護者全体は、「1時間～2時間未満」が26.4%で最も多く、次いで「30分～1時間未満」が19.6%、「2時間～3時間未満」が16.7%、「4時間以上」が13.8%となっている。

小学生の保護者は、「1時間～2時間未満」が26.4%で最も多く、次いで「30分～1時間未満」が19.9%、「2時間～3時間未満」が19.4%、「4時間以上」が15.7%となっている。

中学生の保護者は、「1時間～2時間未満」が26.5%で最も多く、次いで「30分～1時間未満」が19.4%、「4時間以上」が13.8%、「15分～30分未満」が13.3%となっている。

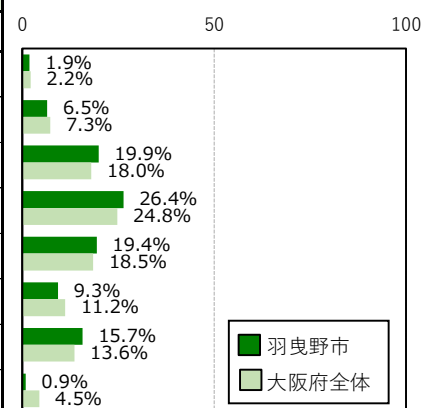
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	455名	100.0%	43,358名	100.0%
0～15分未満	13名	2.9%	1,323名	3.1%
15分～30分未満	45名	9.9%	3,978名	9.2%
30分～1時間未満	89名	19.6%	8,701名	20.1%
1時間～2時間未満	120名	26.4%	11,171名	25.8%
2時間～3時間未満	76名	16.7%	7,479名	17.2%
3時間～4時間未満	40名	8.8%	4,091名	9.4%
4時間以上	63名	13.8%	4,813名	11.1%
無回答	9名	2.0%	1,802名	4.2%



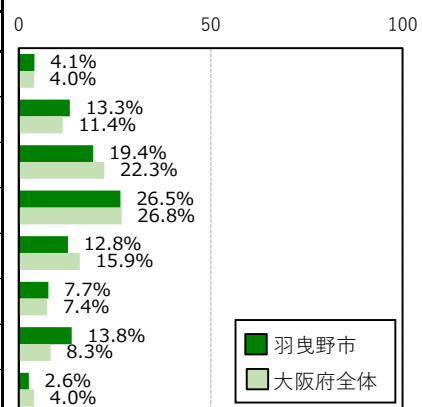
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	216名	100.0%	22,819名	100.0%
0～15分未満	4名	1.9%	494名	2.2%
15分～30分未満	14名	6.5%	1,662名	7.3%
30分～1時間未満	43名	19.9%	4,099名	18.0%
1時間～2時間未満	57名	26.4%	5,657名	24.8%
2時間～3時間未満	42名	19.4%	4,224名	18.5%
3時間～4時間未満	20名	9.3%	2,561名	11.2%
4時間以上	34名	15.7%	3,100名	13.6%
無回答	2名	0.9%	1,022名	4.5%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	196名	100.0%	19,390名	100.0%
0～15分未満	8名	4.1%	771名	4.0%
15分～30分未満	26名	13.3%	2,205名	11.4%
30分～1時間未満	38名	19.4%	4,316名	22.3%
1時間～2時間未満	52名	26.5%	5,203名	26.8%
2時間～3時間未満	25名	12.8%	3,075名	15.9%
3時間～4時間未満	15名	7.7%	1,435名	7.4%
4時間以上	27名	13.8%	1,617名	8.3%
無回答	5名	2.6%	768名	4.0%



子どもに関することについて

問13（3）休日での子どもとの関わり時間

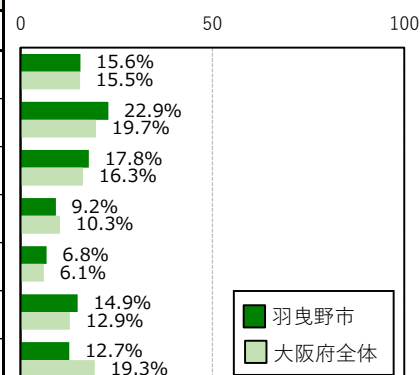
保護者全体は、「2時間～4時間未満」が22.9%で最も多く、次いで「4時間～6時間未満」が17.8%、「2時間未満」が15.6%、「10時間以上」が14.9%となっている。

小学生の保護者は、「2時間～4時間未満」が20.8%で最も多く、次いで「4時間～6時間未満」が20.4%、「10時間以上」が17.6%、「6時間～8時間未満」が11.1%となっている。

中学生の保護者は、「2時間～4時間未満」が24.0%で最も多く、次いで「2時間未満」が20.9%、「4時間～6時間未満」が14.3%、「10時間以上」が11.2%となっている。

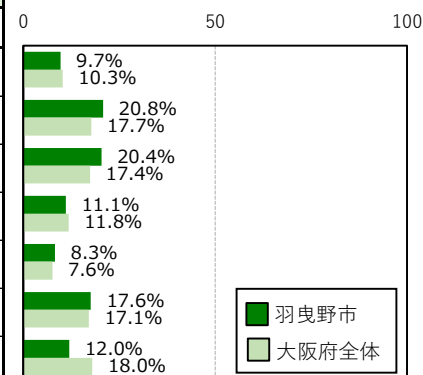
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	455名	100.0%	43,358名	100.0%
2時間未満	71名	15.6%	6,723名	15.5%
2時間～4時間未満	104名	22.9%	8,521名	19.7%
4時間～6時間未満	81名	17.8%	7,050名	16.3%
6時間～8時間未満	42名	9.2%	4,454名	10.3%
8時間～10時間未満	31名	6.8%	2,659名	6.1%
10時間以上	68名	14.9%	5,577名	12.9%
無回答	58名	12.7%	8,374名	19.3%



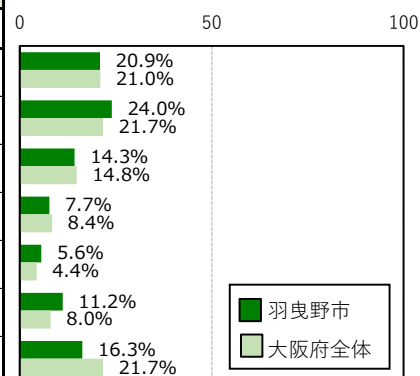
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	216名	100.0%	22,819名	100.0%
2時間未満	21名	9.7%	2,357名	10.3%
2時間～4時間未満	45名	20.8%	4,031名	17.7%
4時間～6時間未満	44名	20.4%	3,977名	17.4%
6時間～8時間未満	24名	11.1%	2,700名	11.8%
8時間～10時間未満	18名	8.3%	1,740名	7.6%
10時間以上	38名	17.6%	3,896名	17.1%
無回答	26名	12.0%	4,118名	18.0%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	196名	100.0%	19,390名	100.0%
2時間未満	41名	20.9%	4,070名	21.0%
2時間～4時間未満	47名	24.0%	4,216名	21.7%
4時間～6時間未満	28名	14.3%	2,876名	14.8%
6時間～8時間未満	15名	7.7%	1,632名	8.4%
8時間～10時間未満	11名	5.6%	845名	4.4%
10時間以上	22名	11.2%	1,542名	8.0%
無回答	32名	16.3%	4,209名	21.7%



子どもに関することについて

問13（４）子どもの将来への期待度

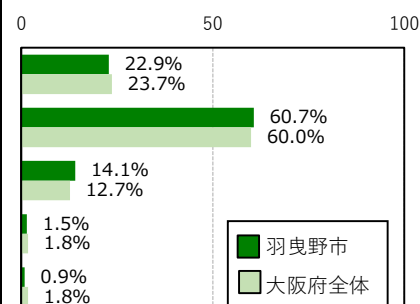
保護者全体は、「期待している」が60.7%で最も多く、次いで「とても期待している」が22.9%、「あまり期待していない」が14.1%、「期待していない」が1.5%となっている。

小学生の保護者は、「期待している」が62.5%で最も多く、次いで「とても期待している」が24.5%、「あまり期待していない」が12.0%、「期待していない」が0.5%となっている。

中学生の保護者は、「期待している」が58.2%で最も多く、次いで「とても期待している」が21.4%、「あまり期待していない」が16.3%、「期待していない」が2.6%となっている。

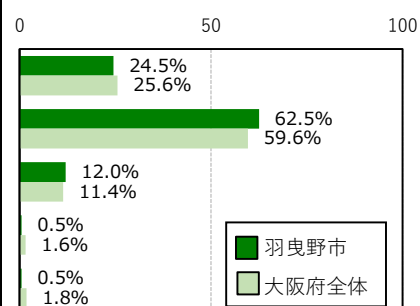
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても期待している	104名	22.9%	10,264名	23.7%
期待している	276名	60.7%	26,035名	60.0%
あまり期待していない	64名	14.1%	5,485名	12.7%
期待していない	7名	1.5%	779名	1.8%
無回答	4名	0.9%	795名	1.8%



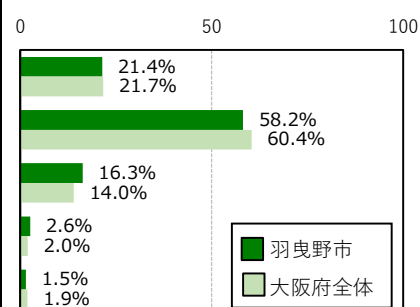
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても期待している	53名	24.5%	5,831名	25.6%
期待している	135名	62.5%	13,610名	59.6%
あまり期待していない	26名	12.0%	2,603名	11.4%
期待していない	1名	0.5%	363名	1.6%
無回答	1名	0.5%	412名	1.8%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても期待している	42名	21.4%	4,207名	21.7%
期待している	114名	58.2%	11,704名	60.4%
あまり期待していない	32名	16.3%	2,717名	14.0%
期待していない	5名	2.6%	388名	2.0%
無回答	3名	1.5%	374名	1.9%



子どもに関することについて

問13（５）子どもの授業参観や運動会などの学校行事への参加状況

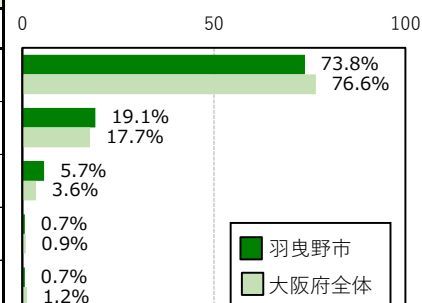
保護者全体は、「よく参加している」が73.8%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が19.1%、「あまり参加していない」が5.7%となっている。

小学生の保護者は、「よく参加している」が84.3%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が12.5%、「あまり参加していない」が3.2%となっている。

中学生の保護者は、「よく参加している」が60.7%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が28.6%、「あまり参加していない」が8.7%となっている。

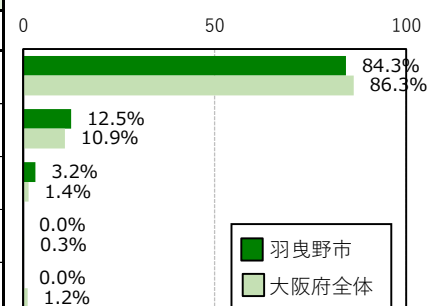
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
よく参加している	336名	73.8%	33,215名	76.6%
ときどき参加している	87名	19.1%	7,691名	17.7%
あまり参加していない	26名	5.7%	1,550名	3.6%
まったく参加していない	3名	0.7%	376名	0.9%
無回答	3名	0.7%	526名	1.2%



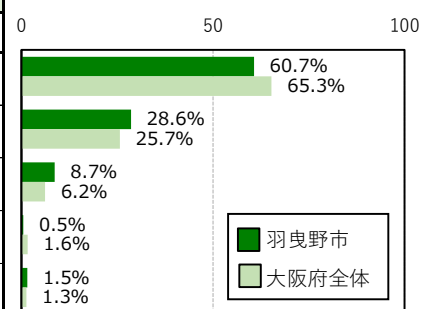
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
よく参加している	182名	84.3%	19,697名	86.3%
ときどき参加している	27名	12.5%	2,477名	10.9%
あまり参加していない	7名	3.2%	309名	1.4%
まったく参加していない	-	-	58名	0.3%
無回答	-	-	278名	1.2%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
よく参加している	119名	60.7%	12,665名	65.3%
ときどき参加している	56名	28.6%	4,975名	25.7%
あまり参加していない	17名	8.7%	1,202名	6.2%
まったく参加していない	1名	0.5%	304名	1.6%
無回答	3名	1.5%	244名	1.3%



子どもに関することについて

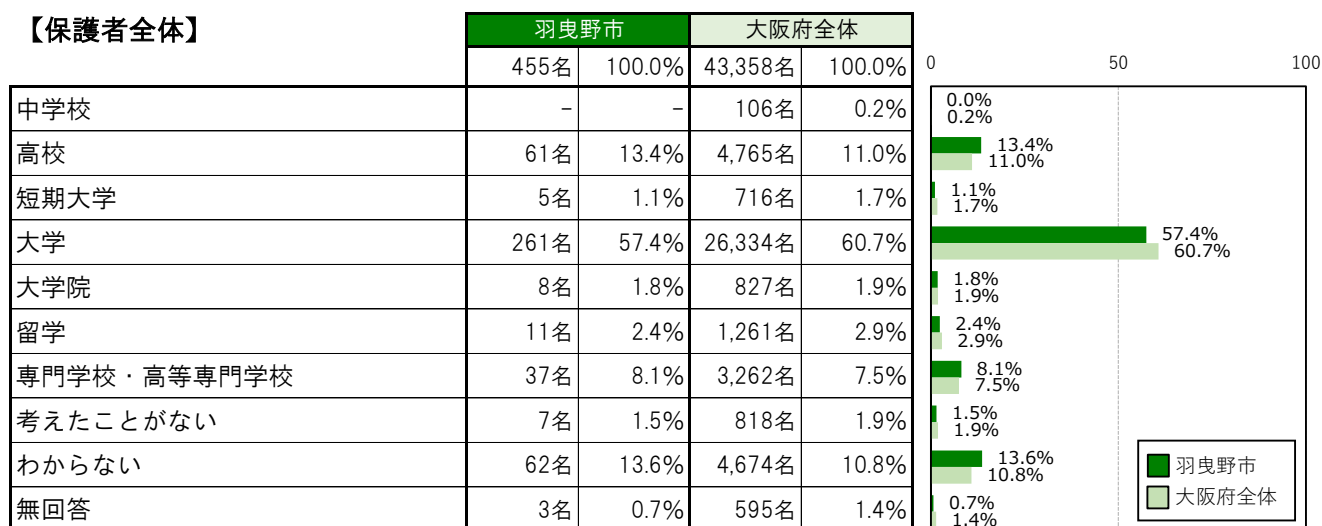
問14 子どもに希望する進学

保護者全体は、「大学」が57.4%で最も多く、次いで「高校」が13.4%、「専門学校・高等専門学校」が8.1%、「留学」が2.4%となっている。

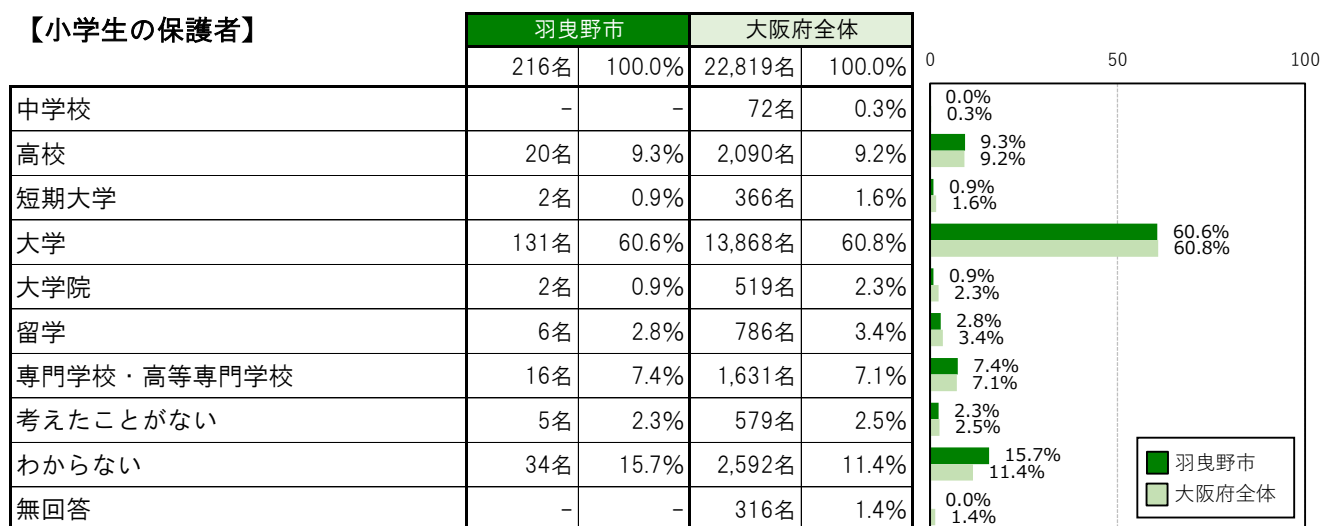
小学生の保護者は、「大学」が60.6%で最も多く、次いで「高校」が9.3%、「専門学校・高等専門学校」が7.4%、「留学」が2.8%となっている。

中学生の保護者は、「大学」が56.1%で最も多く、次いで「高校」が15.8%、「専門学校・高等専門学校」が7.7%、「大学院」が3.1%となっている。

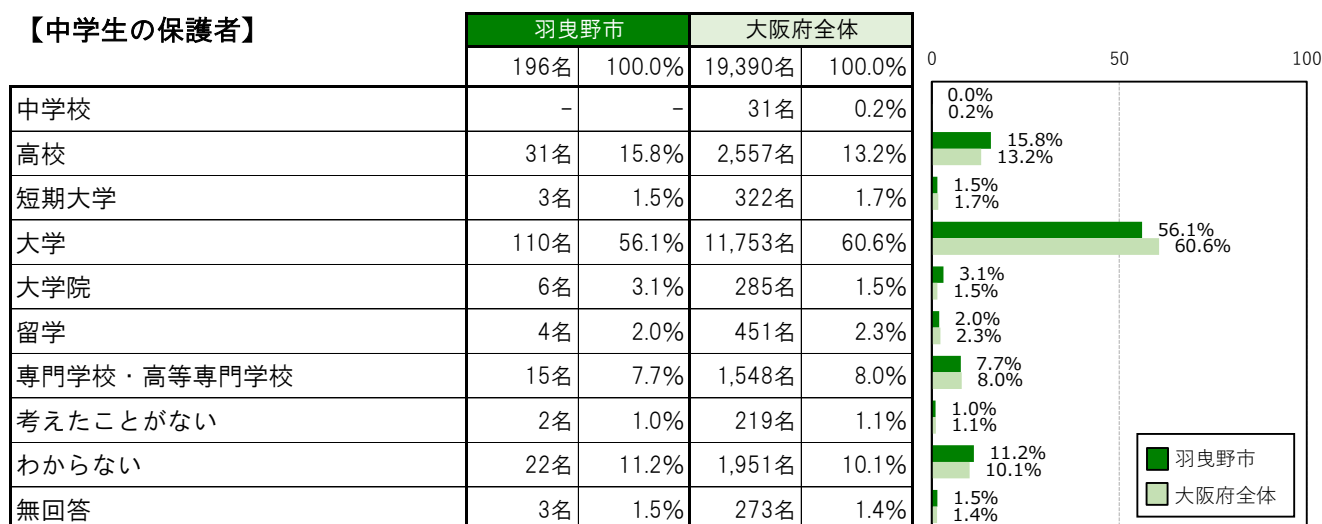
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



子どもに関することについて

問15 子どもの通学状況

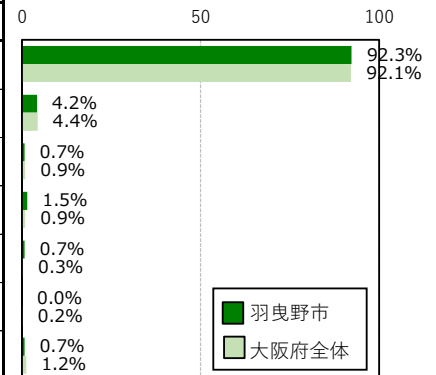
保護者全体は、「ほぼ毎日通っている」が92.3%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が4.2%、「欠席が年間60日以上、1年未満である」が1.5%となっている。

小学生の保護者は、「ほぼ毎日通っている」が94.0%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が4.2%、「欠席が年間60日以上、1年未満である」が0.9%となっている。

中学生の保護者は、「ほぼ毎日通っている」が90.8%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が4.6%、「欠席が年間60日以上、1年未満である」が2.0%となっている。

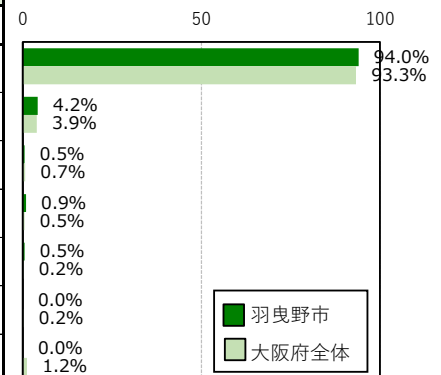
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	455名	100.0%	43,358名	100.0%
ほぼ毎日通っている	420名	92.3%	39,916名	92.1%
欠席は年間30日未満である	19名	4.2%	1,900名	4.4%
欠席が年間30日以上、60日未満である	3名	0.7%	406名	0.9%
欠席が年間60日以上、1年未満である	7名	1.5%	379名	0.9%
欠席が1年以上続いている	3名	0.7%	127名	0.3%
わからない	-	-	108名	0.2%
無回答	3名	0.7%	522名	1.2%



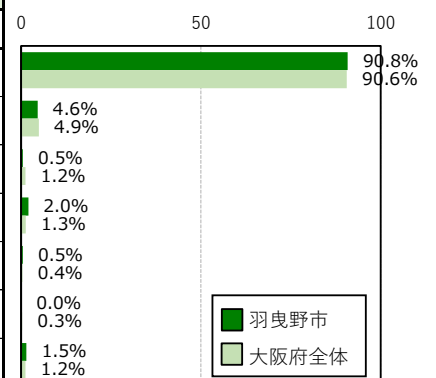
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	216名	100.0%	22,819名	100.0%
ほぼ毎日通っている	203名	94.0%	21,301名	93.3%
欠席は年間30日未満である	9名	4.2%	895名	3.9%
欠席が年間30日以上、60日未満である	1名	0.5%	158名	0.7%
欠席が年間60日以上、1年未満である	2名	0.9%	107名	0.5%
欠席が1年以上続いている	1名	0.5%	36名	0.2%
わからない	-	-	44名	0.2%
無回答	-	-	278名	1.2%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	196名	100.0%	19,390名	100.0%
ほぼ毎日通っている	178名	90.8%	17,568名	90.6%
欠席は年間30日未満である	9名	4.6%	945名	4.9%
欠席が年間30日以上、60日未満である	1名	0.5%	232名	1.2%
欠席が年間60日以上、1年未満である	4名	2.0%	257名	1.3%
欠席が1年以上続いている	1名	0.5%	86名	0.4%
わからない	-	-	62名	0.3%
無回答	3名	1.5%	240名	1.2%



子どもに関することについて

問16（１）子どもの居場所の利用経験

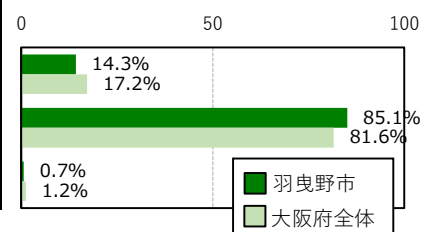
保護者全体は、「利用したことがある」が14.3%、「利用したことがない」が85.1%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがある」が15.7%、「利用したことがない」が84.3%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがある」が13.3%、「利用したことがない」が85.2%となっている。

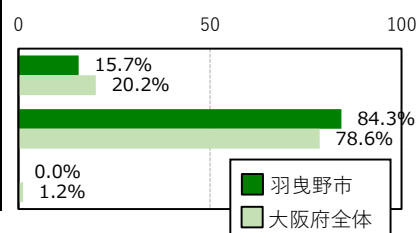
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	455名	100.0%	43,358名	100.0%
利用したことがある	65名	14.3%	7,459名	17.2%
利用したことがない	387名	85.1%	35,367名	81.6%
無回答	3名	0.7%	532名	1.2%



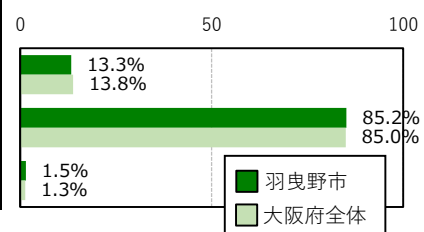
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	216名	100.0%	22,819名	100.0%
利用したことがある	34名	15.7%	4,599名	20.2%
利用したことがない	182名	84.3%	17,945名	78.6%
無回答	-	-	275名	1.2%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	196名	100.0%	19,390名	100.0%
利用したことがある	26名	13.3%	2,667名	13.8%
利用したことがない	167名	85.2%	16,472名	85.0%
無回答	3名	1.5%	251名	1.3%



子どもに関することについて

問16（2）子どもの居場所を利用することで良いと思うこと

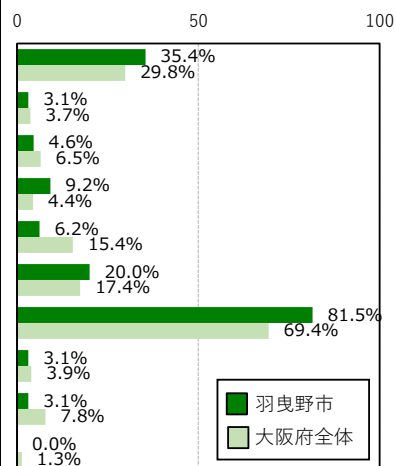
保護者全体は、「お子さんが楽しんでいるから」が81.5%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が35.4%、「宿題など勉強を見てくれるから」が20.0%、「運営者が相談に乗ってくれるから」が9.2%となっている。

小学生の保護者は、「お子さんが楽しんでいるから」が88.2%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が26.5%、「宿題など勉強を見てくれるから」が20.6%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんが楽しんでいるから」が73.1%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が34.6%、「宿題など勉強を見てくれるから」が19.2%、「運営者が相談に乗ってくれるから」と「低額（または無料）でご飯が食べられるから」がそれぞれ7.7%となっている。

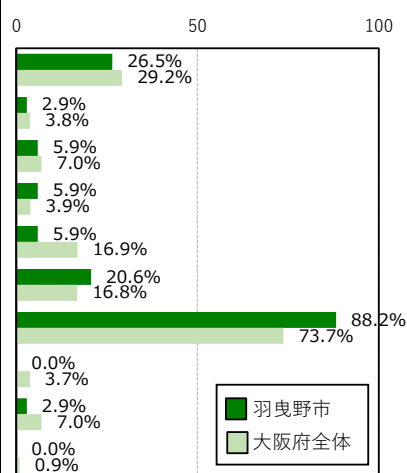
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	65名	100.0%	7,459名	100.0%
地域の人とつながれるから	23名	35.4%	2,226名	29.8%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	2名	3.1%	275名	3.7%
栄養バランスのとれた食事がとれるから	3名	4.6%	484名	6.5%
運営者が相談に乗ってくれるから	6名	9.2%	329名	4.4%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	4名	6.2%	1,152名	15.4%
宿題など勉強を見てくれるから	13名	20.0%	1,301名	17.4%
お子さんが楽しんでいるから	53名	81.5%	5,178名	69.4%
特になし	2名	3.1%	291名	3.9%
その他	2名	3.1%	579名	7.8%
無回答	-	-	95名	1.3%



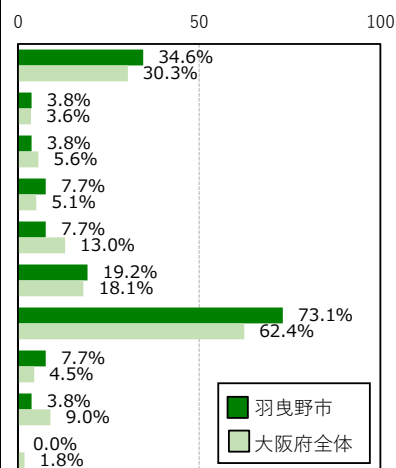
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	34名	100.0%	4,599名	100.0%
地域の人とつながれるから	9名	26.5%	1,344名	29.2%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	1名	2.9%	173名	3.8%
栄養バランスのとれた食事がとれるから	2名	5.9%	322名	7.0%
運営者が相談に乗ってくれるから	2名	5.9%	180名	3.9%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	2名	5.9%	778名	16.9%
宿題など勉強を見てくれるから	7名	20.6%	773名	16.8%
お子さんが楽しんでいるから	30名	88.2%	3,388名	73.7%
特になし	-	-	168名	3.7%
その他	1名	2.9%	324名	7.0%
無回答	-	-	43名	0.9%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	26名	100.0%	2,667名	100.0%
地域の人とつながれるから	9名	34.6%	808名	30.3%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	1名	3.8%	97名	3.6%
栄養バランスのとれた食事がとれるから	1名	3.8%	150名	5.6%
運営者が相談に乗ってくれるから	2名	7.7%	136名	5.1%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	2名	7.7%	348名	13.0%
宿題など勉強を見てくれるから	5名	19.2%	482名	18.1%
お子さんが楽しんでいるから	19名	73.1%	1,664名	62.4%
特になし	2名	7.7%	120名	4.5%
その他	1名	3.8%	241名	9.0%
無回答	-	-	47名	1.8%



子どもに関することについて

問16（3）子どもの居場所を利用しない理由

保護者全体は、「どこにあるか知らないから」が44.7%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が33.1%、「何をしているかわからないから」が12.1%、「お子さんが「行きたくない」と言っているから」が11.4%となっている。

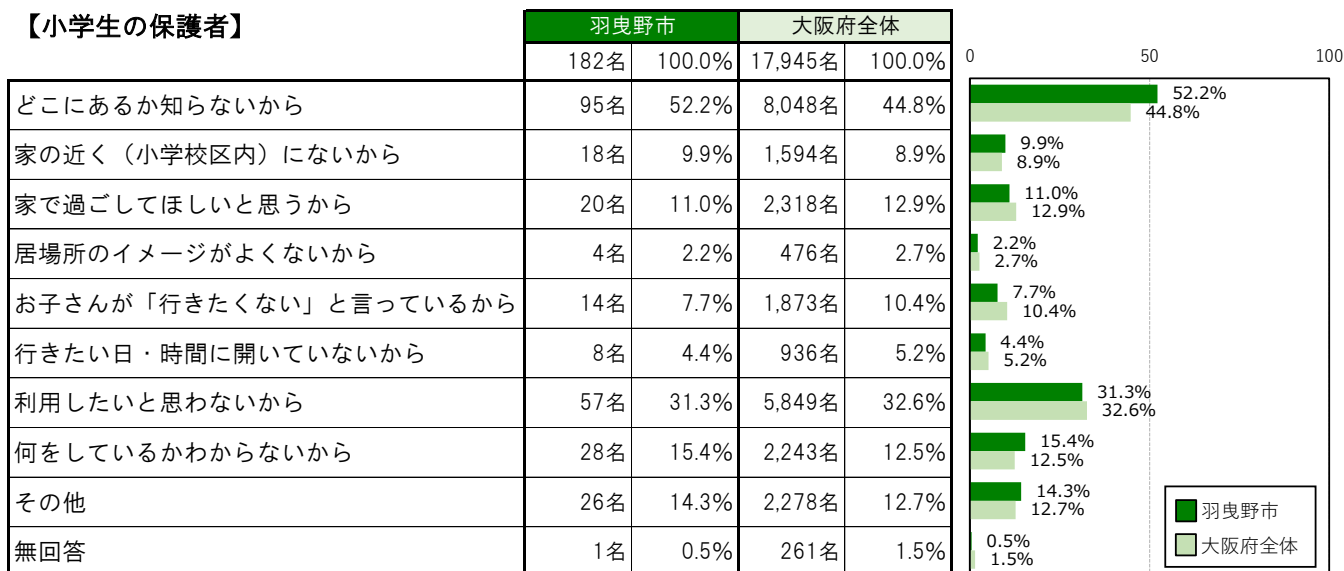
小学生の保護者は、「どこにあるか知らないから」が52.2%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が31.3%、「何をしているかわからないから」が15.4%、「家で過ごしてほしいと思うから」が11.0%となっている。

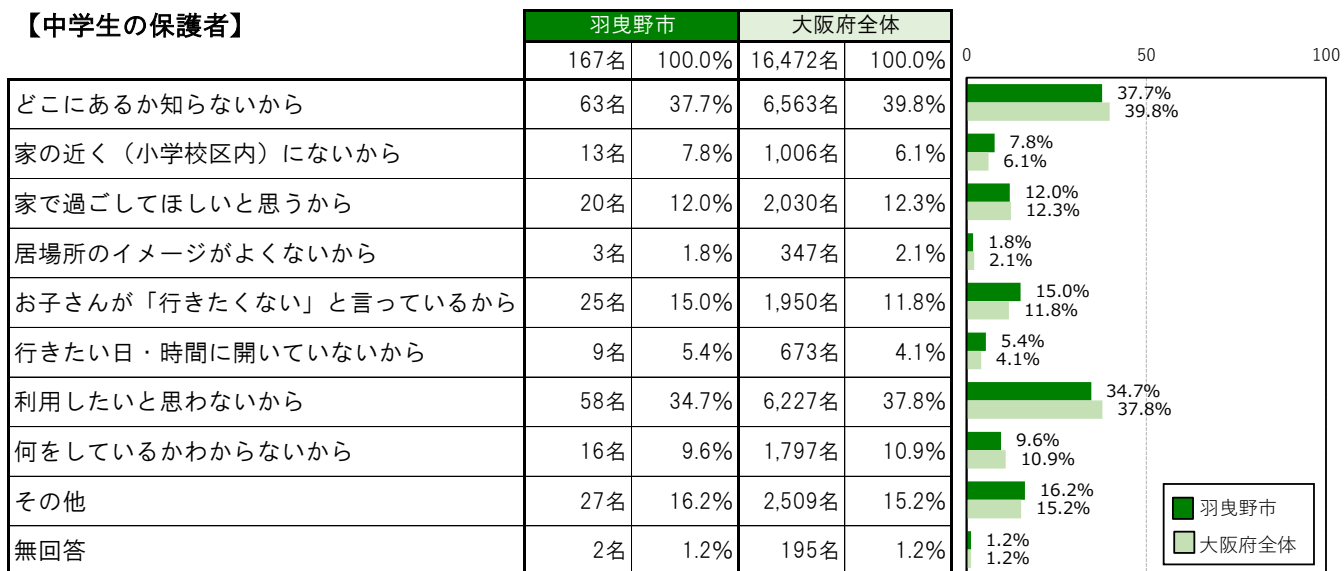
中学生の保護者は、「どこにあるか知らないから」が37.7%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が34.7%、「お子さんが「行きたくない」と言っているから」が15.0%、「家で過ごしてほしいと思うから」が12.0%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】





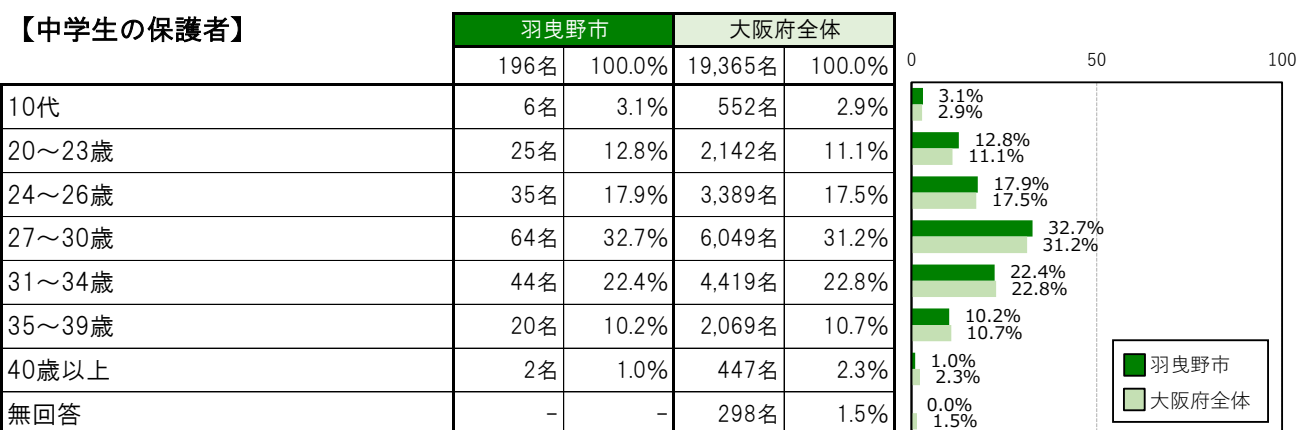
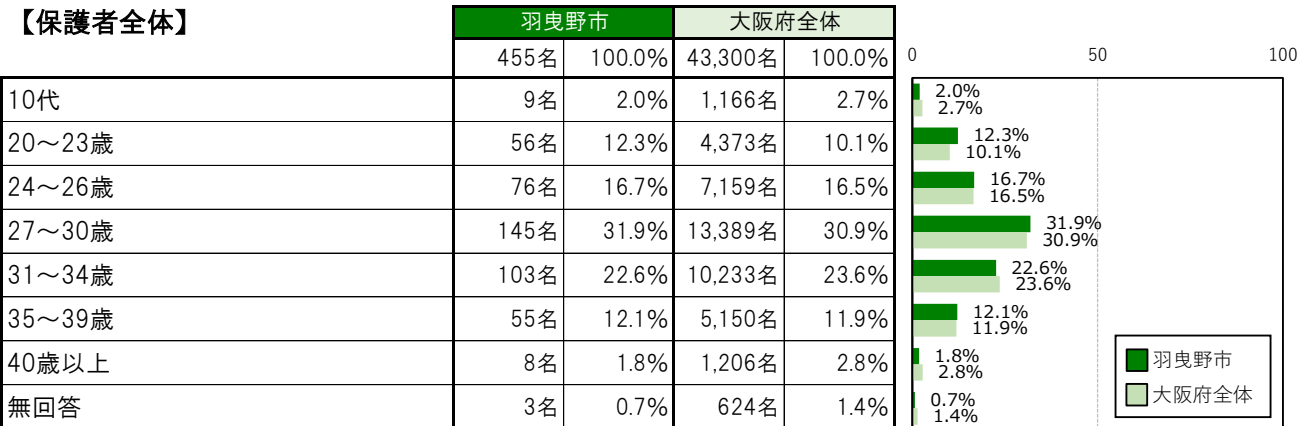
保護者のことについて

問17 初めて親となった年齢

保護者全体は、「27～30歳」が31.9%で最も多く、次いで「31～34歳」が22.6%、「24～26歳」が16.7%、「20～23歳」が12.3%、「35～39歳」が12.1%となっている。

小学生の保護者は、「27～30歳」が31.9%で最も多く、次いで「31～34歳」が24.5%、「24～26歳」が14.4%、「35～39歳」が13.0%、「20～23歳」が11.1%となっている。

中学生の保護者は、「27～30歳」が32.7%で最も多く、次いで「31～34歳」が22.4%、「24～26歳」が17.9%、「20～23歳」が12.8%、「35～39歳」が10.2%となっている。



保護者のことについて

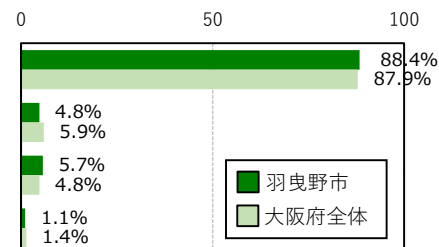
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

①心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

保護者全体は、「いる」が88.4%、「いない」が4.8%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が87.0%、「いない」が4.6%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が88.8%、「いない」が4.6%となっている。

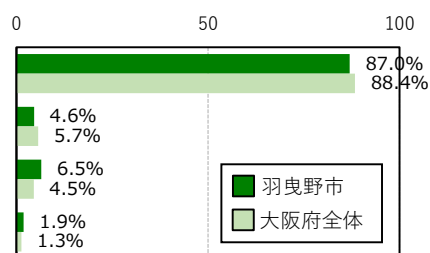
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	402名	88.4%	38,049名	87.9%
いない	22名	4.8%	2,548名	5.9%
わからない	26名	5.7%	2,099名	4.8%
無回答	5名	1.1%	604名	1.4%



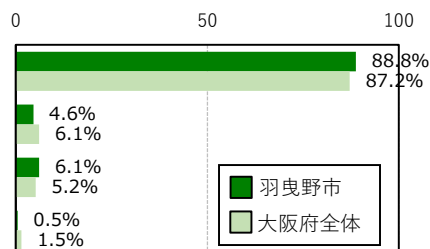
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	188名	87.0%	20,150名	88.4%
いない	10名	4.6%	1,304名	5.7%
わからない	14名	6.5%	1,026名	4.5%
無回答	4名	1.9%	306名	1.3%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	174名	88.8%	16,885名	87.2%
いない	9名	4.6%	1,173名	6.1%
わからない	12名	6.1%	1,016名	5.2%
無回答	1名	0.5%	291名	1.5%



保護者のことについて

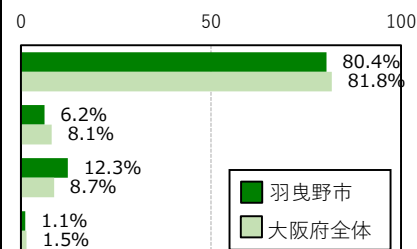
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

②気持ちを察して思いやってくれる人

保護者全体は、「いる」が80.4%、「いない」が6.2%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が79.6%、「いない」が4.6%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が79.6%、「いない」が8.2%となっている。

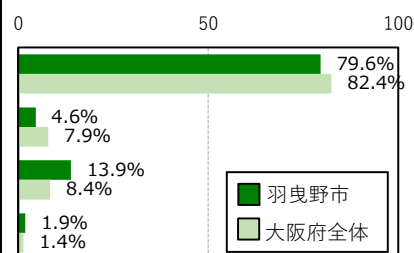
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	366名	80.4%	35,406名	81.8%
いない	28名	6.2%	3,491名	8.1%
わからない	56名	12.3%	3,748名	8.7%
無回答	5名	1.1%	655名	1.5%



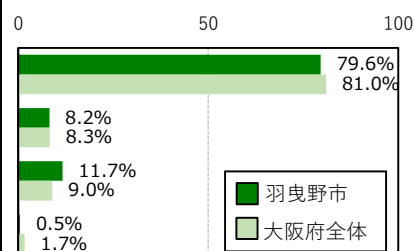
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	172名	79.6%	18,767名	82.4%
いない	10名	4.6%	1,791名	7.9%
わからない	30名	13.9%	1,904名	8.4%
無回答	4名	1.9%	324名	1.4%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	156名	79.6%	15,691名	81.0%
いない	16名	8.2%	1,610名	8.3%
わからない	23名	11.7%	1,741名	9.0%
無回答	1名	0.5%	323名	1.7%



保護者のことについて

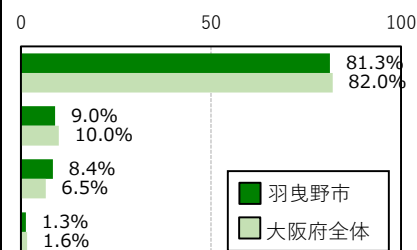
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

③趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

保護者全体は、「いる」が81.3%、「いない」が9.0%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が81.5%、「いない」が7.4%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が78.6%、「いない」が12.2%となっている。

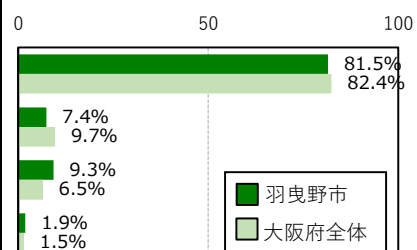
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	370名	81.3%	35,496名	82.0%
いない	41名	9.0%	4,317名	10.0%
わからない	38名	8.4%	2,806名	6.5%
無回答	6名	1.3%	681名	1.6%



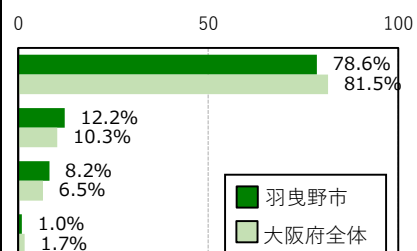
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	176名	81.5%	18,771名	82.4%
いない	16名	7.4%	2,201名	9.7%
わからない	20名	9.3%	1,474名	6.5%
無回答	4名	1.9%	340名	1.5%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	154名	78.6%	15,782名	81.5%
いない	24名	12.2%	1,990名	10.3%
わからない	16名	8.2%	1,259名	6.5%
無回答	2名	1.0%	334名	1.7%



保護者のことについて

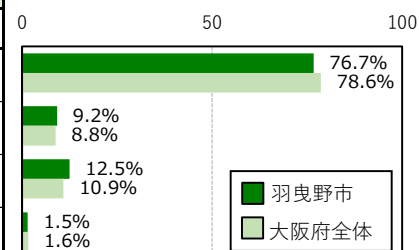
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

④子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

保護者全体は、「いる」が76.7%、「いない」が9.2%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が75.0%、「いない」が10.2%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が76.0%、「いない」が9.2%となっている。

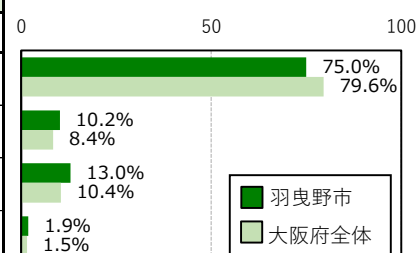
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	349名	76.7%	34,034名	78.6%
いない	42名	9.2%	3,824名	8.8%
わからない	57名	12.5%	4,731名	10.9%
無回答	7名	1.5%	711名	1.6%



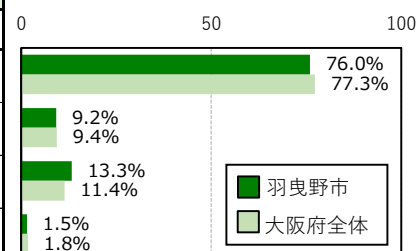
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	162名	75.0%	18,149名	79.6%
いない	22名	10.2%	1,912名	8.4%
わからない	28名	13.0%	2,381名	10.4%
無回答	4名	1.9%	344名	1.5%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	149名	76.0%	14,966名	77.3%
いない	18名	9.2%	1,826名	9.4%
わからない	26名	13.3%	2,217名	11.4%
無回答	3名	1.5%	356名	1.8%



保護者のことについて

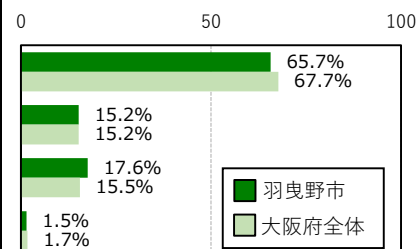
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

⑤子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

保護者全体は、「いる」が65.7%、「いない」が15.2%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が64.8%、「いない」が14.4%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が64.8%、「いない」が16.8%となっている。

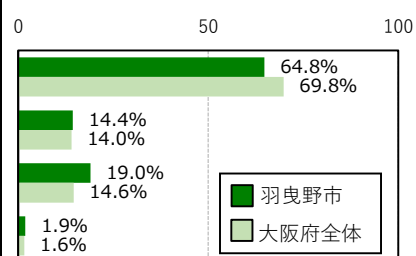
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	299名	65.7%	29,297名	67.7%
いない	69名	15.2%	6,570名	15.2%
わからない	80名	17.6%	6,713名	15.5%
無回答	7名	1.5%	720名	1.7%



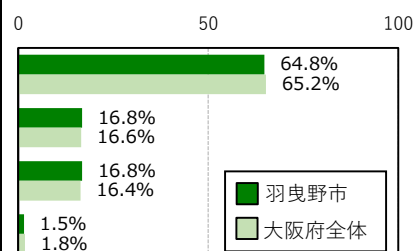
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	140名	64.8%	15,896名	69.8%
いない	31名	14.4%	3,195名	14.0%
わからない	41名	19.0%	3,334名	14.6%
無回答	4名	1.9%	361名	1.6%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	127名	64.8%	12,629名	65.2%
いない	33名	16.8%	3,218名	16.6%
わからない	33名	16.8%	3,167名	16.4%
無回答	3名	1.5%	351名	1.8%



保護者のことについて

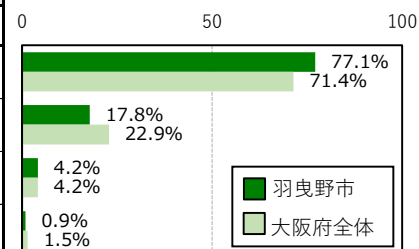
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

保護者全体は、「いる」が77.1%、「いない」が17.8%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が76.4%、「いない」が17.6%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が77.6%、「いない」が18.4%となっている。

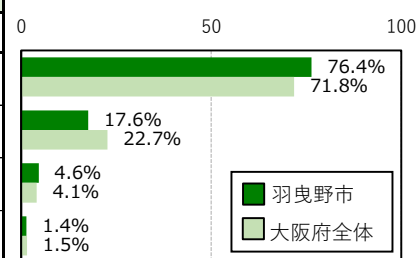
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	351名	77.1%	30,902名	71.4%
いない	81名	17.8%	9,922名	22.9%
わからない	19名	4.2%	1,822名	4.2%
無回答	4名	0.9%	654名	1.5%



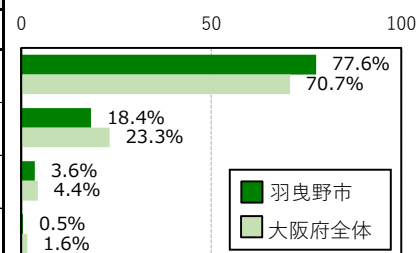
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	165名	76.4%	16,360名	71.8%
いない	38名	17.6%	5,164名	22.7%
わからない	10名	4.6%	930名	4.1%
無回答	3名	1.4%	332名	1.5%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	152名	77.6%	13,687名	70.7%
いない	36名	18.4%	4,519名	23.3%
わからない	7名	3.6%	850名	4.4%
無回答	1名	0.5%	309名	1.6%



保護者のことについて

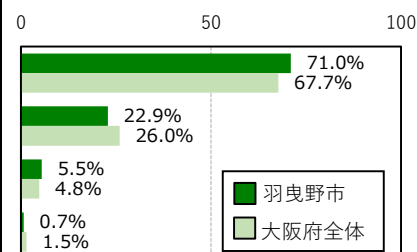
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

⑦留守を頼める人

保護者全体は、「いる」が71.0%、「いない」が22.9%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が72.2%、「いない」が22.7%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が69.4%、「いない」が23.5%となっている。

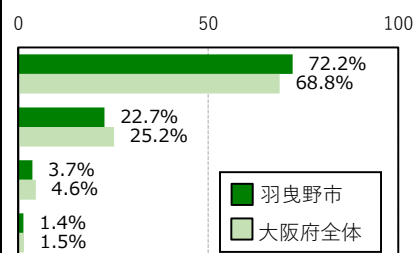
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	323名	71.0%	29,312名	67.7%
いない	104名	22.9%	11,256名	26.0%
わからない	25名	5.5%	2,066名	4.8%
無回答	3名	0.7%	666名	1.5%



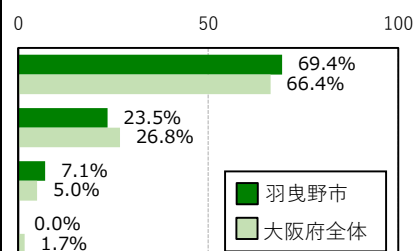
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	156名	72.2%	15,668名	68.8%
いない	49名	22.7%	5,746名	25.2%
わからない	8名	3.7%	1,037名	4.6%
無回答	3名	1.4%	335名	1.5%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	136名	69.4%	12,868名	66.4%
いない	46名	23.5%	5,198名	26.8%
わからない	14名	7.1%	977名	5.0%
無回答	-	-	322名	1.7%



保護者のことについて

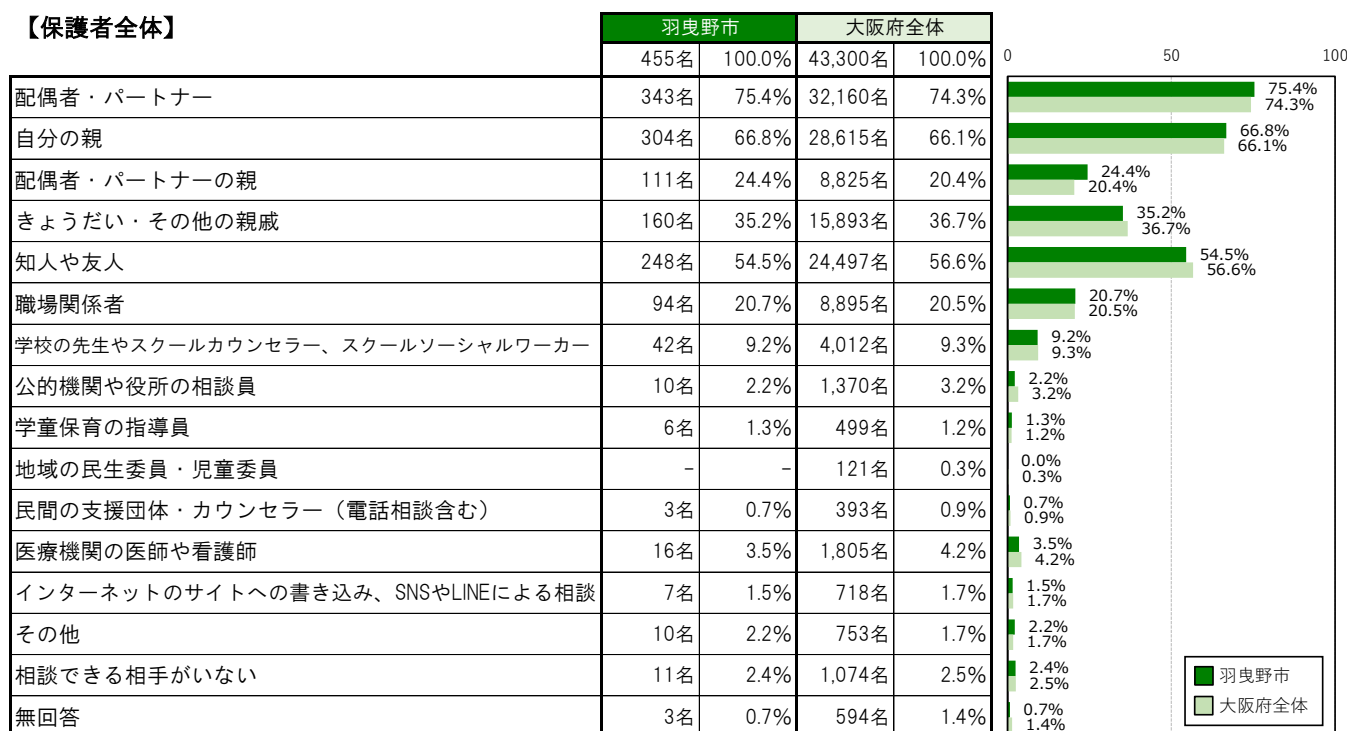
問19 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

保護者全体は、「配偶者・パートナー」が75.4%で最も多く、次いで「自分の親」が66.8%、「知人や友人」が54.5%、「きょうだい・その他の親戚」が35.2%となっている。

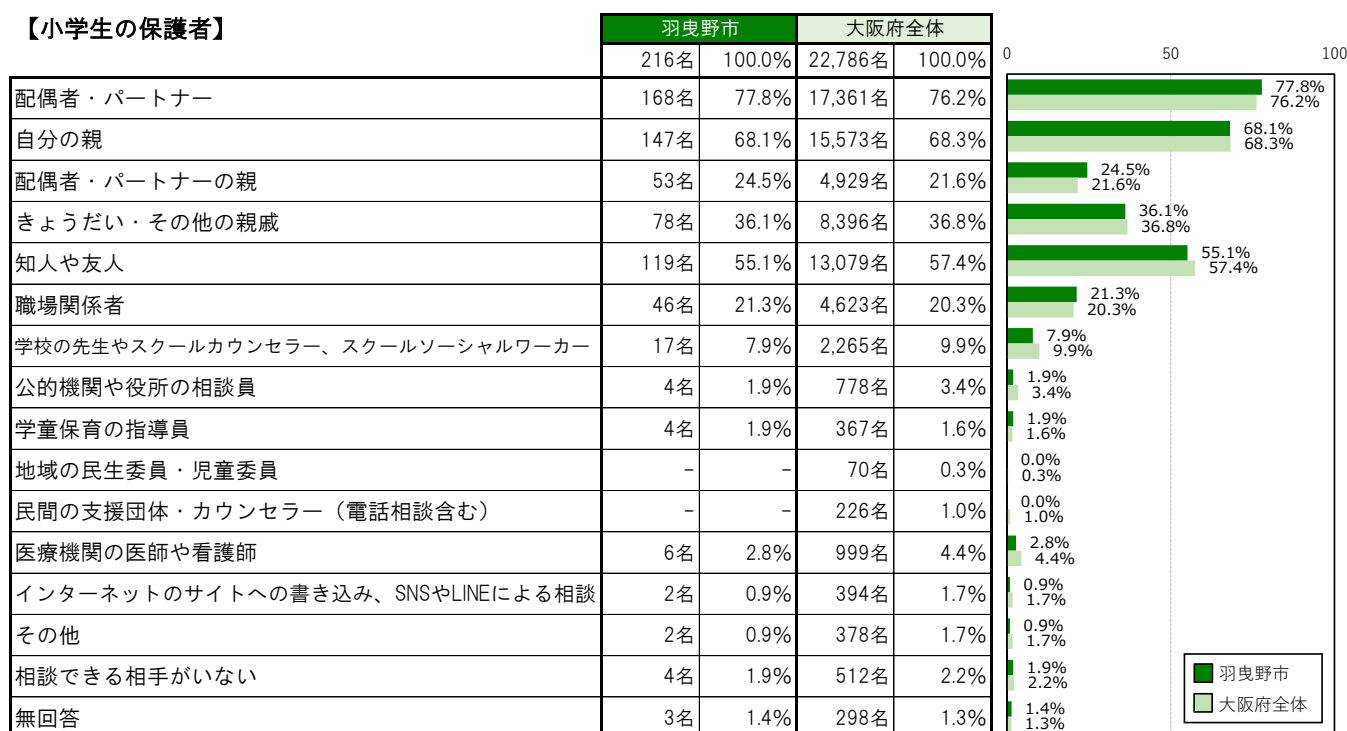
小学生の保護者は、「配偶者・パートナー」が77.8%で最も多く、次いで「自分の親」が68.1%、「知人や友人」が55.1%、「きょうだい・その他の親戚」が36.1%となっている。

中学生の保護者は、「配偶者・パートナー」が75.0%で最も多く、次いで「自分の親」が62.8%、「知人や友人」が52.6%、「きょうだい・その他の親戚」が33.2%となっている。

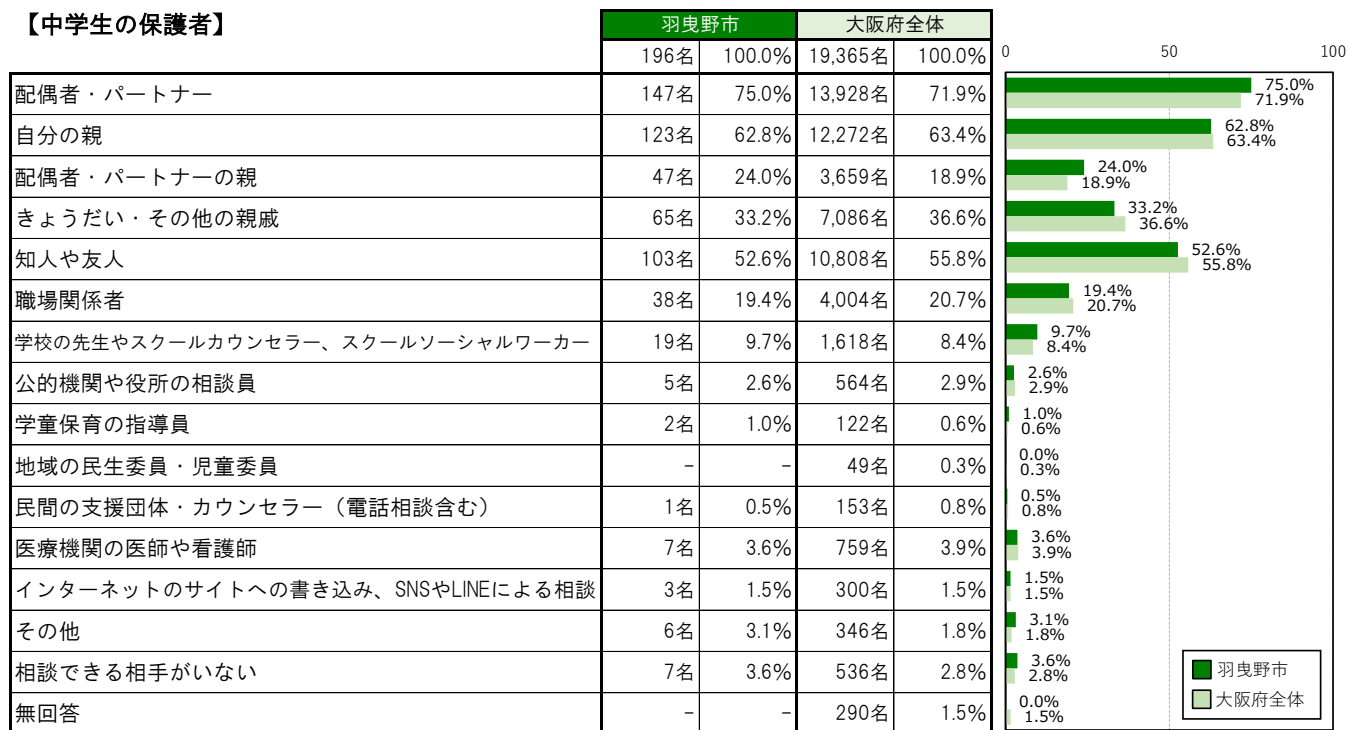
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

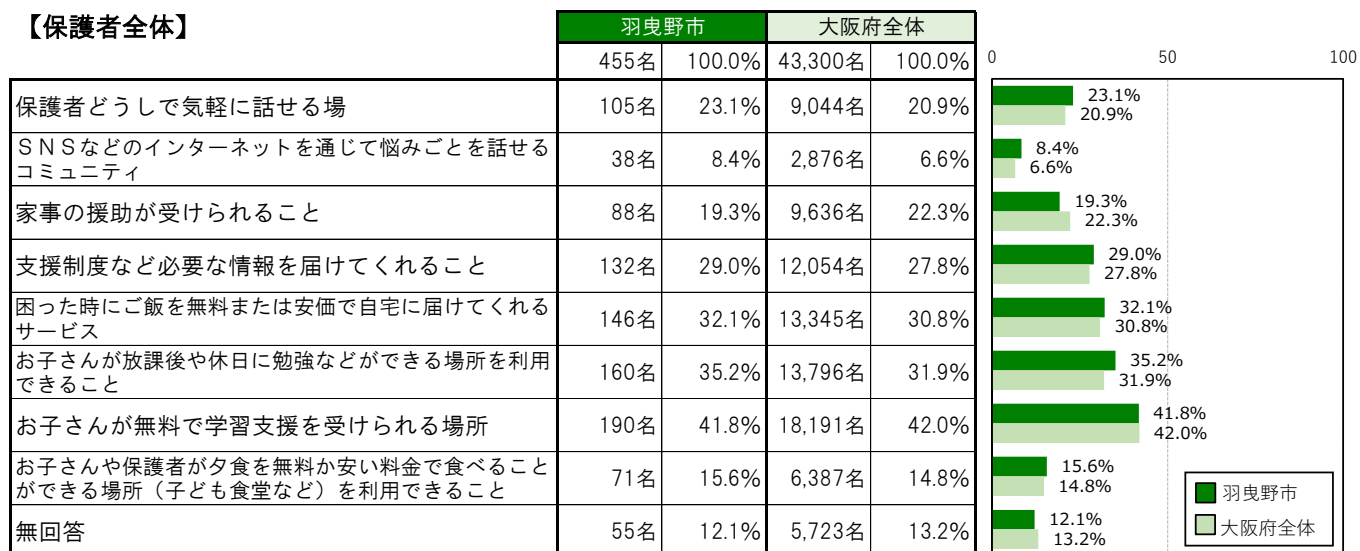
問20 身近にあると思うこと

保護者全体は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が41.8%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が35.2%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が32.1%、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が29.0%となっている。

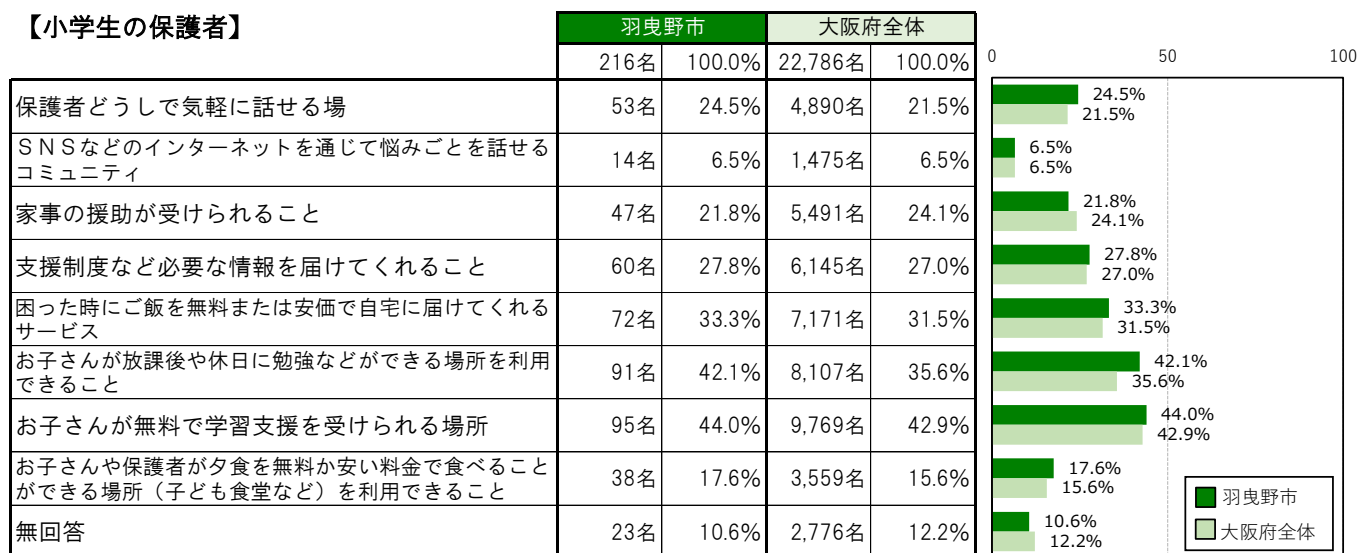
小学生の保護者は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が44.0%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が42.1%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が33.3%、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が27.8%となっている。

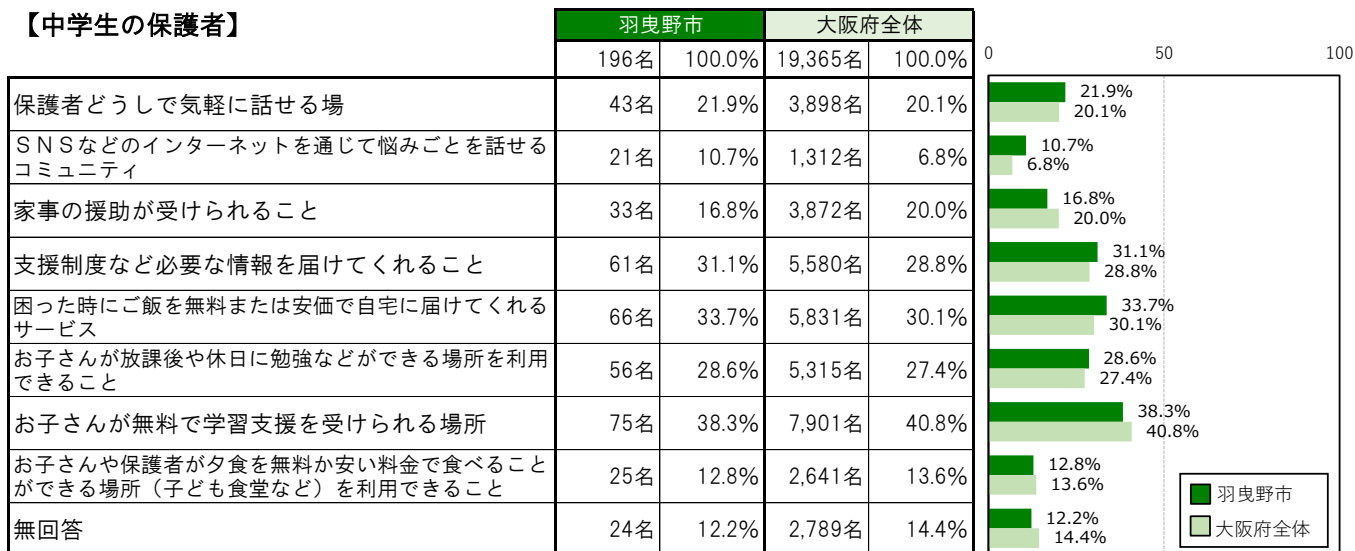
中学生の保護者は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が38.3%で最も多く、次いで「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が33.7%、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が31.1%、「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が28.6%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】





保護者のことについて

問21（１）生活を楽しんでいるか

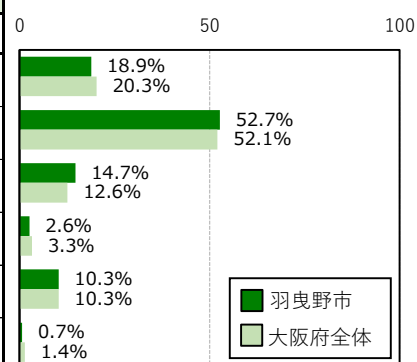
保護者全体は、「楽しんでいる」が52.7%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が18.9%、「あまり楽しんでいない」が14.7%、「楽しんでいない」が2.6%となっている。

小学生の保護者は、「楽しんでいる」が53.2%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が18.1%、「あまり楽しんでいない」が14.4%、「楽しんでいない」が2.8%となっている。

中学生の保護者は、「楽しんでいる」が51.5%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が18.9%、「あまり楽しんでいない」が15.3%、「楽しんでいない」が2.6%となっている。

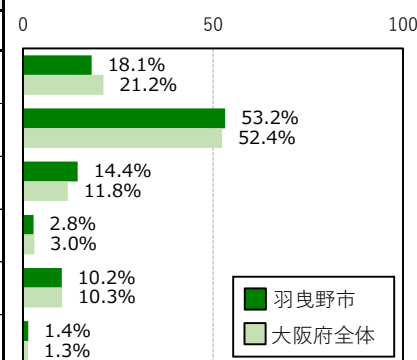
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても楽しんでいる	86名	18.9%	8,791名	20.3%
楽しんでいる	240名	52.7%	22,555名	52.1%
あまり楽しんでいない	67名	14.7%	5,466名	12.6%
楽しんでいない	12名	2.6%	1,411名	3.3%
わからない	47名	10.3%	4,473名	10.3%
無回答	3名	0.7%	604名	1.4%



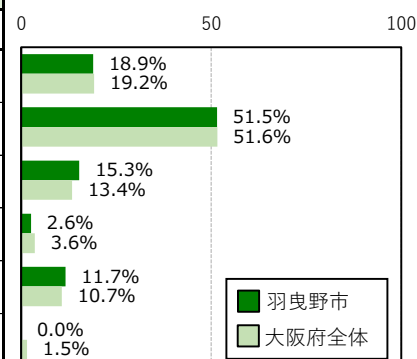
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても楽しんでいる	39名	18.1%	4,835名	21.2%
楽しんでいる	115名	53.2%	11,934名	52.4%
あまり楽しんでいない	31名	14.4%	2,699名	11.8%
楽しんでいない	6名	2.8%	680名	3.0%
わからない	22名	10.2%	2,340名	10.3%
無回答	3名	1.4%	298名	1.3%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても楽しんでいる	37名	18.9%	3,719名	19.2%
楽しんでいる	101名	51.5%	9,994名	51.6%
あまり楽しんでいない	30名	15.3%	2,592名	13.4%
楽しんでいない	5名	2.6%	690名	3.6%
わからない	23名	11.7%	2,070名	10.7%
無回答	-	-	300名	1.5%



保護者のことについて

問21（2）将来に対して希望を持っているか

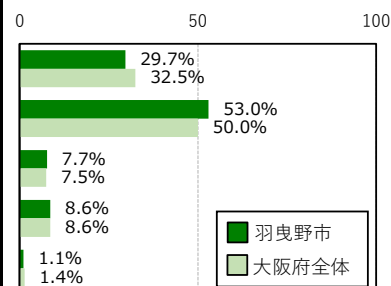
保護者全体は、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が53.0%で最も多く、次いで「希望が持てる」が29.7%、「希望が持てない」が7.7%となっている。

小学生の保護者は、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が50.9%で最も多く、次いで「希望が持てる」が31.5%、「希望が持てない」が7.9%となっている。

中学生の保護者は、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が54.6%で最も多く、次いで「希望が持てる」が27.6%、「希望が持てない」が8.7%となっている。

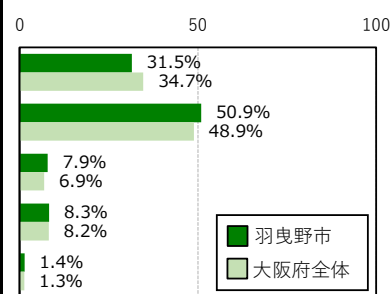
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	455名	100.0%	43,300名	100.0%
希望が持てる	135名	29.7%	14,080名	32.5%
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	241名	53.0%	21,662名	50.0%
希望が持てない	35名	7.7%	3,239名	7.5%
わからない	39名	8.6%	3,718名	8.6%
無回答	5名	1.1%	601名	1.4%



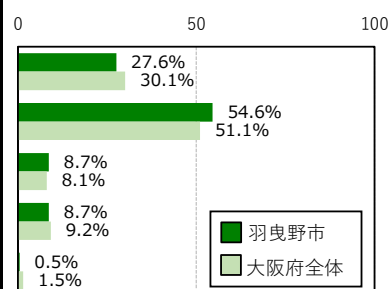
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	216名	100.0%	22,786名	100.0%
希望が持てる	68名	31.5%	7,896名	34.7%
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	110名	50.9%	11,142名	48.9%
希望が持てない	17名	7.9%	1,575名	6.9%
わからない	18名	8.3%	1,874名	8.2%
無回答	3名	1.4%	299名	1.3%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	196名	100.0%	19,365名	100.0%
希望が持てる	54名	27.6%	5,831名	30.1%
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	107名	54.6%	9,890名	51.1%
希望が持てない	17名	8.7%	1,574名	8.1%
わからない	17名	8.7%	1,774名	9.2%
無回答	1名	0.5%	296名	1.5%



保護者のことについて

問21（3）ストレスを発散できるものがあるか

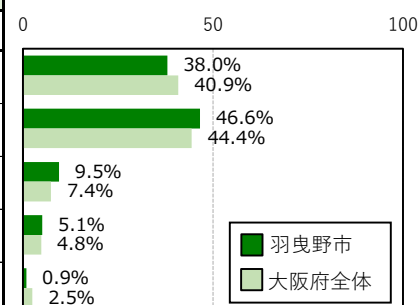
保護者全体は、「あるときもあれば、ないときもある」が46.6%で最も多く、次いで「ある」が38.0%、「ない」が9.5%となっている。

小学生の保護者は、「あるときもあれば、ないときもある」が49.5%で最も多く、次いで「ある」が34.3%、「ない」が8.8%となっている。

中学生の保護者は、「ある」が42.9%で最も多く、次いで「あるときもあれば、ないときもある」が41.3%、「ない」が10.7%となっている。

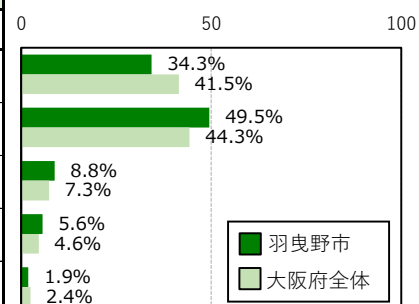
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ある	173名	38.0%	17,707名	40.9%
あるときもあれば、ないときもある	212名	46.6%	19,240名	44.4%
ない	43名	9.5%	3,221名	7.4%
わからない	23名	5.1%	2,061名	4.8%
無回答	4名	0.9%	1,071名	2.5%



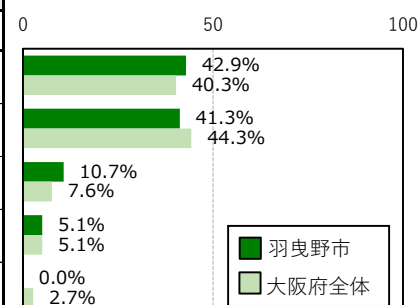
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ある	74名	34.3%	9,455名	41.5%
あるときもあれば、ないときもある	107名	49.5%	10,090名	44.3%
ない	19名	8.8%	1,668名	7.3%
わからない	12名	5.6%	1,037名	4.6%
無回答	4名	1.9%	536名	2.4%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ある	84名	42.9%	7,803名	40.3%
あるときもあれば、ないときもある	81名	41.3%	8,576名	44.3%
ない	21名	10.7%	1,467名	7.6%
わからない	10名	5.1%	990名	5.1%
無回答	-	-	529名	2.7%



保護者のことについて

問21（４）自分が幸せだと思うか

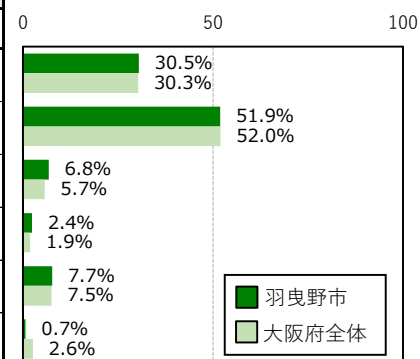
保護者全体は、「幸せだと思う」が51.9%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が30.5%、「あまり幸せだと思わない」が6.8%、「幸せだと思わない」が2.4%となっている。

小学生の保護者は、「幸せだと思う」が51.4%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が31.5%、「あまり幸せだと思わない」が6.5%、「幸せだと思わない」が2.8%となっている。

中学生の保護者は、「幸せだと思う」が51.5%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が30.1%、「あまり幸せだと思わない」が7.7%、「幸せだと思わない」が2.6%となっている。

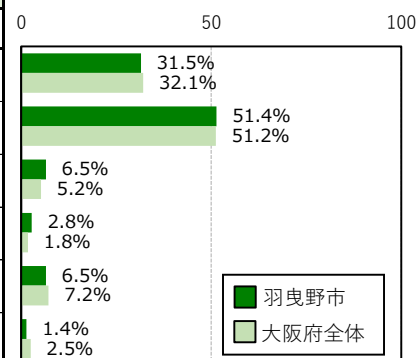
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても幸せだと思う	139名	30.5%	13,119名	30.3%
幸せだと思う	236名	51.9%	22,517名	52.0%
あまり幸せだと思わない	31名	6.8%	2,464名	5.7%
幸せだと思わない	11名	2.4%	819名	1.9%
わからない	35名	7.7%	3,246名	7.5%
無回答	3名	0.7%	1,135名	2.6%



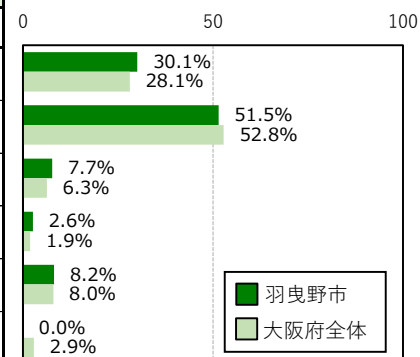
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても幸せだと思う	68名	31.5%	7,323名	32.1%
幸せだと思う	111名	51.4%	11,664名	51.2%
あまり幸せだと思わない	14名	6.5%	1,176名	5.2%
幸せだと思わない	6名	2.8%	413名	1.8%
わからない	14名	6.5%	1,640名	7.2%
無回答	3名	1.4%	570名	2.5%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
とても幸せだと思う	59名	30.1%	5,439名	28.1%
幸せだと思う	101名	51.5%	10,225名	52.8%
あまり幸せだと思わない	15名	7.7%	1,211名	6.3%
幸せだと思わない	5名	2.6%	376名	1.9%
わからない	16名	8.2%	1,555名	8.0%
無回答	-	-	559名	2.9%



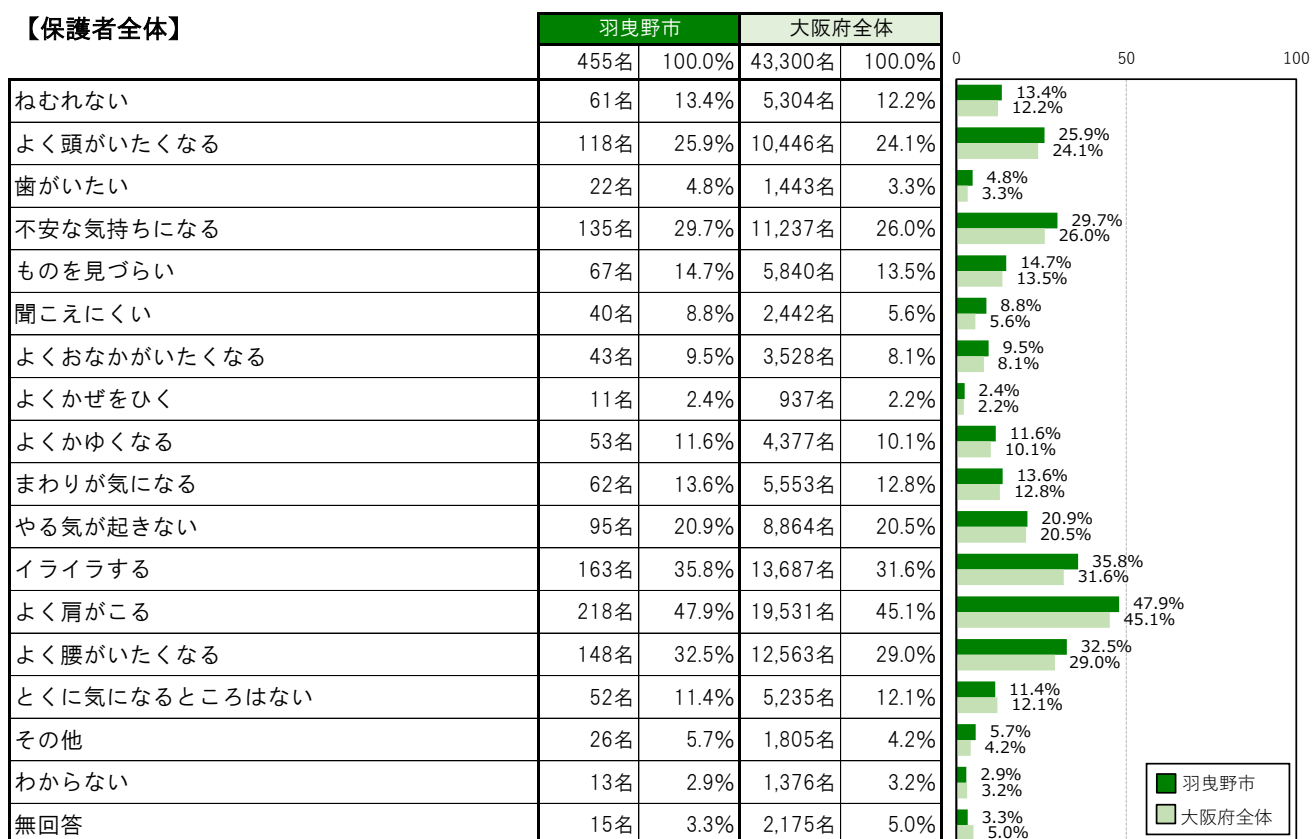
保護者のことについて

問22 自分の体や気持ちで気になること

保護者全体は、「よく肩がこる」が47.9%で最も多く、次いで「イライラする」が35.8%、「よく腰がいたくなる」が32.5%、「不安な気持ちになる」が29.7%となっている。

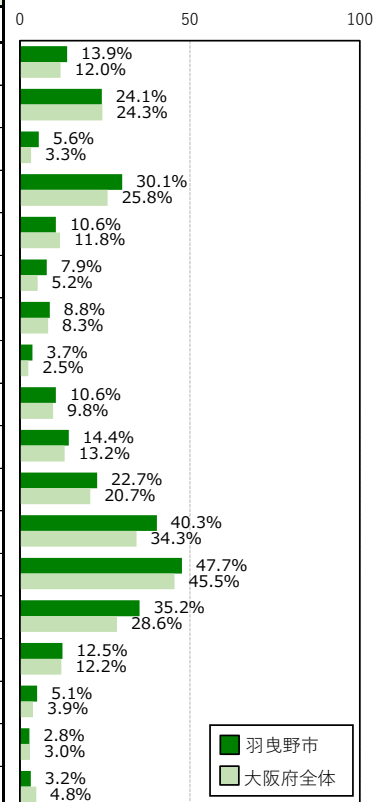
小学生の保護者は、「よく肩がこる」が47.7%で最も多く、次いで「イライラする」が40.3%、「よく腰がいたくなる」が35.2%、「不安な気持ちになる」が30.1%となっている。

中学生の保護者は、「よく肩がこる」が47.4%で最も多く、次いで「イライラする」が30.6%、「不安な気持ちになる」が29.1%、「よく腰がいたくなる」が28.1%となっている。



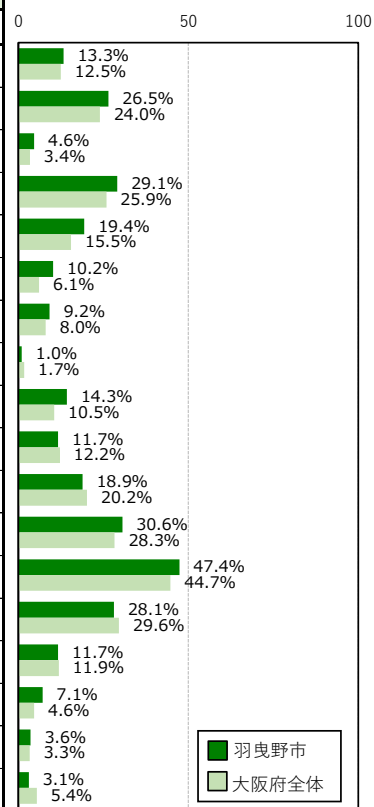
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	216名	100.0%	22,786名	100.0%
ねむれない	30名	13.9%	2,729名	12.0%
よく頭がいたくなる	52名	24.1%	5,527名	24.3%
歯がいたい	12名	5.6%	743名	3.3%
不安な気持ちになる	65名	30.1%	5,889名	25.8%
ものを見づらい	23名	10.6%	2,690名	11.8%
聞こえにくい	17名	7.9%	1,177名	5.2%
よくおなかがいたくなる	19名	8.8%	1,881名	8.3%
よくかぜをひく	8名	3.7%	579名	2.5%
よくかゆくなる	23名	10.6%	2,233名	9.8%
まわりが気になる	31名	14.4%	3,007名	13.2%
やる気が起きない	49名	22.7%	4,720名	20.7%
イライラする	87名	40.3%	7,824名	34.3%
よく肩がこる	103名	47.7%	10,371名	45.5%
よく腰がいたくなる	76名	35.2%	6,526名	28.6%
とくに気になるところはない	27名	12.5%	2,788名	12.2%
その他	11名	5.1%	886名	3.9%
わからない	6名	2.8%	684名	3.0%
無回答	7名	3.2%	1,097名	4.8%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	196名	100.0%	19,365名	100.0%
ねむれない	26名	13.3%	2,419名	12.5%
よく頭がいたくなる	52名	26.5%	4,640名	24.0%
歯がいたい	9名	4.6%	654名	3.4%
不安な気持ちになる	57名	29.1%	5,022名	25.9%
ものを見づらい	38名	19.4%	3,003名	15.5%
聞こえにくい	20名	10.2%	1,190名	6.1%
よくおなかがいたくなる	18名	9.2%	1,542名	8.0%
よくかぜをひく	2名	1.0%	331名	1.7%
よくかゆくなる	28名	14.3%	2,028名	10.5%
まわりが気になる	23名	11.7%	2,367名	12.2%
やる気が起きない	37名	18.9%	3,909名	20.2%
イライラする	60名	30.6%	5,480名	28.3%
よく肩がこる	93名	47.4%	8,655名	44.7%
よく腰がいたくなる	55名	28.1%	5,734名	29.6%
とくに気になるところはない	23名	11.7%	2,295名	11.9%
その他	14名	7.1%	889名	4.6%
わからない	7名	3.6%	646名	3.3%
無回答	6名	3.1%	1,038名	5.4%



保護者のことについて

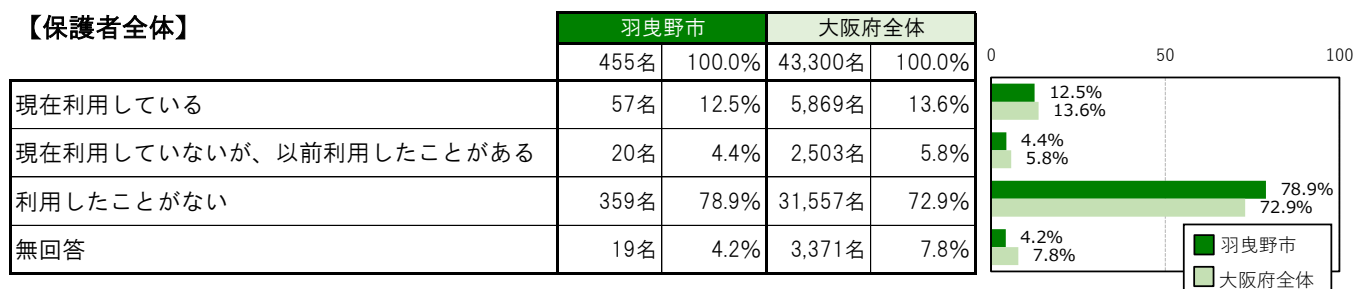
問23 支援制度の利用状況 a 就学援助

保護者全体は、「利用したことがない」が78.9%で最も多く、次いで「現在利用している」が12.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が4.4%となっている。

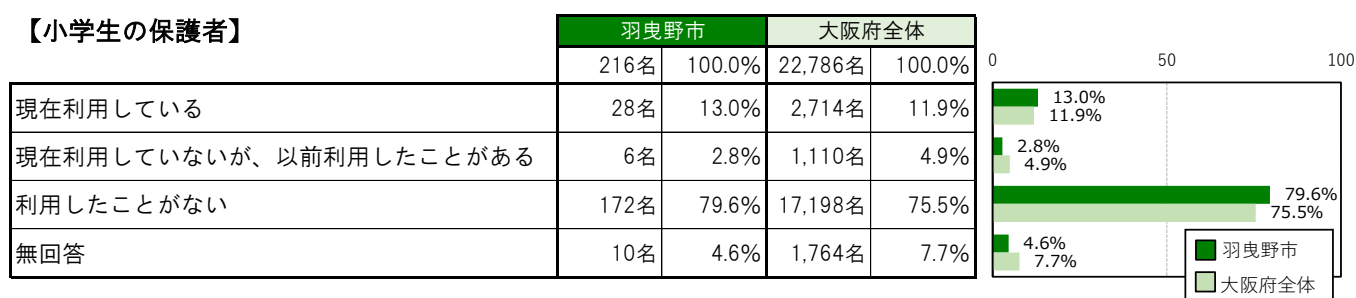
小学生の保護者は、「利用したことがない」が79.6%で最も多く、次いで「現在利用している」が13.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.8%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が77.6%で最も多く、次いで「現在利用している」が11.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が6.6%となっている。

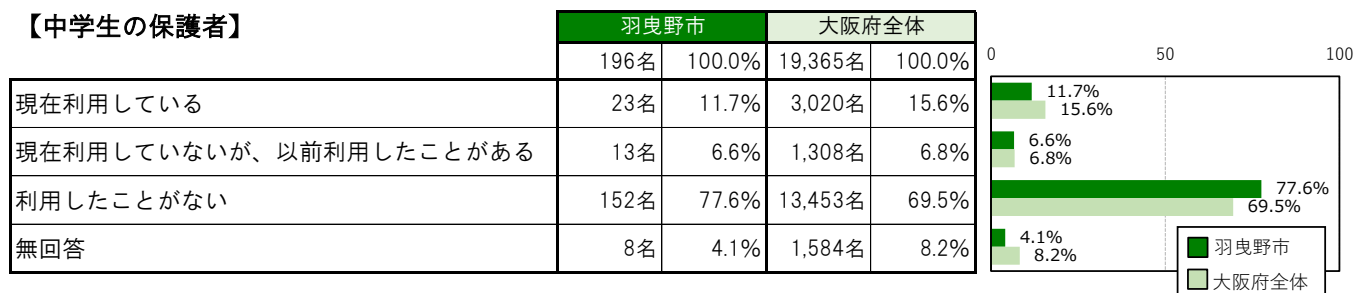
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 a 就学援助 <利用したことがない理由>

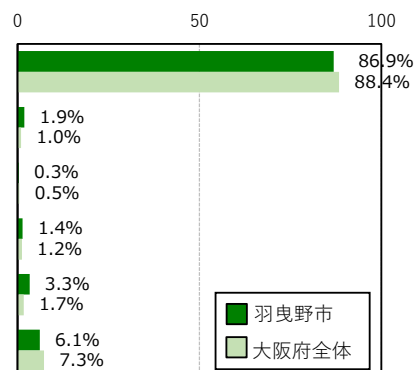
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だ」と思うから」が86.9%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.3%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.9%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が1.4%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だ」と思うから」が86.6%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.3%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」がそれぞれ1.7%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だ」と思うから」が87.5%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.3%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.6%となっている。

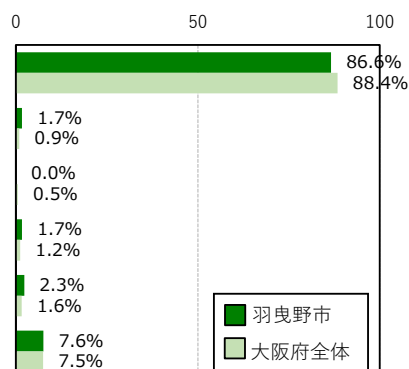
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	359名	100.0%	31,557名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だ と思うから	312名	86.9%	27,883名	88.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかった から	7名	1.9%	315名	1.0%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつ たから	1名	0.3%	161名	0.5%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用し にくいから	5名	1.4%	382名	1.2%
それ以外の理由	12名	3.3%	524名	1.7%
無回答	22名	6.1%	2,292名	7.3%



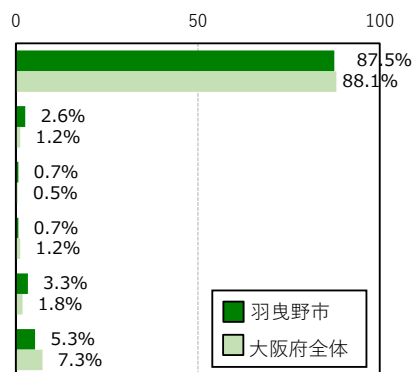
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	172名	100.0%	17,198名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だ と思うから	149名	86.6%	15,195名	88.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかった から	3名	1.7%	153名	0.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつ たから	-	-	87名	0.5%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用し にくいから	3名	1.7%	209名	1.2%
それ以外の理由	4名	2.3%	270名	1.6%
無回答	13名	7.6%	1,284名	7.5%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	152名	100.0%	13,453名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だ と思うから	133名	87.5%	11,847名	88.1%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかった から	4名	2.6%	157名	1.2%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつ たから	1名	0.7%	69名	0.5%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用し にくいから	1名	0.7%	156名	1.2%
それ以外の理由	5名	3.3%	236名	1.8%
無回答	8名	5.3%	988名	7.3%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 b 生活保護

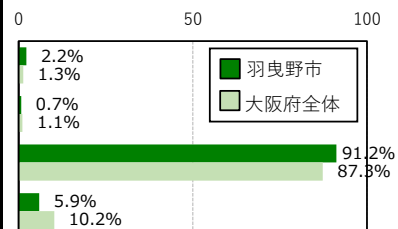
保護者全体は、「利用したことがない」が91.2%で最も多く、次いで「現在利用している」が2.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.7%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が92.1%で最も多く、次いで「現在利用している」が1.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が89.8%で最も多く、次いで「現在利用している」が2.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.0%となっている。

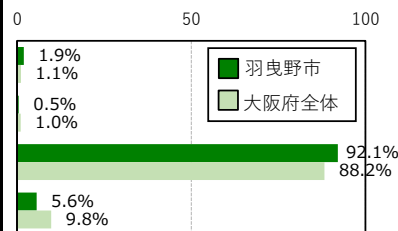
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	455名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	10名	2.2%	580名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	3名	0.7%	497名	1.1%
利用したことがない	415名	91.2%	37,793名	87.3%
無回答	27名	5.9%	4,430名	10.2%



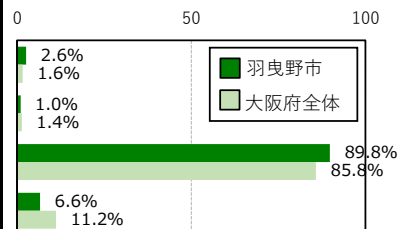
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	216名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	4名	1.9%	254名	1.1%
現在利用していないが、以前利用したことがある	1名	0.5%	218名	1.0%
利用したことがない	199名	92.1%	20,090名	88.2%
無回答	12名	5.6%	2,224名	9.8%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	196名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	5名	2.6%	316名	1.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	1.0%	267名	1.4%
利用したことがない	176名	89.8%	16,608名	85.8%
無回答	13名	6.6%	2,174名	11.2%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 b 生活保護 <利用したことがない理由>

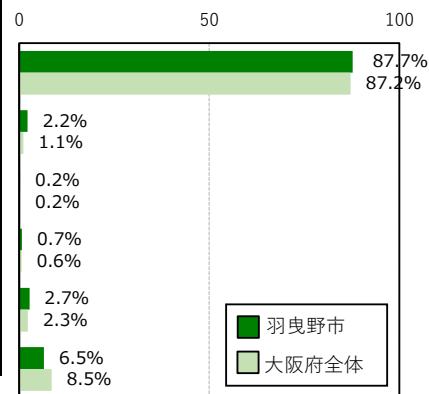
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思ふから」が87.7%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.7%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.2%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思ふから」が86.4%で最も多く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」と「それ以外の理由」がそれぞれ2.5%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思ふから」が88.1%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.8%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.7%となっている。

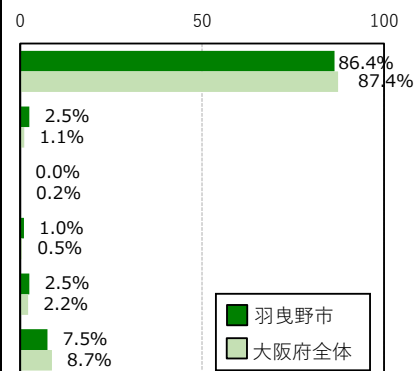
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	415名	100.0%	37,793名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思ふから	364名	87.7%	32,964名	87.2%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	9名	2.2%	434名	1.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	0.2%	73名	0.2%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	3名	0.7%	230名	0.6%
それ以外の理由	11名	2.7%	867名	2.3%
無回答	27名	6.5%	3,225名	8.5%



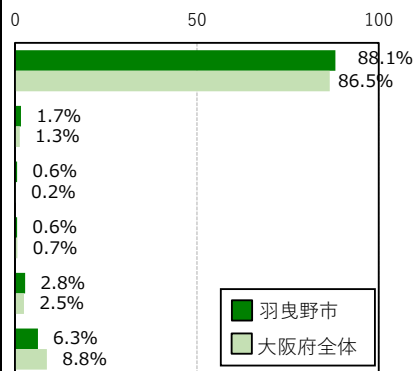
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	199名	100.0%	20,090名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思ふから	172名	86.4%	17,567名	87.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	5名	2.5%	211名	1.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	31名	0.2%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	2名	1.0%	104名	0.5%
それ以外の理由	5名	2.5%	433名	2.2%
無回答	15名	7.5%	1,744名	8.7%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	176名	100.0%	16,608名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思ふから	155名	88.1%	14,367名	86.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	3名	1.7%	219名	1.3%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	0.6%	40名	0.2%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	1名	0.6%	117名	0.7%
それ以外の理由	5名	2.8%	411名	2.5%
無回答	11名	6.3%	1,454名	8.8%



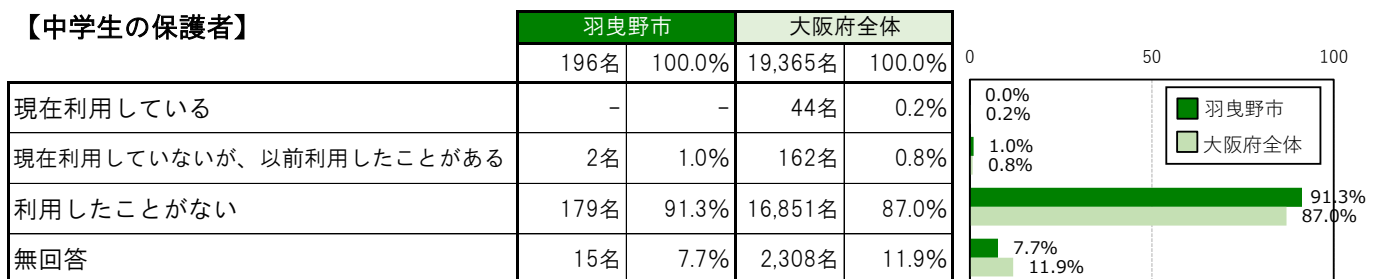
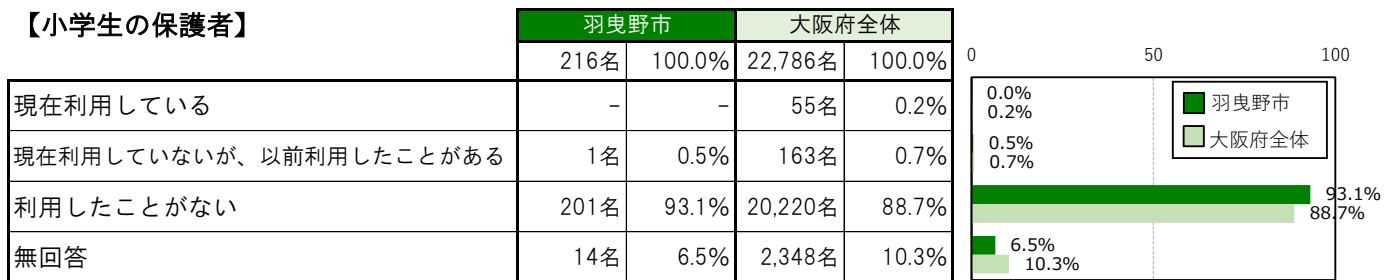
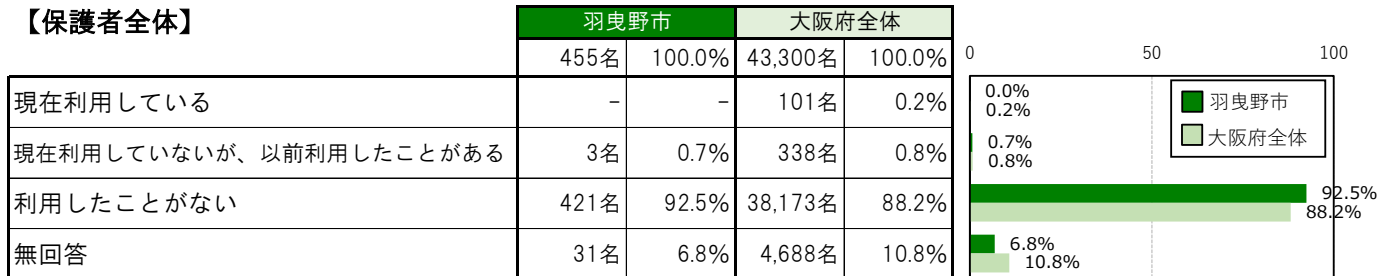
保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 c 生活困窮者の自立支援相談窓口

保護者全体は、「利用したことがない」が92.5%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.7%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が93.1%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が91.3%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.0%となっている。



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 c 生活困窮者の自立支援相談窓口 <利用したことがない理由>

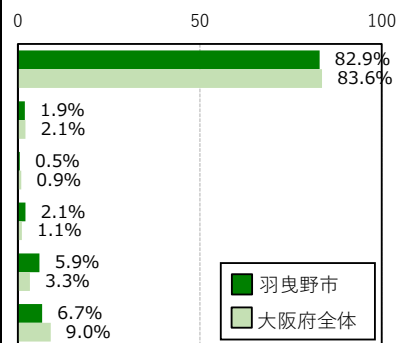
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が82.9%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が5.9%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が2.1%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が81.1%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が6.1%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が4.0%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が83.8%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が6.1%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.7%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が1.1%となっている。

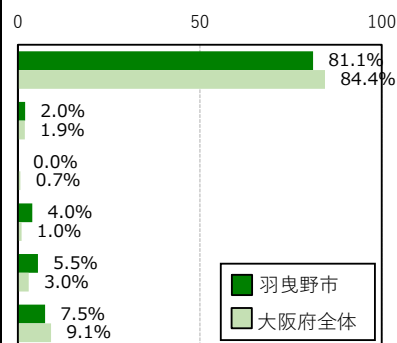
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	421名	100.0%	38,173名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	349名	82.9%	31,919名	83.6%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	8名	1.9%	790名	2.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	2名	0.5%	332名	0.9%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	9名	2.1%	410名	1.1%
それ以外の理由	25名	5.9%	1,275名	3.3%
無回答	28名	6.7%	3,447名	9.0%



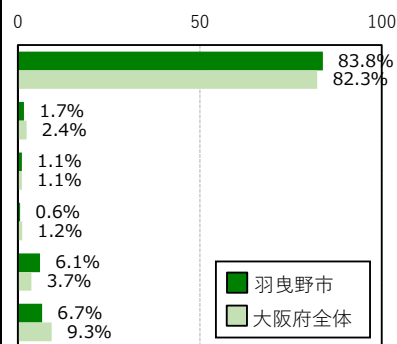
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	201名	100.0%	20,220名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	163名	81.1%	17,059名	84.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	4名	2.0%	382名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	134名	0.7%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	8名	4.0%	193名	1.0%
それ以外の理由	11名	5.5%	609名	3.0%
無回答	15名	7.5%	1,843名	9.1%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	179名	100.0%	16,851名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	150名	83.8%	13,863名	82.3%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	3名	1.7%	397名	2.4%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	2名	1.1%	192名	1.1%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	1名	0.6%	204名	1.2%
それ以外の理由	11名	6.1%	625名	3.7%
無回答	12名	6.7%	1,570名	9.3%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 d 児童扶養手当（ひとり親世帯のみ）

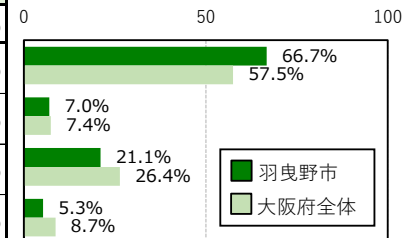
保護者全体は、「現在利用している」が66.7%で最も多く、次いで「利用したことがない」が21.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が7.0%となっている。

小学生の保護者は、「現在利用している」が60.0%で最も多く、次いで「利用したことがない」が30.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が6.7%となっている。

中学生の保護者は、「現在利用している」が68.4%で最も多く、次いで「利用したことがない」が15.8%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が5.3%となっている。

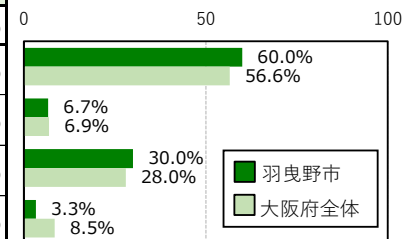
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	57名	100.0%	5,126名	100.0%
現在利用している	38名	66.7%	2,948名	57.5%
現在利用していないが、以前利用したことがある	4名	7.0%	380名	7.4%
利用したことがない	12名	21.1%	1,354名	26.4%
無回答	3名	5.3%	444名	8.7%



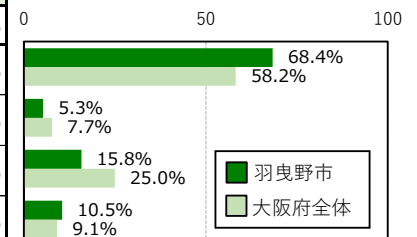
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	30名	100.0%	2,447名	100.0%
現在利用している	18名	60.0%	1,385名	56.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	6.7%	168名	6.9%
利用したことがない	9名	30.0%	686名	28.0%
無回答	1名	3.3%	208名	8.5%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	19名	100.0%	2,547名	100.0%
現在利用している	13名	68.4%	1,483名	58.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	1名	5.3%	196名	7.7%
利用したことがない	3名	15.8%	636名	25.0%
無回答	2名	10.5%	232名	9.1%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 d 児童扶養手当 <利用したことがない理由> (ひとり親世帯のみ)

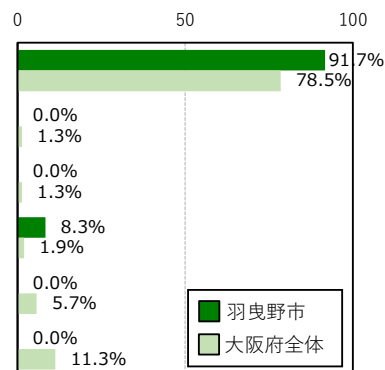
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だ」と思うから」が91.7%で最も多く、次いで「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が8.3%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だ」と思うから」が88.9%で最も多く、次いで「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が11.1%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だ」と思うから」が100.0%となっている。

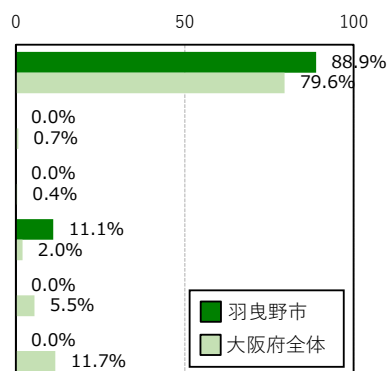
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	12名	100.0%	1,354名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だ と思うから	11名	91.7%	1,063名	78.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかった から	-	-	17名	1.3%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつ たから	-	-	18名	1.3%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用し にくいから	1名	8.3%	26名	1.9%
それ以外の理由	-	-	77名	5.7%
無回答	-	-	153名	11.3%



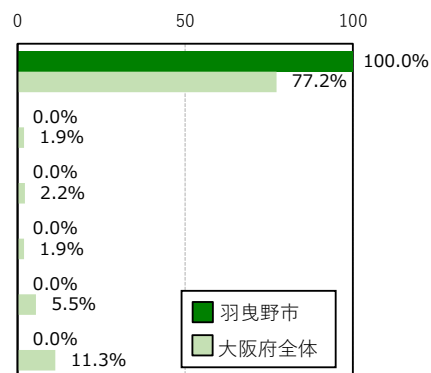
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	9名	100.0%	686名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だ と思うから	8名	88.9%	546名	79.6%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかった から	-	-	5名	0.7%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつ たから	-	-	3名	0.4%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用し にくいから	1名	11.1%	14名	2.0%
それ以外の理由	-	-	38名	5.5%
無回答	-	-	80名	11.7%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	3名	100.0%	636名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だ と思うから	3名	100.0%	491名	77.2%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかった から	-	-	12名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつ たから	-	-	14名	2.2%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用し にくいから	-	-	12名	1.9%
それ以外の理由	-	-	35名	5.5%
無回答	-	-	72名	11.3%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 e 母子家庭等就業・自立支援センター

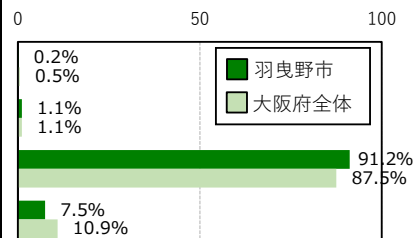
保護者全体は、「利用したことがない」が91.2%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.1%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が91.7%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.9%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が89.8%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.5%、「現在利用している」が0.5%となっている。

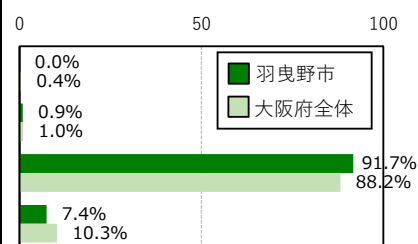
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	455名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	1名	0.2%	200名	0.5%
現在利用していないが、以前利用したことがある	5名	1.1%	496名	1.1%
利用したことがない	415名	91.2%	37,904名	87.5%
無回答	34名	7.5%	4,700名	10.9%



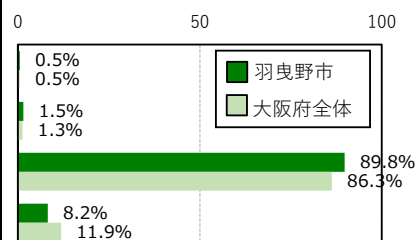
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	216名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	-	-	100名	0.4%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	0.9%	236名	1.0%
利用したことがない	198名	91.7%	20,103名	88.2%
無回答	16名	7.4%	2,347名	10.3%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	196名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	1名	0.5%	98名	0.5%
現在利用していないが、以前利用したことがある	3名	1.5%	246名	1.3%
利用したことがない	176名	89.8%	16,713名	86.3%
無回答	16名	8.2%	2,308名	11.9%



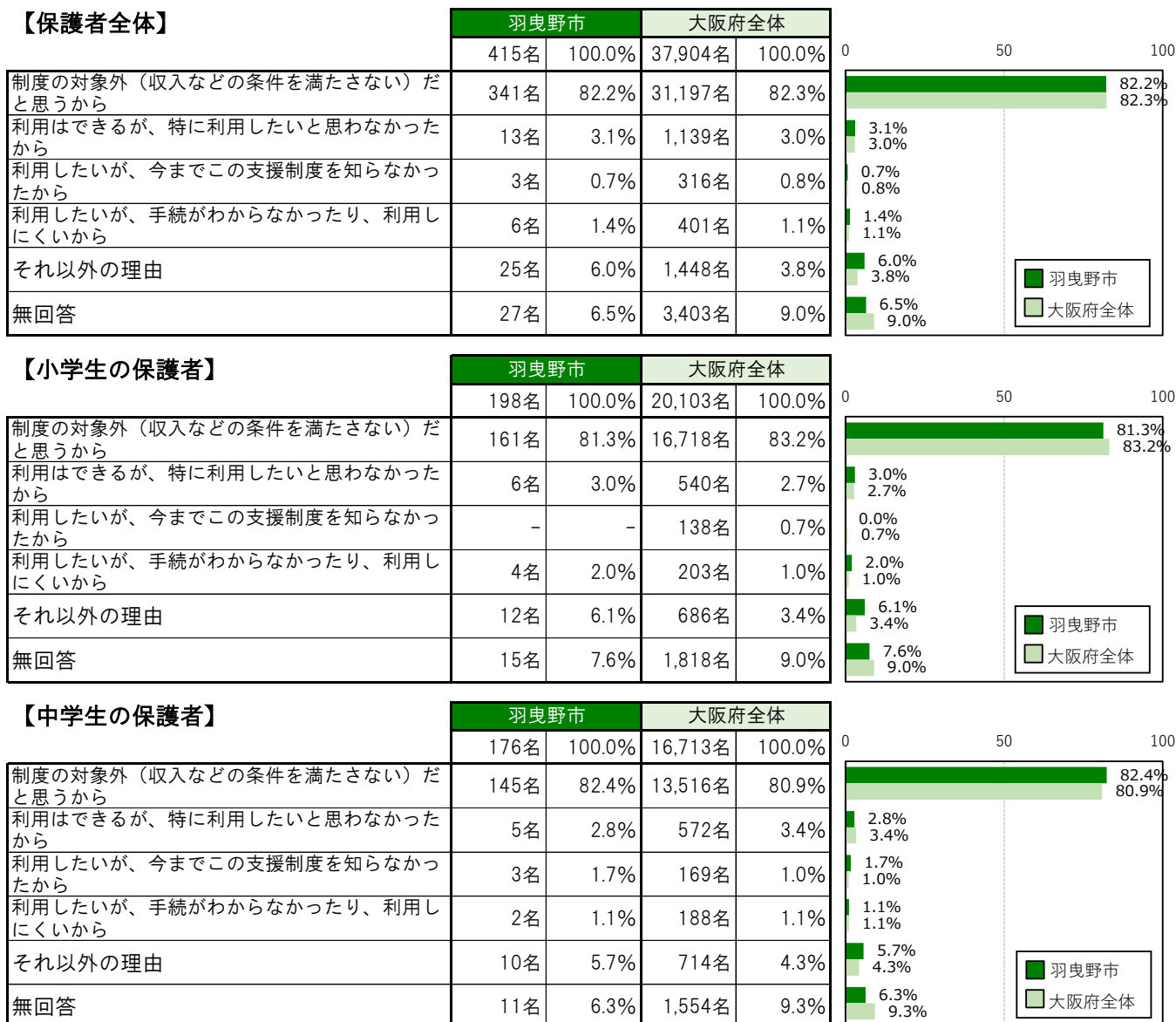
保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 e 母子家庭等就業・自立支援センター <利用したことがない理由>

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が82.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が6.0%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が3.1%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が81.3%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が6.1%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が3.0%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が82.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が5.7%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.8%となっている。



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 f 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

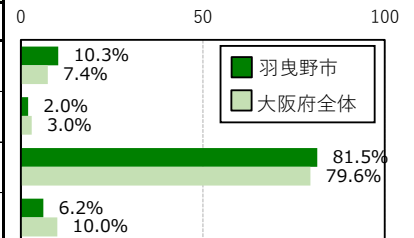
保護者全体は、「利用したことがない」が81.5%で最も多く、次いで「現在利用している」が10.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.0%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が79.6%で最も多く、次いで「現在利用している」が12.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.3%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が83.2%で最も多く、次いで「現在利用している」が8.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.5%となっている。

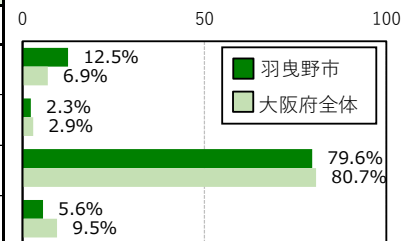
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	455名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	47名	10.3%	3,205名	7.4%
現在利用していないが、以前利用したことがある	9名	2.0%	1,293名	3.0%
利用したことがない	371名	81.5%	34,472名	79.6%
無回答	28名	6.2%	4,330名	10.0%



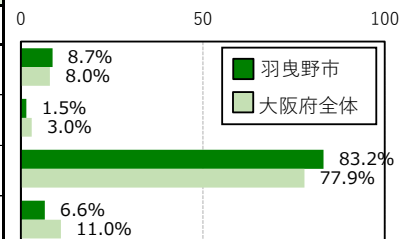
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	216名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	27名	12.5%	1,562名	6.9%
現在利用していないが、以前利用したことがある	5名	2.3%	672名	2.9%
利用したことがない	172名	79.6%	18,390名	80.7%
無回答	12名	5.6%	2,162名	9.5%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	196名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	17名	8.7%	1,557名	8.0%
現在利用していないが、以前利用したことがある	3名	1.5%	588名	3.0%
利用したことがない	163名	83.2%	15,094名	77.9%
無回答	13名	6.6%	2,126名	11.0%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 f 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金
＜利用したことがない理由＞

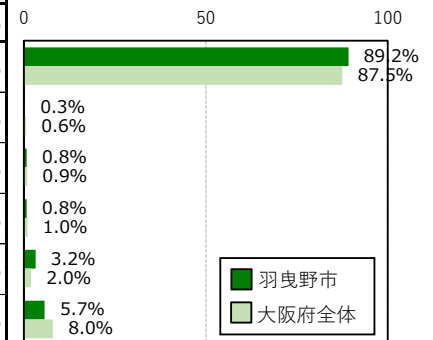
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.2%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」がそれぞれ0.8%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が87.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が4.1%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.1%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が1.2%となっている。

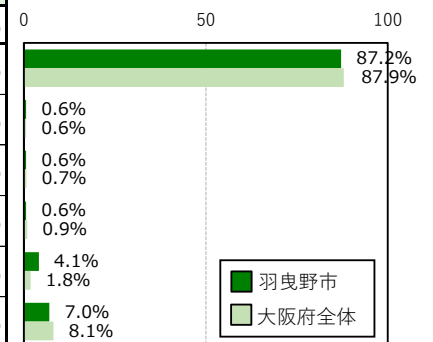
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	371名	100.0%	34,472名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	331名	89.2%	30,150名	87.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	1名	0.3%	201名	0.6%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	3名	0.8%	322名	0.9%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	3名	0.8%	336名	1.0%
それ以外の理由	12名	3.2%	696名	2.0%
無回答	21名	5.7%	2,767名	8.0%



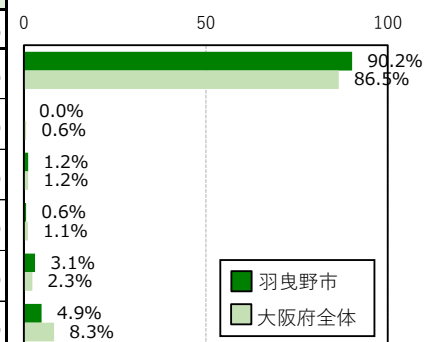
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	172名	100.0%	18,390名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	150名	87.2%	16,160名	87.9%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	1名	0.6%	102名	0.6%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	0.6%	133名	0.7%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	1名	0.6%	168名	0.9%
それ以外の理由	7名	4.1%	338名	1.8%
無回答	12名	7.0%	1,489名	8.1%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	163名	100.0%	15,094名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	147名	90.2%	13,056名	86.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	-	-	98名	0.6%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	2名	1.2%	182名	1.2%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	1名	0.6%	162名	1.1%
それ以外の理由	5名	3.1%	343名	2.3%
無回答	8名	4.9%	1,253名	8.3%



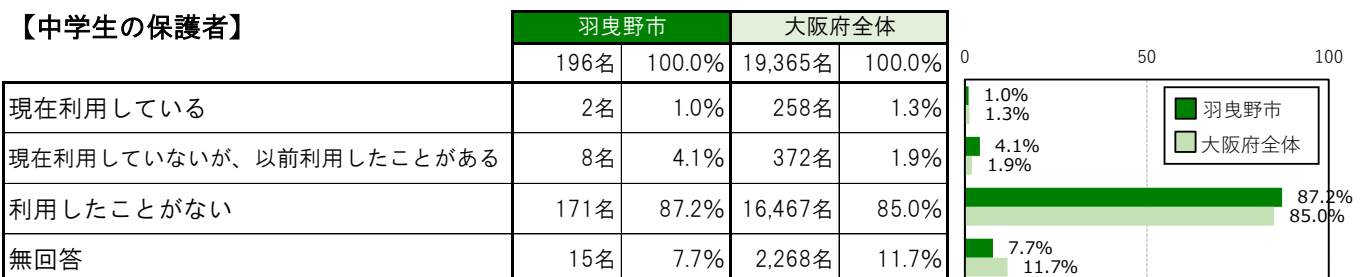
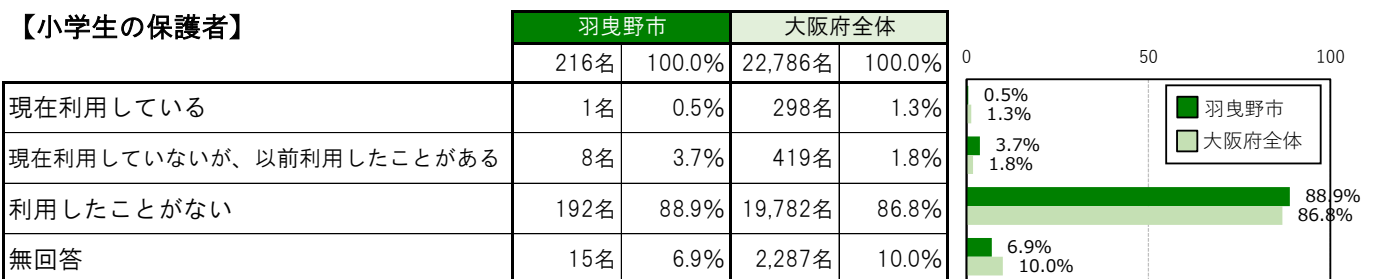
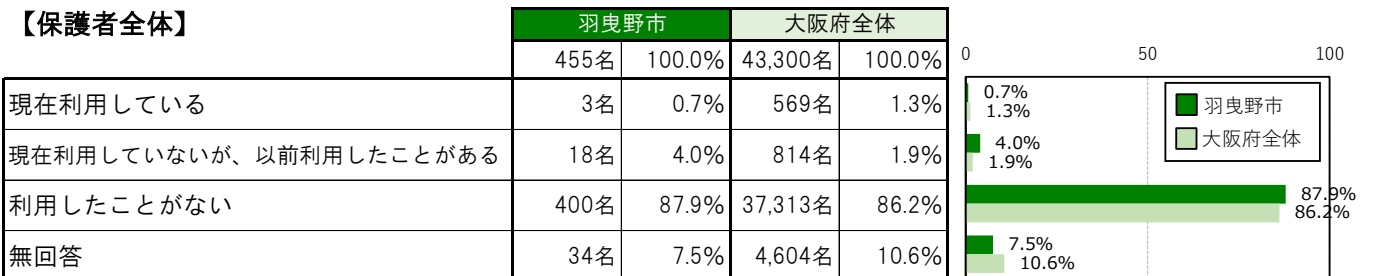
保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）

保護者全体は、「利用したことがない」が87.9%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が4.0%、「現在利用している」が0.7%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が88.9%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.7%、「現在利用している」が0.5%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が87.2%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が4.1%、「現在利用している」が1.0%となっている。



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）
＜利用したことがない理由＞

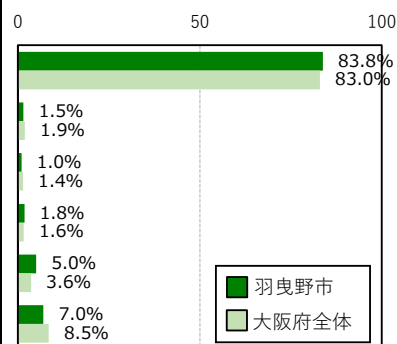
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が83.8%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が5.0%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が1.8%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.5%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が81.8%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が5.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.1%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が84.8%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が4.7%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が1.8%となっている。

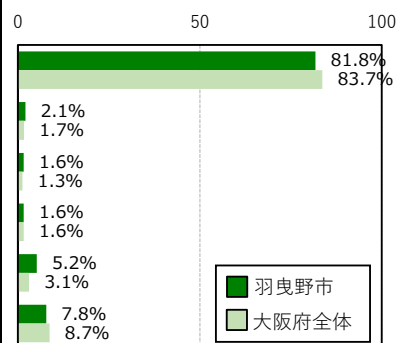
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	400名	100.0%	37,313名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	335名	83.8%	30,971名	83.0%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	6名	1.5%	708名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	4名	1.0%	529名	1.4%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	7名	1.8%	611名	1.6%
それ以外の理由	20名	5.0%	1,331名	3.6%
無回答	28名	7.0%	3,163名	8.5%



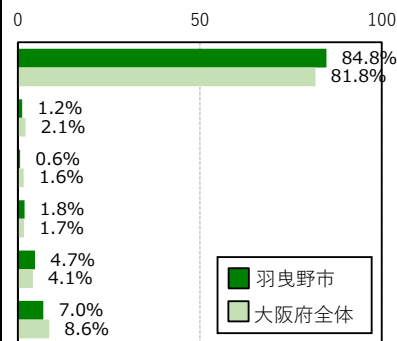
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	192名	100.0%	19,782名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	157名	81.8%	16,548名	83.7%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	4名	2.1%	343名	1.7%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	3名	1.6%	258名	1.3%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	3名	1.6%	308名	1.6%
それ以外の理由	10名	5.2%	613名	3.1%
無回答	15名	7.8%	1,712名	8.7%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	171名	100.0%	16,467名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	145名	84.8%	13,474名	81.8%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	2名	1.2%	350名	2.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	0.6%	263名	1.6%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	3名	1.8%	284名	1.7%
それ以外の理由	8名	4.7%	675名	4.1%
無回答	12名	7.0%	1,421名	8.6%



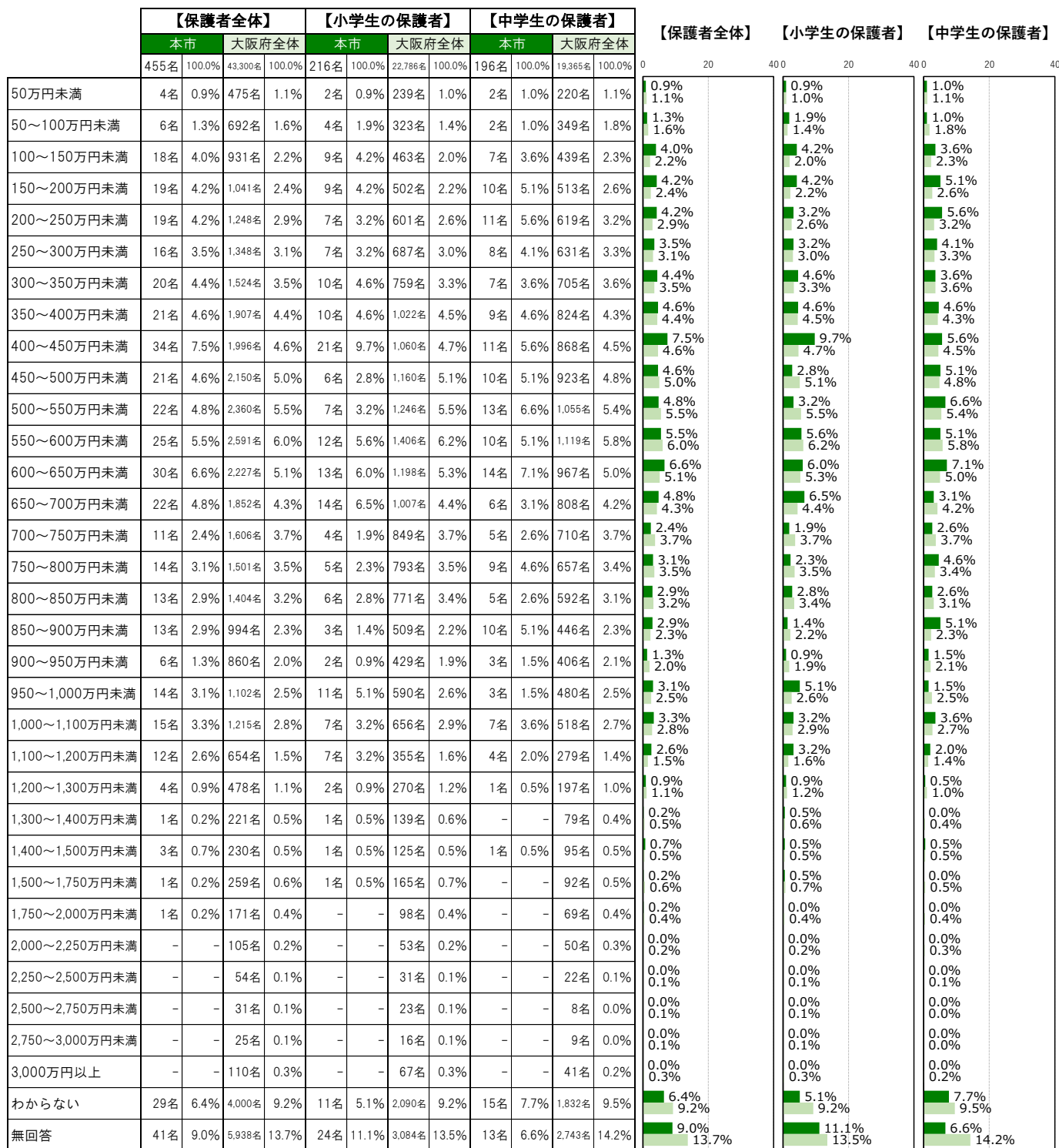
保護者のことについて

問24 世帯収入

保護者全体は、「400～450万円未満」が7.5%で最も多く、次いで「600～650万円未満」が6.6%、「550～600万円未満」が5.5%、「500～550万円未満」と「650～700万円未満」がそれぞれ4.8%となっている。

小学生の保護者は、「400～450万円未満」が9.7%で最も多く、次いで「650～700万円未満」が6.5%、「600～650万円未満」が6.0%、「550～600万円未満」が5.6%となっている。

中学生の保護者は、「600～650万円未満」が7.1%で最も多く、次いで「500～550万円未満」が6.6%、「200～250万円未満」と「400～450万円未満」がそれぞれ5.6%となっている。



世帯収入額と世帯人数に基づく等価可処分所得

今回の調査において世帯所得をたずねているが、この回答のみで世帯の困窮の状態を測ることはできない。実際の生活上の体験や困りごとを把握するため、多面的に貧困を測る指標として、「等価可処分所得」およびそれらを基に区分した「困窮度」を用いている。

国民生活基礎調査における相対的貧困率は、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合をいう。貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額をいう。算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づく。EU、ユニセフ（ただし、常に60%基準採用ではない）は60%を採用している。

世帯の可処分所得はその世帯の世帯人員数に影響されるので、世帯人員数で調整する必要がある。最も簡単なのは「世帯の可処分所得÷世帯人員数」とすることであるが、生活水準を考えた場合、世帯人員数が少ない方が生活コストが割高になることを考慮する必要がある、このため、世帯人員数の違いを調整するにあたって「世帯人員数の平方根」を用いている。

出典：厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21a-01.pdf>

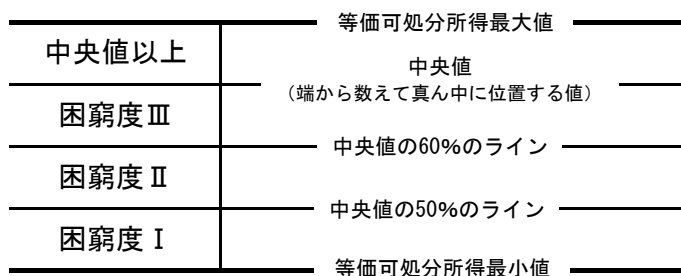
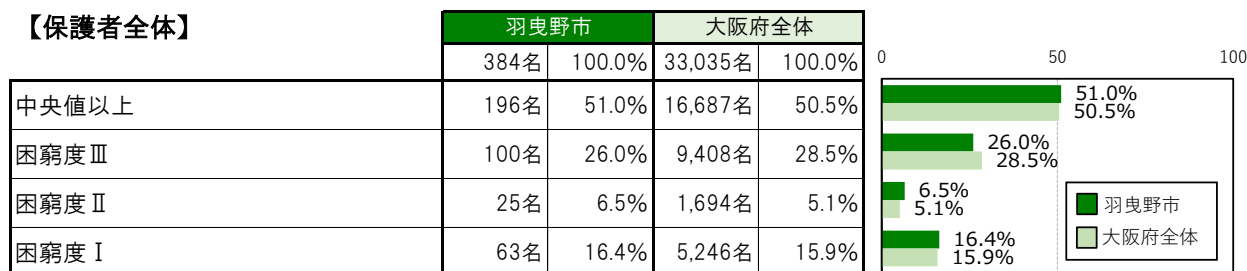


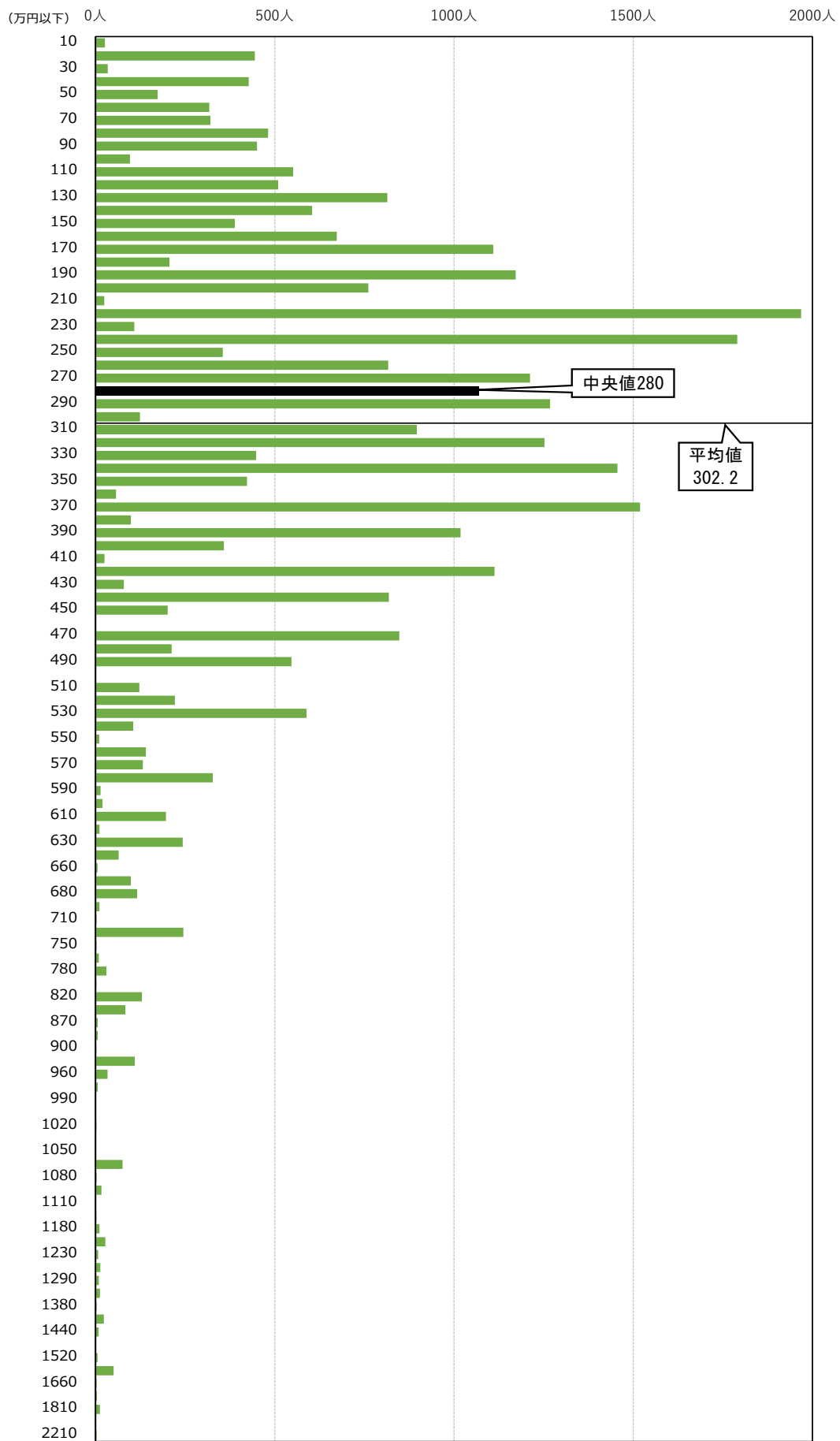
図 困窮度の分類と基準

中央値は257万円、国の定める基準で行くと相対的貧困率は16.4%であった。
なお、大阪府内全自治体における相対的貧困率は15.9%であった。

【保護者全体】



保護者全体は、「中央値以上」が51.0%で最も多く、次いで「困窮度Ⅲ」が26.0%、「困窮度Ⅰ」が16.4%、「困窮度Ⅱ」が6.5%となっている。



※ 2016年度調査では、中央値255万円、平均値272.7万円であった。
 注) 2023年度調査ではグラフ作成方法を改訂している。

図 大阪府内全自治体における等価可処分所得の分布

保護者のことについて

問25 同居家族が新型コロナウイルスに感染した延べ回数

保護者全体は、「いない」が30.8%で最も多く、次いで「1回」が19.3%、「4回」が13.6%、「2回」が13.4%となっている。

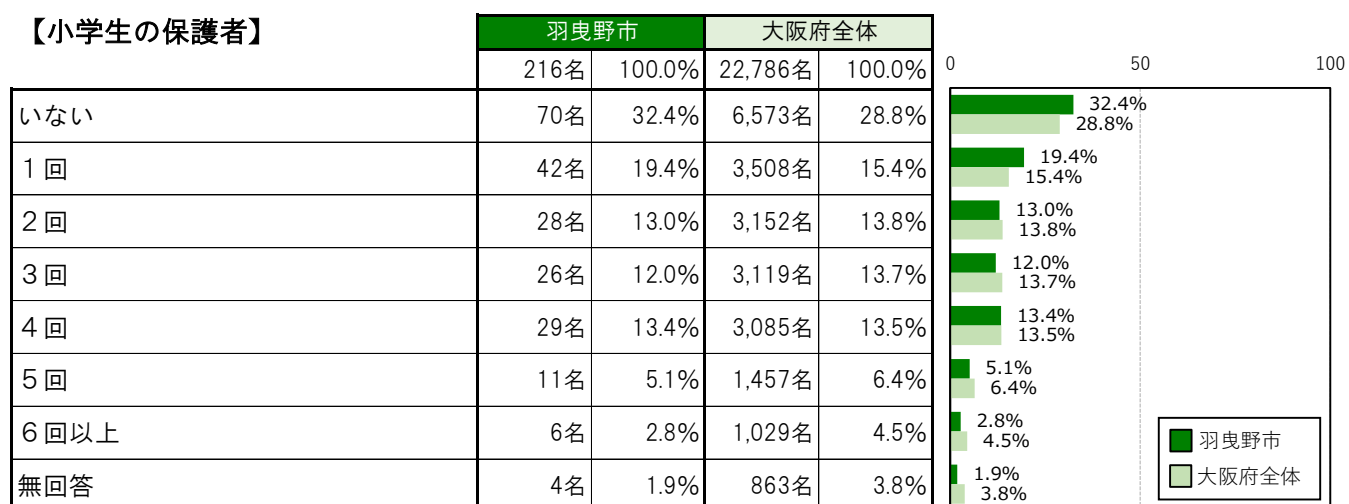
小学生の保護者は、「いない」が32.4%で最も多く、次いで「1回」が19.4%、「4回」が13.4%、「2回」が13.0%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が30.1%で最も多く、次いで「1回」が19.4%、「2回」と「4回」がそれぞれ13.8%となっている。

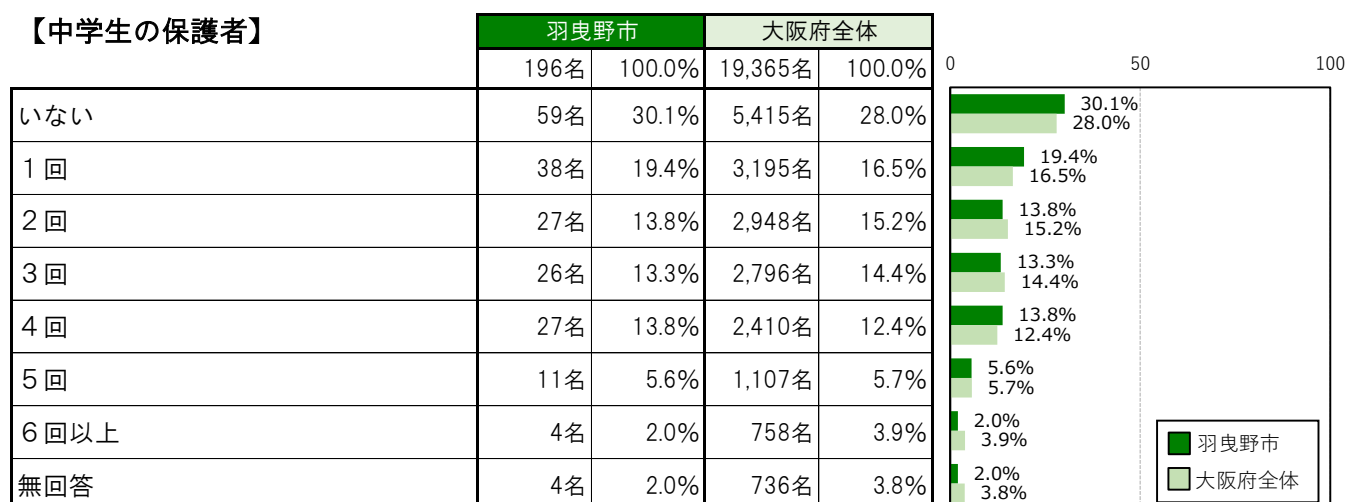
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

問26（１）住居の間取り

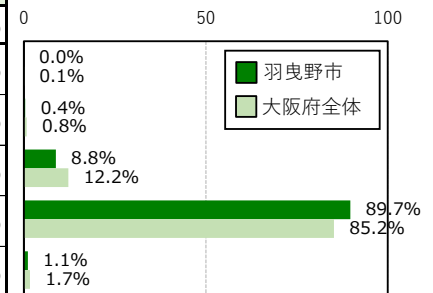
保護者全体は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が89.7%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が8.8%となっている。

小学生の保護者は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が90.3%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が7.9%、「居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）」が0.9%となっている。

中学生の保護者は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が87.8%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が10.7%となっている。

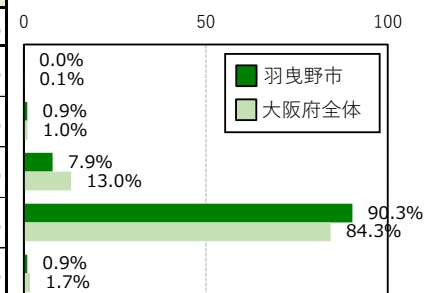
【保護者全体】

	羽曳野市		大阪府全体	
	455名	100.0%	43,300名	100.0%
ワンルーム	-	-	43名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	2名	0.4%	358名	0.8%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	40名	8.8%	5,272名	12.2%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	408名	89.7%	36,876名	85.2%
無回答	5名	1.1%	751名	1.7%



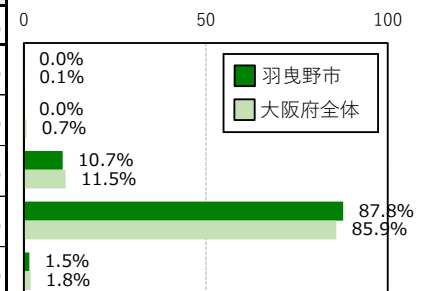
【小学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	216名	100.0%	22,786名	100.0%
ワンルーム	-	-	21名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	2名	0.9%	217名	1.0%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	17名	7.9%	2,951名	13.0%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	195名	90.3%	19,206名	84.3%
無回答	2名	0.9%	391名	1.7%



【中学生の保護者】

	羽曳野市		大阪府全体	
	196名	100.0%	19,365名	100.0%
ワンルーム	-	-	21名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	-	-	134名	0.7%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	21名	10.7%	2,233名	11.5%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	172名	87.8%	16,638名	85.9%
無回答	3名	1.5%	339名	1.8%



保護者のことについて

問26（2）同居人数

保護者全体は、「4人」が44.8%で最も多く、次いで「5人」が26.8%、「3人」が15.8%、「6人」が6.4%となっている。

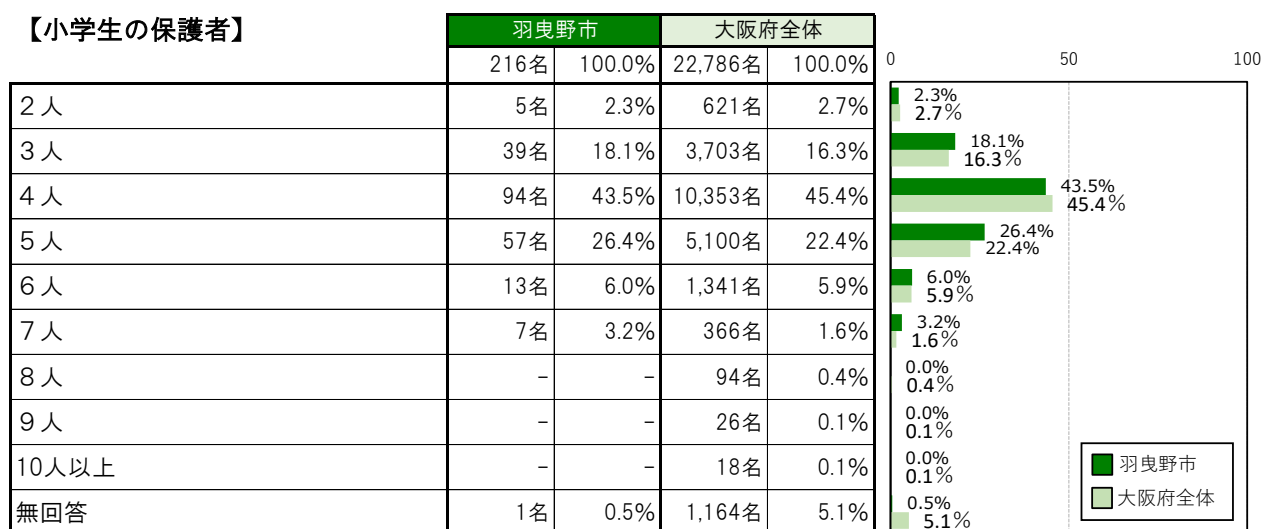
小学生の保護者は、「4人」が43.5%で最も多く、次いで「5人」が26.4%、「3人」が18.1%、「6人」が6.0%となっている。

中学生の保護者は、「4人」が44.4%で最も多く、次いで「5人」が29.1%、「3人」が13.8%、「6人」が6.6%となっている。

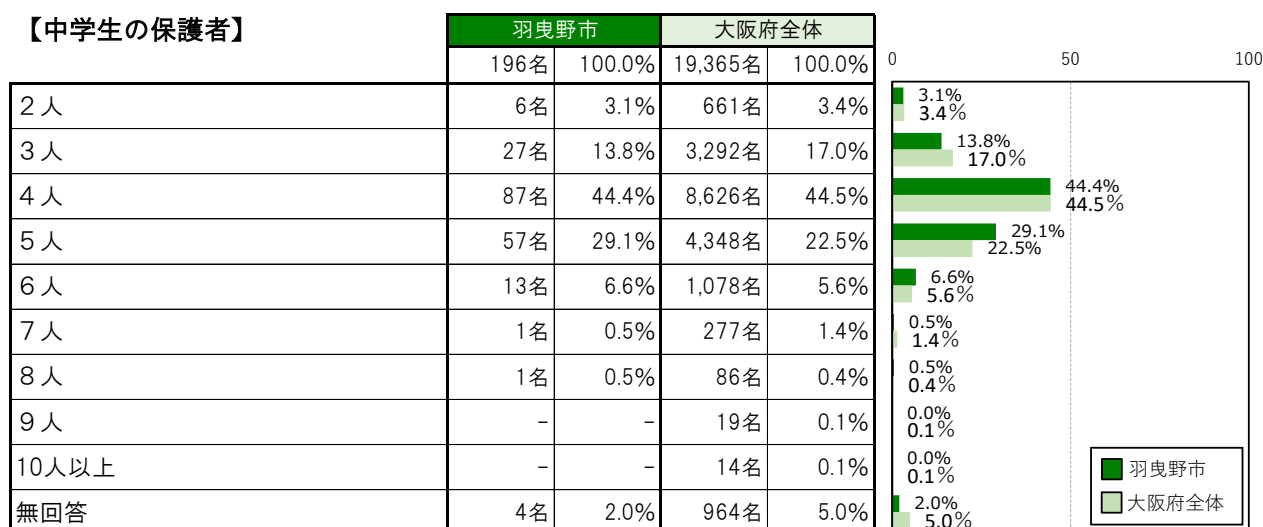
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



3. クロス集計および分析結果

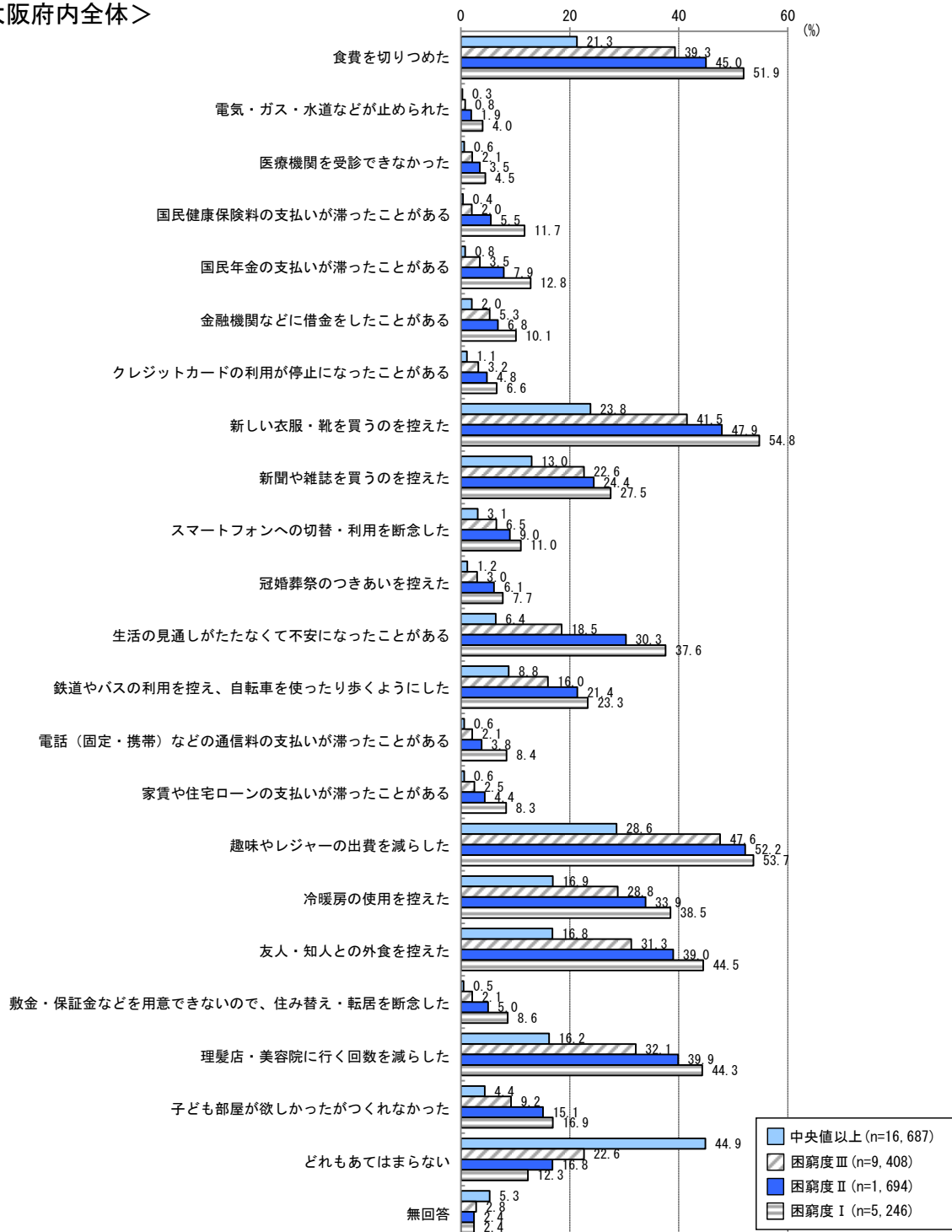
以下のグラフは、主に困窮度別に示している。大阪府内全自治体の傾向については記述していないが、多くにおいて、本自治体調査結果と同様の傾向が見られる。さらに顕著な傾向が見られるものもある。

3-1. 基本情報

(1) 経済状況

困窮度別に見た、経済的な理由による経験（保護者票問7）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

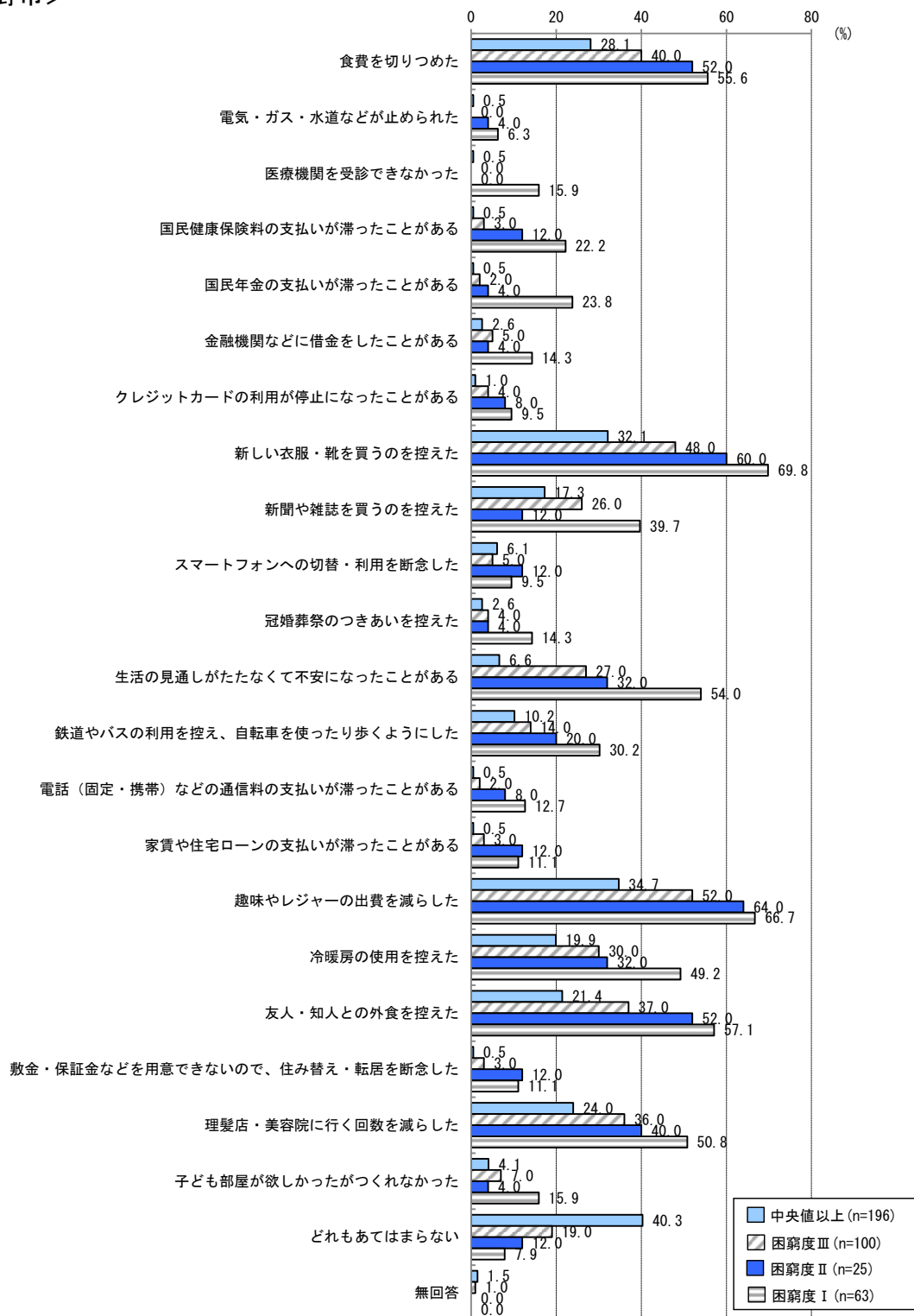
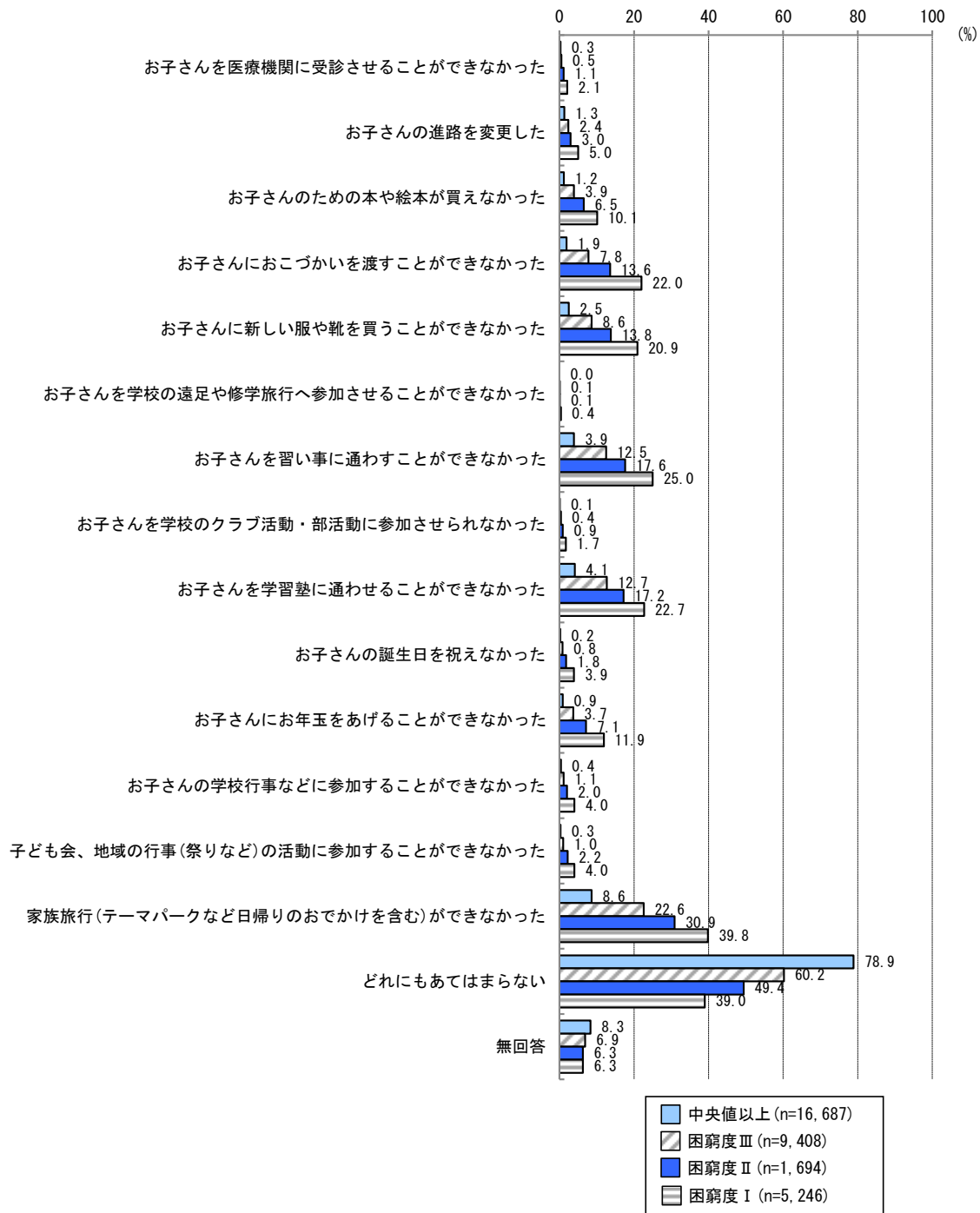


図 1. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

困窮度別に経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群を見ると、「国民年金の支払いが滞ったことがある」が23.8%（中央値以上群に対して47.6倍）、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」が22.2%（同じく44.4倍）、「医療機関を受診できなかった」が15.9%（同じく31.8倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。また「どれもあてはまらない」は中央値以上群で40.3%に対して、困窮度Ⅰ群において7.9%だった。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験（保護者票問 12）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

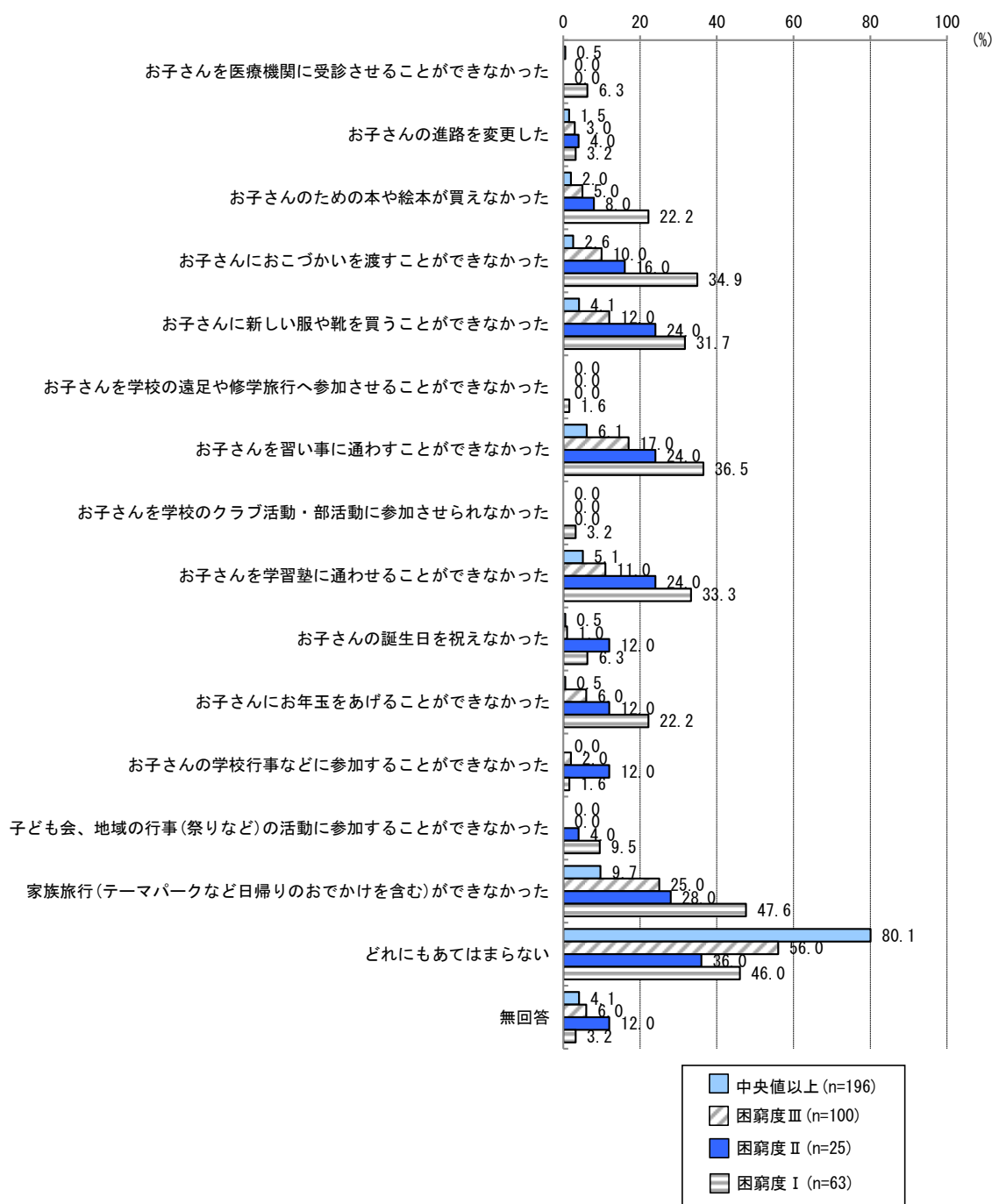


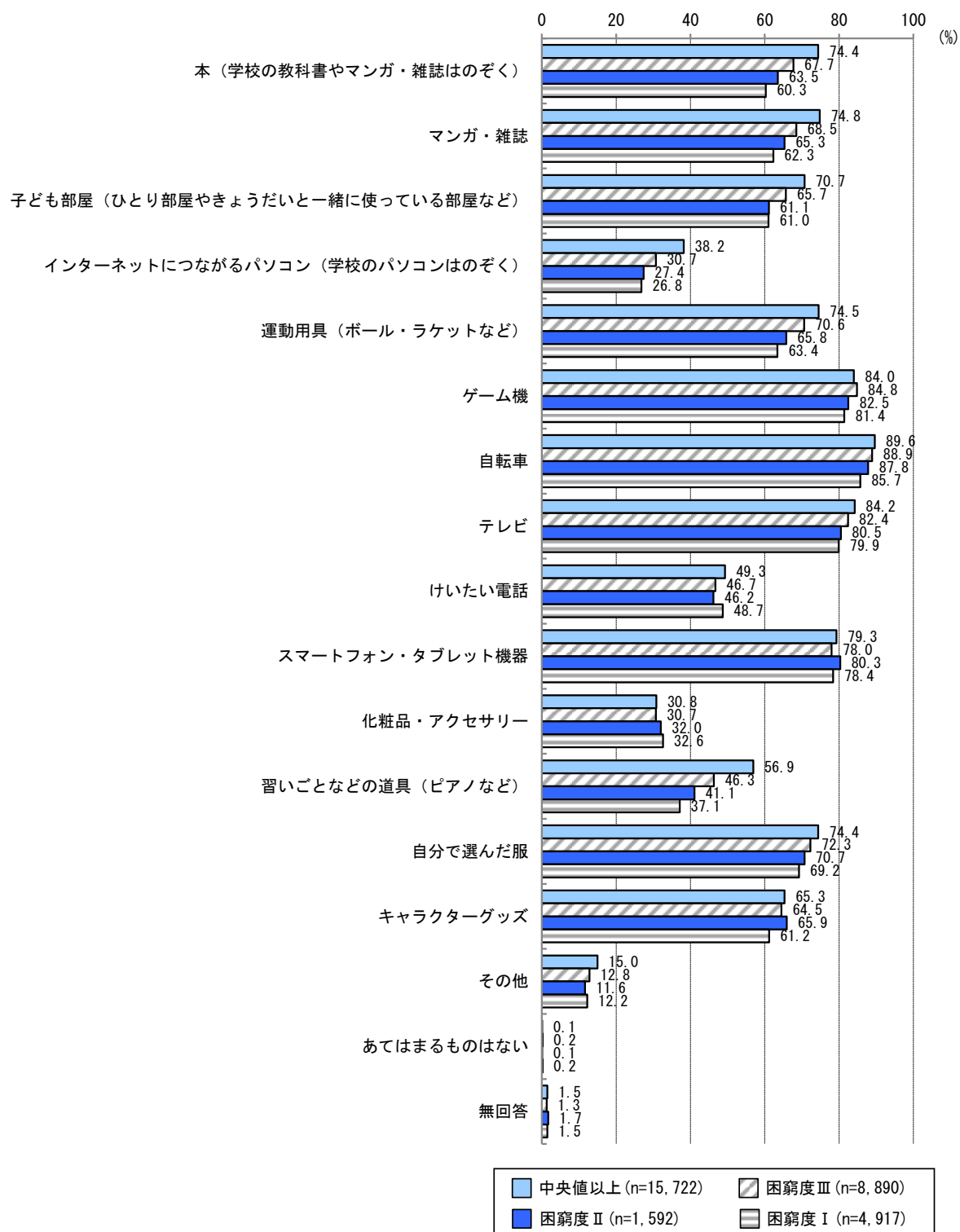
図 2. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験

困窮度別に子どもへの経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群を見ると、「お子さんにお年玉をあげることができなかった」が22.2%（中央値以上群に対して44.4倍）、「お子さんにおこづかいを渡すことができなかった」が34.9%（同じく13.4倍）となっている。

また、「どれもあてはまらない」は中央値以上群で80.1%に対して、困窮度Ⅰ群において46.0%だった。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの（子ども票問 21）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

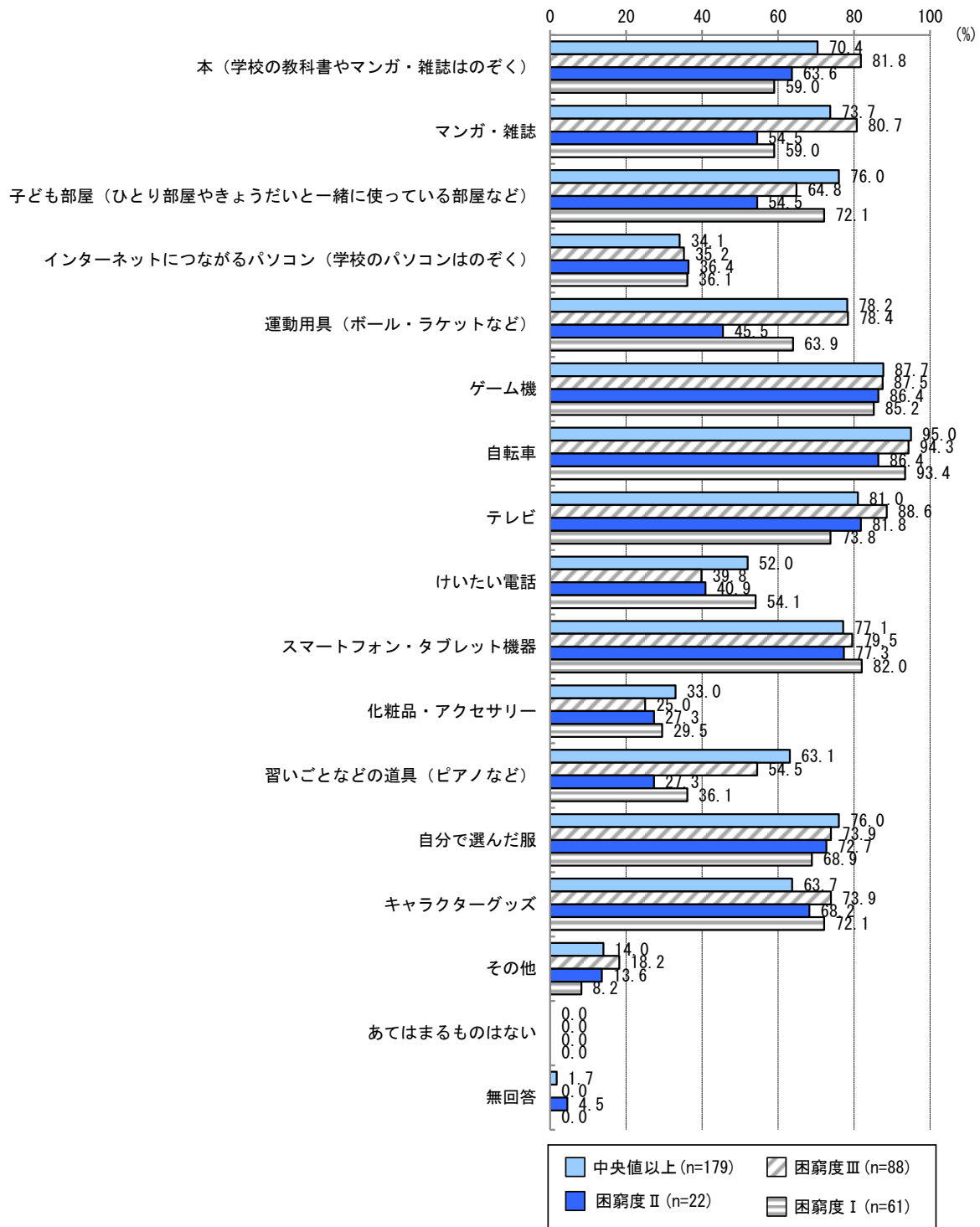
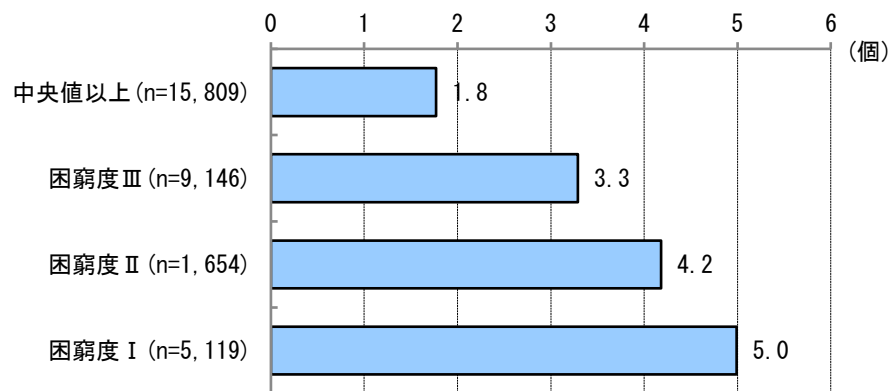


図 3. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群を見ると、「習いごとなどの道具（ピアノなど）」が63.1%（困窮度Ⅰ群に対して1.7倍）、「マンガ・雑誌」が73.7%（同じく1.2倍）となり、中央値以上群において高い項目、すなわち困窮度Ⅰ群においては低い項目が複数みられた。

困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問7）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

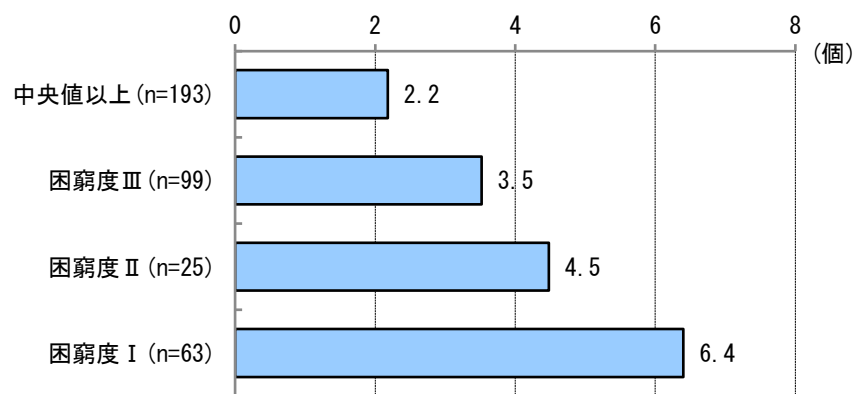


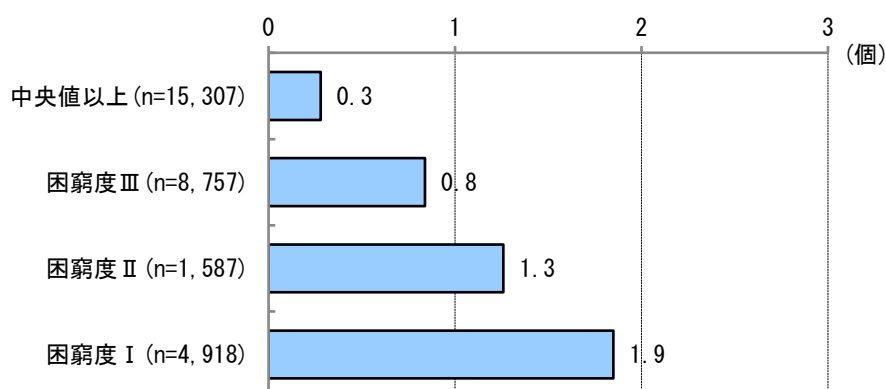
図 4. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

経済的な理由による経験として示した21個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由による経験の該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問 12）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

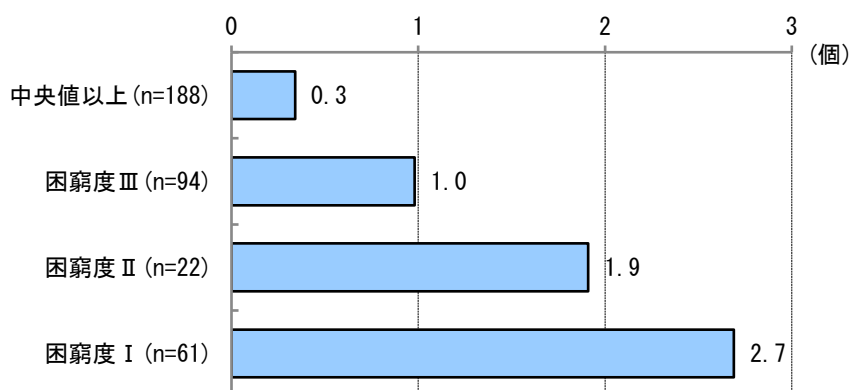


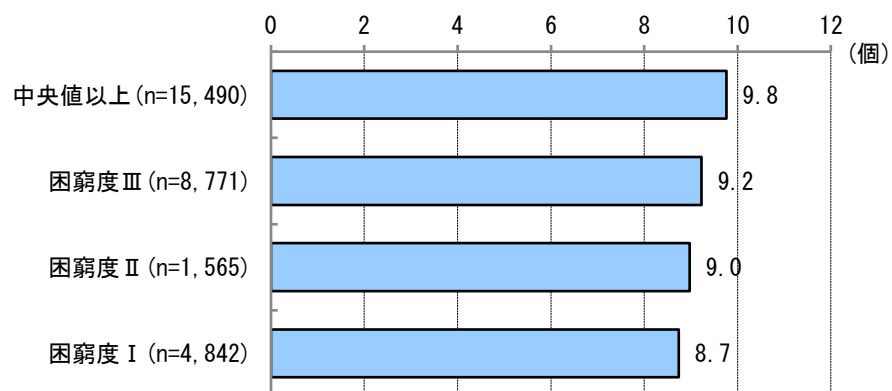
図 5. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

子どもに関して経済的な理由による経験として示した14個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由で子どもにできなかったことの該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均（子ども票問 21）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

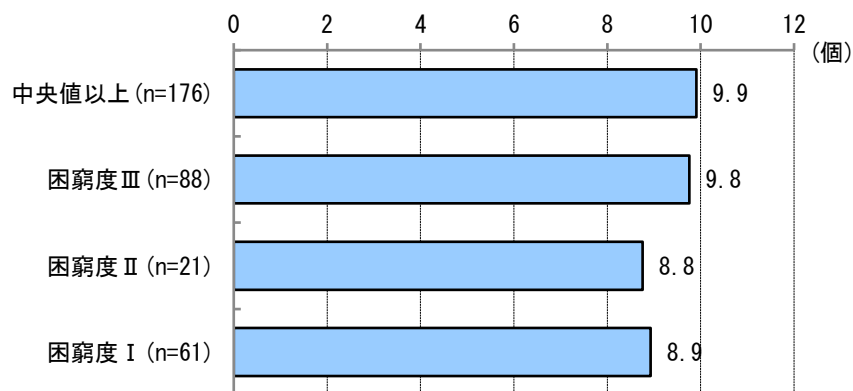


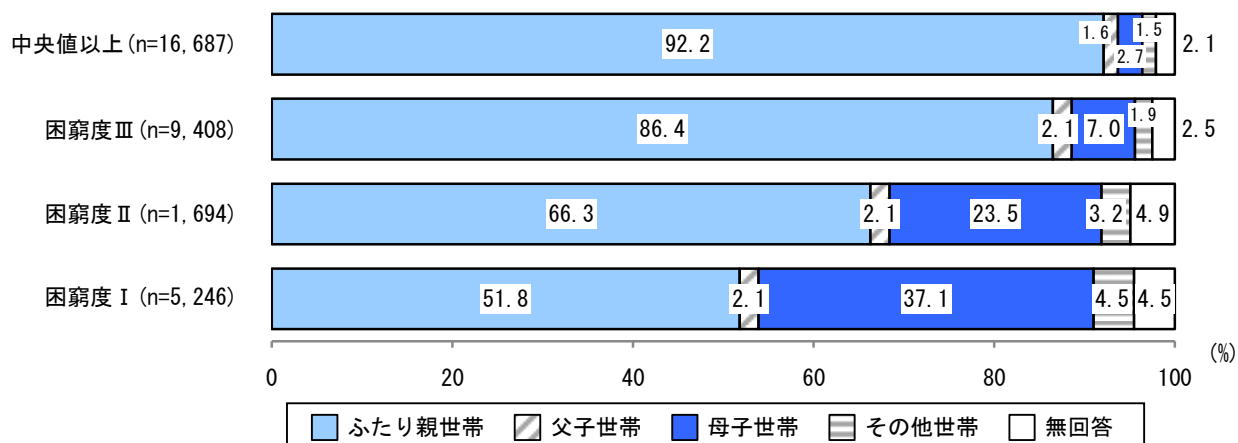
図 6. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均

子どもの持っているもの、使うことができるものとして示した14個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度によって子どもの持ちもの、使えるものの該当数に大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（保護者票問2より）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

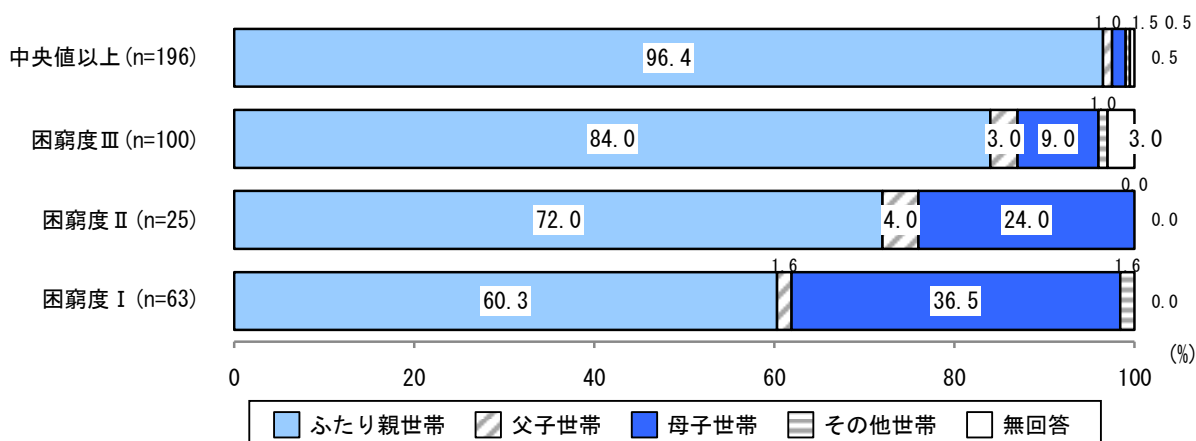
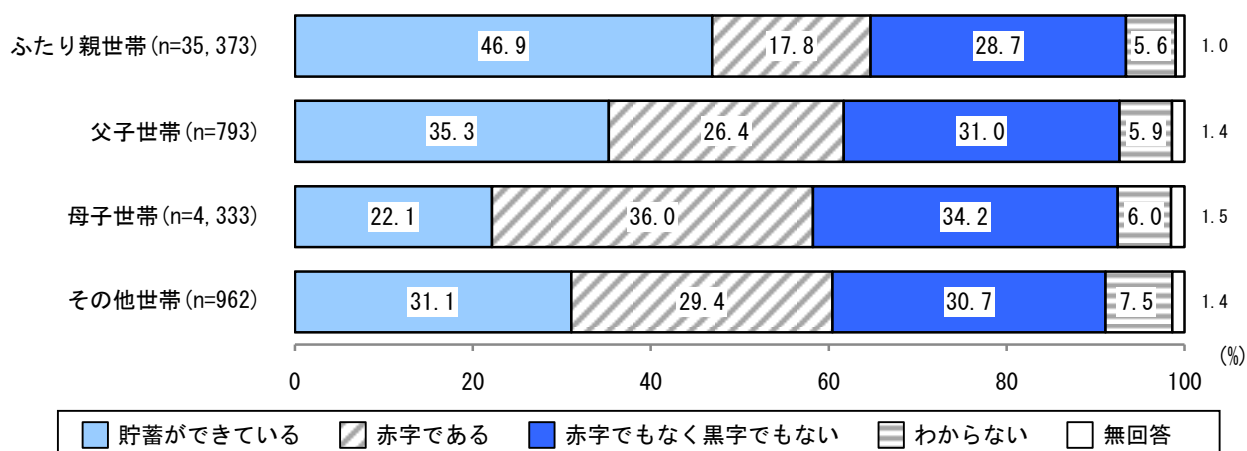


図 7. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度別に世帯員の構成を見ると、「ふたり親世帯」と回答したのは、中央値以上群が96.4%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は60.3%だった。また、「母子世帯」と回答したのは、中央値以上群が1.5%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は36.5%だった。

世帯構成別に見た、家計の状況（保護者票問 6(1)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

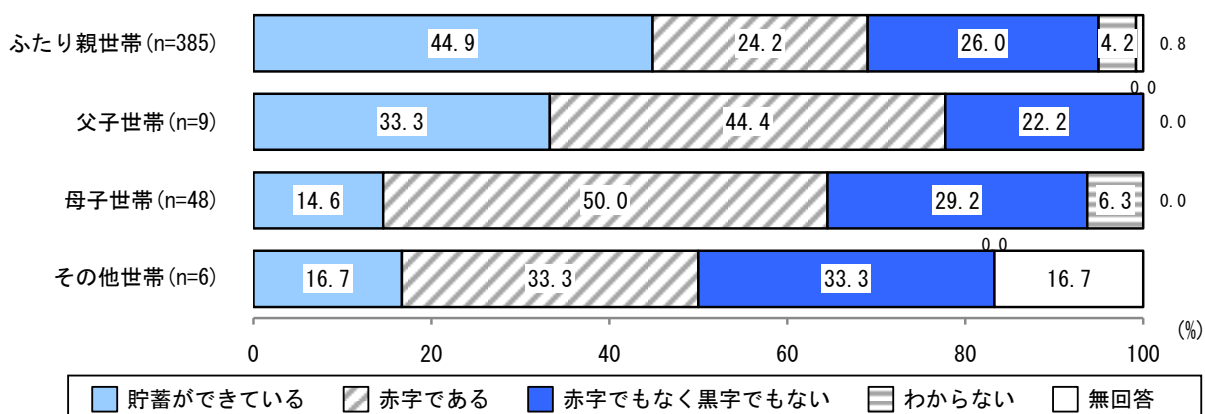
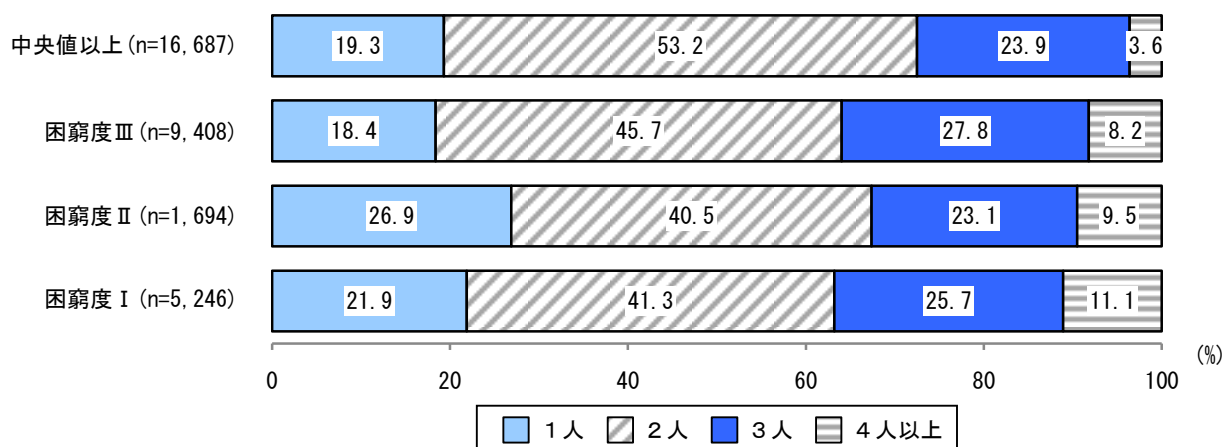


図 8. 世帯構成別に見た、家計の状況

世帯構成別に家計の状況を見ると、「貯蓄ができていない」と回答した割合は、ふたり親世帯が44.9%なのに対して、母子世帯14.6%、父子世帯33.3%だった。また、「赤字である」と回答したのは、ふたり親世帯が24.2%なのに対して、母子世帯は50.0%だった。

困窮度別に見た、子どもの人数（保護者票問2より）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

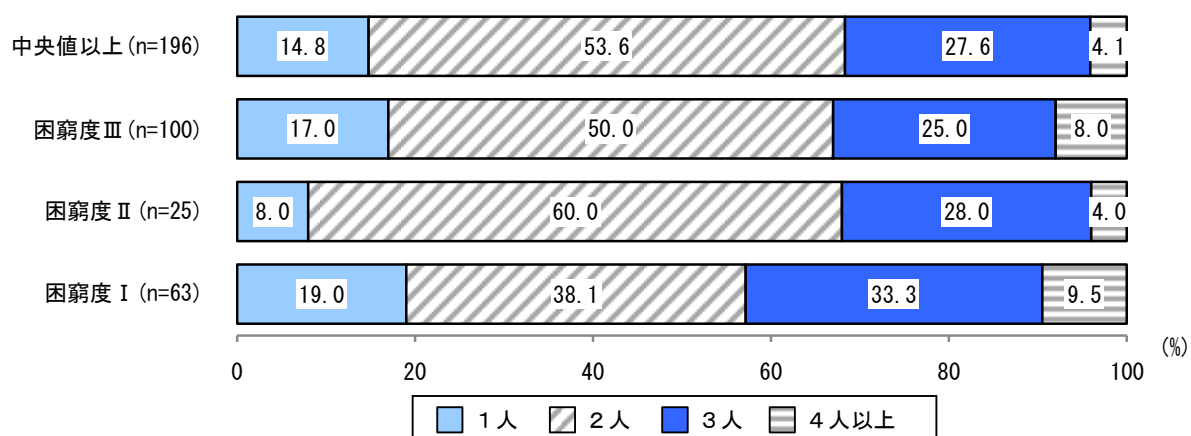
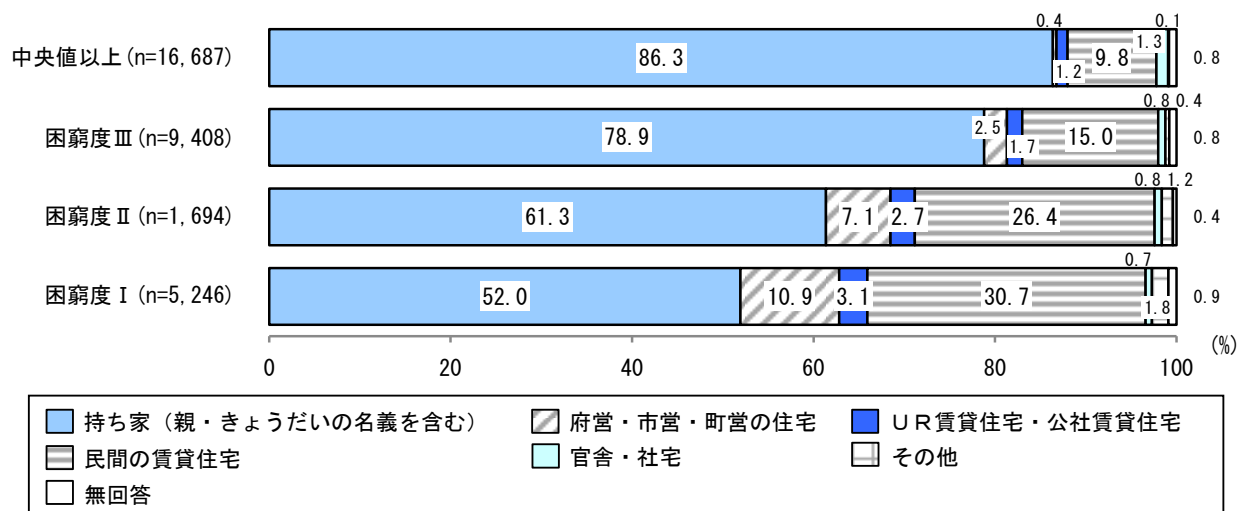


図 9. 困窮度別に見た、子どもの人数

困窮度別に子どもの人数を見ると、中央値以上群において3人以上が31.7%（3人27.6%、4人以上4.1%）であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、3人以上が42.8%（3人33.3%、4人以上9.5%）と高くなっている。

困窮度別に見た、住居形態（保護者票問５）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

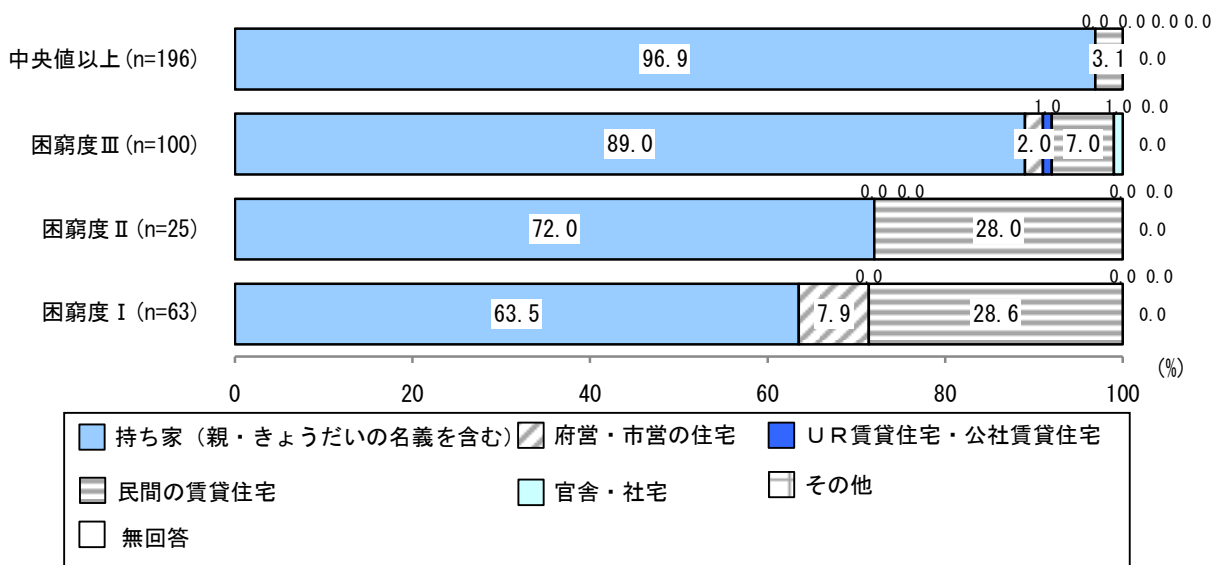
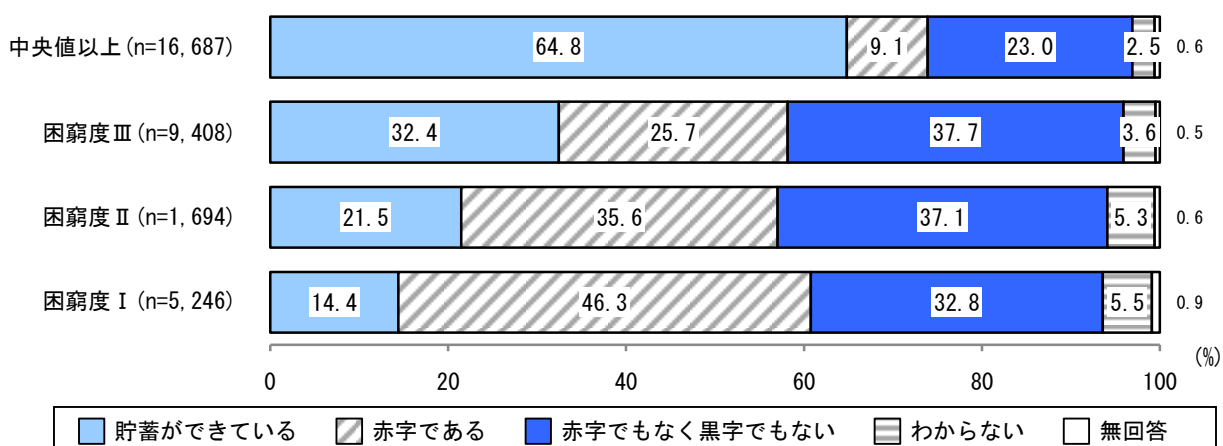


図 10. 困窮度別に見た、住居形態

困窮度別に住居形態を見ると、困窮度が高まるにつれ、持ち家の保有率は低くなっている。中央値以上群では、「持ち家」と回答した割合は96.9%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、63.5%にとどまっている。

困窮度別に見た、家計の状況（保護者票問 6(1)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

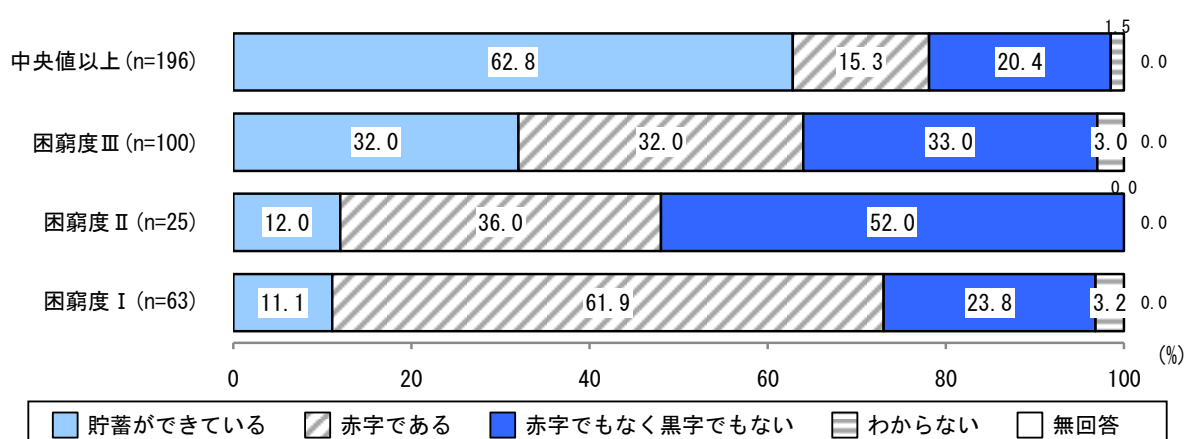
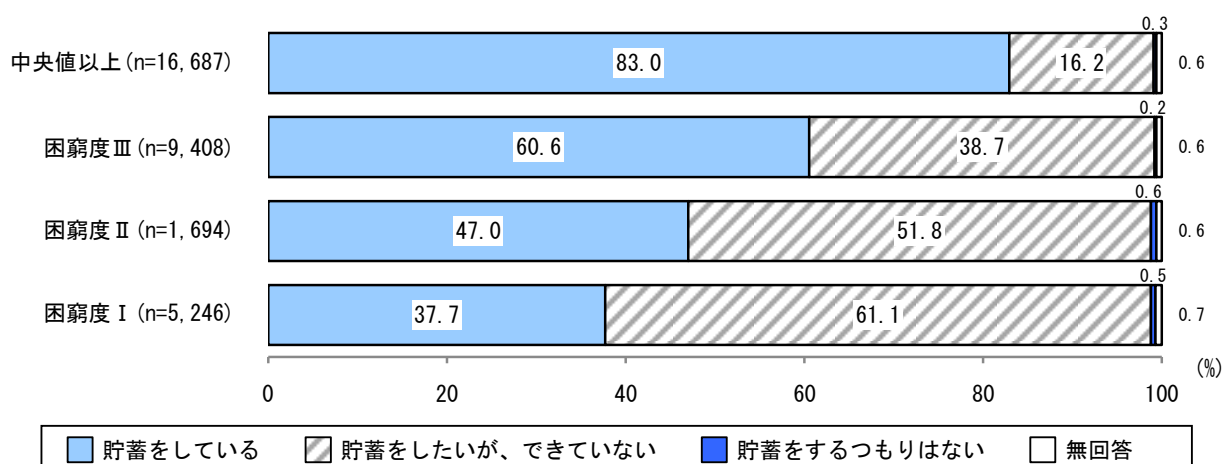


図 11. 困窮度別に見た、家計の状況

困窮度別に家計の状況を見ると、困窮度が高まるにつれて、「貯蓄ができています」と回答する割合が低くなり、逆に、「赤字である」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「赤字である」と回答した世帯の割合は、15.3%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、61.9%となり、6割を超えている。

困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況（保護者票問 6(2)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

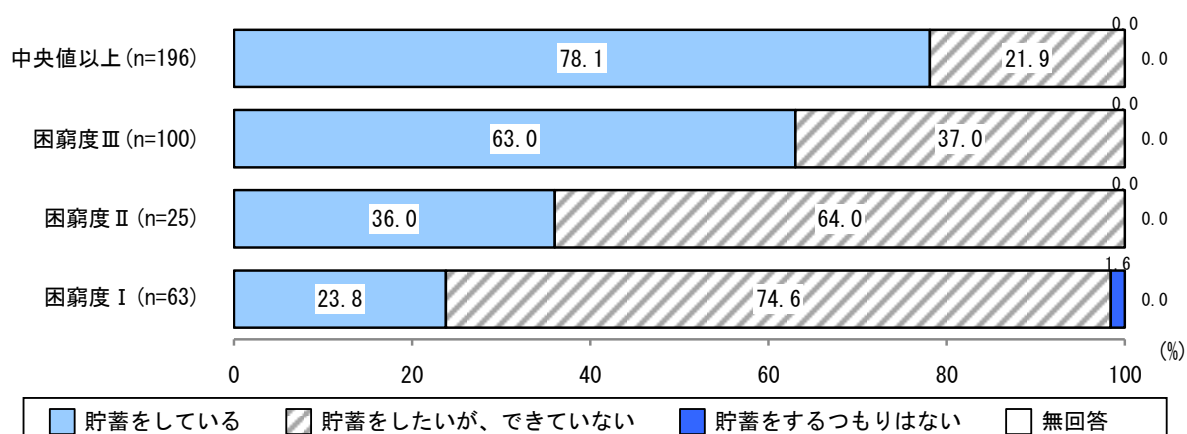
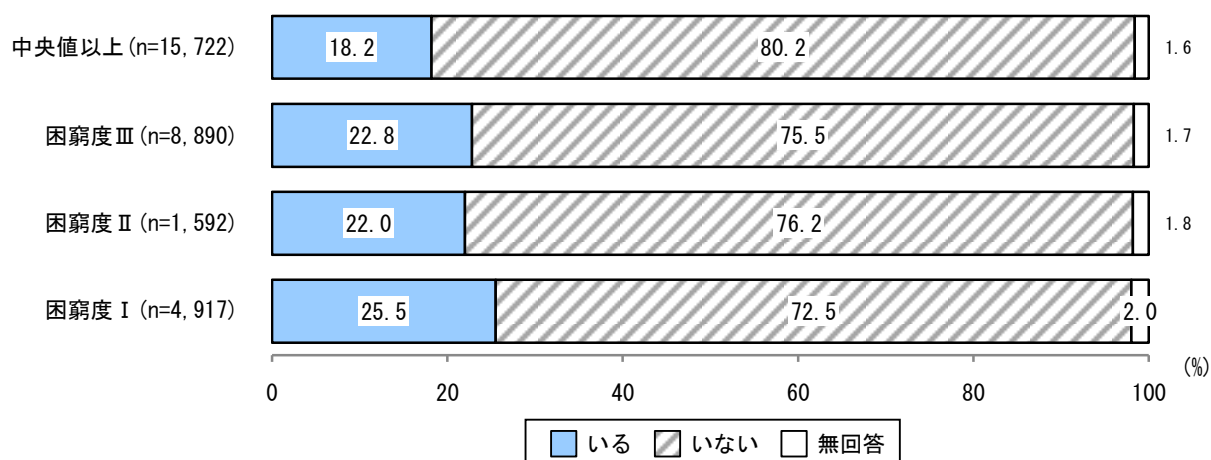


図 12. 困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況

困窮度別に子どもの将来のための貯蓄状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「貯蓄をしたいが、できていない」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「貯蓄をしている」と回答する割合が78.1%を占めたが、困窮度Ⅰ群では23.8%にとどまり、約7割が「貯蓄をしたいが、できていない」と回答している。

困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無（子ども票問 26(1)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

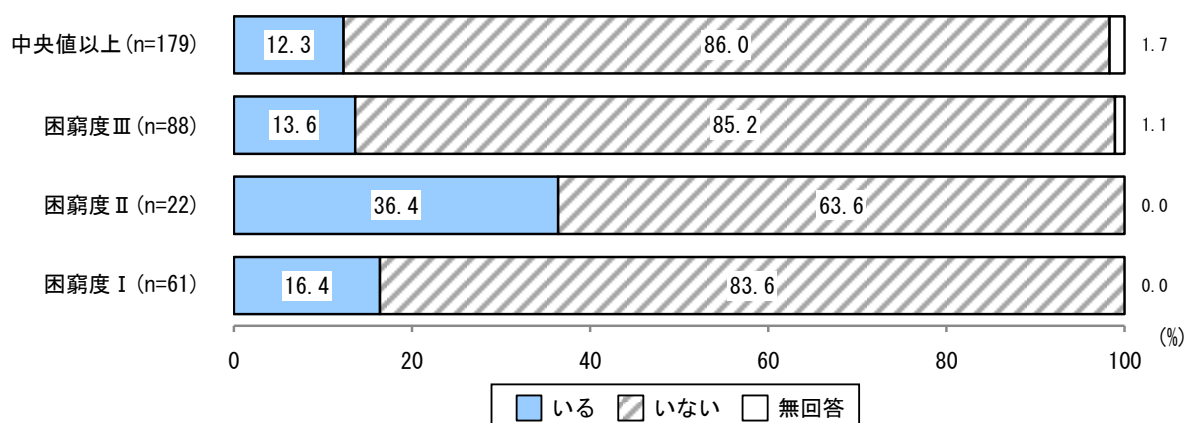


図 13. 困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無

困窮度別に自分が世話をしている人の有無を見ると、自分が世話をしている人が「いる」と回答した割合は困窮度Ⅱ群で36.4%と最も高くなっている。中央値以上群では、「いない」と回答する割合が86.0%を占め、最も高くなっている。

＜経済状況に関する考察＞

経済的理由で生じた生活上の困難についての質問項目は、現在の日本社会において、「通常であれば可能な生活」を基準に設定している。「どれもあてはまらない」という回答は、その基準に達していることを示すものであるが、中央値以上群で40.3%に対して、困窮度Ⅰ群では7.9%にすぎない。一方、困窮度が深刻化するにしたがい経済的理由から生活面での困難は増す傾向にあり、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」(69.8%対32.1%)、「友人・知人との外食を控えた」(57.1%対21.4%)、「趣味やレジャーの出費を減らした」(66.7%対34.7%)と回答した割合が高くなっており、生活面で大きな格差が存在する。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「国民年金の支払いが滞ったことがある」(23.8%対0.5%)と回答した割合が高くなっており、子どもの親(保護者)の将来(老後)の生活困窮を示唆するデータであると言える。さらに、こういった経済状況は、親の心理的な面にも影響しており、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」(54.0%対6.6%)と回答した割合が高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な家庭では、交際費や趣味・レジャーへの支出が敬遠される傾向が強く、年金支払いの義務が果たせなくなる状況にあり、将来への不安感が多いことが示唆される。

世帯の経済状況は、子どもの教育にも影響を及ぼしていることが確認できる。主な項目をあげると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」(36.5%対6.1%)、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」(33.3%対5.1%)、「お子さんの進路を変更した」(3.2%対1.5%)と回答した割合が高くなっており、子どもに与える教育の格差が示されている。これらの結果から、経済状況によって、子どもの進路や学習環境に格差が生じるとともに、将来の進路についても選択の幅を狭めてしまう可能性が高いことを示唆している。

同様に、学校以外での子どもの多様な「体験」の有無は、子どものヒューマンキャピタルの形成に影響を与えることが予想されるが、調査結果では、所得階群によって体験の機会に格差があることが示されている。具体的には、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができなかった」(47.6%対9.7%)といった経験に大きな差がある。その一方、「どれにもあてはまらない」が、中央値以上群では80.1%であり、困窮度Ⅰ群では46.0%であり、多様な経験を享受できる機会に明確に差がみられる。また同様の傾向は困窮状態に応じてみられることから、経済状況によって情緒的な人格形成に必要な経験を得る機会が十分に確保できなくなる可能性を示唆している。

また、「子どもの将来のための貯蓄状況」という質問項目に対して、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「貯蓄をしている」と回答した割合が高くなっている(78.1%対23.8%)。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した割合が高くなっており(74.6%対21.9%)、貯蓄の状況に大きな差があることが確認できる。これらの結果から、経済的に困難な家庭では、子どもの将来のための貯蓄を十分に確保することができていないとはいえず、将来子どもに起こり得る疾病等への備えや進路の選択肢を広範に提示することが難しく、子どもの将来に対する経済的支援が難しくなると予想される。

近年、子どもの貧困やヤングケアラーへの社会的関心が深まりつつあり、厚生労働省と文部科学省が連携して行った全国調査では、ヤングケアラーと思われる子どもは小学6年生で6.5%(令和3年度実施)、中学2年生で5.7%(令和2年度実施)と報告されている(『ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム報告(令和3年5月17日)』)。全国調査の結果より、回答した小学6年生の15人に1人程度、中学2年生の17人に1人程度が家族の世話をし

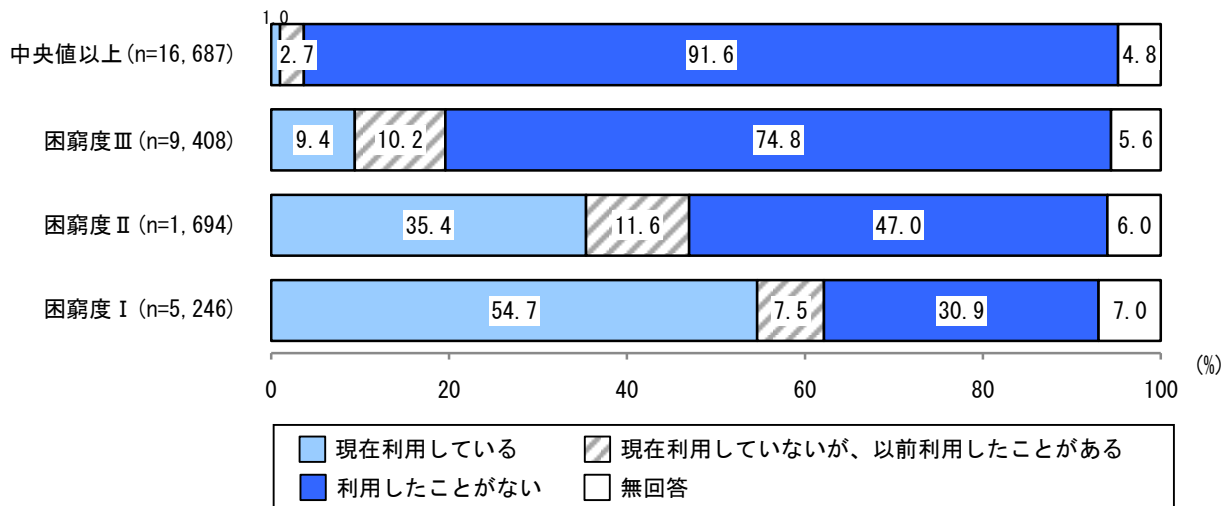
ていることが明らかになった。

全国の状況を踏まえて、羽曳野市が令和5年に実施した、小学5年生、中学2年生を対象とする本調査では、「自分が世話をしている人の有無」という質問に対して「いる」と答えている割合は、全体においては15.7%であるが、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べて「いる」と答えた割合が高くなっている（16.4%対12.3%）。これは、困窮度Ⅰ群では、回答した6人に1人程度が、中央値以上群では、8人に1人程度が世話をしている人が「いる」と回答していることになる。これらの結果から、羽曳野市ではヤングケアラーと思われる子どもの割合が相対的にみて高いといえ、経済的に困難な家庭ではその傾向がより強まることが看取される。

(2) 家庭状況（制度等）

困窮度別に見た、就学援助の利用状況（保護者票問 23-a）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

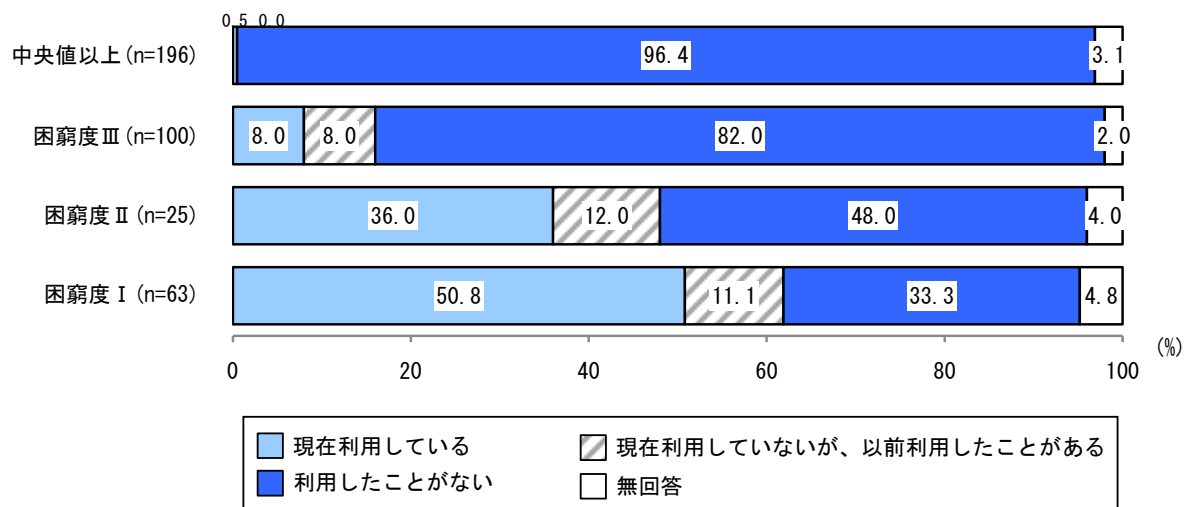
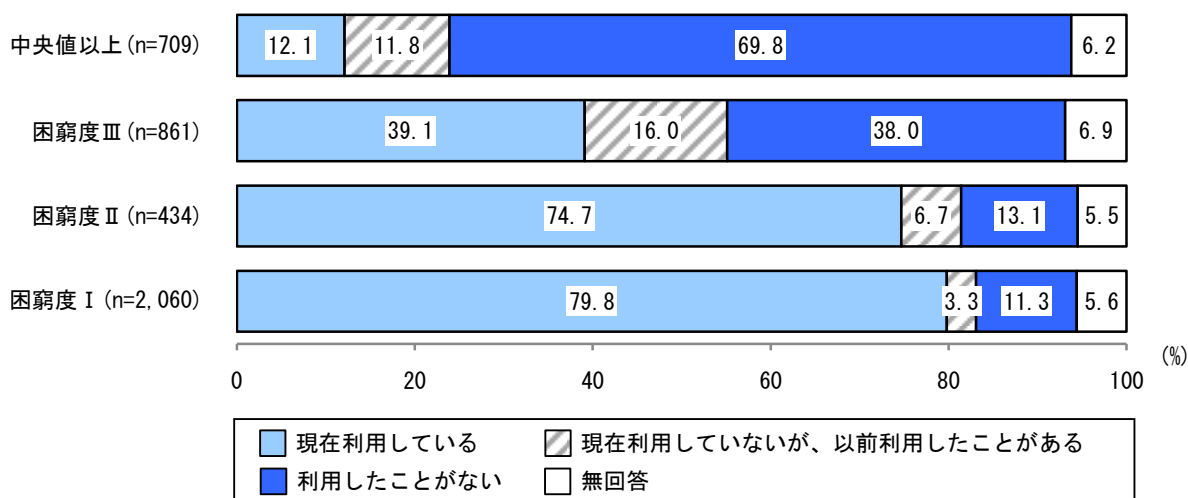


図 14. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況

困窮度別に就学援助の利用状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。

困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（保護者票問 23-d）・ひとり親世帯のみ

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

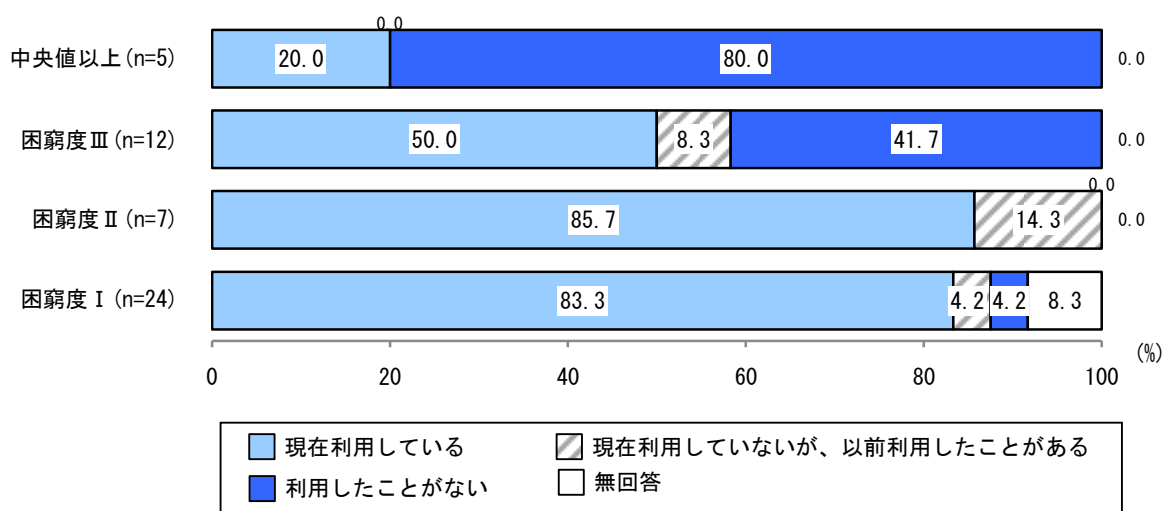
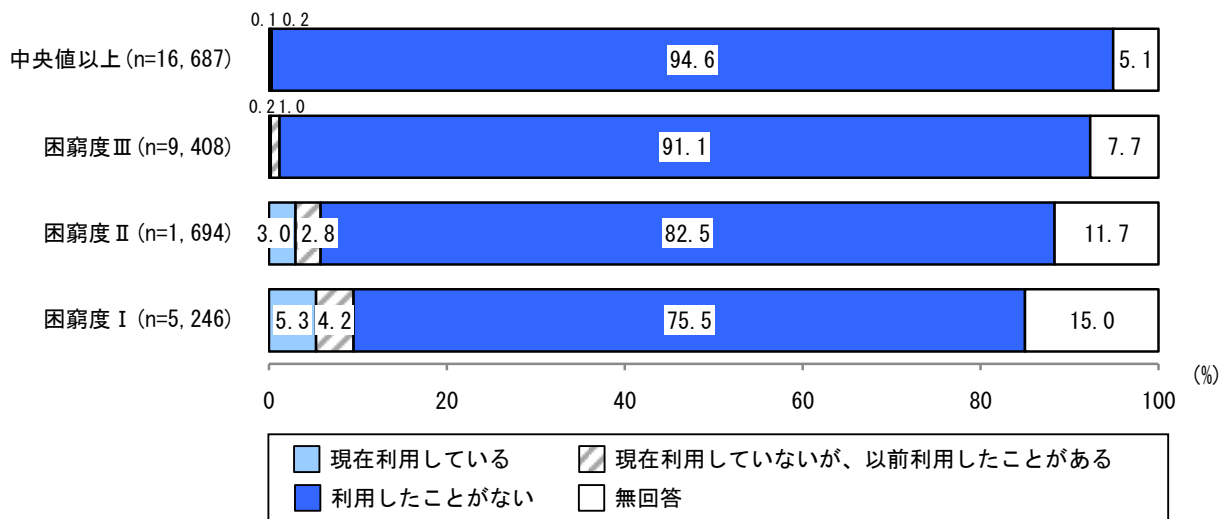


図 15. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の困窮度別に児童扶養手当の利用状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」と回答した割合が概ね高くなっている。

困窮度別に見た、生活保護の利用状況（保護者票問 23-b）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

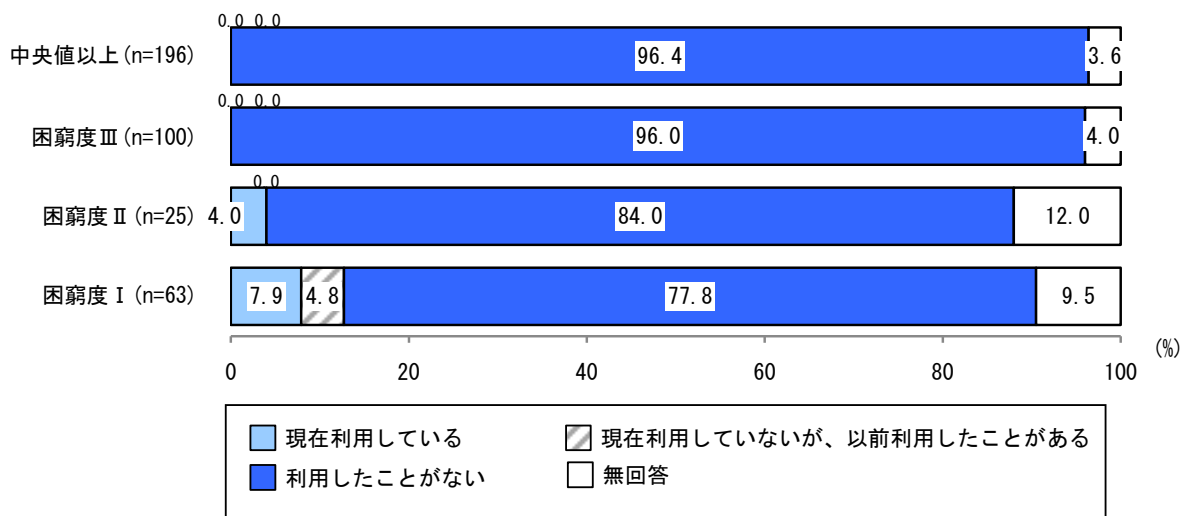
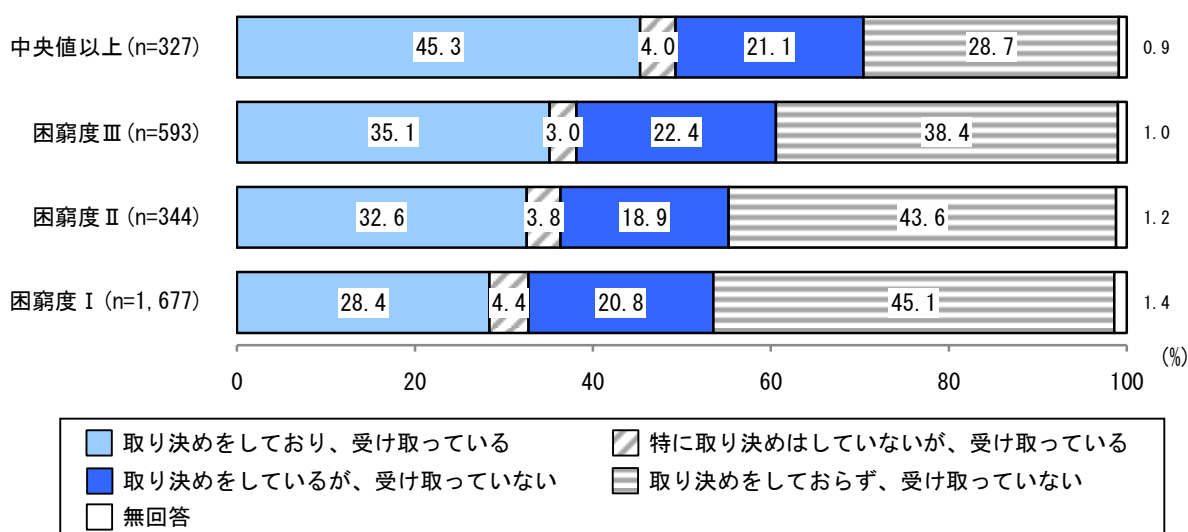


図 16. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況

困窮度別に生活保護の利用状況を見ると、困窮度Ⅰ群においては「現在利用している」と回答した割合は7.9%であった。

困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（保護者票問4）・ひとり親世帯のみ

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

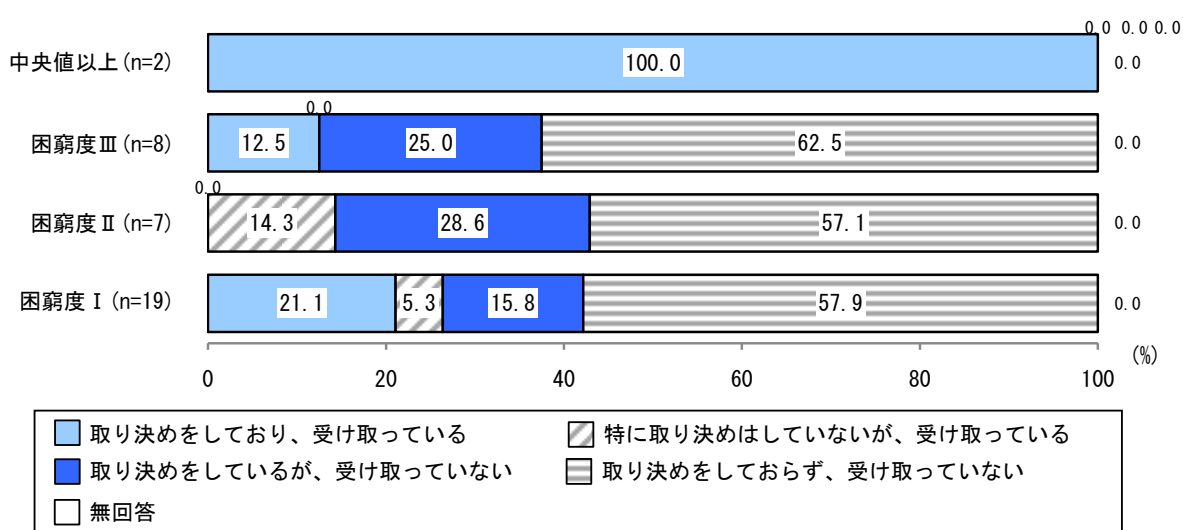
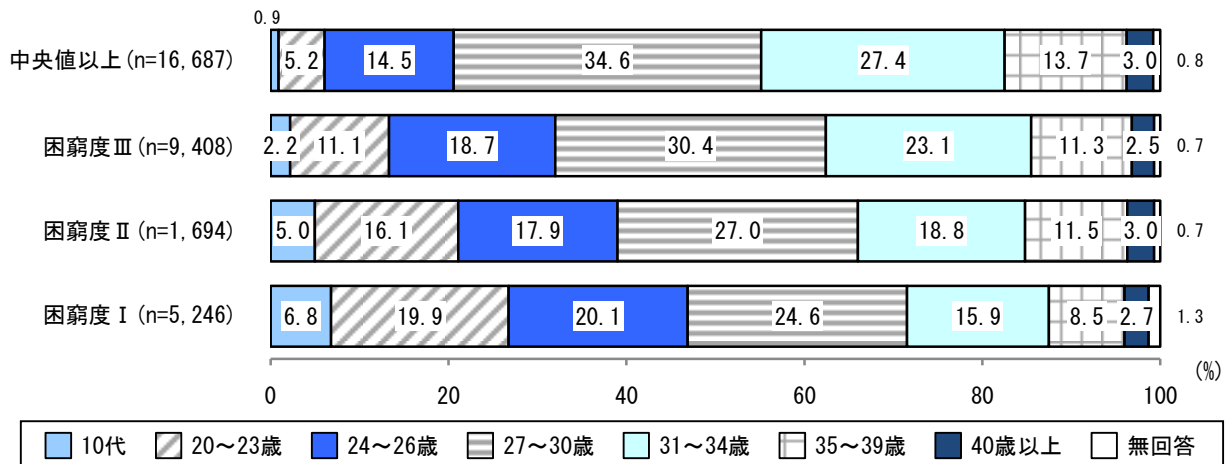


図 17. 困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の困窮度別に離婚相手との養育費の取り決めや受け取りを見ると、困窮度Ⅰ群においては「取り決めをしており、受け取っている」と回答した割合は21.1%であり、「取り決めをしているが、受け取っていない」と「取り決めをしておらず、受け取っていない」をあわせた養育費を受け取っていない人が73.7%となっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 17）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

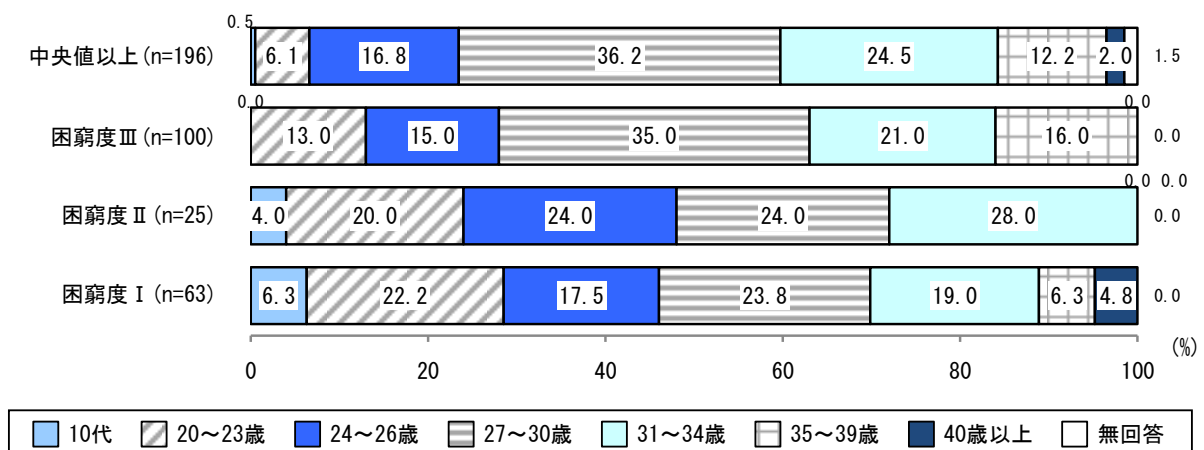
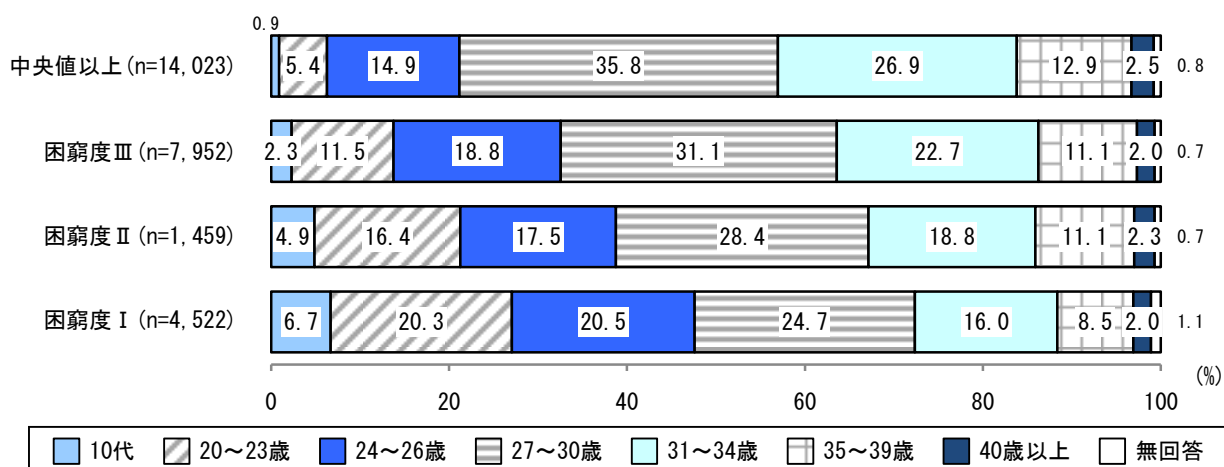


図 18. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢

全ての回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、「10代」は困窮度Ⅰが6.3%で最も高く、次いで困窮度Ⅱが4.0%となっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 17）・母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

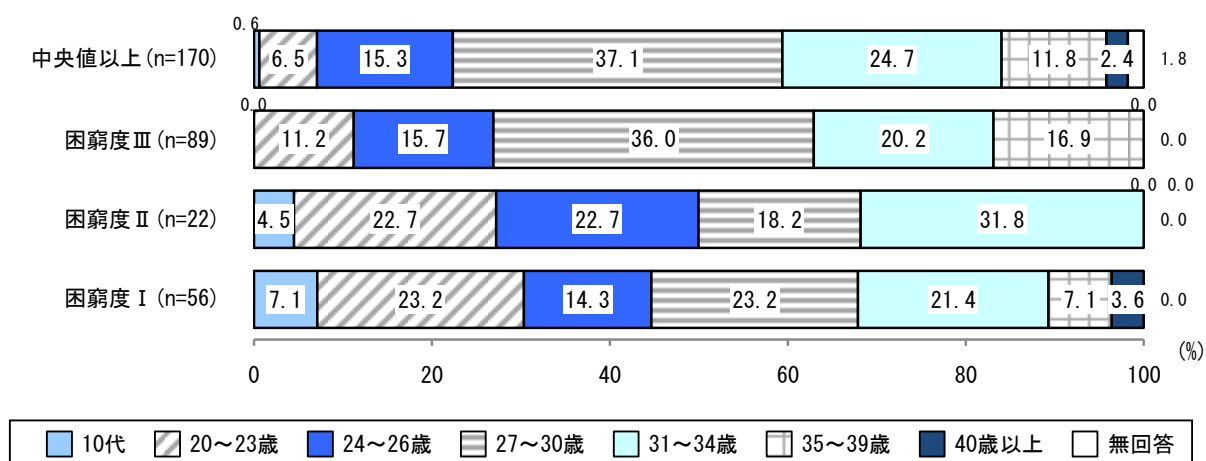
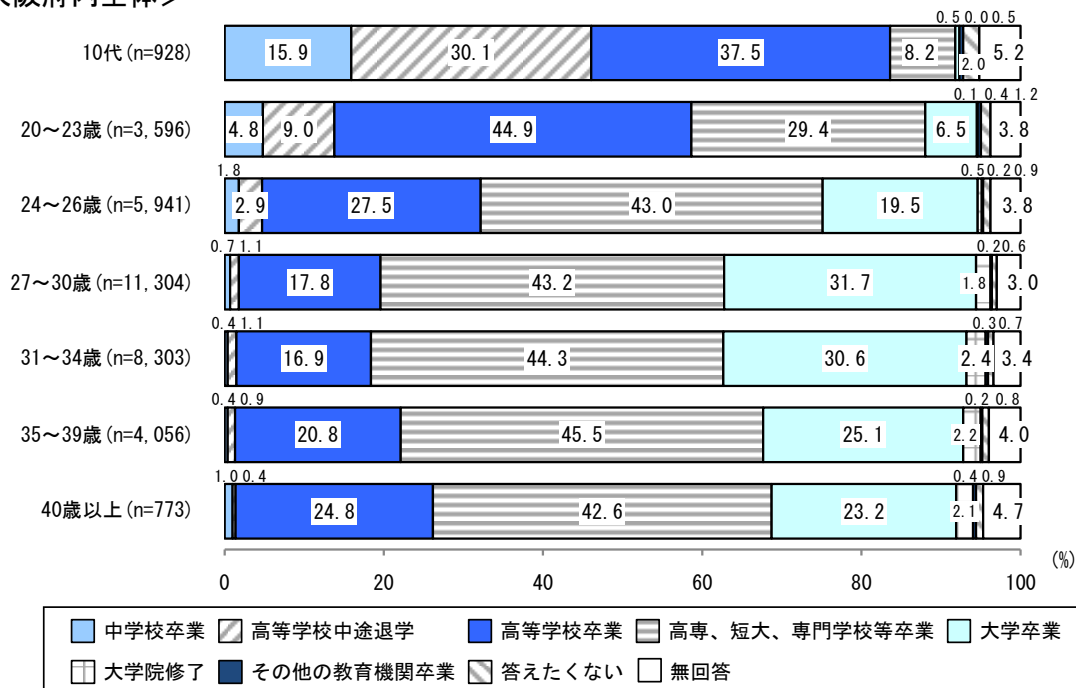


図 19. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、困窮度が高まるにつれ、23歳までに初めて親となったと答えた割合が高くなっている。若くして母親となった人ほど、経済的な問題を抱えている可能性が考えられる。

初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（保護者票問 17×保護者票問 8）
※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

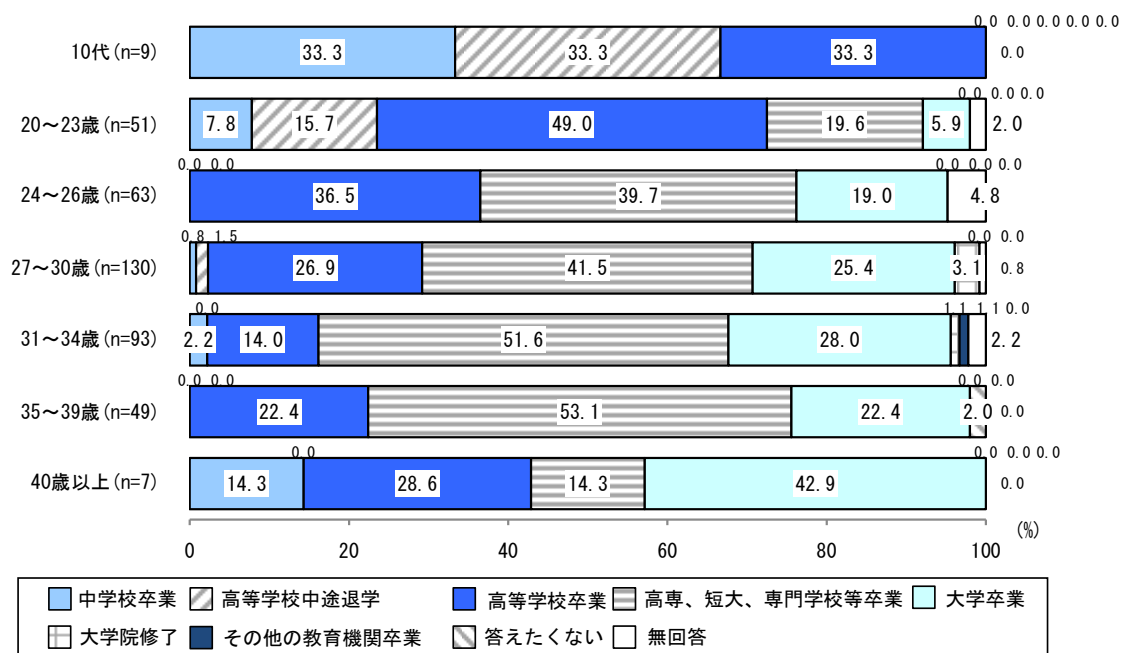
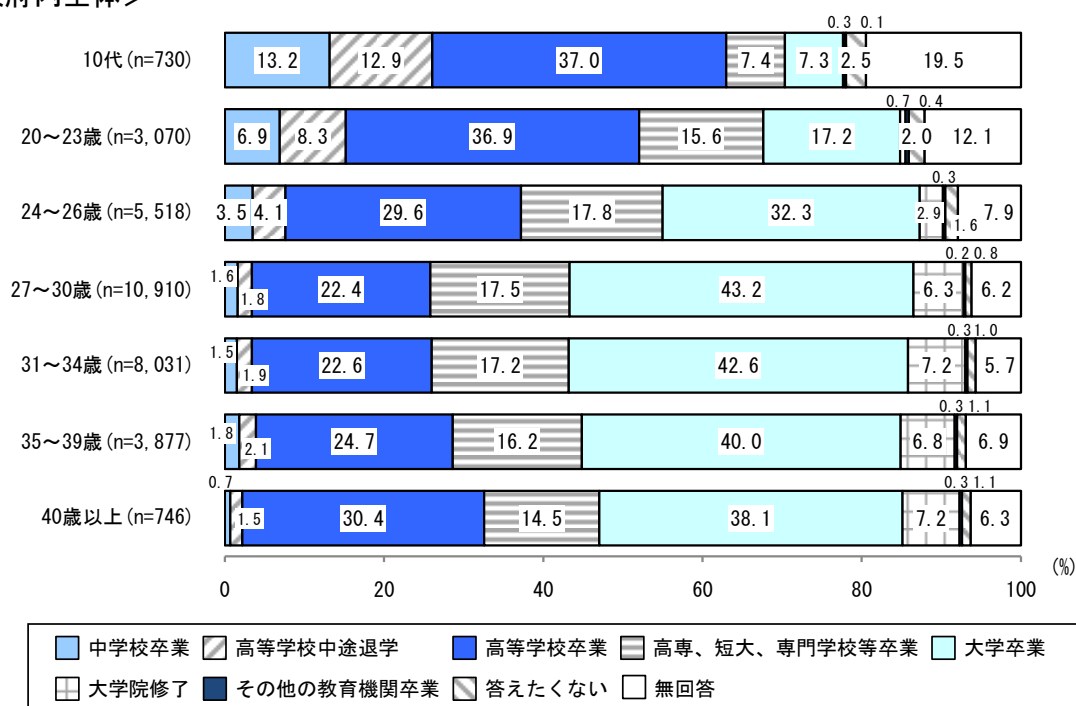


図 20. 初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に母親自身の最終学歴を見ると、10代において「高等学校中途退学」（33.3％）と回答した割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（保護者票問 17×保護者票問 8）
※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

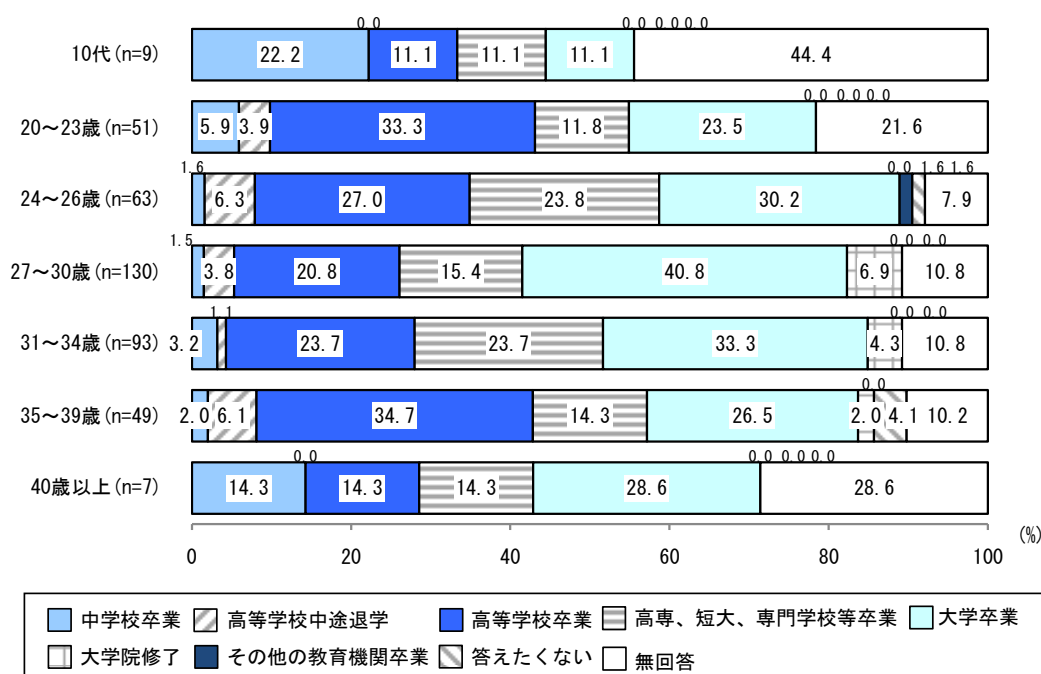
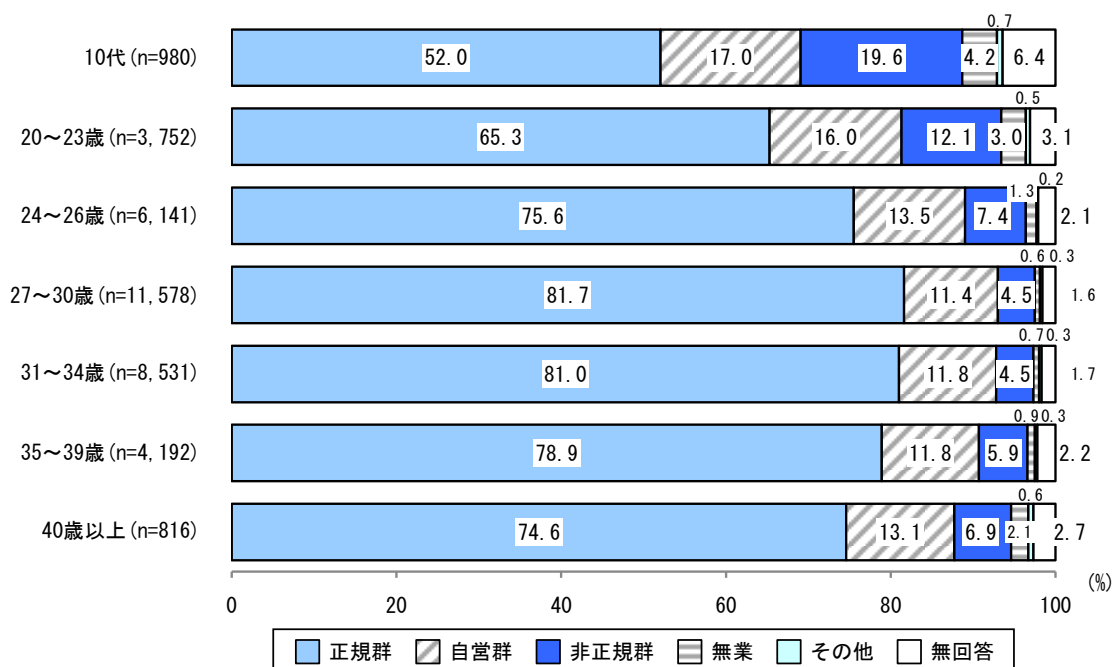


図 21. 初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に父親の最終学歴を見ると、24～26歳において「高等学校中途退学」（6.3%）と回答した割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、就労状況（保護者票問 17×保護者票問 9）
※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

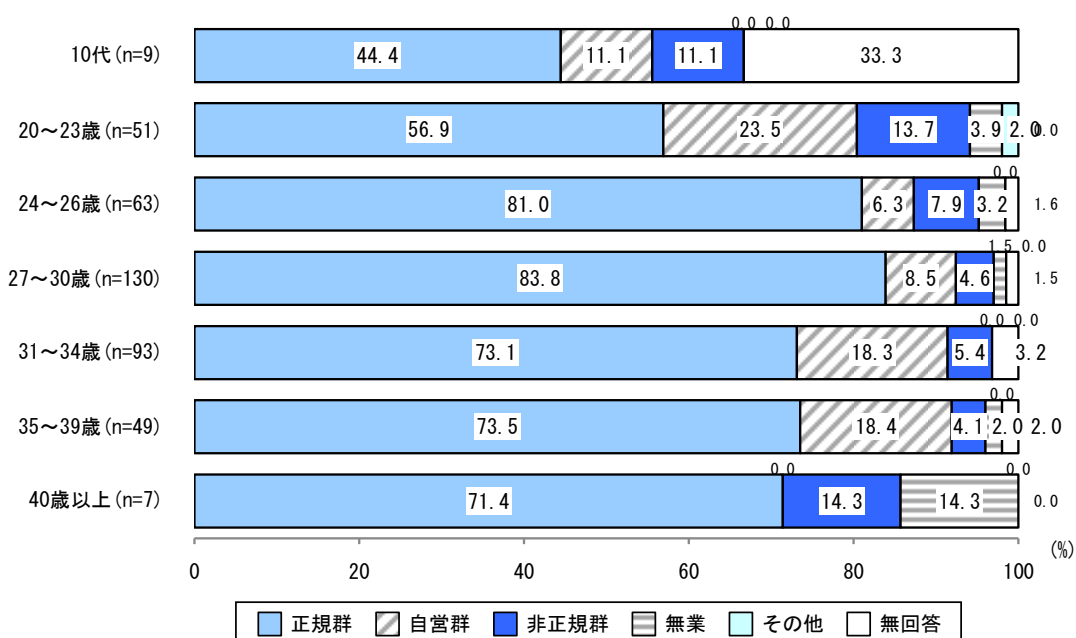
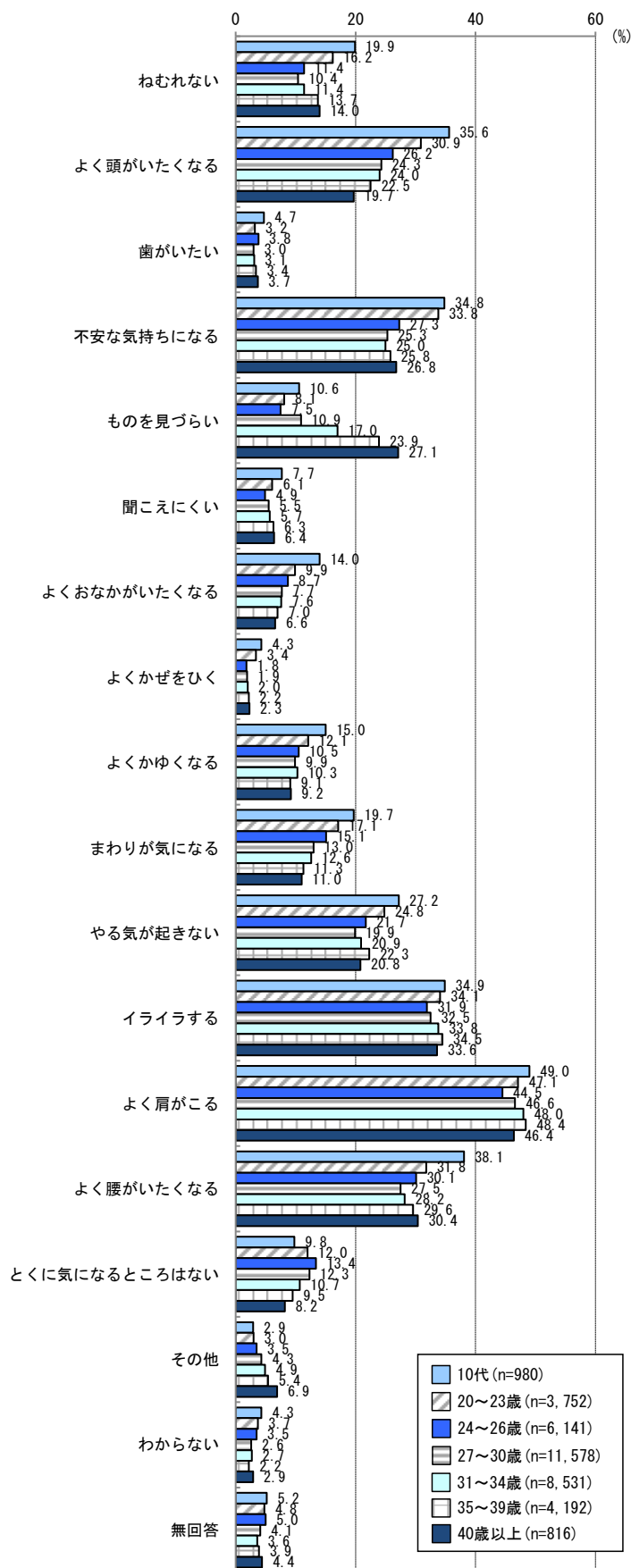


図 22. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況（母親の回答者のみ）

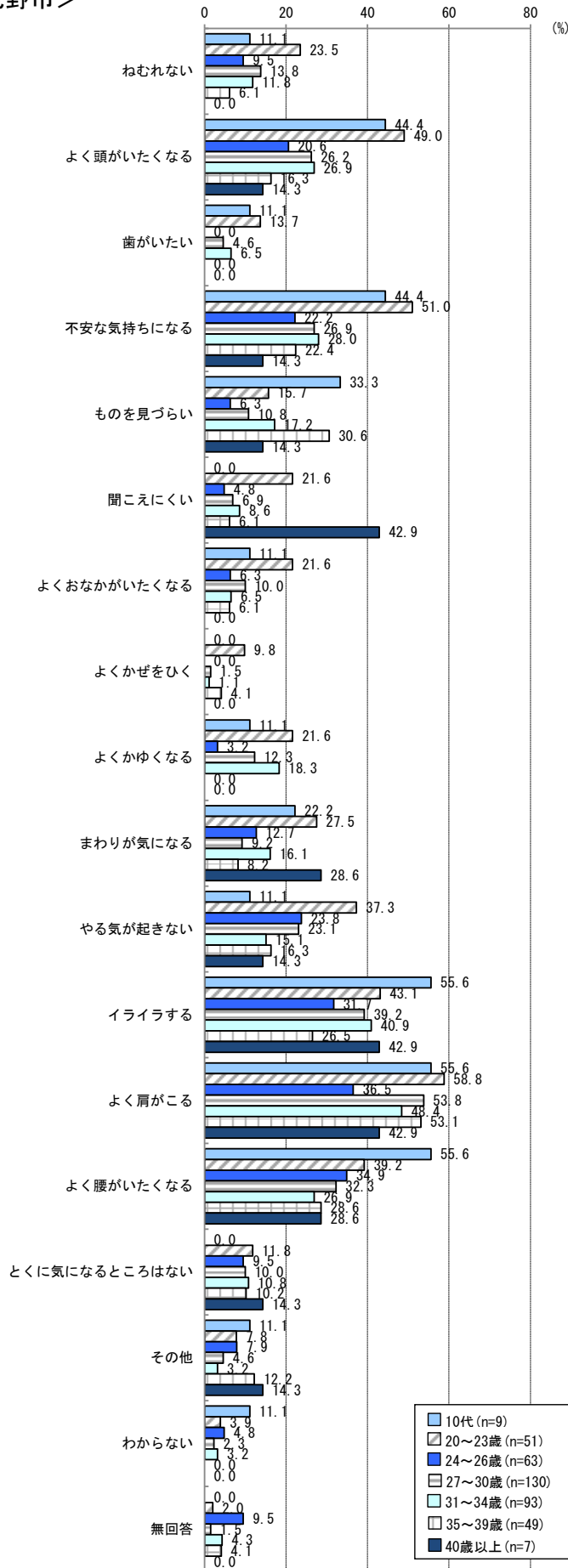
母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に就労状況を見ると、20～23歳は他の群と比較して「正規群」の割合が低く、「自営」の割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること
 (保護者票問 17×保護者票問 22) ※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

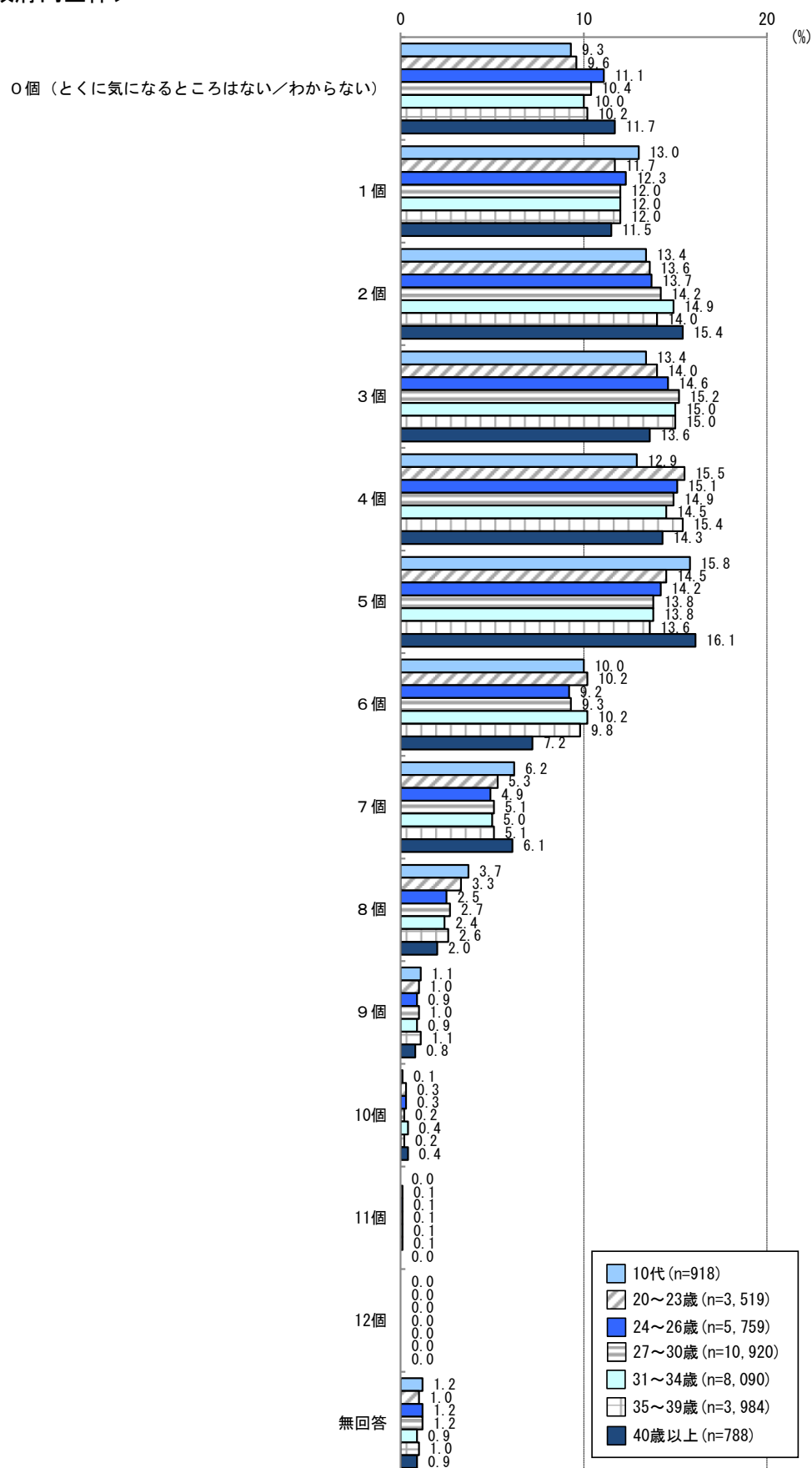


母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に自分の体や気持ちで気になることを見ると、20～23歳は他の年代と比較して「ねむれない」「不安な気持ちになる」「よく頭がいたくなる」の割合が高かった。

図 23. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（母親の回答者のみ）

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 17
× 子ども票問 19・20） ※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

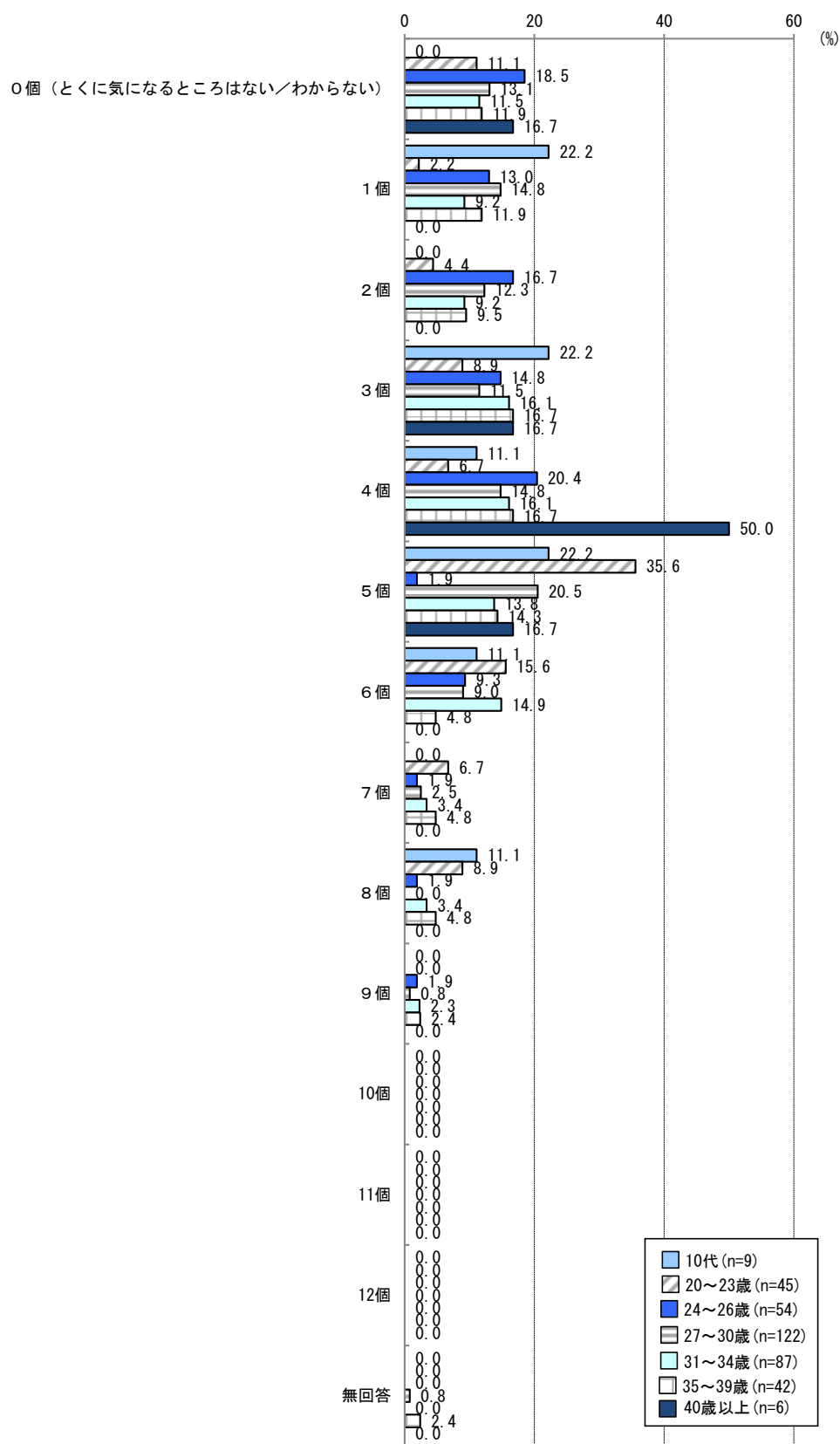
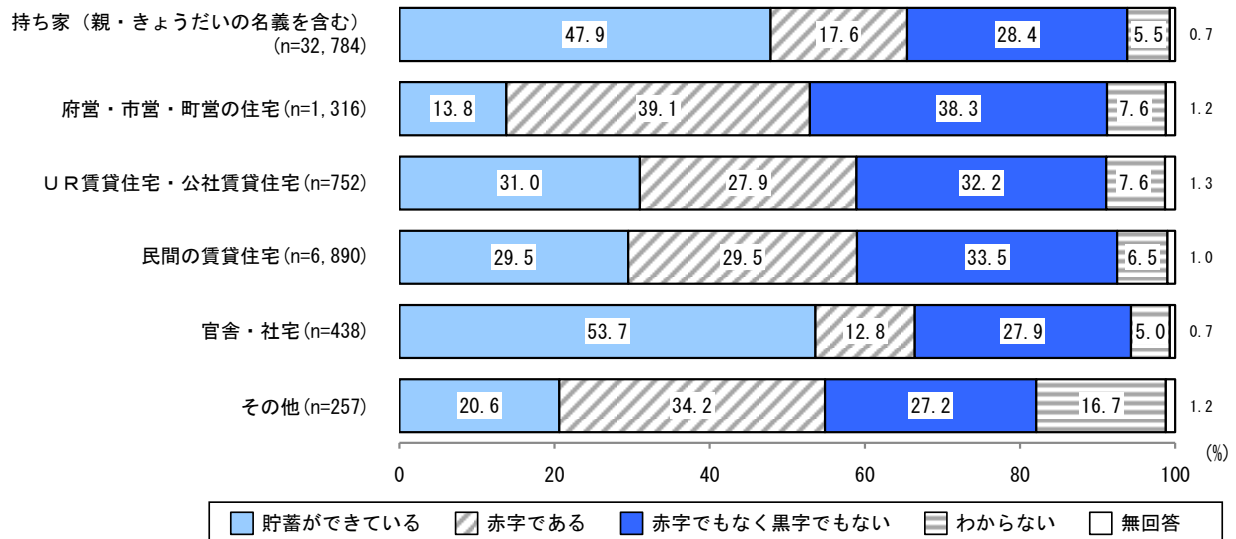


図 24. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、10代は、他の年齢と比較して「1個」と「3個」（22.2％）の割合が最も高かった。

住居形態別に見た、家計の状況（保護者票問5×保護者票問6(1)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

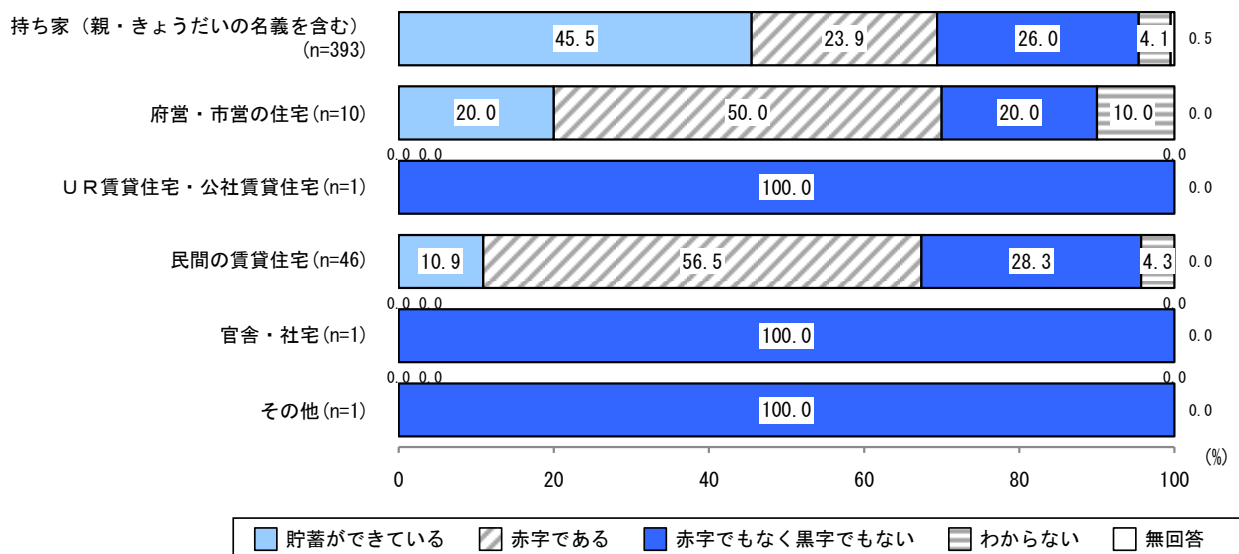
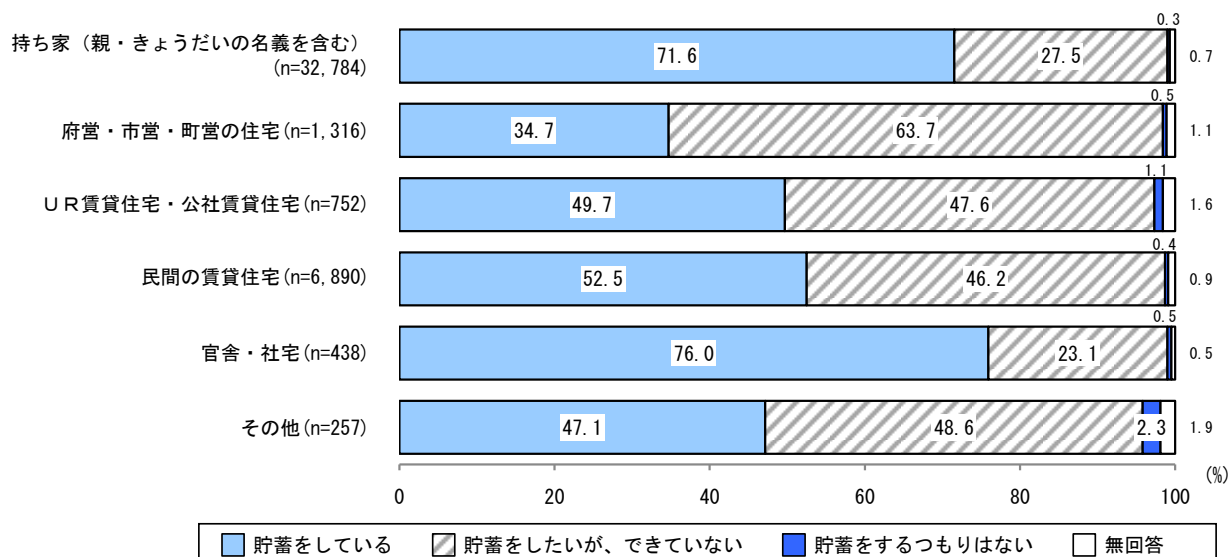


図 25. 住居形態別に見た、家計の状況

住居別到家計状況を見ると、民間の賃貸住宅（56.5%）、府営・市営・町営の住宅（50.0%）に住む人で、「赤字である」と回答した割合が高かった。また、持ち家に住む人で「赤字である」と回答した割合は23.9%であった。

住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況（保護者票問5×保護者票問6(2)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

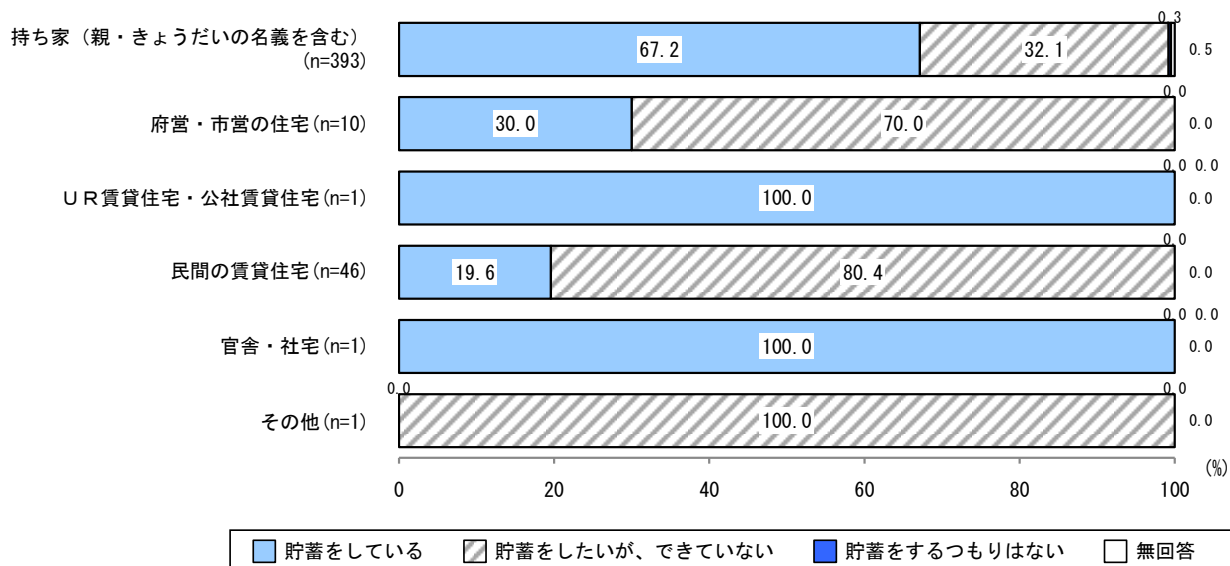
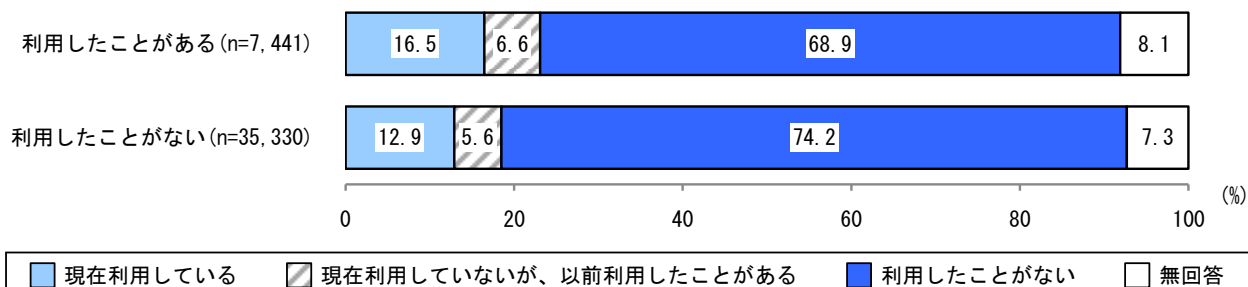


図 26. 住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況

住居形態別に子どもの将来のための貯蓄状況を見ると、民間の賃貸住宅（80.4%）に住む人で、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した割合が高かった。

子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-a)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

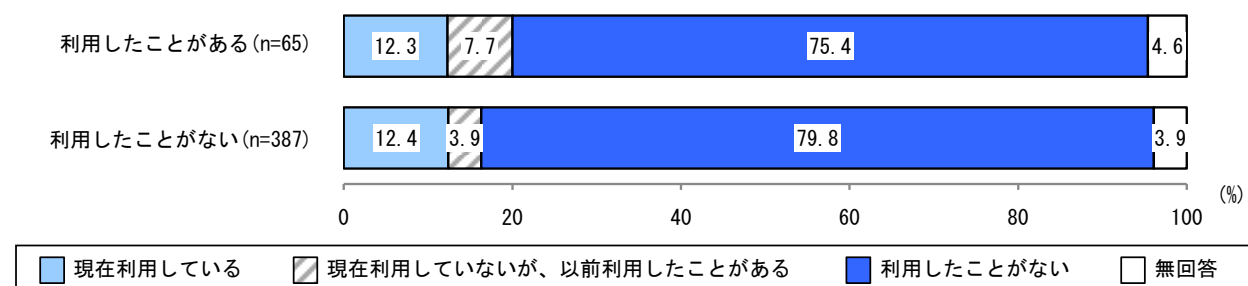
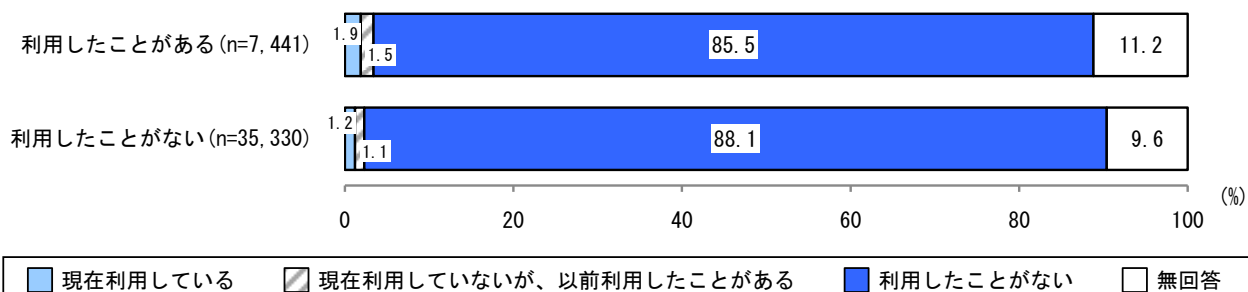


図 27. 子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に就学援助の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがない」人より「利用したことがある」人のほうが就学援助を「利用したことがない」と回答した割合がやや高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-b)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

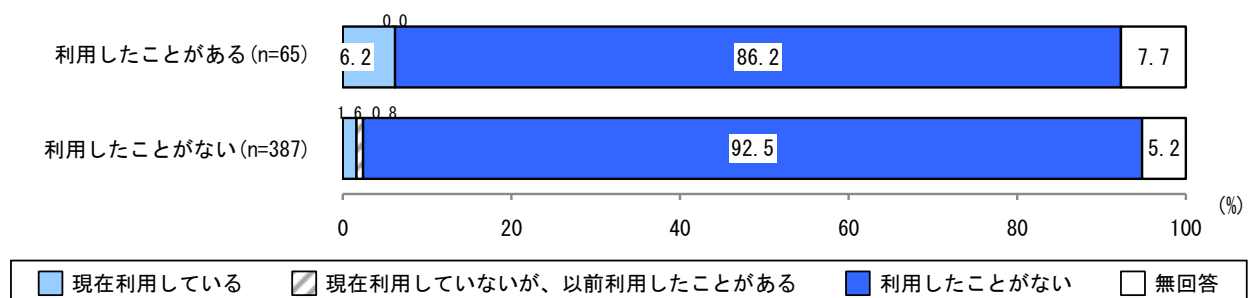
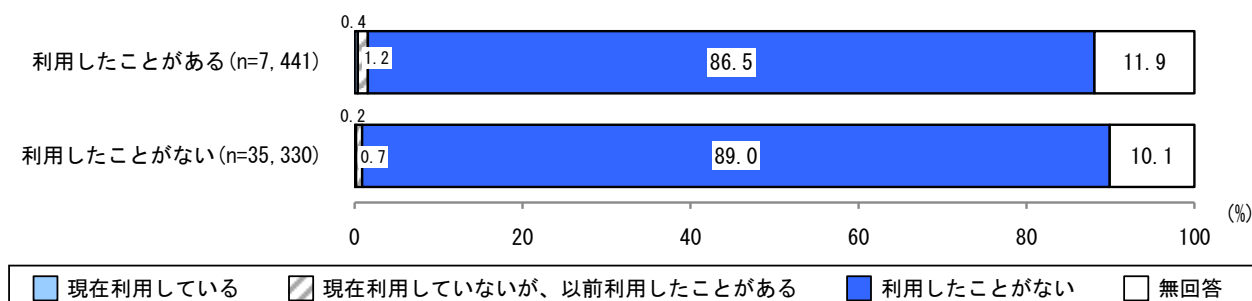


図 28. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に生活保護の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが生活保護を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-c)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

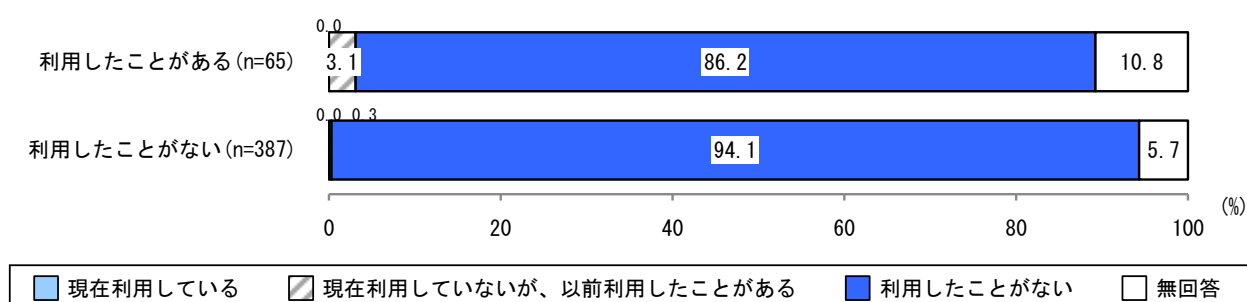
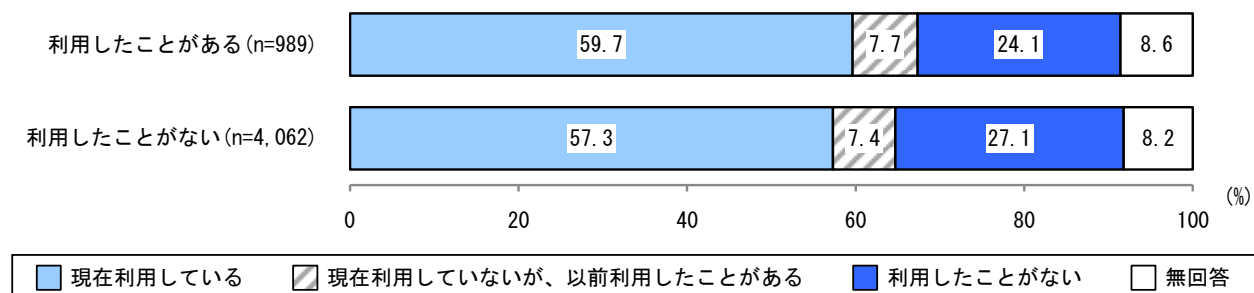


図 29. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが生活困窮者の自立支援相談窓口を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-d)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

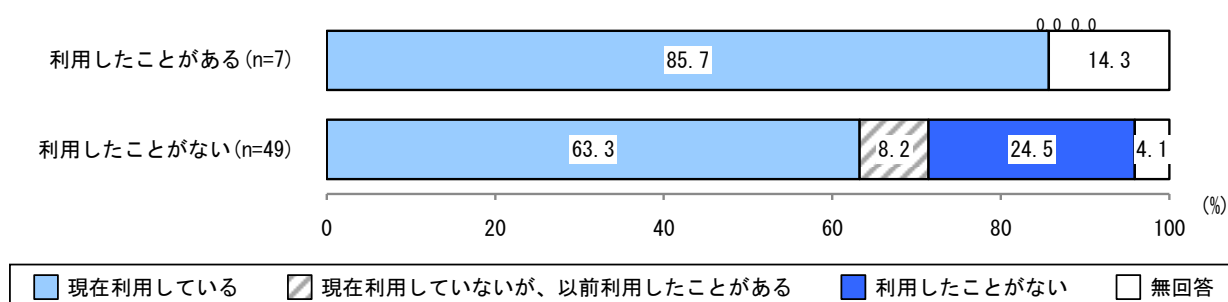
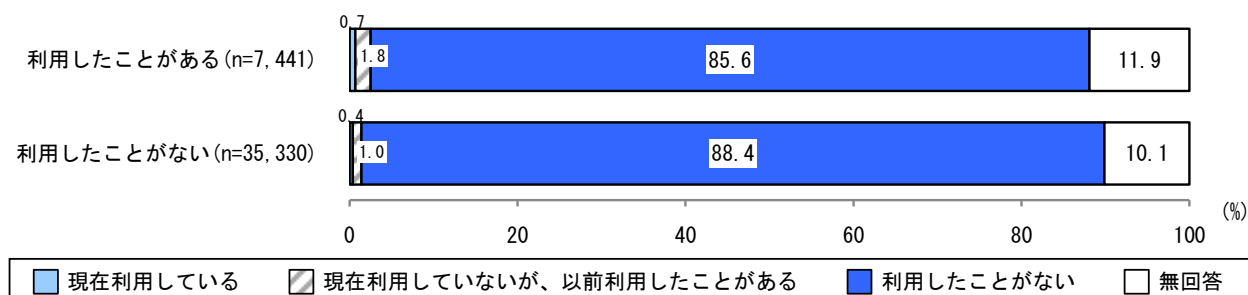


図 30. 子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

子どもの居場所の利用経験別に児童扶養手当の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがない」人より「利用したことがある」人のほうが児童扶養手当を「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-e)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

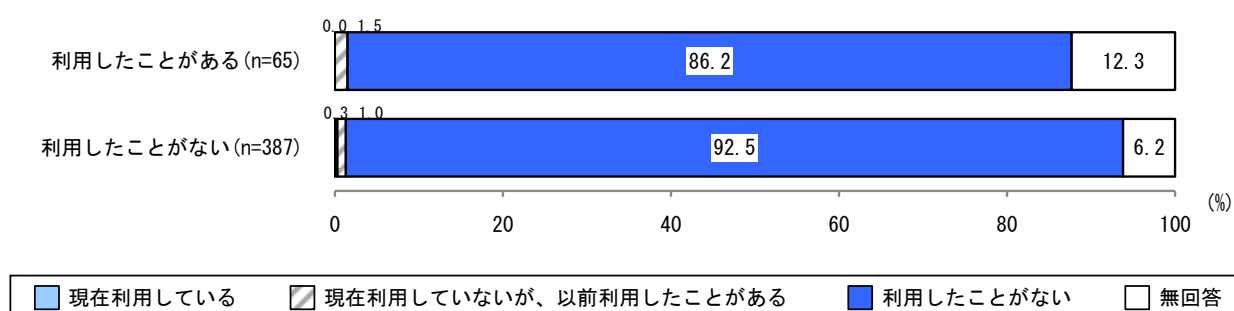
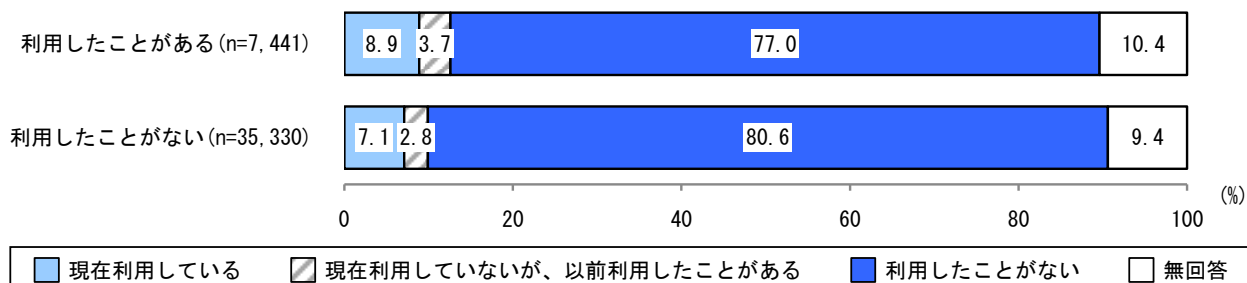


図 31. 子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

子どもの居場所の利用経験別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが母子家庭等就業・自立支援センターを「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-f)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

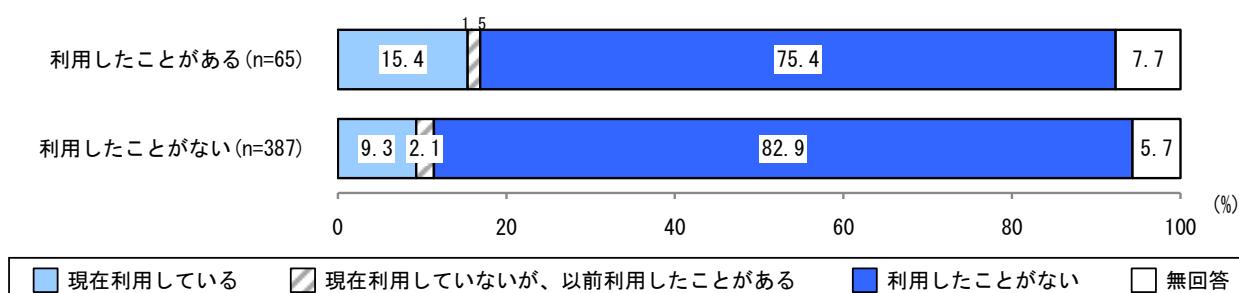
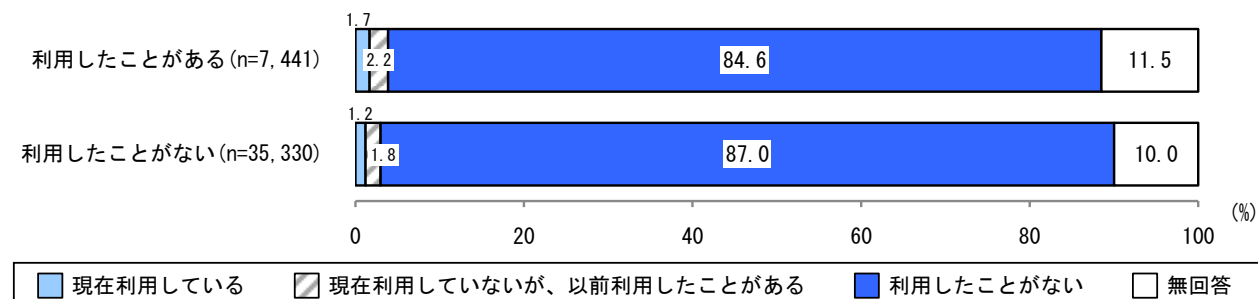


図 32. 子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-g)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

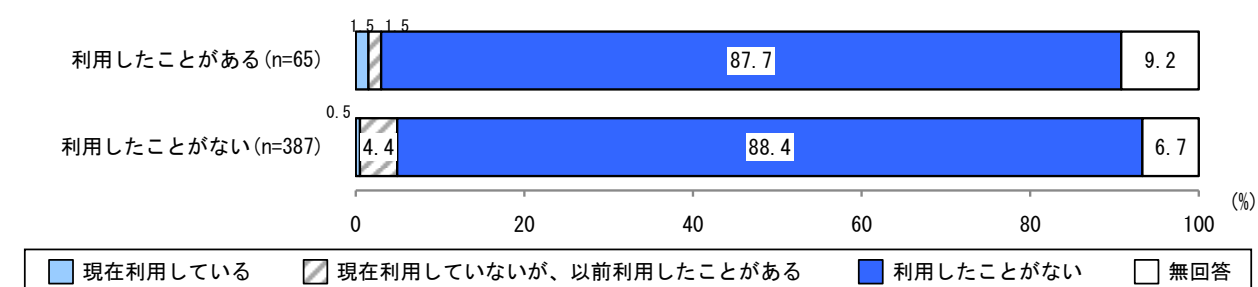
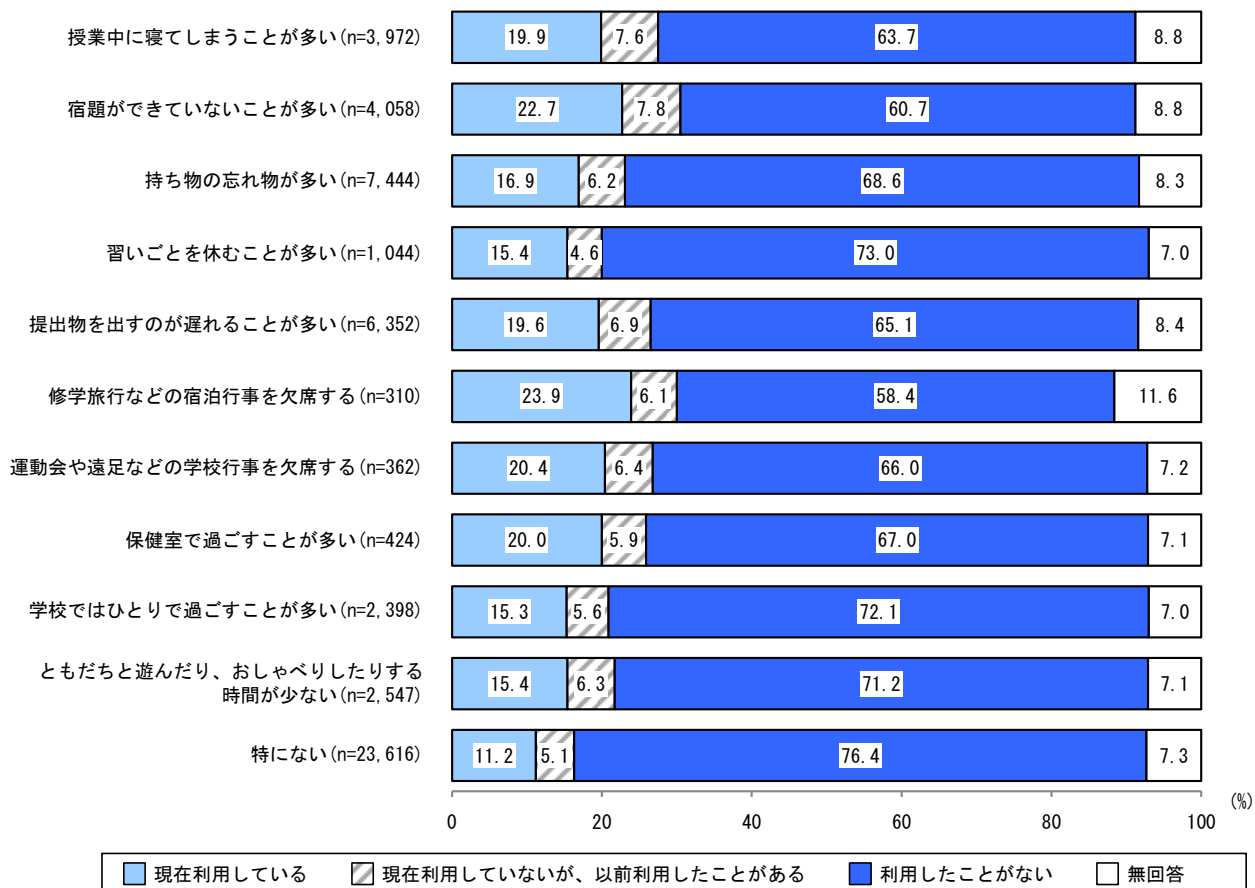


図 33. 子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-a）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

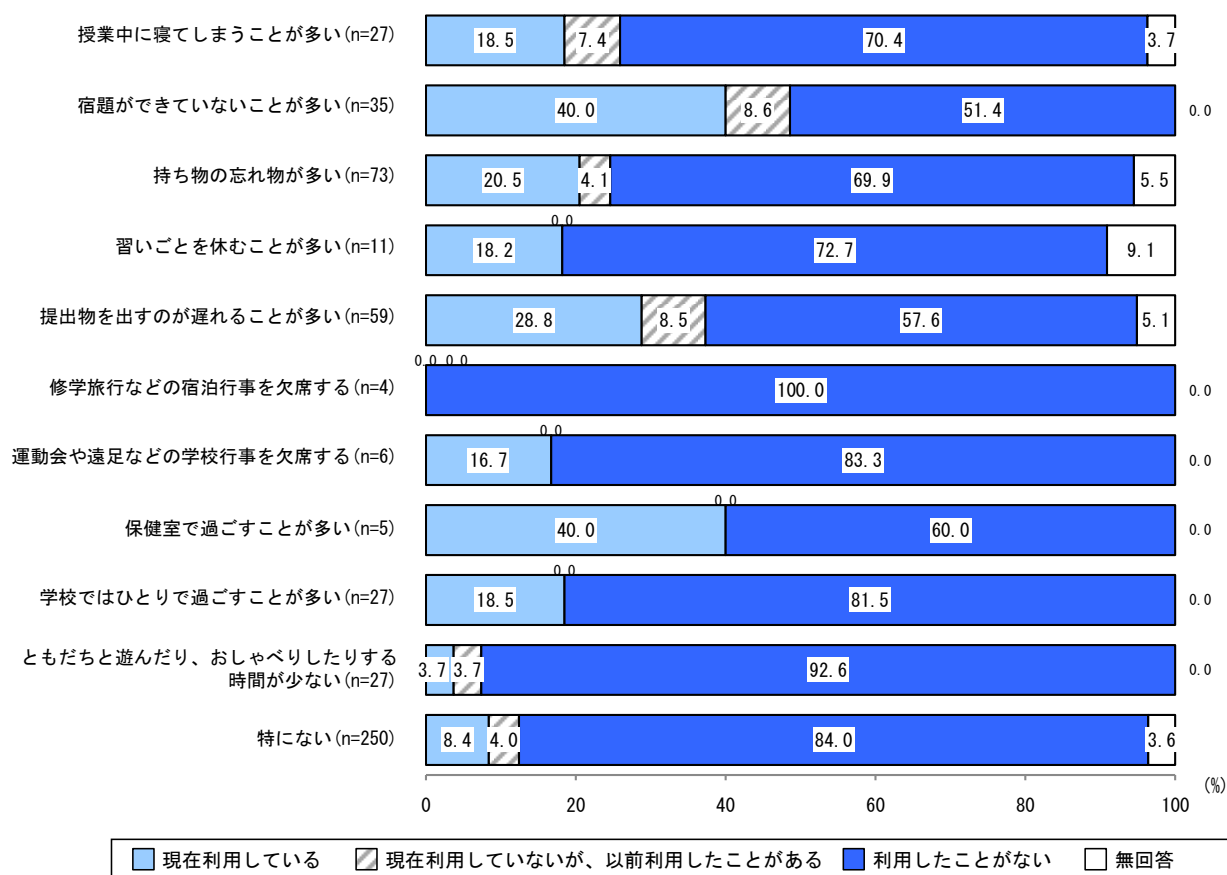
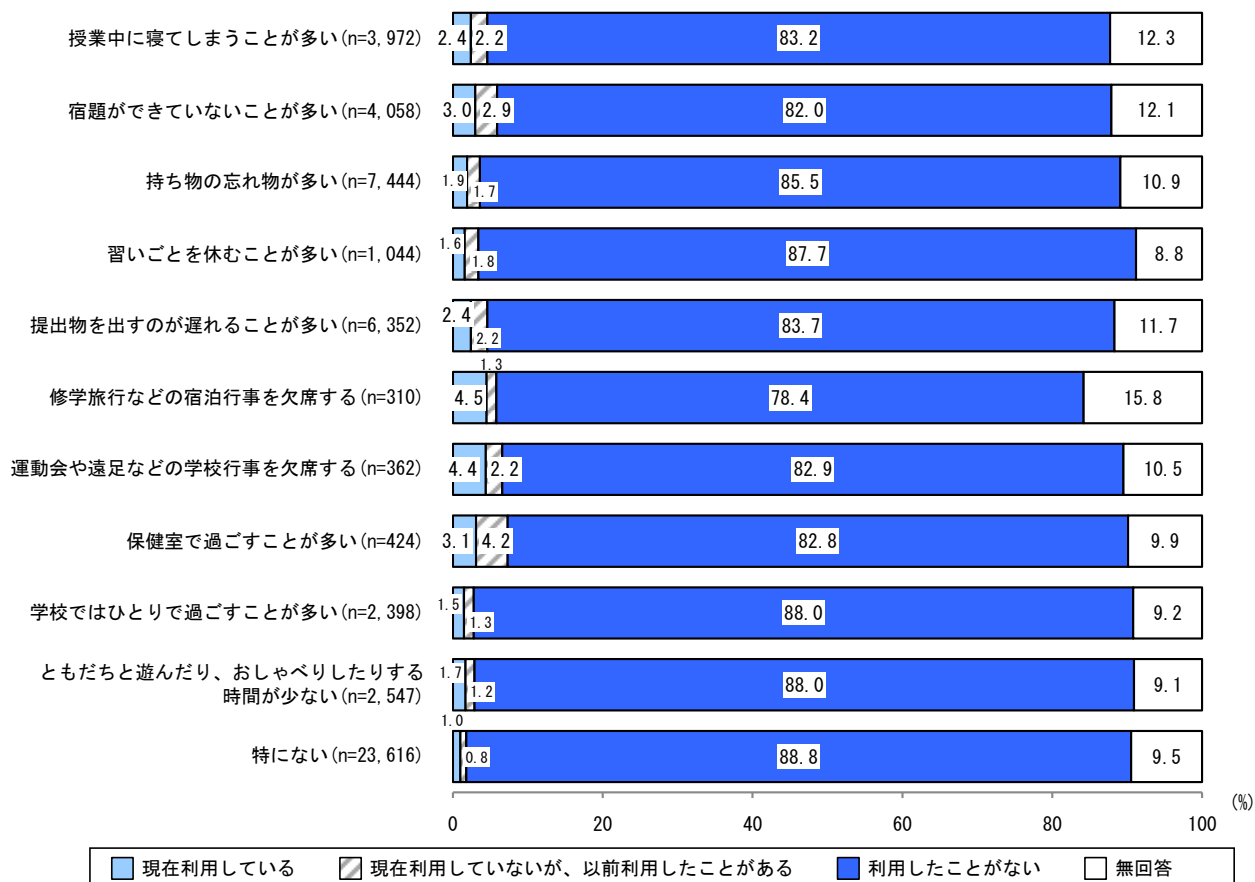


図 34. 学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に就学援助の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「宿題ができていないことが多い」と「保健室で過ごすことが多い」と回答した割合が40.0%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-b）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

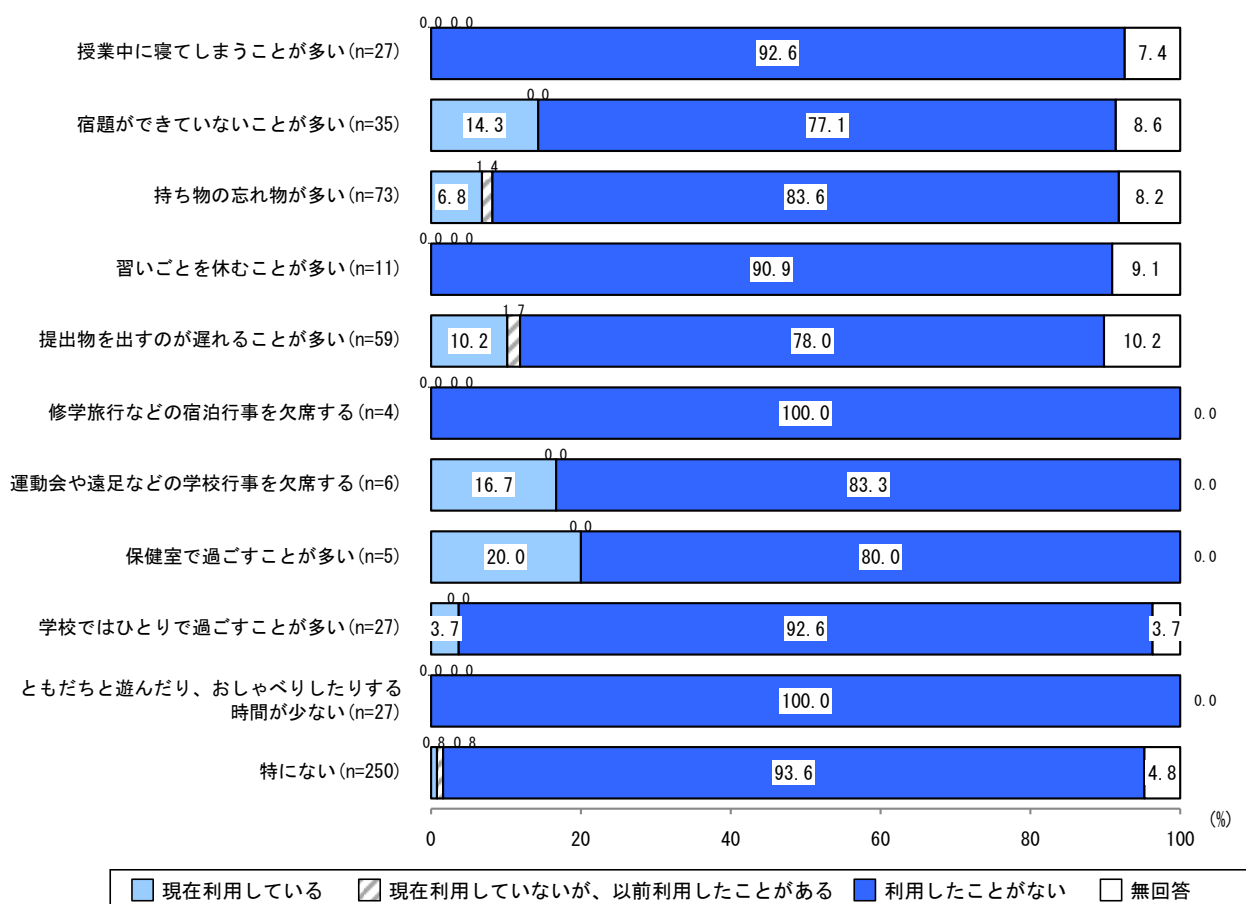
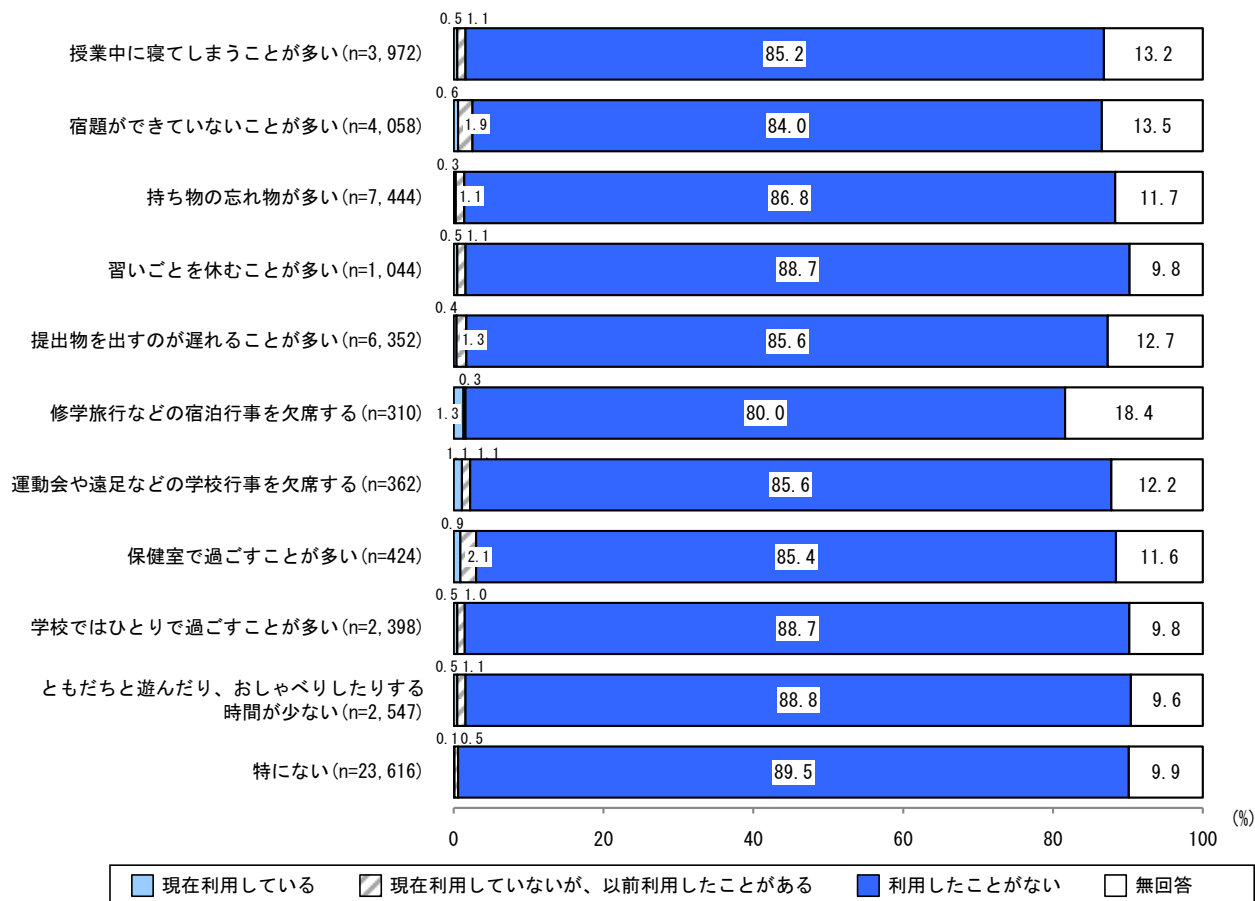


図 35. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に生活保護の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「保健室で過ごすことが多い」と回答した割合が20.0%で最も高く、次いで「運動会や遠足などの学校行事を欠席する」と回答した割合が16.7%となっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
(子ども票問 16×保護者票問 23-c)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

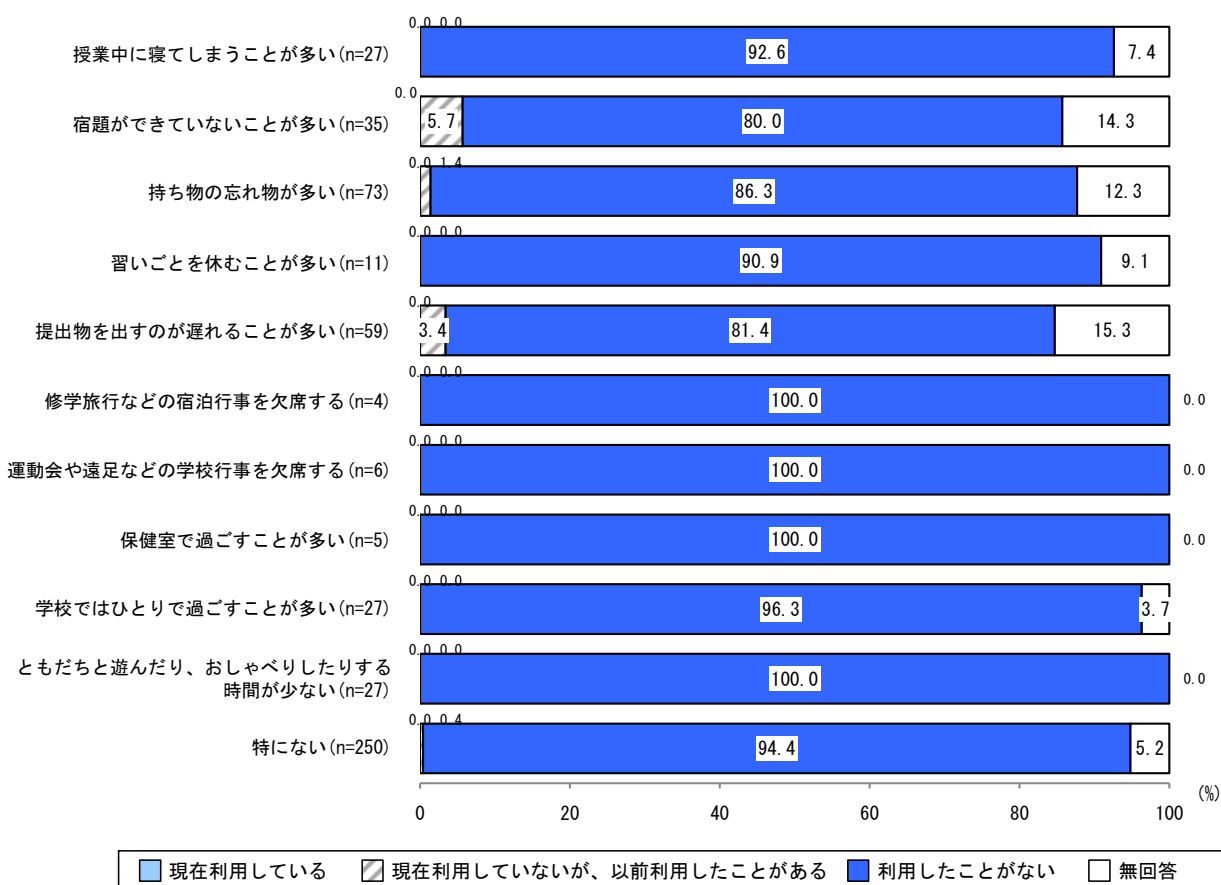
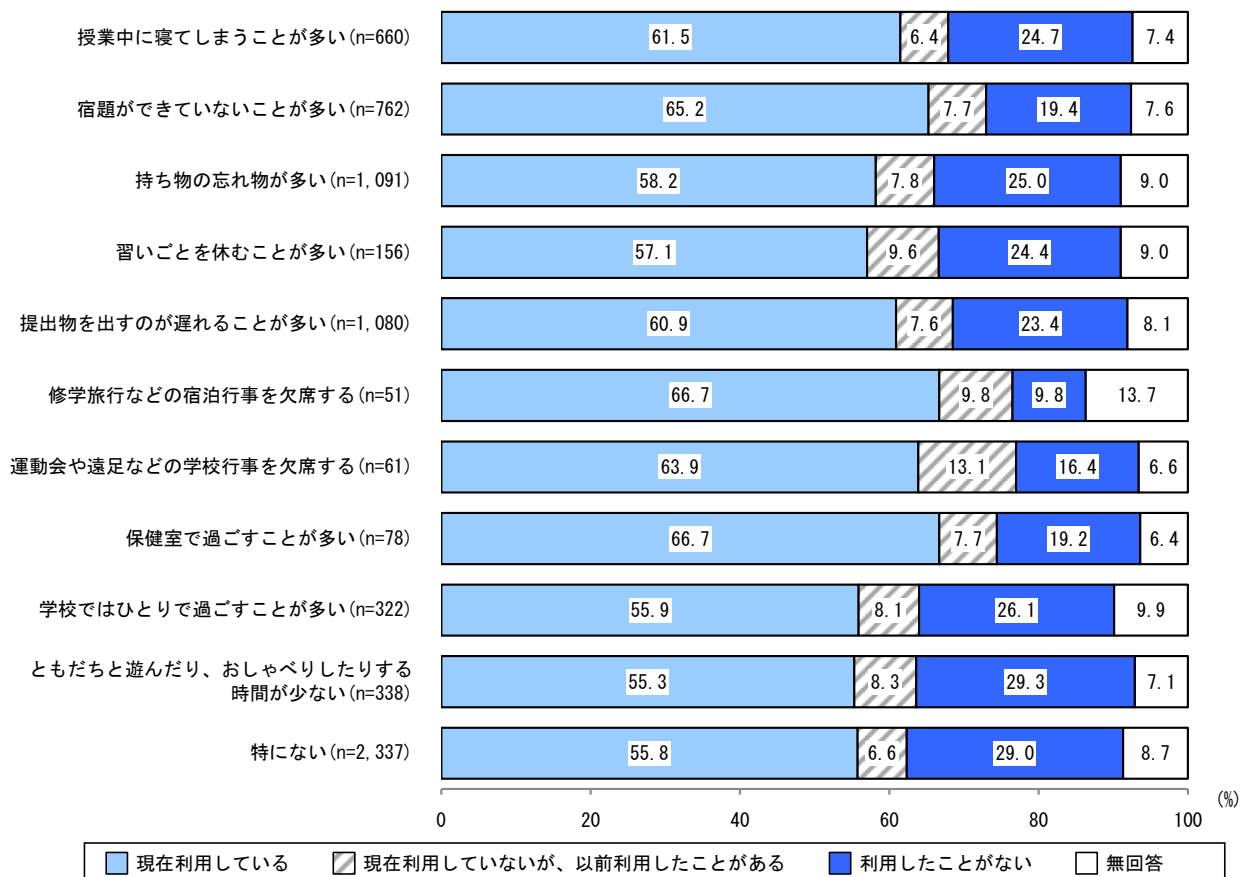


図 36. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人はいずれもいなかった。

学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（子ども票問 16×保護者票問 23-d）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

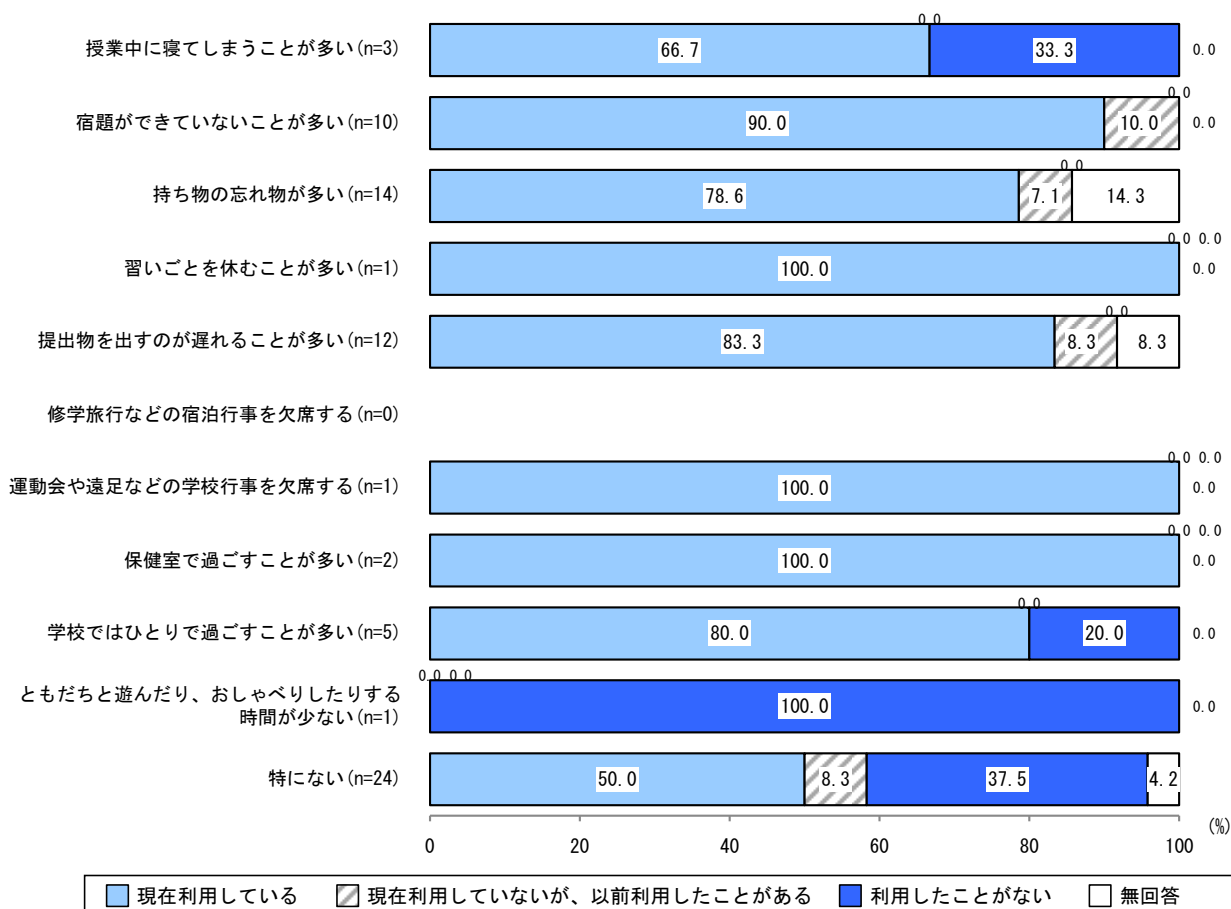
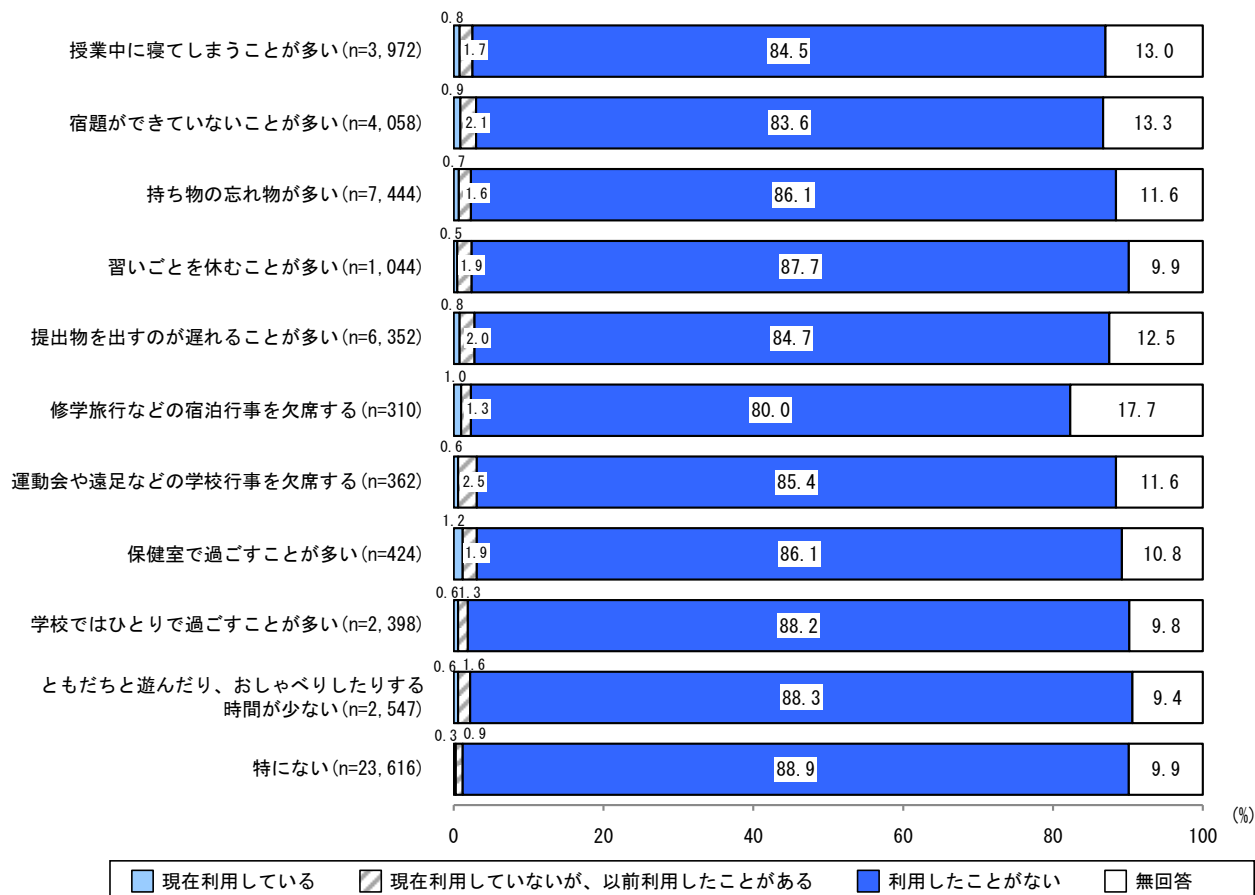


図 37. 学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

学校や学校の行事等の状況別に児童扶養手当の利用状況を見ると、母数が少ないため一概には言えないが、「現在利用している」と回答した人の割合は、「ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」と「特にない」を除いて6割以上を占めている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
(子ども票問 16×保護者票問 23-e)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

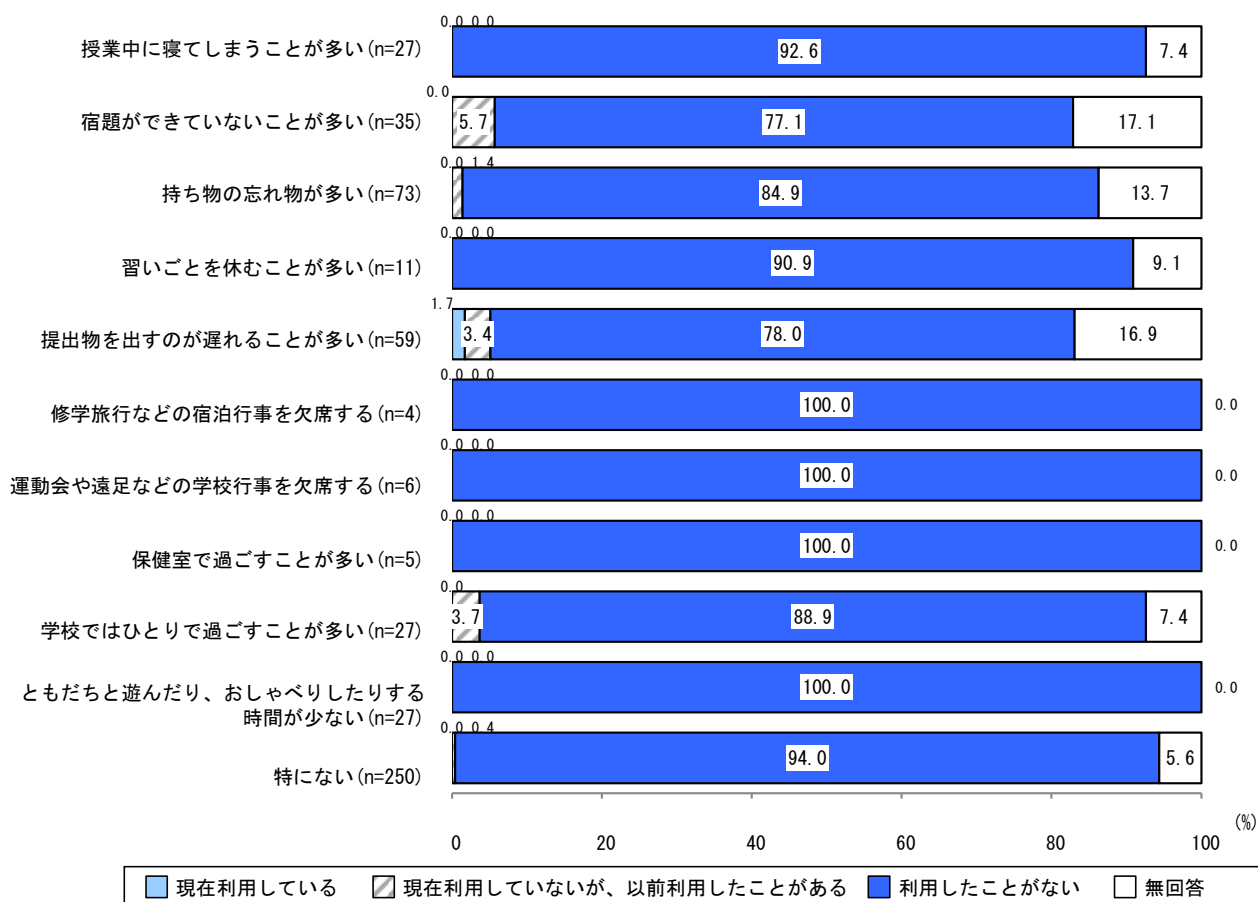
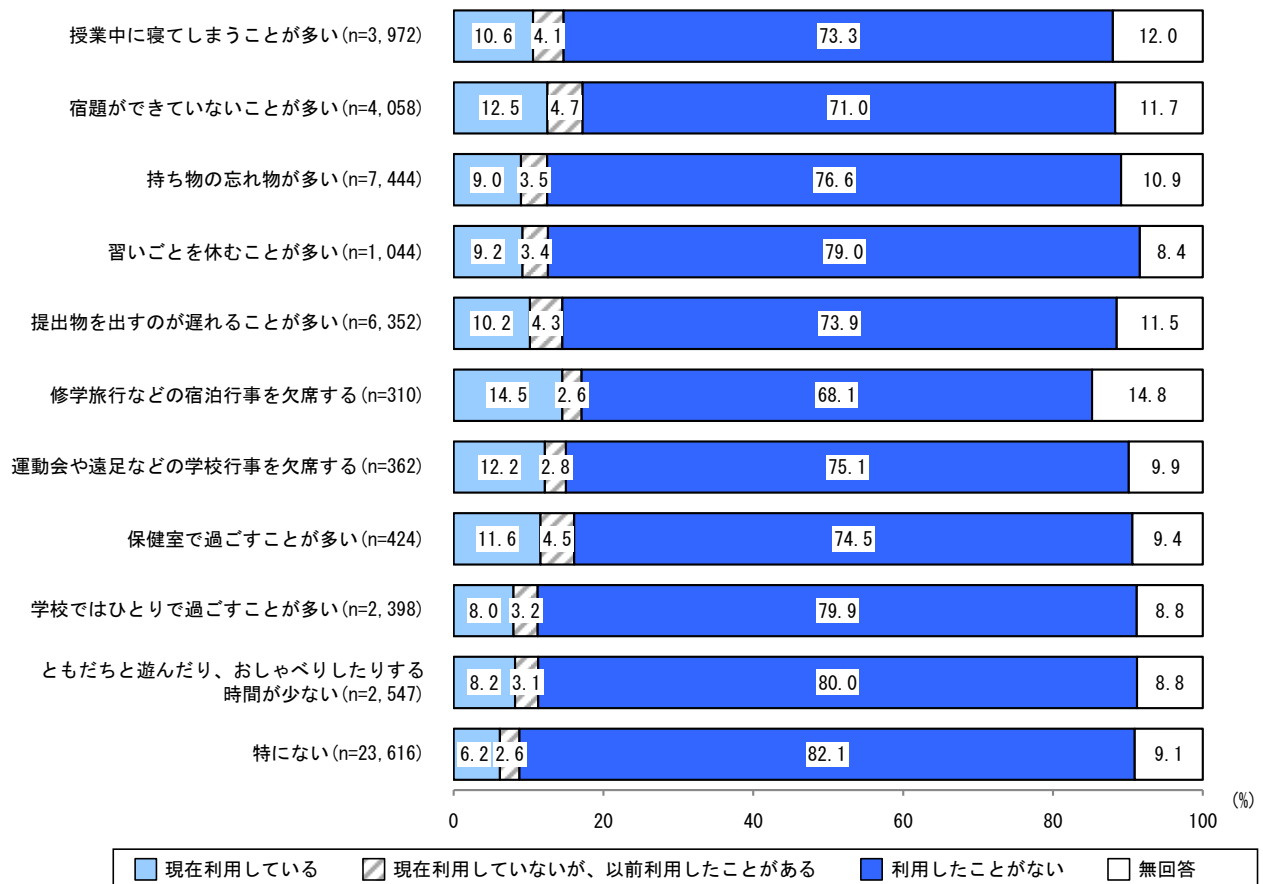


図 38. 学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

学校や学校の行事等の状況別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「提出物を出すのが遅れることが多い」と回答した割合が1.7%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-f）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

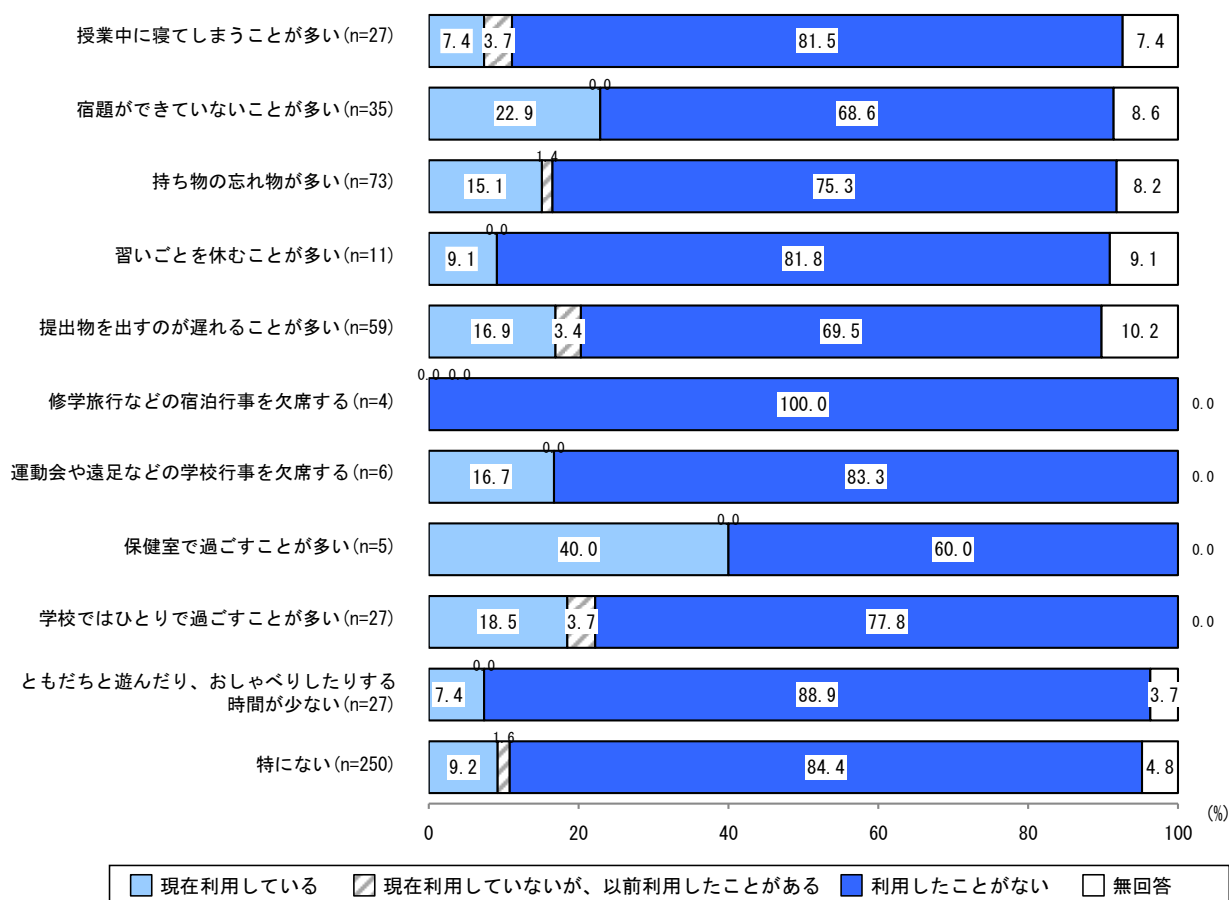
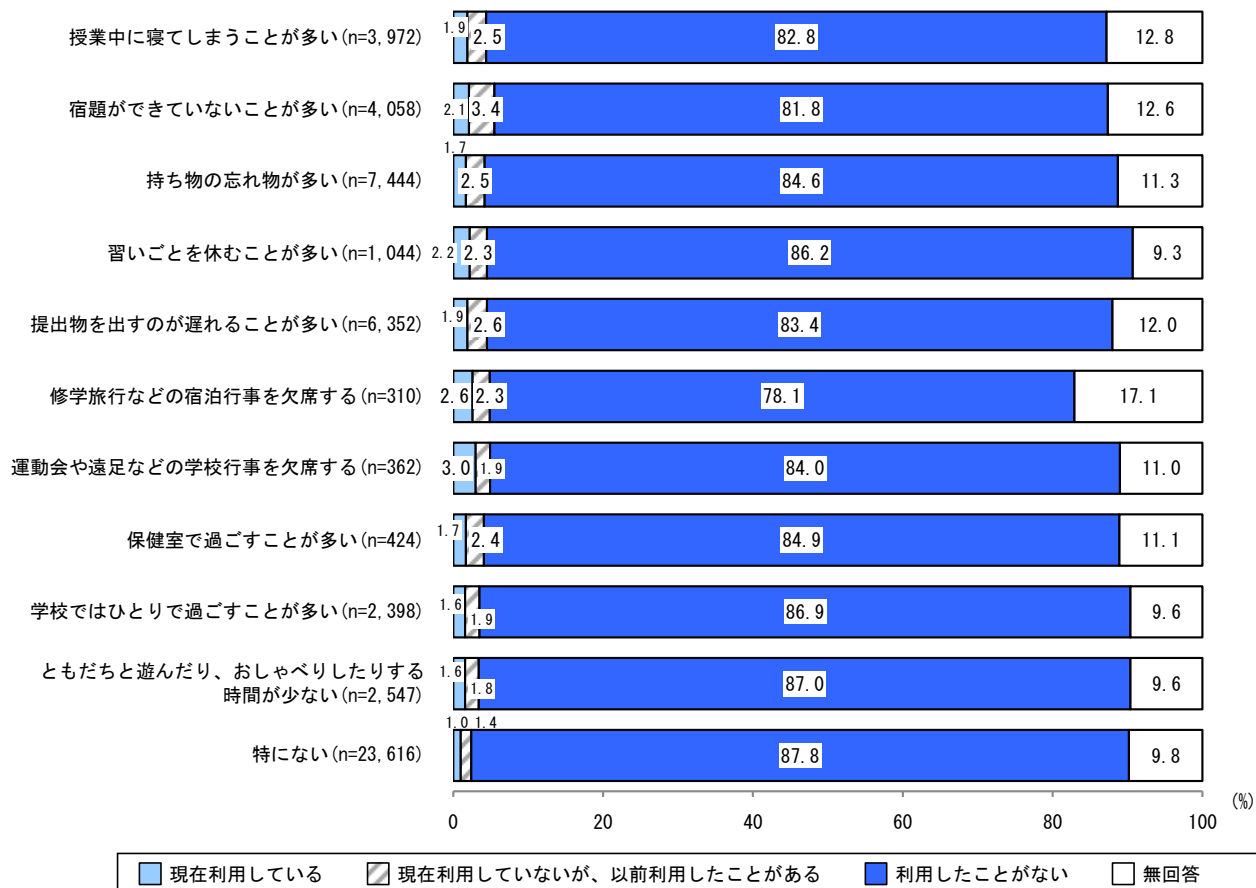


図 39. 学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「保健室で過ごすことが多い」と回答した割合が40.0%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-g）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

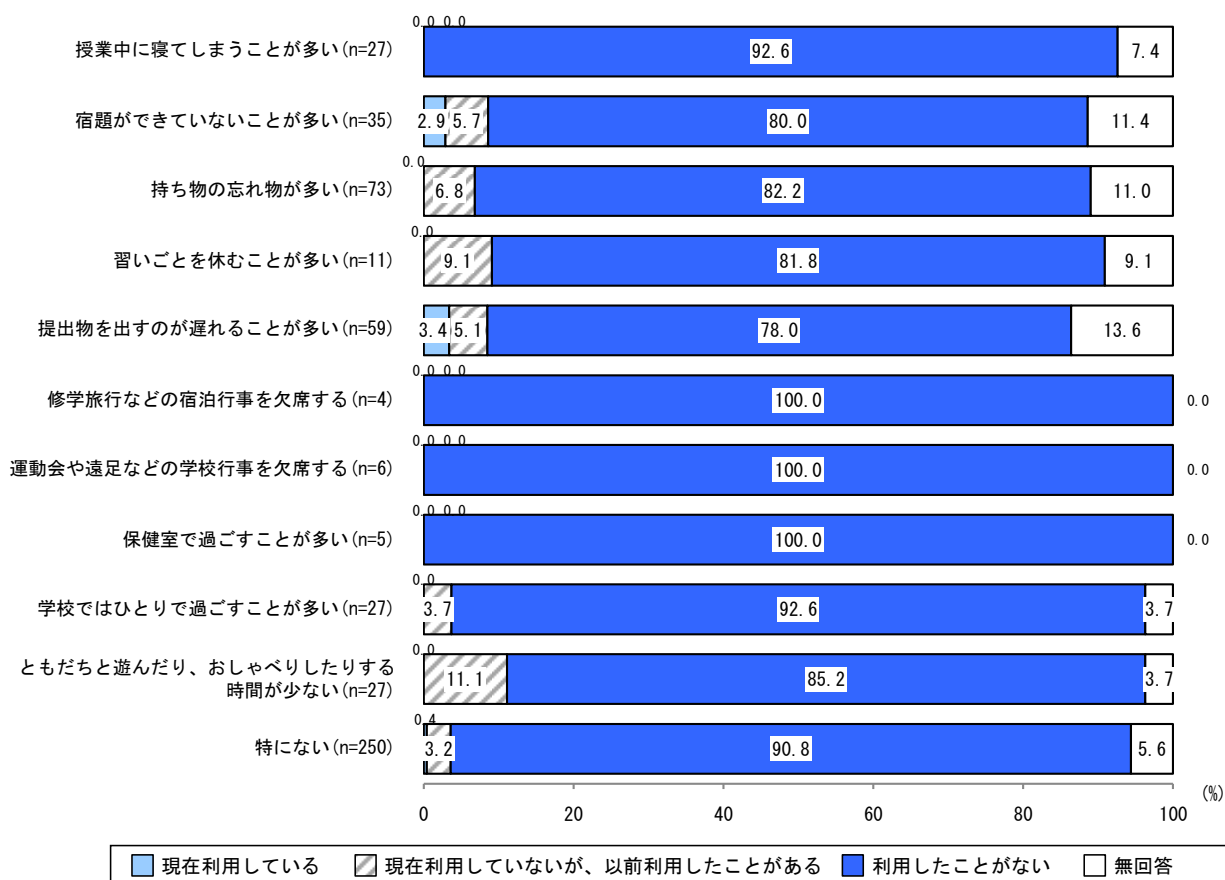
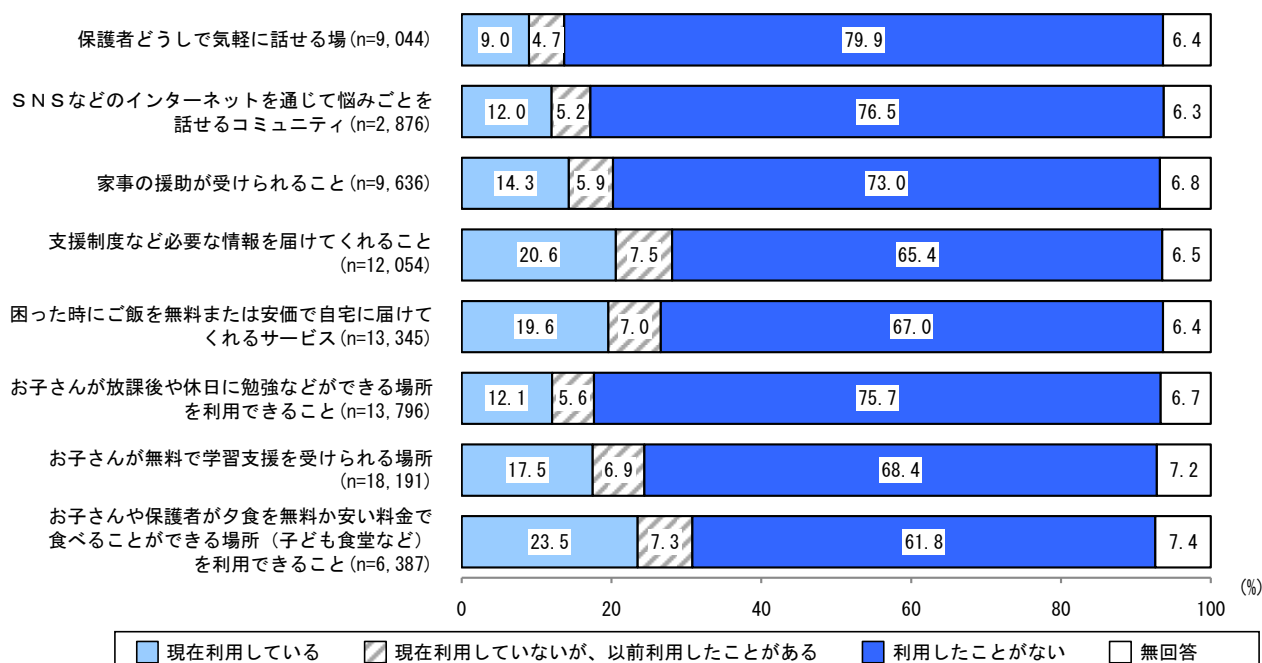


図 40. 学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「提出物を出すのが遅れることが多い」と回答した割合が3.4%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況
(保護者票問 20×保護者票問 23-a)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

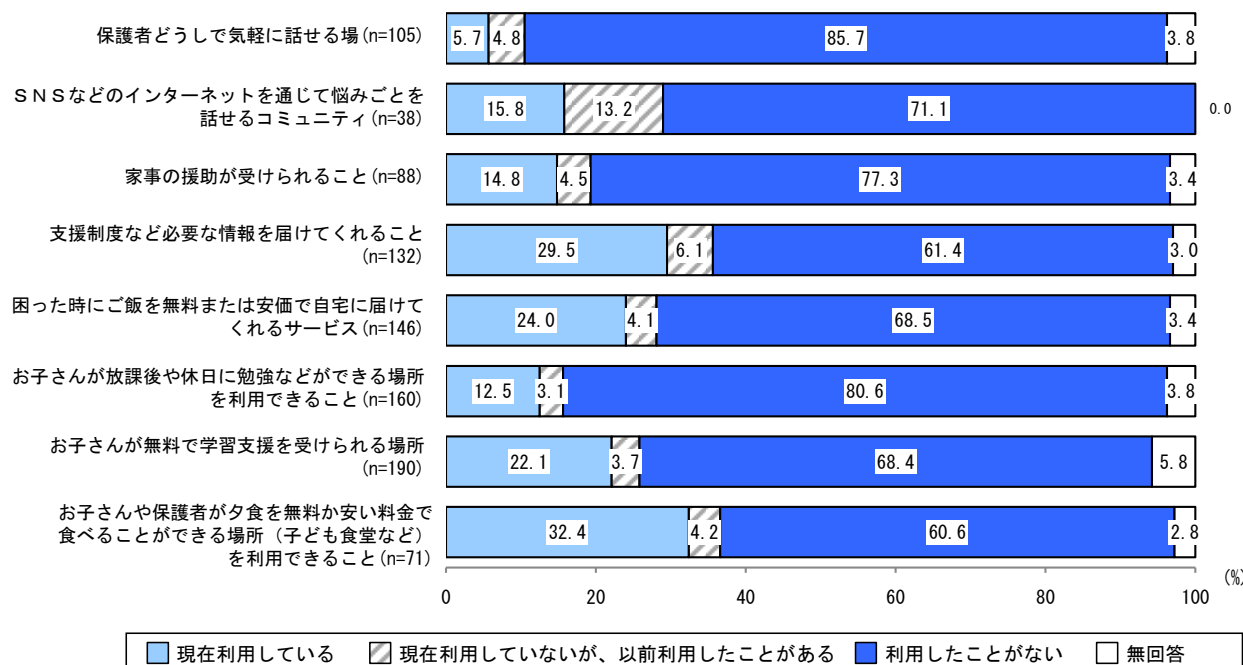
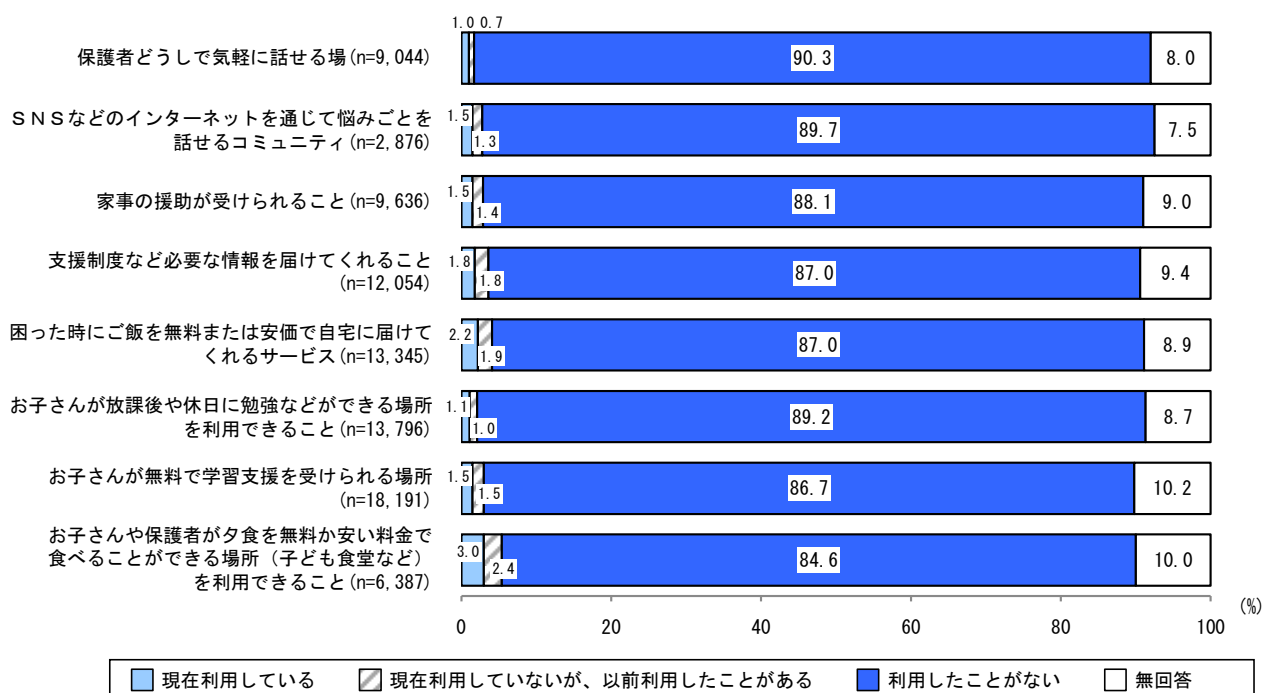


図 41. 身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に就学援助の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金を食べることができる場所 (子ども食堂など) を利用できること」と回答した割合が32.4%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況
(保護者票問 20×保護者票問 23-b)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

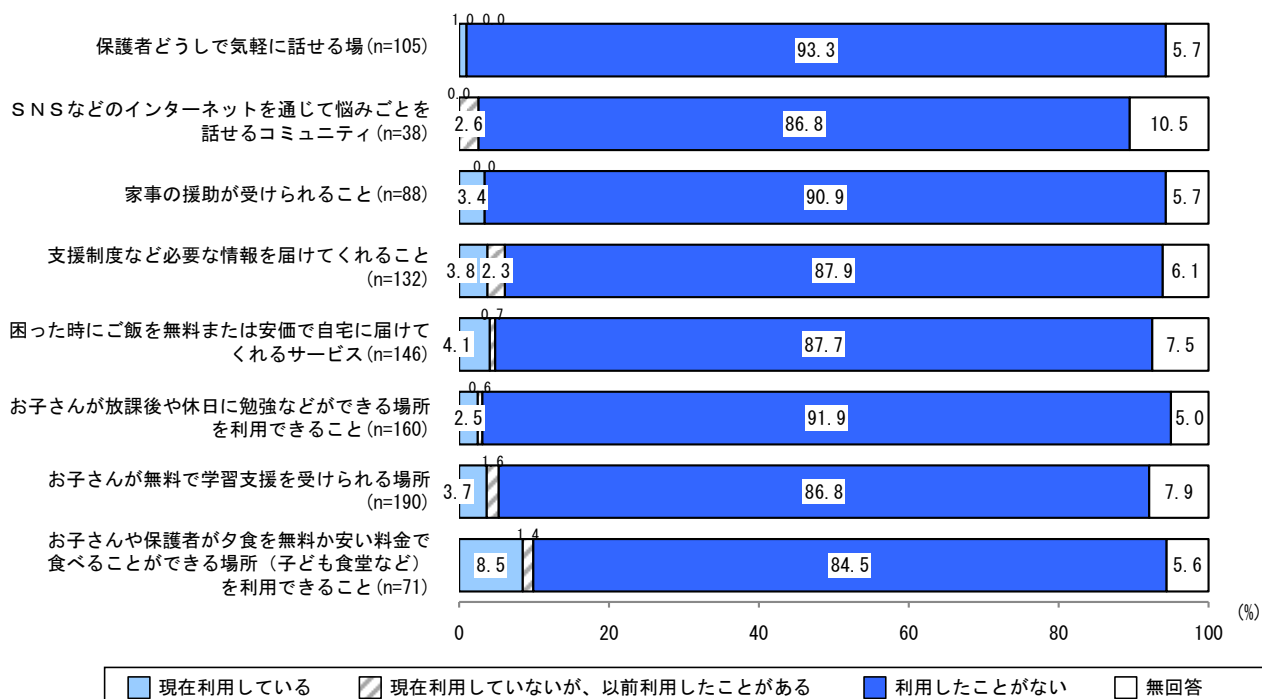
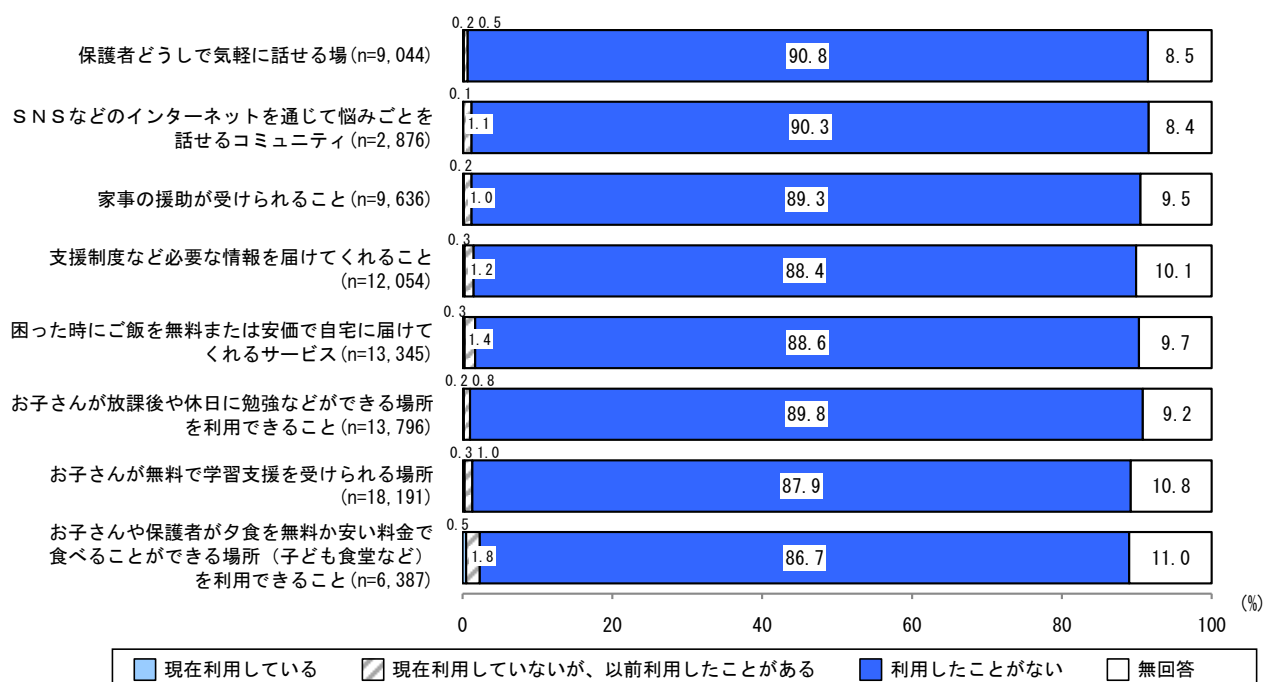


図 42. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に生活保護の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が8.5%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
(保護者票問 20×保護者票問 23-c)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

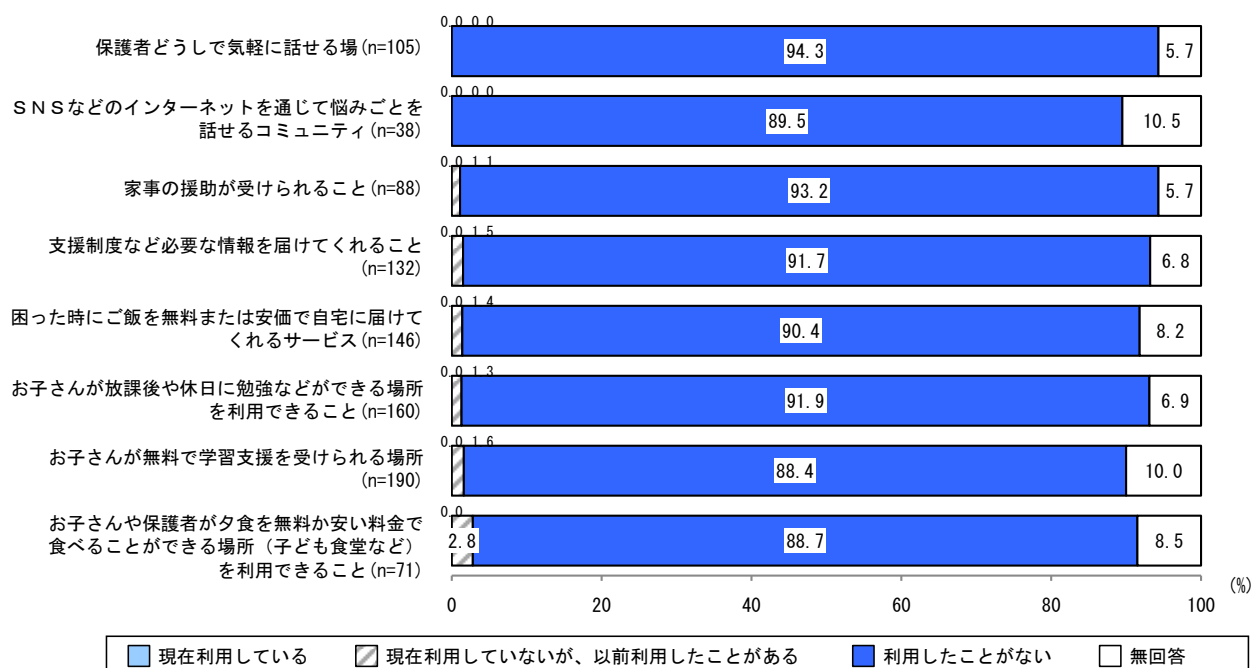
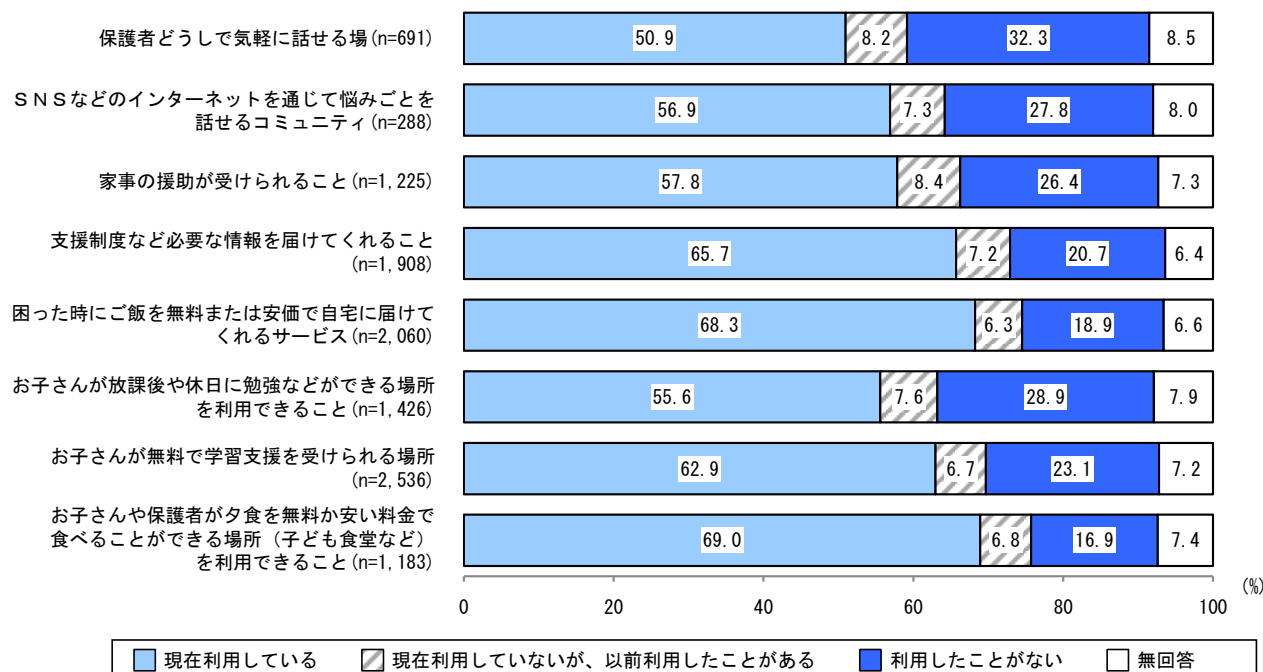


図 43. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人はいずれもいなかった。

身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（保護者票問 20×保護者票問 23-d）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

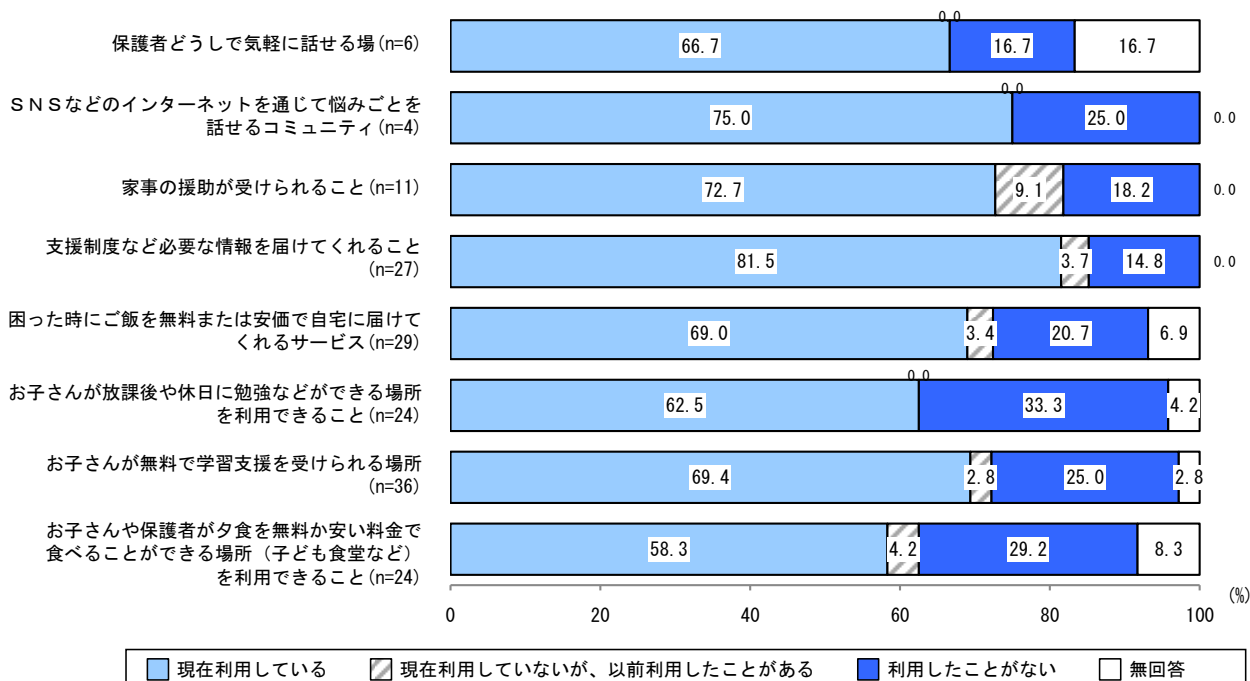
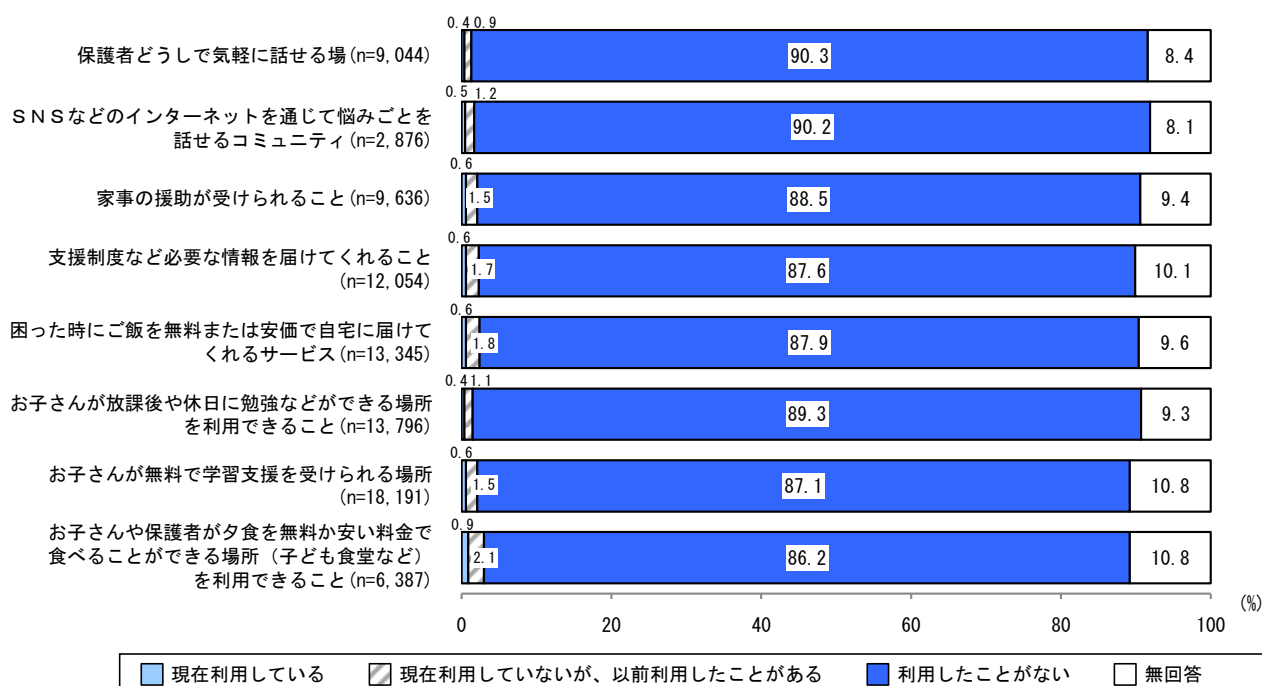


図 44. 身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

身近にあるといいと思うこと別に児童扶養手当の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」と回答した割合が81.5%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
(保護者票問 20×保護者票問 23-e)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

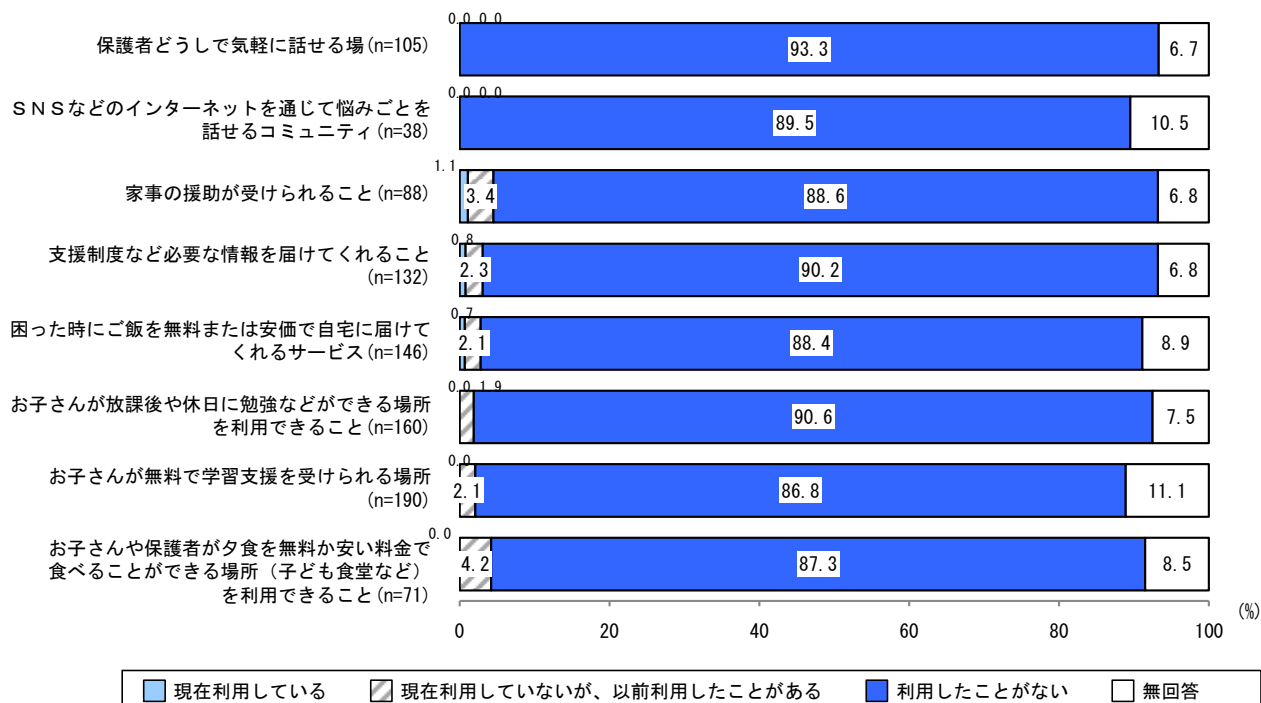
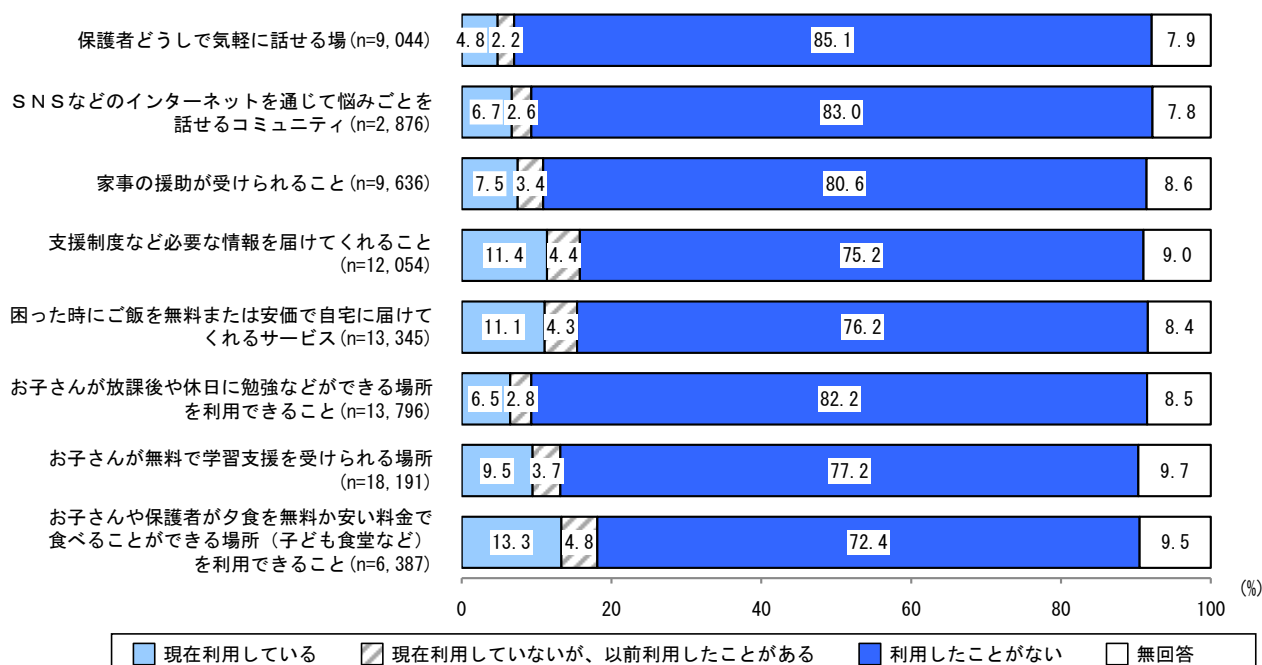


図 45. 身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

身近にあるといいと思うこと別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「家事の援助が受けられること」と回答した割合が1.1%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（保護者票問 20×保護者票問 23-f）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

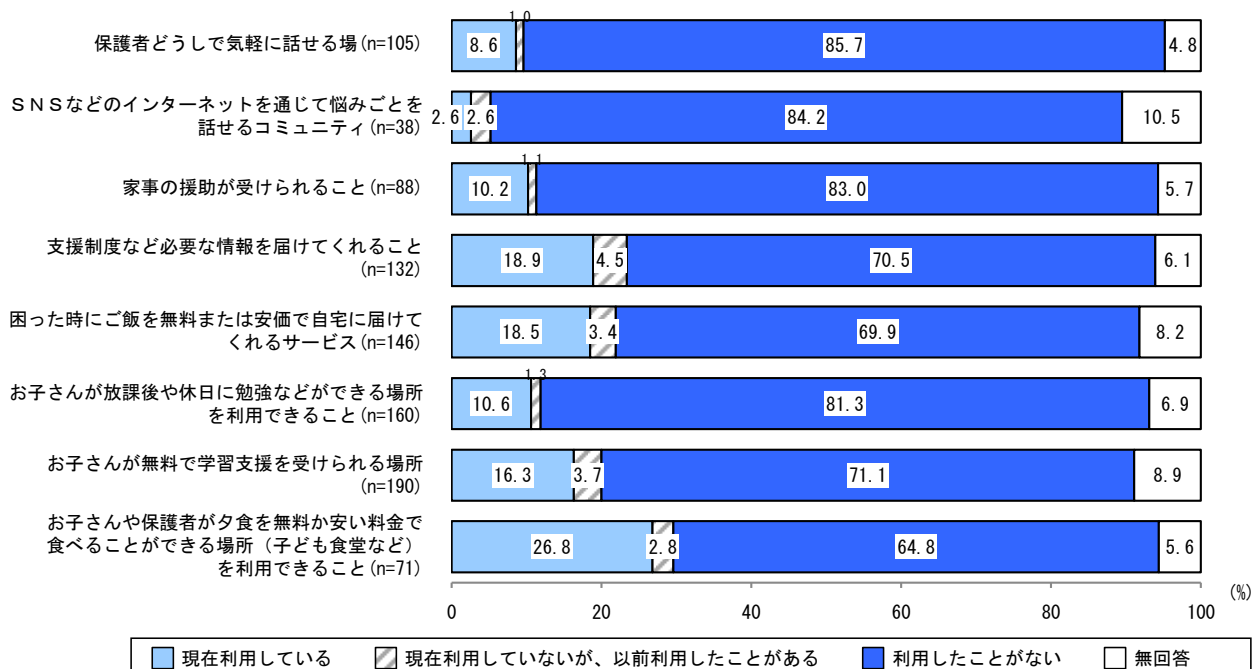
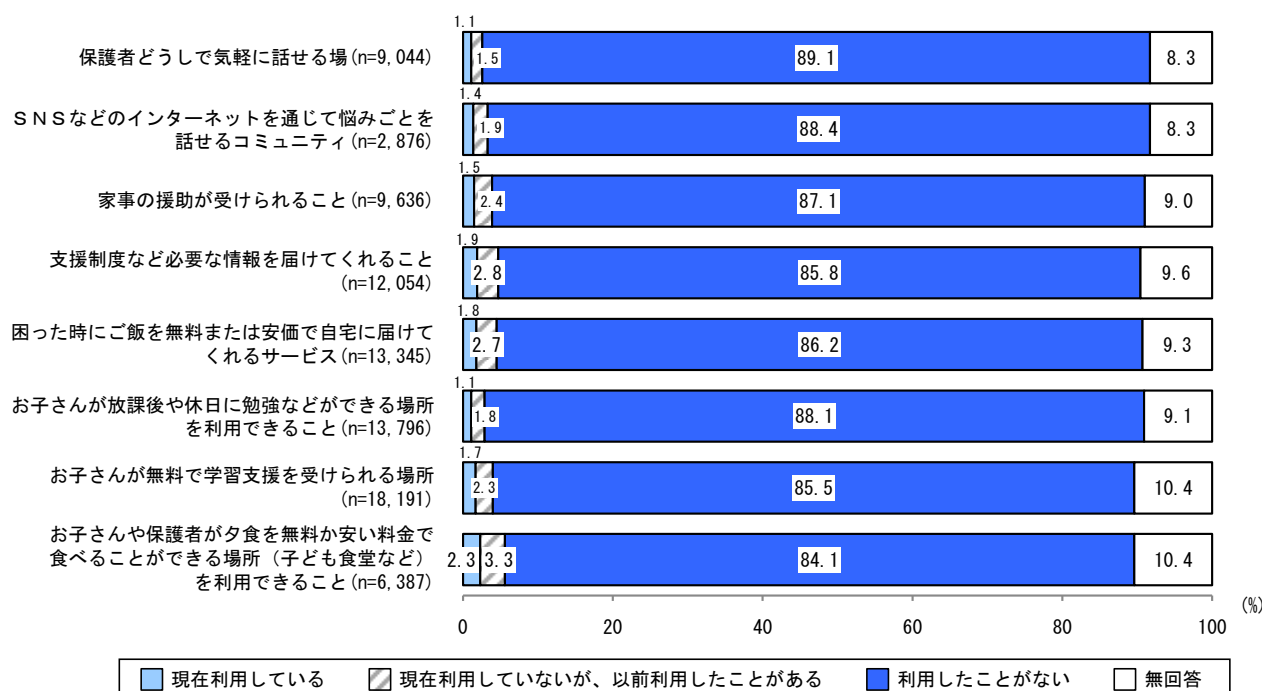


図 46. 身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が26.8%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（保護者票問 20×保護者票問 23-g）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

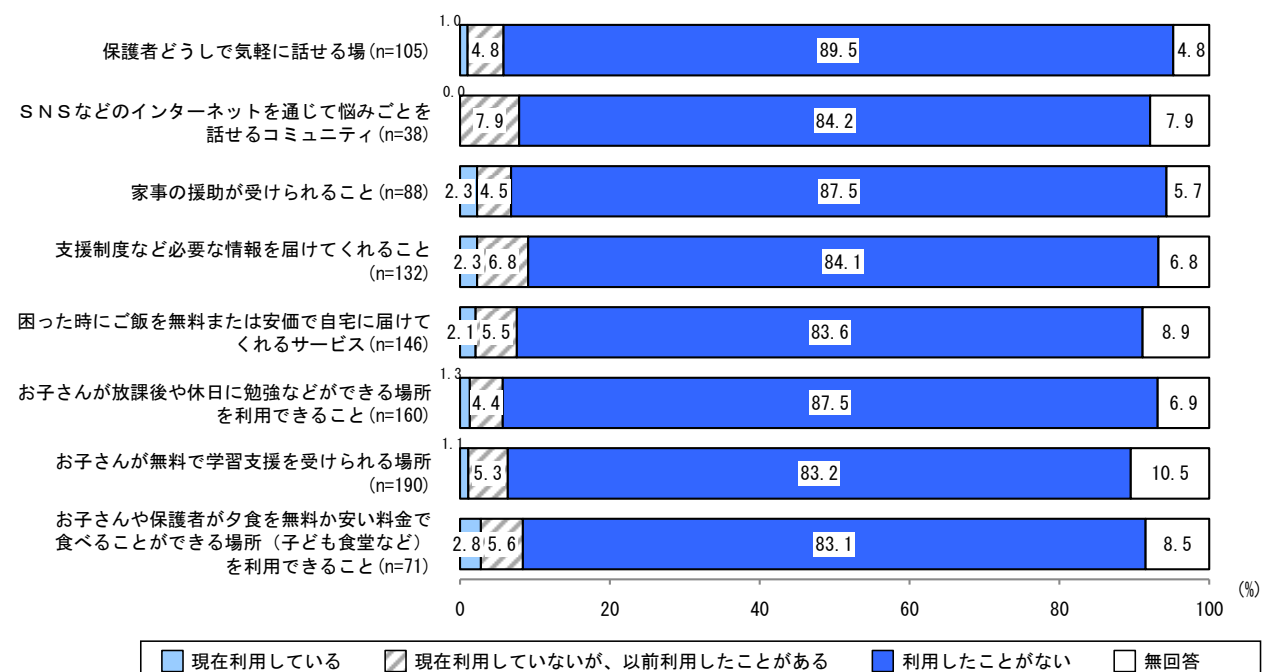


図 47. 身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金を食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が2.8%で最も高くなっている。

＜家庭状況（制度等）に関する考察＞

就学援助の利用状況については、全体で、「現在利用している」が12.5%となっている。困窮度Ⅰ群では、50.8%、困窮度Ⅱ群では、36.0%を占めている。次にひとり親世帯を対象とする児童扶養手当の利用状況は、全体で66.7%、困窮度Ⅰ群で83.3%、困窮度Ⅱ群で85.7%となっている。生活保護制度の利用状況は、全体で2.2%と低水準にとどまっている。困窮度Ⅰ群では、7.9%、困窮度Ⅱ群では、4.0%となっている。今回調査の回答者から一定層の貧困層が漏れ落ちている可能性についても留意しておく必要がある。就学援助については、経済状況が子どもの学校生活を左右することを避けるため、入学前も含めあらゆる機会を通じて支援が必要と考えられる世帯に対して申請を促していく取組みが求められる。社会保障制度に関する周知だけでなく、相談窓口への同行支援など、対象者に寄り添いながら担当部局につないでいく支援体制の充実も必要である。

ひとり親世帯について、特に母子世帯に着目すると、養育費の取り決めや受け取りをしている世帯は、全体で26.3%にとどまっている。「取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群で57.9%、困窮度Ⅱ群で50.0%、困窮度Ⅲ群で50.0%となっている。子どもは養育費を受ける権利を有しており、親による扶養義務が履行されるよう、養育費の取り決め確保に向けた支援策が求められる。

初めて親となった年齢と最終学歴の関連について、特に母親に着目すると、「10代」で中学校卒業が33.3%、高等学校中途退学が33.3%と、他の年齢階層に比べて高くなっている。子どもが「嫌なことや悩んでいるときの相談相手」について、「だれにも相談したくない」と回答した割合は、男子の11.8%に比べ、女子が70.6%と高くなっている。妊娠・出産についても、誰にも相談できず悩みを抱え込んでいる可能性があり、中学校・高等学校では、妊娠・出産に関する女子の悩みを早期にキャッチするための環境整備が必要である。妊娠・出産しても学修を継続できる選択肢の提示や、子育て支援サービスの充実も求められる。

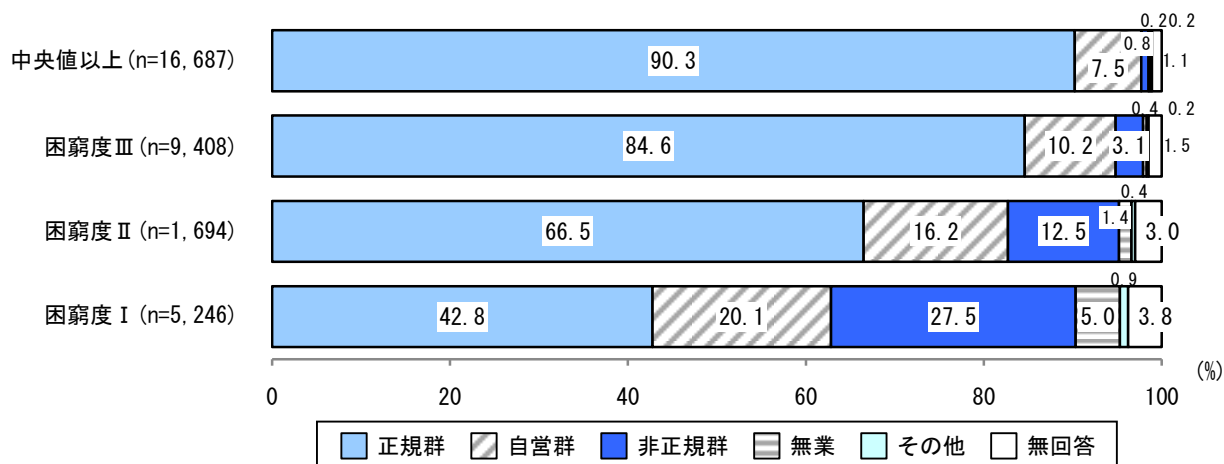
住宅形態別に家計の状況をみると、「府営・市営の住宅」において「赤字である」と回答した者の割合が50.0%と半数を占める。同様に、「子どもの将来のための貯蓄状況」についても、府営・市営の住宅については、「貯蓄をしたいが、できていない」が70.0%と経済的余裕のなさが示されている。家計が逼迫し、子どもへの教育投資より、ライフラインの料金や食費等の生活費が優先されている可能性がある。子どもの将来が居住環境によって左右される可能性があるため、社会福祉部局と住宅部局が連携し、生活困窮の支援ニーズを早期に発見するための施策が求められる。

※参照データについては一部資料編に掲載

3-2. 雇用

困窮度別に見た、就労状況（保護者票問9より）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

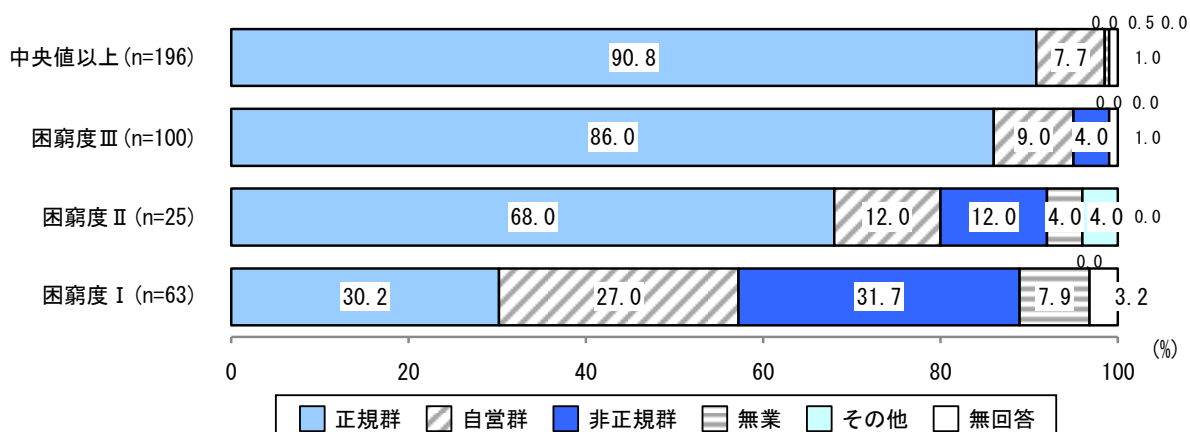


図 48. 困窮度別に見た、就労状況

困窮度別に就労状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「正規群」の割合が低くなり、「自営群」、「非正規群」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群においては他と比べて「自営群」、「非正規群」、「無業」の割合が高く、それぞれ27.0%、31.7%、7.9%となっている。

※分類方法は以下の通り。

父母あるいは主たる生計者に正規が含まれば「正規群」（問9選択肢1）、

上記以外で、父母あるいは主たる生計者に自営が含まれば「自営群」（問9選択肢4）、

上記以外で、父母あるいは主たる生計者に非正規が含まれば「非正規群」（問9選択肢2、3）、

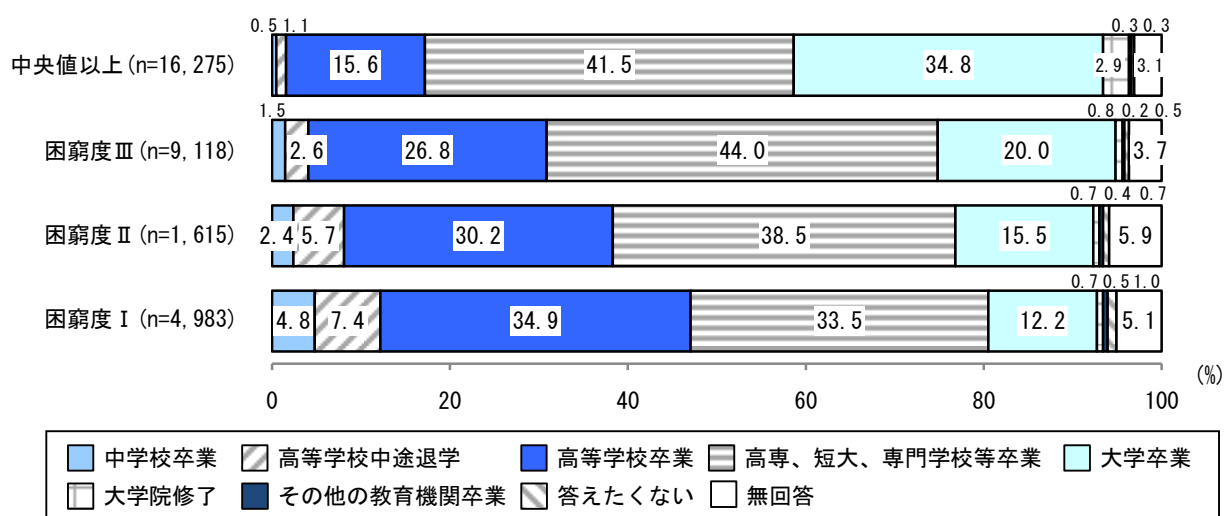
上記以外で、誰も働いていなければ（問9選択肢6、7）無業。

上記以外がその他となる。

ここでの無業とは、「ふだん仕事をしていない者、すなわち、ふだん全く仕事をしていない者及び臨時的にしか仕事をしていない者」を指す（就業構造基本調査による）。クロス集計で「就労状況」を用いる時は、上記区分による。

困窮度別に見た、お母さんの最終学歴（保護者票問8）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

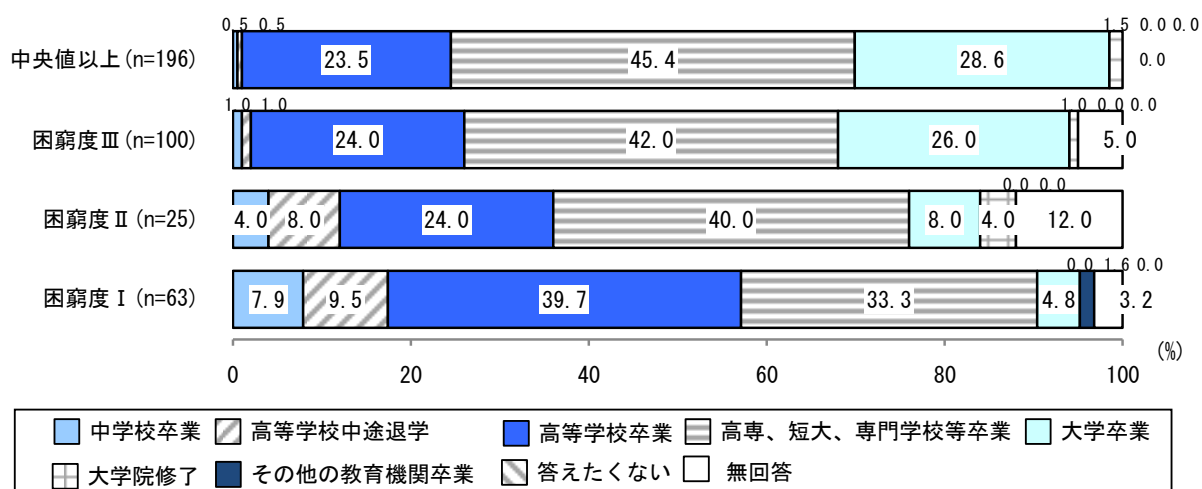
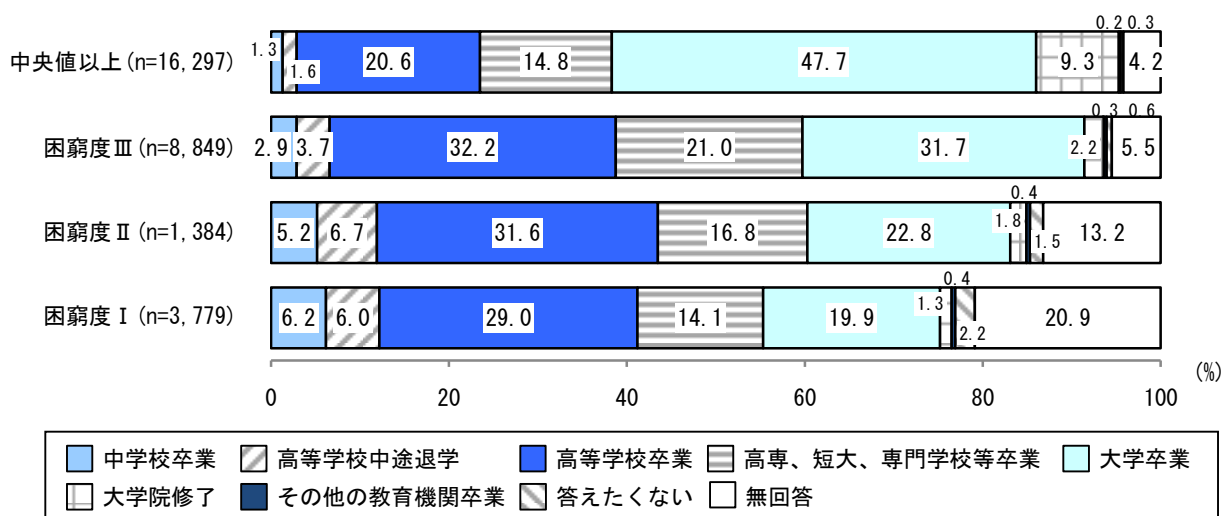


図 49. 困窮度別に見た、お母さんの最終学歴

困窮度別に母親の最終学歴を見ると、「高等学校中途退学」の割合が困窮度Ⅰ群で最も高くなっている。困窮度Ⅰ～Ⅲ群では中央値以上群に比べ、「大学卒業」の割合が低い。

困窮度別に見た、お父さんの最終学歴（保護者票問8）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

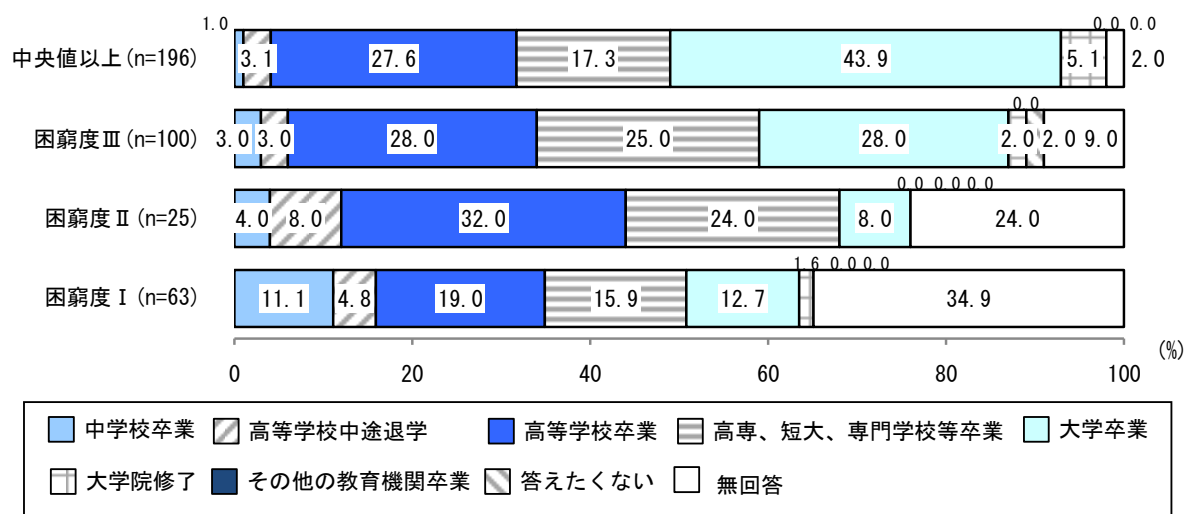
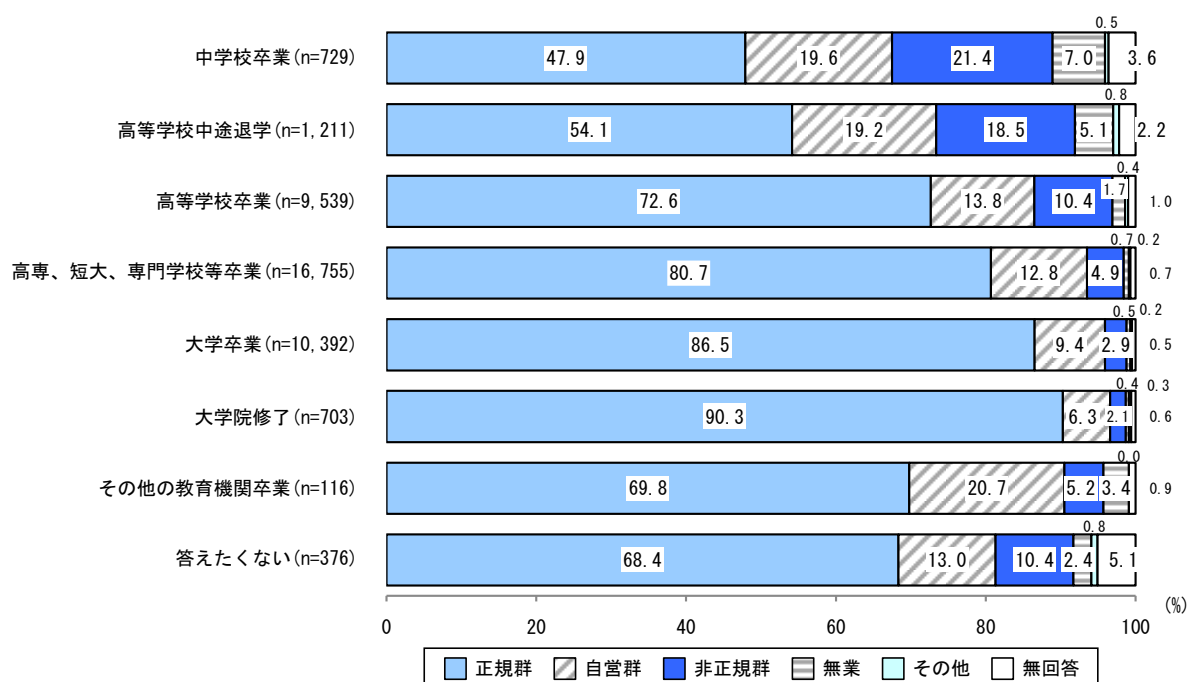


図 50. 困窮度別に見た、お父さんの最終学歴

困窮度別に父親の最終学歴を見ると、「高等学校中途退学」の割合は困窮度Ⅱ群で最も高くなっている。困窮度Ⅰ群において、「中学校卒業」と「高等学校中途退学」の割合はそれぞれ11.1%、4.8%である。また、困窮度Ⅰ群では無回答（34.9%）の割合も高い。

お母さんの最終学歴別に見た、就労状況（保護者票問8×保護者票問9）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

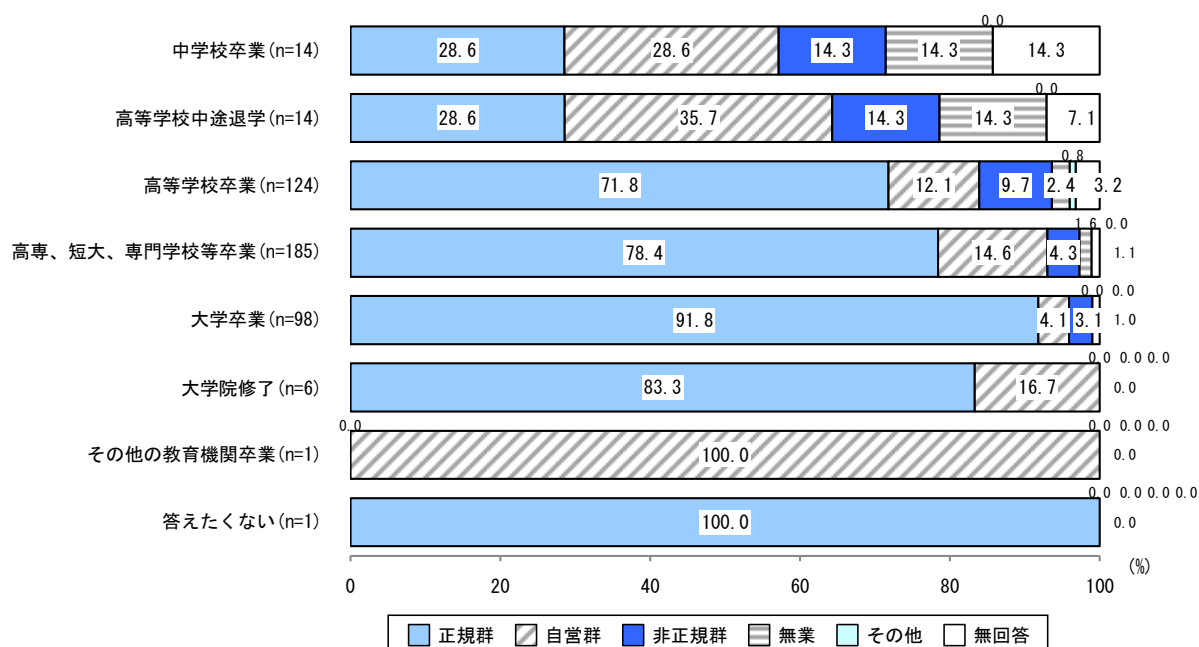
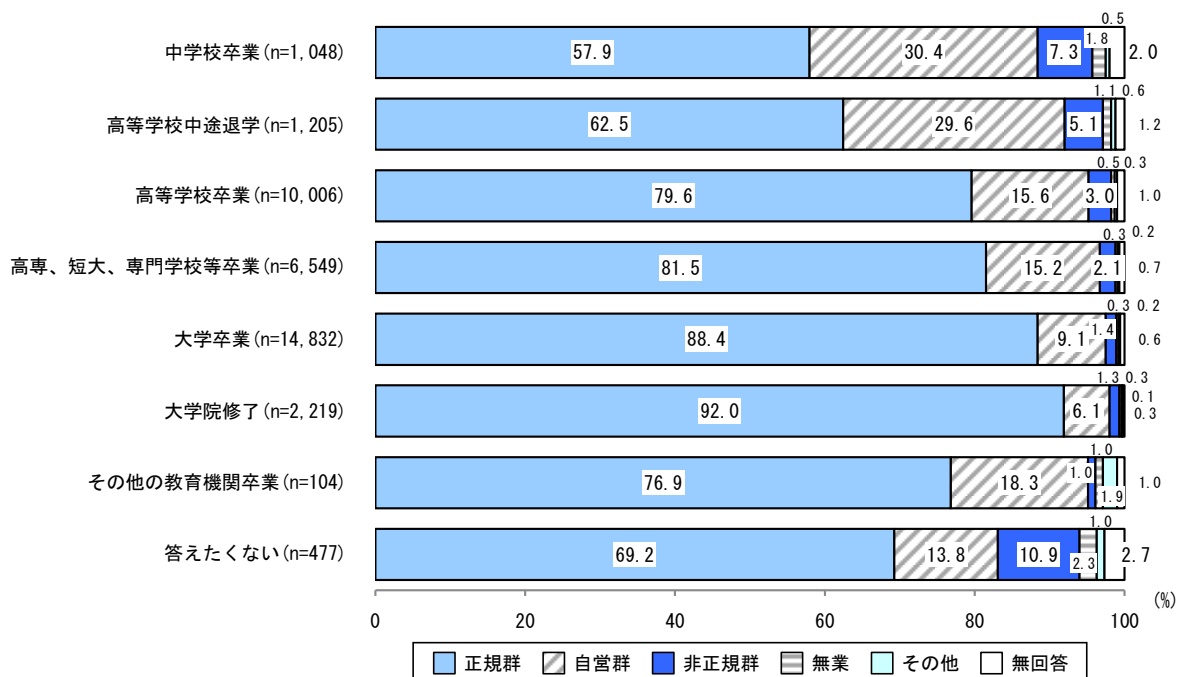


図 51. お母さんの最終学歴別に見た、就労状況

母親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね、「母親の最終学歴」が高くなるにつれて「正規群」の割合が高くなる。

お父さんの最終学歴別に見た、就労状況（保護者票問 8 × 保護者票問 9）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

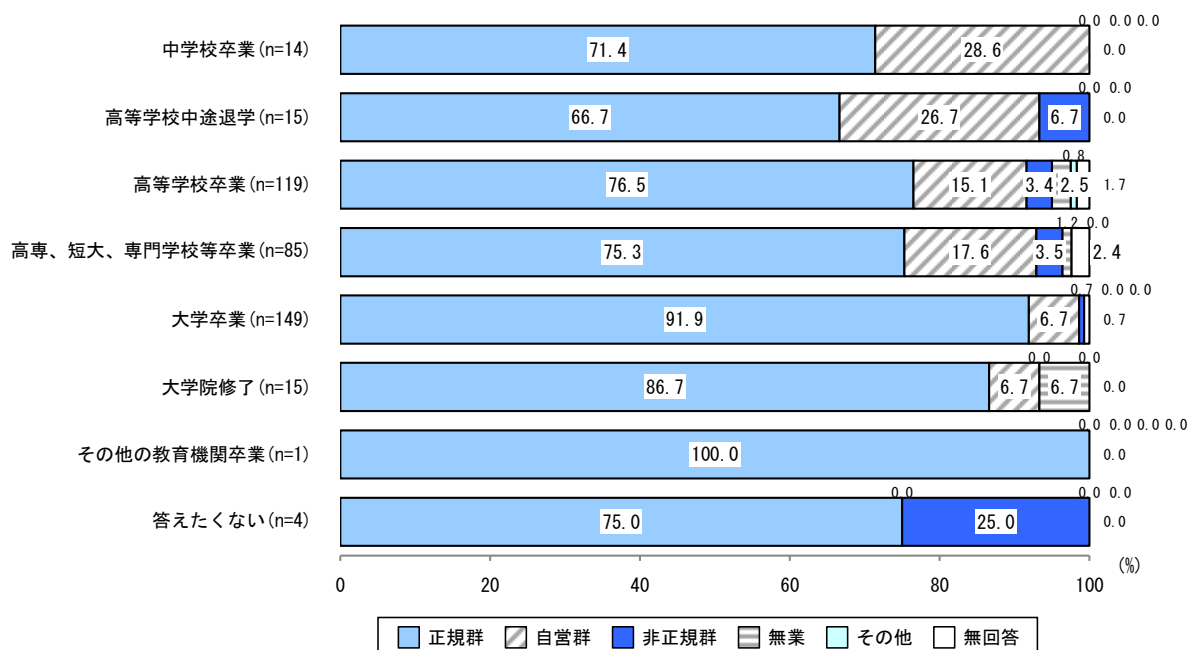
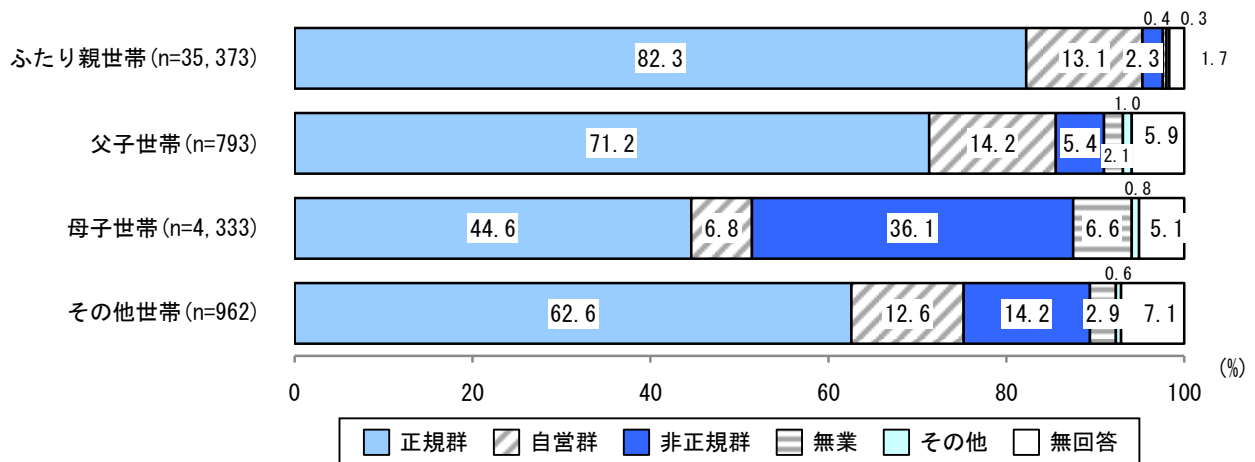


図 52. お父さんの最終学歴別に見た、就労状況

父親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね、父親の最終学歴が高くなるにつれて「正規群」の割合が高くなる。

世帯構成別に見た、就労状況（保護者票問2×保護者票問9）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

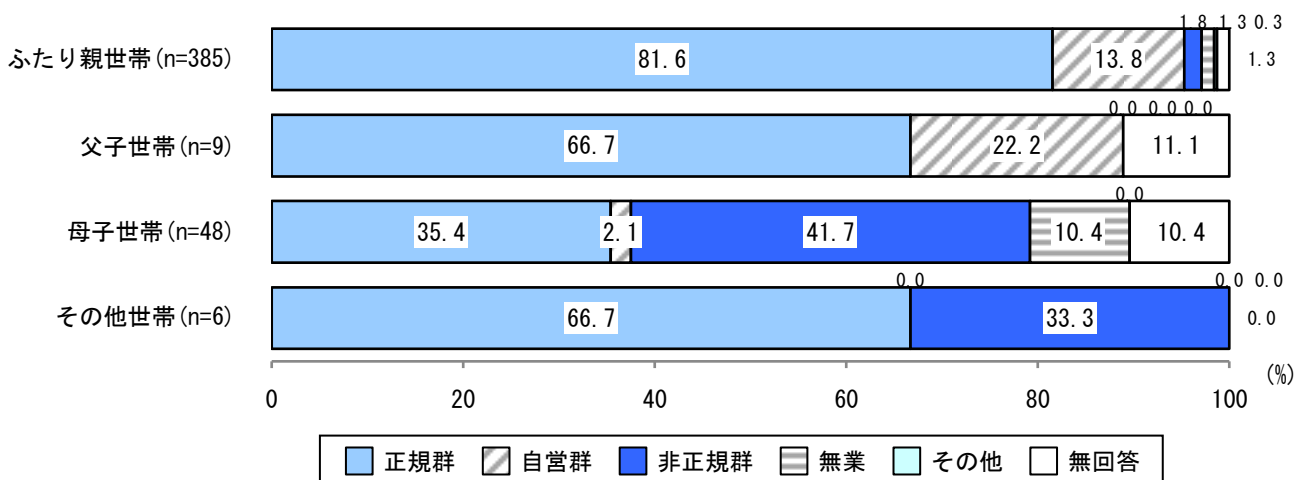
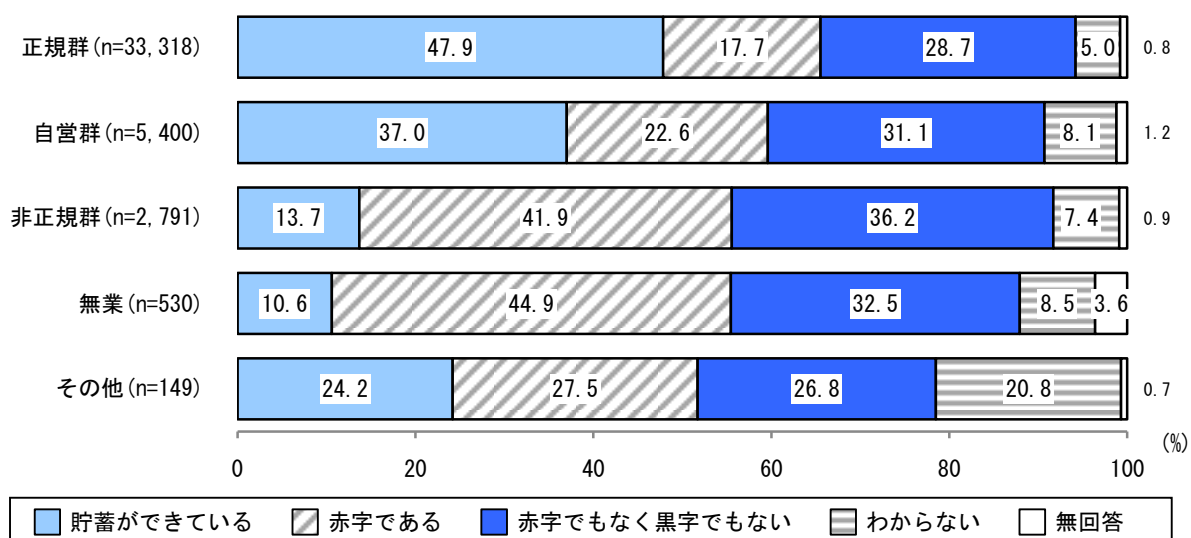


図 53. 世帯構成別に見た、就労状況

世帯構成別に就労状況を見ると、「ふたり親世帯」では「正規群」の割合が81.6%であるが、「母子世帯」では35.4%と低くなる。「非正規群」は、「母子世帯」では41.7%となっている。

就労状況別に見た、家計の状況（保護者票問9×保護者票問6（1））

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

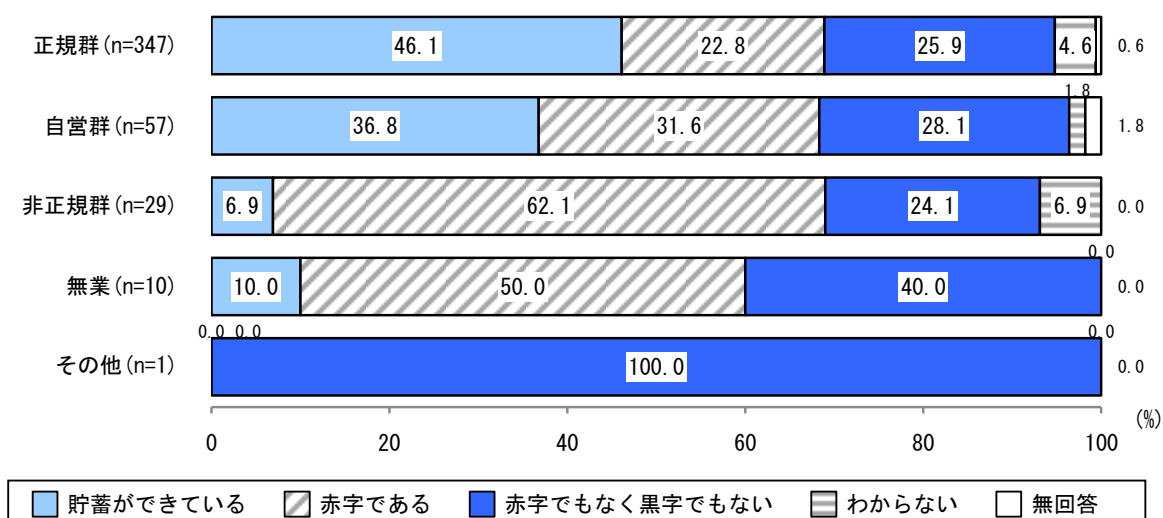


図 54. 就労状況別に見た、家計の状況

就労状況別に家計状況を見ると、「正規群」では「貯蓄ができています」割合が46.1%である。「非正規群」では「赤字である」と回答した人が62.1%にのぼっている。

＜雇用に関する考察＞

はじめに、困窮度別の保護者の就労状況と最終学歴について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間で差が大きい項目に着目して述べる。困窮度別に見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「正規」群（90.8%対30.2%）が約60ポイント高く、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「非正規」群の割合が高くなっている（31.7%対該当なし）。母親の最終学歴を困窮度別に見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「中学校卒業」群（7.9%対0.5%）は約7ポイント、「高等学校中途退学」群（9.5%対0.5%）は9ポイント、「高等学校卒業」群（39.7%対23.5%）は約16ポイント高くなっている。また、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（28.6%対4.8%）が約24ポイント高くなっている。同様に、父親の最終学歴においても、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「中学校卒業」群（11.1%対1.0%）は約10ポイント、「高等学校中途退学」群（4.8%対3.1%）は約2ポイント高くなっている。また、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「高等学校卒業」群（27.6%対19.0%）は約9ポイント、「大学卒業」群（43.9%対12.7%）は約31ポイント高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の保護者の雇用形態が所得階層の分布に反映されていることが示された。また、困窮度は学歴と関連していることも示唆される。

次に、保護者の最終学歴別に就労状況を確認する。母親の最終学歴別に見ると、「大学卒業」群は「高等学校卒業」群と比べ、「正規」群（91.8%対71.8%）は20ポイント高くなっている。一方、母親の就労状況において、「高等学校卒業」群は「大学卒業」群と比べ、「非正規」群（41.3%対10.3%）は約31ポイント高く、大きな開きがある。この結果から、学歴が高い群ほど正規雇用の割合が高いことを示唆している。

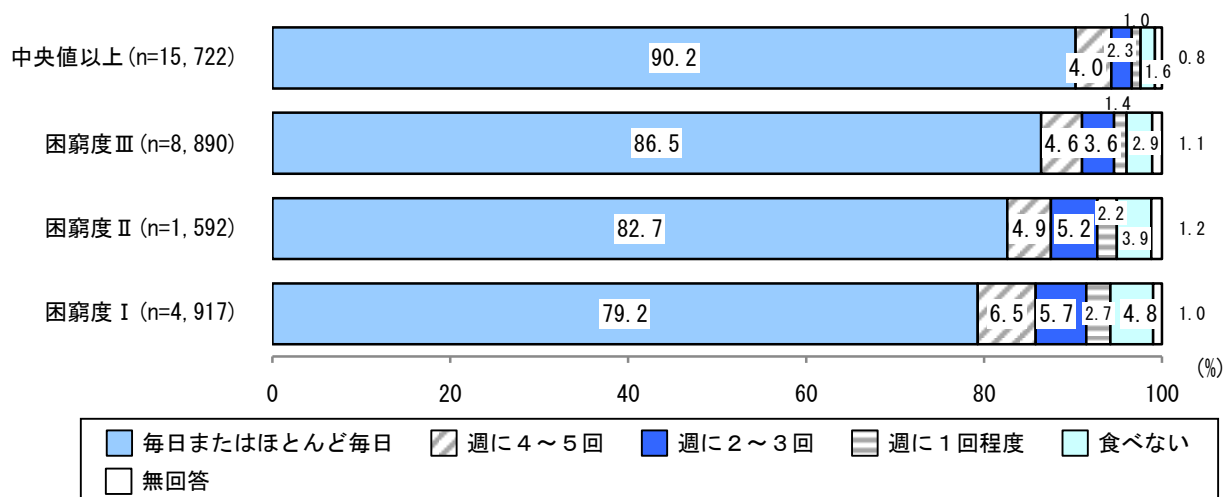
世帯構成別に親の就労状況を確認すると、ふたり親世帯は母子世帯と比べ、「正規」群（81.6%対35.4%）が約46ポイント高くなっている。また、父子世帯は母子世帯と比べ、「正規」群（66.7%対35.4%）が31ポイント高くなっており、母子世帯の正規雇用の割合の低さが顕著である。さらに、母子世帯は、「非正規」群（41.7%）の割合が他の世帯構成に比べて極めて高くなっており、不安定な就労状況にあることが示唆される。

最後に、保護者の就労状況別に見る家計の状況に着目する。「正規」群は「非正規」群と比べ、「貯蓄ができています」（46.1%対6.9%）は約6倍である。「非正規」群は「正規」群と比べ、家計状況が「赤字である」（62.1%対22.8%）は約39ポイント高く、大きな開きがある。この結果から、保護者の就労状況が正規雇用であるほど、貯蓄ができるなど生活が安定している傾向が見られる。

3-3. 健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（子ども票問4(1)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

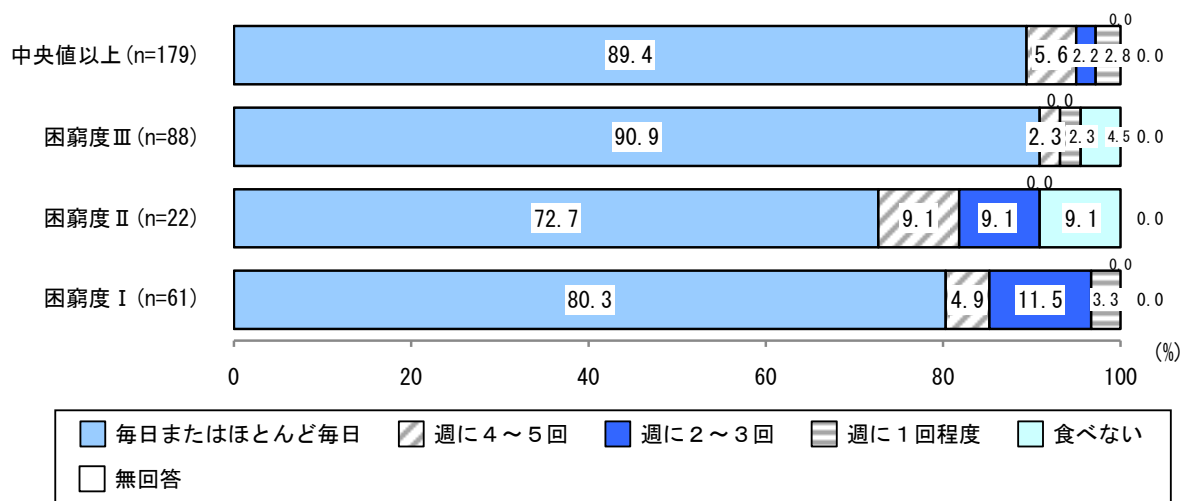
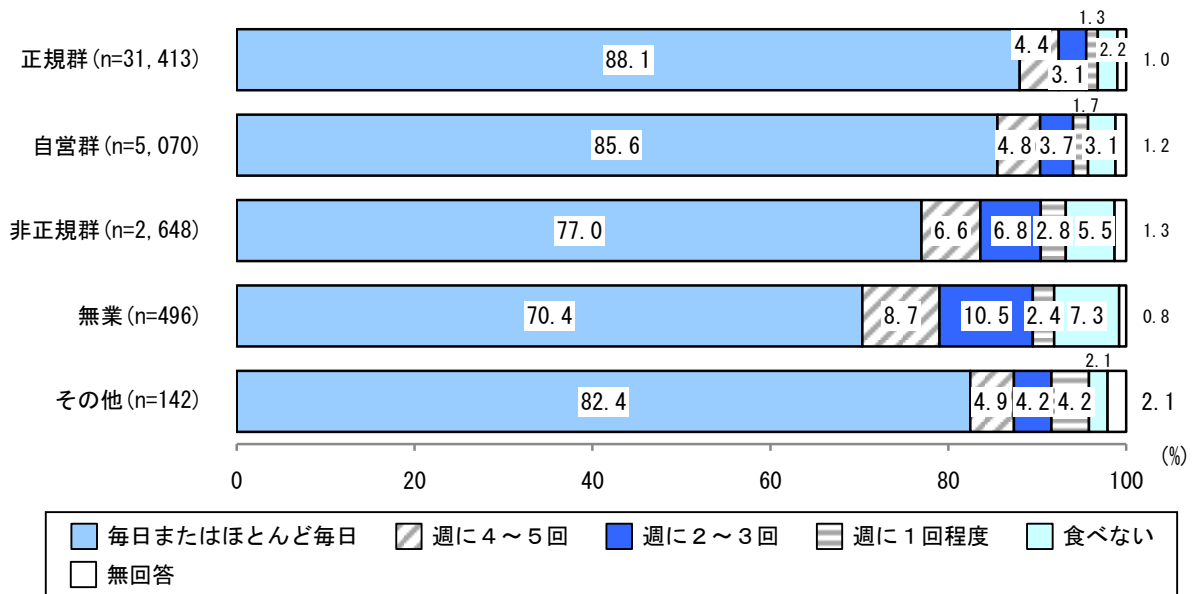


図 55. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度別に朝食の頻度を見ると、困窮度Ⅱ群では、27.3%が「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていないと回答している。

就労状況別に見た、朝食の頻度（子ども票問4(1)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

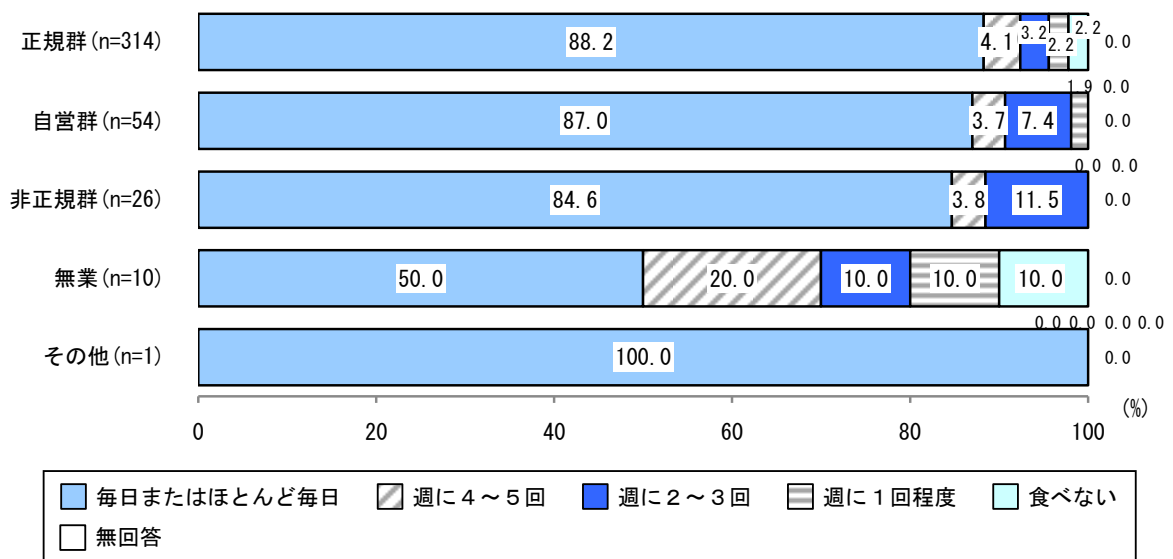
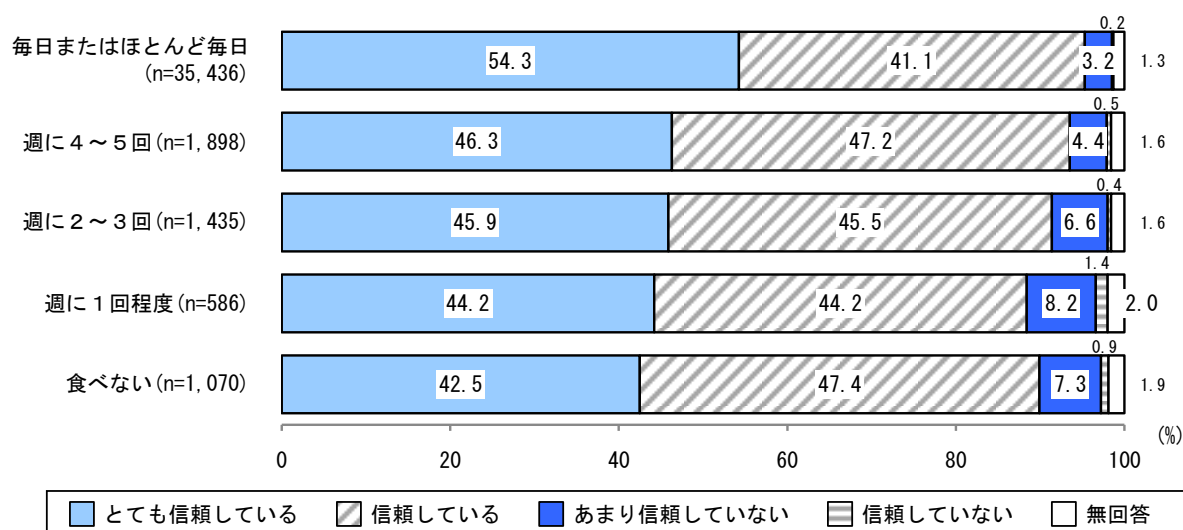


図 56. 就労状況別に見た、朝食の頻度

就労状況別に朝食の頻度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる割合は、「正規群」（88.2％）が最も高く、次いで、「自営群」（87.0％）、「非正規群」（84.6％）、「無業」（50.0％）の順で朝食の頻度が低くなる。

朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度（子ども票問4(1)×保護者票問13(1)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

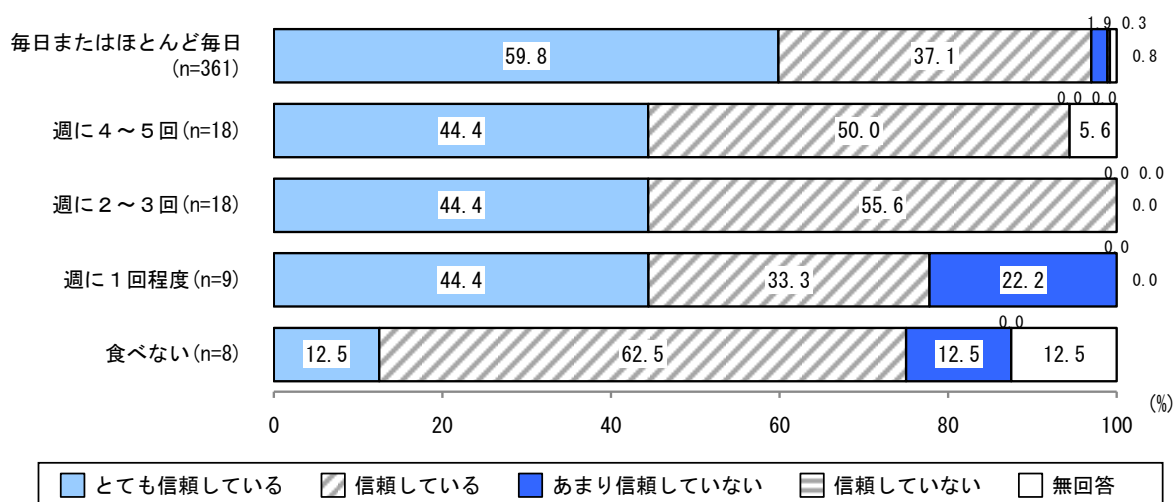
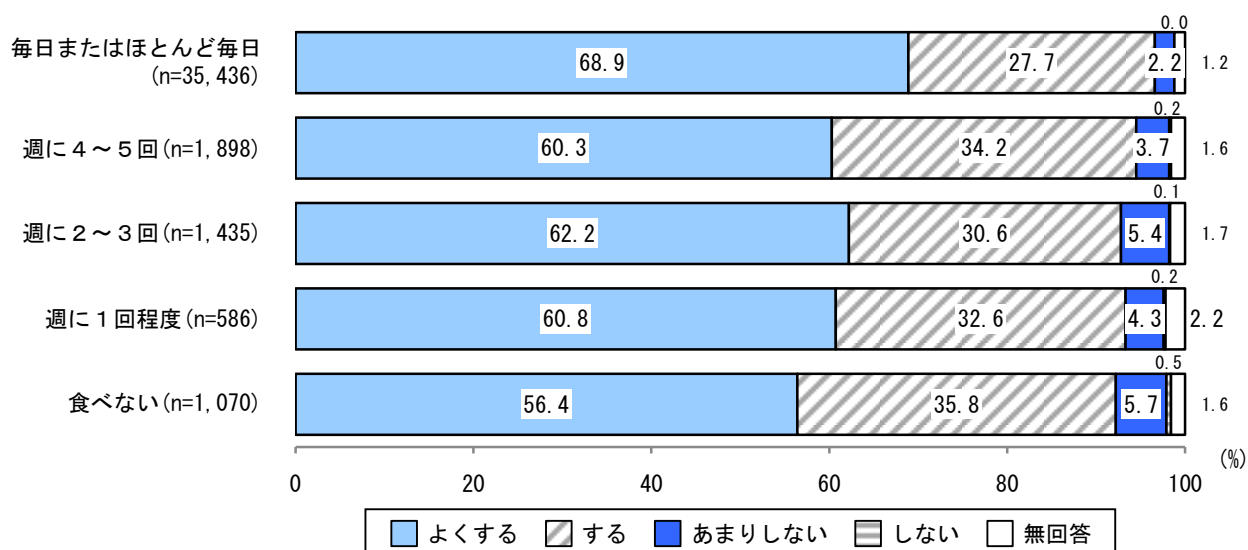


図 57. 朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度

朝食の頻度別に子どもへの信頼度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、子どもを「とても信頼している」との回答が59.8%であるのに対し、「食べない」では、「とても信頼している」と回答した人は12.5%と低い。

朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度（子ども票問4(1)×保護者票問13(2)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

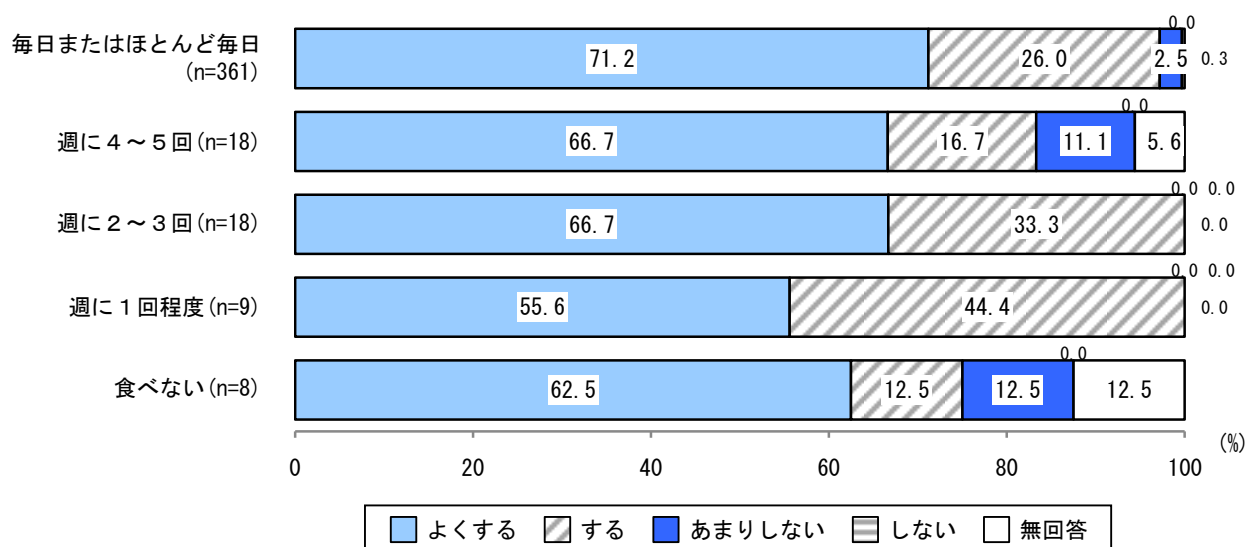
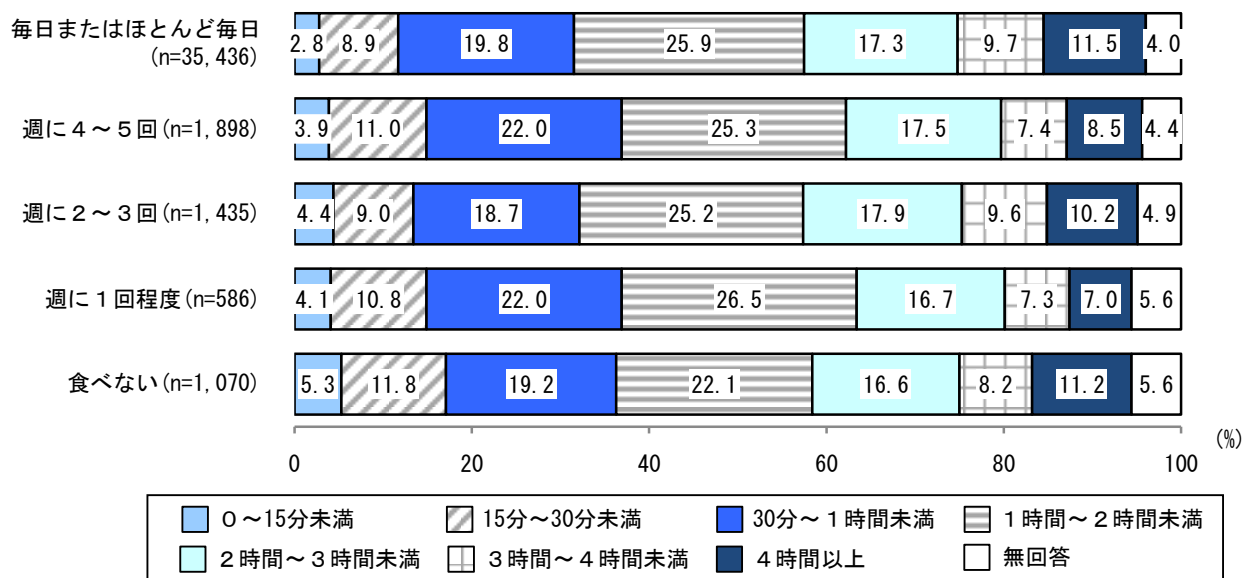


図 58. 朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度

朝食の頻度別に子どもと会話頻度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、会話を「よくする」との回答が71.2%であるのに対し、「週に1回程度」では、「よくする」と回答した人は55.6%と低い。

朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間（子ども票問4(1)×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

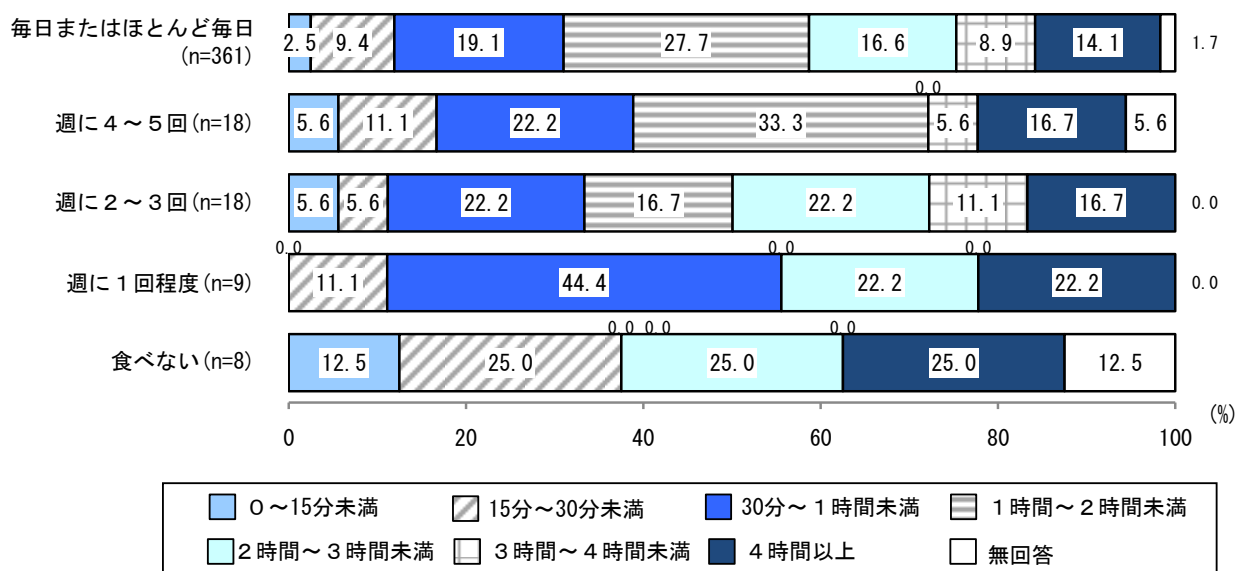
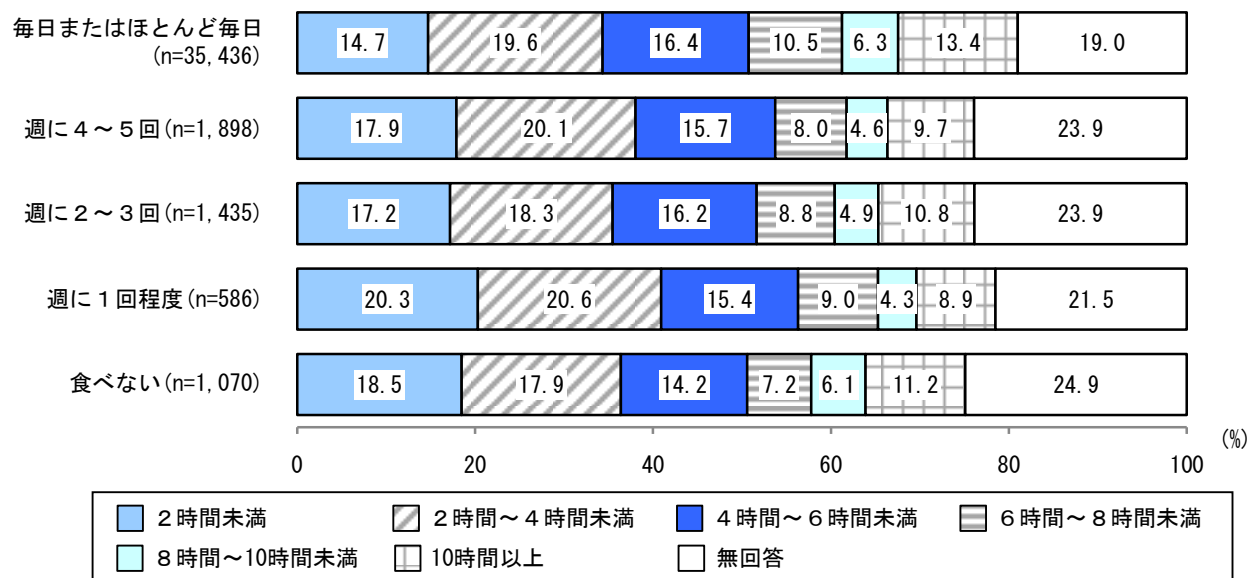


図 59. 朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間

朝食の頻度別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、朝食を「食べない」人の中で、平日に子どもと一緒にいる時間が「0～15分未満」と回答した人の割合は12.5%となっている。

朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間（子ども票問4(1)×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

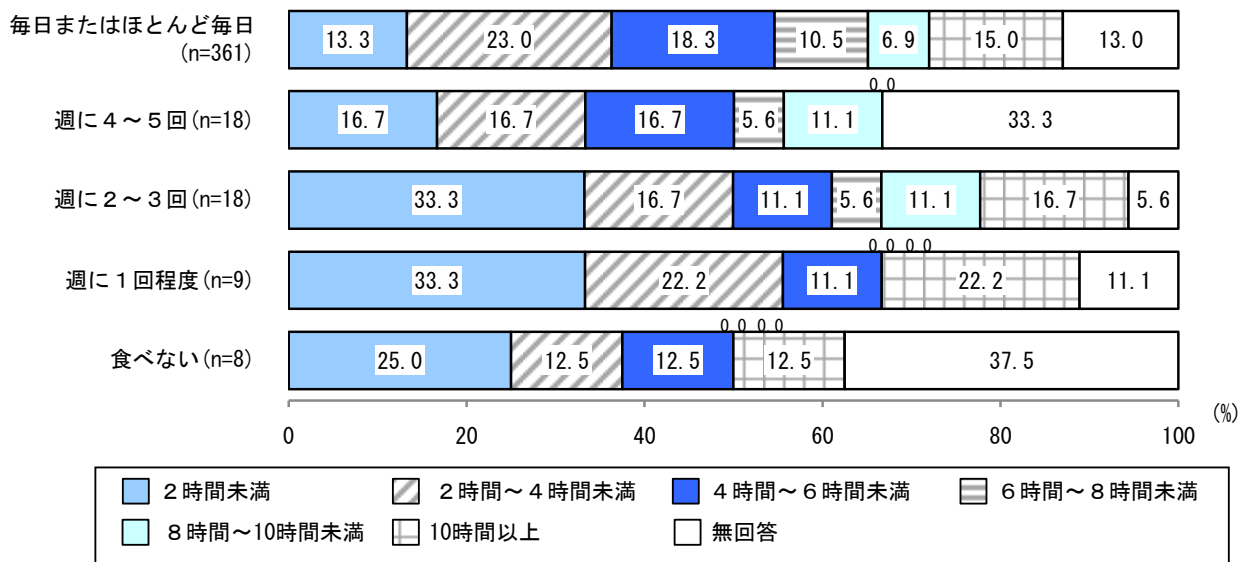
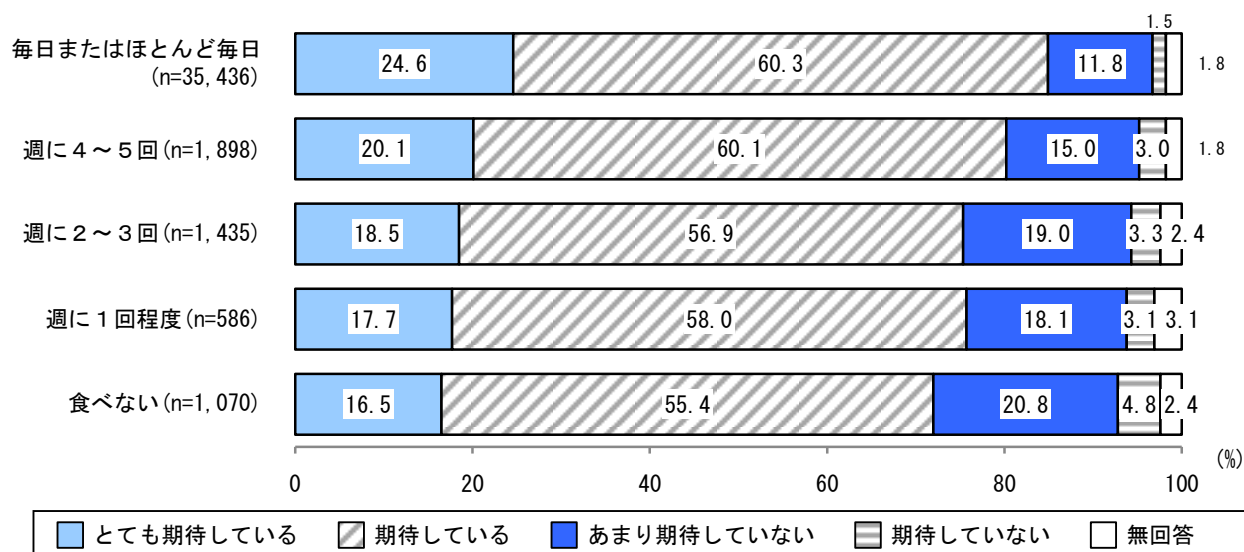


図 60. 朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間

朝食の頻度別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「週に4～5回」朝食をとっている人で休日に子どもと一緒にいる時間が「10時間以上」の割合が0.0%となっている。

朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度（子ども票問 4 (1) × 保護者票問 13 (4)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

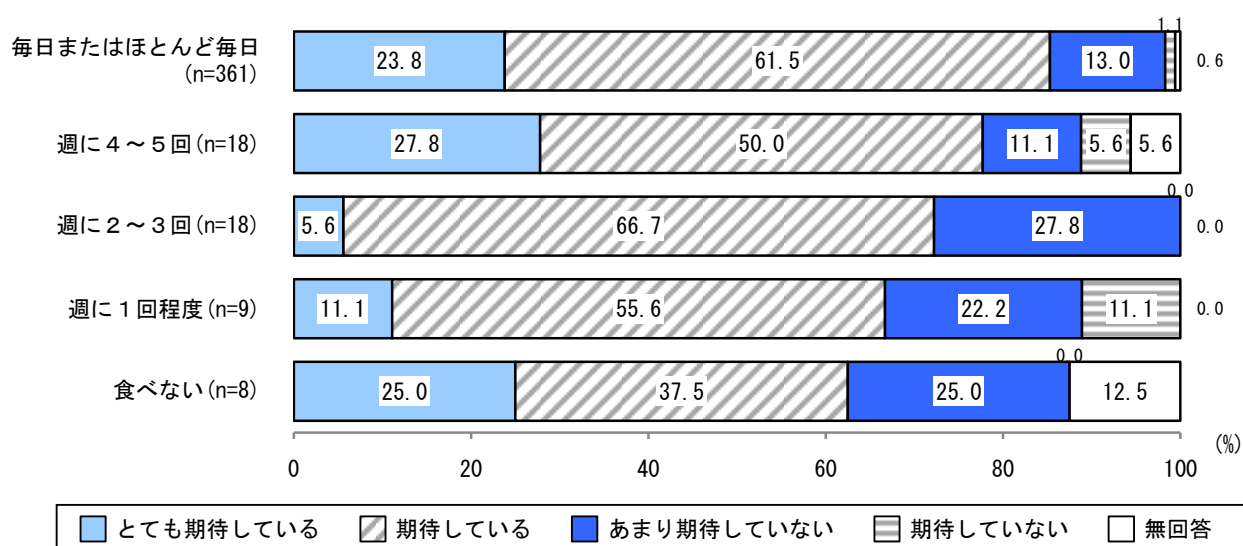


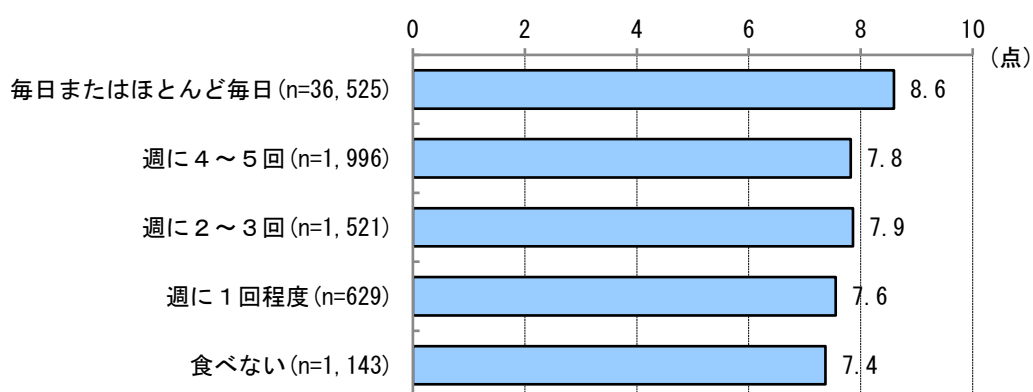
図 61. 朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度

朝食の頻度別に子どもの将来への期待度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人では、「とても期待している」「期待している」をあわせて、85.3%であるのに対して、「食べない」の人では、「とても期待している」「期待している」と回答した人をあわせて62.5%と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが子どもの将来に対する期待が高い結果となった。

朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問4（1）×子ども票問23）

※「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「自分の将来の夢や目標を持っている」の3項目について、それぞれ4段階で評価させ、その値を合計した得点を、セルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高いことを表す。

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

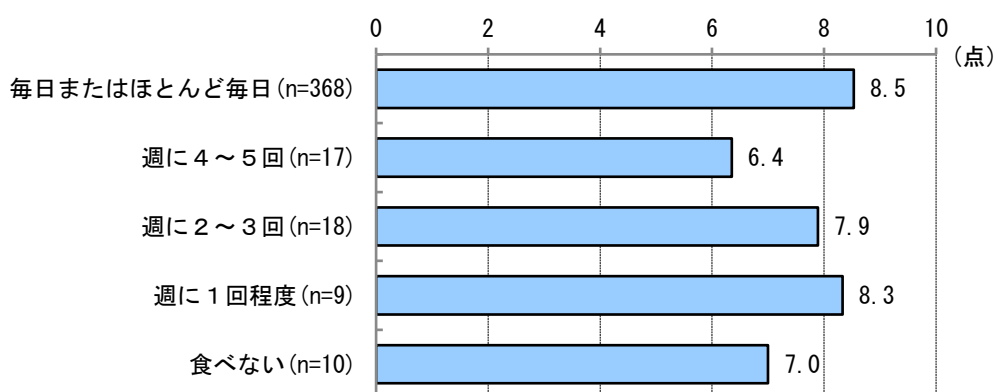
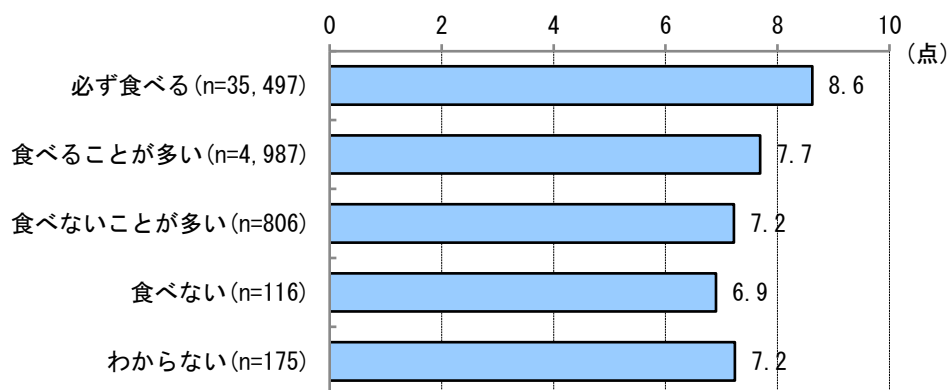


図 62. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

朝食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、8.5点であるのに対して、「週に4～5回」では6.4点と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人のほうが子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問6(1)×子ども票問23)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

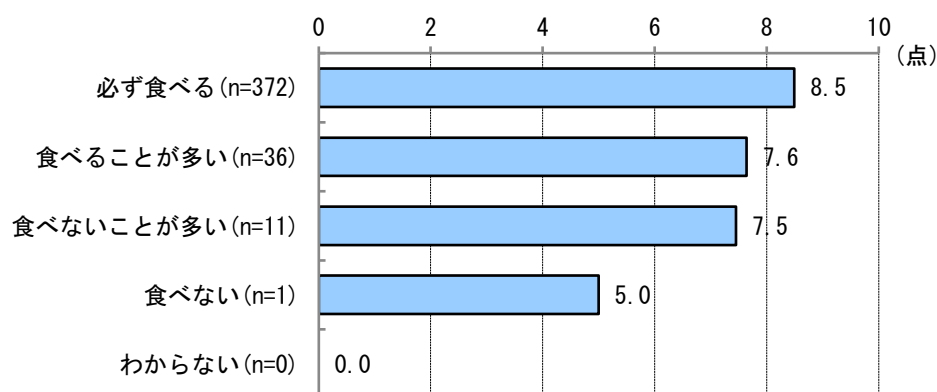
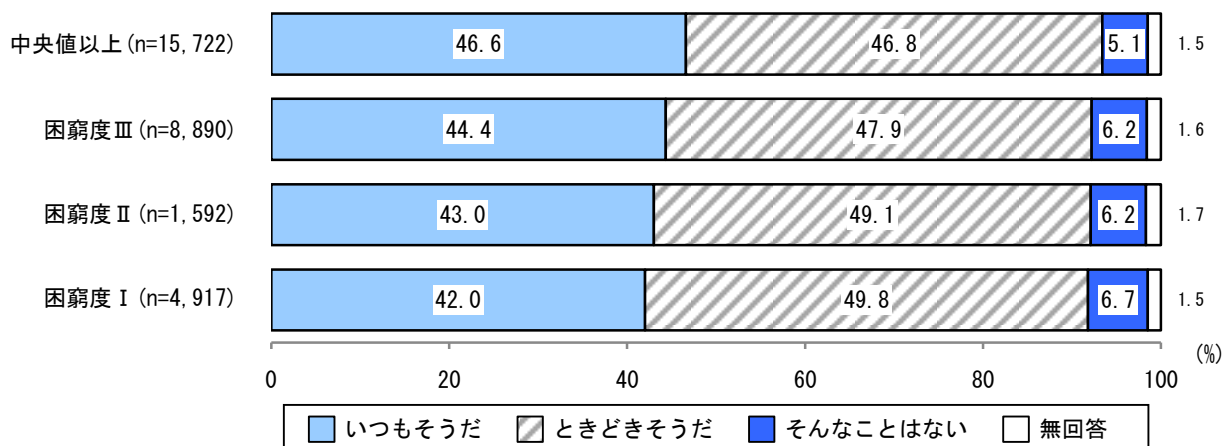


図 63. 休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

休日の昼食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「必ず食べる」と回答した人の得点が8.5点であるのに対して、「食べない」と回答した人は5.0点と、昼食を「必ず食べる」と回答した人のほうが、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある
(子ども票問 19①)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

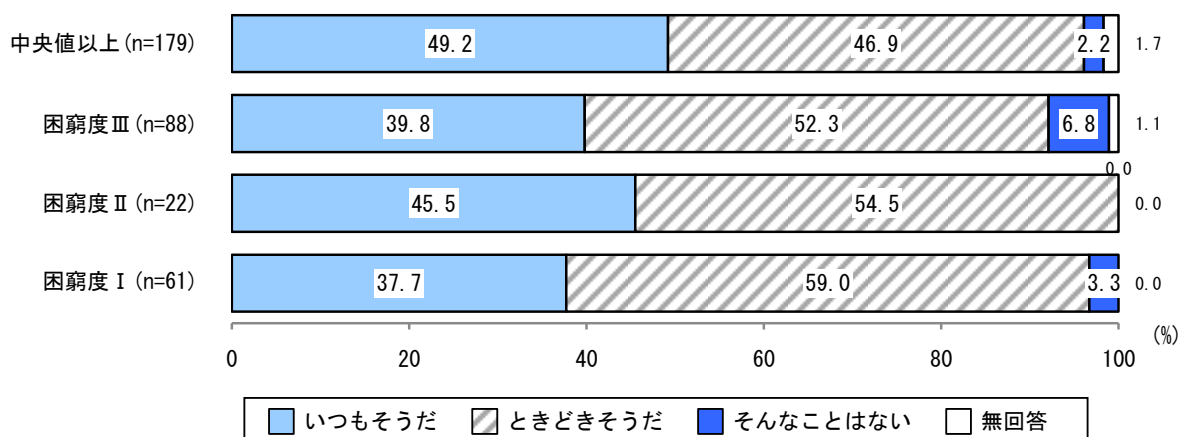
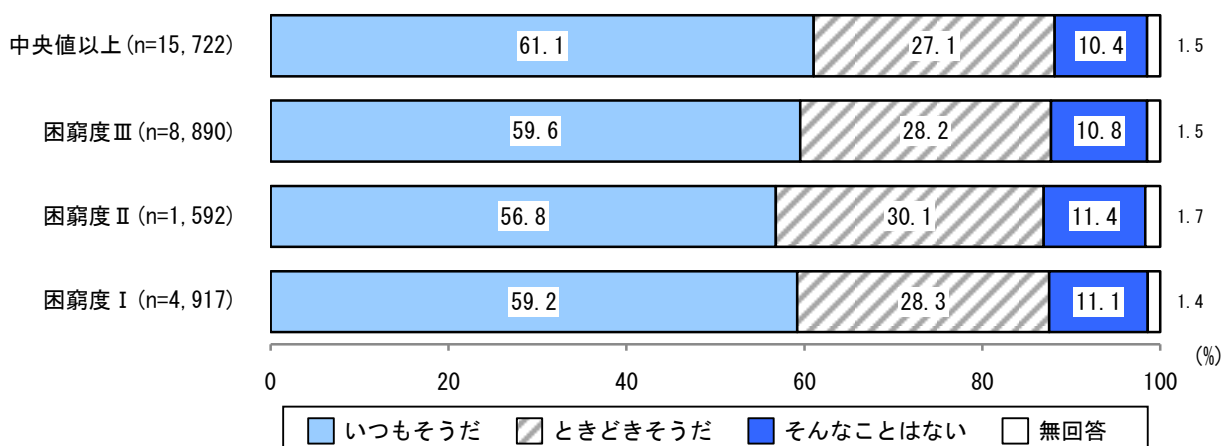


図 64. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で楽しみにしていることがたくさんあるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群が37.7%で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ(子ども票問 19②)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

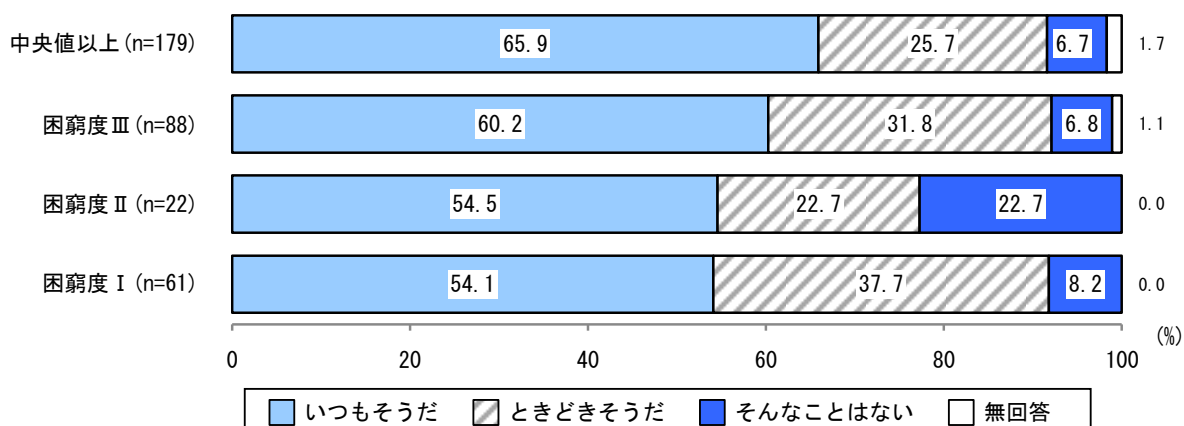
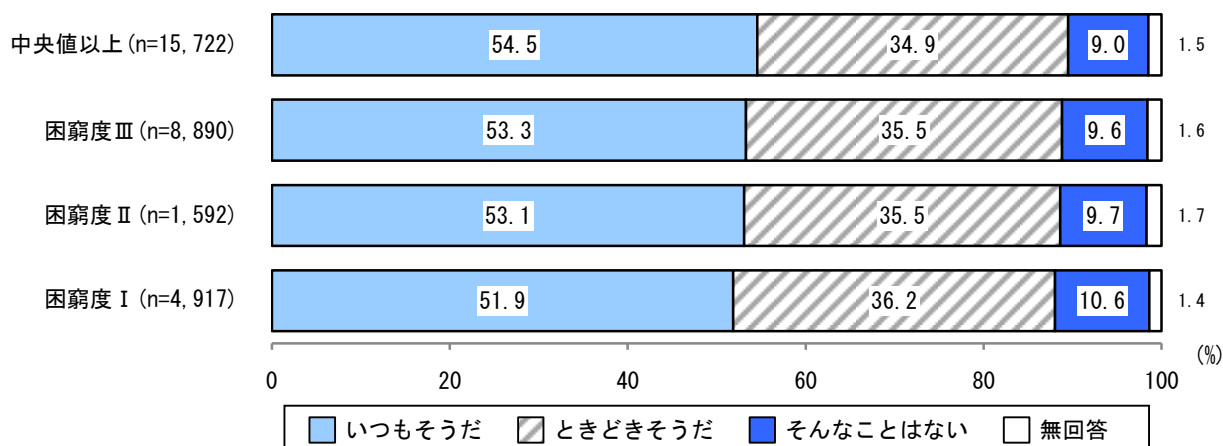


図 65. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で遊びにでかけるのが好きだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群(54.1%)で最も低く、困窮度が高まるにつれ、「いつもそうだ」と回答する割合が低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ（子ども票問 19③）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

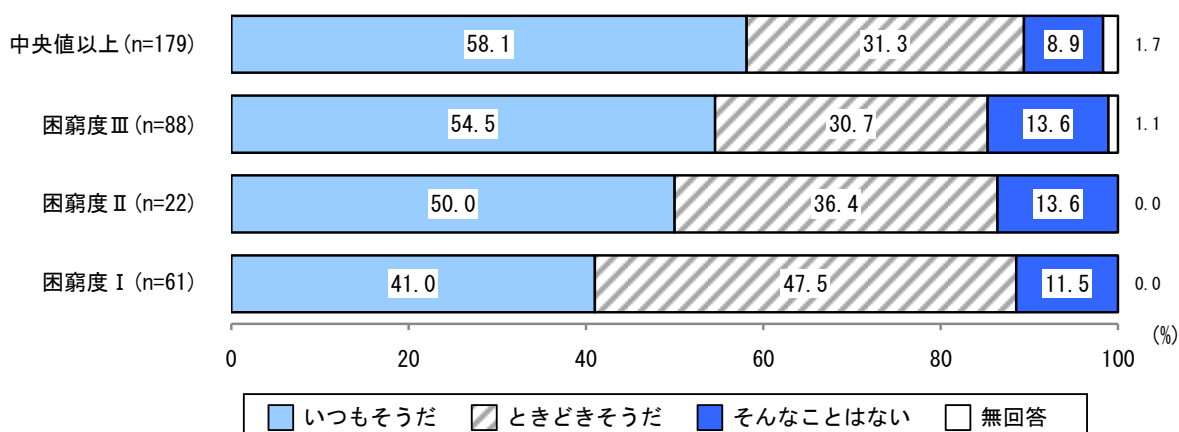
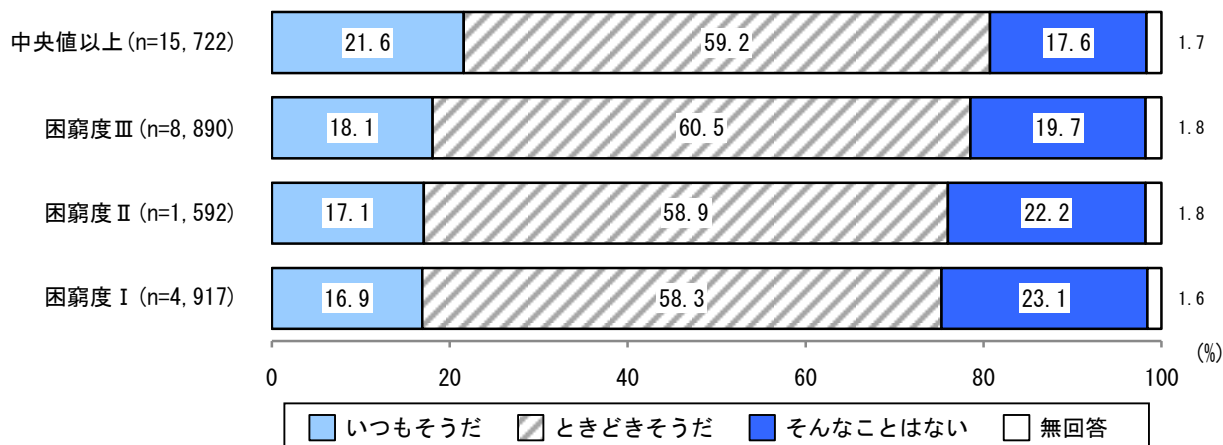


図 66. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で元気いっぱいだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（41.0%）で最も低く、困窮度が高まるにつれ、「いつもそうだ」と回答する割合が低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる
(子ども票問 19④)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

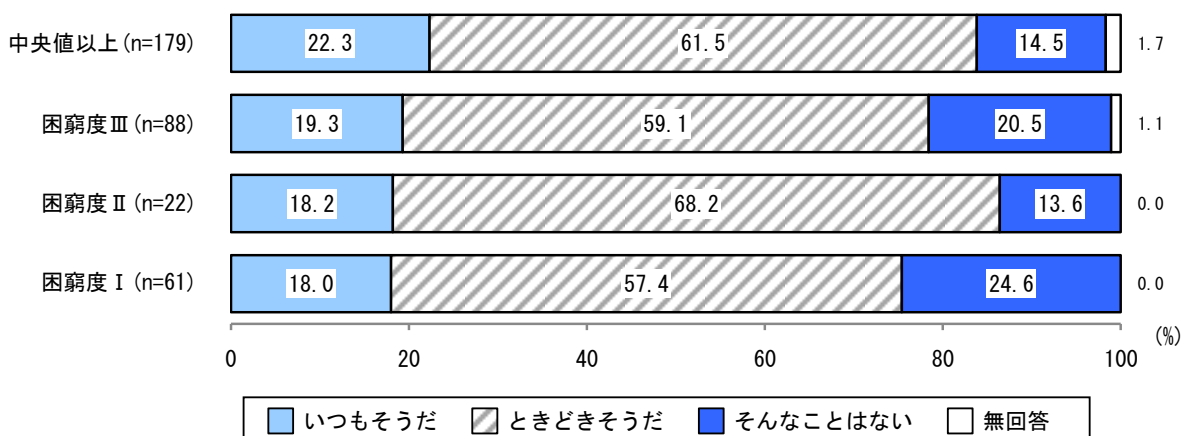
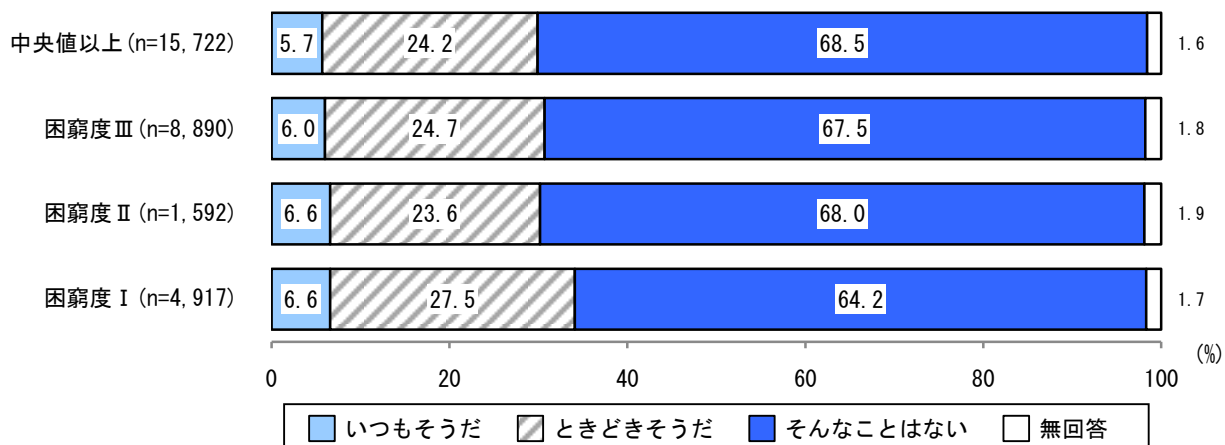


図 67. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でやろうと思ったことがうまくできるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（18.0%）で最も低く、困窮度が高まるにつれ、「いつもそうだ」と回答する割合が低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする
(子ども票問 19⑤)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

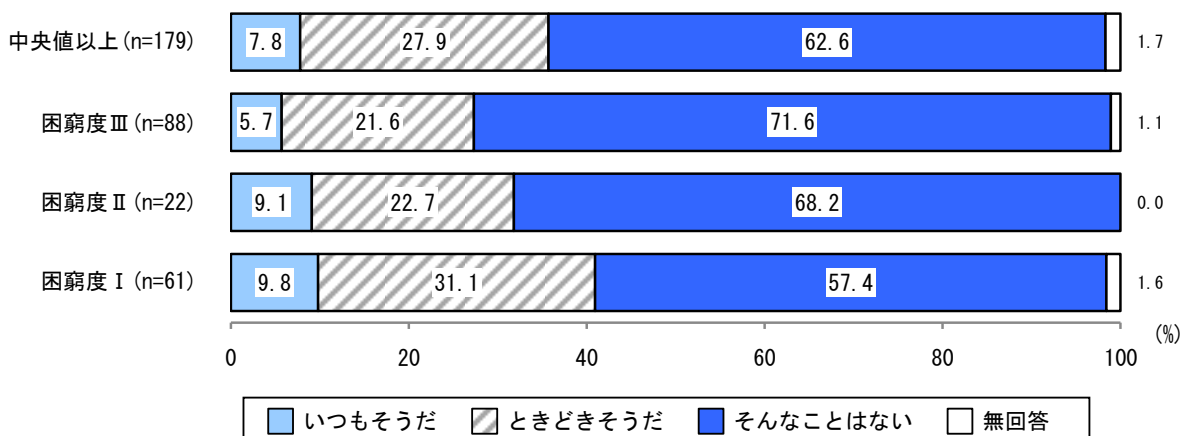
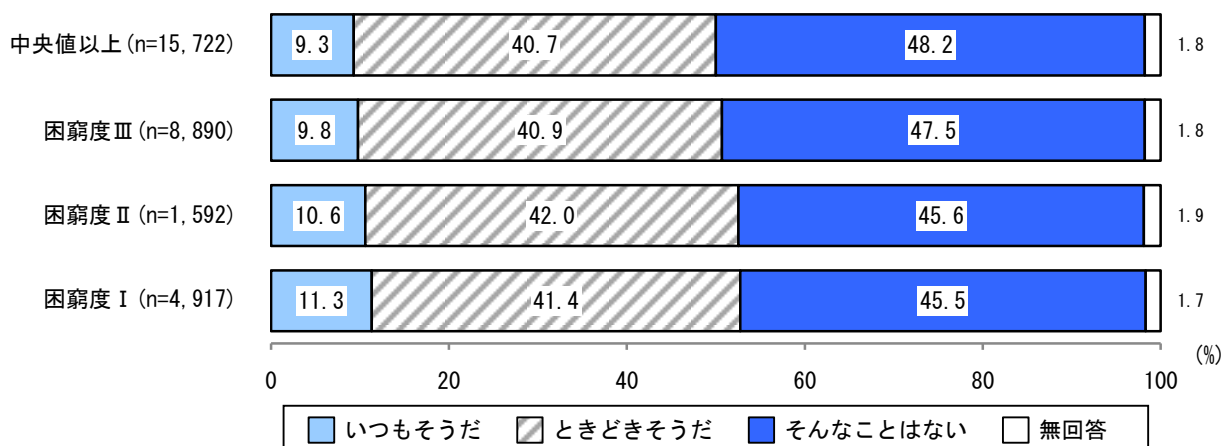


図 68. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で一人ぼっちのような気がするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（9.8%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる（子ども票問 19⑥）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

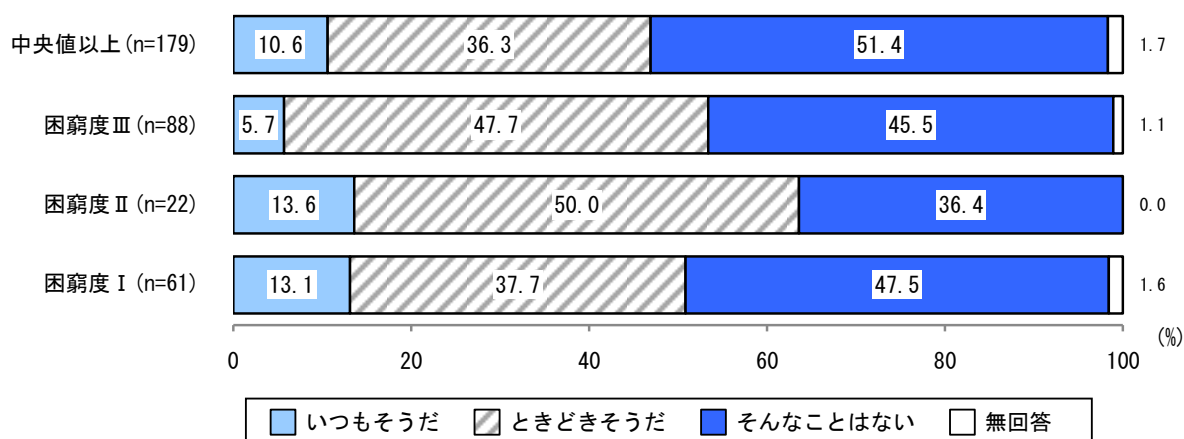
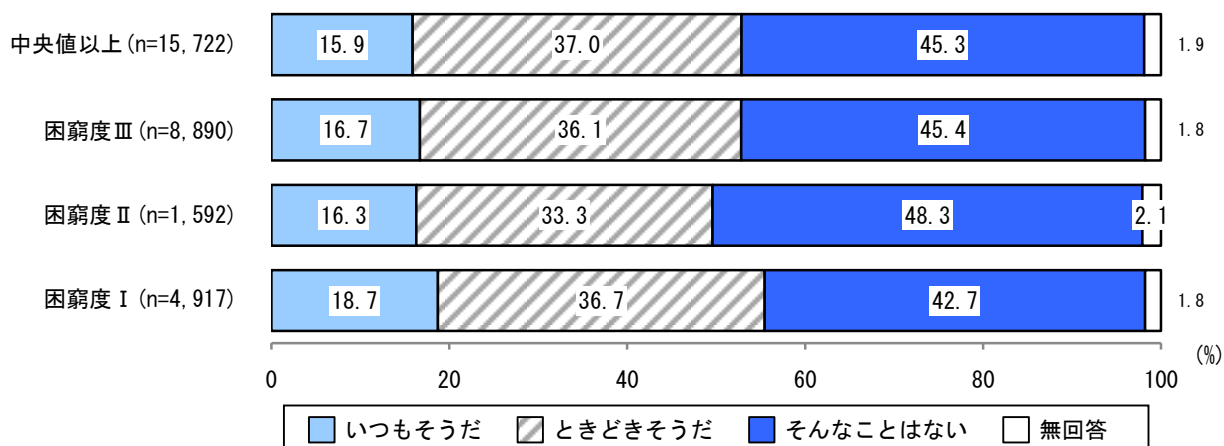


図 69. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で不安な気持ちになるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅱ群（13.6%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる（子ども票問 19⑦）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

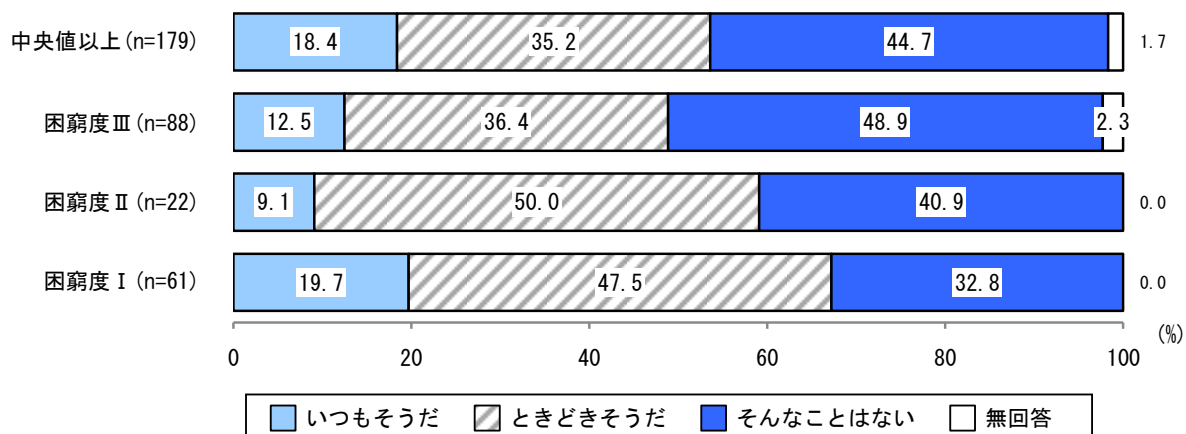
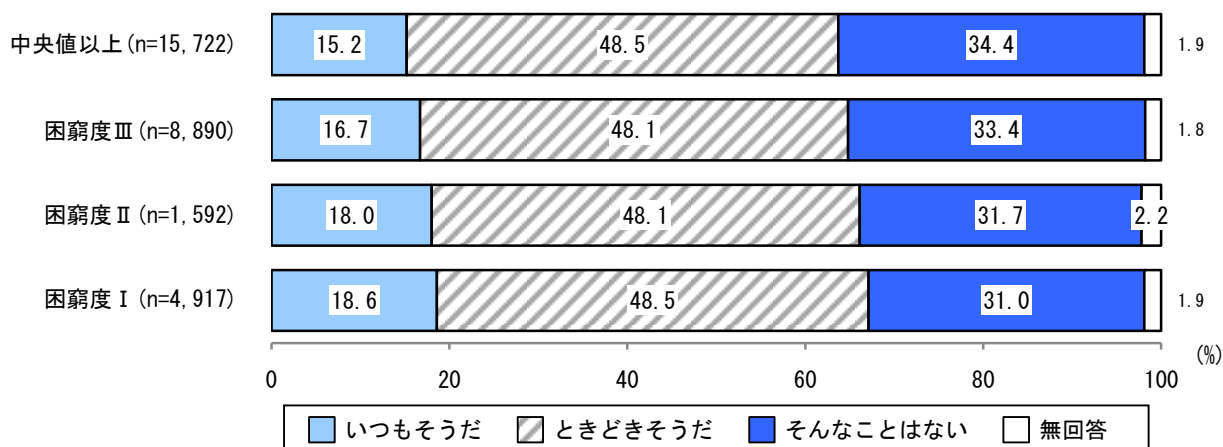


図 70. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でまわりが気になるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（19.7%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない（子ども票問 19⑧）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

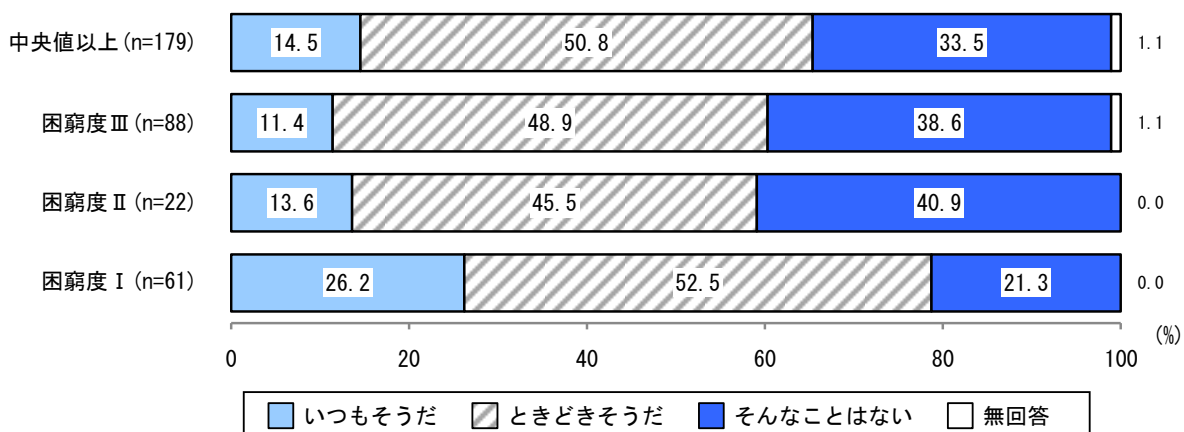
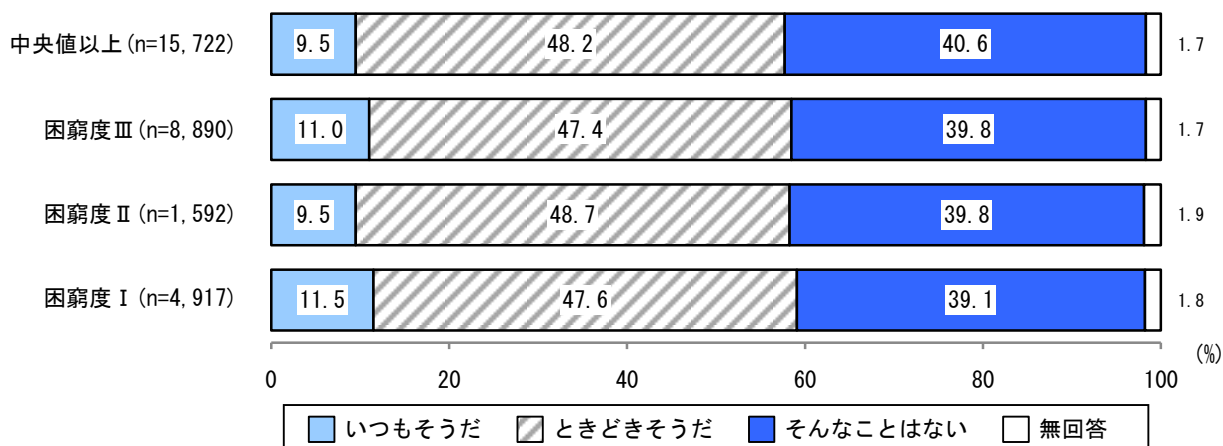


図 71. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でやる気が起きないを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（26.2%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする（子ども票問 19⑨）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

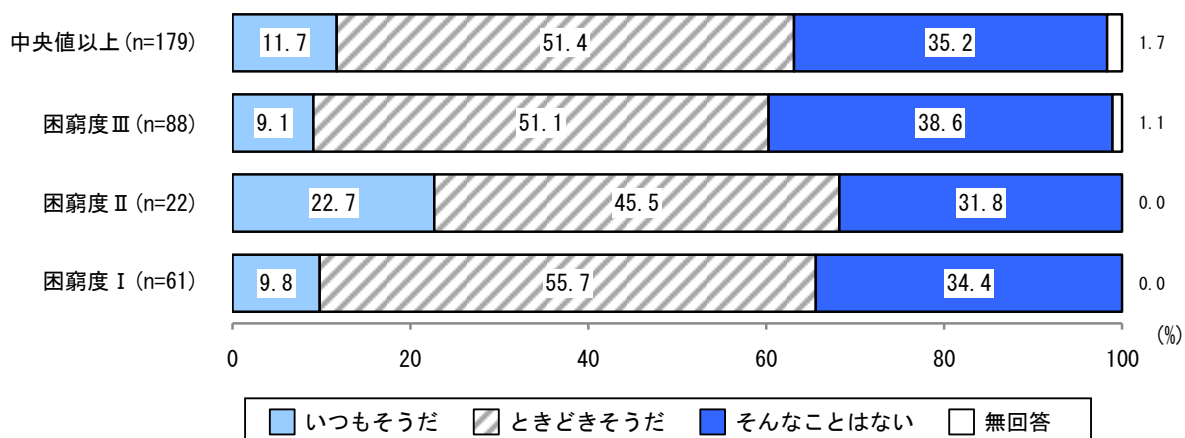
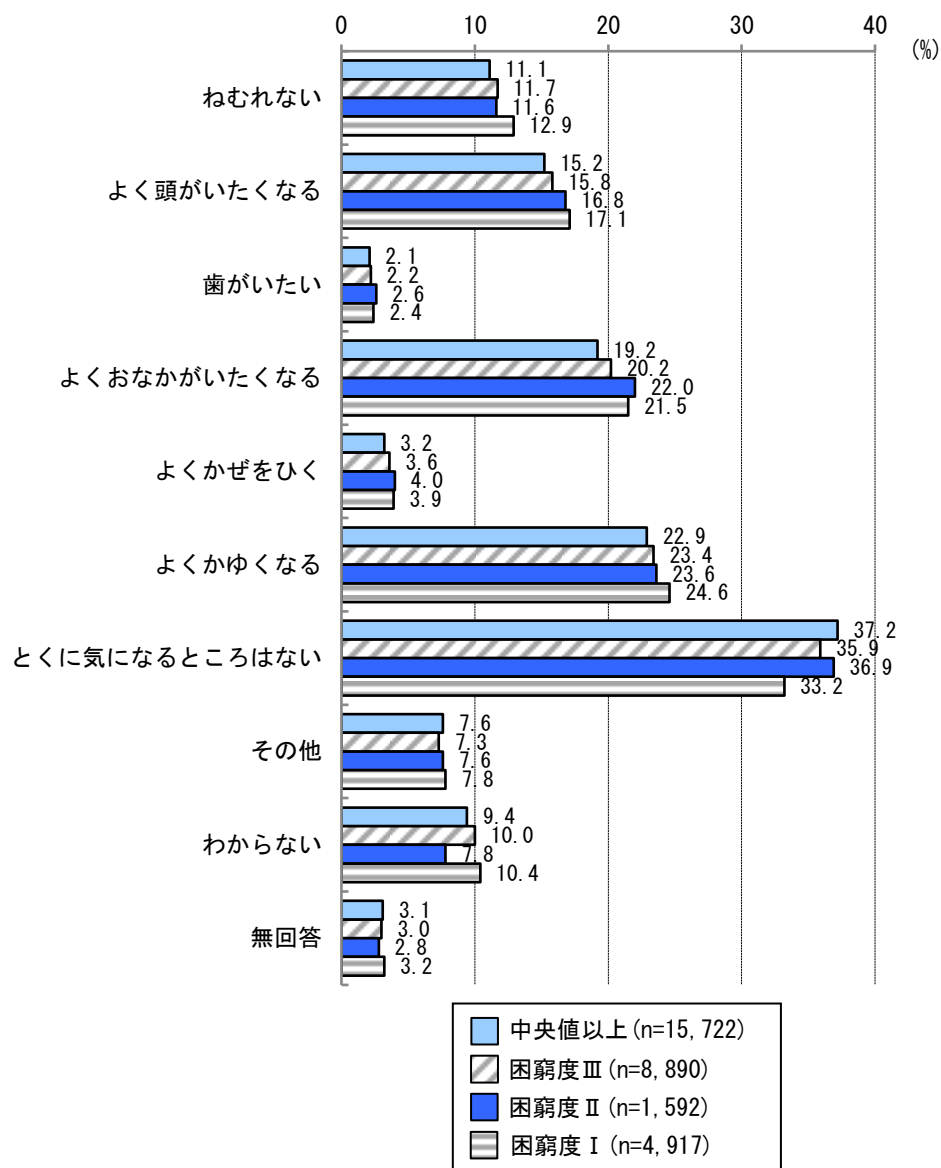


図 72. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でいらいらするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅱ群（22.7%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること（子ども票問 20）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

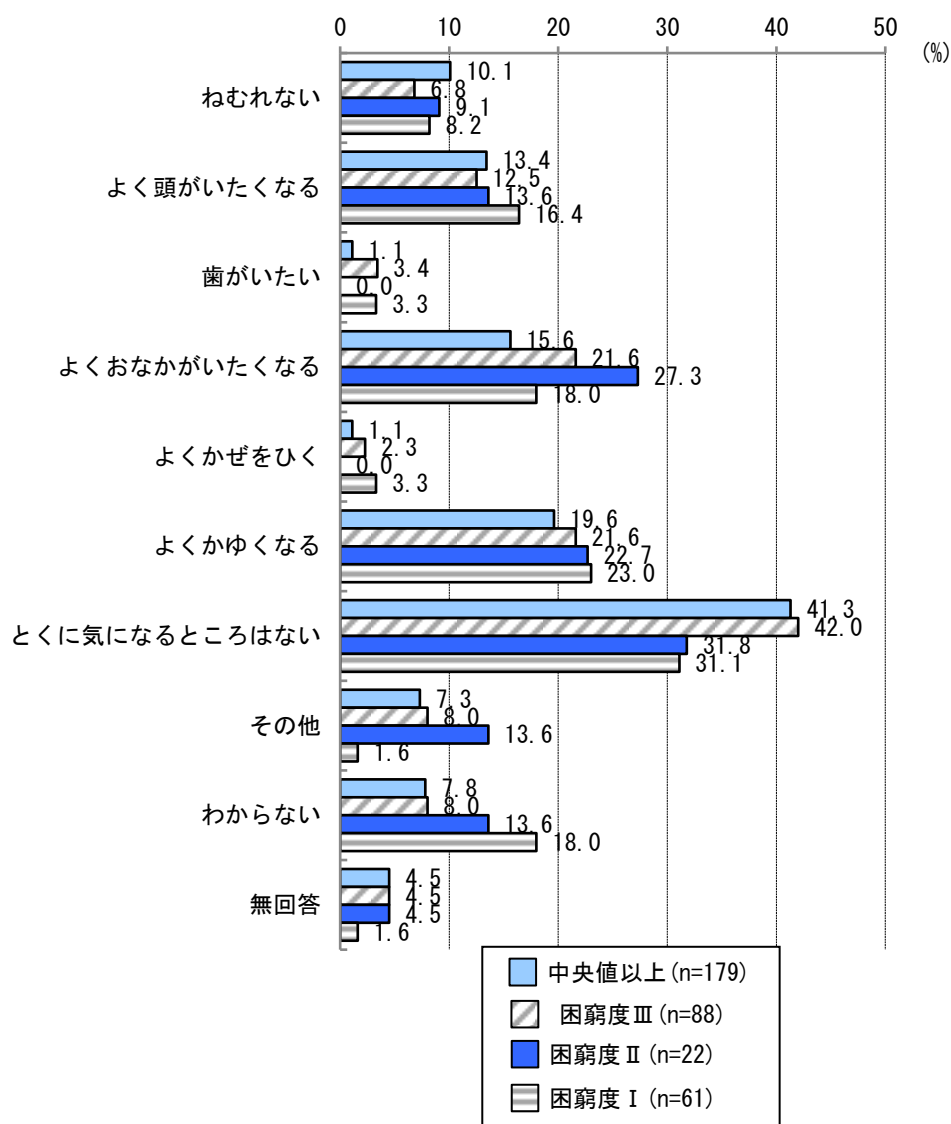
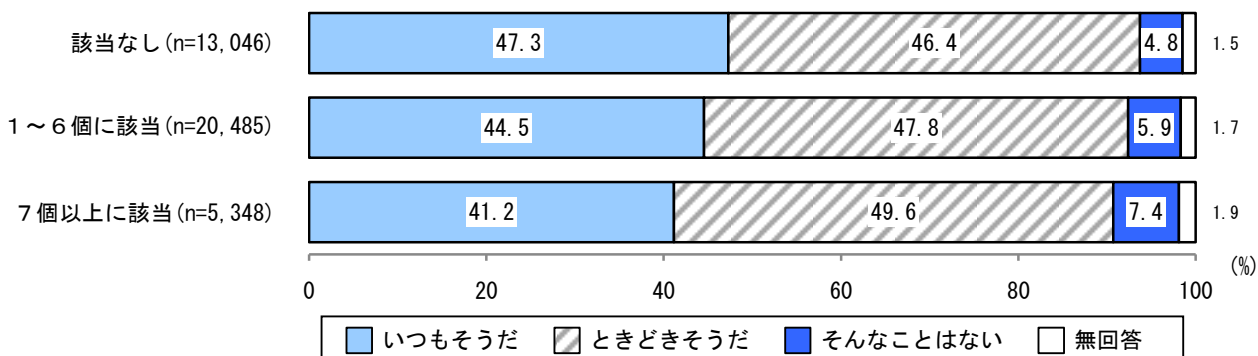


図 73. 困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること

困窮度別に自分の体の状態で気になることを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「歯がいたい」が3.3%（中央値以上群に対して3.0倍）、「よくかぜをひく」が3.3%（同じく3.0倍）となっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある（保護者票問7×子ども票問19①）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

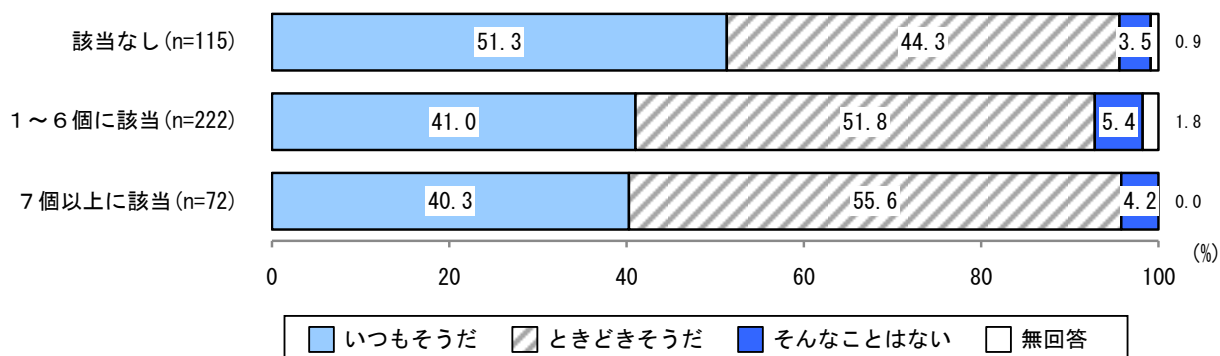
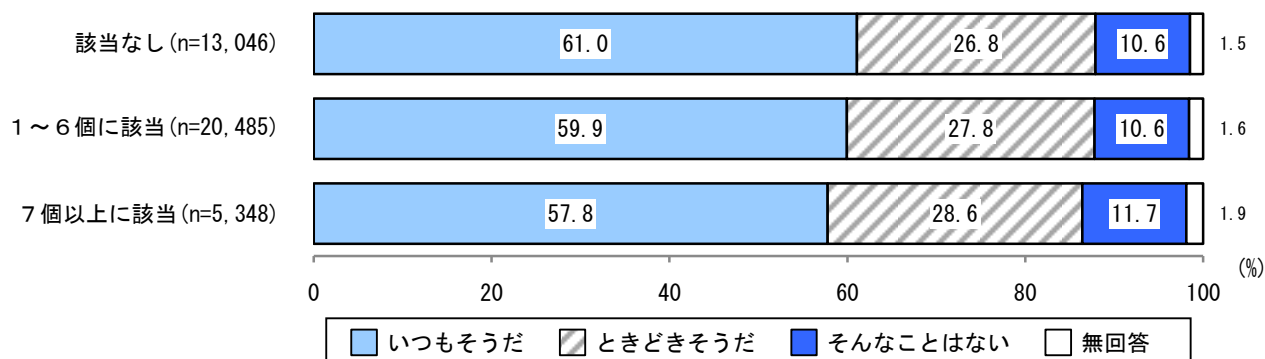


図 74. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
①楽しみにしていることがたくさんある

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で楽しみにしていることがたくさんあるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が低く、「7個以上に該当」（40.3%）で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ（保護者票問7×子ども票問19②）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

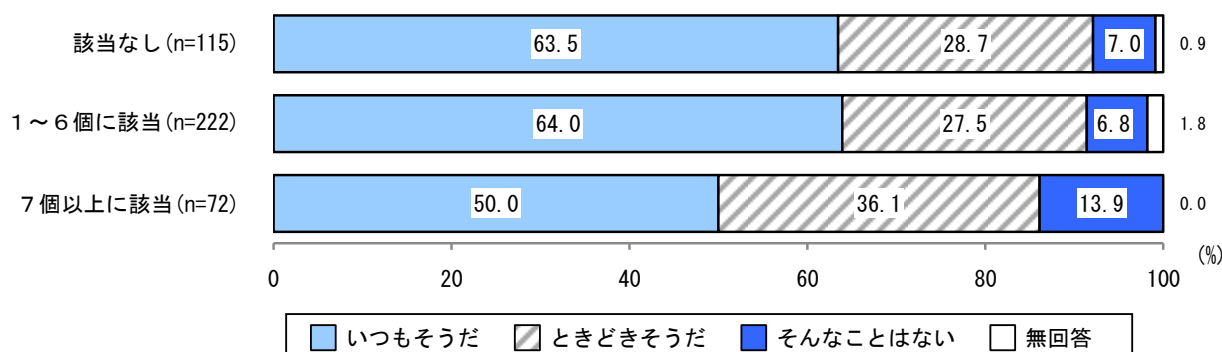
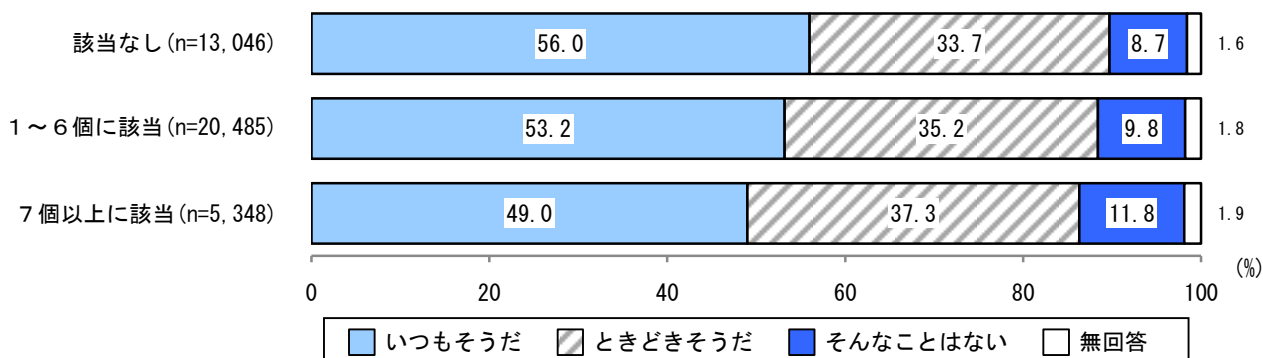


図 75. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
②遊びにでかけるのが好きだ

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で遊びにでかけるのが好きだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「7個以上に該当」が50.0%で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱい
(保護者票問7×子ども票問19③)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

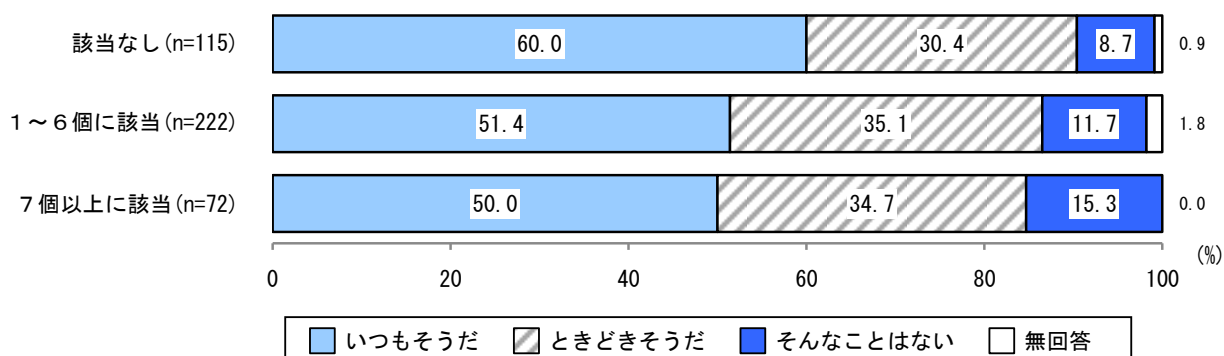
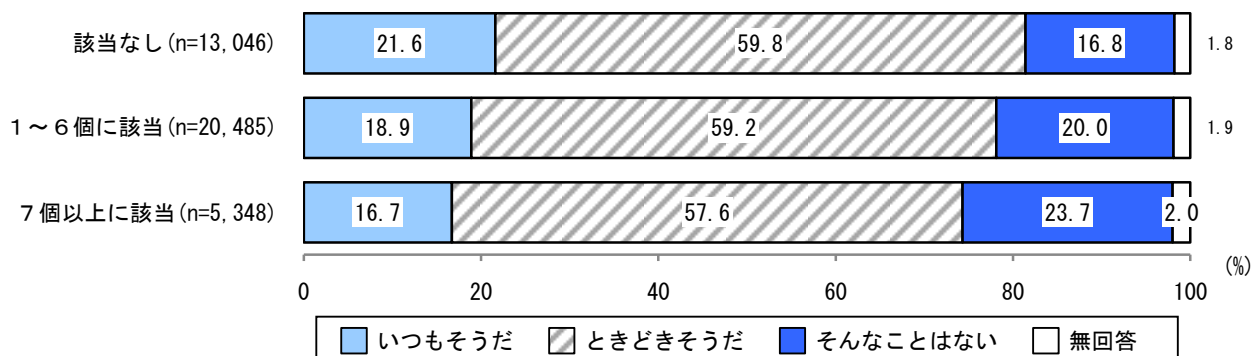


図 76. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱい

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で元気いっぱいを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が低く、「7個以上に該当」(50.0%)で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる（保護者票問7×子ども票問19④）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

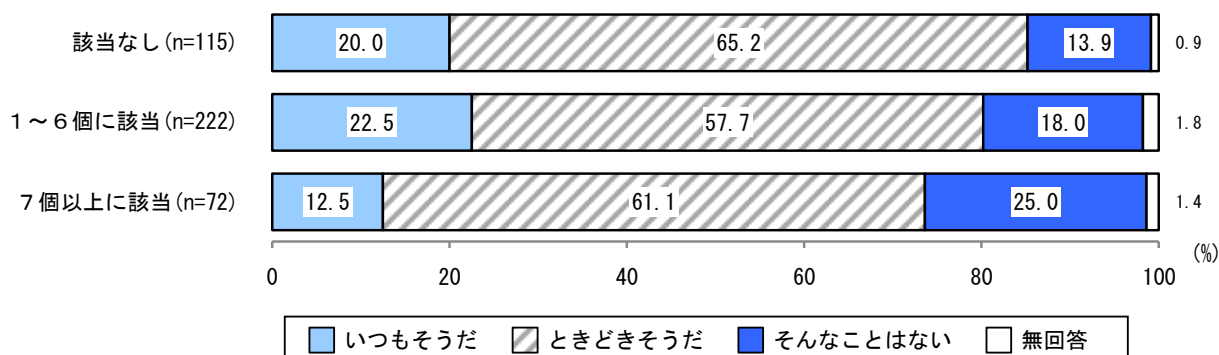
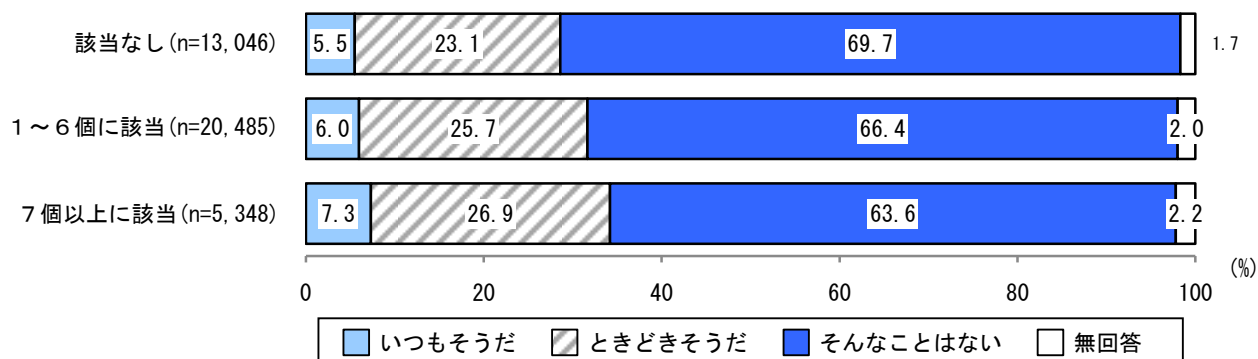


図 77. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
④やろうと思ったことがうまくできる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でやろうと思ったことがうまくできるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「7個以上に該当」が12.5%で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする（保護者票問7×子ども票問19⑤）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

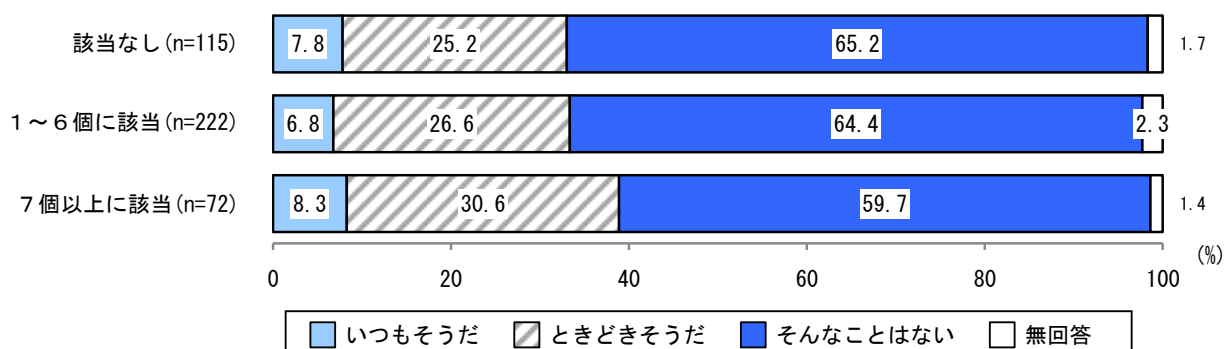
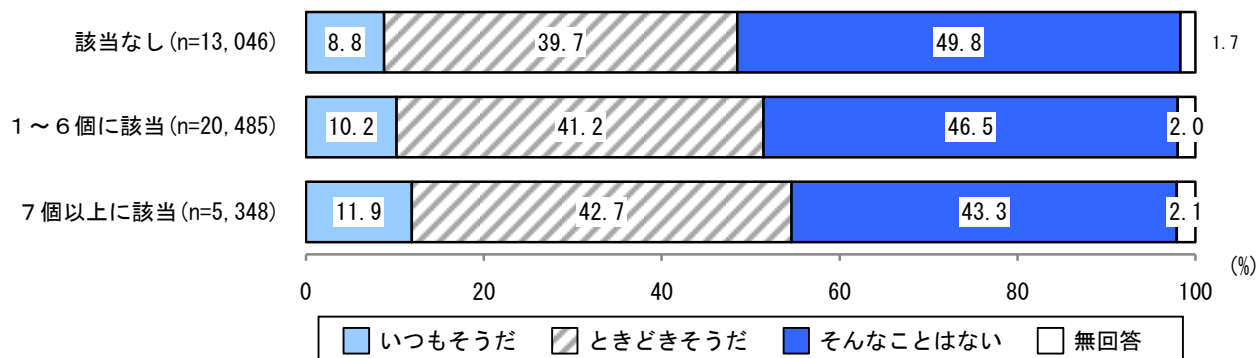


図 78. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
⑤一人ぼっちのような気がする

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で一人ぼっちのような気がするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「1～6個に該当」が6.8%で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
⑥不安な気持ちになる（保護者票問7×子ども票問19⑥）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

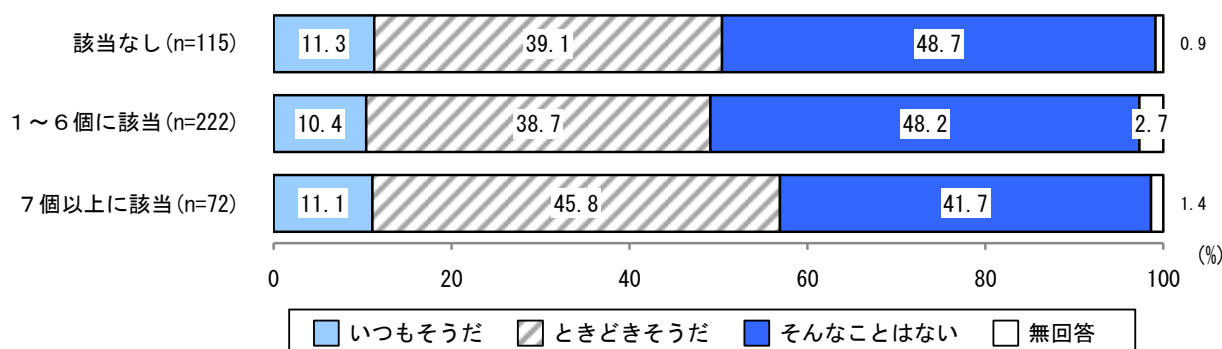
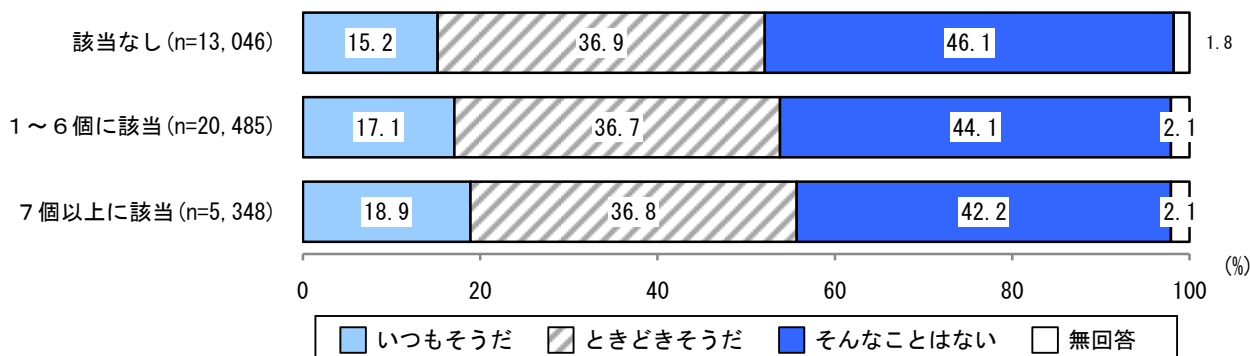


図 79. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で不安な気持ちになると、「いつもそうだ」と回答した人は「該当なし」（11.3％）で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる
(保護者票問7×子ども票問19⑦)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

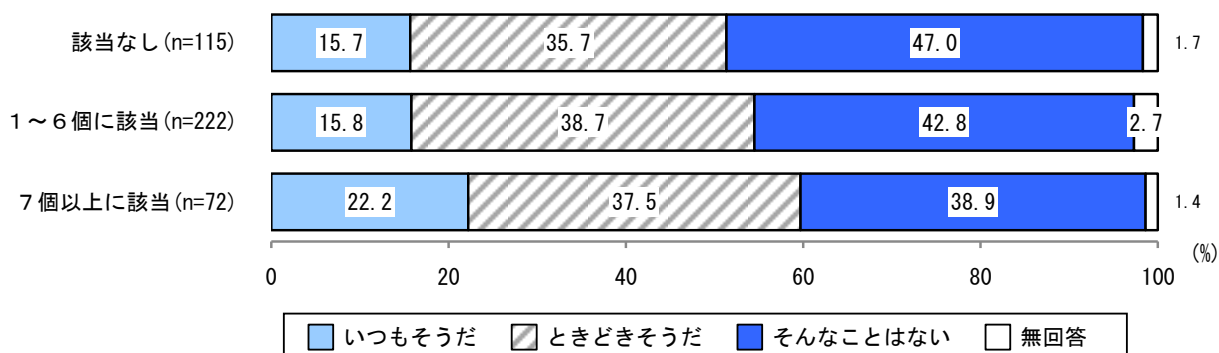
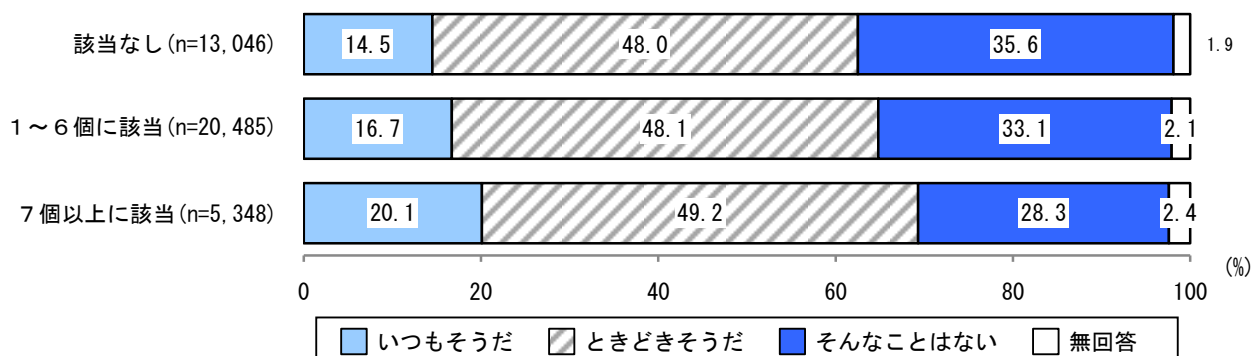


図 80. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でまわりが気になるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が高く、「7個以上に該当」(22.2%)で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない
(保護者票問7×子ども票問19⑧)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

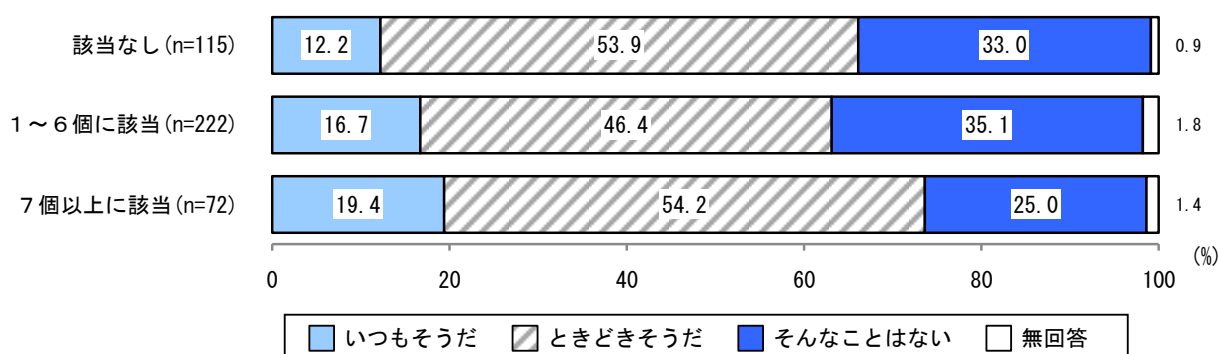
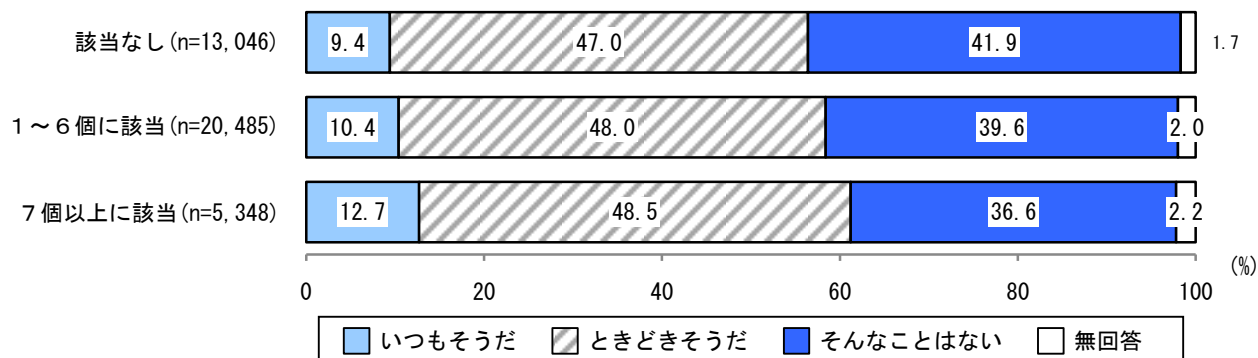


図 81. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でやる気が起きないを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が高く、「7個以上に該当」(19.4%)で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いろいろする
(保護者票問7×子ども票問19⑨)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

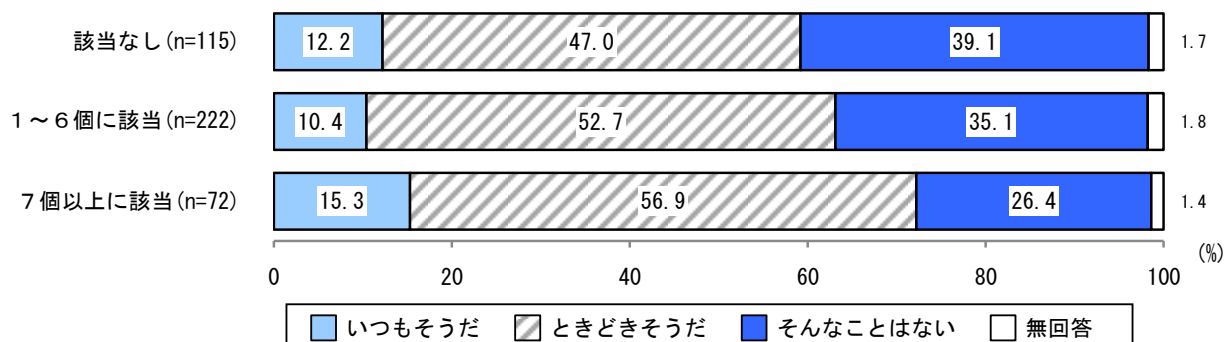
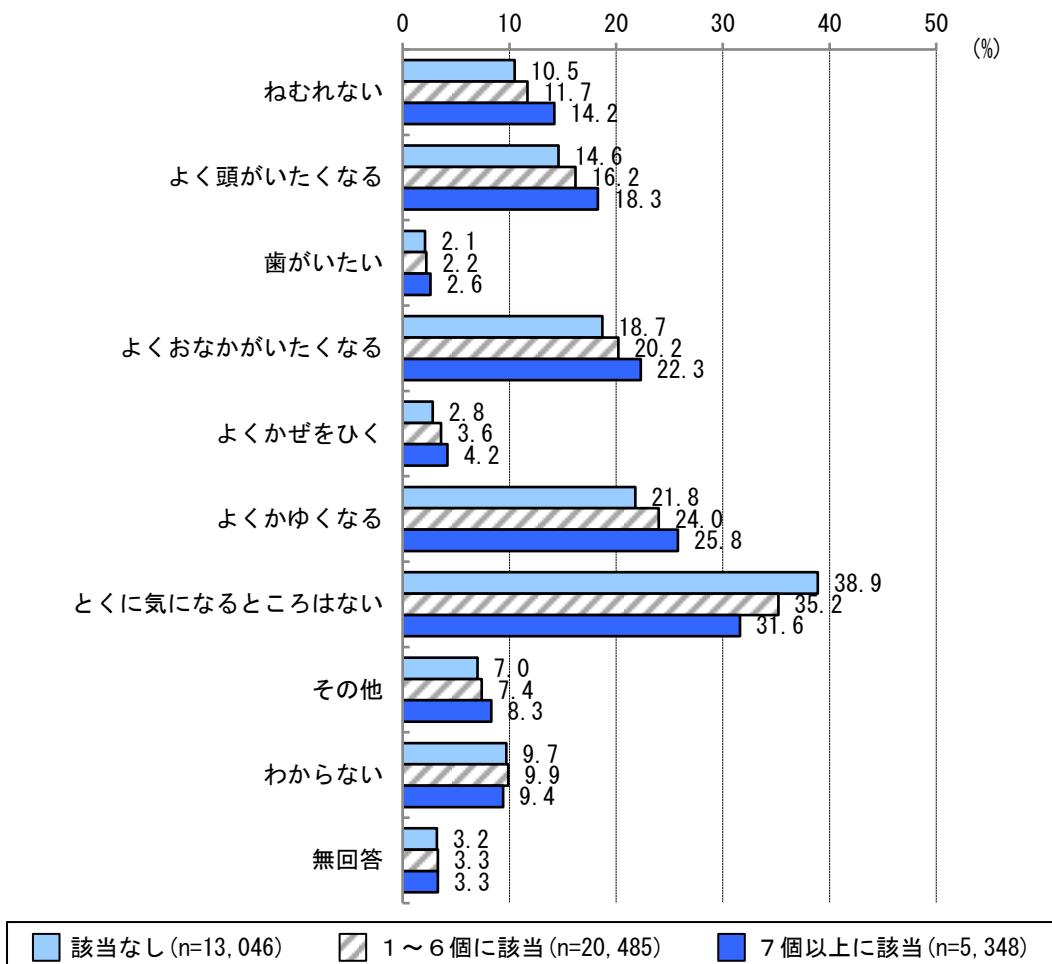


図 82. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いろいろする

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でいろいろするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「7個以上に該当」が15.3%で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること
(保護者票問7×子ども票問20)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

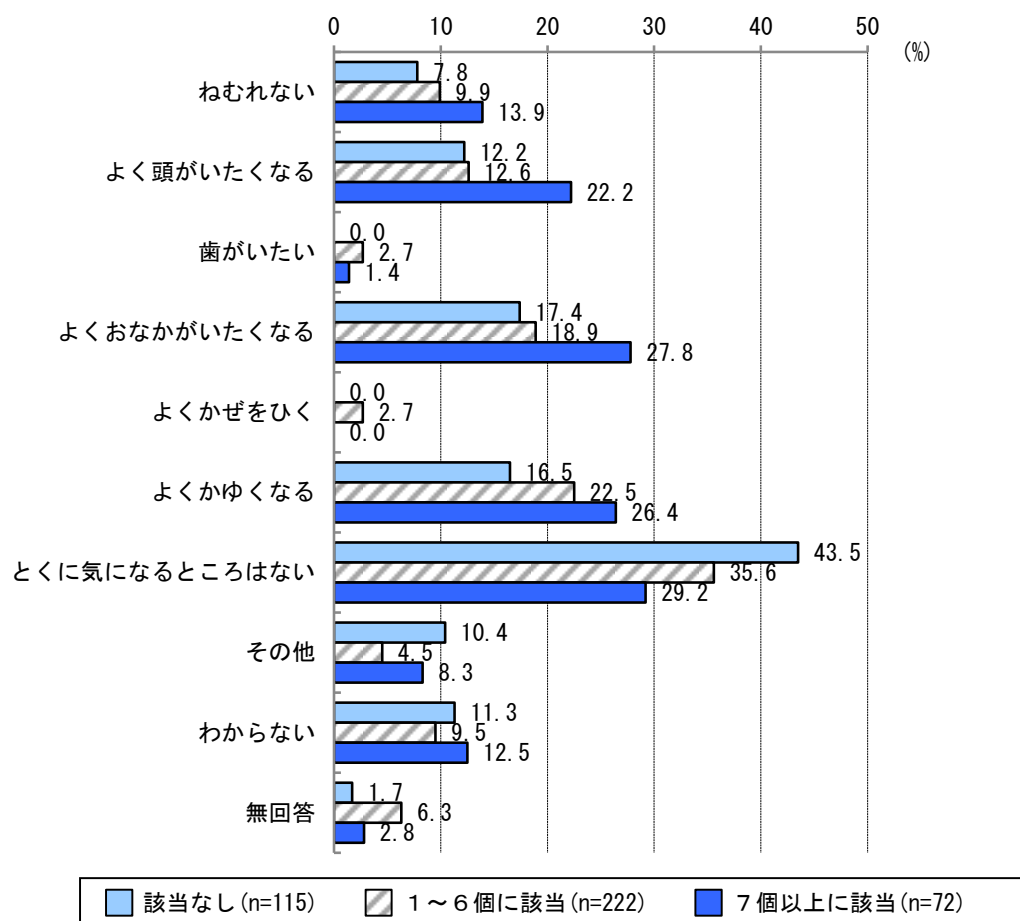
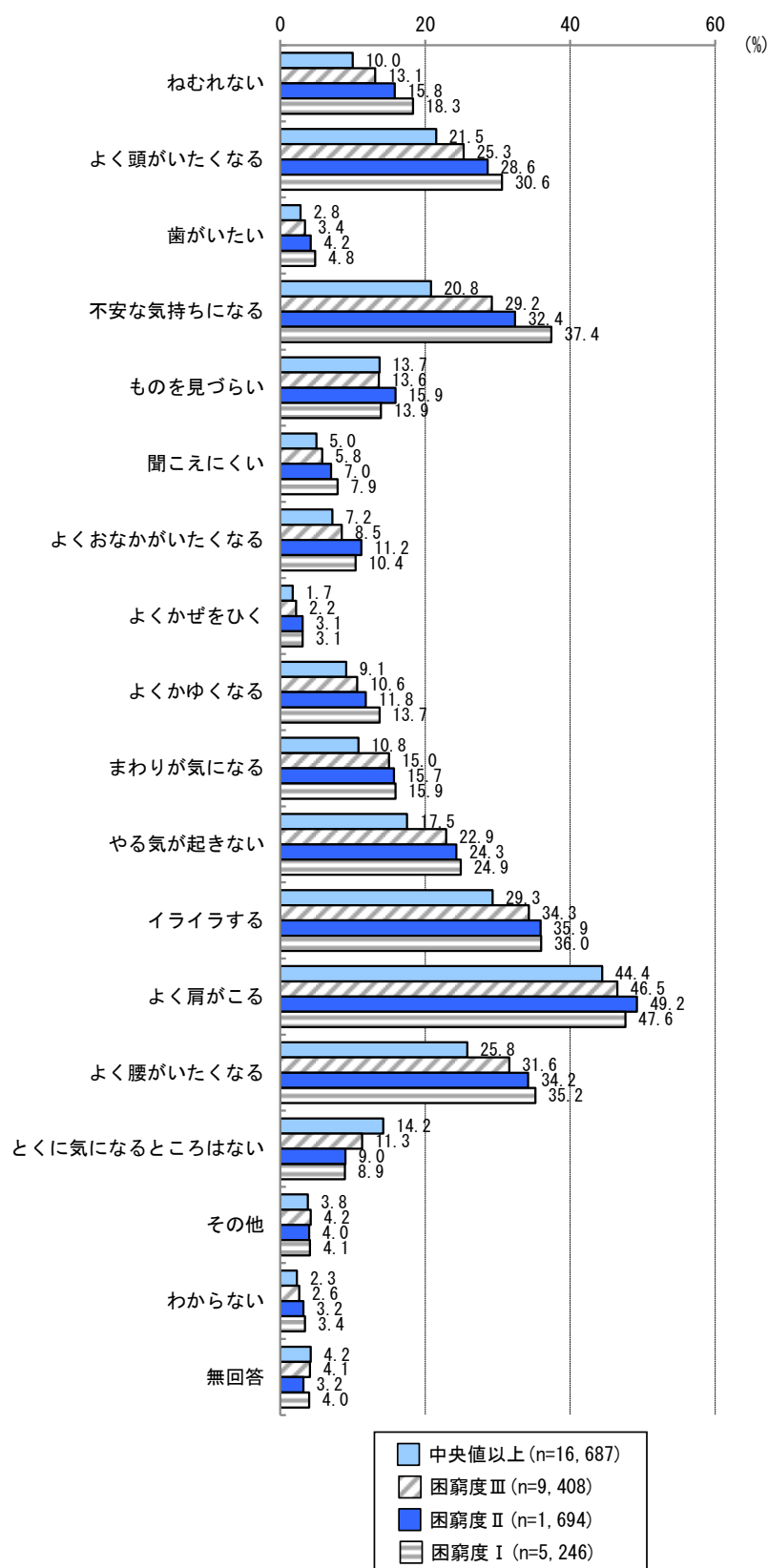


図 83. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体の状態で気になることを見ると、「7個以上に該当」群と「該当なし」群間で差が大きい項目に着目しながら、「7個以上に該当」群の数値を挙げると、「よく頭がいたくなる」22.2%（「該当なし」群に対して1.8倍）、「ねむれない」13.9%（同じく1.8倍）となっている。

困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること（保護者票問 22）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

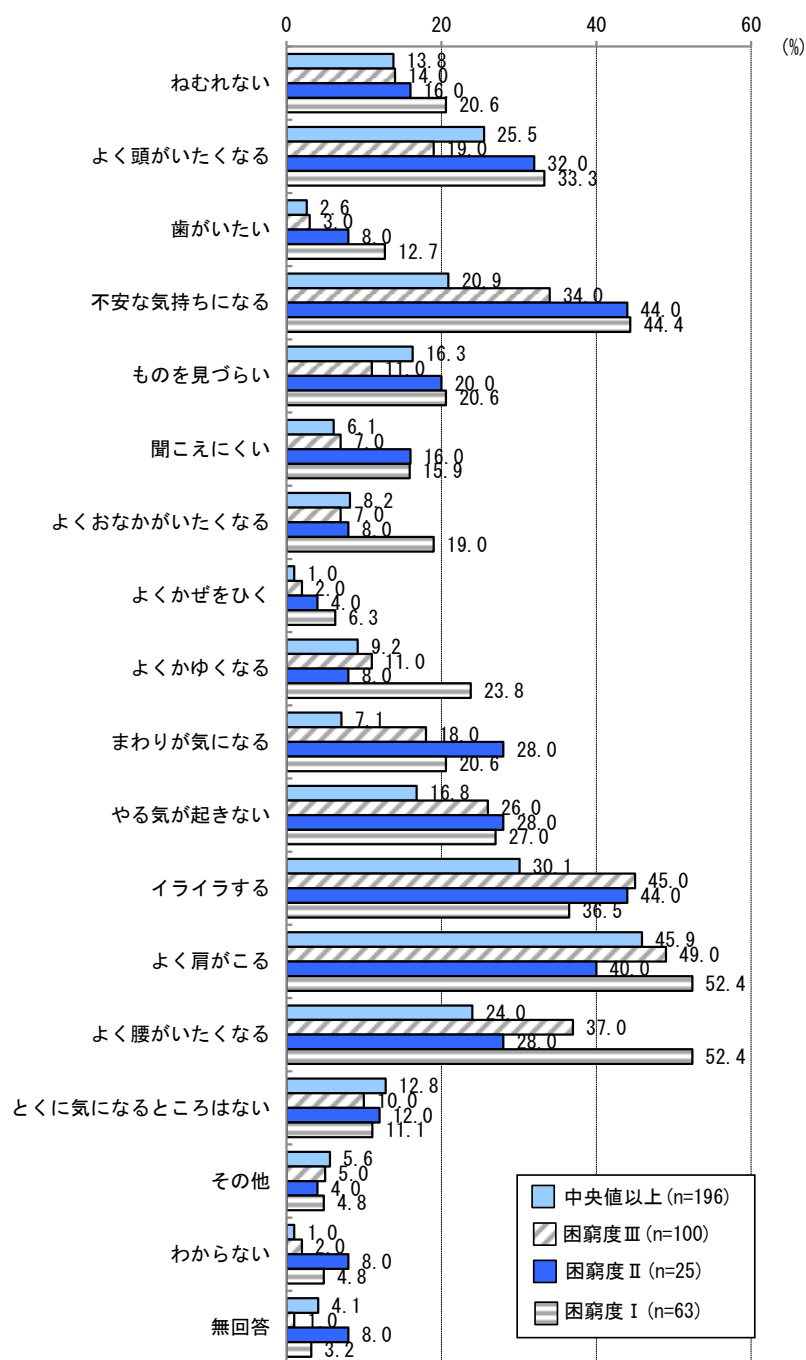
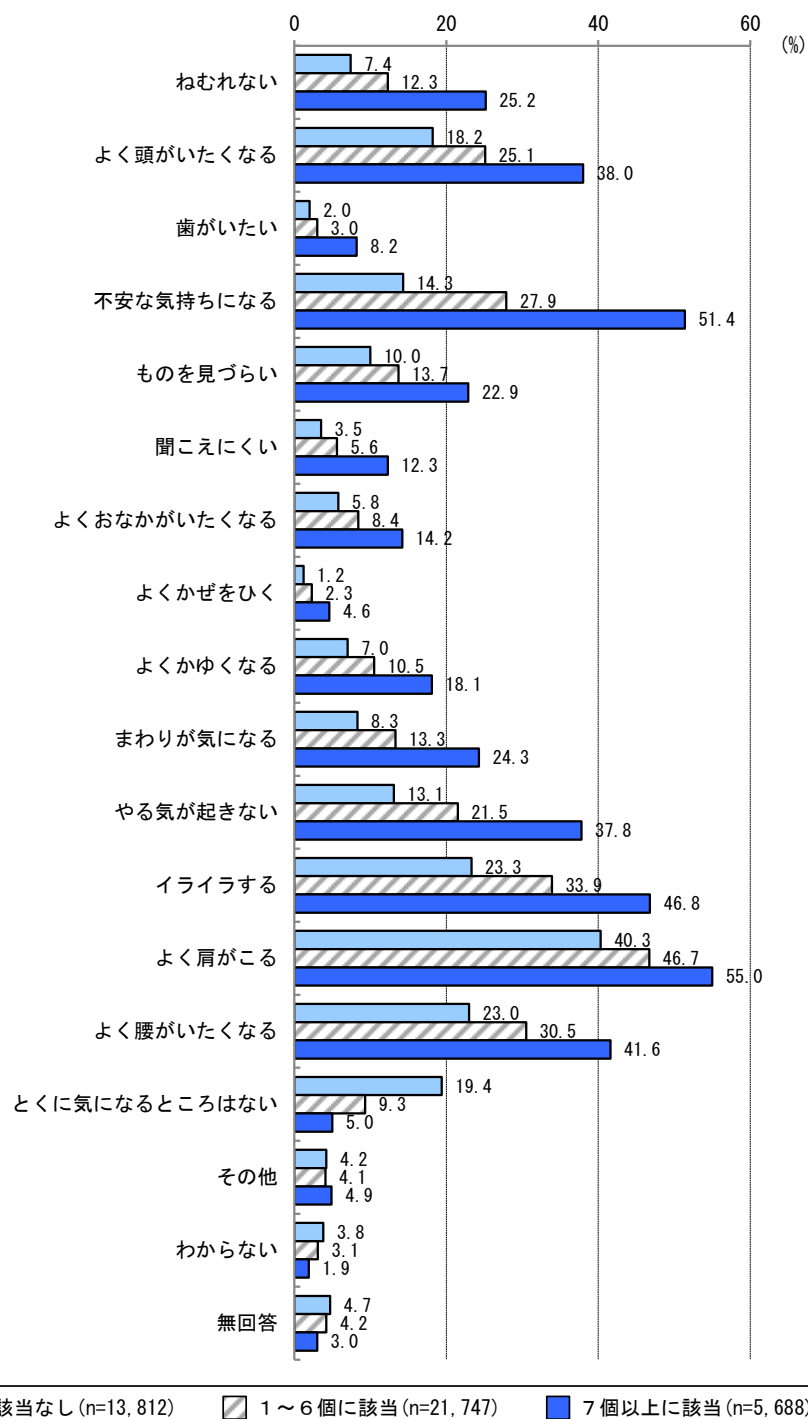


図 84. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること

困窮度別に自分の体や気持ちで気になること（保護者）を見ると、「ねむれない」と「歯がいたい」、「不安な気持ちになる」、「よくかぜをひく」において、困窮度が高まるにつれ、割合が高くなっている。特に、困窮度Ⅰ群に着目して、中央値以上群との差が大きい順に挙げると、「よくかぜをひく」6.3%（中央値以上群に対し、6.3倍）、「歯がいたい」12.7%（同じく4.9倍）となっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること
(保護者票問7×保護者票問22)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

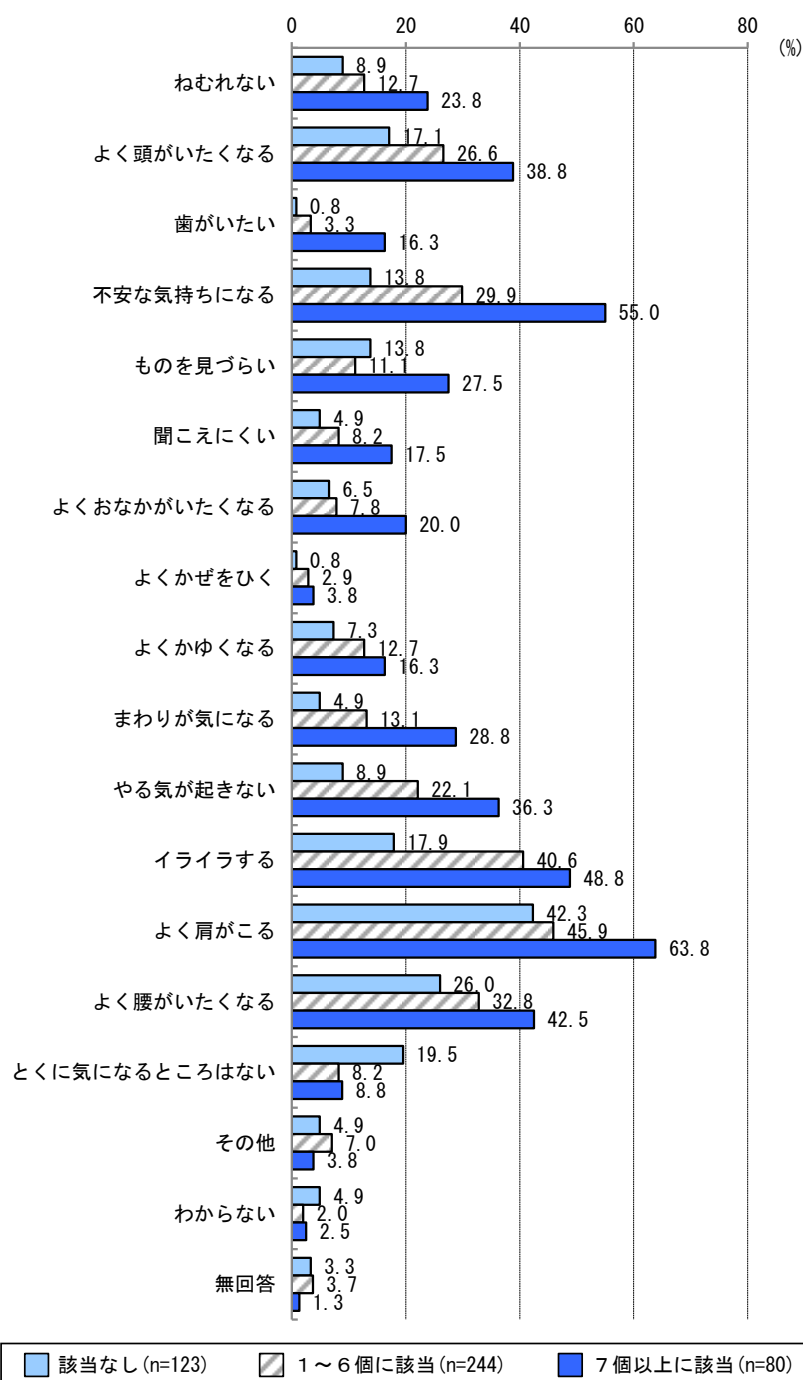
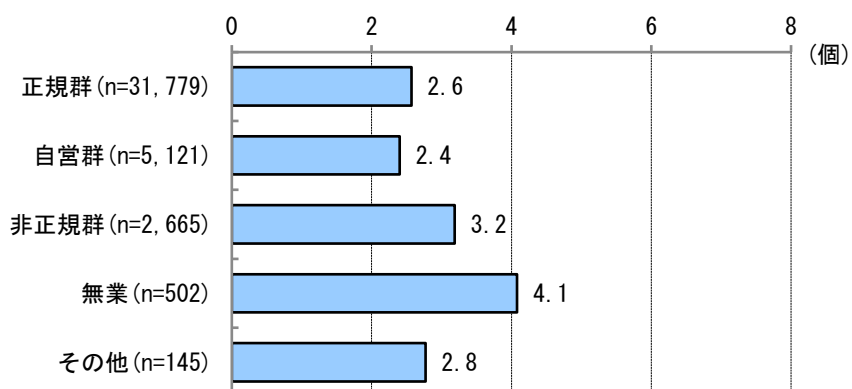


図 85. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体や気持ちで気になること(保護者)を見ると、「ものを見づらい」と「とくに気になるところはない」を除く項目において、経済的な理由による経験の該当数が多くなるにつれて、自分の体や気持ちで気になることのそれぞれの項目が高くなっている。特に、「7個以上に該当」した人と「該当なし」と回答した人との差が大きく開いている。「7個以上に該当」群について、「該当なし」との差が大きい順に挙げると、「歯がいたい」16.3%（「該当なし」に対して20.4倍）、「まわりが気になる」28.8%（同じく5.9倍）となっている。

就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 22）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

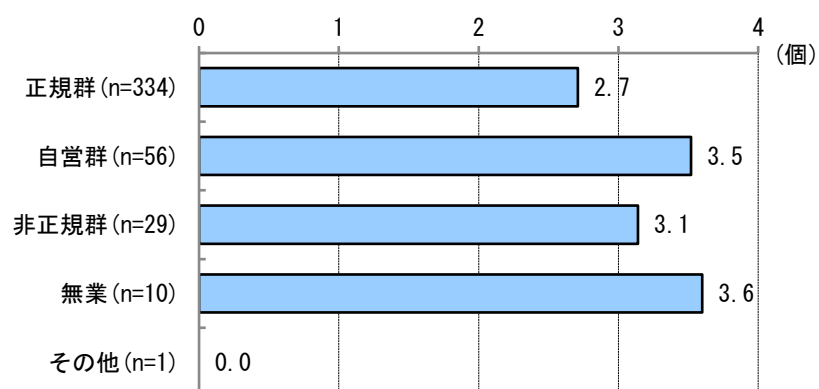


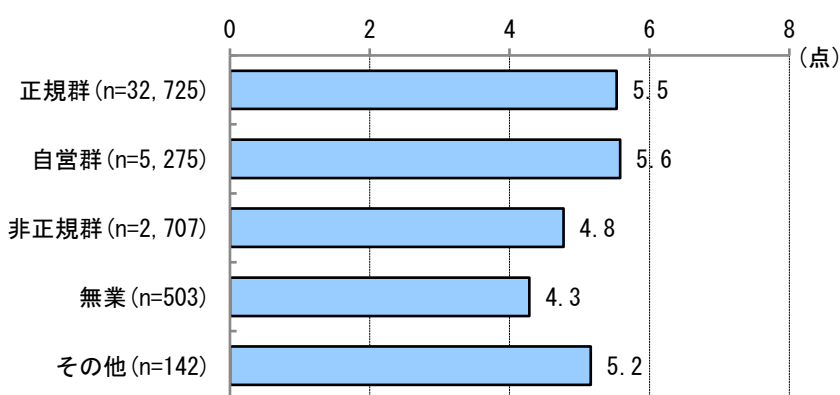
図 86. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

就労状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、「正規群」に対して、「自営群」、「非正規群」、「無業」群において、自分の体や気持ちで気になることの該当個数が増える結果となった。

就労状況別に見た、支えてくれる人得点（保護者票問18）

※「あなたを支え、手伝ってくれる人はいですか」という質問について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びを豊かにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」の7項目を提示した。それぞれの人物が「いる」か「いない」かで評定させたうえで、「いない」を0点、「いる」を1点とし、7項目の合計得点を「支えてくれる人得点」とした。得点が高いほど、身近に支えてくれる人が多く存在することを表す。

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

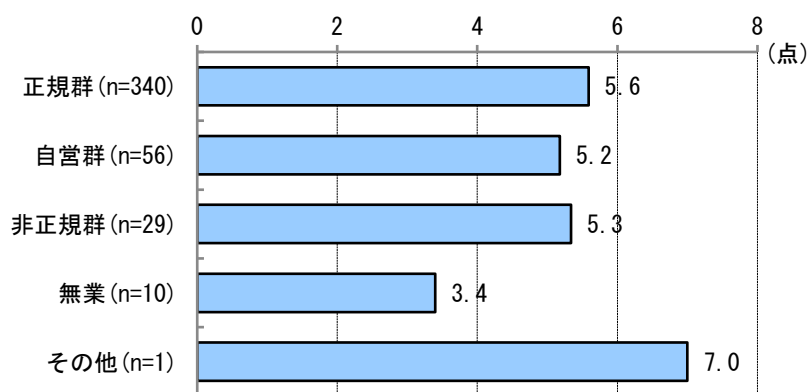
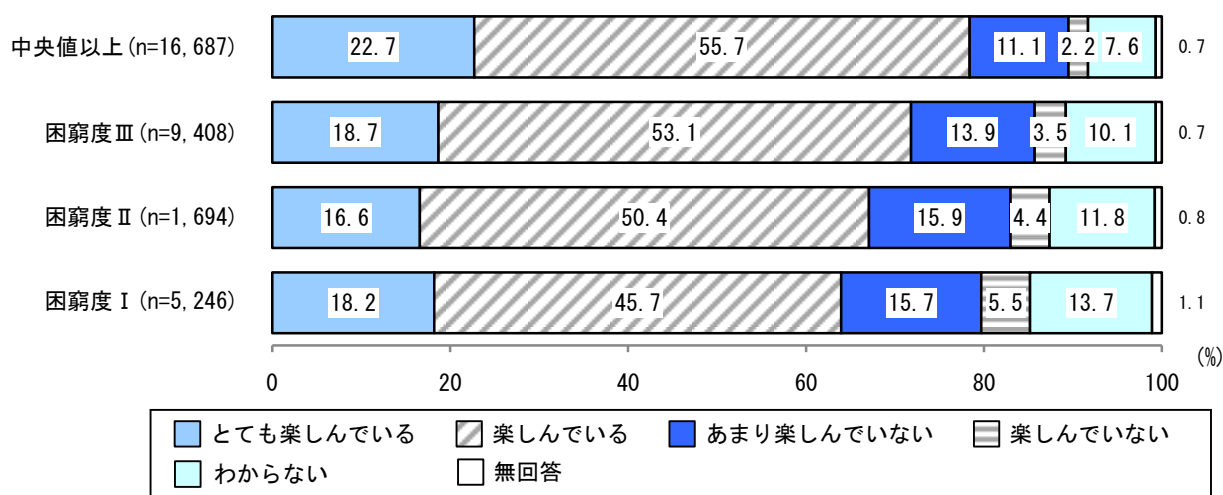


図 87. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点

就労状況別に「支えてくれる人」の有無を得点化し、その平均値を見ると、「正規群」(5.6点)が高く、「非正規群」で5.3点と低下し、「無業」で3.4点と最も低い結果となった。

困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）（保護者票問 21(1)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

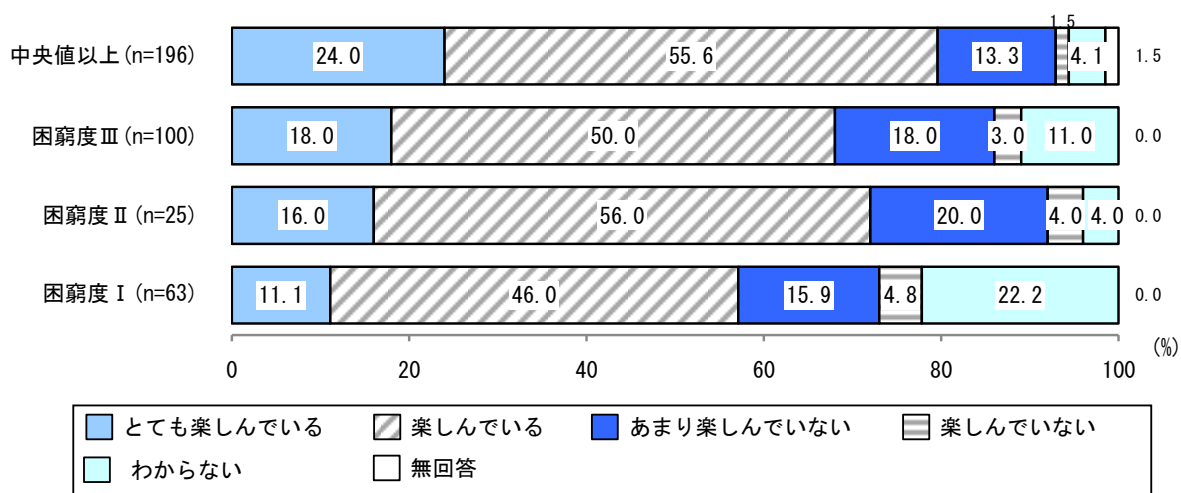
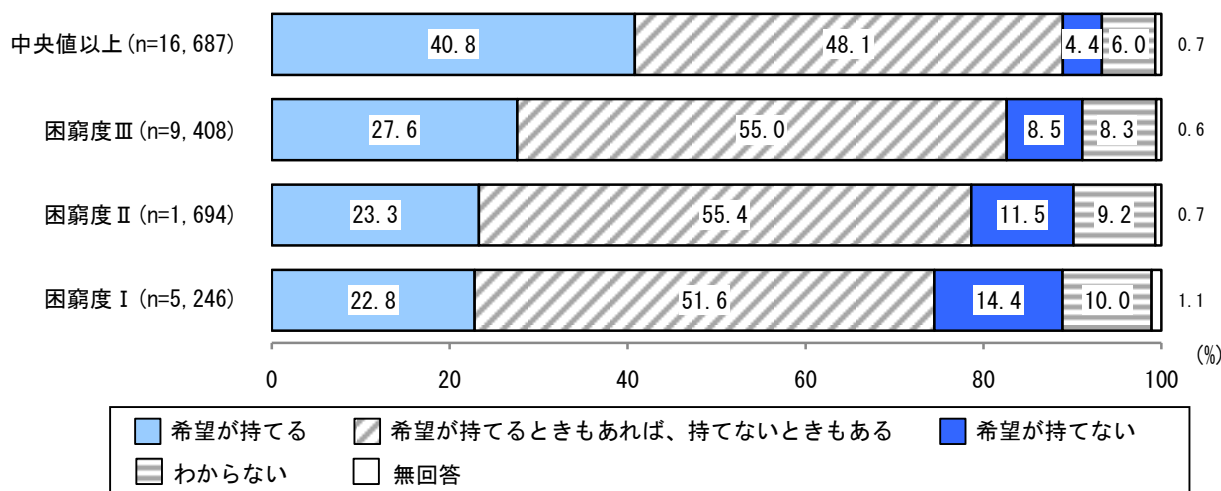


図 88. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）

困窮度別に生活を楽しんでいるかを見ると、「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」をあわせてなんらか『楽しんでいる』割合では、中央値以上群で79.6%と最も高く、続いて、困窮度Ⅱ群で72.0%、困窮度Ⅲ群が68.0%、困窮度Ⅰ群において57.1%と最も低くなった。逆に、「楽しんでいる」と回答した割合は、困窮度が高まるにつれて多くなっている。中央値以上群が1.5%と最も低く、次いで、困窮度Ⅲ群で3.0%、困窮度Ⅱ群で4.0%、困窮度Ⅰ群で4.8%となった。

困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）（保護者票問 21 (2)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

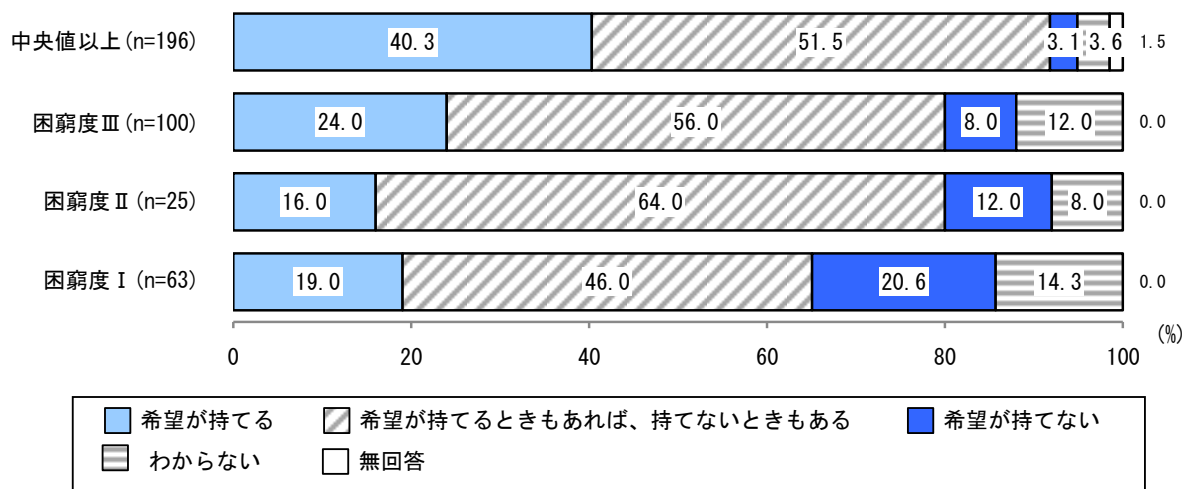
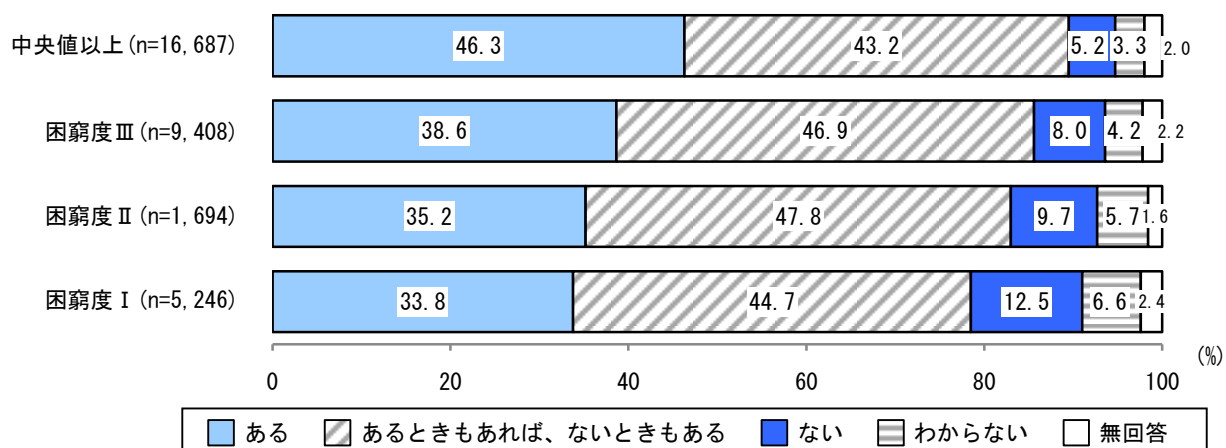


図 89. 困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）

困窮度別に将来への希望を見ると「希望が持てる」と回答する割合は、概ね困窮度が高まるにつれ割合が低く、中央値以上群では40.3%であるのに対し、困窮度Ⅲ群では24.0%、困窮度Ⅰ群が19.0%、困窮度Ⅱ群において16.0%と最も低くなった。

困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）（保護者票問 21(3)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

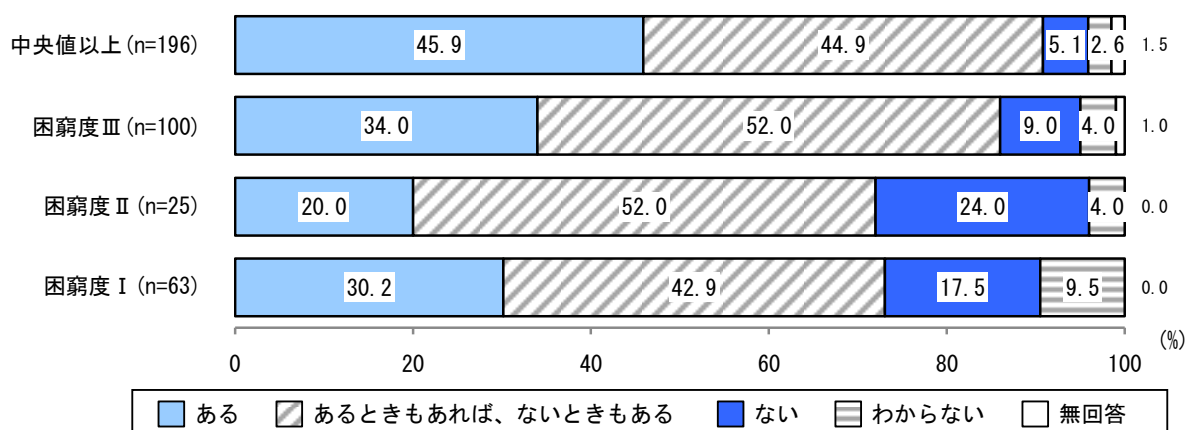
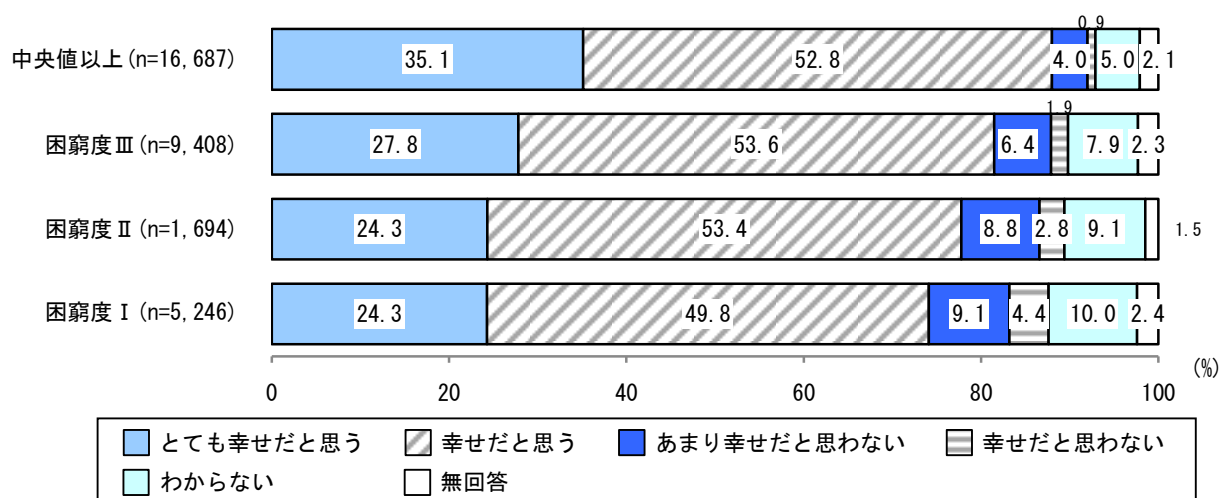


図 90. 困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）

困窮度別にストレスを発散できるものについて、ストレスを発散できるものが「ない」という回答に着目すると、困窮度Ⅱ群が24.0%と最も高くなっている。中央値以上群では、5.1%で最も低く、困窮度Ⅰ群17.5%、困窮度Ⅲ群9.0%となっている。

困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）（保護者票問 21(4)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

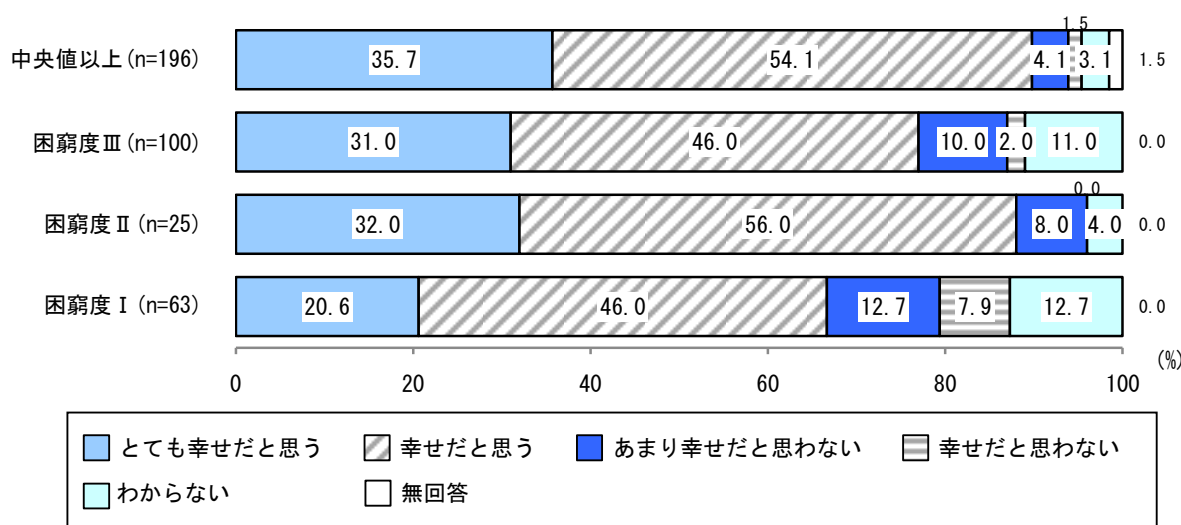


図 91. 困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）

困窮度別に幸せだと思うかを見ると、「とても幸せだと思う」と「幸せだと思う」をあわせて、なんらか『幸せと思う』と回答した割合は、困窮度Ⅰ群（66.6%）で最も低くなっている。逆に、なんらか『幸せではない』（「あまり幸せだと思わない」と「幸せだと思わない」をあわせた割合）と回答する割合は、中央値以上群で5.6%にとどまるのに対して、困窮度Ⅰ群で20.6%、困窮度Ⅲ群で12.0%、困窮度Ⅱ群で8.0%となっている。

<健康に関する考察>

まず、困窮度別に生活習慣と健康状態について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目して述べる。朝食の頻度では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「毎日またはほとんど毎日」(89.4%対80.3%)が約10ポイント高くなっている。子どもの自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「よくかゆくなる」(21.3%対19.6%)が5ポイント以上高く、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「とくに気になるところはない」(41.3%対31.1%)が10ポイント以上高くなっている。保護者の自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「ねむれない」(20.6%対13.8%)、「よく頭がいたくなる」(33.3%対25.5%)、「歯がいたい」(12.7%対2.6%)、「聞こえにくい」(15.9%対6.1%)、「よくかぜをひく」(6.3%対1.0%)、「やる気が起きない」(27.0%対16.8%)、「イライラする」(36.5%対30.1%)、「よく肩がこる」(52.4%対45.9%)がいずれも5ポイント以上、「不安な気持ちになる」(44.4%対20.9%)、「よくおなかがいたくなる」(19.0%対8.2%)、「よくかゆくなる」(23.8%対9.2%)、「まわりが気になる」(20.6%対7.1%)、「よく腰がいたくなる」(52.4%対24.0%)では10ポイント以上高くなっている。また、子どもの心の状態を見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「楽しみにしていることがたくさんある」で「いつもそうだ」(49.2%対37.7%)、「遊びに出かけるのが好きだ」で「いつもそうだ」(65.9%対54.1%)、「元気いっぱいだ」で「いつもそうだ」(58.1%対41.0%)がそれぞれ10ポイント以上高くなっている。困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「やろうとおもったことがうまくできる」で「そんなことはない」(24.6%対14.5%)が10ポイント以上高くなっている。次に、保護者の心の状態を見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、生活を「とても楽しんでいる」(24.0%対11.1%)が10ポイント以上、将来に対して「希望が持てる」(40.3%対19.0%)が20ポイント以上高くなっており、ストレスを発散できるものが「ある」(45.9%対30.2%)、自分が「とても幸せだと思う」(35.7%対20.6%)が15ポイント以上高くなっている。

次に、経済的な理由による保護者の経験の該当数別に子どものこの一週間気持ちや状況との関連を見ると、個数が増えるにしたがって、子どもは「やる気が起きない」で「いつもそうだ」の割合が高くなる傾向にある。自覚症状との関連では、個数が増えるにしたがって子どもは「ねむれない」「よく頭がいたくなる」「よくおなかがいたくなる」「よくかゆくなる」の割合が高くなる傾向にあり、保護者では「ねむれない」「よく頭がいたくなる」「歯がいたい」「不安な気持ちになる」「聞こえにくい」「よくおなかがいたくなる」「よくかぜをひく」「よくかゆくなる」「まわりが気になる」「やる気が起きない」「イライラする」「よく肩がこる」「よく腰がいたくなる」の割合が高くなる傾向にある。これらの結果から、経済的に困難な世帯では、保護者では不安な気持ちになったりイライラしたりするなどメンタルヘルスに影響が出ている可能性があり、同時に肩こりや腰痛が多く、肉体労働に従事している可能性や、心身の休養が不十分である可能性がうかがえる。また、経済的に困難な世帯では、保護者・子どもいずれも不眠を感じており、将来不安による健康影響が懸念される。一方で、経済的に困難のない世帯の保護者は、ストレス発散ができていたり、幸福感を感じていたりするなど、望ましい状態で過ごすことができている。

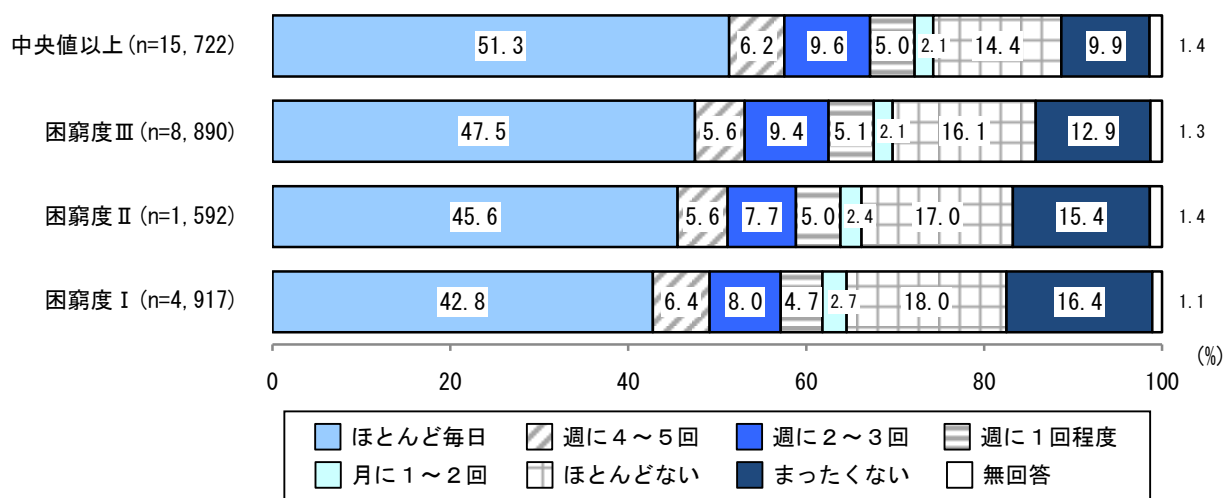
続いて、保護者の就業状況別の生活習慣や健康状態を見てみる。親の就業状況別の朝食の頻度では、「正規群」「自営群」「非正規群」の3群において、「毎日またはほとんど毎日」朝食を摂っている割合が高く(88.2%、87.0%、84.6%)、「無業」では半数の割合(50.0%)となっている。また、「支えてくれる人得点」の満点(7点)の割合は「正規群」「非正規群」「自営群」「無業」の順に(46.4%、37.9%、36.8%、10.0%)となっている。この結果から、親が何らかの職に就いている世帯では、朝食を摂る習慣があることがうかがえる。また親が「無業」の世帯ではソーシャルサポートの不足が示唆される。

最後に、食事習慣別の親子関係や健康状態に着目する。朝食の頻度別に見ると、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、子どもを「とても信頼している」(59.8%対12.5%)、子どもの将来に「とても期待している+期待している」(85.3%対62.5%)がいずれも15ポイント以上高くなっている。また、「食べない」群では「毎日またはほとんど毎日」食べている群に比べ、休日に子どもと関わる時間が「2時間未満」(25.0%対13.3%)が10ポイント以上高くなっている。子どもの自己効力感では、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、1点以上高くなっている。これらの結果から、ほぼ毎日規則正しく朝食を摂ることは、保護者と子どもの関係をより良くするとともに、子どもの自己効力感を高める可能性が示唆された。

3-4. 家庭生活、学習

困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか（子ども票問8①）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

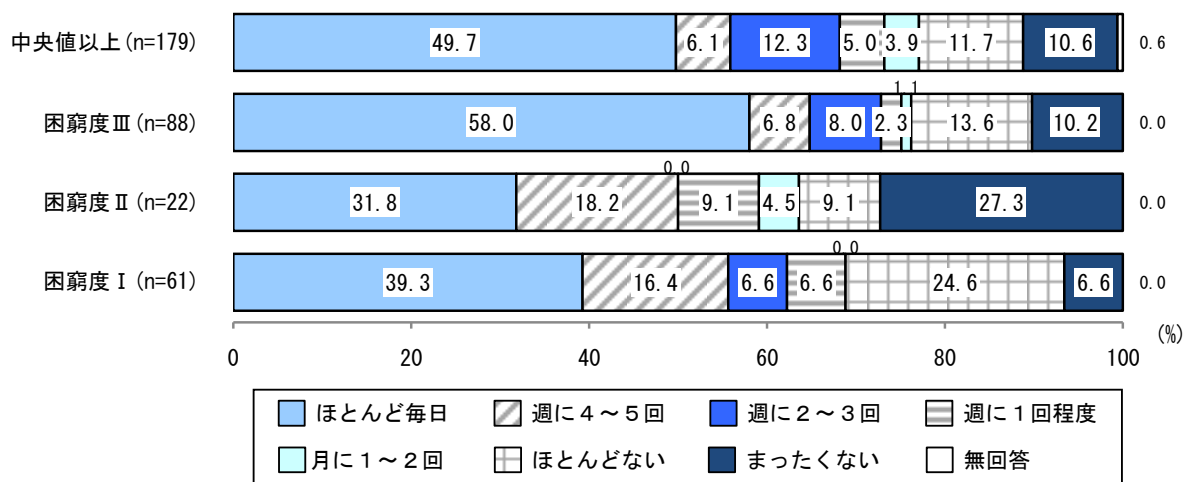
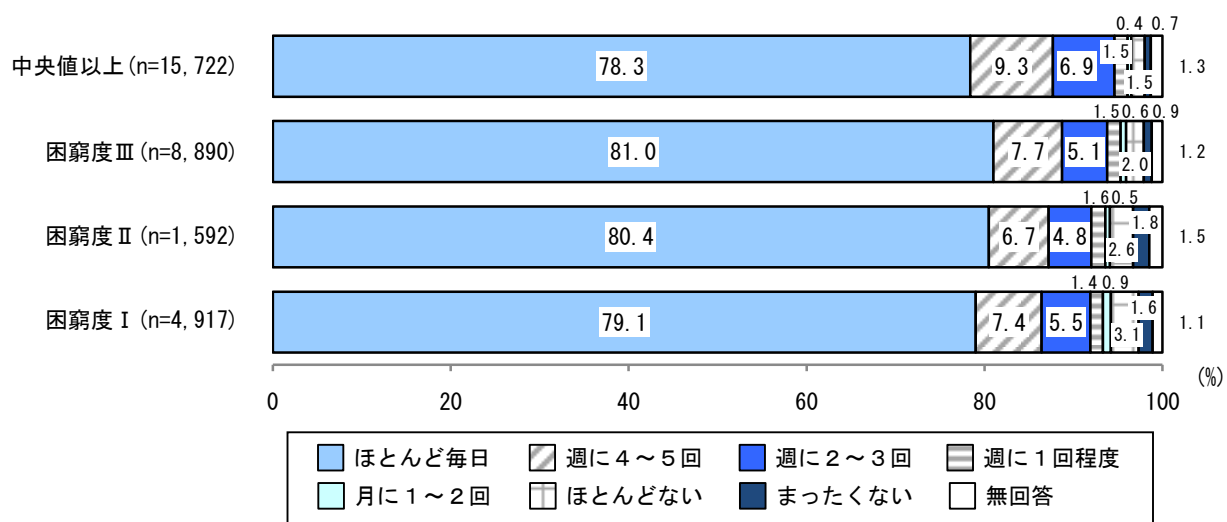


図 92. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

困窮度別におうちの大人の人と一緒に朝食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は困窮度Ⅲ群が58.0%で最も高く、次いで中央値以上群が49.7%となっている。一方、「まったくない」の割合は困窮度Ⅱ群が27.3%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか（子ども票問8②）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

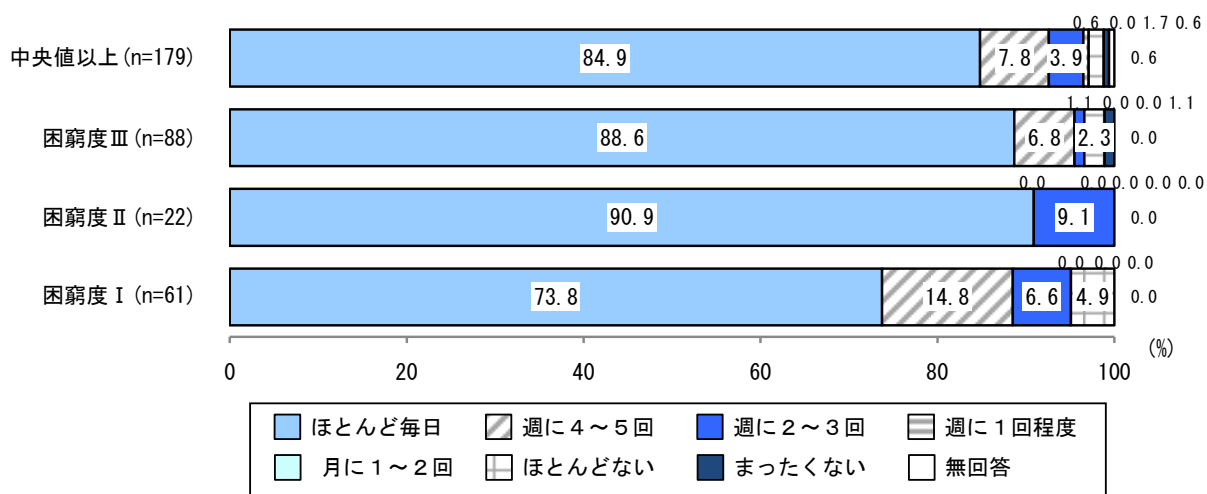
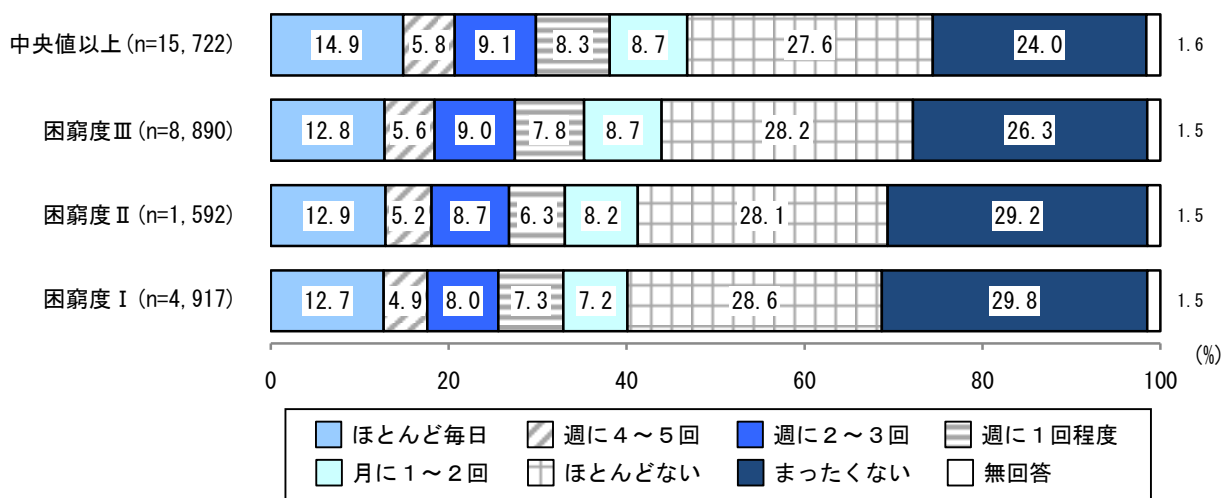


図 93. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

困窮度別におうちの大人の人と一緒に夕食を食べているかを見ると、困窮度Ⅱ群において、「ほとんど毎日」の割合が90.9%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか（子ども票問8⑤）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

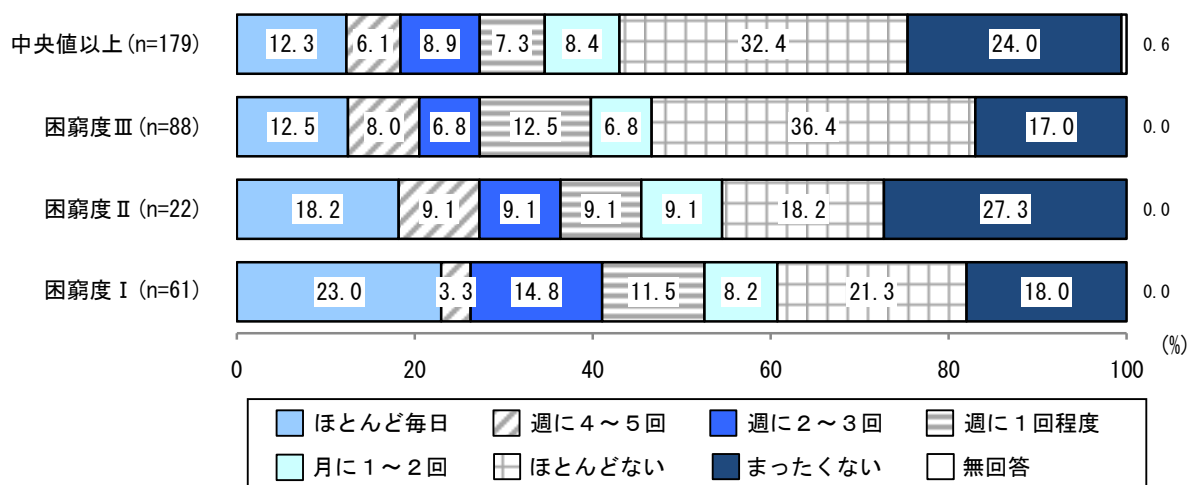
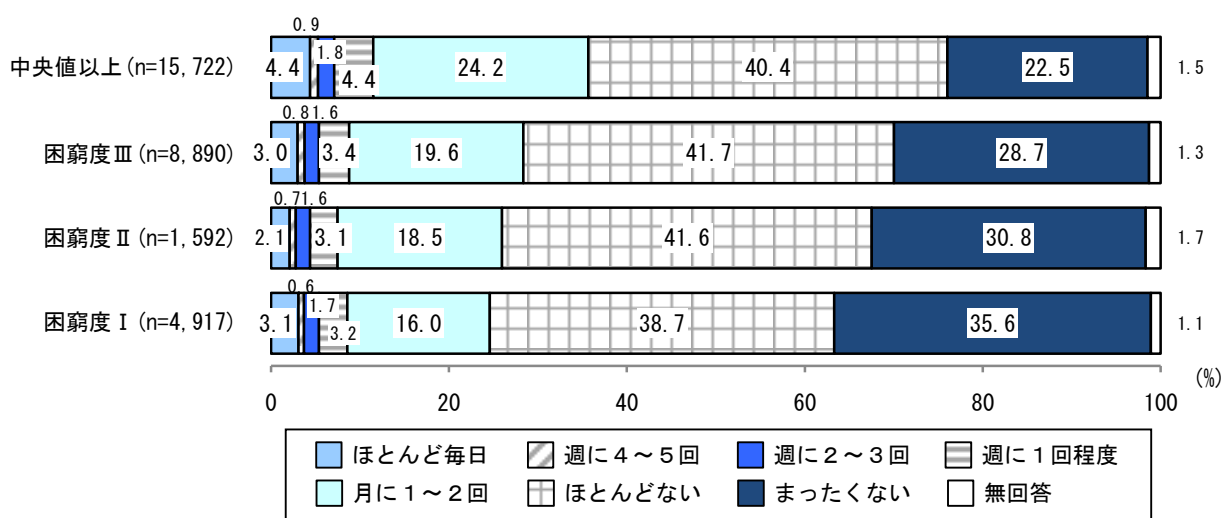


図 94. 困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

困窮度別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）を見ると、「ほとんど毎日」と回答した人は困窮度Ⅰ群（23.0%）で最も高く、困窮度が高まるにつれ「ほとんど毎日」と回答する割合が高くなっている。「まったくない」は困窮度Ⅱ群が27.3%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか（子ども票問8⑨）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

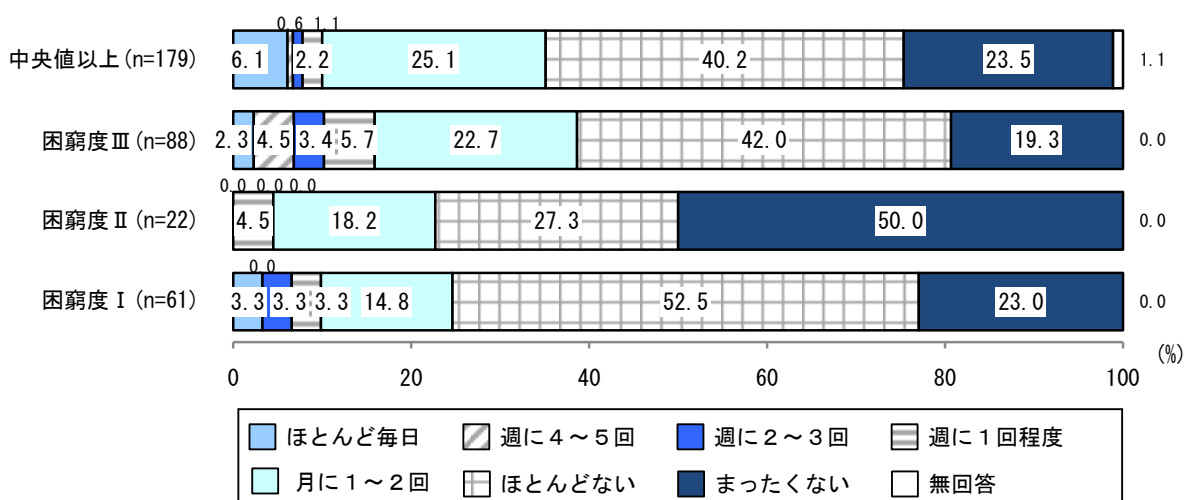
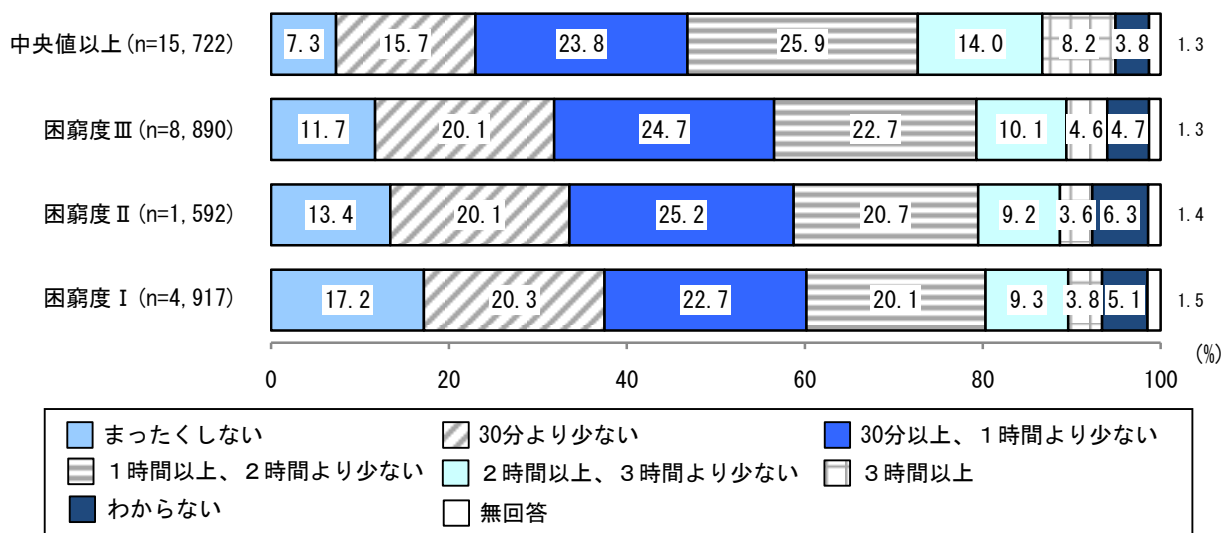


図 95. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか

困窮度別におうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「まったくない」と回答した人は困窮度Ⅱ群が50.0%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）
（子ども票問 13①）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

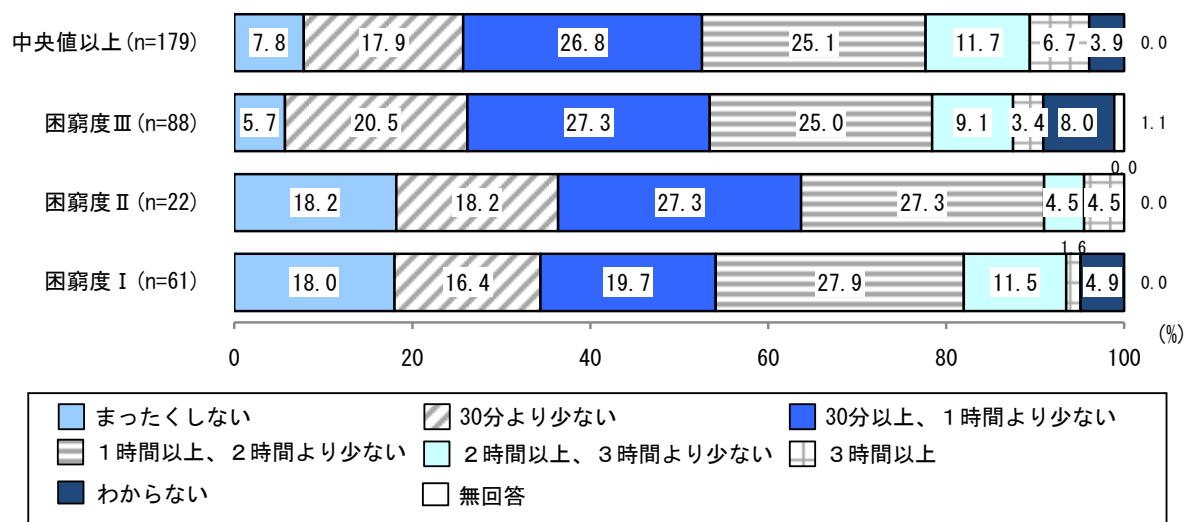
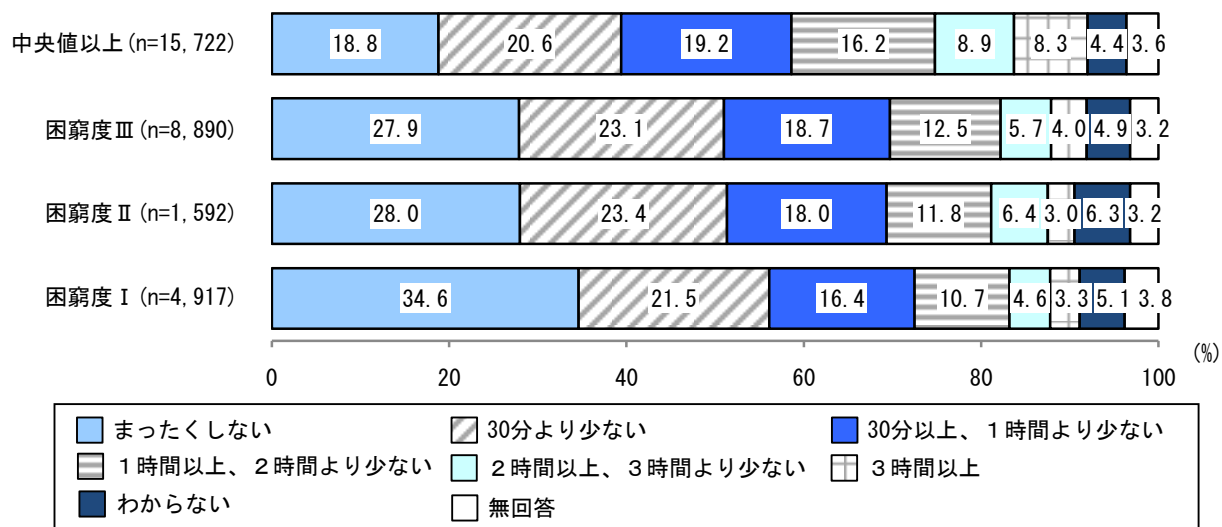


図 96. 困窮度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間（学校がある日）

困窮度別に授業以外の勉強時間を見ると、学校のある日では、「まったくしない」と回答した人の割合は困窮度Ⅱ群が18.2%で最も高くなっている。「30分より少ない」と回答した人は困窮度Ⅲ群が20.5%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）
（子ども票問 13②）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

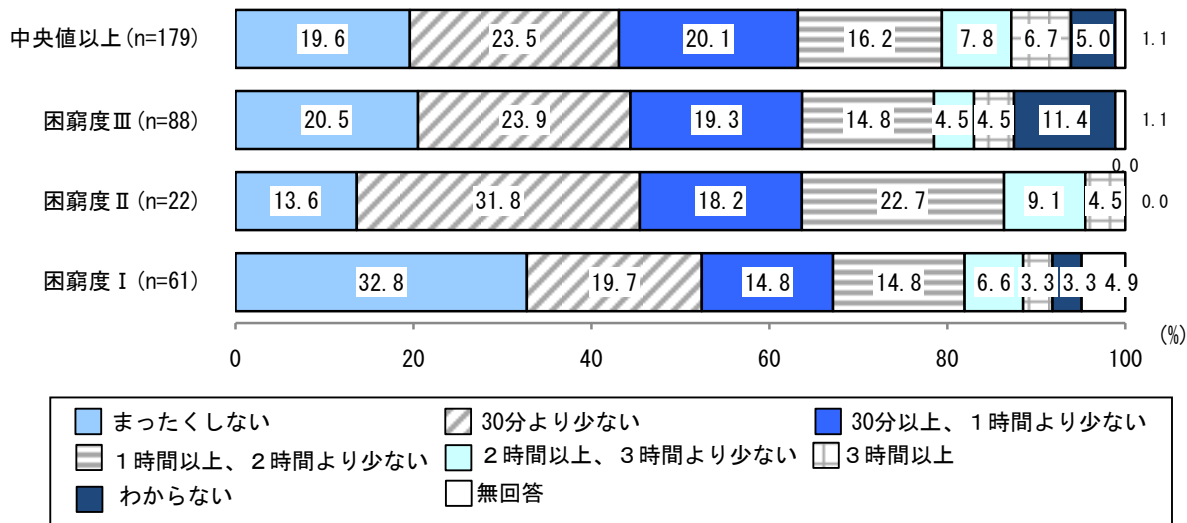
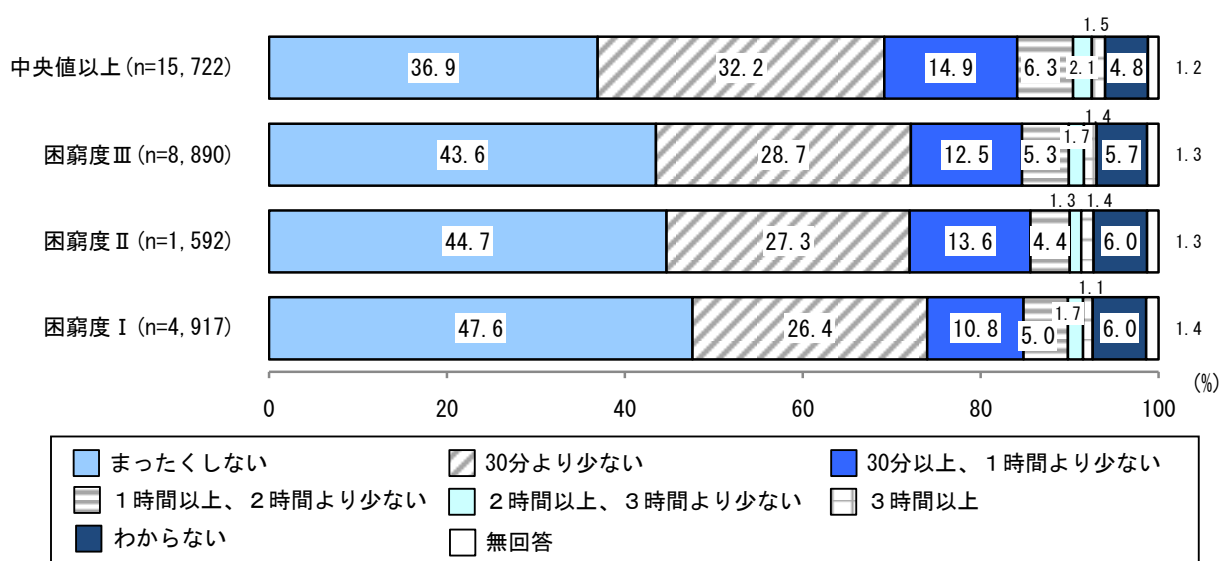


図 97. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）

困窮度別に授業以外の勉強時間を見ると、学校がない日では、困窮度Ⅰ群では、「まったくしない」と回答した人は32.8%と最も高く、次いで困窮度Ⅲ群が20.5%となっている。

困窮度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問 15）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

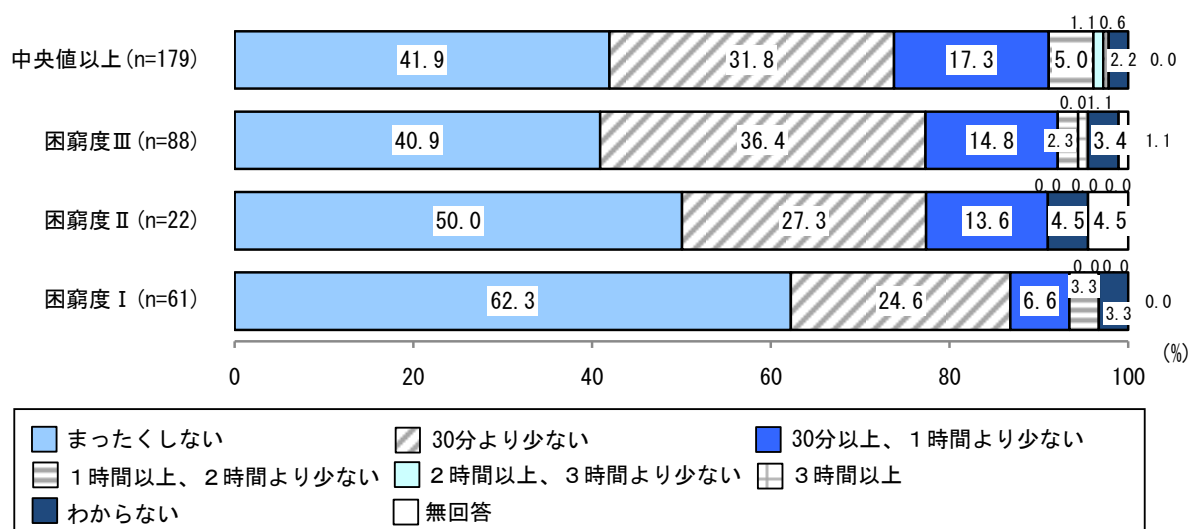
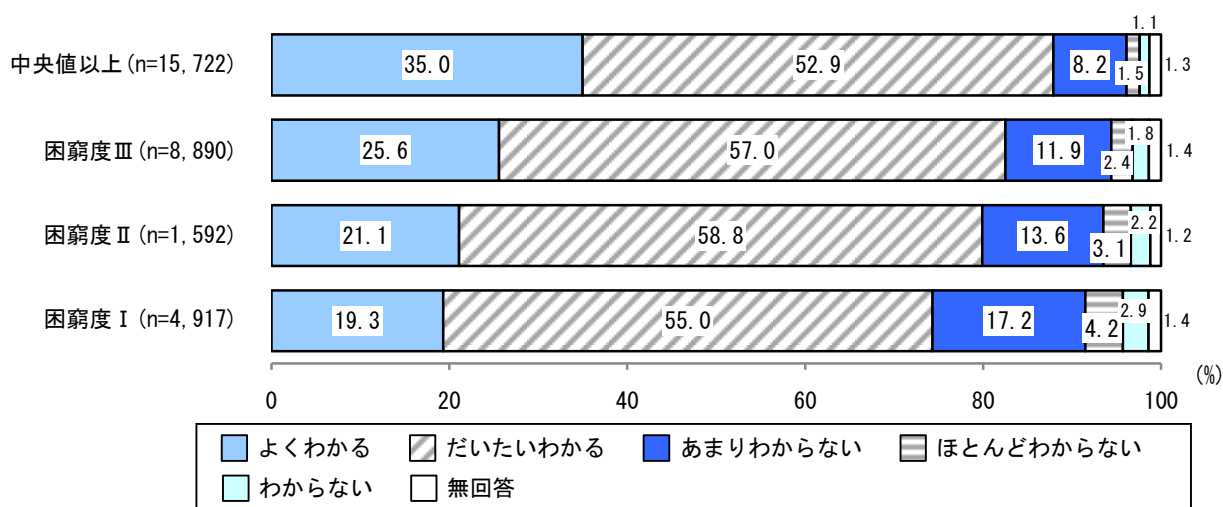


図 98. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間

困窮度別に授業以外の読書時間を見ると、困窮度Ⅰ群で「まったくしない」と回答した人は62.3%、困窮度Ⅱ群では50.0%となっている。

困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの（子ども票問 14(1)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

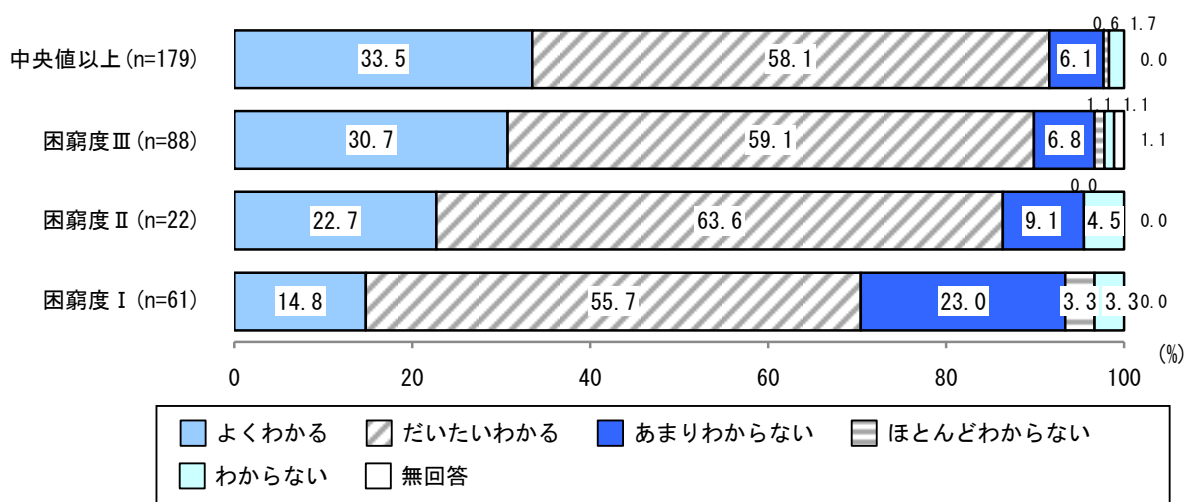


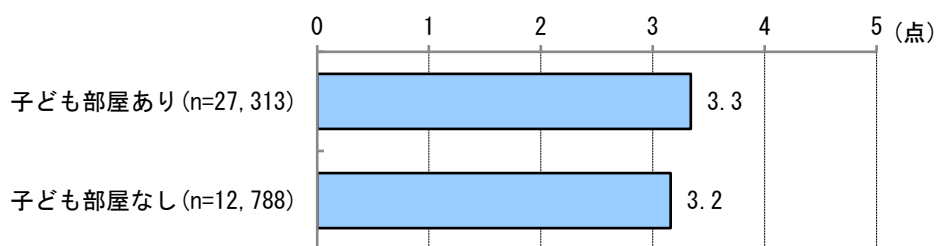
図 99. 困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの

困窮度別に学校の勉強で気持ちに近いものを見ると、「よくわかる」と回答した人は困窮度Ⅰ群（14.8%）で最も低く、困窮度が高まるにつれ「よくわかる」と回答する割合が低くなっている。「わからない」と回答した人は、困窮度Ⅱ群が4.5%で最も高くなっている。

子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 ①学校がある日
(月～金曜日)(子ども票問21×子ども票問13①)

※勉強時間について、「1. まったくしない」「2. 30分より少ない」「3. 30分以上、1時間より少ない」「4. 1時間以上、2時間より少ない」「5. 2時間以上、3時間より少ない」「6. 3時間以上」の6つの時間枠からひとつを選択させた(「7. わからない」は除く)。項目番号を勉強時間の得点とみなし、得点が高いほど、勉強時間が長いことを表す。

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

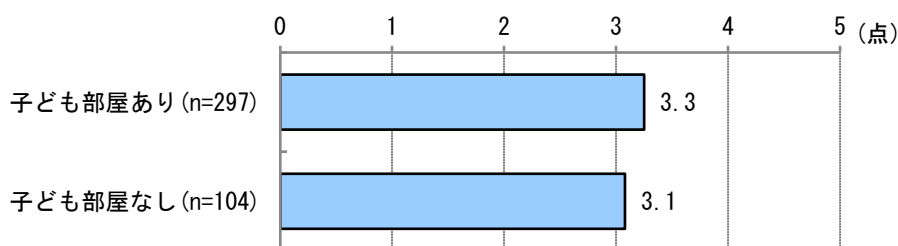
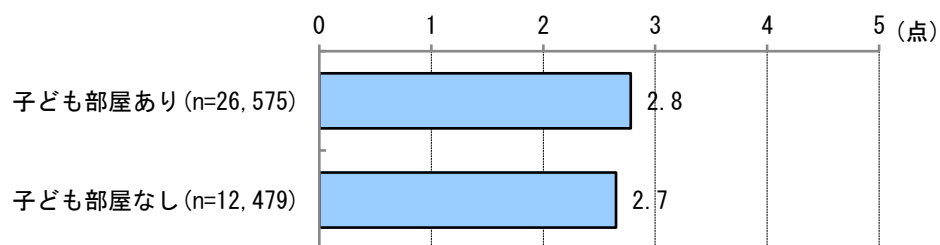


図 100. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 (学校がある日)

子ども部屋の有無別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、子ども部屋がある子どもの方が、勉強時間が長い。

子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 ②学校がない日
(土・日曜日・祝日)(子ども票問21×子ども票問13②)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

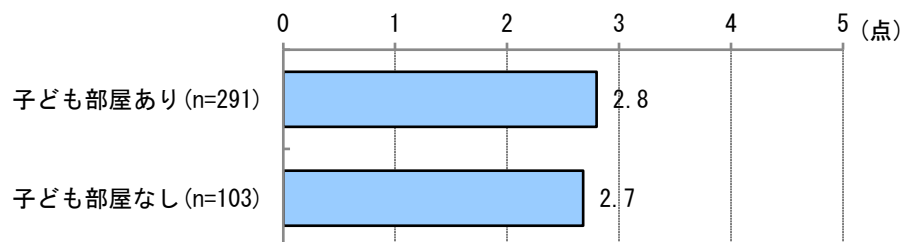
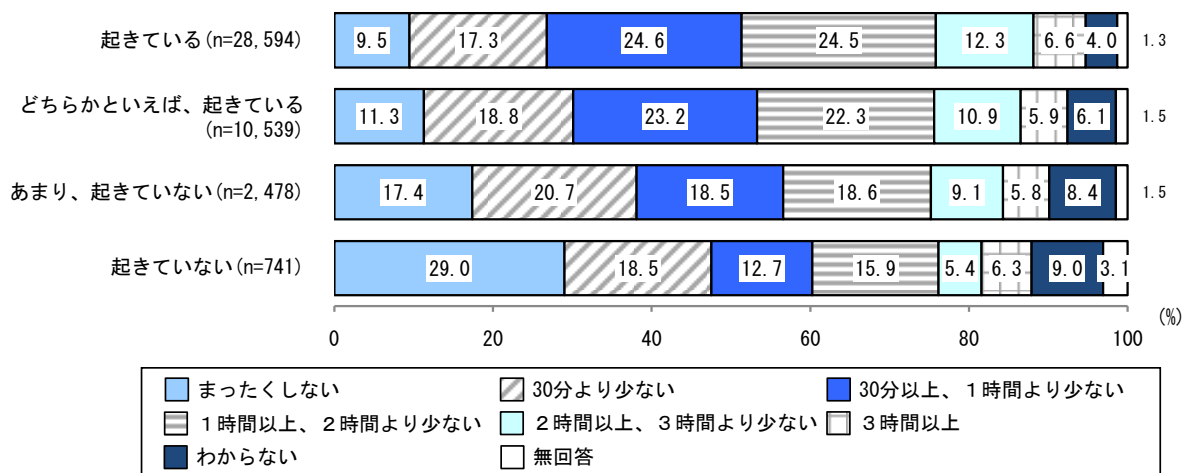


図 101. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 (学校がない日)

子ども部屋の有無別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、子ども部屋がある子どもの方が、勉強時間が長い。

起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問 2 × 子ども票問 13①）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

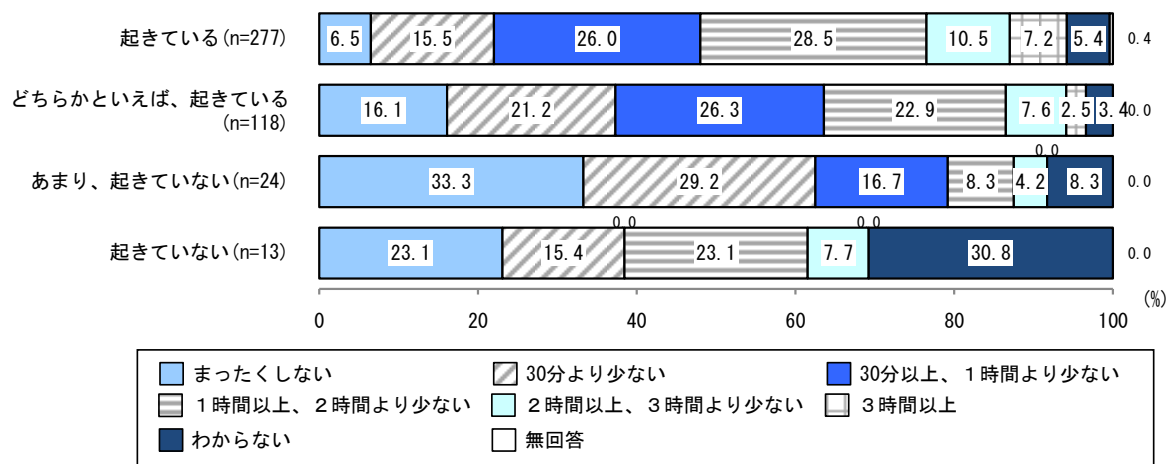
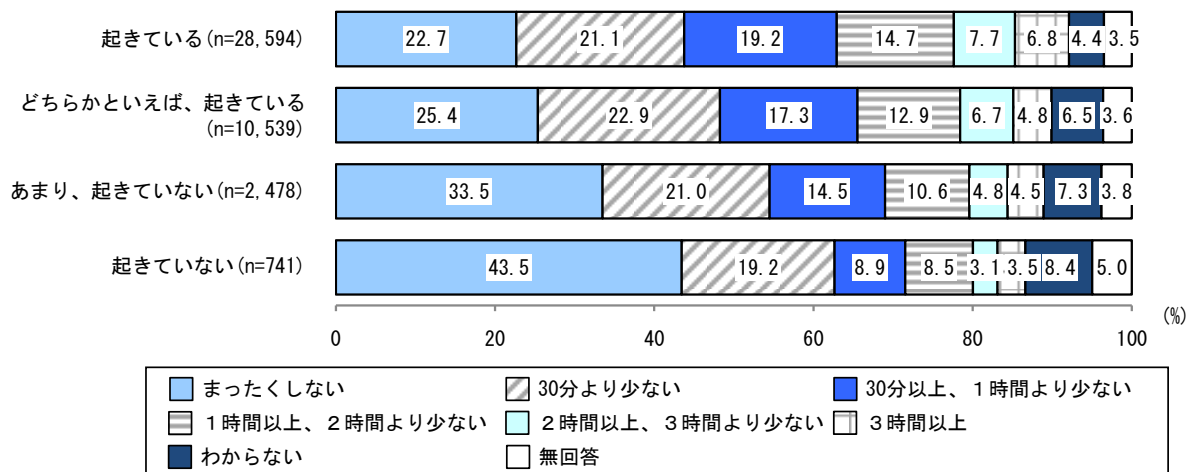


図 102. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間（学校がある日）

起床時間の規則性別に学校がある日の授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間を見ると、ふだん同じ時刻にあまり起きていない人で「まったくしない」の回答の割合が33.3%と最も高くなっている。

起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問2×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

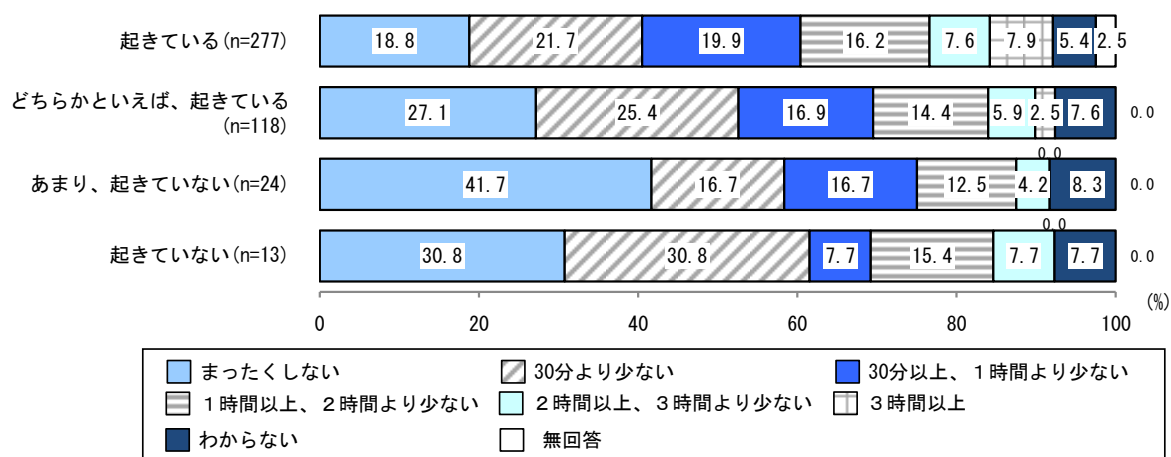
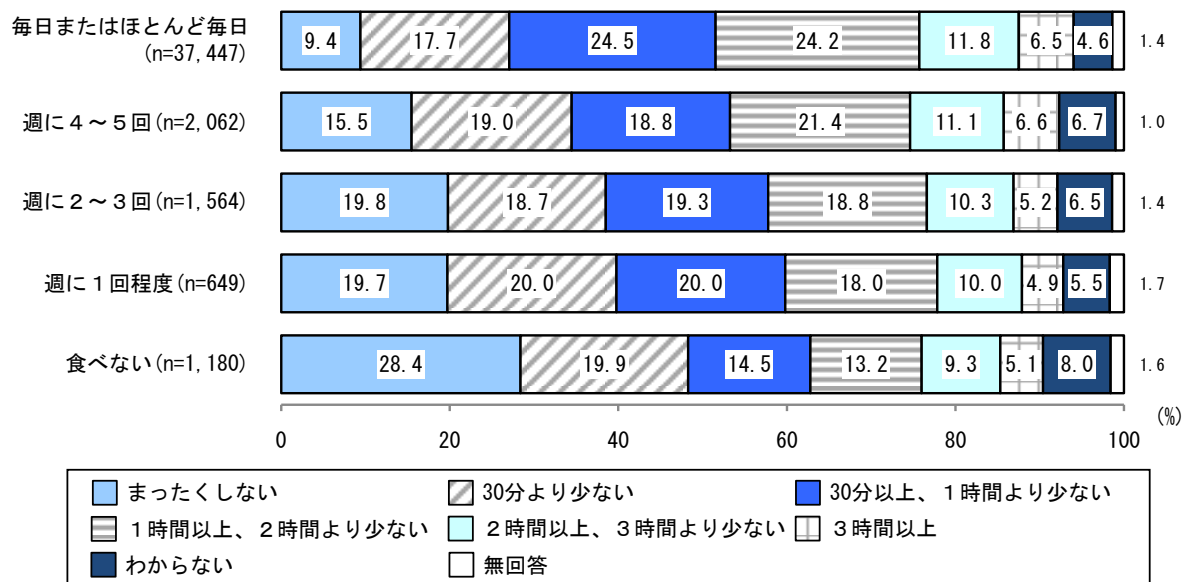


図 103. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

起床時間の規則性別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、ふだん同じ時刻にあまり起きていない人で「まったくしない」の回答の割合が41.7%と最も高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）
（子ども票問4(1)×子ども票問13①）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

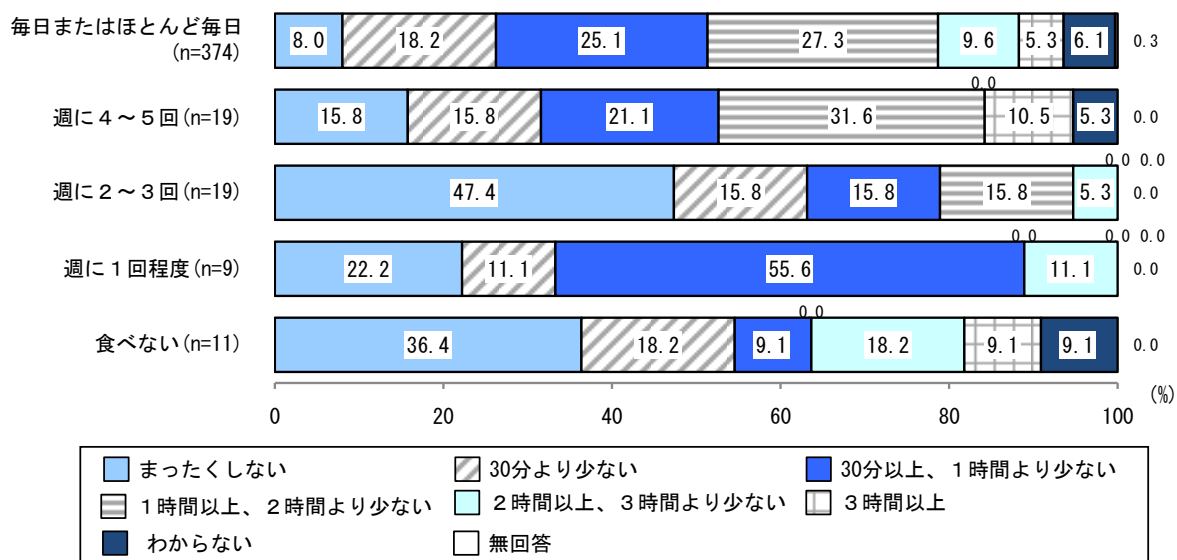
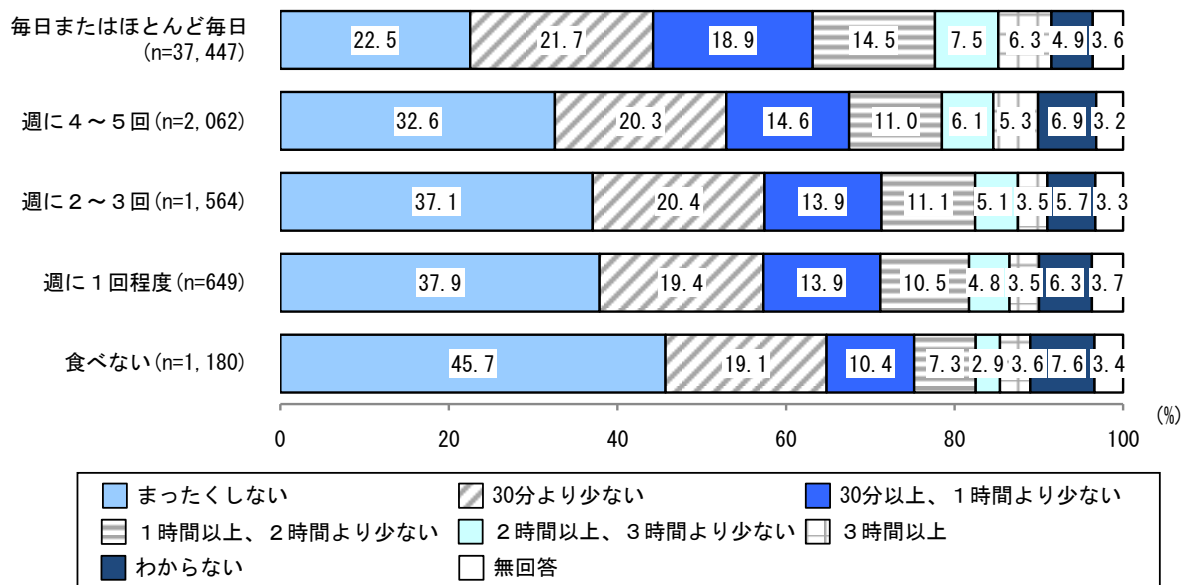


図 104. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）

朝食の頻度別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、毎日またはほとんど毎日食べる人は、「1時間以上、2時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」「3時間以上」をあわせた『1時間以上』の割合が42.2%で最も高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問 4 (1) × 子ども票問 13②）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

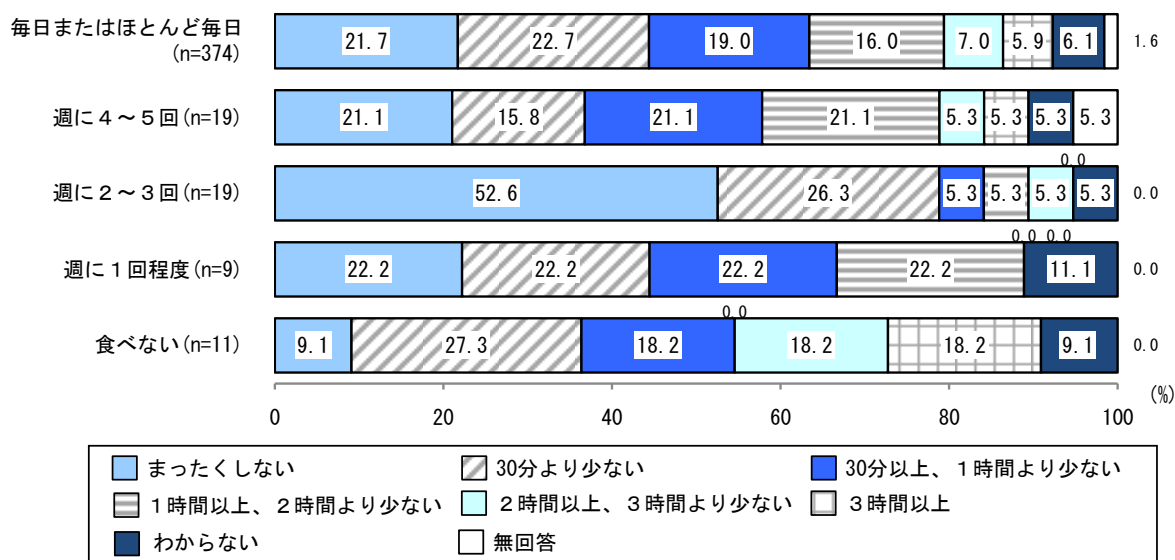
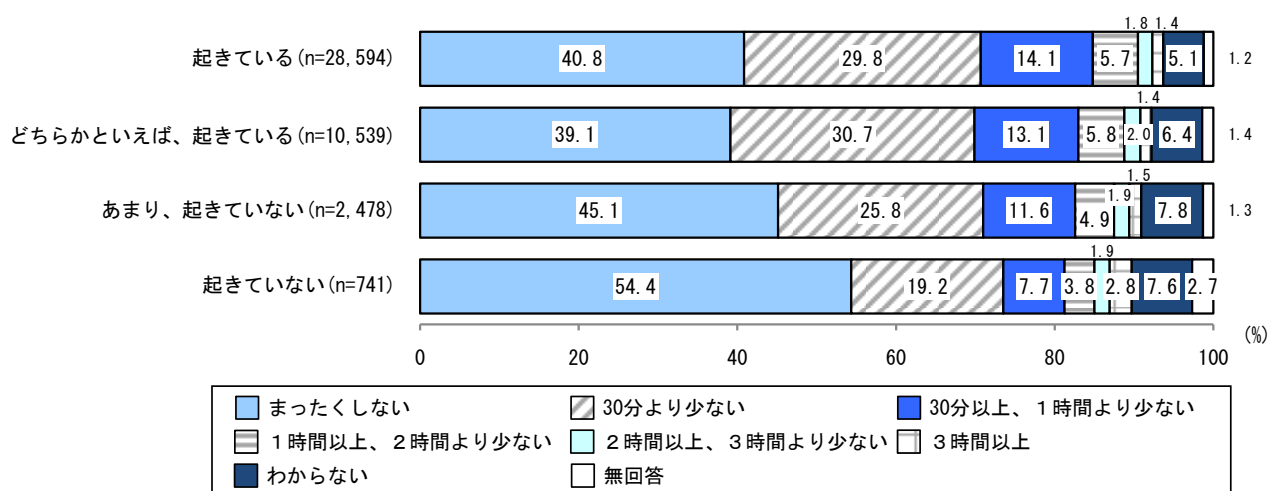


図 105. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間（学校がない日）

朝食の頻度別に学校がない日の授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間を見ると、食べない人は、「30分より少ない」と回答した割合が27.3%で最も高くなっている。

起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問2×子ども票問15）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

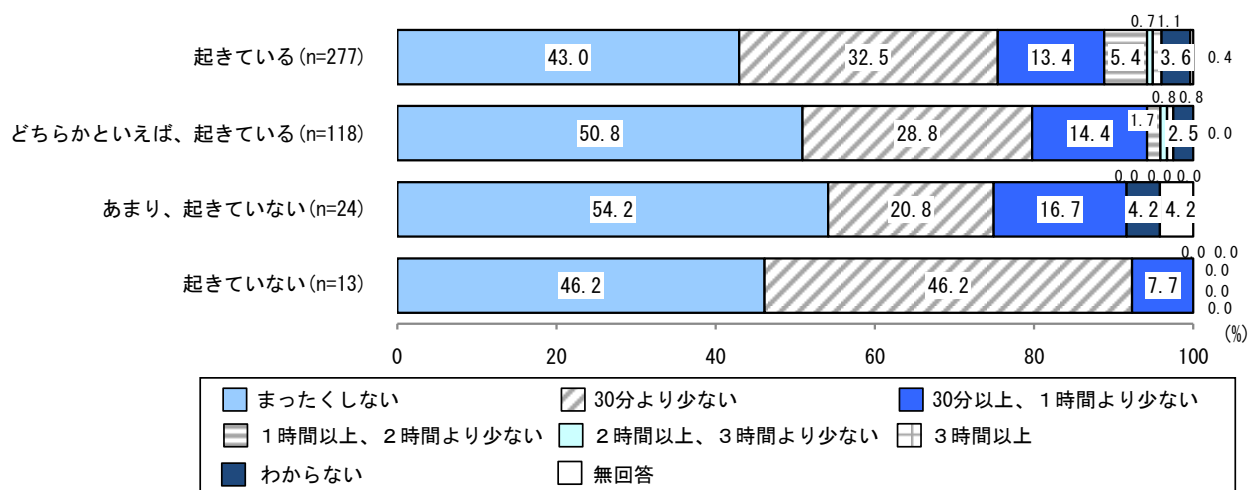
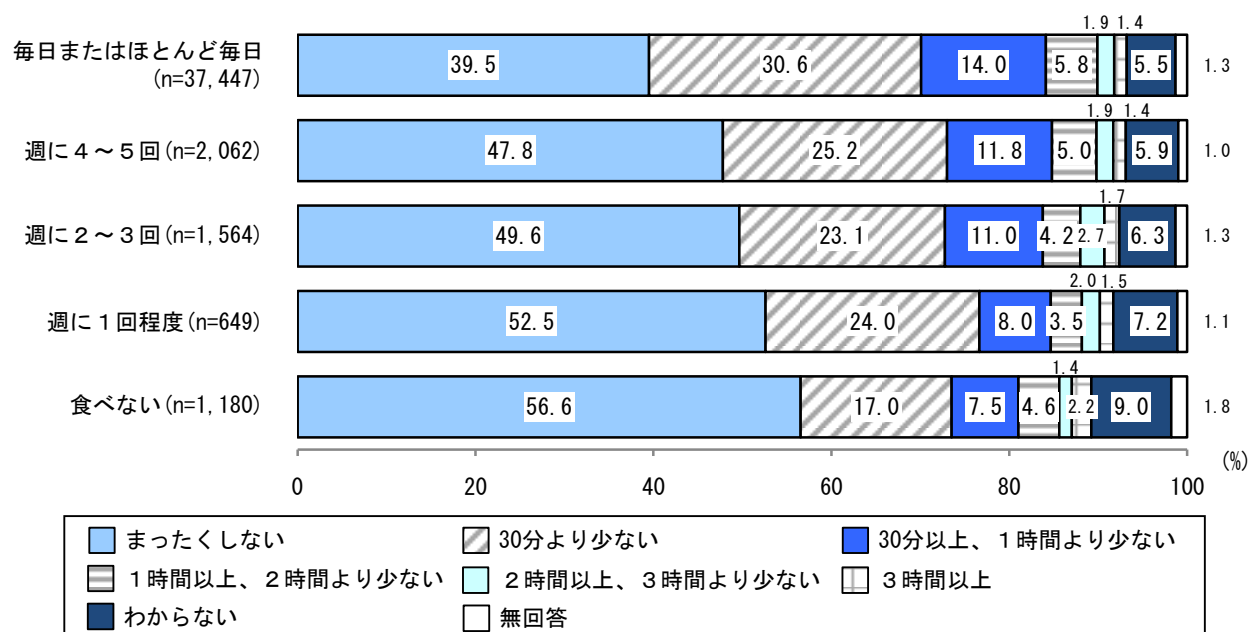


図 106. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間

起床時間の規則性別に授業以外の読書時間を見ると、「起きています」人では、「まったくしない」と回答した人は43.0%で最も低くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問4(1)×子ども票問15)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

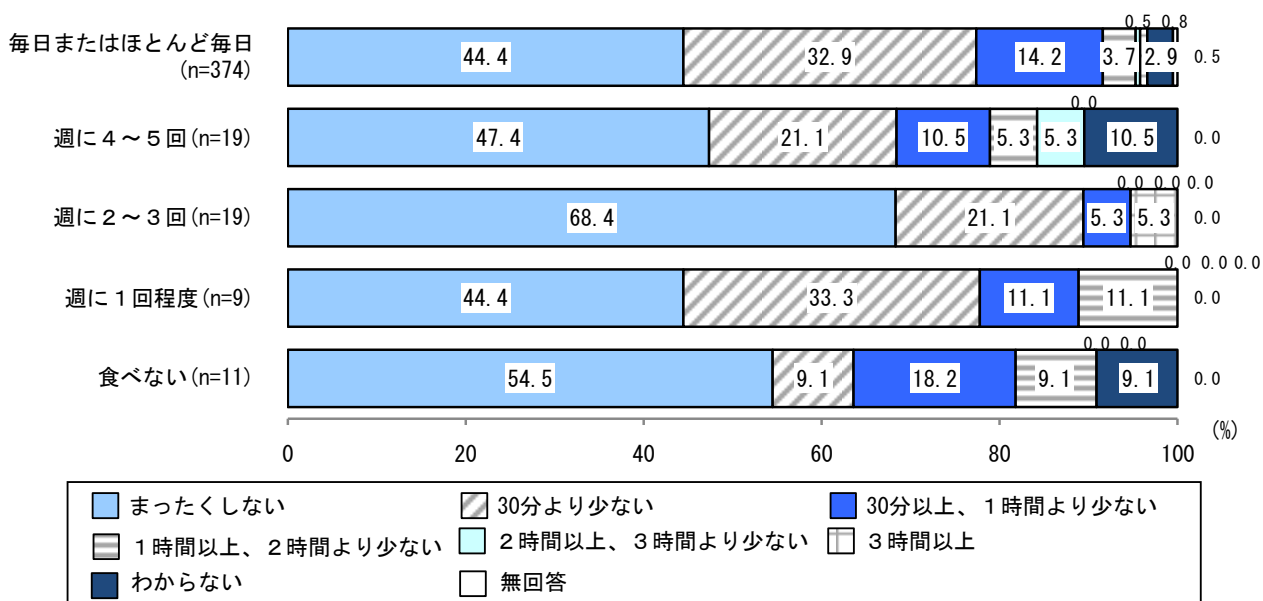
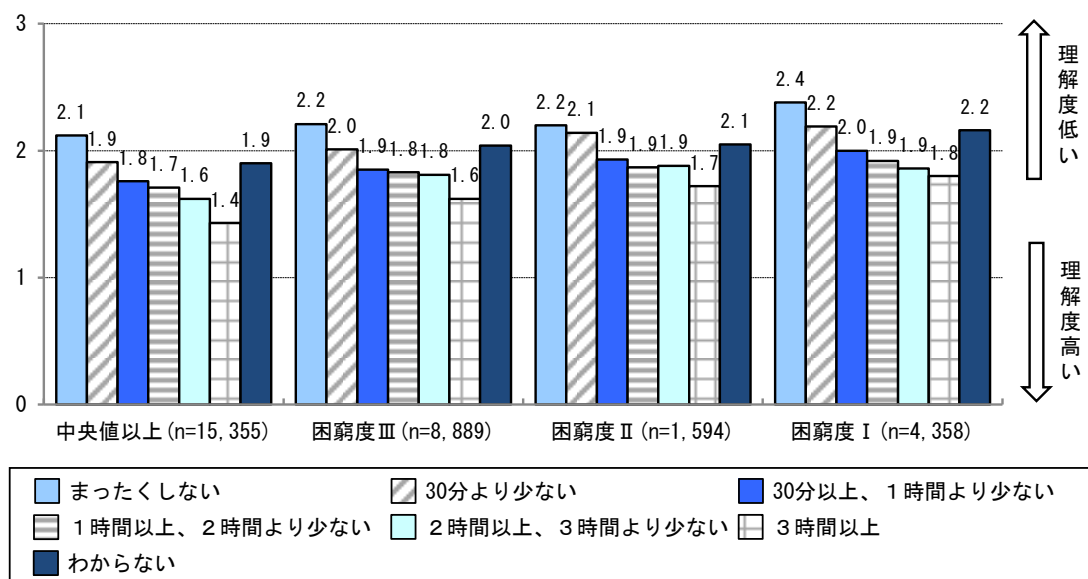


図 107. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間

朝食の頻度別に授業以外の読書時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」食べる人と「週に1回」程度食べる人は「まったくしない」と回答した割合が44.4%で最も低くなっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連
（子ども票問 14(1) × 子ども票問 13①）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

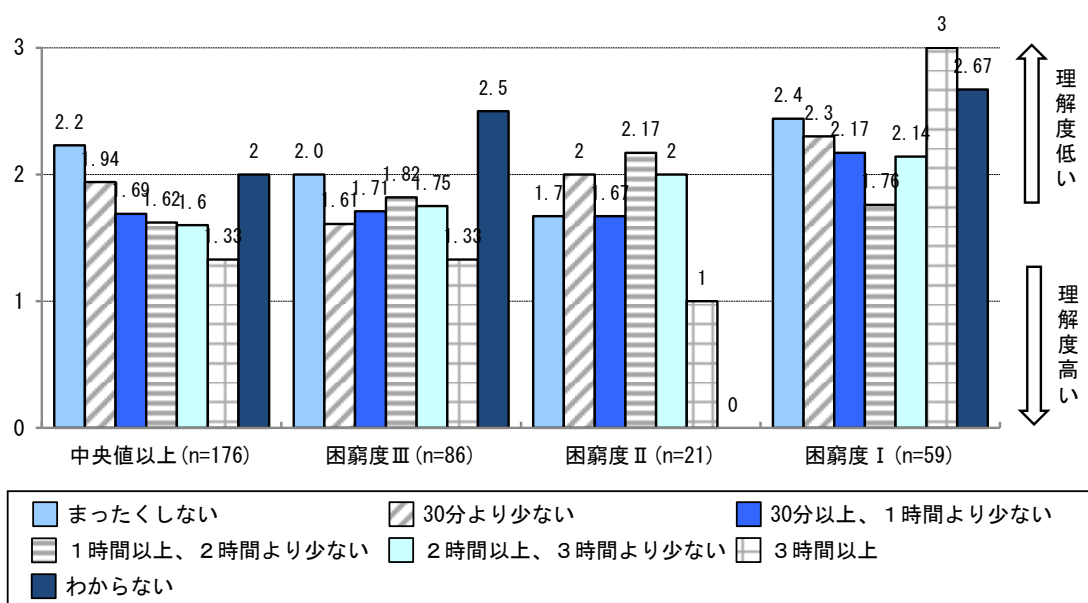
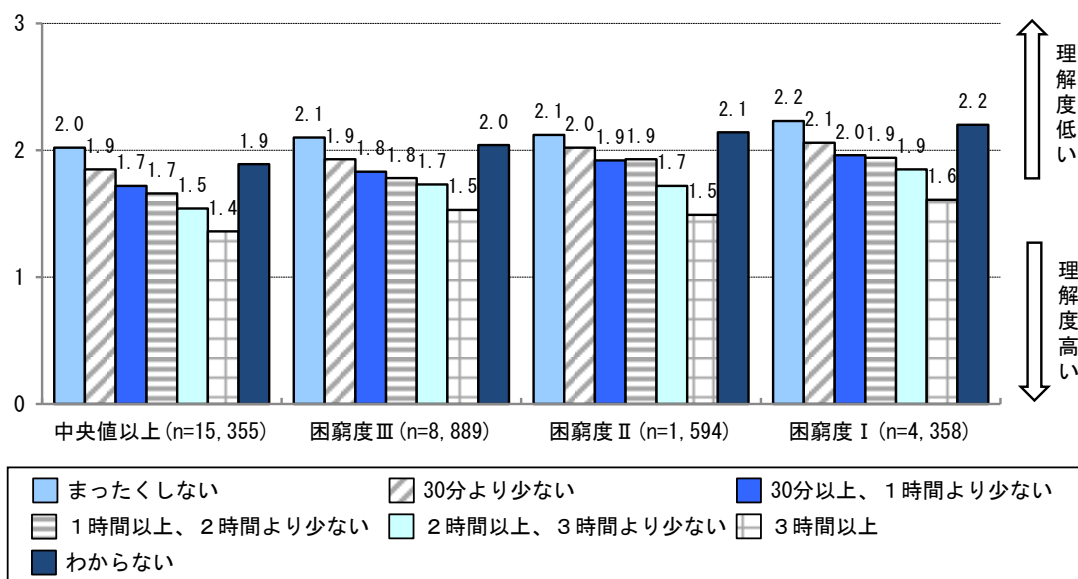


図 108. 困窮度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連

困窮度別に学校がある日の授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間と学習理解度の関連を見ると、中央値以上の群の子どもは、概ね勉強時間が長くなるほど、学習理解度が高まるが、それ以外の群の子どもは、学習時間と学習理解度が関連しない。

困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連
（子ども票問14(1)×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

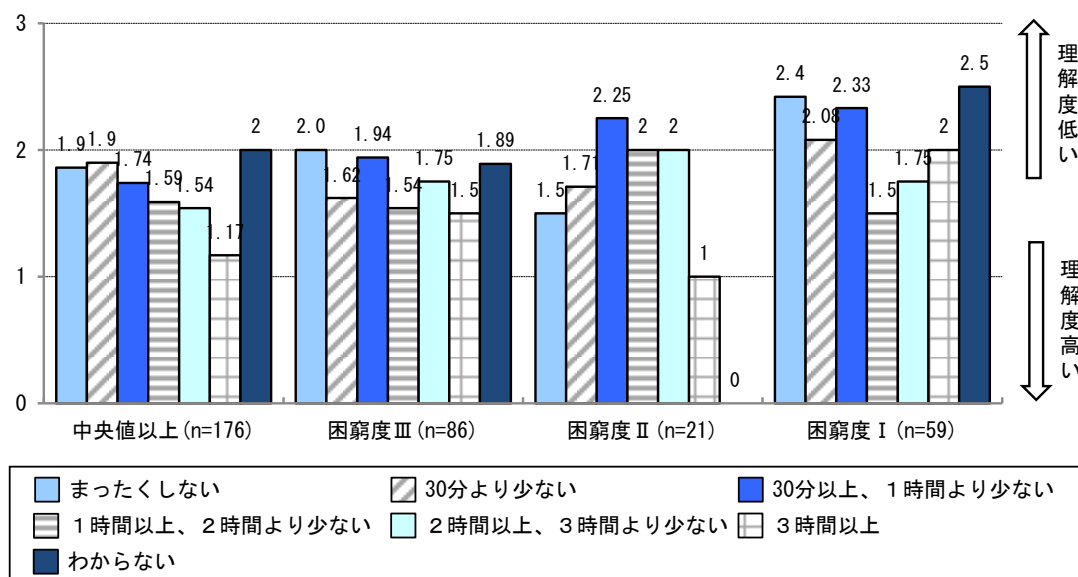
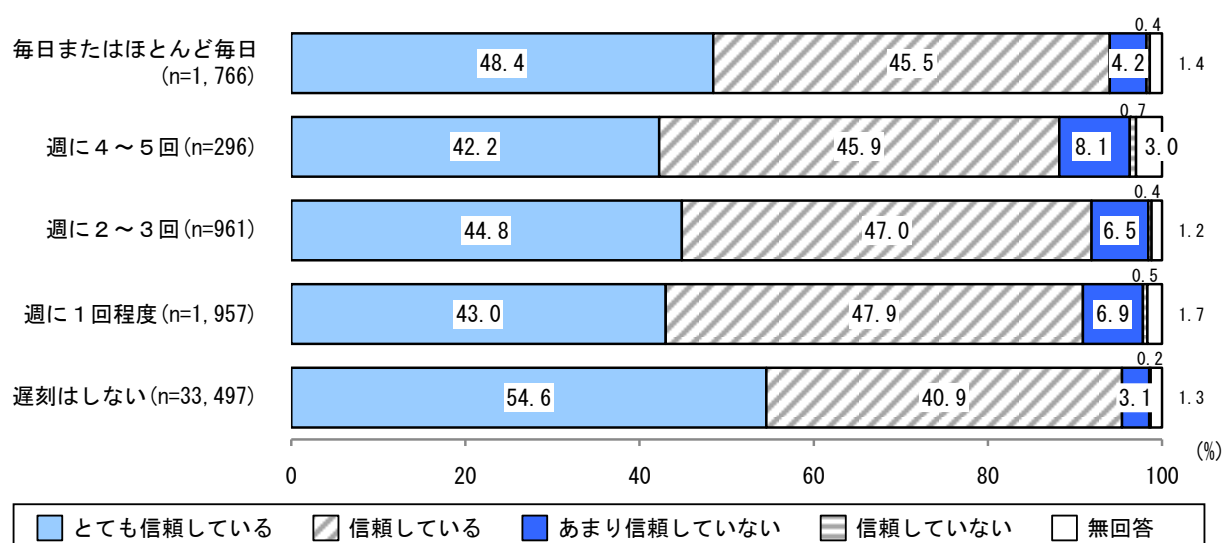


図 109. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連

困窮度別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間と学習理解度の関連を見ると、中央値以上の群の子どもは、概ね勉強時間が長くなるほど、学習理解度が高まるが、それ以外の群の子どもは学習時間と学習理解度が関連しない。

学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度（子ども票問 7 × 保護者票問 13(1)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

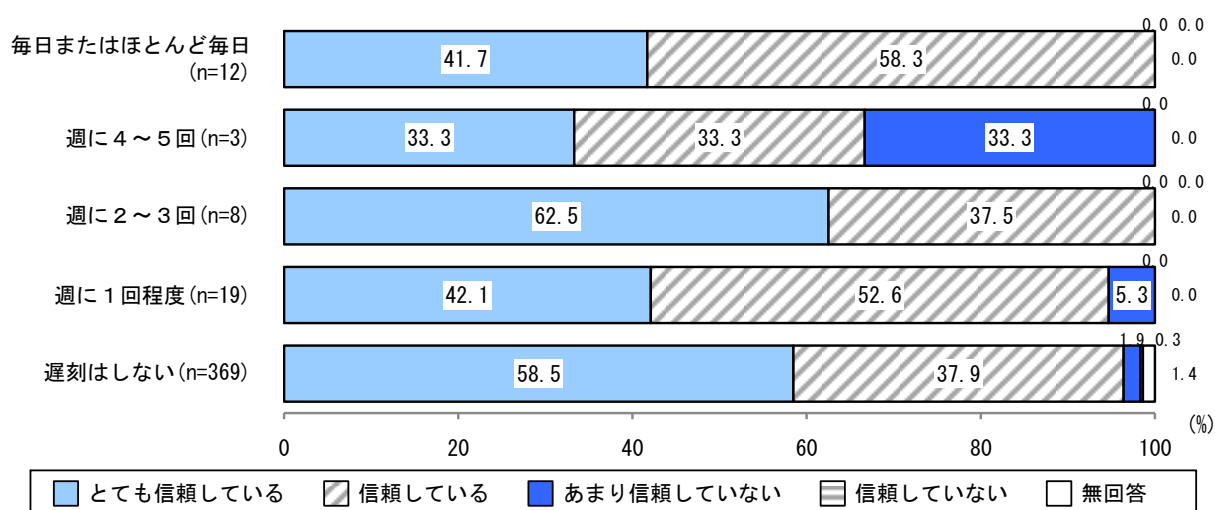
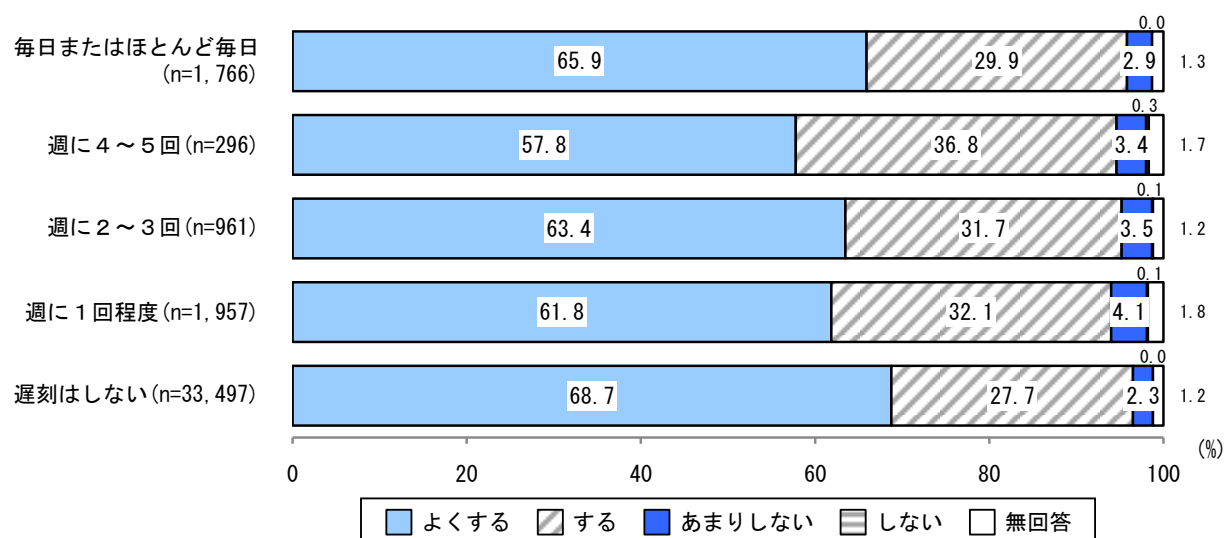


図 110. 学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度

学校への遅刻別に子どもへの信頼度を見ると、「週に 2 ～ 3 回」の子どもにおいては、保護者は「とても信頼している」割合が高く、62.5%である。「週に 4 ～ 5 回」の子どもにおいては、保護者は「あまり信頼していない」割合が高く、いずれも 33.3%である。

学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度（子ども票問 7 × 保護者票問 13(2)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

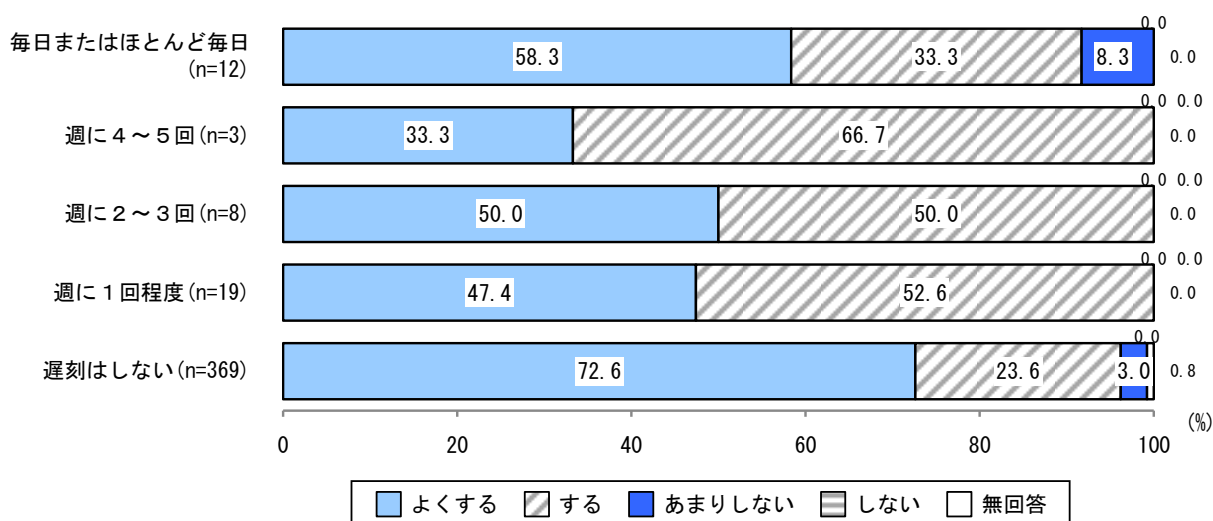
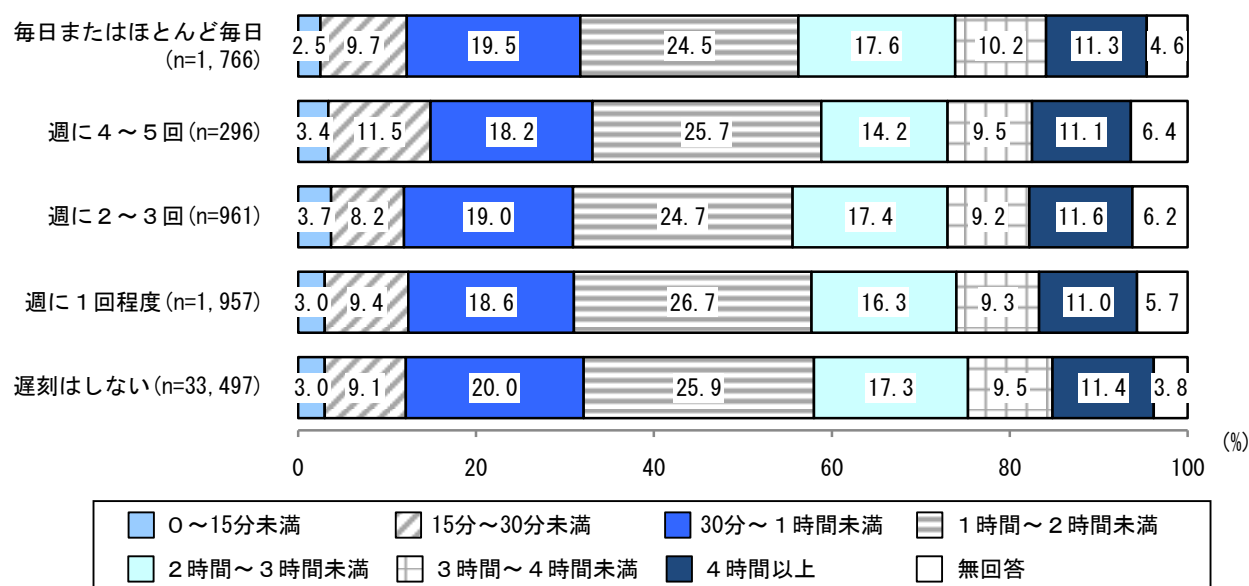


図 111. 学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度

学校への遅刻別に子どもとの会話頻度を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、会話を「よくする」割合が72.6%と最も高く、次いで「毎日ほとんど毎日」の子どもが58.3%となっている。

学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間（子ども票問7×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

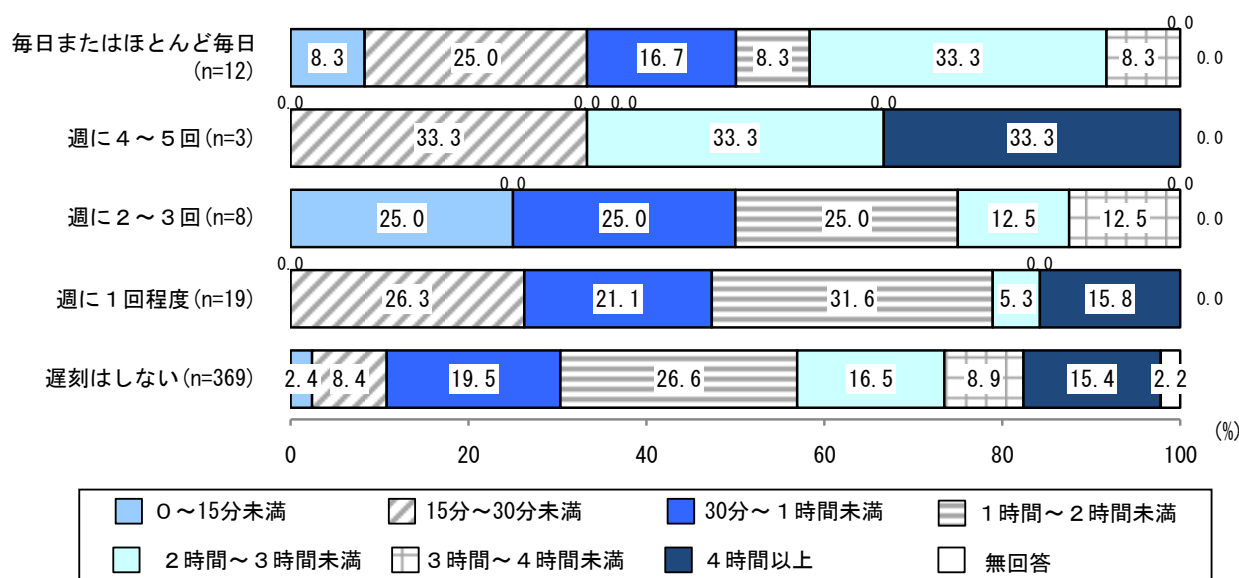
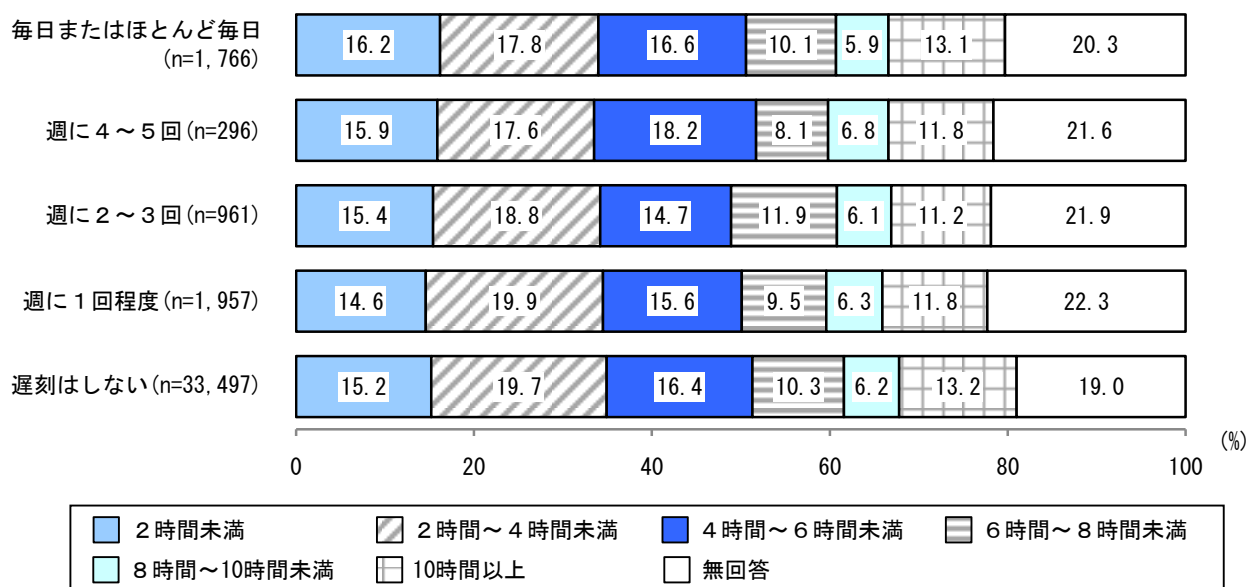


図 112. 学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間

学校への遅刻別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」の子どもにおいては、「2時間～3時間未満」と回答した人の割合が33.3%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間（子ども票問7×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

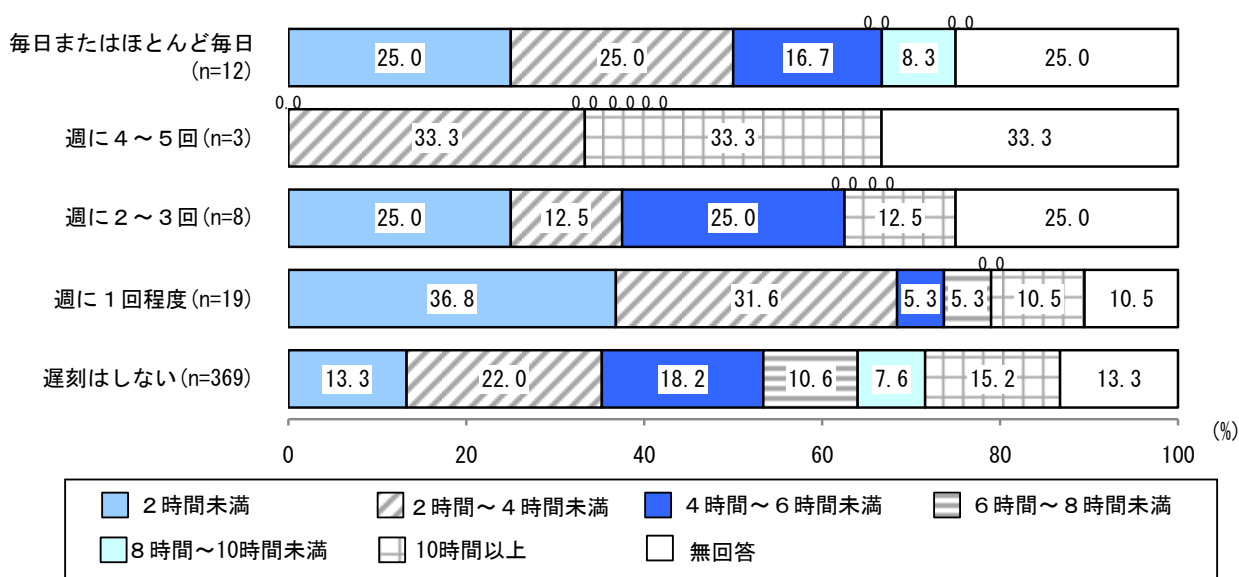
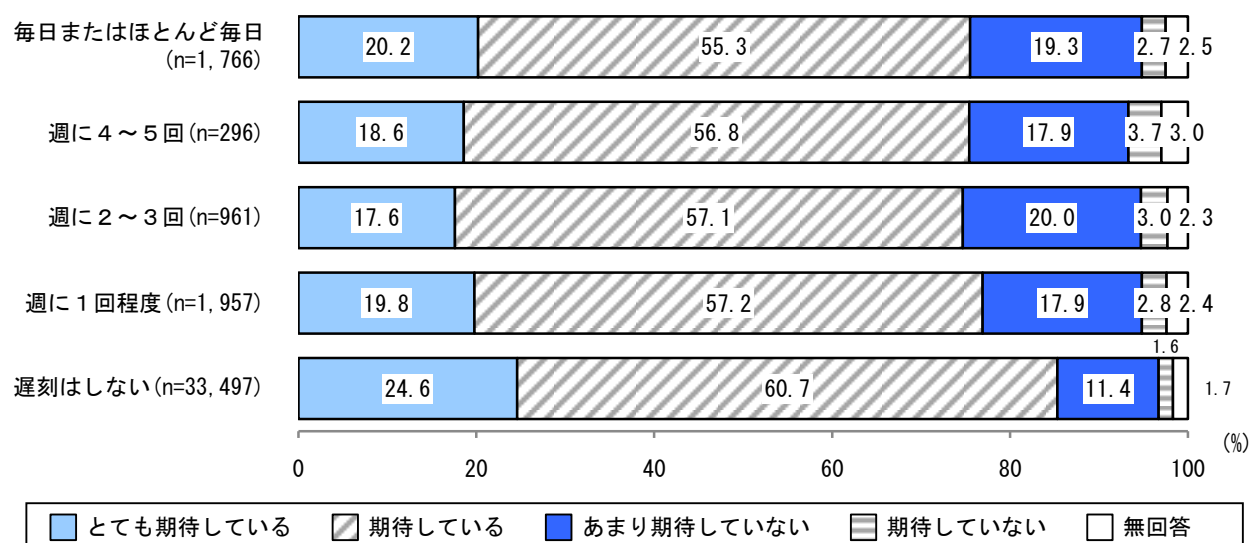


図 113. 学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間

学校への遅刻別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「週に1回程度」の子どもにおいては、「2時間未満」(36.8%)の割合が最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度（子ども票問 7 × 保護者票問 13(4)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

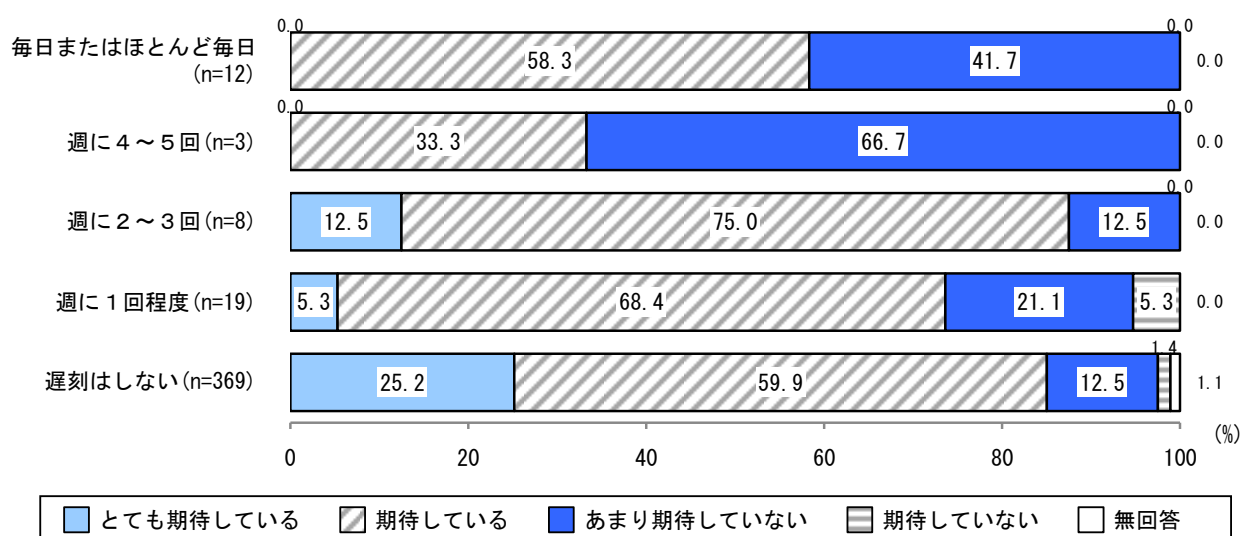
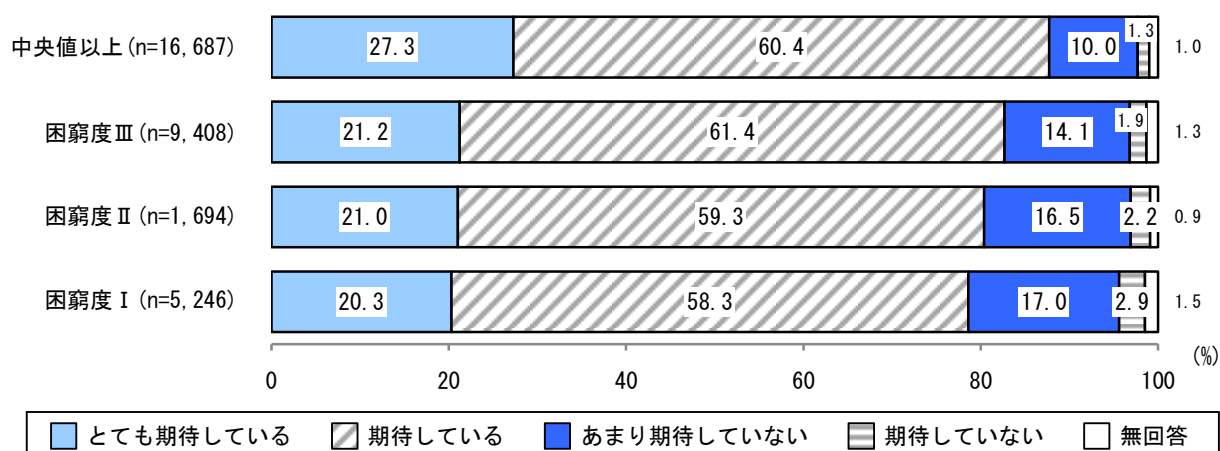


図 114. 学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度

学校への遅刻別に子どもの将来への期待度を見ると、「とても期待している」の割合は、「遅刻はしない」子どもにおいて25.2%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの将来への期待度（保護者票問 13(4)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

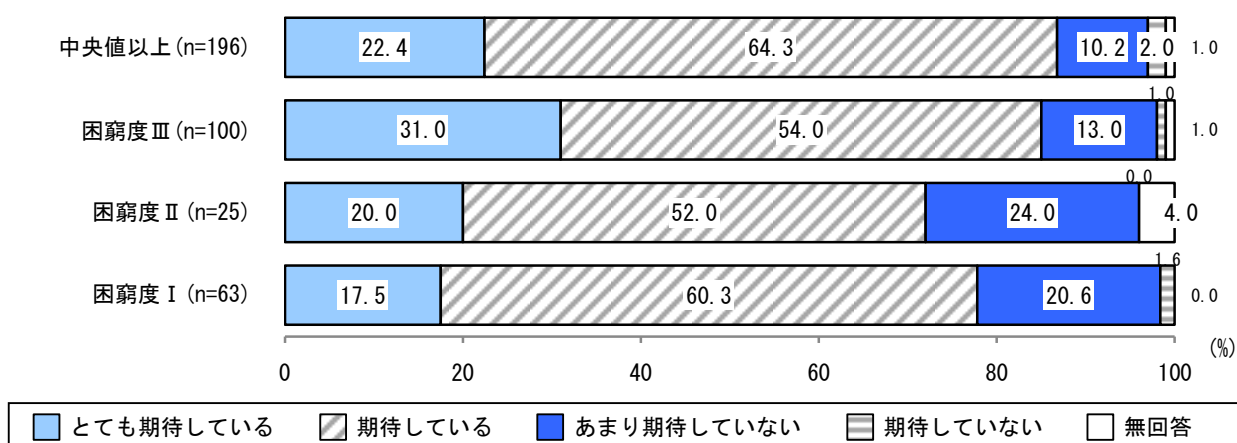
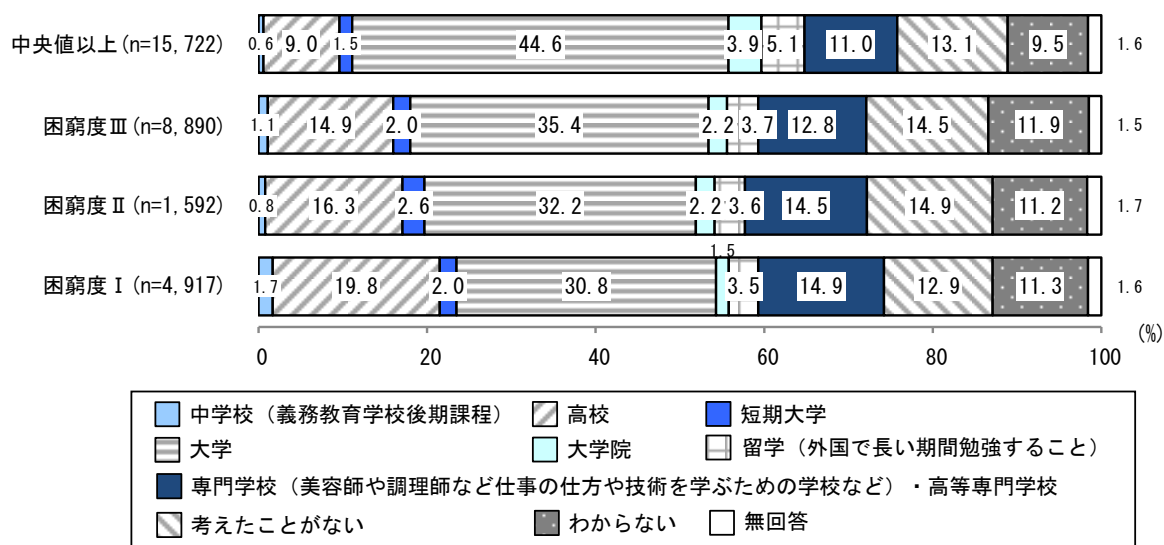


図 115. 困窮度別に見た、子どもの将来への期待度

困窮度別に子どもの将来への期待度を見ると、「とても期待している」の割合は、困窮度Ⅰ群が17.5%で最も低くなっている。

困窮度別に見た、希望する進学先（子ども票問 24）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

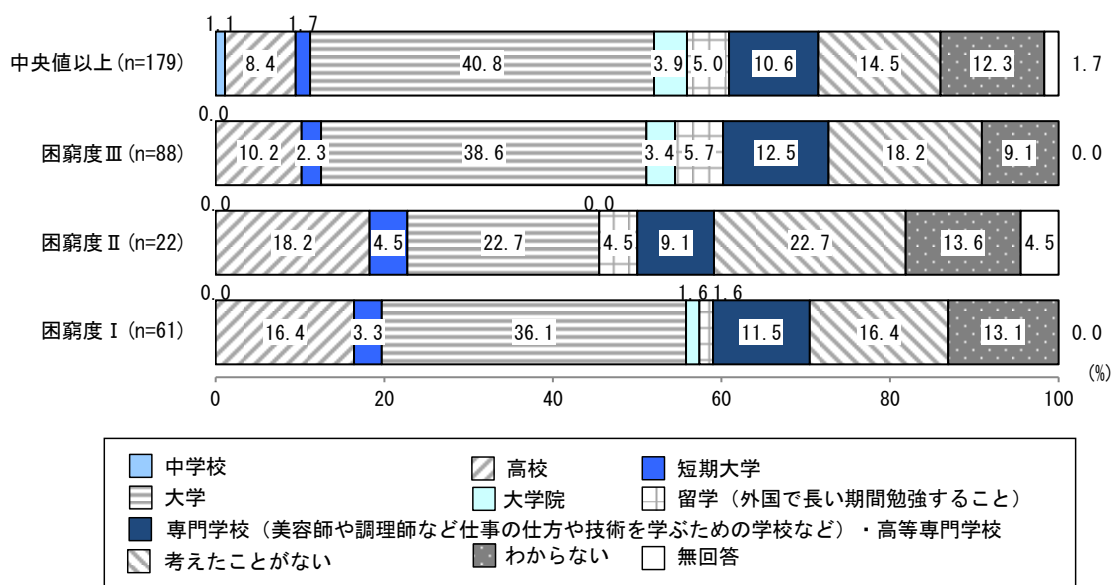
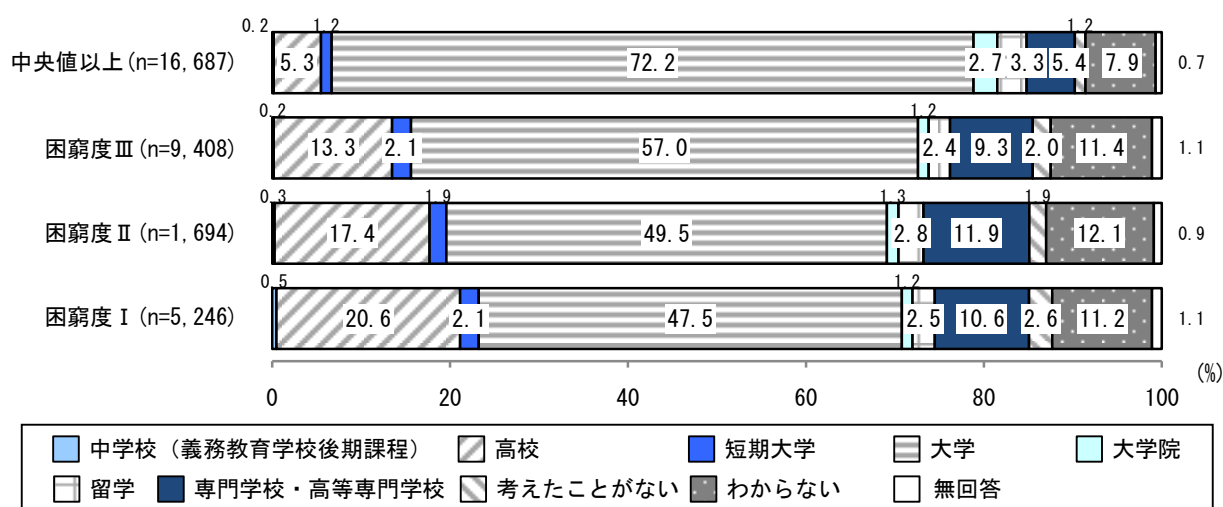


図 116. 困窮度別に見た、希望する進学先

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、困窮度Ⅱで高校卒業までの割合が高くなっている。困窮度Ⅱ群では、「大学」と回答した子どもは合計22.7%である。中央値以上群において「大学」と回答した割合は40.8%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもに希望する進学（保護者票問 14）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

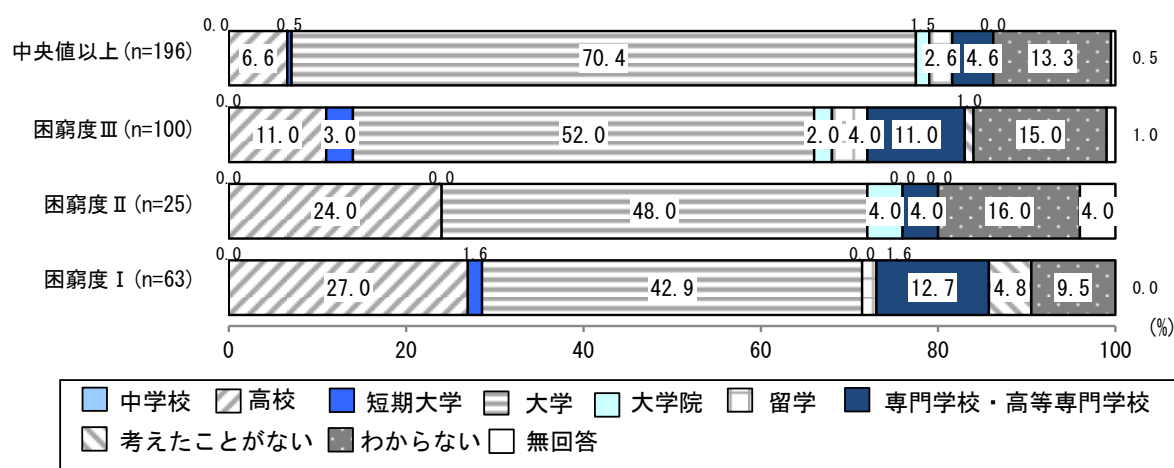
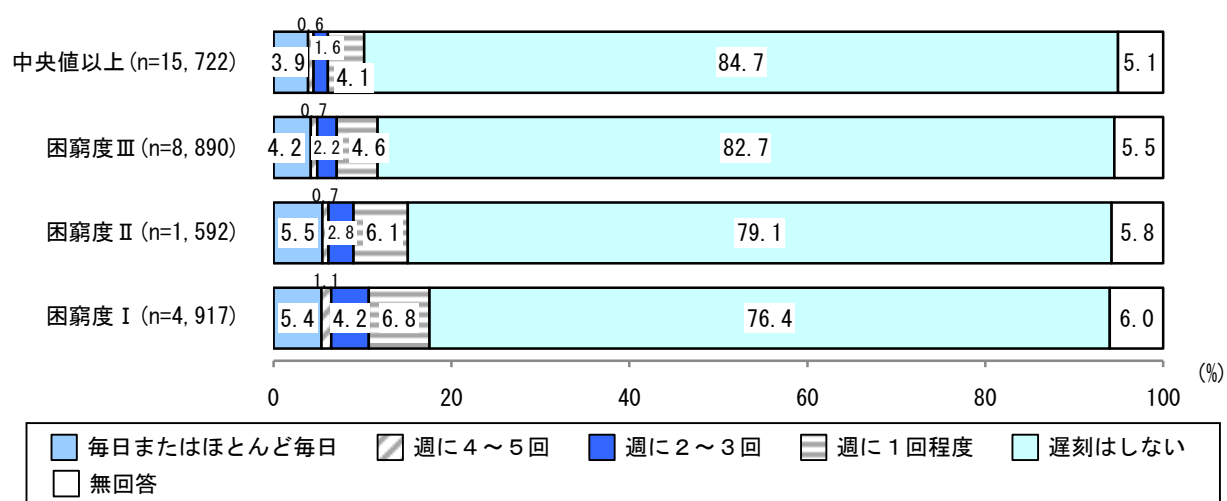


図 117. 困窮度別に見た、子どもに希望する進学

困窮度別に子どもに希望する進学先を見ると、「高校」と回答した割合は困窮度Ⅰ群(27.0%)で最も高く、困窮度が高まるにつれ「高校」と回答する割合が高くなっている。中央値以上群において「大学」と回答した割合は70.4%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、学校への遅刻（子ども票問7）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

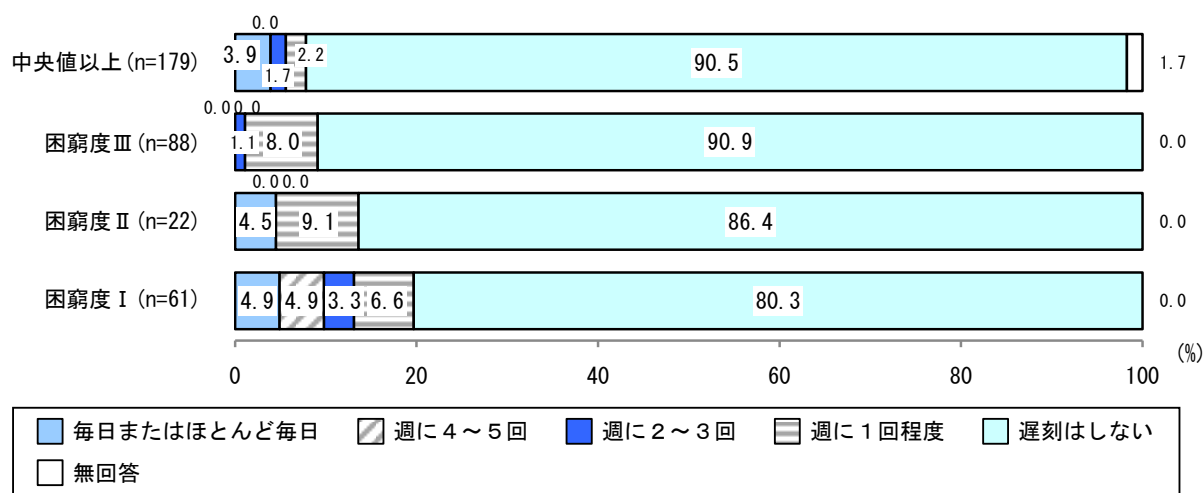
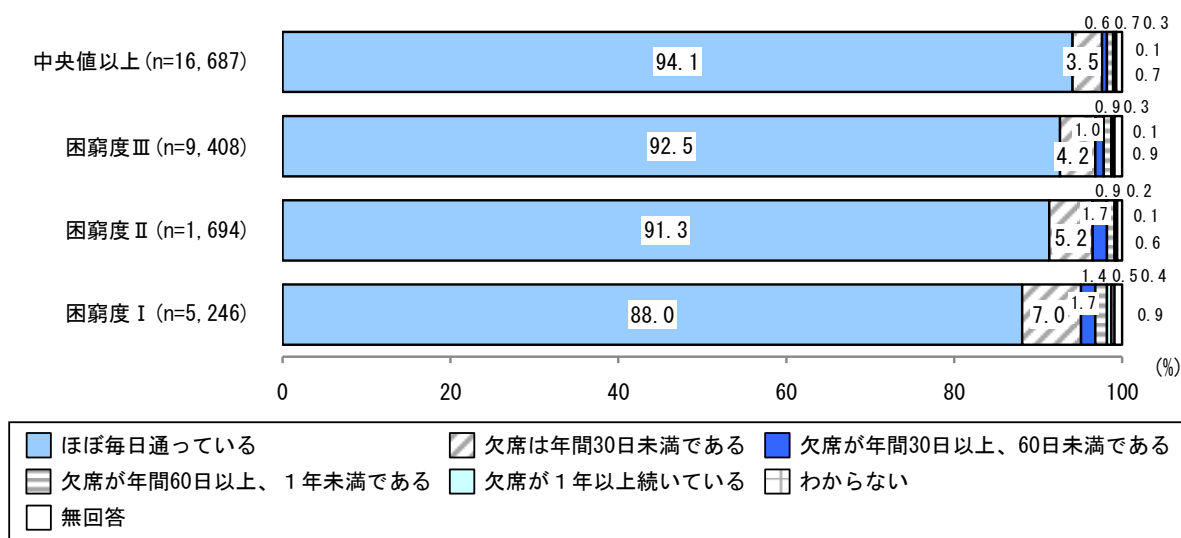


図 118. 困窮度別に見た、学校への遅刻

困窮度別に学校への遅刻を見ると、「毎日またはほとんど毎日」は困窮度Ⅰ群が4.9%と最も高くなっている。「週に1回程度」は困窮度Ⅱ群が9.1%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの通学状況（保護者票問 15）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

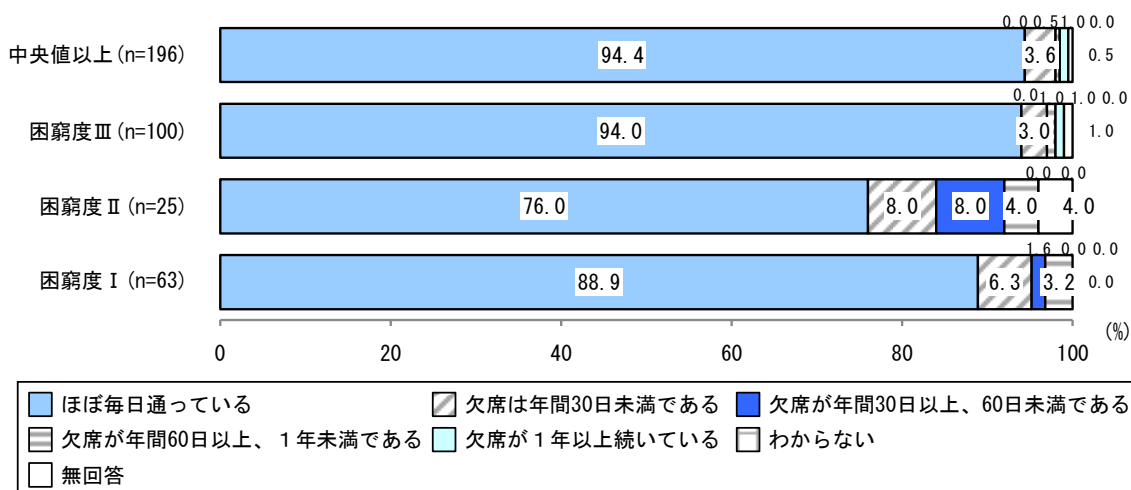
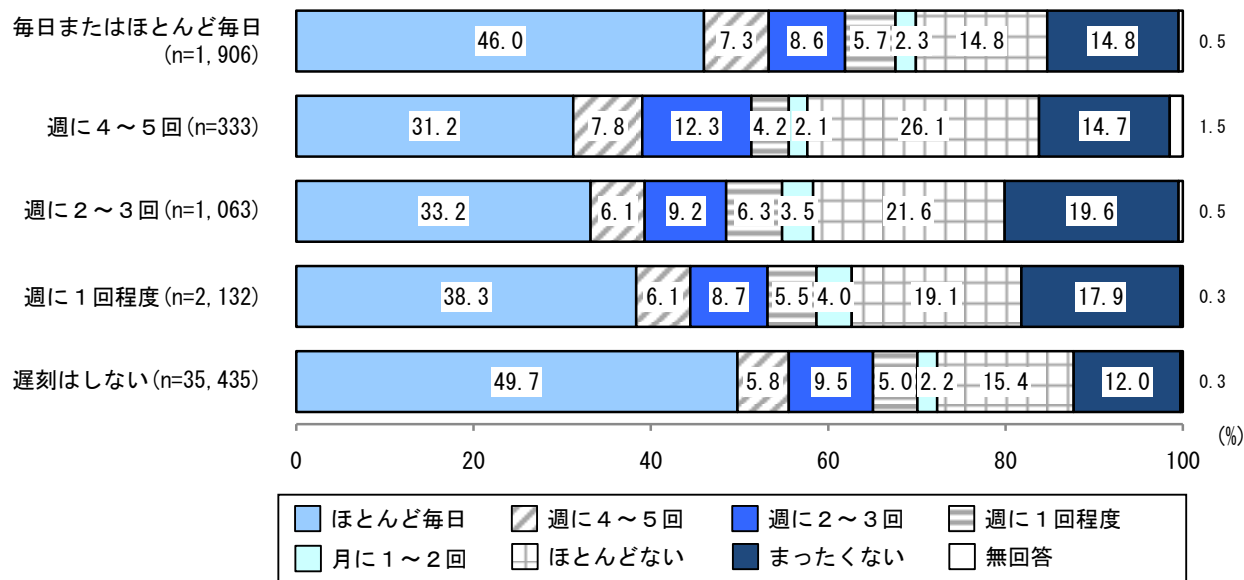


図 119. 困窮度別に見た、子どもの通学状況

困窮度別に子どもの通学状況を見ると、「ほぼ毎日通っている」と回答した人の割合は、困窮度Ⅱ群が76.0%と最も低くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか
(子ども票問7×保護者票問8①)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

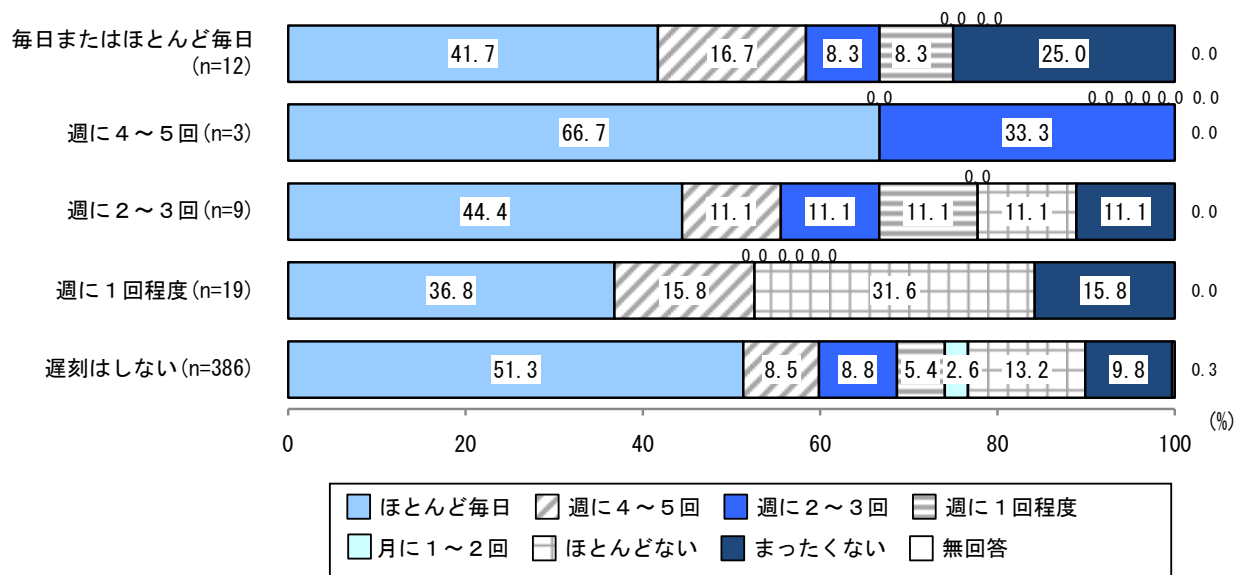
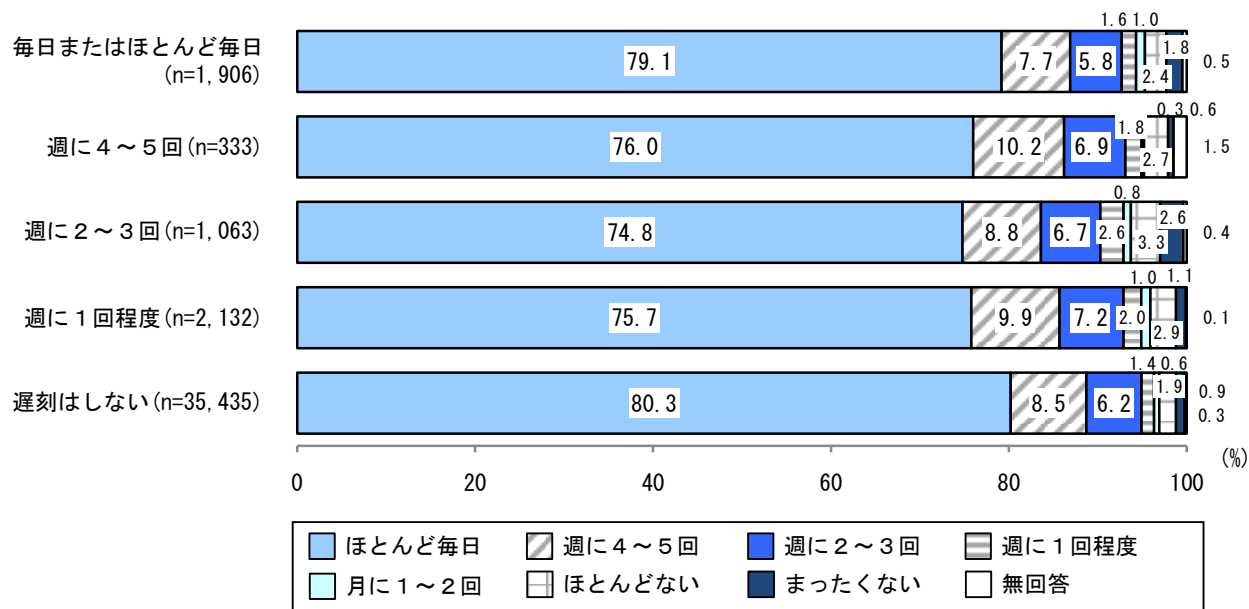


図 120. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に朝食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は週に4～5回遅刻をしている子どもで66.7%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか
(子ども票問7×保護者票問8②)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

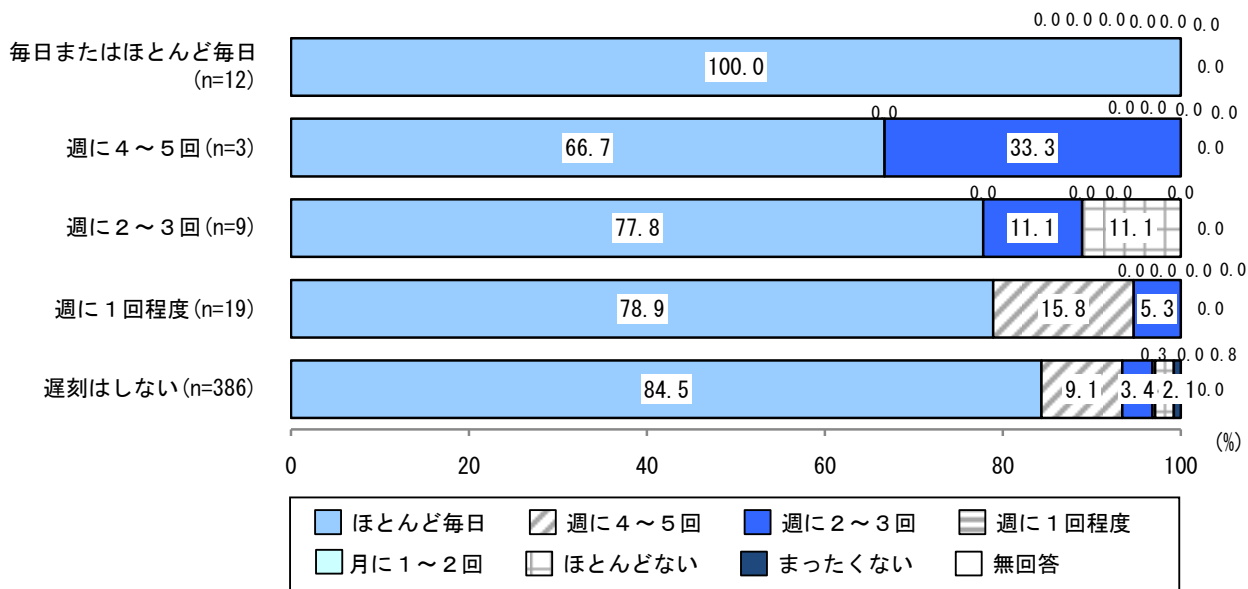
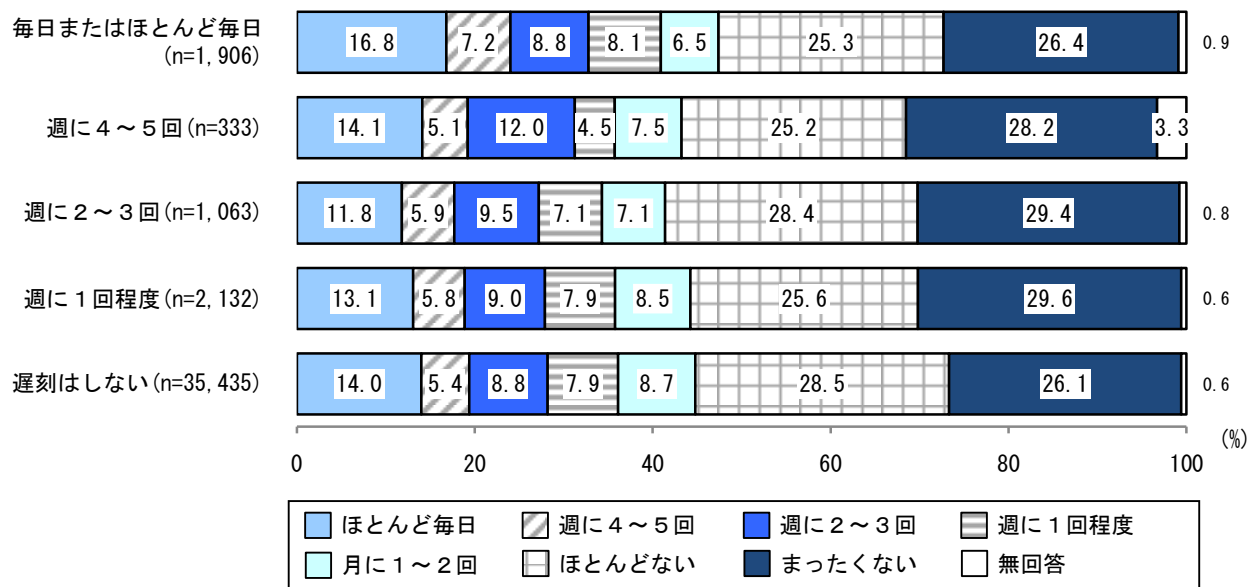


図 121. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に夕食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は、毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもで100.0%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか
（子ども票問7×保護者票問8⑤）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

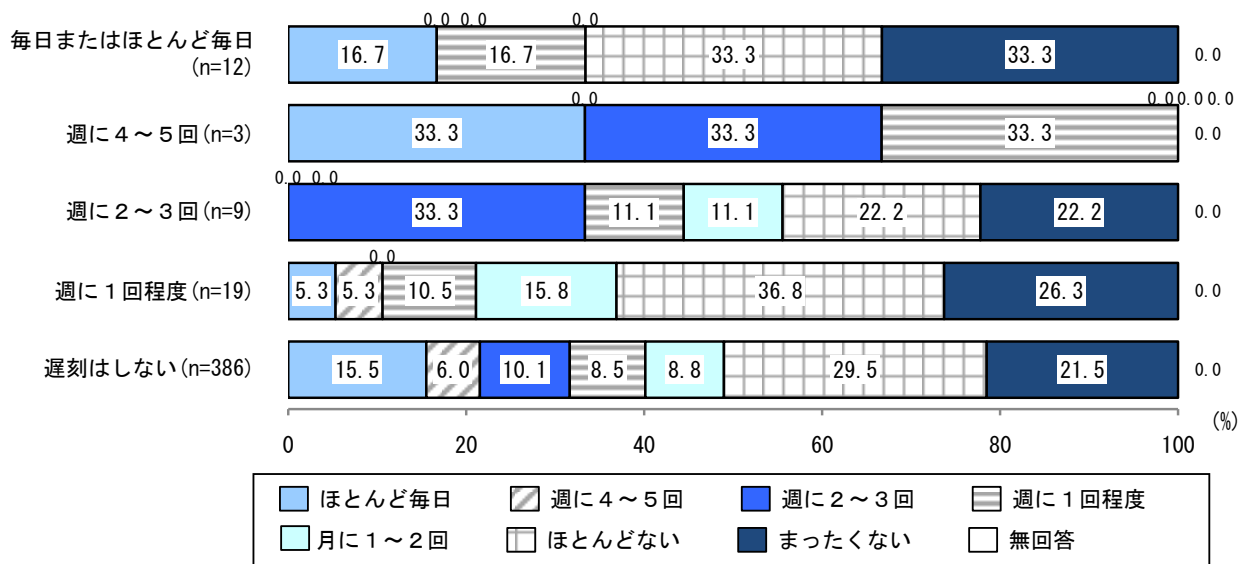
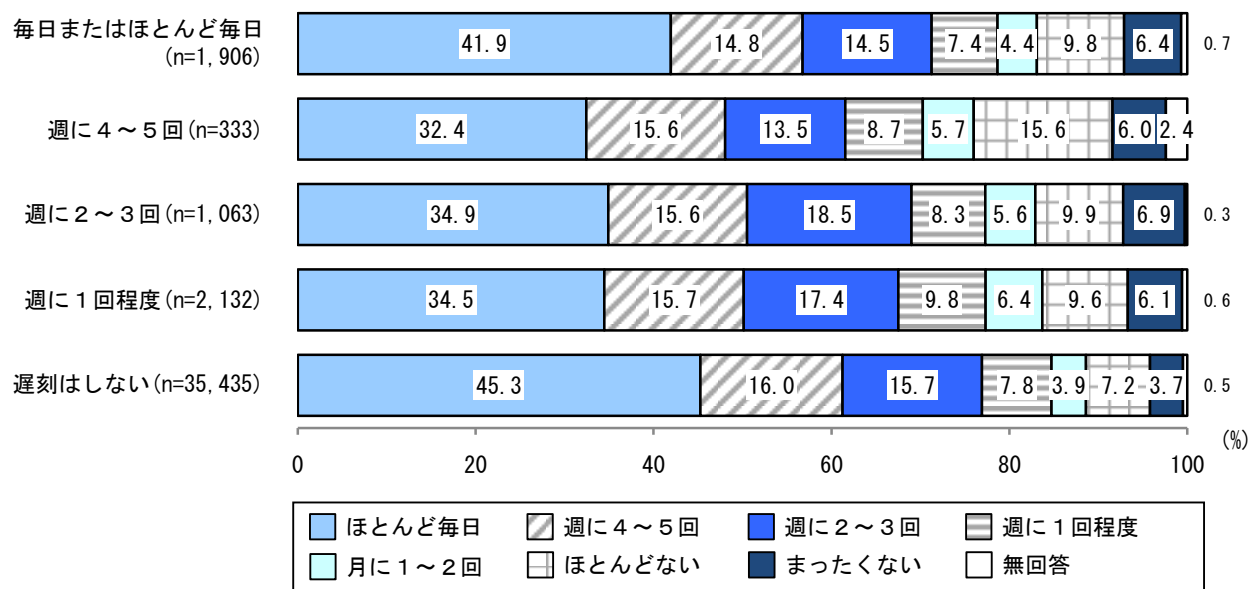


図 122. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

学校への遅刻別におうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は、週に4～5回遅刻をしている子どもで33.3%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すか
(子ども票問7×保護者票問8⑥)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

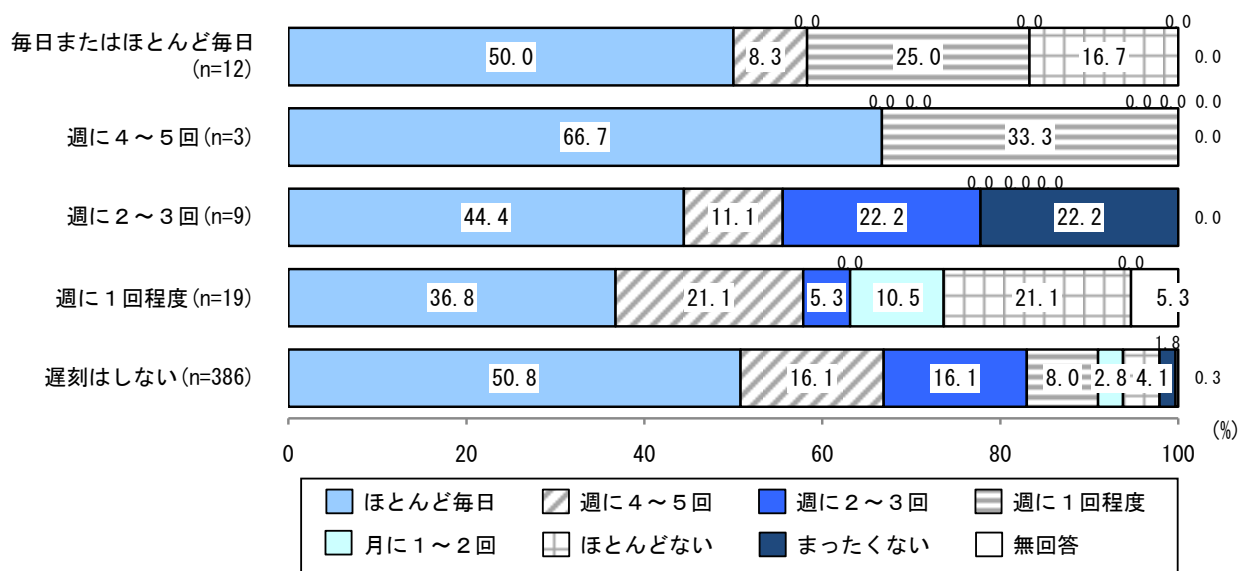
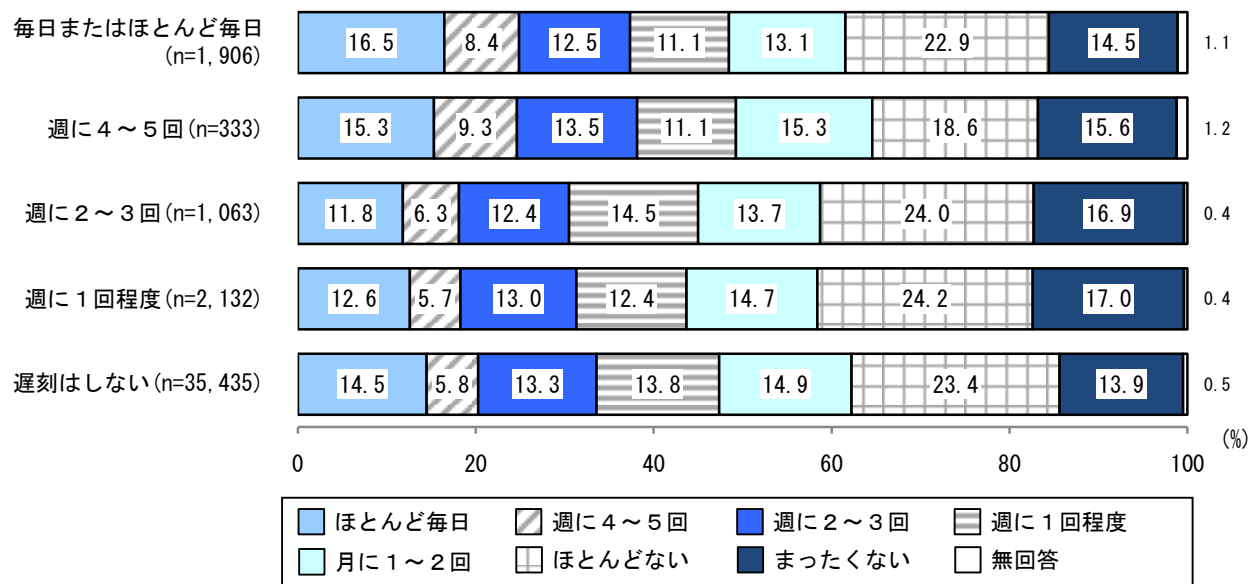


図 123. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すか

学校への遅刻別におうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は、週に4～5回遅刻をしている子どもで66.7%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか
(子ども票問7×保護者票問8⑦)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

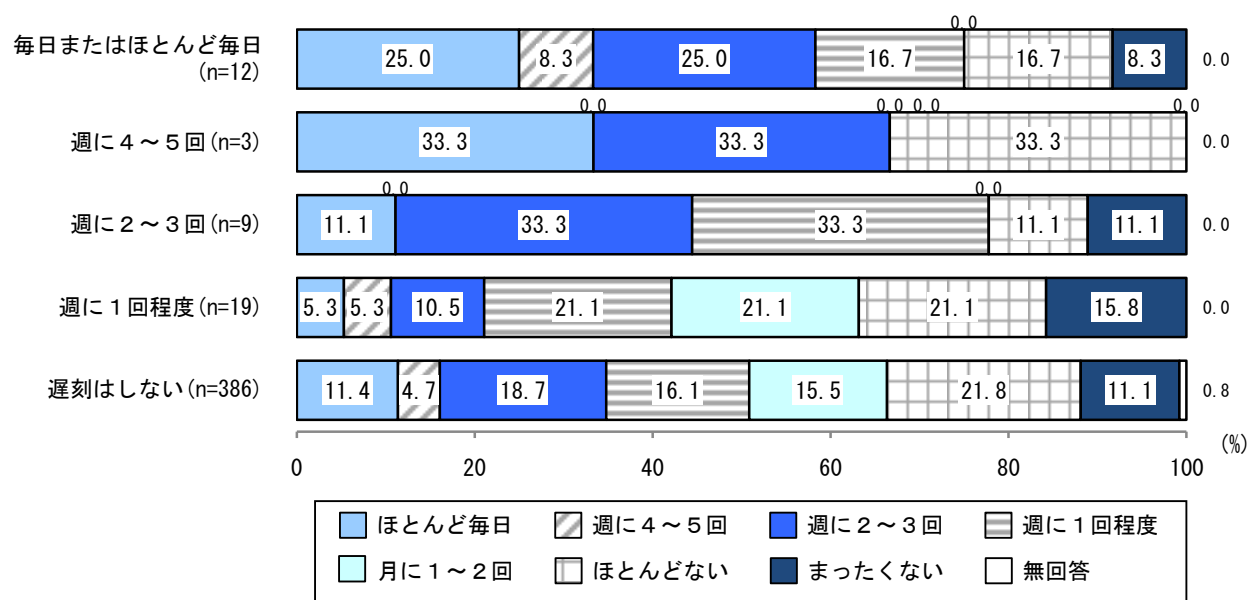
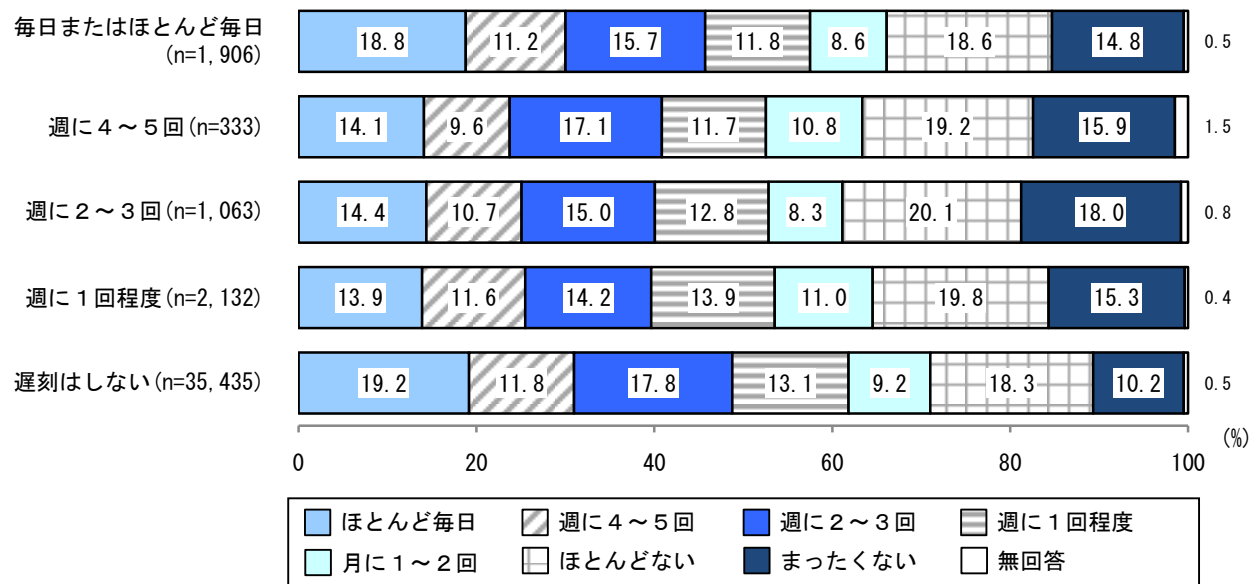


図 124. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

学校への遅刻別におうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は、週に4～5回遅刻をしている子どもで33.3%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか
(子ども票問7×保護者票問8⑧)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

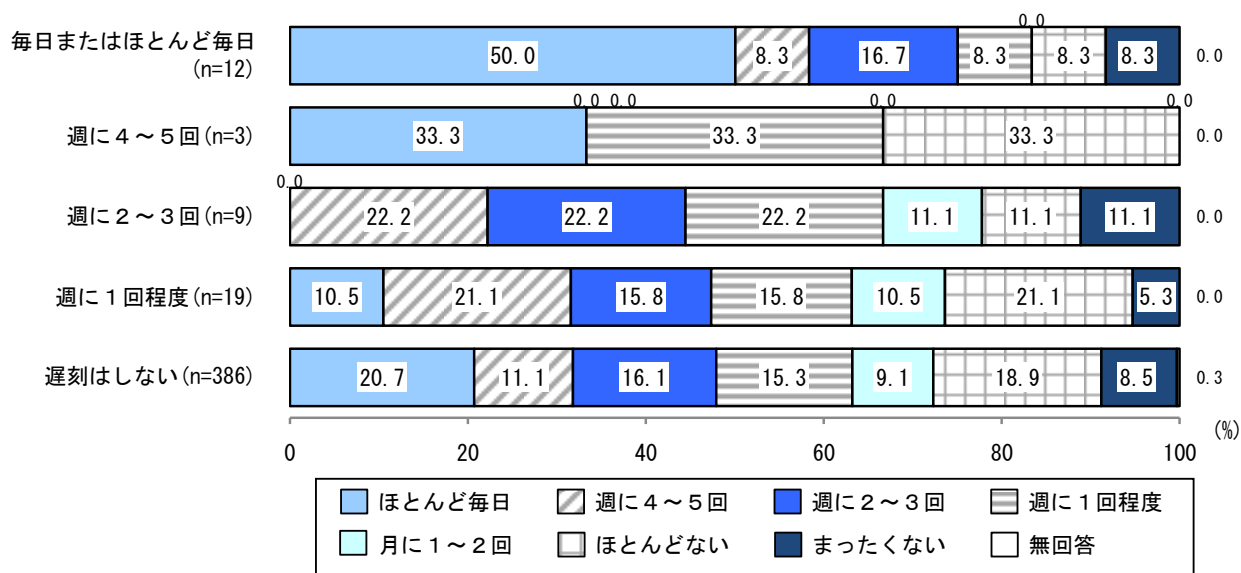
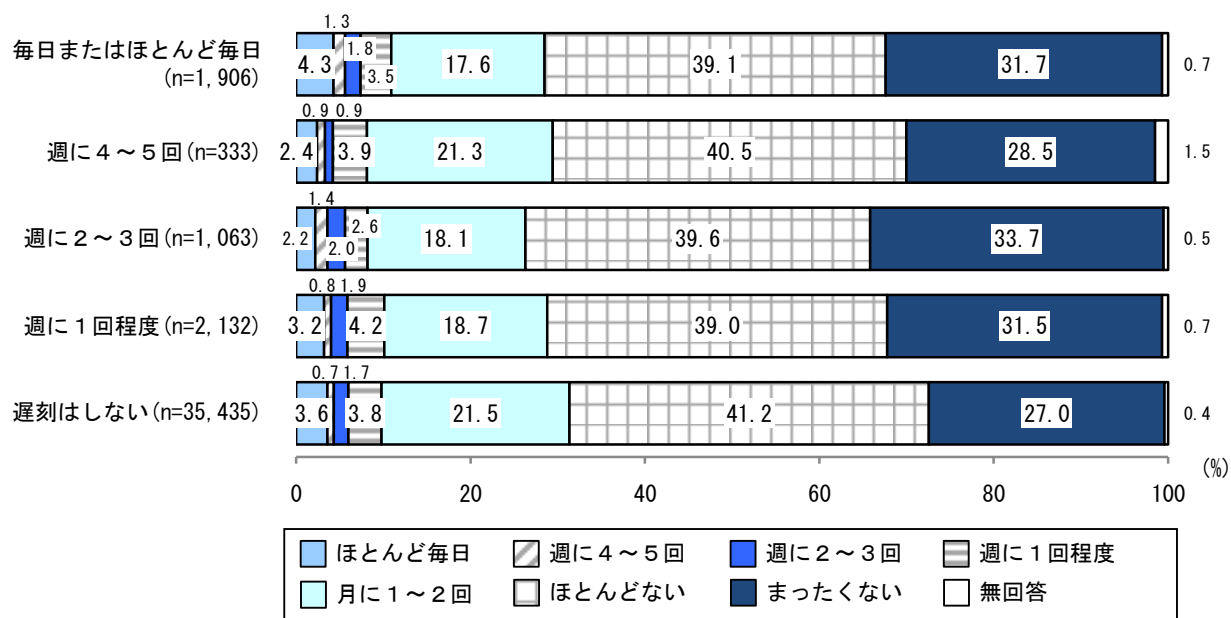


図 125. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

学校への遅刻別におうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は、毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもで50.0%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか
(子ども票問7×保護者票問8⑨)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

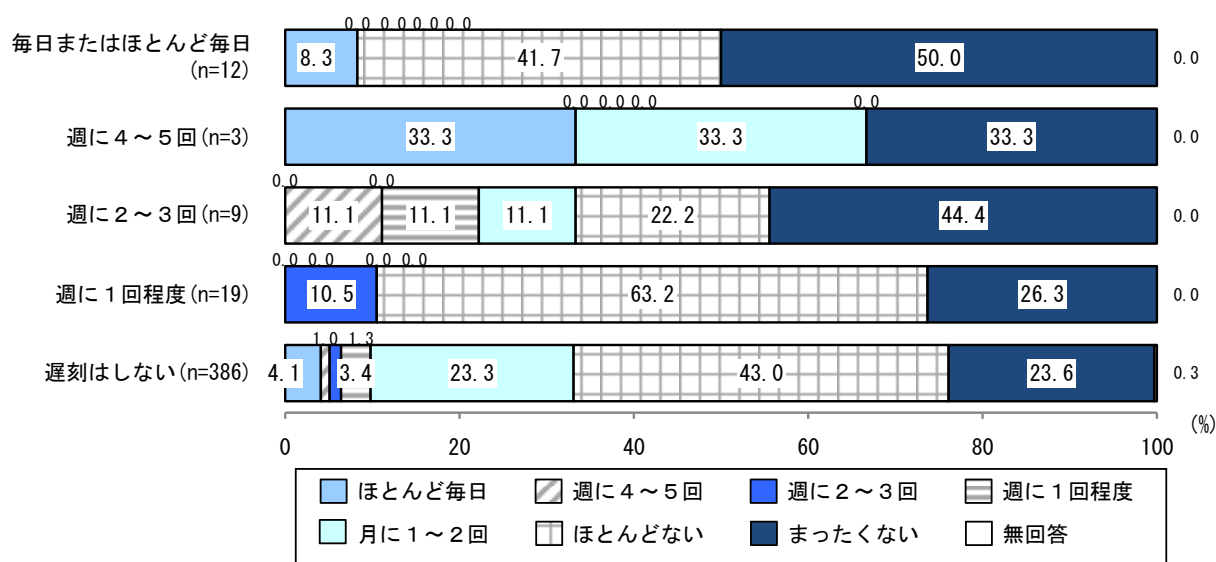
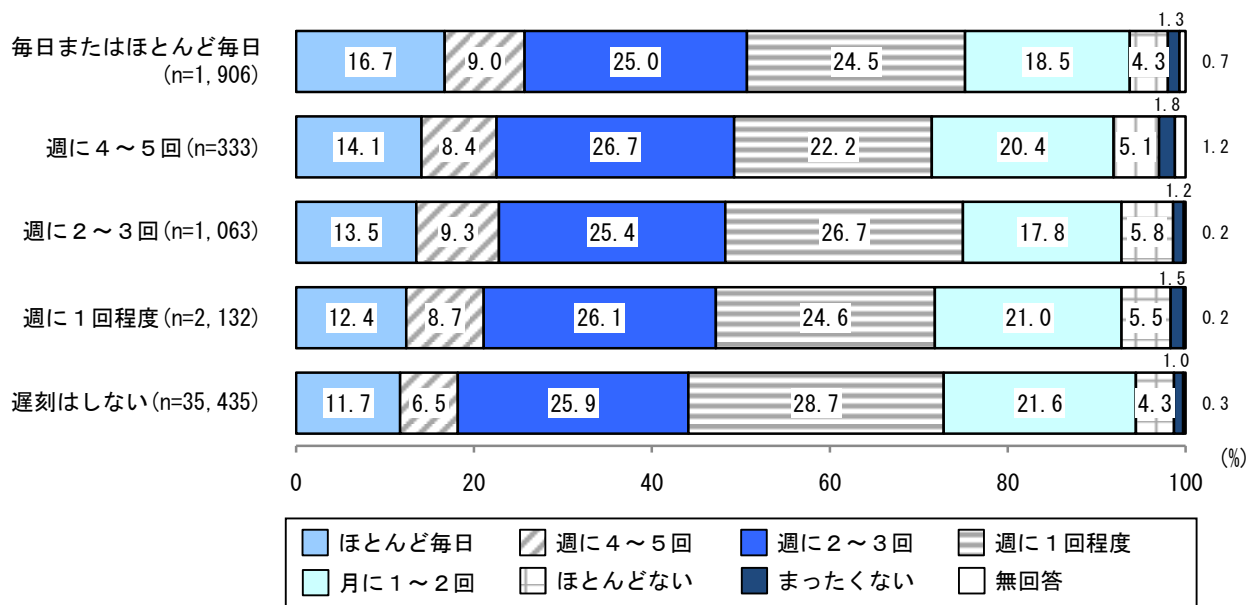


図 126. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか

学校への遅刻別におうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「まったくない」は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもで50.0%と最も高く、「ほとんど毎日」は週に4～5回遅刻をしている子どもで33.3%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか
(子ども票問7×保護者票問8⑩)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

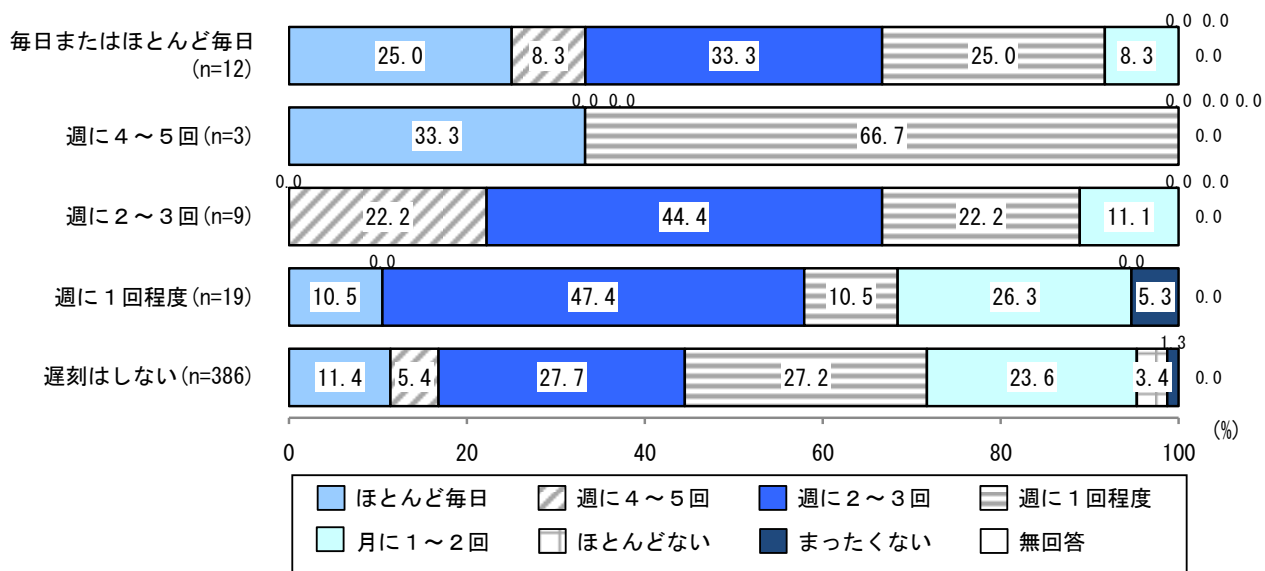
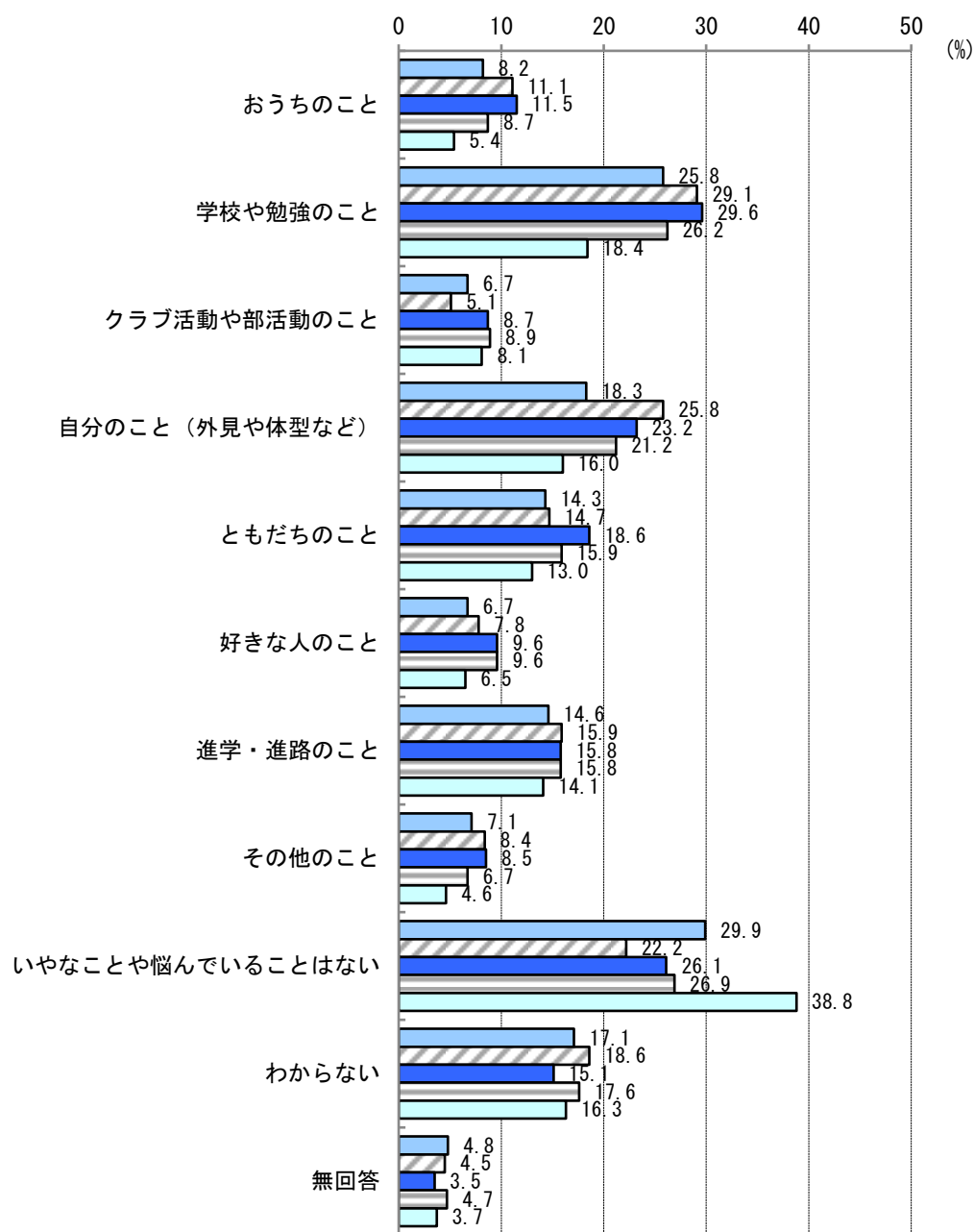


図 127. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に外出するかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は週に4～5回遅刻をしている子どもで33.3%と最も高い一方で、「まったくない」は週に1回程度遅刻をしている子どもで5.3%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること（子ども票問 7×子ども票問 17）

<大阪府内全体>



■ 毎日またはほとんど毎日 (n=1,906)
 ■ 週に4～5回 (n=333)
 ■ 週に2～3回 (n=1,063)
■ 週に1回程度 (n=2,132)
 ■ 遅刻はしない (n=35,435)

<羽曳野市>

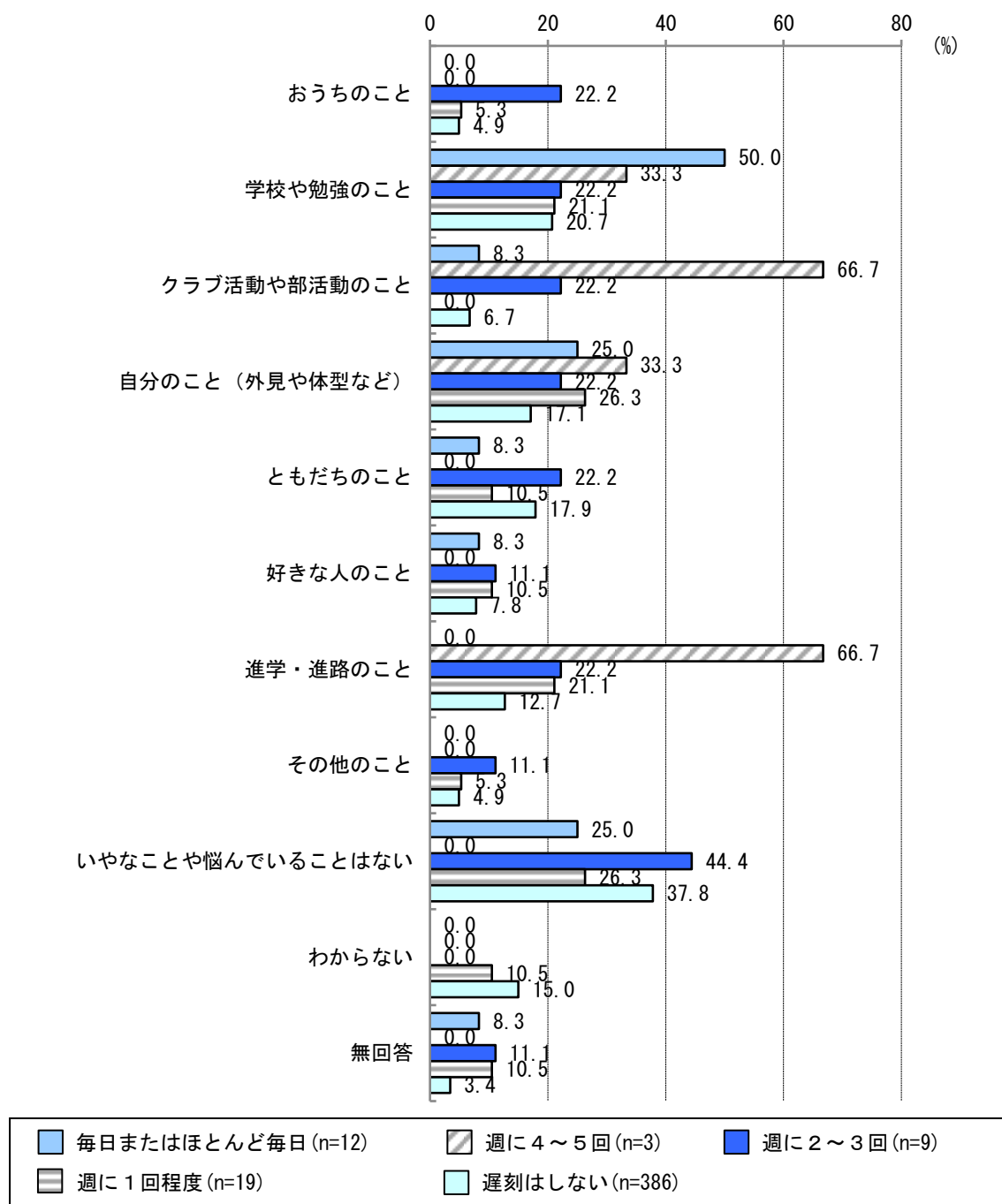
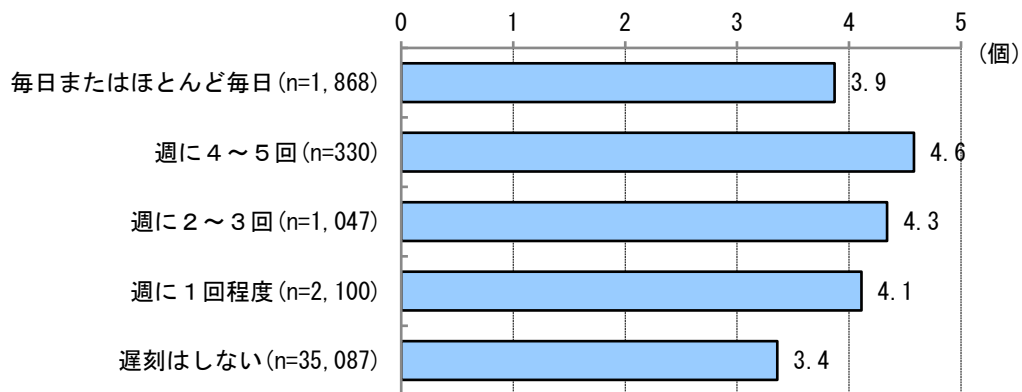


図 128. 学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること

学校への遅刻別に嫌なことや悩んでいることを見ると、週に4～5回遅刻をしている子どもで「クラブ活動や部活動のこと」「進学・進路のこと」が最も高くなっている一方で、「いやなことや悩んでいることはない」は週に2～3回遅刻をしている子どもで44.4%と最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
(子ども票問7×子ども票問19・20)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

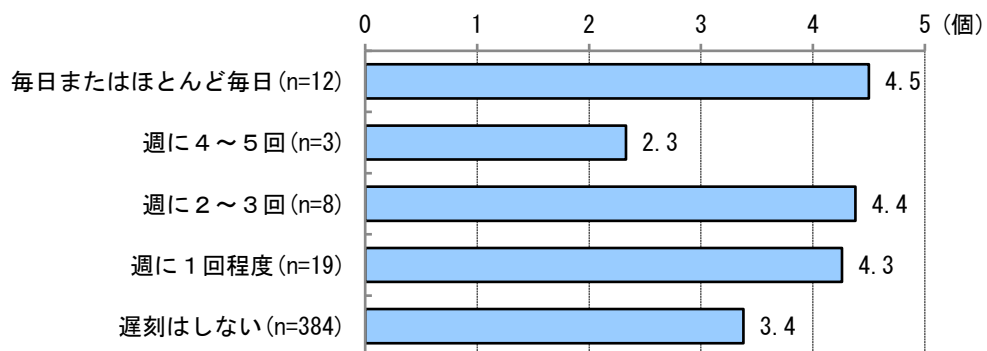
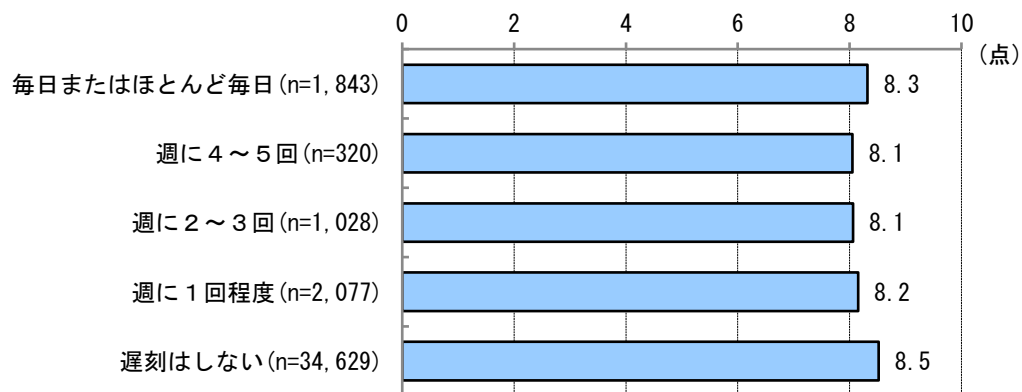


図 129. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

学校への遅刻別に自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、「毎日またはほとんど毎日」遅刻をしている子どもが4.5個で最も多く、次いで「週に2～3回」遅刻をしている子どもが4.4個となっている。

学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問7×子ども票問23）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

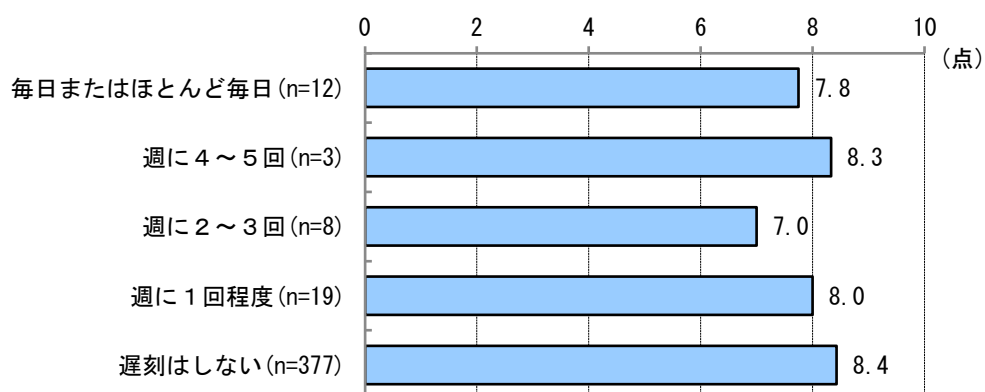
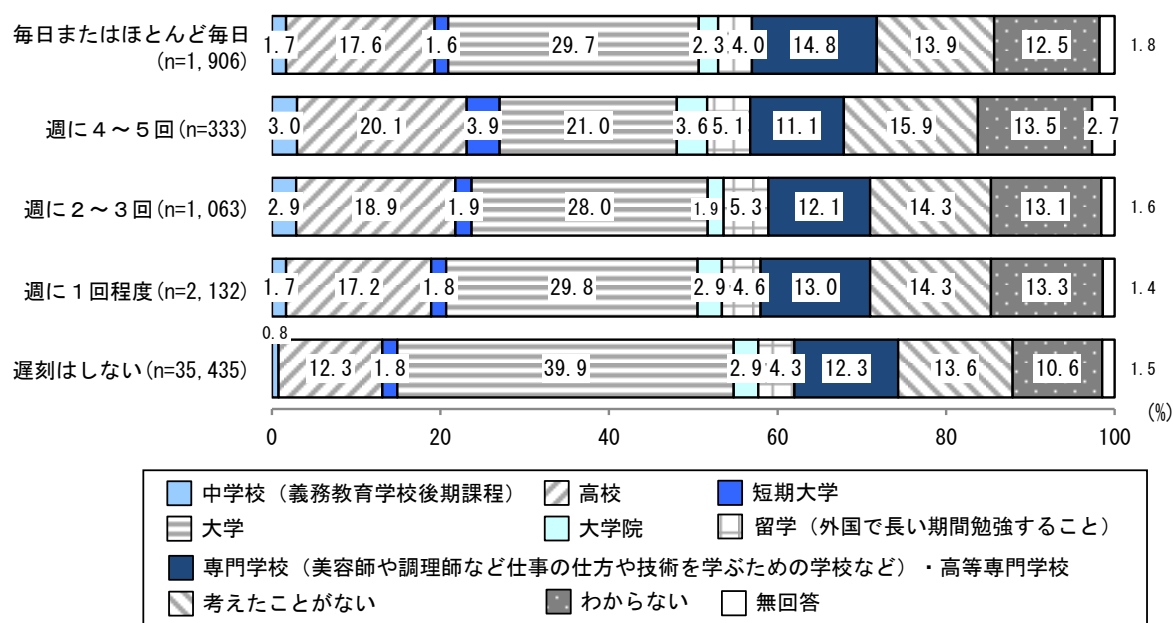


図 130. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

学校への遅刻別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「週に2～3回」遅刻している子どもは「遅刻はしない」子どもよりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）がやや低い。

学校への遅刻別に見た、希望する進学先（子ども票問7×子ども票問24）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

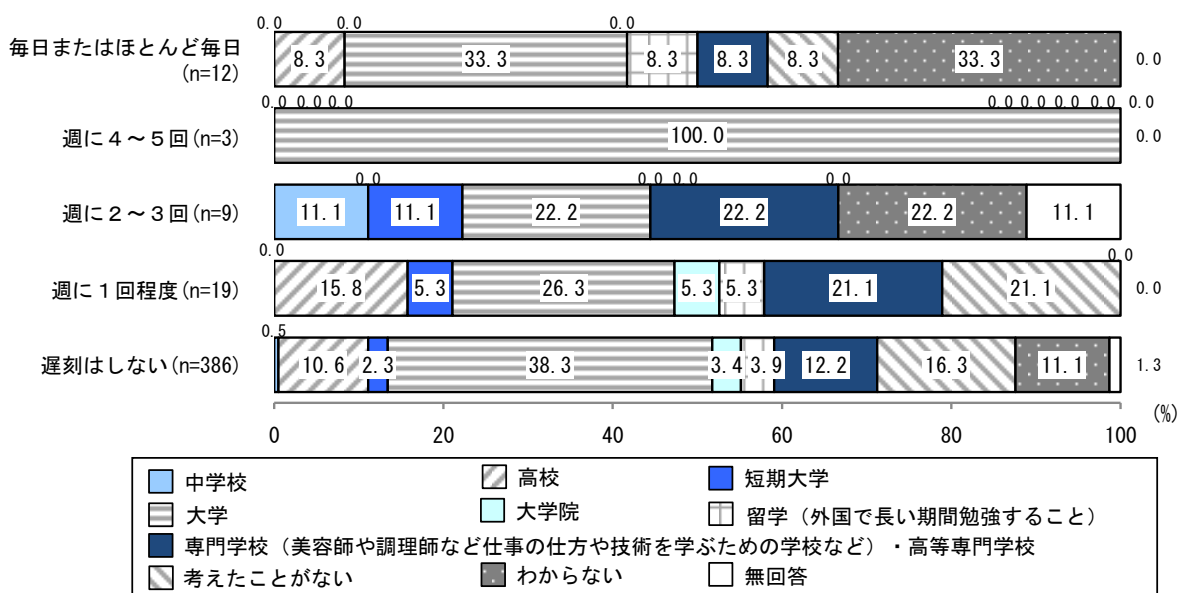
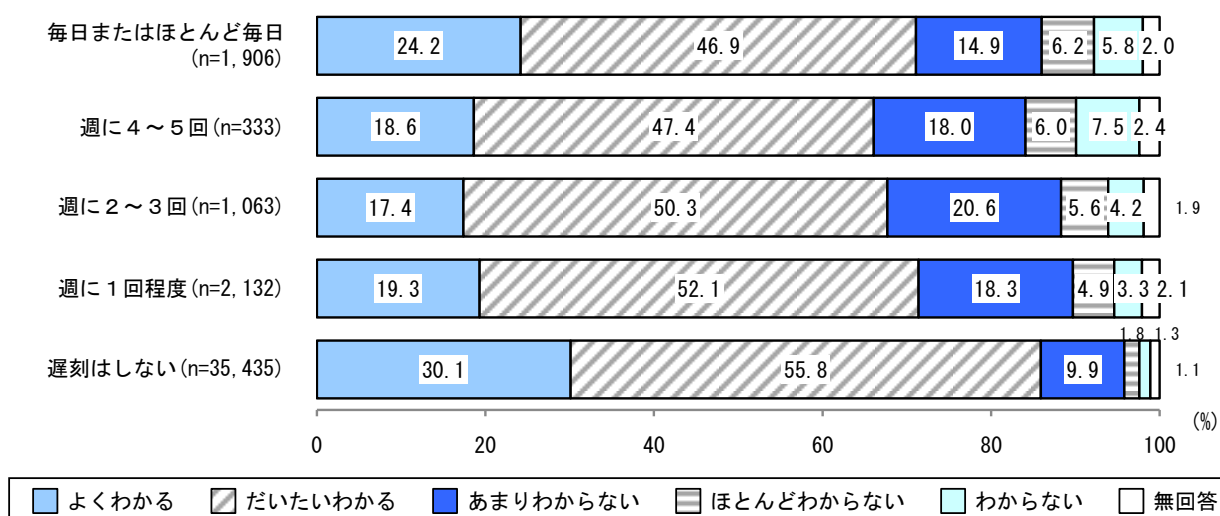


図 131. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先

学校への遅刻別に希望する進学先を見ると、「大学」は週に4～5回遅刻をしている子どもの割合が100.0%で最も高く、次いで遅刻はしない子どもの割合が38.3%となっている。

学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの（子ども票問7×子ども票問14(1)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

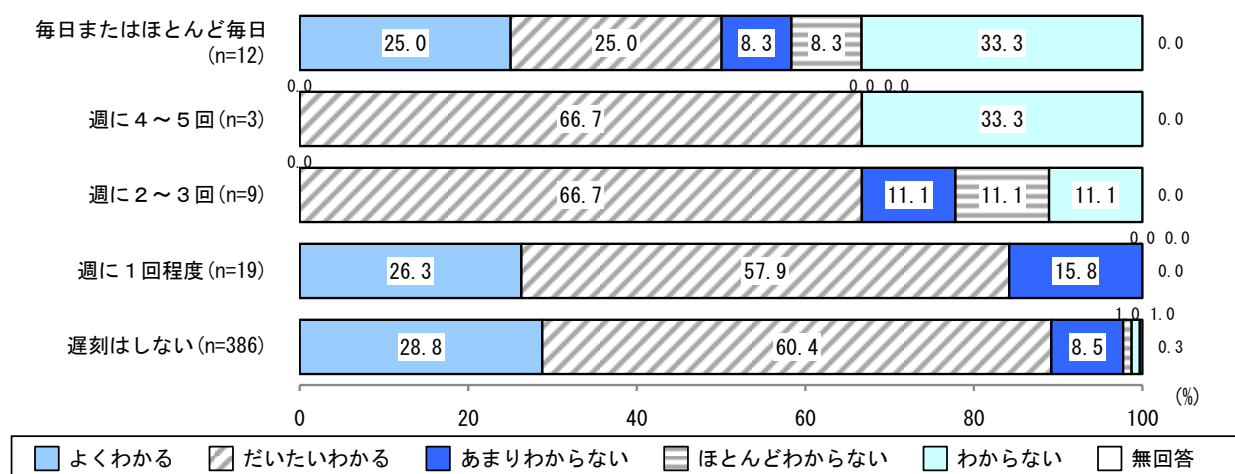
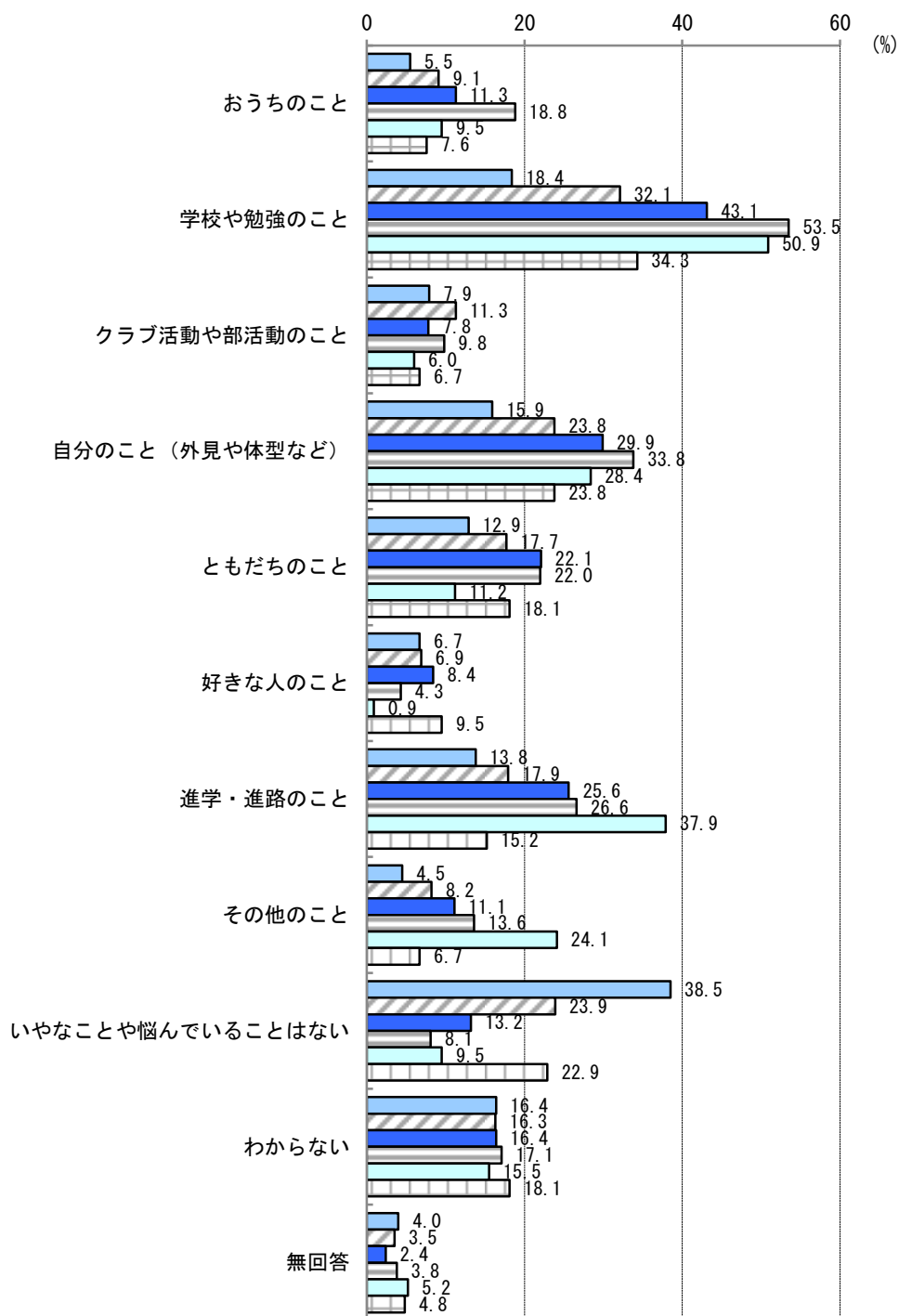


図 132. 学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの

学校への遅刻別に学校の勉強で気持ちに近いものを見ると、「よくわかる」は週に4～5回または週に2～3回遅刻をしている子どもの割合が0.0%で最も低くなっている。

子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること（保護者票問 15×子ども票問 17）

<大阪府内全体>



■ ほぼ毎日通っている (n=37,661) ■ 欠席は年間30日未満である (n=1,775)
■ 欠席が年間30日以上、60日未満である (n=371) ■ 欠席が年間60日以上、1年未満である (n=346)
■ 欠席が1年以上続いている (n=116) ■ わからない (n=105)

<羽曳野市>

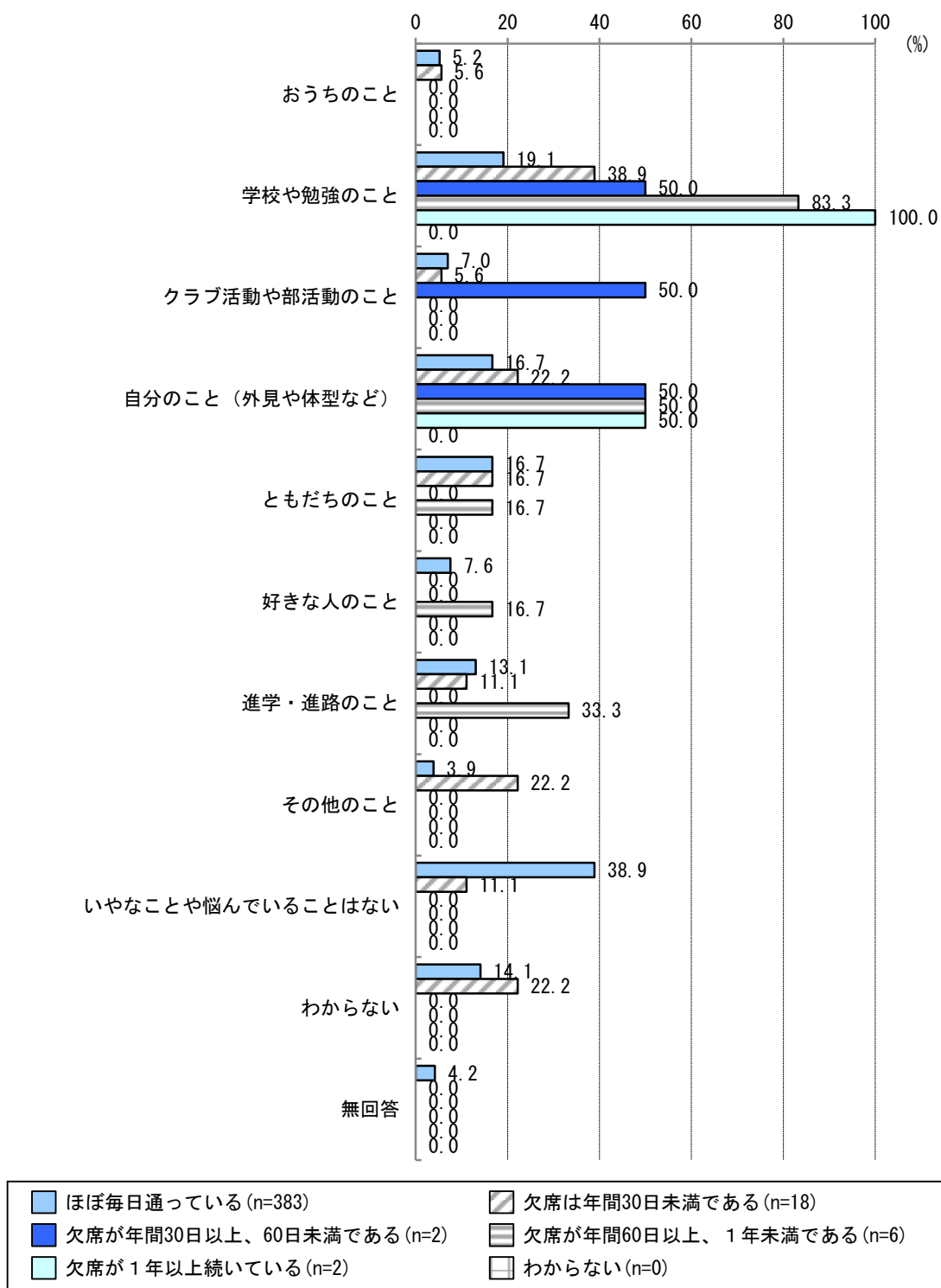
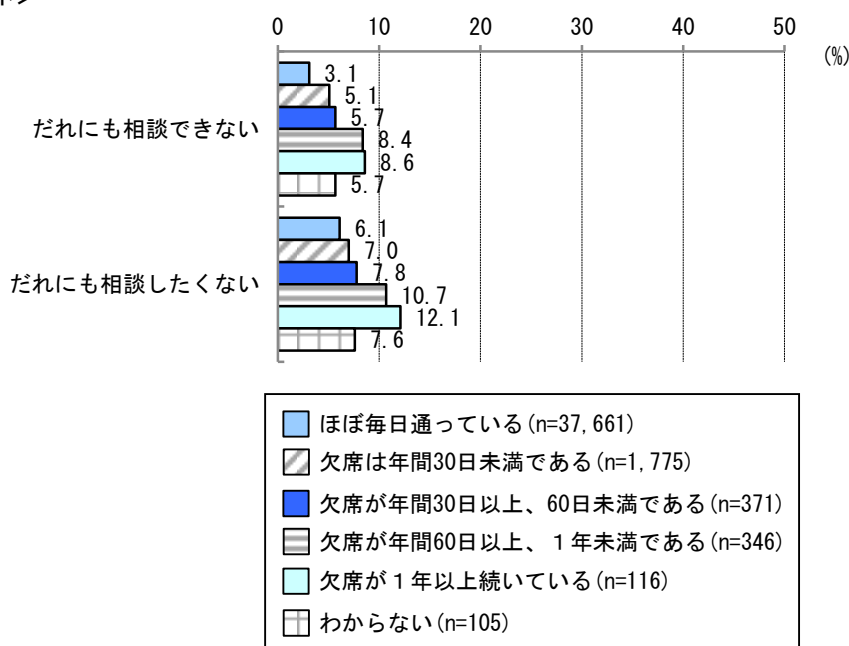


図 133. 子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること

子どもの通学状況別に嫌なことや悩んでいることを見ると、「学校や勉強のこと」は概ね子どもが欠席が多くなるほど割合が高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合
(保護者票問 15×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

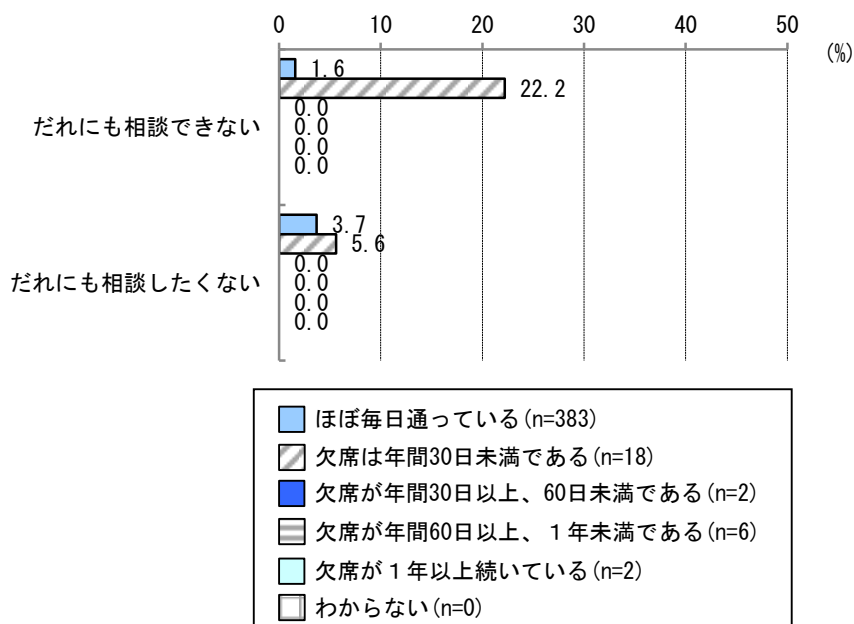
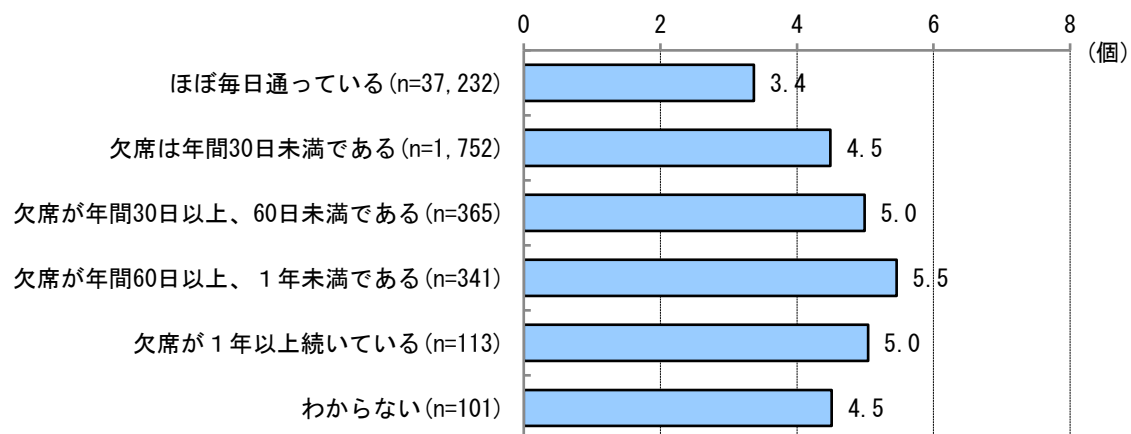


図 134. 子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合

子どもの通学状況別に悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合を見ると、「だれにも相談できない」、「だれにも相談したくない」と回答した人の割合は欠席が30日未満の人の割合が最も高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
(保護者票問 15×子ども票問 19・20)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

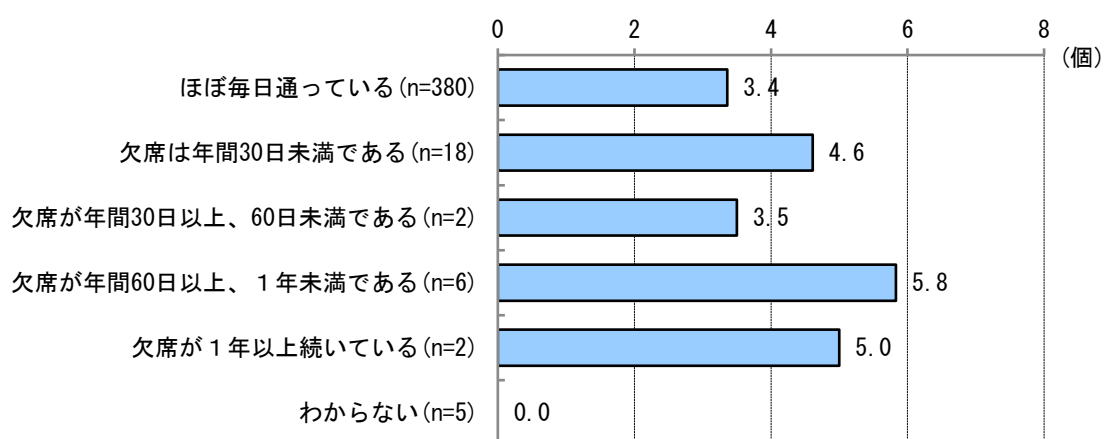
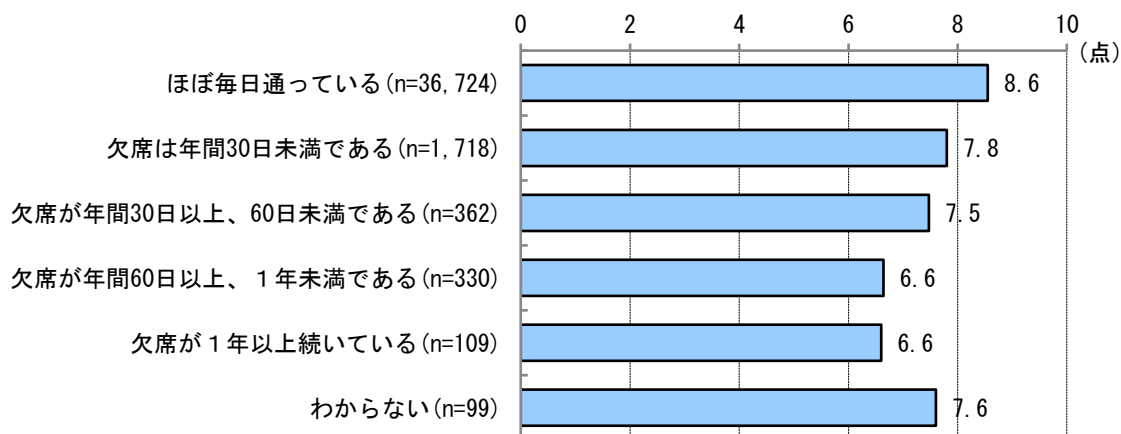


図 135. 子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

子どもの通学状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、60日以上、1年未満であると回答した人が5.8個で最も多く、次いで欠席が年間1年以上続いていると回答した人が5.0個となっている。

子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（保護者票問 15×子ども票問 23）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

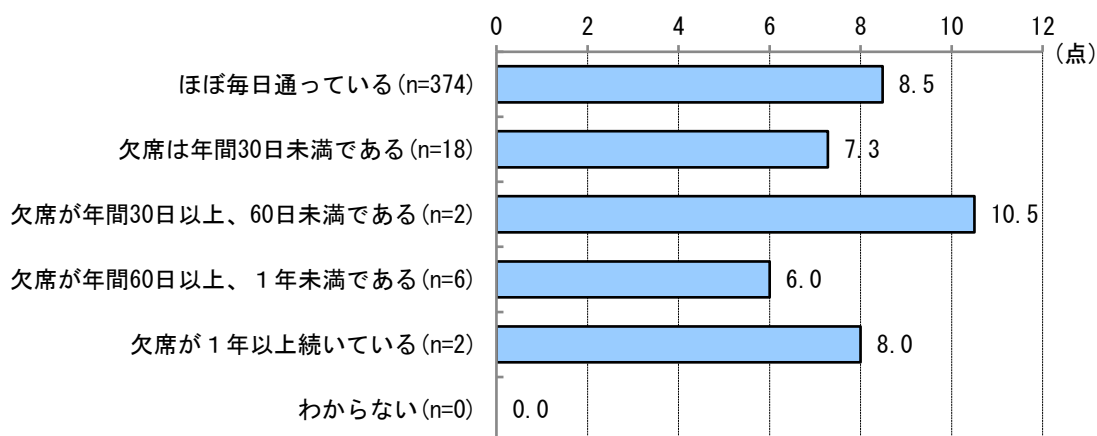
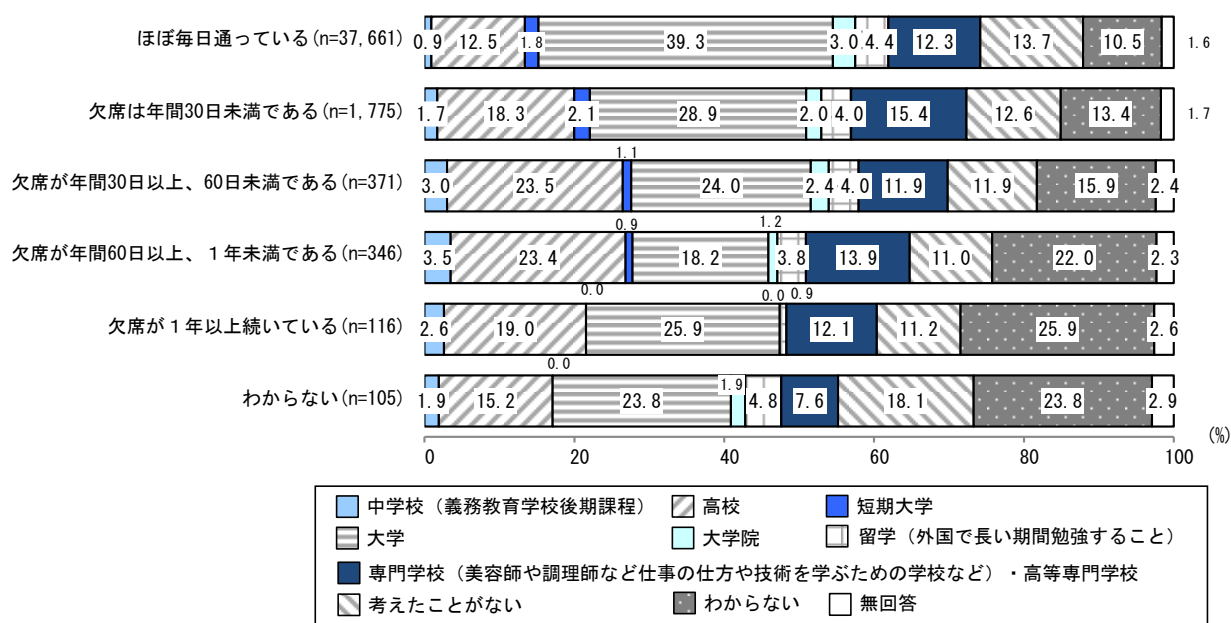


図 136. 子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもの通学状況別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、「欠席が年間30日以上、60日未満」と回答した人の得点が10.5点で、次いで「ほぼ毎日通っている」と回答した人は8.5点、「欠席が1年以上続いている」と回答した人は8.0点となっている。

子どもの通学状況別に見た、希望する進学先（保護者票問 15×子ども票問 24）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

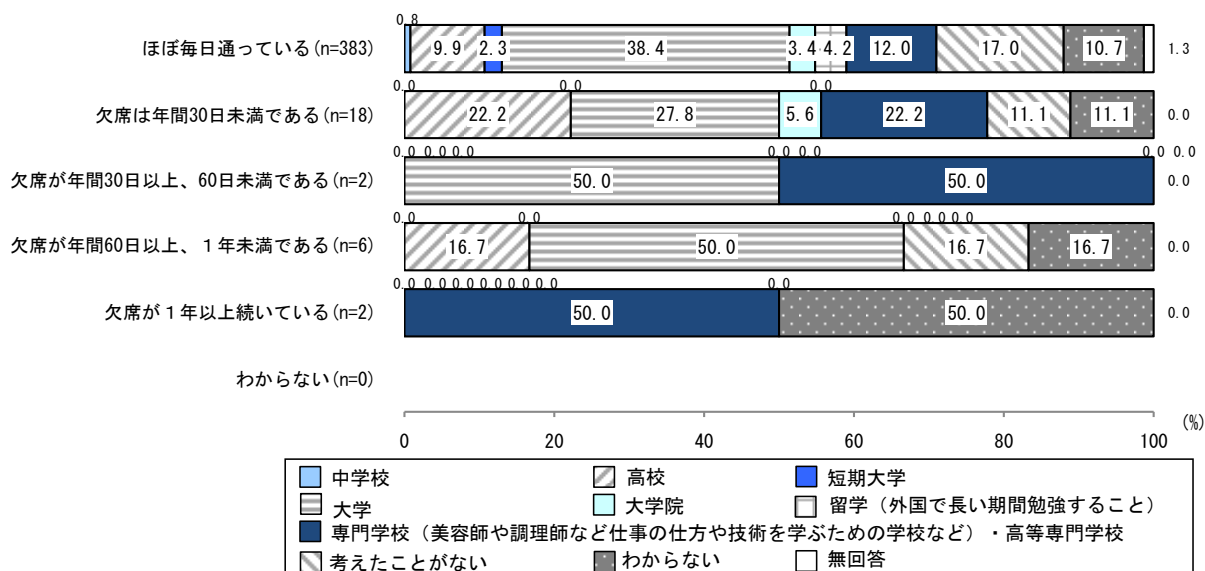
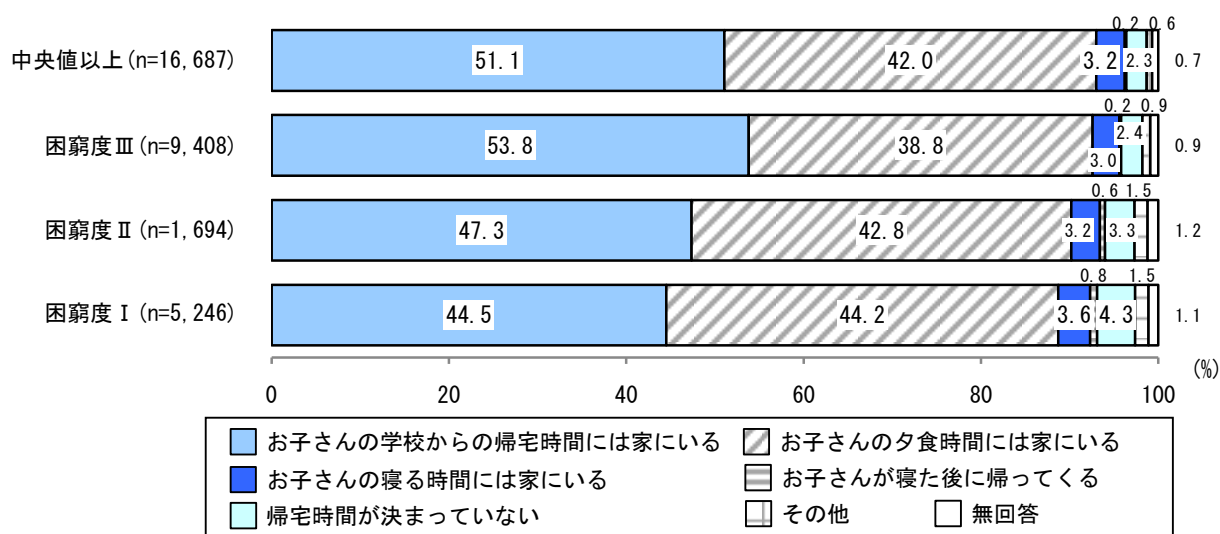


図 137. 子どもの通学状況別に見た、希望する進学先

子どもの通学状況別に希望する進学先を見ると、「大学」は欠席が年間30日以上、60日未満であるまたは年間60日以上、1年未満であると回答した人の割合がともに50.0%で最も高く、「高校」は欠席は年間30日未満であると回答した人の割合が22.2%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯（保護者票問 10）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

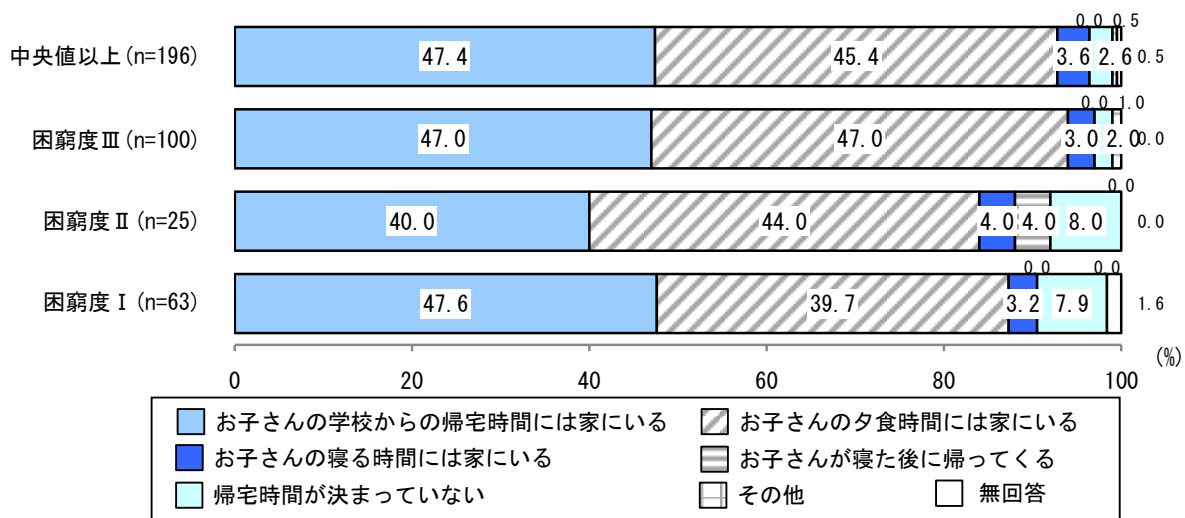
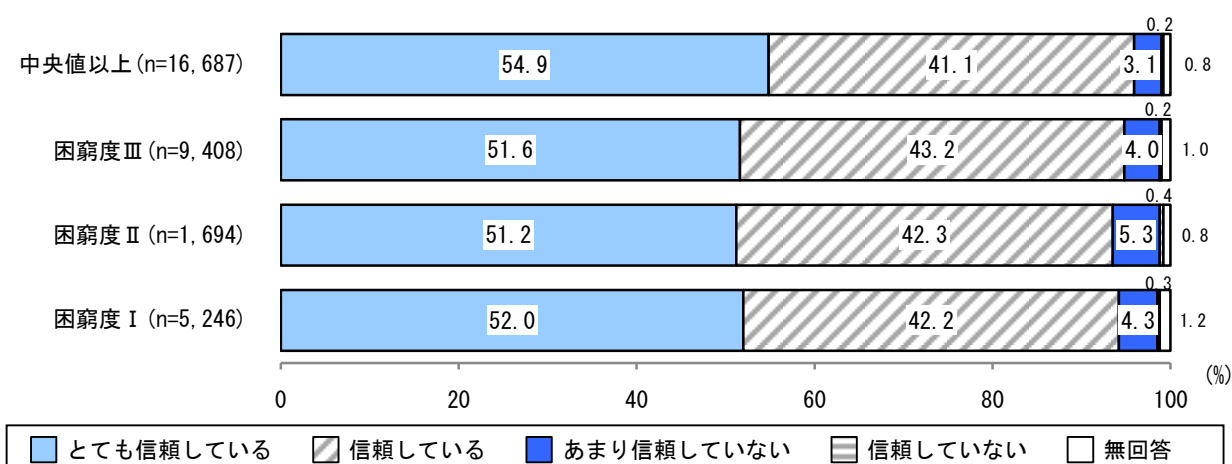


図 138. 困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯

困窮度別に保護者が家にいる時間帯を見ると、「お子さんの学校からの帰宅時には家にいる」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群で47.6%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもへの信頼度（保護者票問 13(1)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

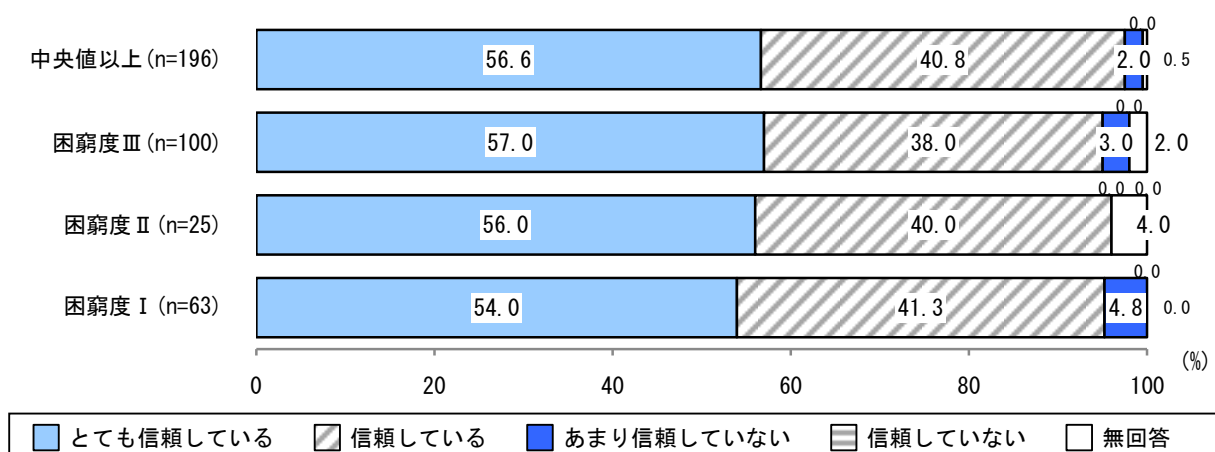
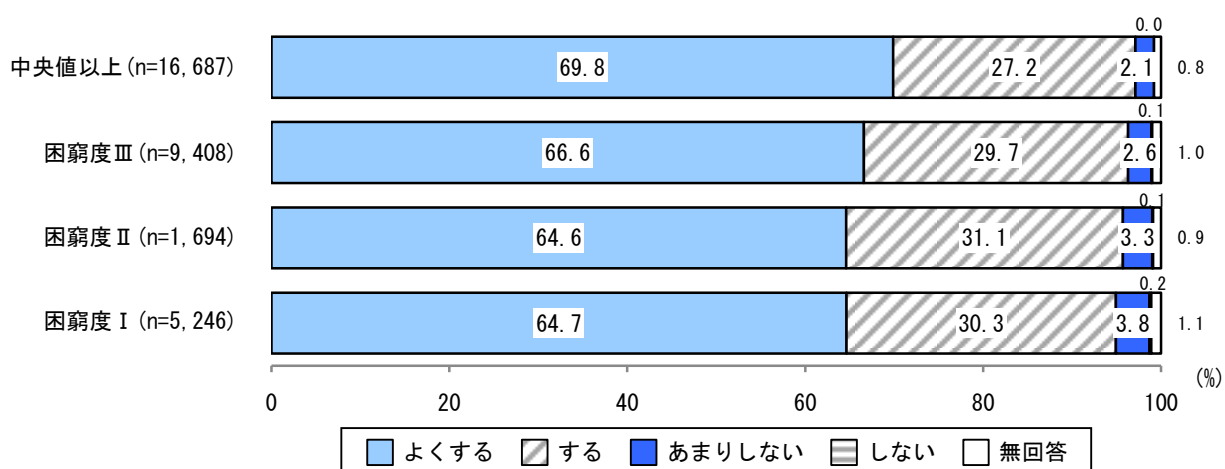


図 139. 困窮度別に見た、子どもへの信頼度

困窮度別に子どもへの信頼度を見ると、「とても信頼している」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群が54.0%で最も低く、困窮度Ⅲ群が57.0%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもとの会話頻度（保護者票問 13(2)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

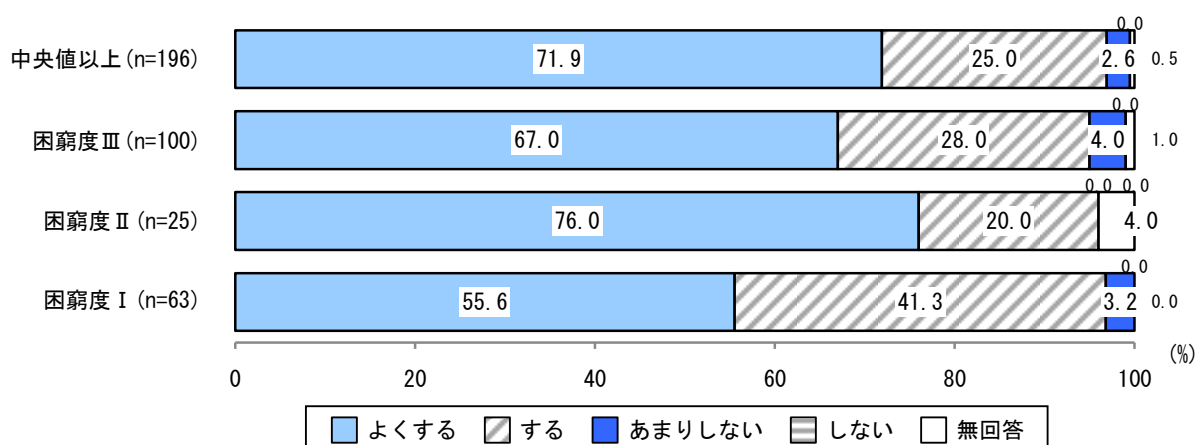
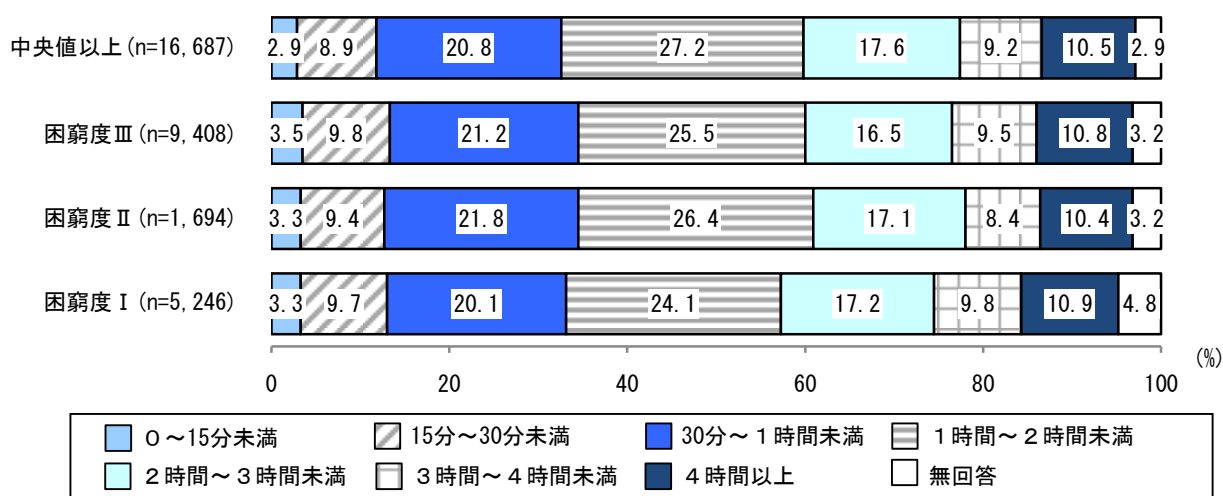


図 140. 困窮度別に見た、子どもとの会話頻度

困窮度別に子どもとの会話頻度を見ると、困窮度Ⅰ群では「よくする」と回答した割合が最も低く、55.6%となっている。

困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間（保護者票問 13(3)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

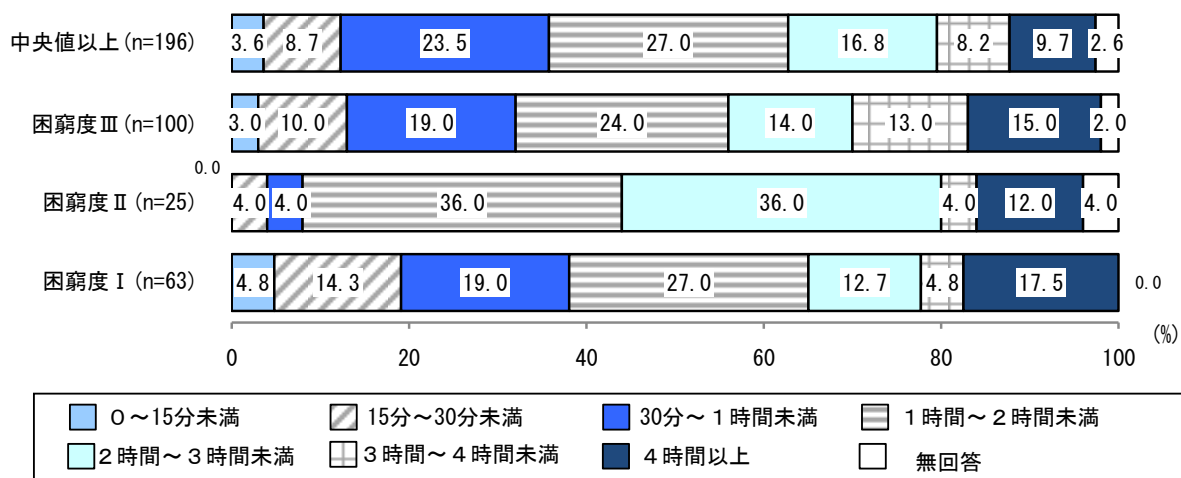
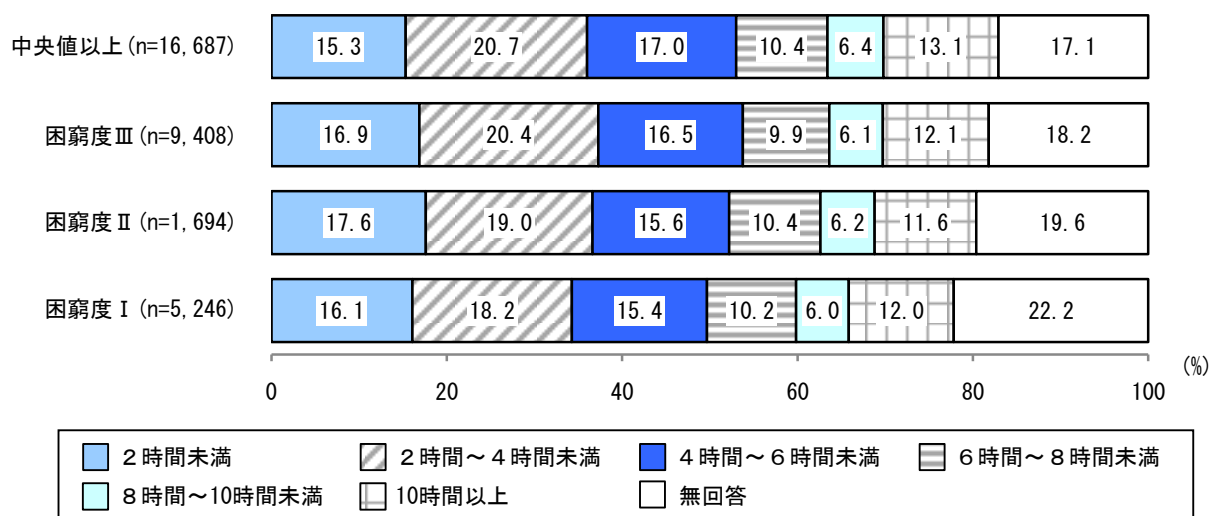


図 141. 困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間

困窮度別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「4時間以上」と回答した割合が困窮度Ⅰ群で最も高く、17.5%である。

困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間（保護者票問 13(3)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

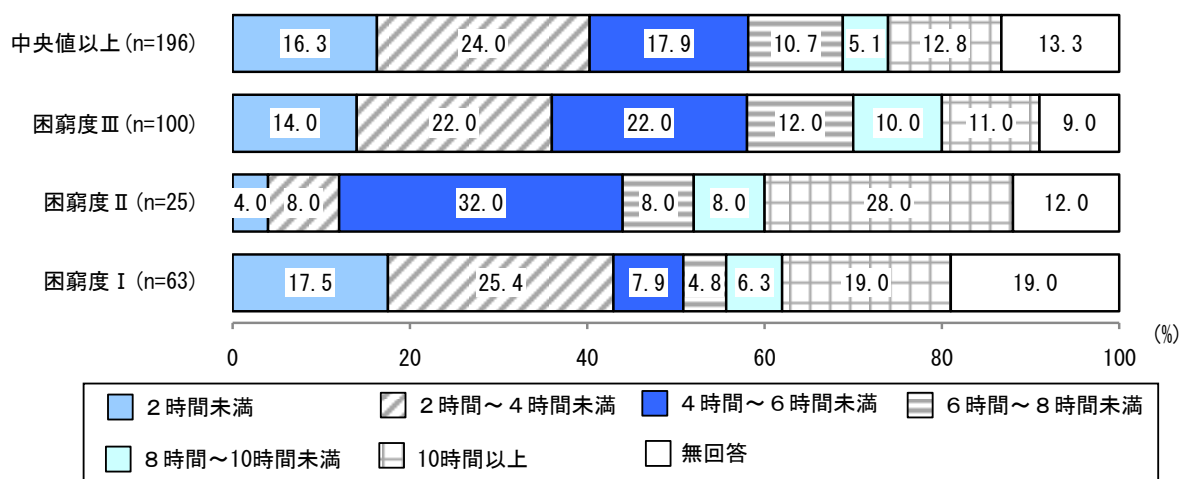
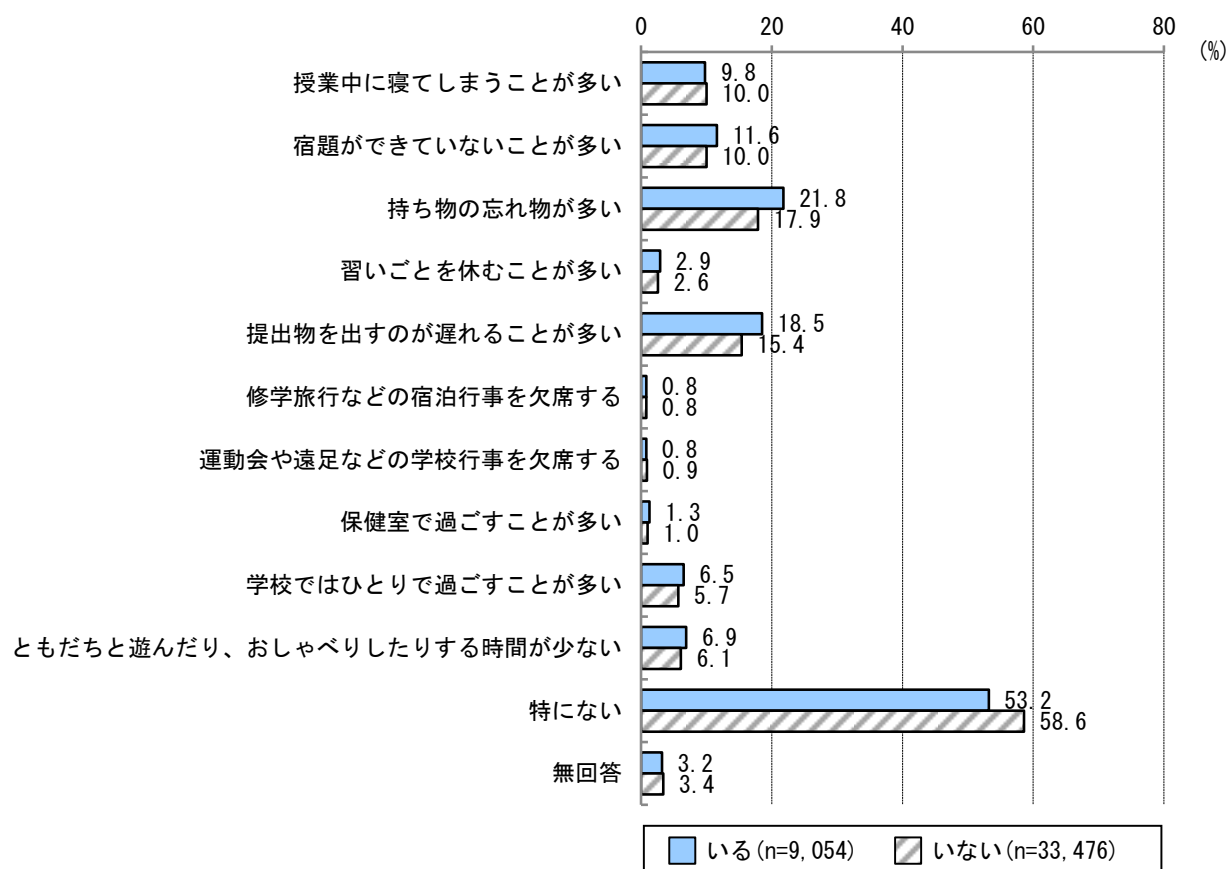


図 142. 困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間

困窮度別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「2時間未満」と回答した割合が困窮度Ⅰ群で最も高く、17.5%である。また、「10時間以上」と回答した割合は困窮度Ⅱ群で最も高く、28.0%となっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 16)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

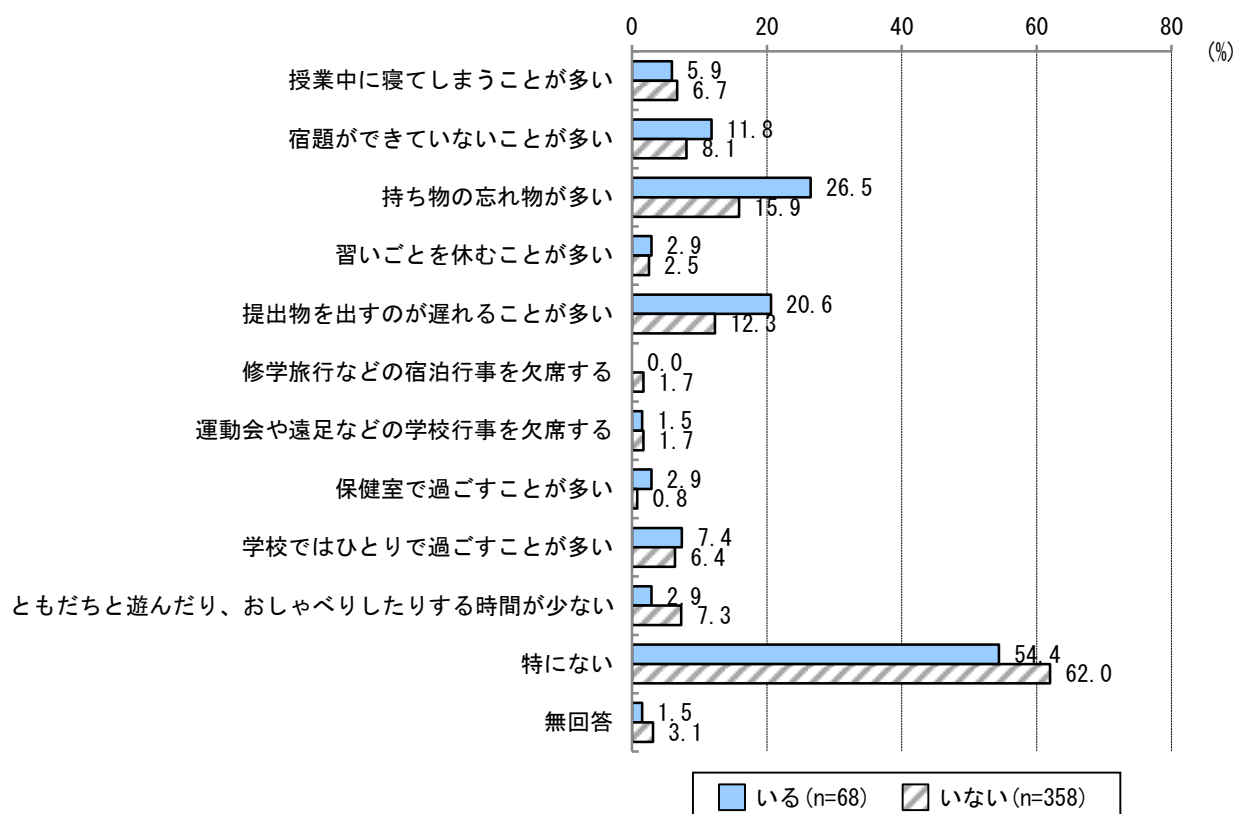
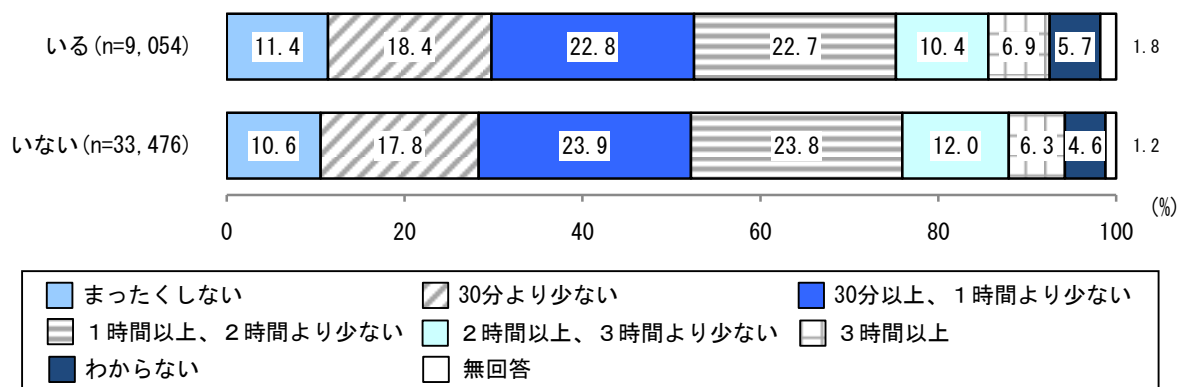


図 143. 自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況

自分が世話をしている人の有無別に学校や学校の行事等の状況を見ると、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」と回答した人の割合は、世話をしている人が「いない」割合より「いる」割合のほうが高く、差が大きくなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問26(1)×子ども票問13①）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

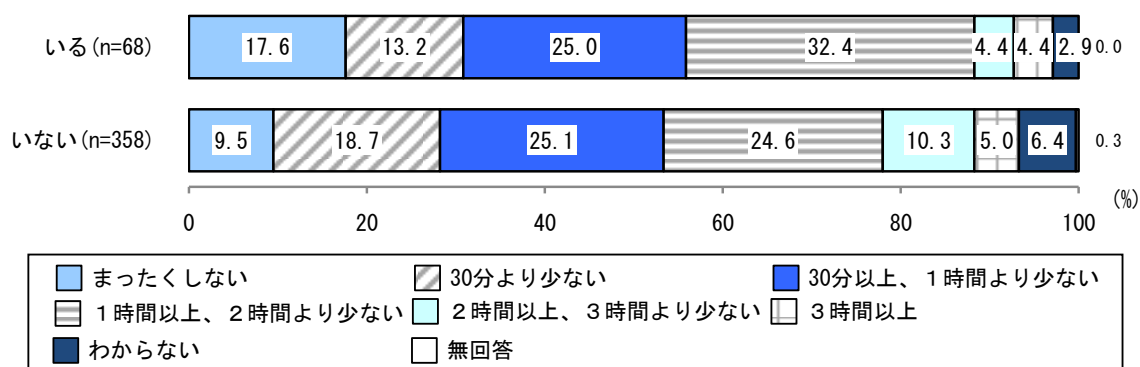
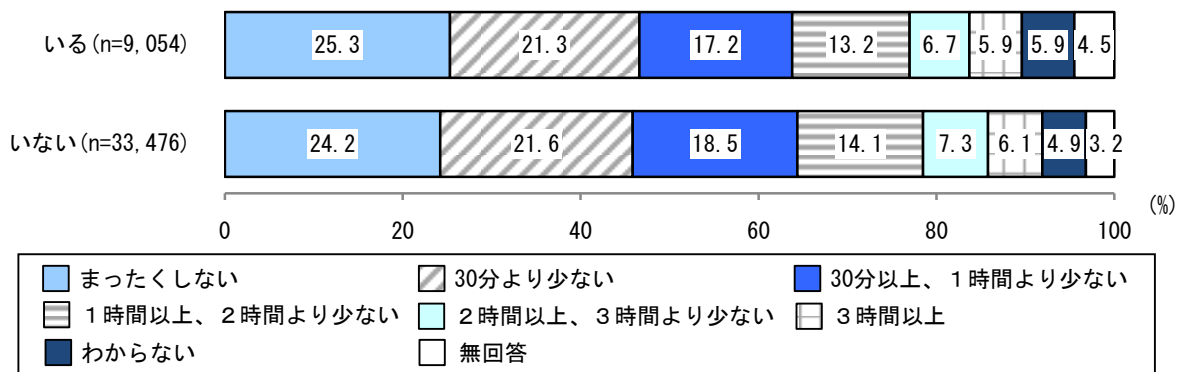


図 144. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）

自分が世話をしている人の有無別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、「まったくしない」と回答した人の割合は、世話をしている人が「いない」人より「いる」人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問26(1)×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

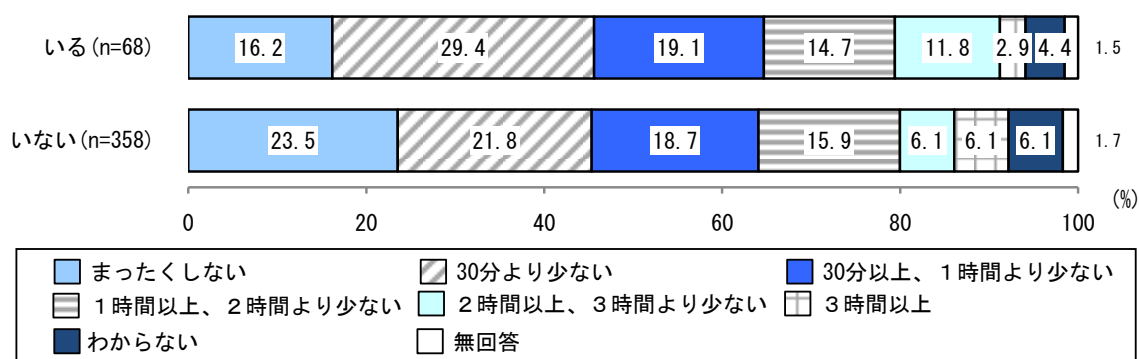


図 145. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

自分が世話をしている人の有無別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、「30分より少ない」と回答した人の割合は、世話をしている人が「いない」人より「いる」人のほうが割合が高くなっている。

<家庭生活・学習に関する考察>

まず、経済状況と家庭生活における子どもと保護者のかかわりの関連について、困窮度が中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間の差に着目しながら確認する。おうちの大人のひと朝食をとる頻度を見ると、「ほとんど毎日」(49.7%対39.3%)が中央値以上群では困窮度Ⅰ群と比べ10.4ポイント高くなっている。おうちの大人のひと夕食をとる頻度を見ると、「ほとんど毎日」(84.9%対73.8%)が中央値以上群では困窮度Ⅰ群と比べ11.1ポイント高くなっている。保護者が家にいる時間帯では、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」(47.6%対47.4%)が困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ大きな違いはない。保護者の子どもとの会話頻度を見ると、「よくする」(71.9%対55.6%)が中央値以上群では困窮度Ⅰ群と比べ16.3ポイント高くなっている。これらの結果から、経済状況が保護者と子どもの間のコミュニケーションの深さや子どもの生活リズムに影響を及ぼしうると考えられる。

次に、学校への遅刻状況と家庭生活における子どもと保護者のかかわりの関連について確認する。子どもとの会話頻度を見ると、「遅刻はしない」群は週に1回以上遅刻する群と比べ、「よくする」(72.6%対50.0%)が22.6ポイント高くなっている。週に1回以上遅刻する群でも47.6%が子どもと会話を「する」と回答しているものの、より積極的な会話頻度として見ると遅刻頻度による違いが伺える。子どもの将来に対する親の期待度も、「遅刻はしない」群は週に1回以上遅刻する群と比べ、「とても期待している」と「期待している」の合計(85.1%対69.0%)が16.1ポイント高くなっている。これらの結果から、遅刻頻度と子どもと保護者のかかわりの関連が伺え、日々の遅刻から保護者とのコミュニケーションの不足を暗示しうると考えられる。

経済状況と子どもの学習にかかわる習慣や進学希望の関連について、困窮度が中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間の差に着目して述べる。学校がある日の勉強時間を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「まったくしない」(18.0%対7.8%)が10.2ポイント、学校がない日の勉強時間を見ると、「まったくしない」(32.8%対19.6%)が13.2ポイント高くなっている。学習理解度を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「あまりわからない」「ほとんどわからない」と「わからない」の合計(29.6%対8.4%)が21.2ポイント高くなっている。授業以外の読書時間を見ると、困窮度Ⅰ群では中央値以上群と比べ、「まったくしない」(62.3%対41.9%)が20.4ポイント高くなっている。希望進学先を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、子ども自身の希望する進学先で「高校」(16.4%対8.4%)が8.0ポイント、保護者の希望する進学先でも「高校」(27.0%対6.6%)が20.4ポイント高くなっている。一方、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、子どもの自身の希望する進学先で「大学」(40.8%対36.1%)が4.7ポイント、保護者の希望する進学先でも「大学」(70.4%対42.9%)が27.5ポイント高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の子どもは学習習慣や読書習慣が定着しにくく、結果的に学習理解が不十分となっている可能性が示された。また、子ども自身も保護者も大学以上の高いレベルの教育を望みにくくなっており、これは経済的事情と学習理解の低さのいずれもが要因となっている可能性がある。

続いて、朝の習慣や学校への遅刻状況と子どもの学習に関わる習慣の関連について確認する。起床時間の規則性に学習時間を見ると、ほぼ同じ時刻に「起きていない」群は「起きている」群と比べ、学校がある日の勉強時間では「まったくしない」(23.1%対6.5%)が16.6ポイント、学校がない日の勉強時間では「まったくしない」(30.8%対18.8%)が12.0ポイント高くなっている。朝食の頻度別に学習時間を見ると、朝食を「食べない」群では「毎日またはほとんど毎日」食べる群に比べ、学校がある日の勉強時間では「まったくしない」(36.4%対8.0%)が28.4ポイント高くなっている。また、授業以外の読書時間では「まったくしない」(54.5%対44.4%)は10.1ポイント高くなっている。学校への遅刻頻度別に学習に関わる項目を見ると、「毎日またはほとん

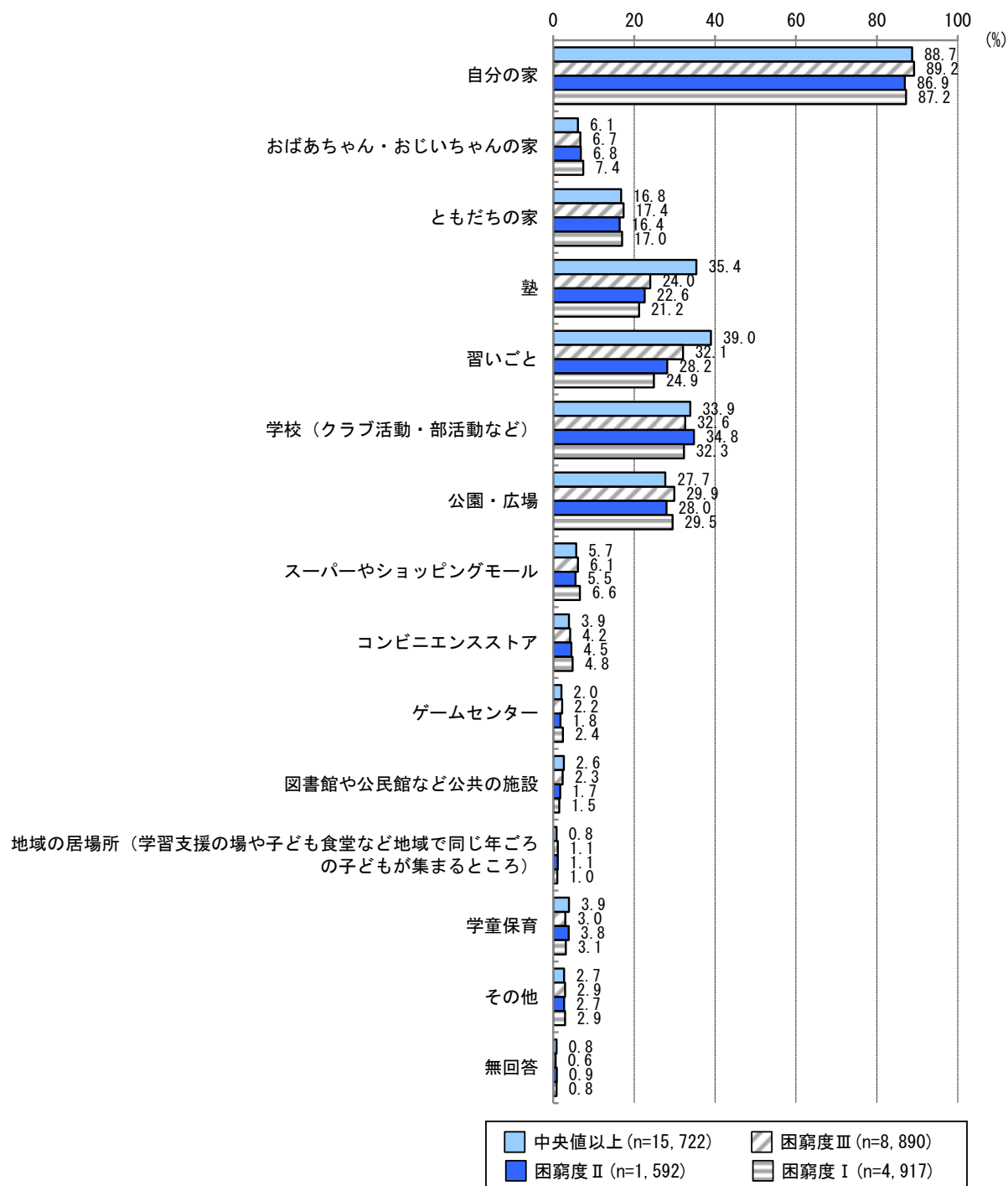
ど毎日」遅刻する群は「遅刻はしない」群に比べ、学習理解度では「ほとんどわからない」と「わからない」の合計（41.6%対2.0%）が39.6ポイント高くなっている。これらの結果から、起床時刻や朝食の有無など朝の習慣形成は、学習習慣・読書習慣の形成に影響を及ぼす可能性が示唆された。また、朝の習慣が身についていないと遅刻につながり、授業を受けられていないことによる影響が甚大である可能性がある。

最後に、ヤングケアラー項目と学習状況の関連について確認する。世話をしている人がいる群は世話をしている人がいない群と比べ、「持ち物の忘れ物が多い」こと（26.5%対15.9%）や「提出物を出すのが遅れることが多い」こと（20.6%対12.3%）において割合が高く、困難を抱えている傾向がある。一方、世話をしている人がいない群は世話をしている人がいる群と比べ、学校生活において懸念することが「特にない」と回答する割合（62.0%対54.4%）が多くなっている。さらに、学習時間を見ると、世話をしている人がいる群は世話をしている人がいない群と比べ、学校のある日の学習時間では「まったくしない」（17.6%対9.5%）がポイント高くなっている。もちろん、学校のある日に1時間以上勉強している子どもたちも一定数おり、学校のある日に勉強できていない子どもも学校のない日に勉強している可能性も考えられるが、学校への持ち物・提出物忘れの集計結果も鑑みると、ヤングケアラーの可能性が高い子どもたちの中で、学校のある日にまったく勉強できていないケースが少なくないことには注目すべきである。

3-5. 対人関係

困窮度別に見た、放課後を過ごす場所（子ども票問 11）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

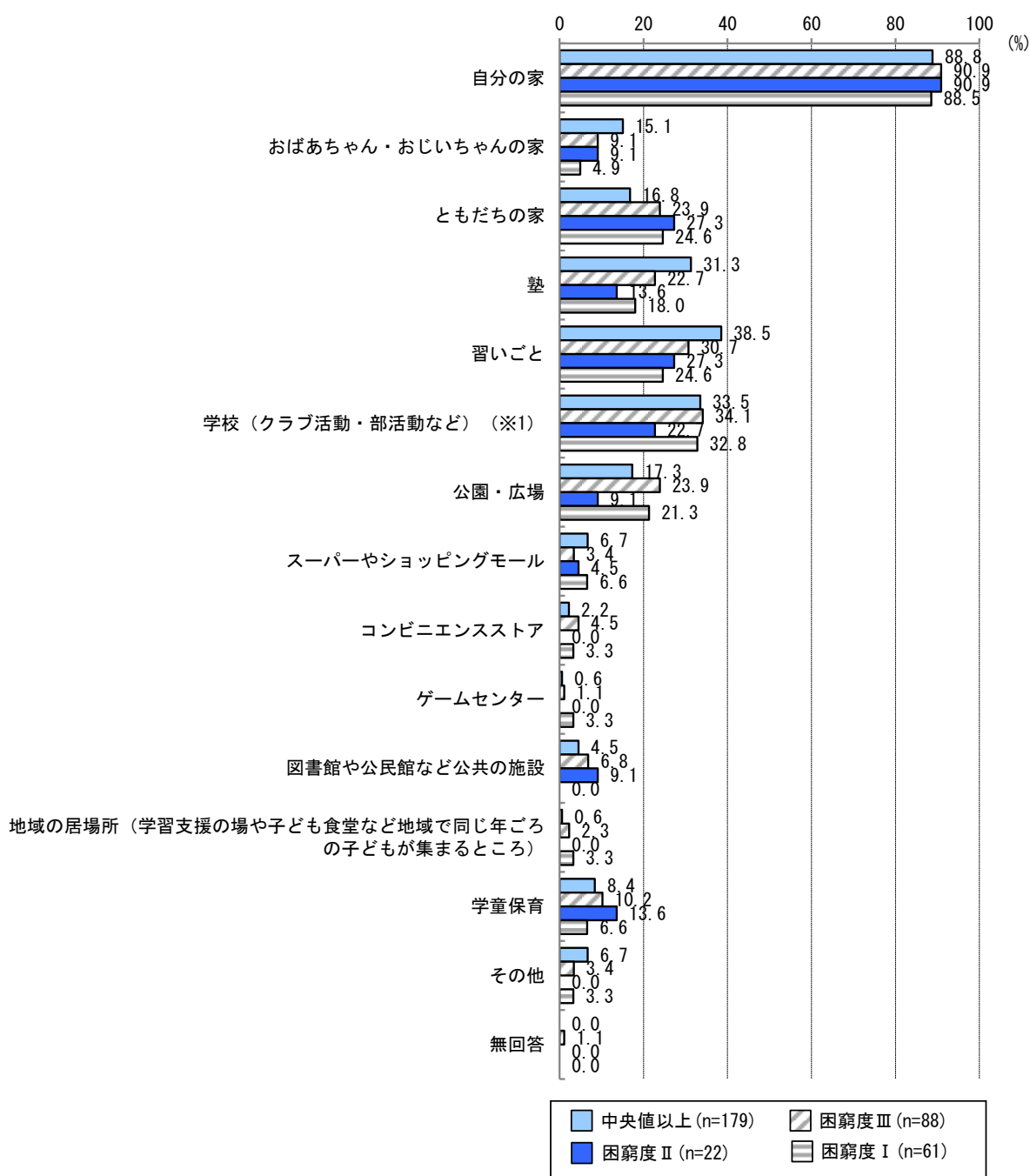
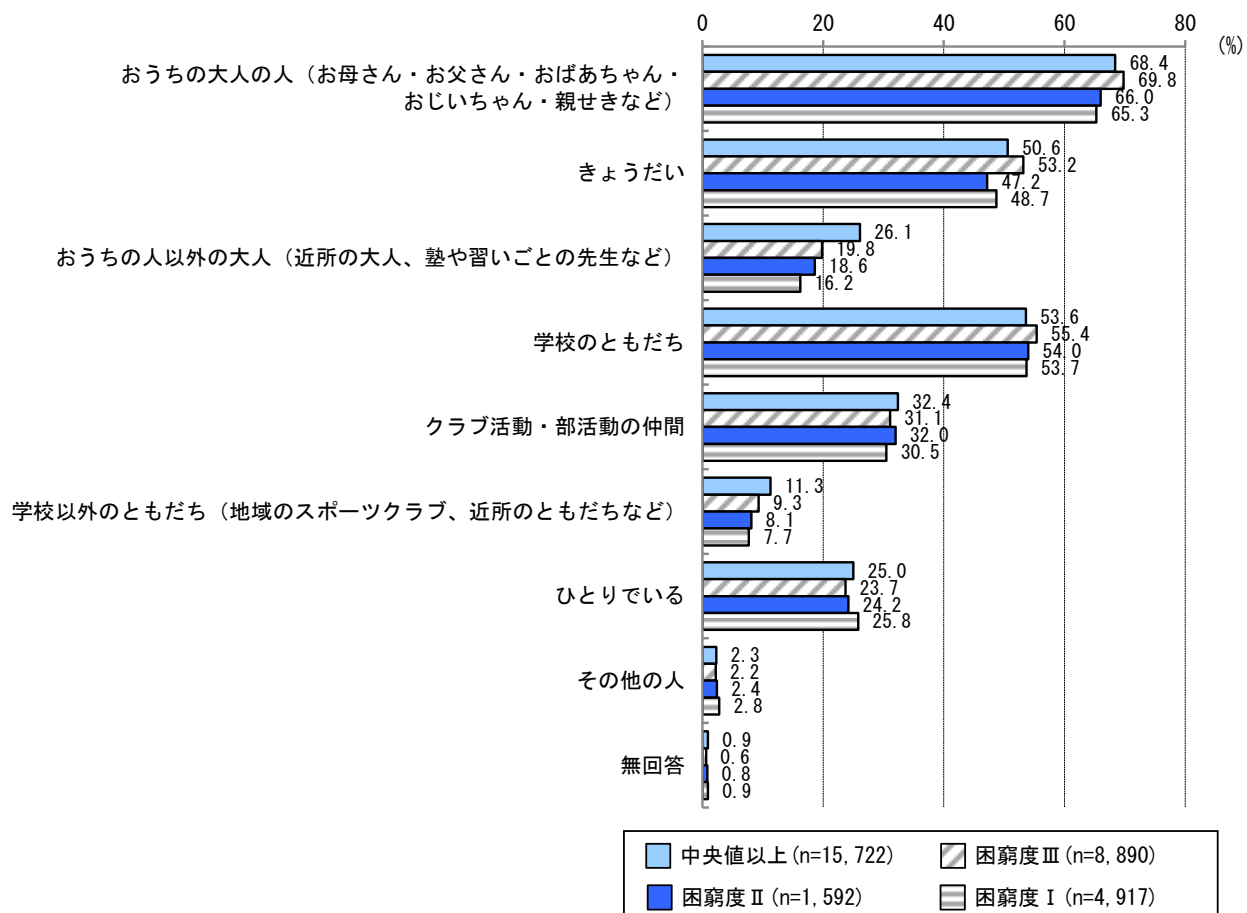


図 146. 困窮度別に見た、放課後を過ごす場所

困窮度別に子どもが放課後に過ごす場所を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所）」3.3%（中央値以上群に対して5.5倍）、「ゲームセンター」3.3%（同じく5.5倍）、「コンビニエンスストア」3.3%（同じく1.5倍）となっている。一方、中央値以上群では、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」15.1%（困窮度Ⅰ群に対して3.1倍）、「塾」31.3%（同じく1.7倍）などが高かった。

困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人（子ども票問10）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

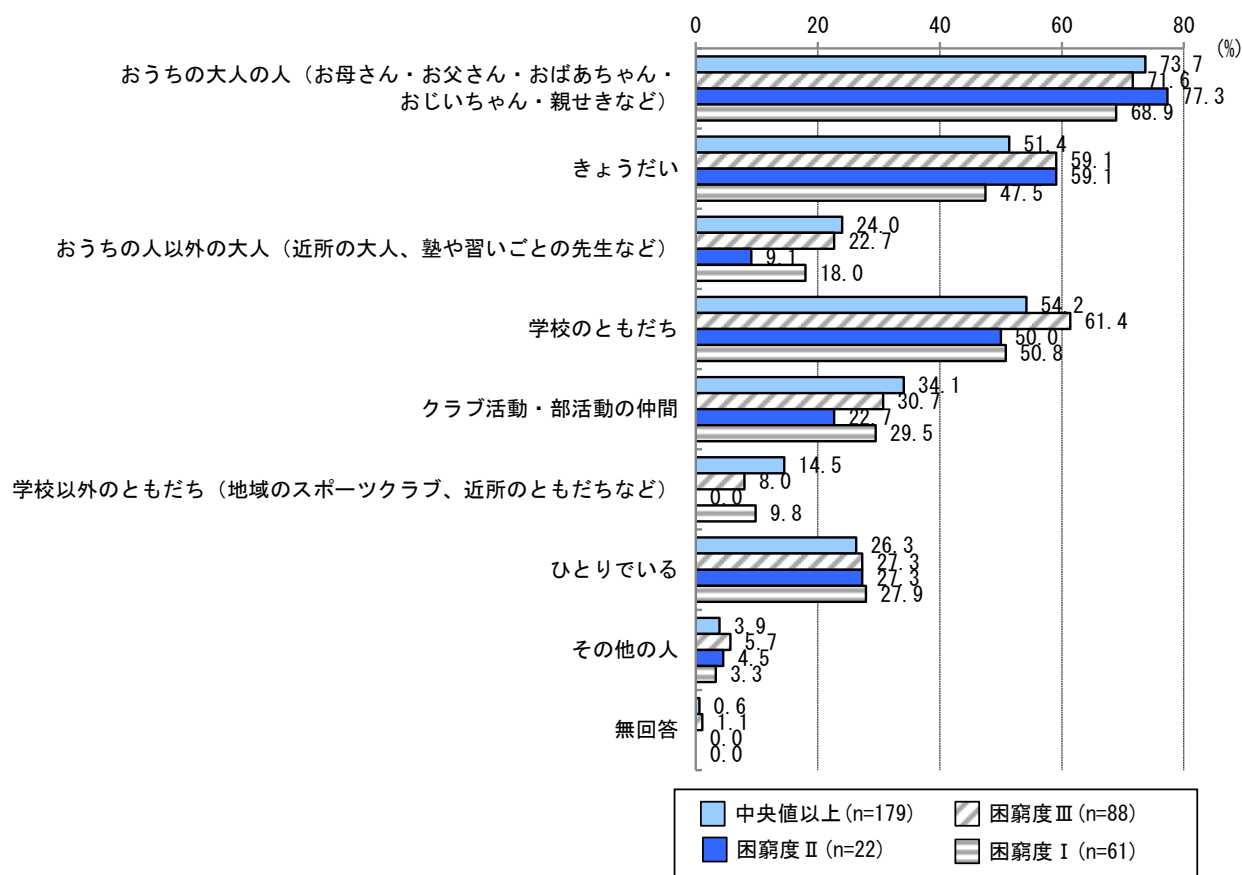
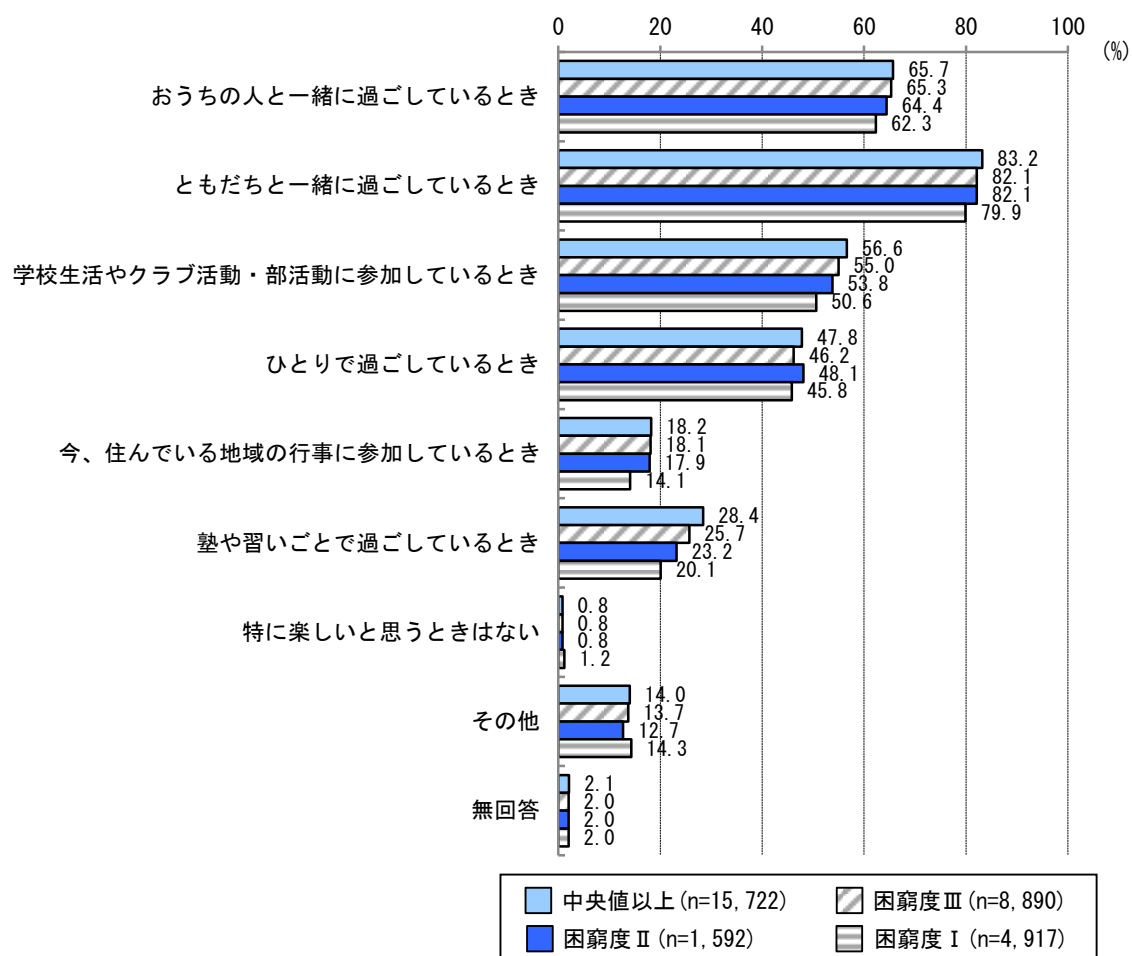


図 147. 困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人

困窮度別に子どもが放課後一緒に過ごす人を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、中央値以上群では「学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）」14.5%（困窮度Ⅰ群に対して1.5倍）、「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」24.0%（同じく1.3倍）が高かった。

困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと（子ども票問9）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

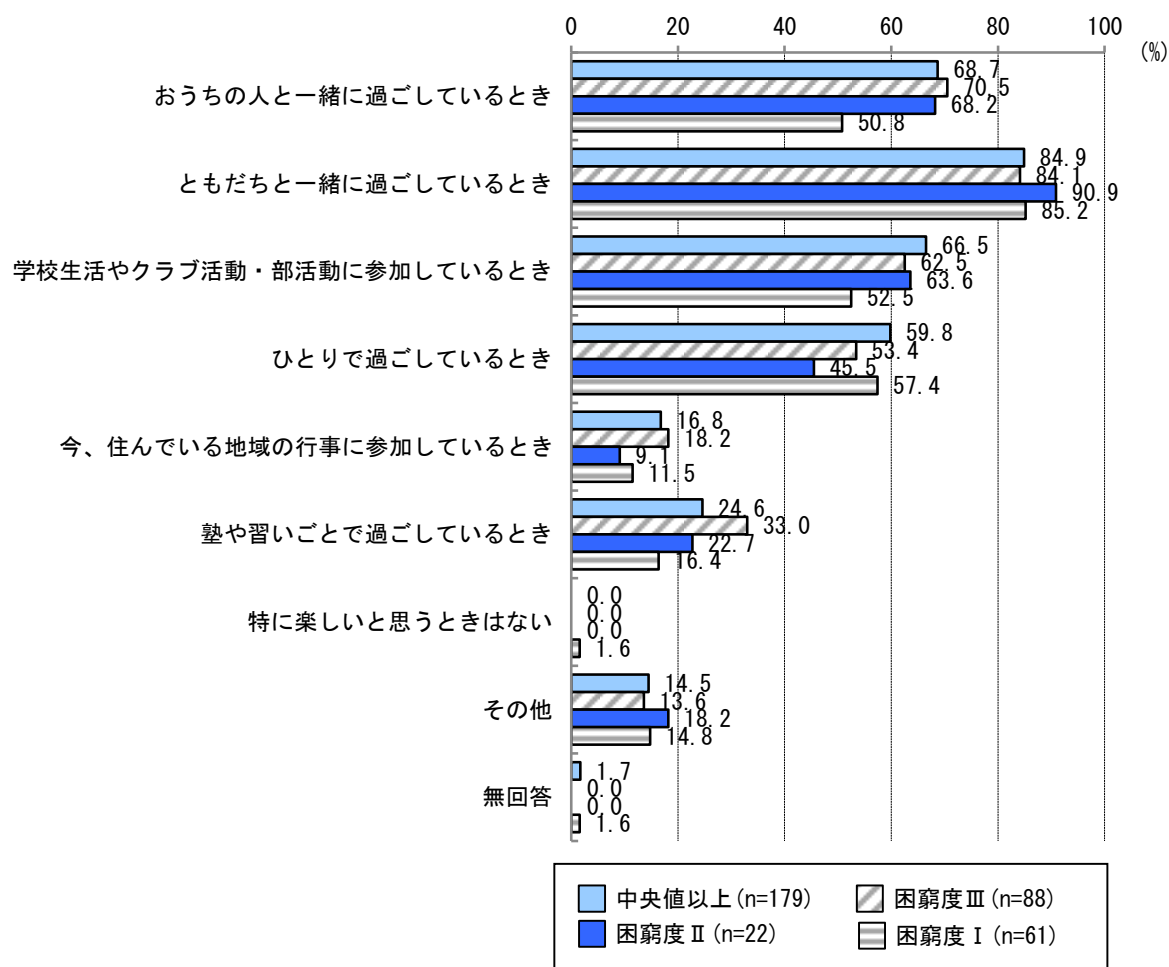
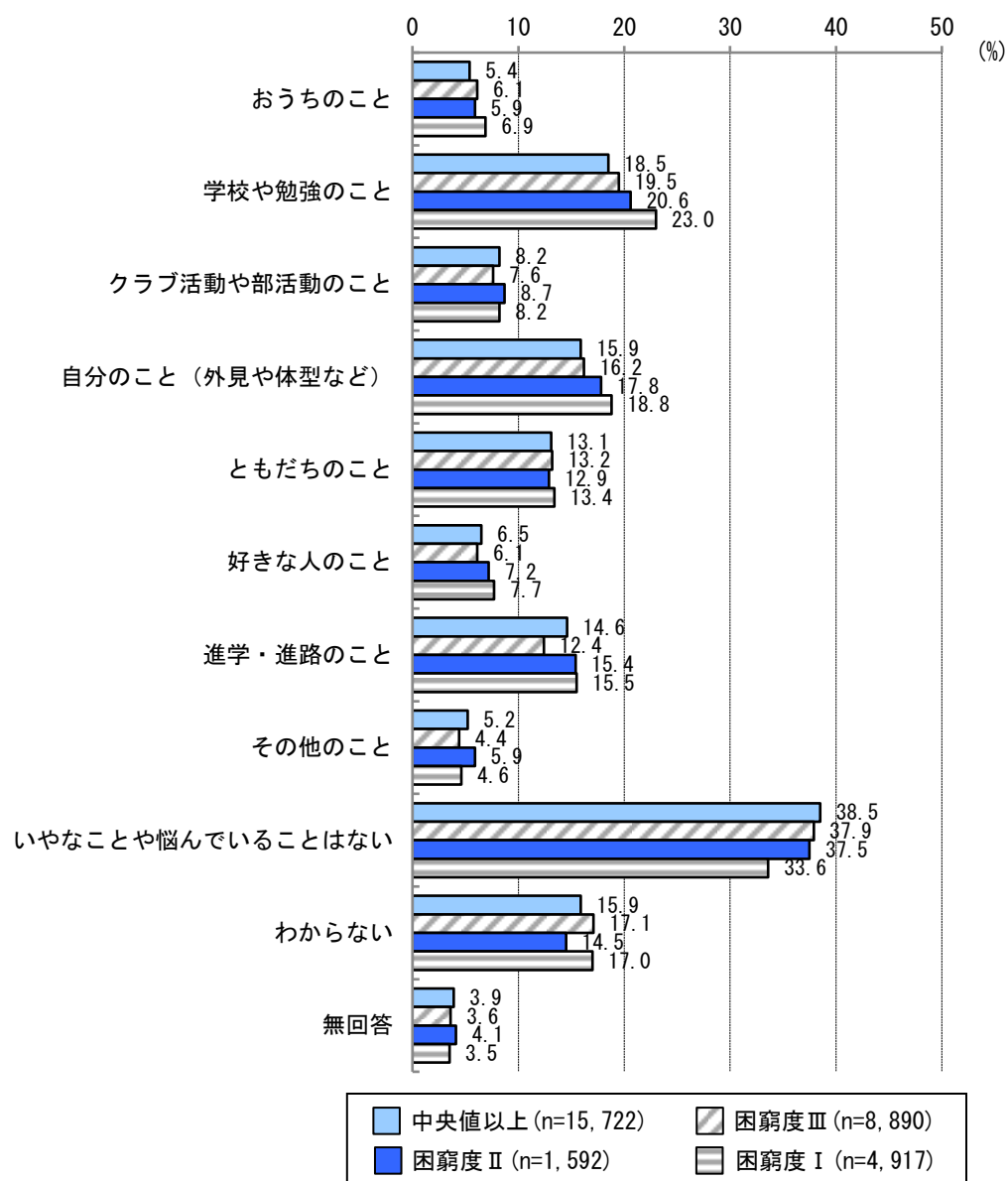


図 148. 困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと

困窮度別に子どもが毎日の生活で楽しいことを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群の数値を挙げると、「塾や習いごとで過ごしているとき」24.6%（同じく1.5倍）、「今、住んでいる地域の行事に参加しているとき」16.8%（困窮度Ⅰ群に対して1.5倍）、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」68.7%（同じく1.4倍）が高かった。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること（子ども票問 17）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

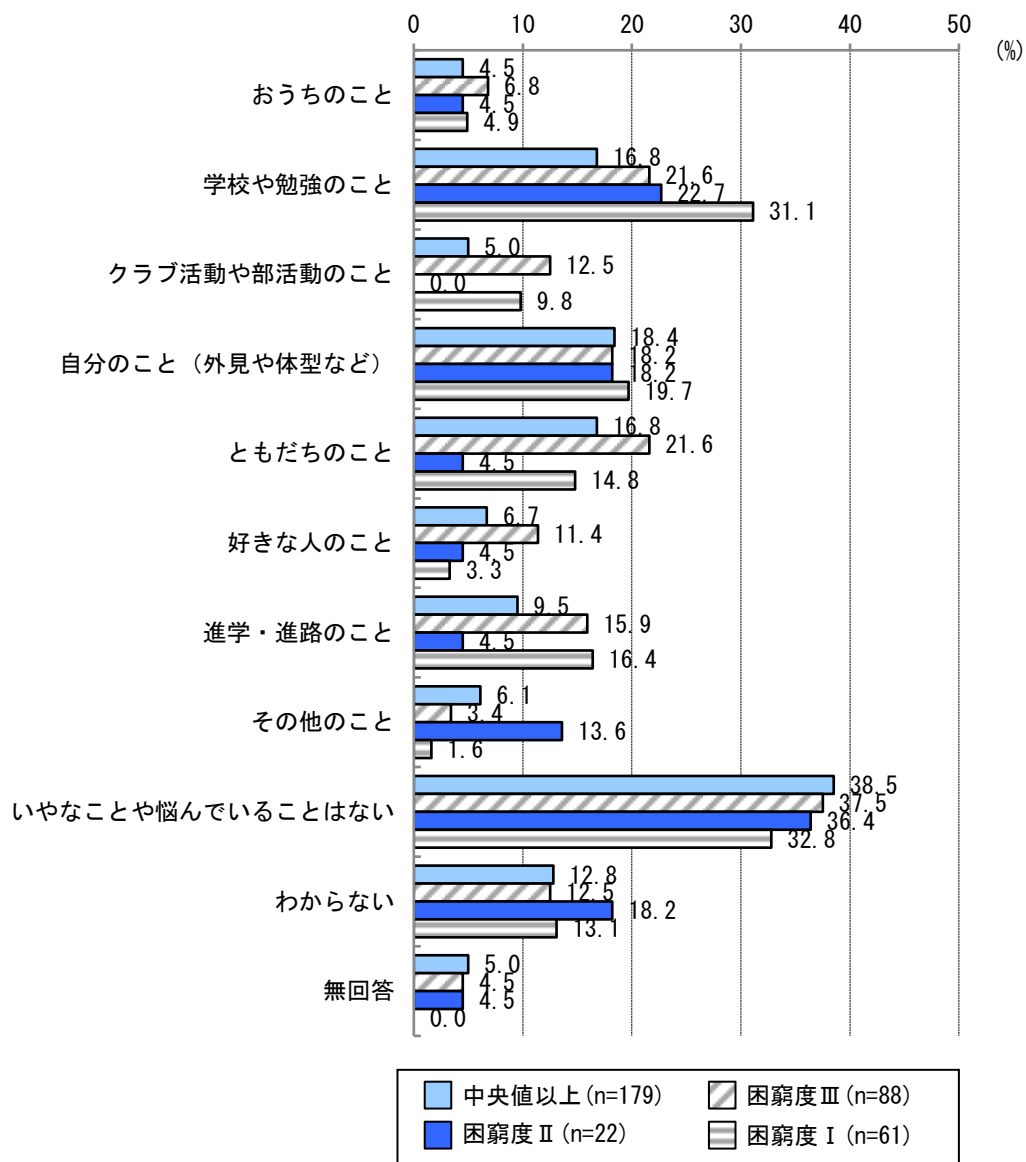
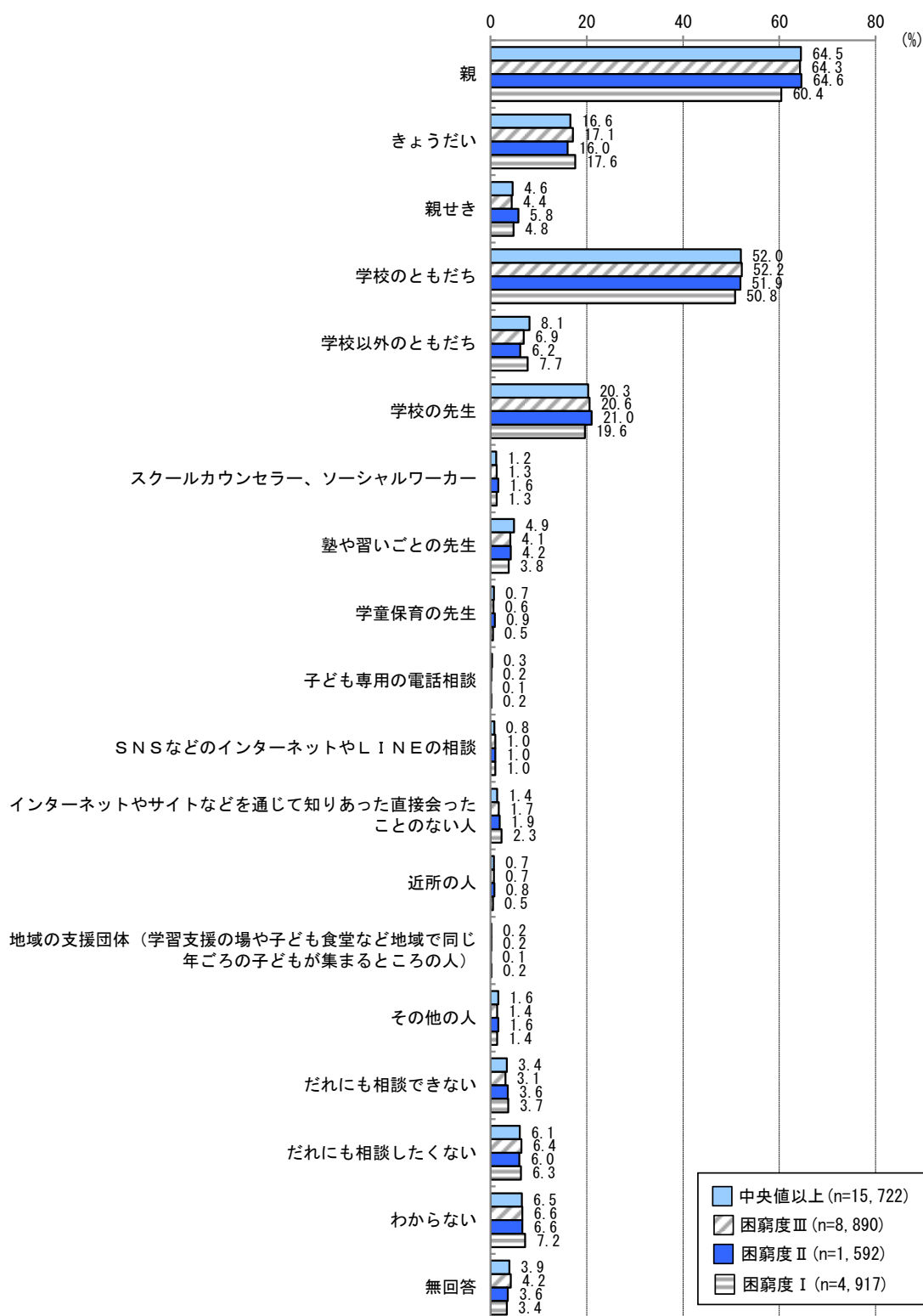


図 149. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること

困窮度別に子どもが悩んでいることを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、困窮度Ⅰ群では、「クラブ活動や部活動のこと」9.8%（中央値以上群に対して2.0倍）、「学校や勉強のこと」31.1%（同じく1.9倍）が高く、中央値以上群では「好きな人のこと」6.7%（困窮度Ⅰ群に対して2.0倍）、「いやなことや悩んでいることはない」38.5%（同じく1.2倍）が高かった。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票問 18）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

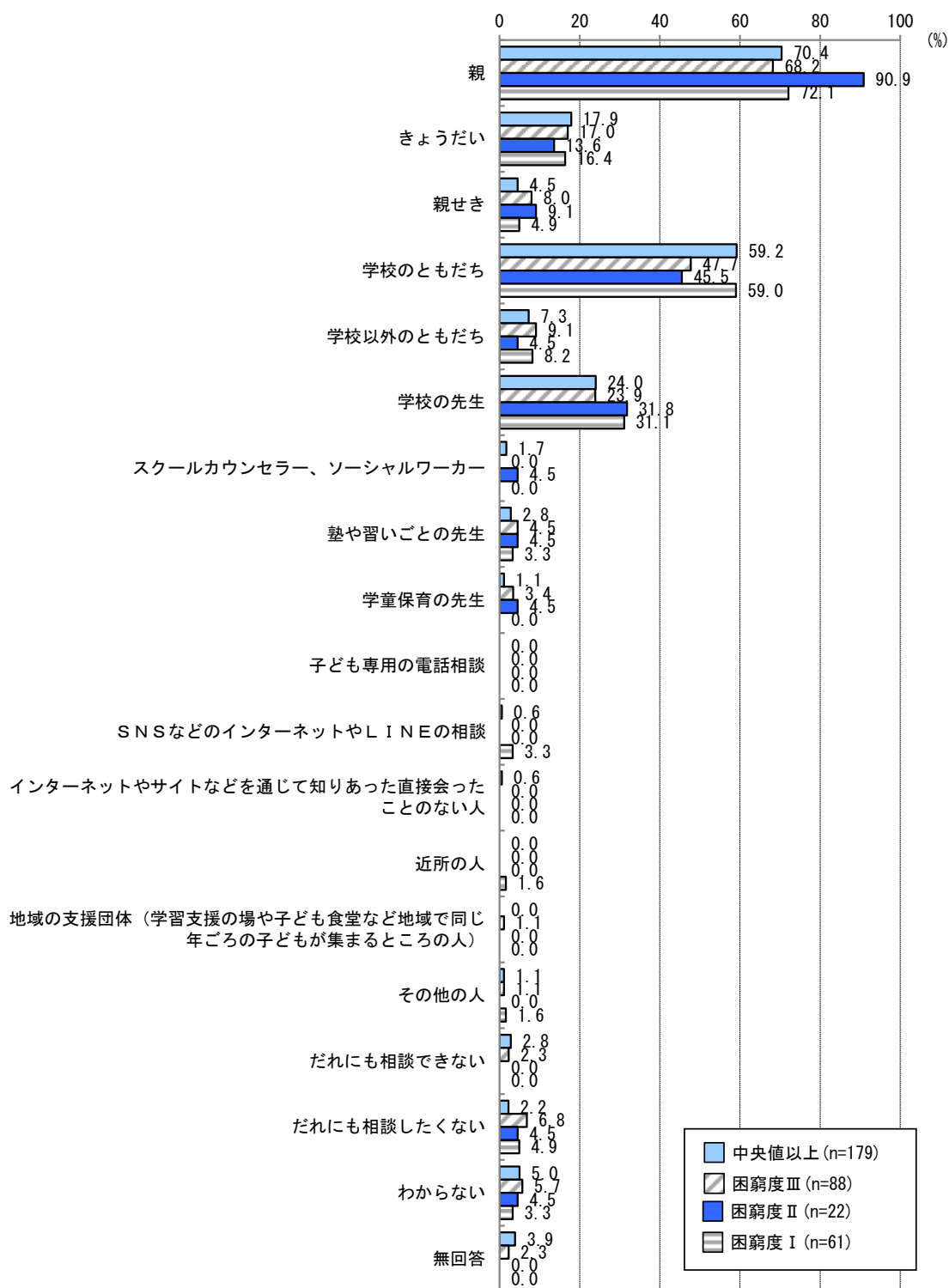
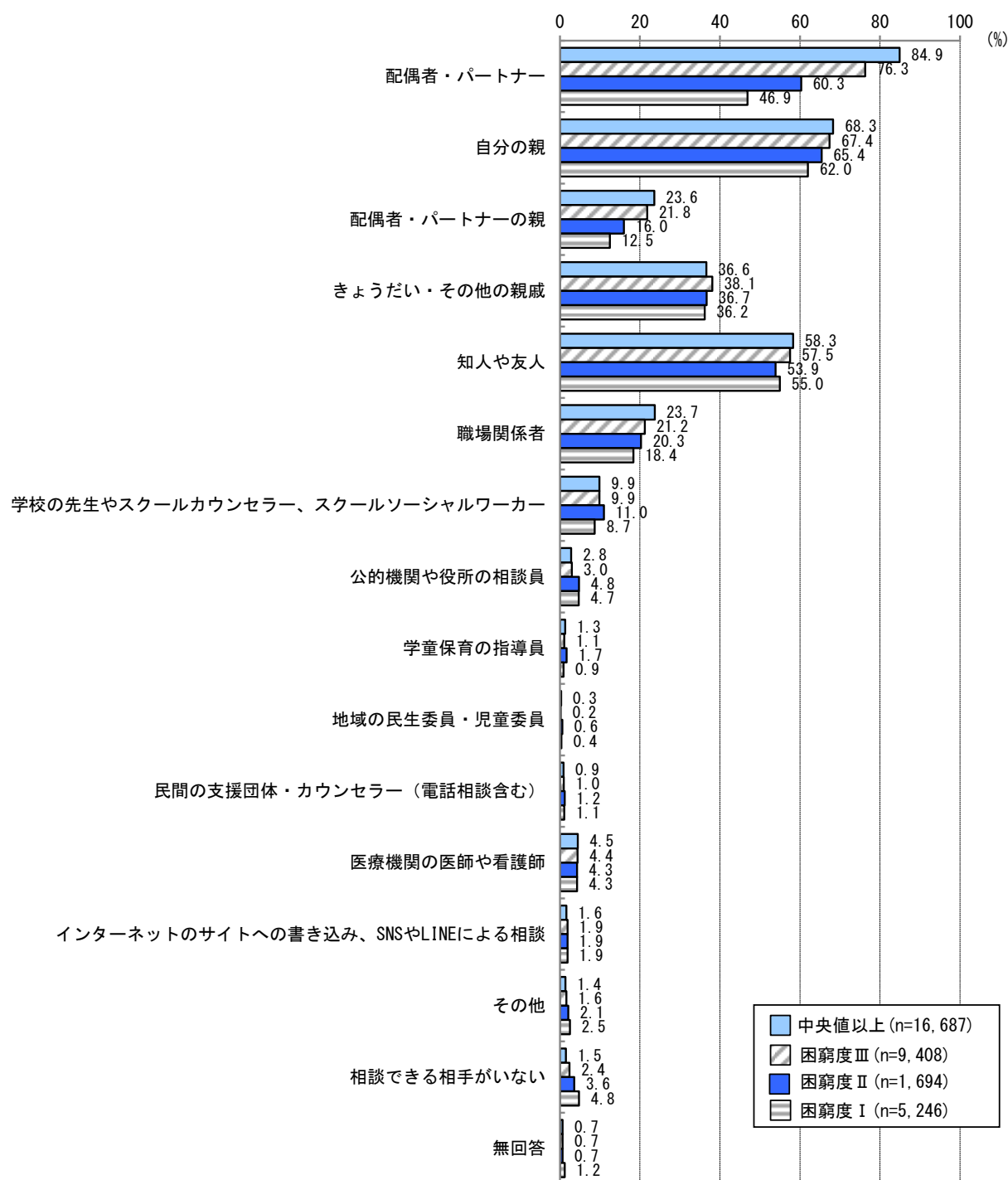


図 150. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

困窮度別に子どもの嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「SNSなどのインターネットやLINEの相談」3.3%（中央値以上群に対して5.5倍）、「だれにも相談したくない」4.9%（同様に2.2倍）となっている。

困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（保護者票問 19）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

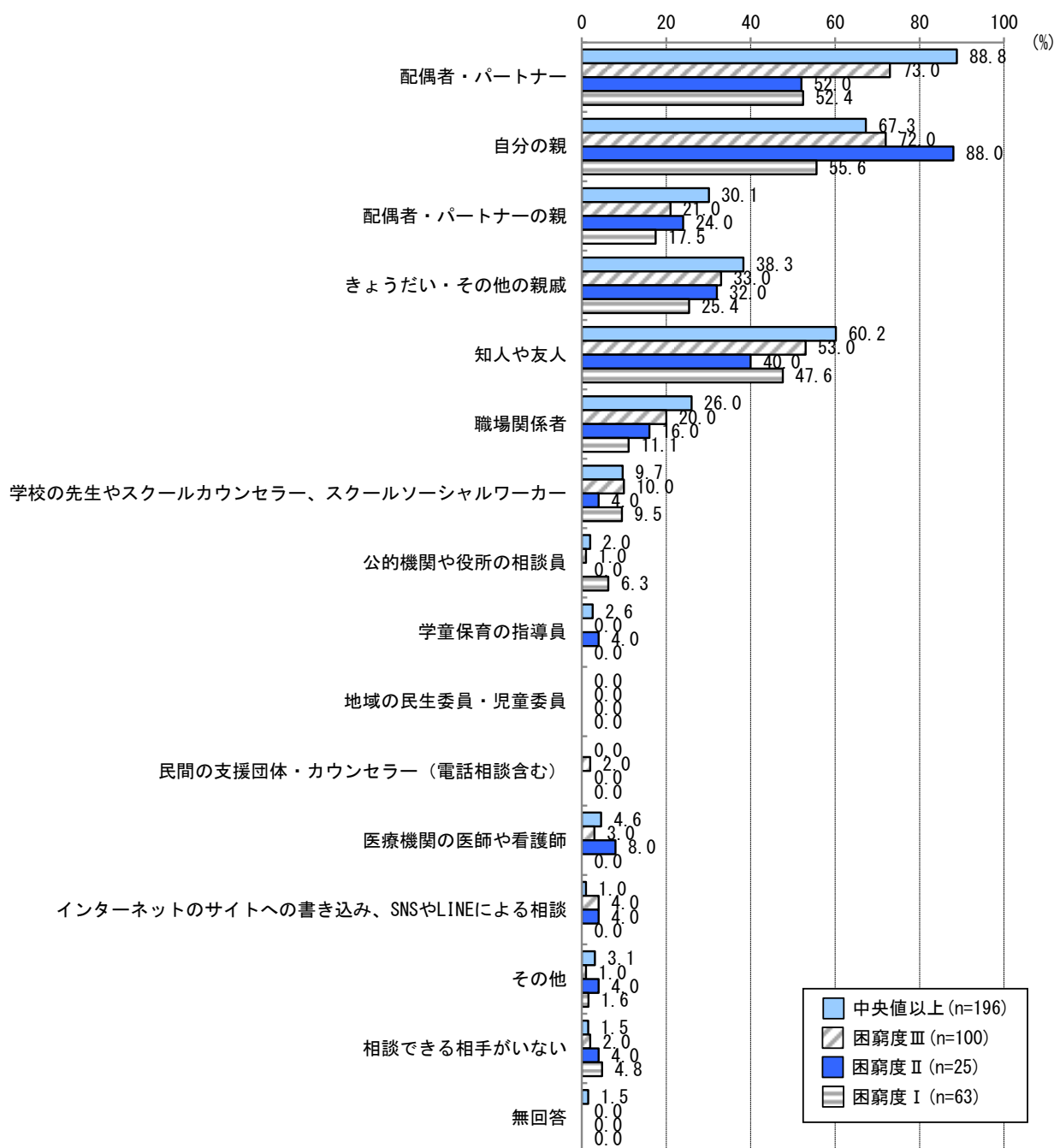
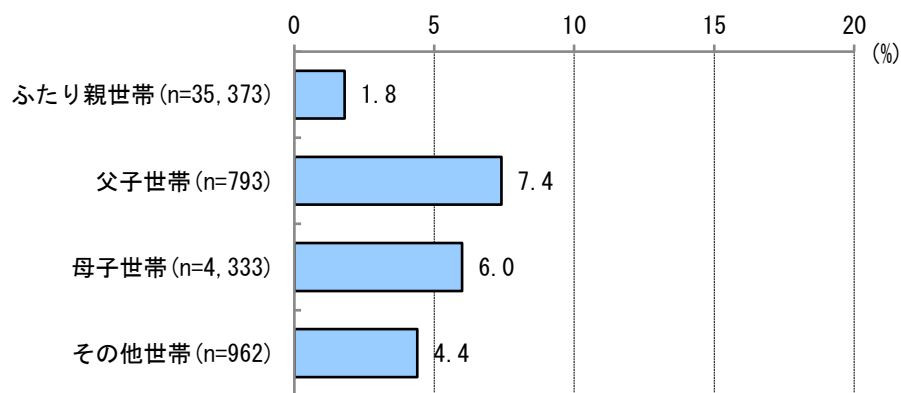


図 151. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

困窮度別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「公的機関や役所の相談員」6.3%（中央値以上群に対して3.2倍）、「相談できる相手がいない」が4.8%（同じく3.2倍）となっている。中央値以上群の数値を挙げると、「職場関係者」26.0%（困窮度Ⅰ群に対して2.3倍）、「配偶者・パートナーの親」30.1%（同じく1.7倍）となっている。

世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合
(保護者票問2×保護者票問19)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

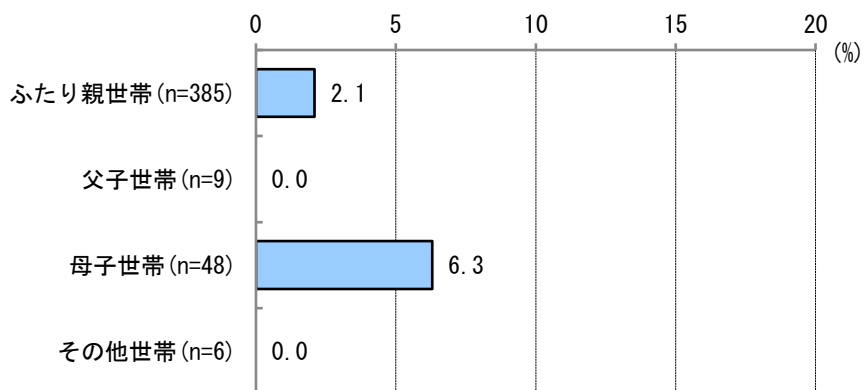
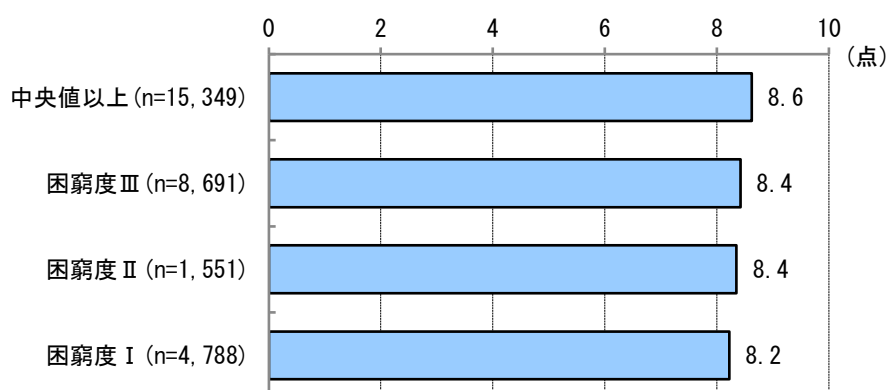


図 152. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合

世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合を見ると、「相談できる相手がない」と回答した人は、母子世帯で6.3%、ふたり親世帯で2.1%いる。

困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）（子ども票問 23）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

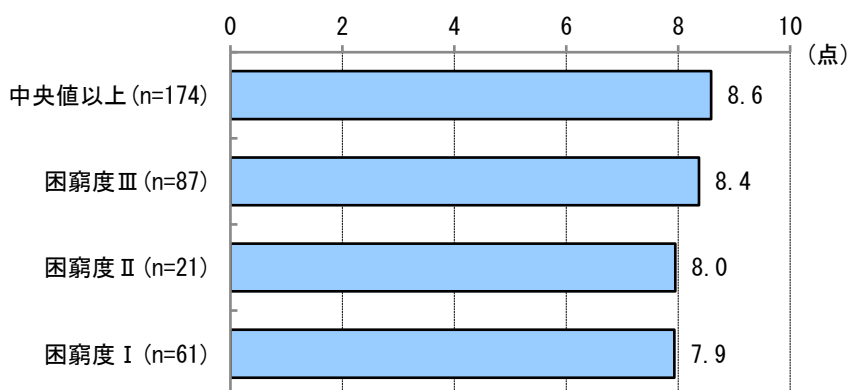
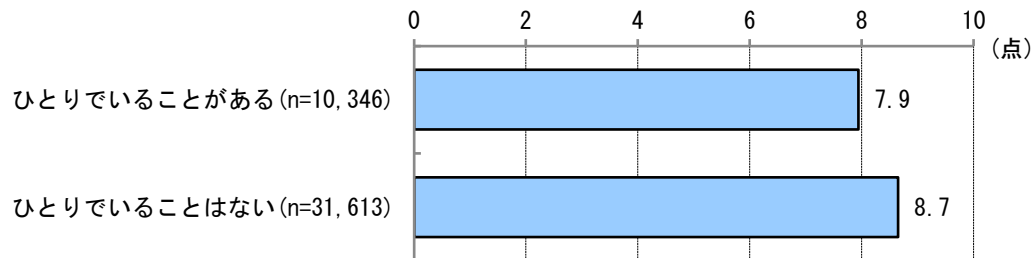


図 153. 困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

困窮度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、困窮度Ⅲ群以上で困窮度が高くなるにつれ、セルフ・エフィカシーが低くなっている。

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問 10×子ども票問 23）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

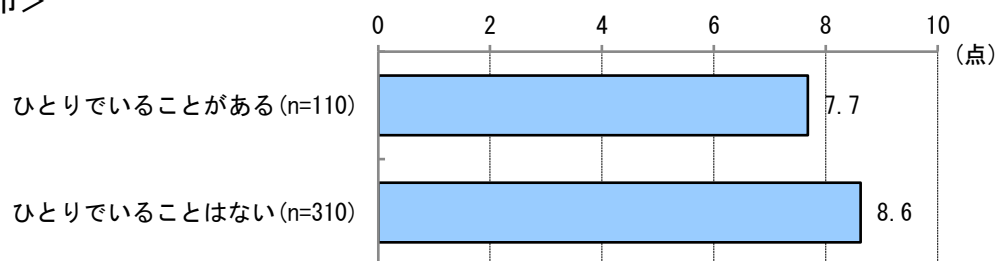


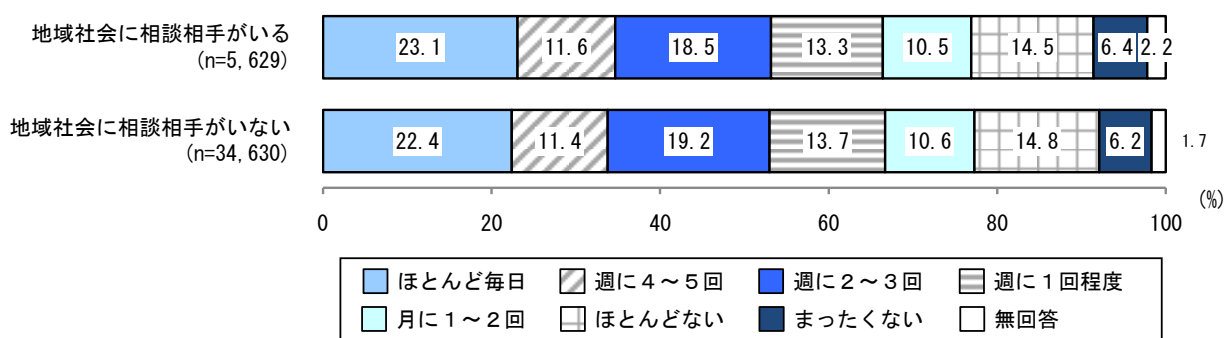
図 154. 子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかによって子どもの自己効力感(セルフ・エフィカシー)を見ると、放課後ひとりで過ごす子どもの方がそうでない子どもよりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）が低かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか
(保護者票問 19×子ども票問 8④)

※「あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか」という問に対し、「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」「公的機関や役所の相談員」「学童保育の指導員」「地域の民生委員・児童委員」「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」「医療機関の医師や看護師」のうち少なくとも1つを選択した人を、「地域社会に相談相手がいる」とした。

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

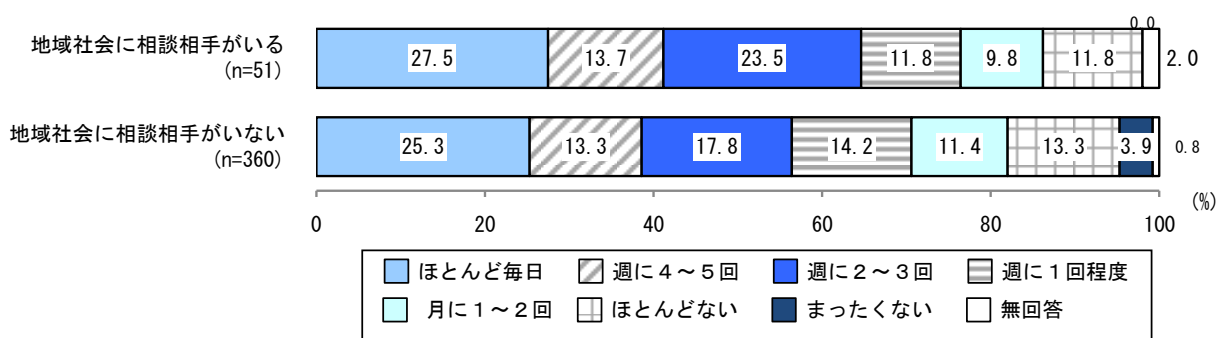
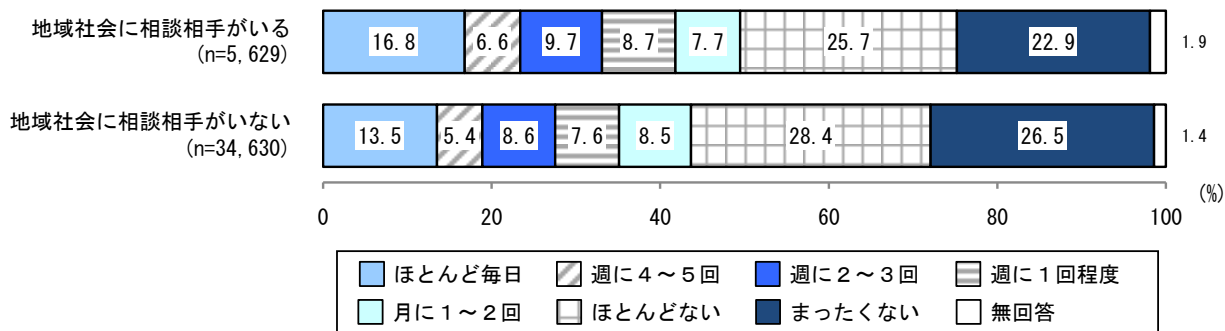


図 155. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、家の手伝いをしているかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、子どもがおうちの手伝いをしているかに「ほとんど毎日」「週に4～5回」「週に2～3回」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか
（保護者票問 19×子ども票問 8 ⑤）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

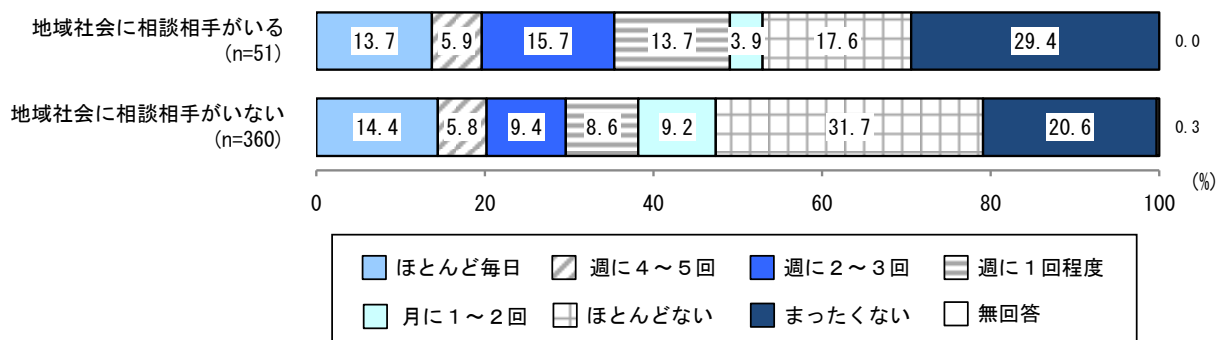
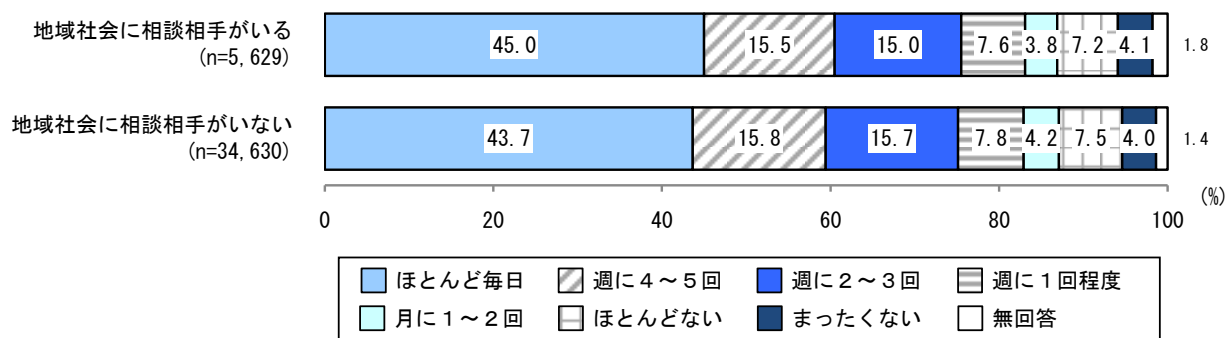


図 156. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人の人に宿題（勉強）を見てもらっているかに「週に2～3回」、「週に1回程度」、「まったくない」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑥)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

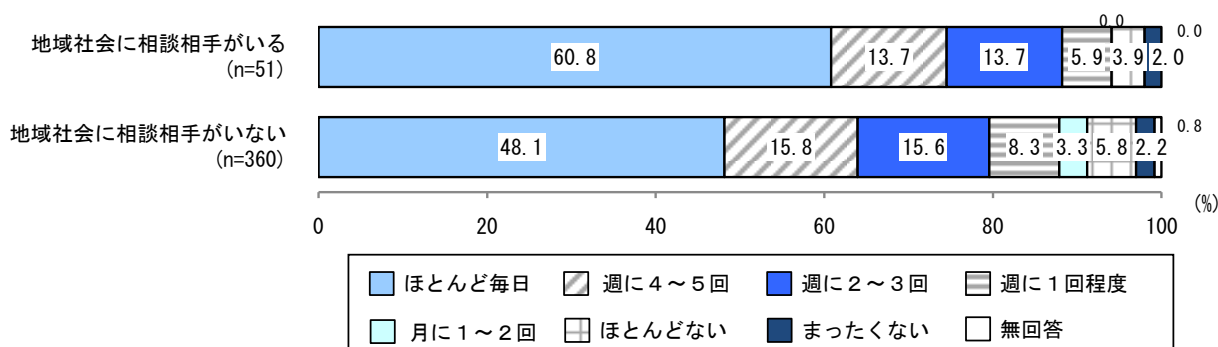
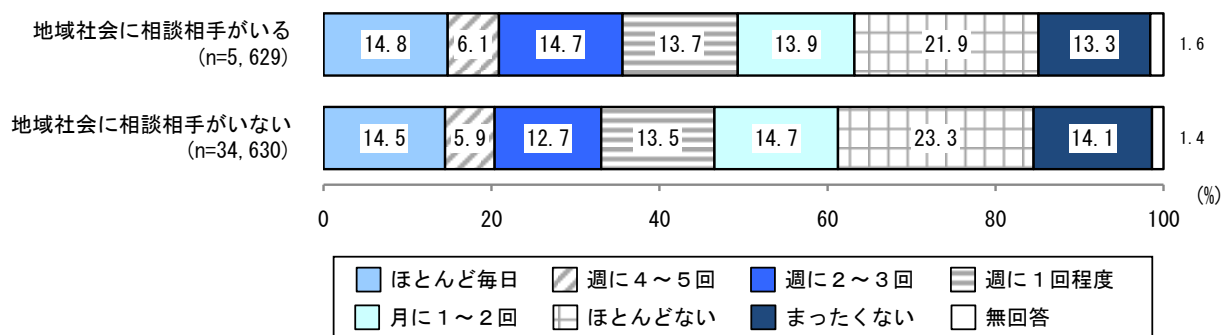


図 157. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すかに「ほとんど毎日」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか
(保護者票問 19×子ども票問 8⑦)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

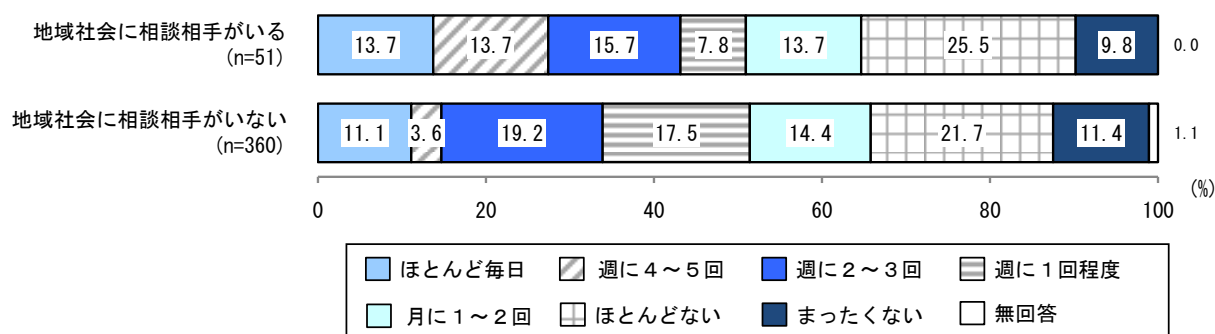
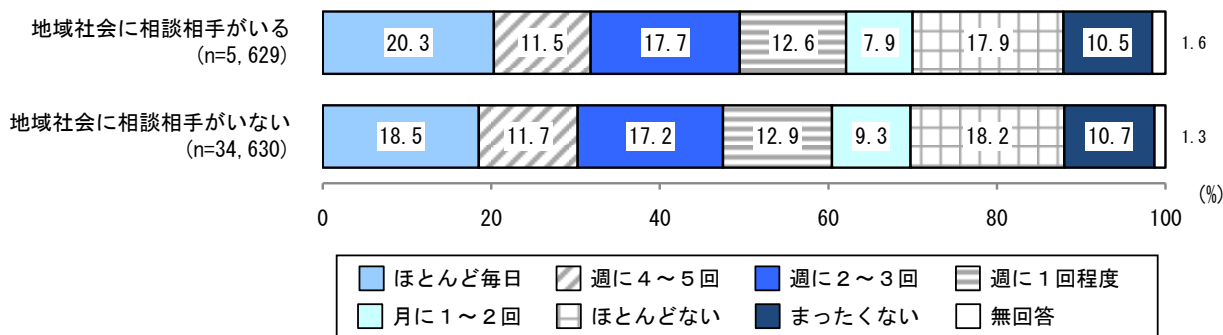


図 158. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかに「ほとんど毎日」「週に4～5回」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか（保護者票問 19×子ども票問 8 ⑧）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

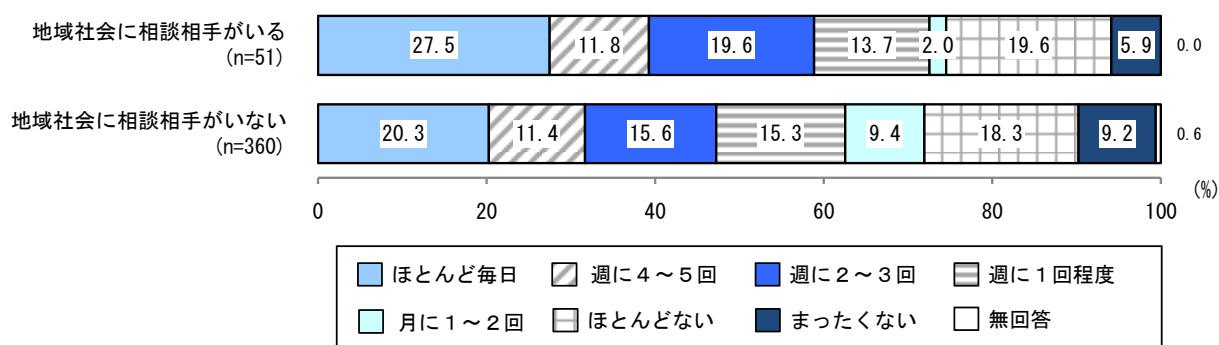
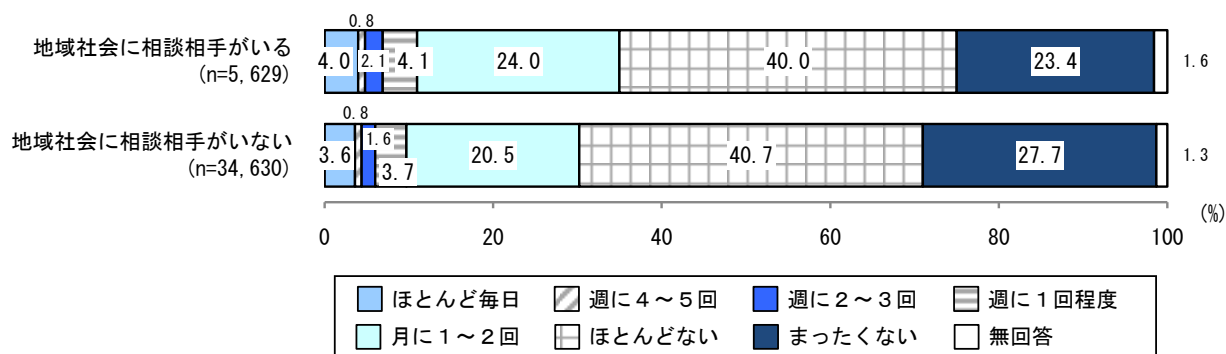


図 159. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかに「ほとんど毎日」「週に4～5回」「週に2～3回」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑨)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

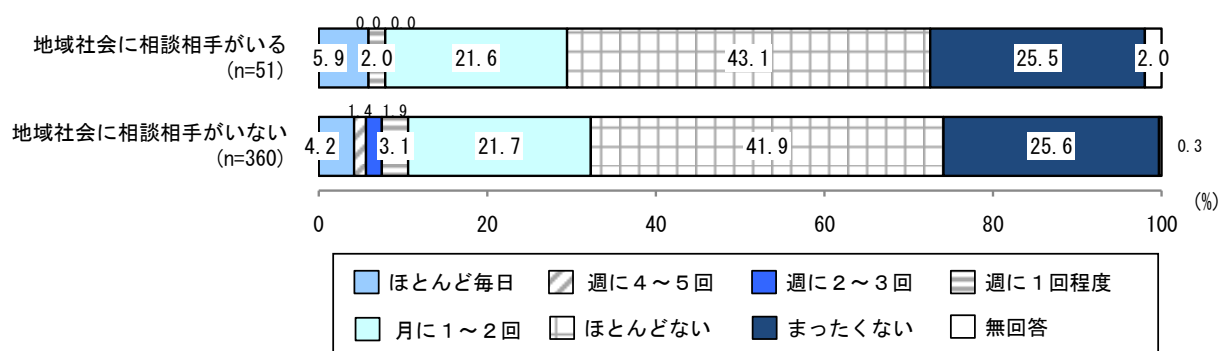
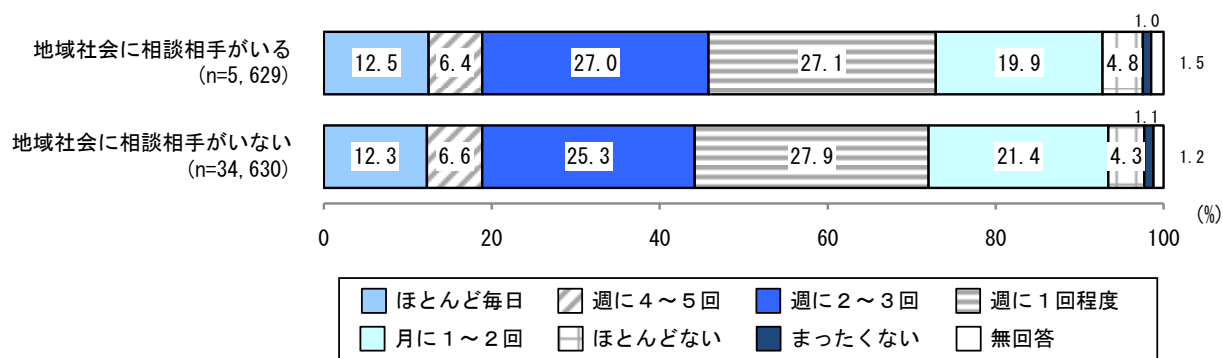


図 160. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりもおうちの大人の人と文化活動をするかに「ほとんど毎日」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑩)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

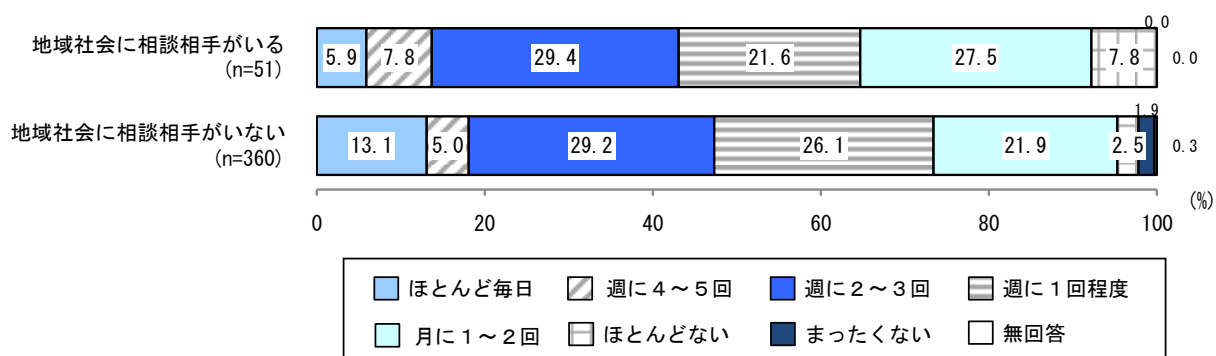
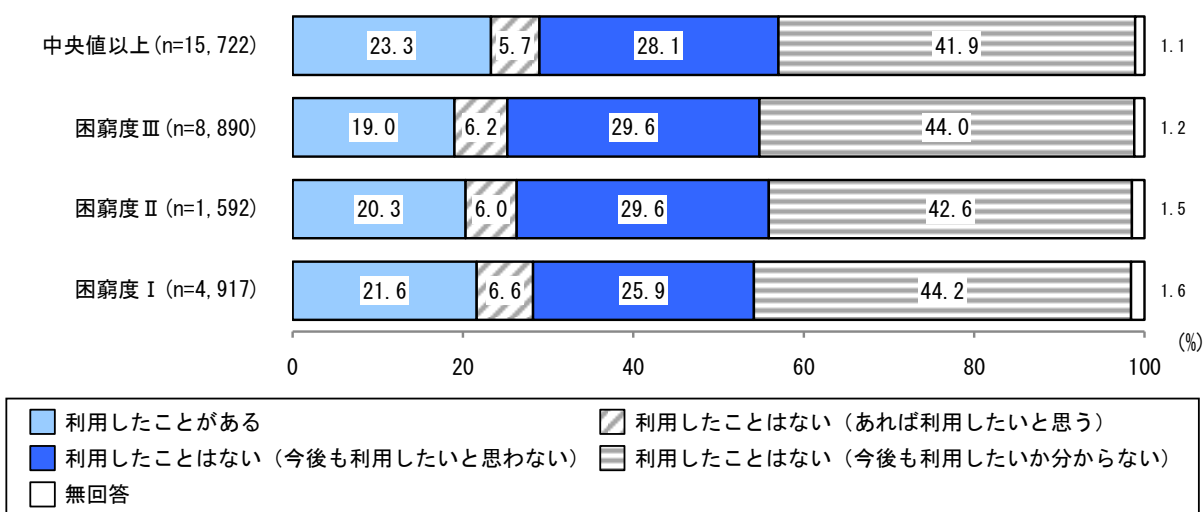


図 161. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するかを見ると、「地域社会に相談相手がいない」人の方が、「地域社会に相談相手がいる」人よりも、おうちの大人の人と一緒に外出するかに「ほとんど毎日」と回答する割合が高かった。

困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（子ども票問 25(1)①）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

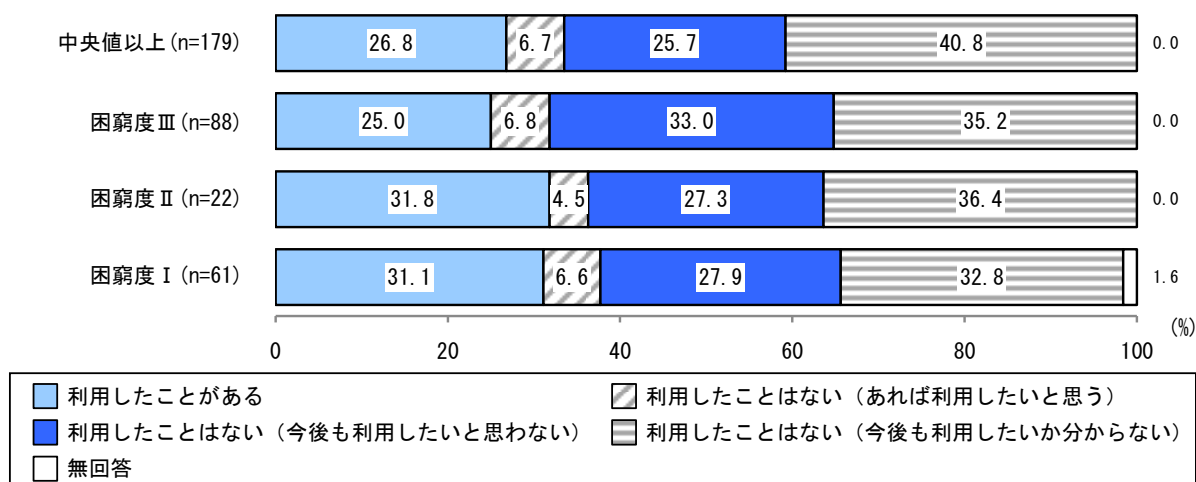
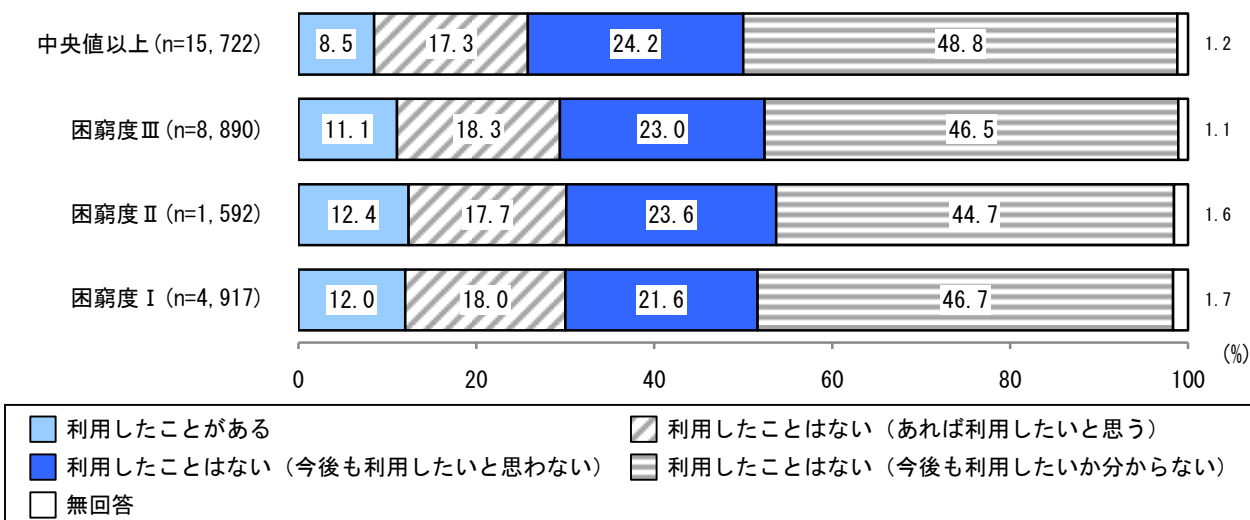


図 162. 困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

困窮度別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答する割合が困窮度Ⅱ群で31.8%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所
(子ども票問 25(1)②)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

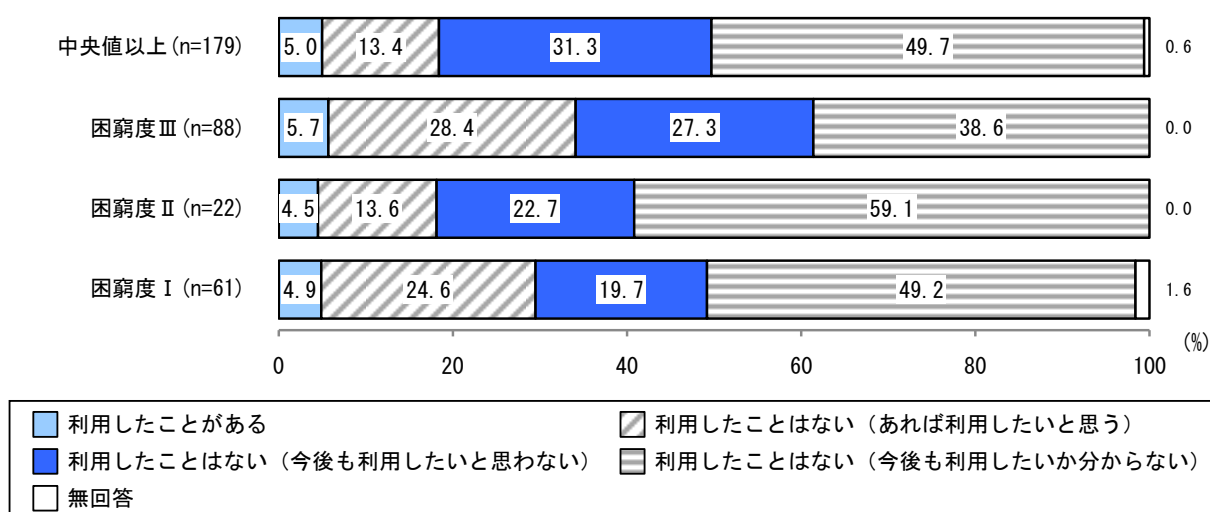
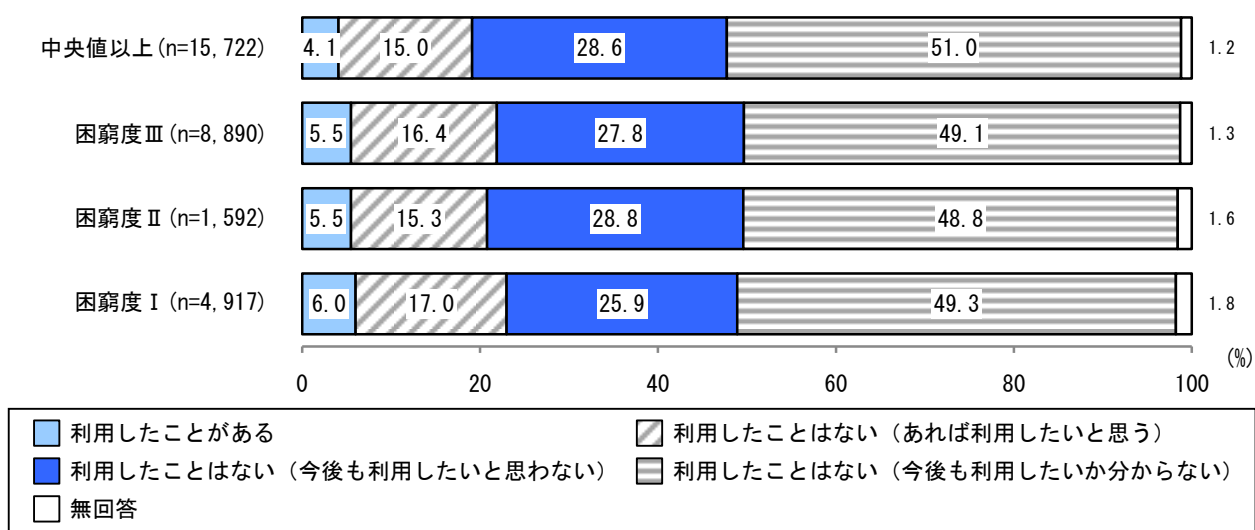


図 163. 困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

困窮度別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことはない (今後も利用したいか分からない)」と回答する割合が困窮度Ⅱ群で59.1%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてる場所（子ども票問 25(1)③）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

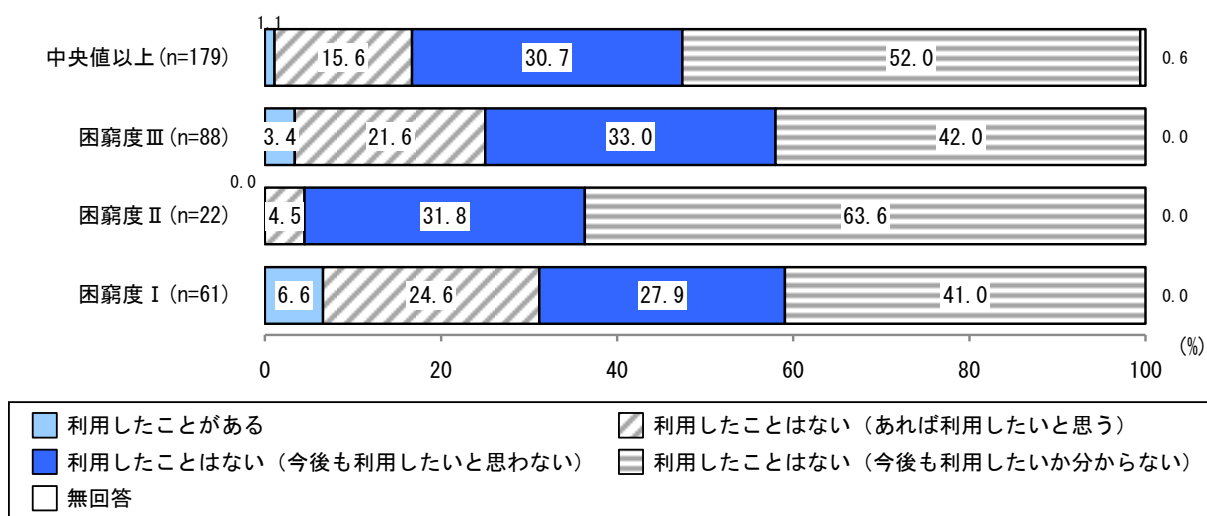
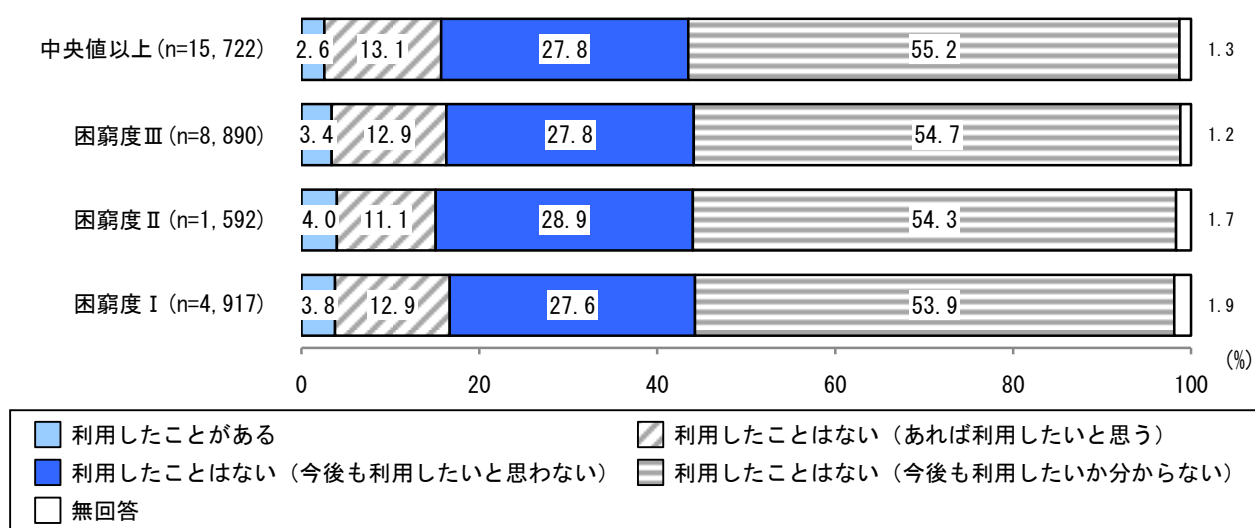


図 164. 困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてる場所

困窮度別に勉強を無料か安い料金でみてる場所を見ると、「利用したことがある」と回答する割合が困窮度Ⅰ群で6.6%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、何でも相談できる場所（子ども票問 25(1)④）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

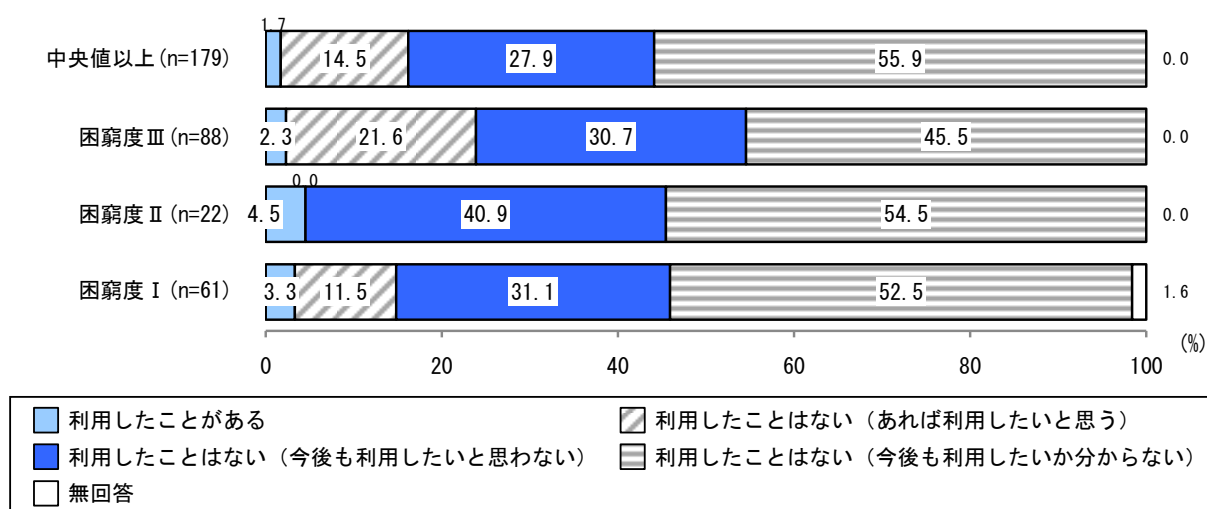
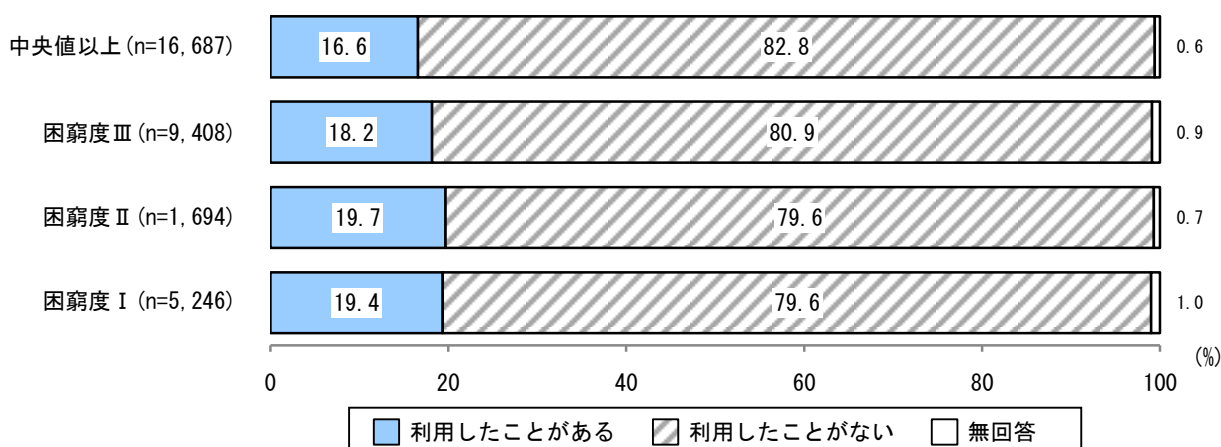


図 165. 困窮度別に見た、何でも相談できる場所

困窮度別に何でも相談できる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した割合は、困窮度Ⅱ群で4.5%と最も高くなっている。また、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」は中央値以上群で55.9%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験（保護者票問 16(1)）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

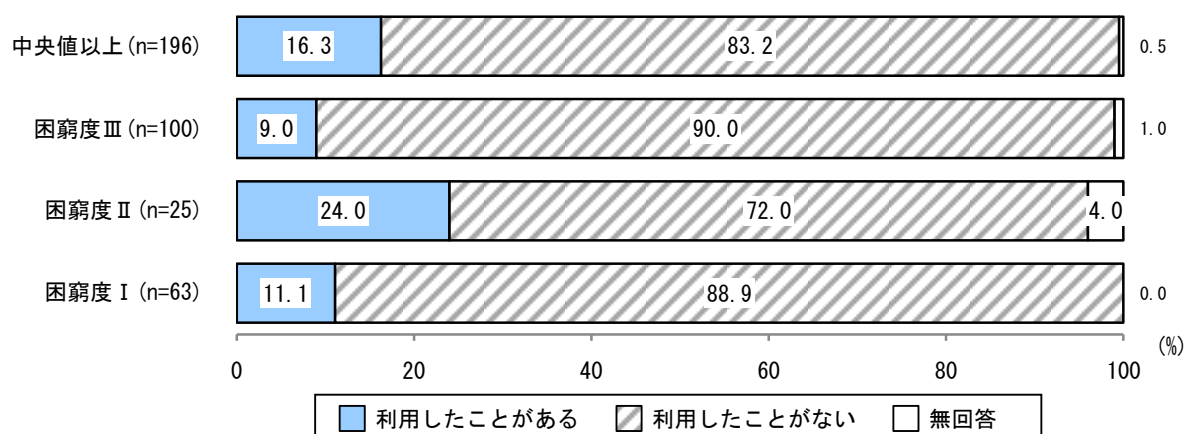
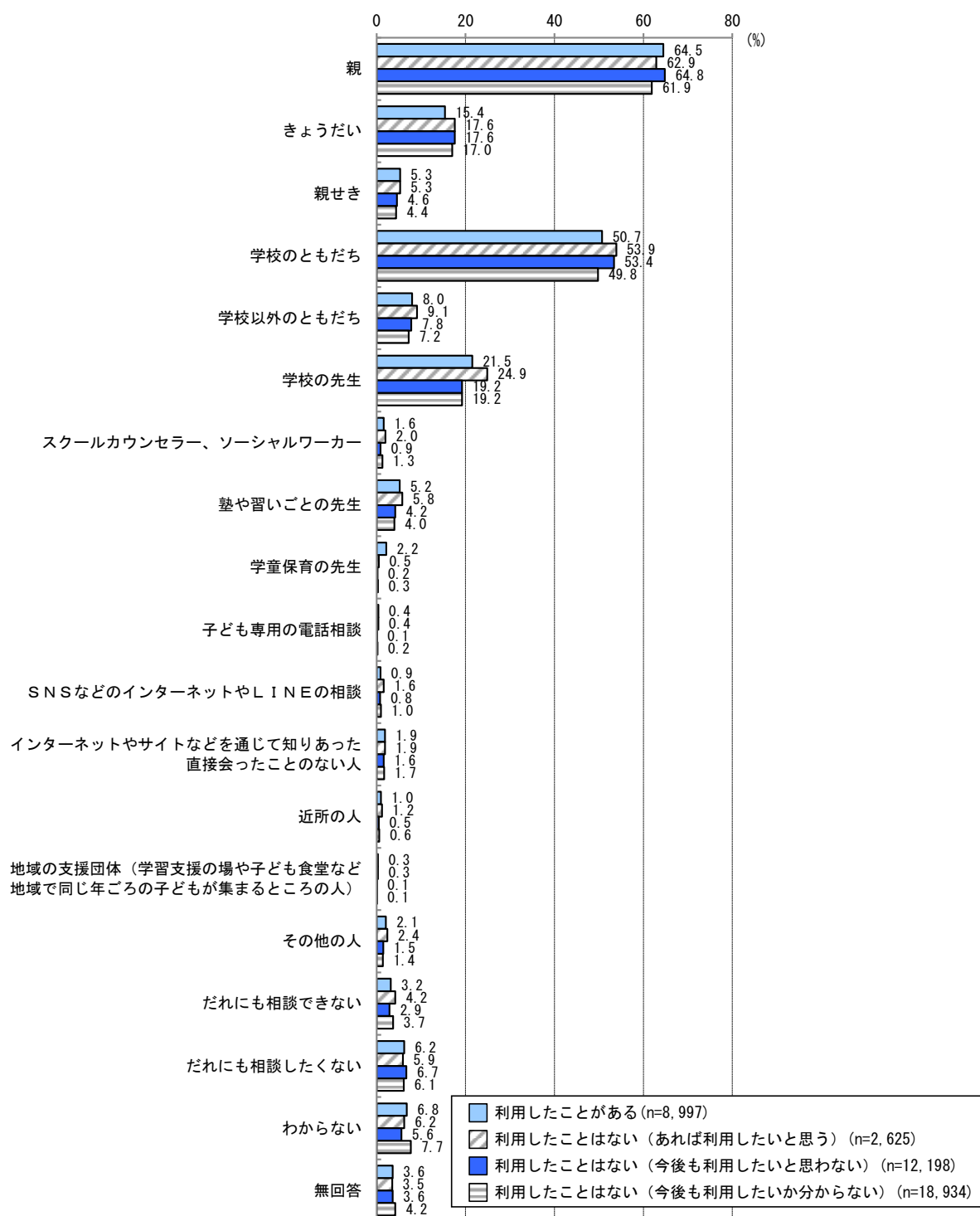


図 166. 困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験

困窮度別に子どもの居場所の利用経験を見ると、「利用したことがある」と回答する割合は困窮度Ⅱ群が24.0%で最も高く、困窮度Ⅲ群が9.0%で最も低くなっている。

平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 25(1)①×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

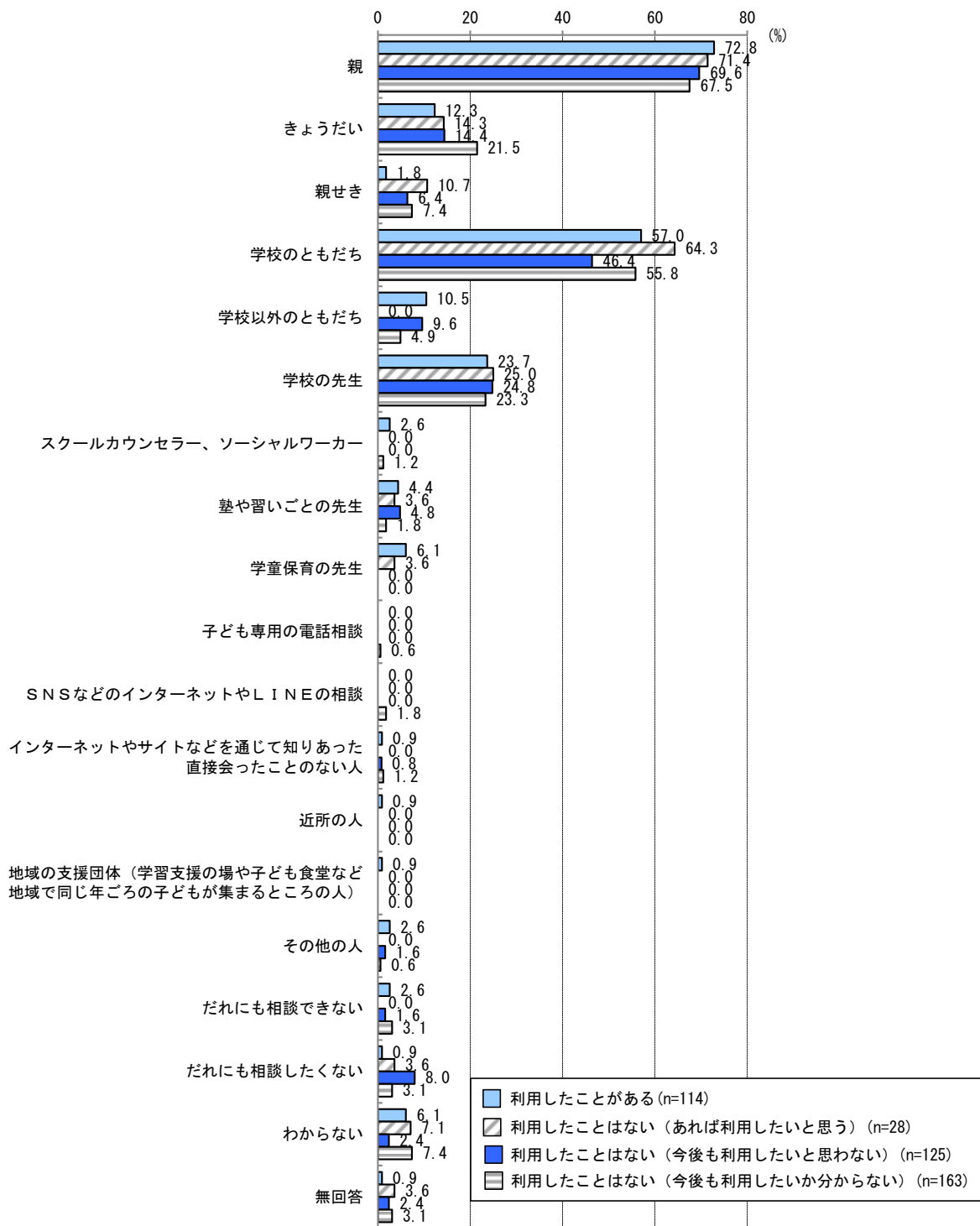
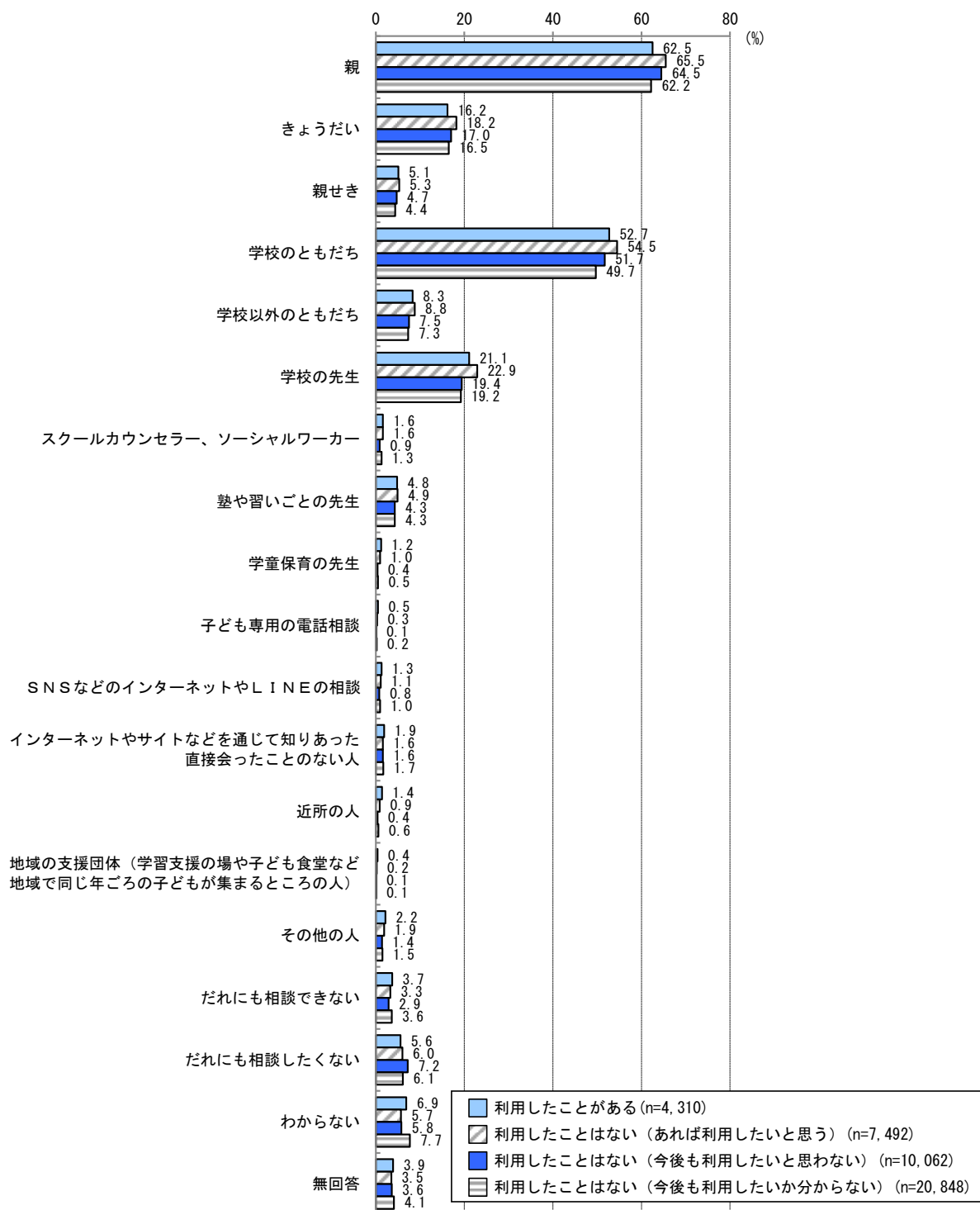


図 167. 平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「親」と回答した割合は、「利用したことがある」と回答した人が72.8%と最も高くなっている。また、「学校のともだち」と回答した人においては、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合が64.3%と最も高くなっている。

昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票問 25 (1)②×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

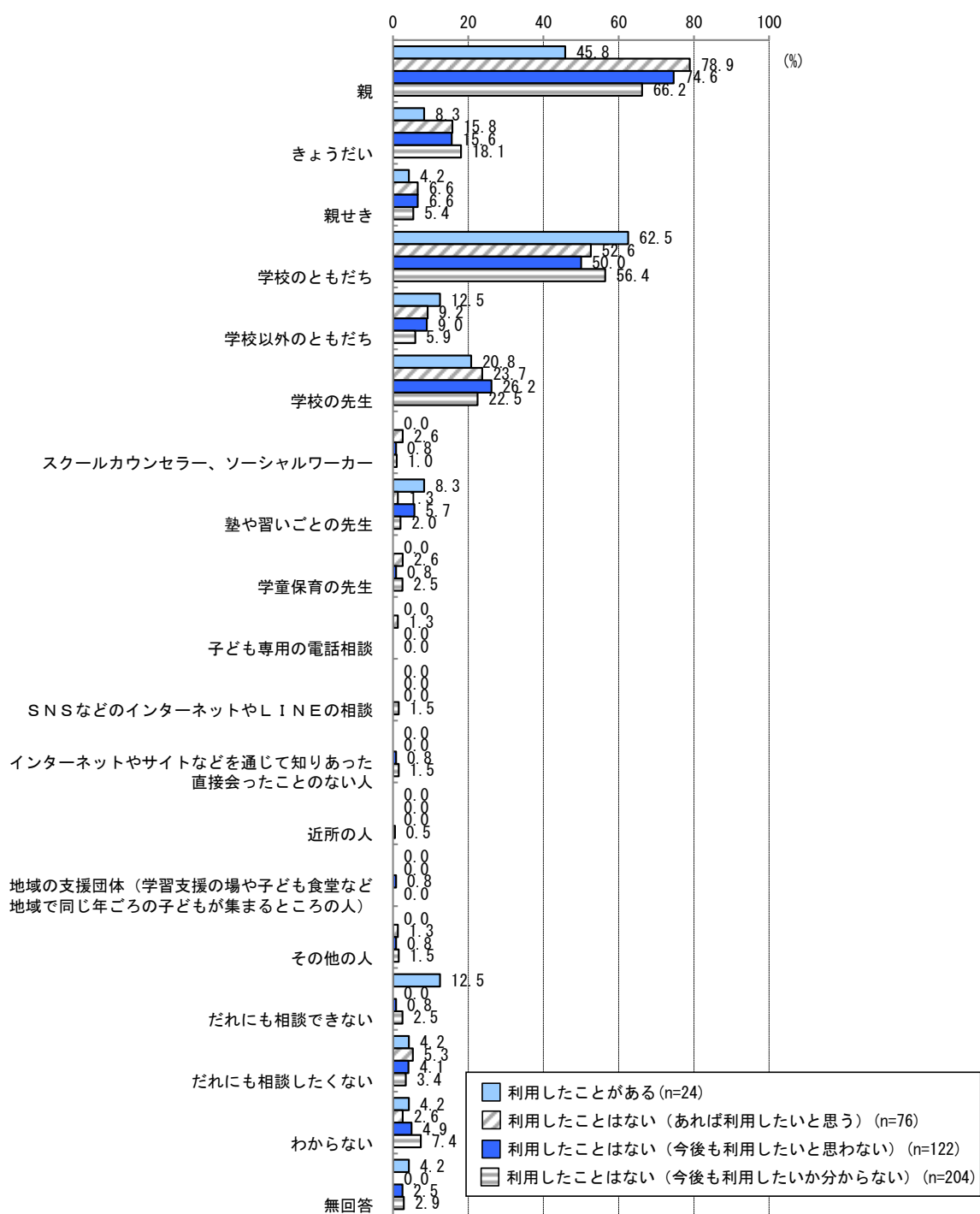
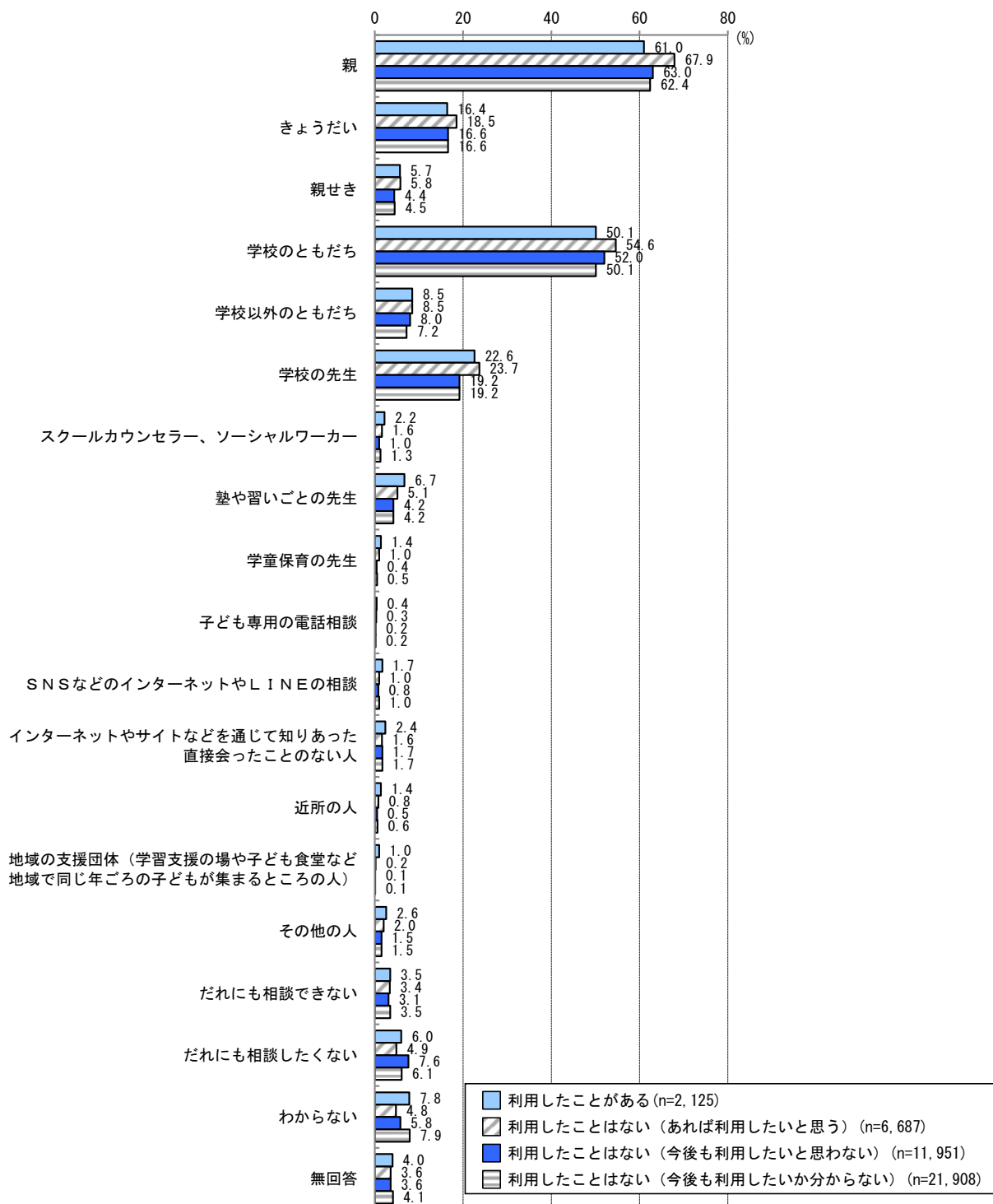


図 168. 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料分で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「親」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が低くなっている。

勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 25(1)③×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

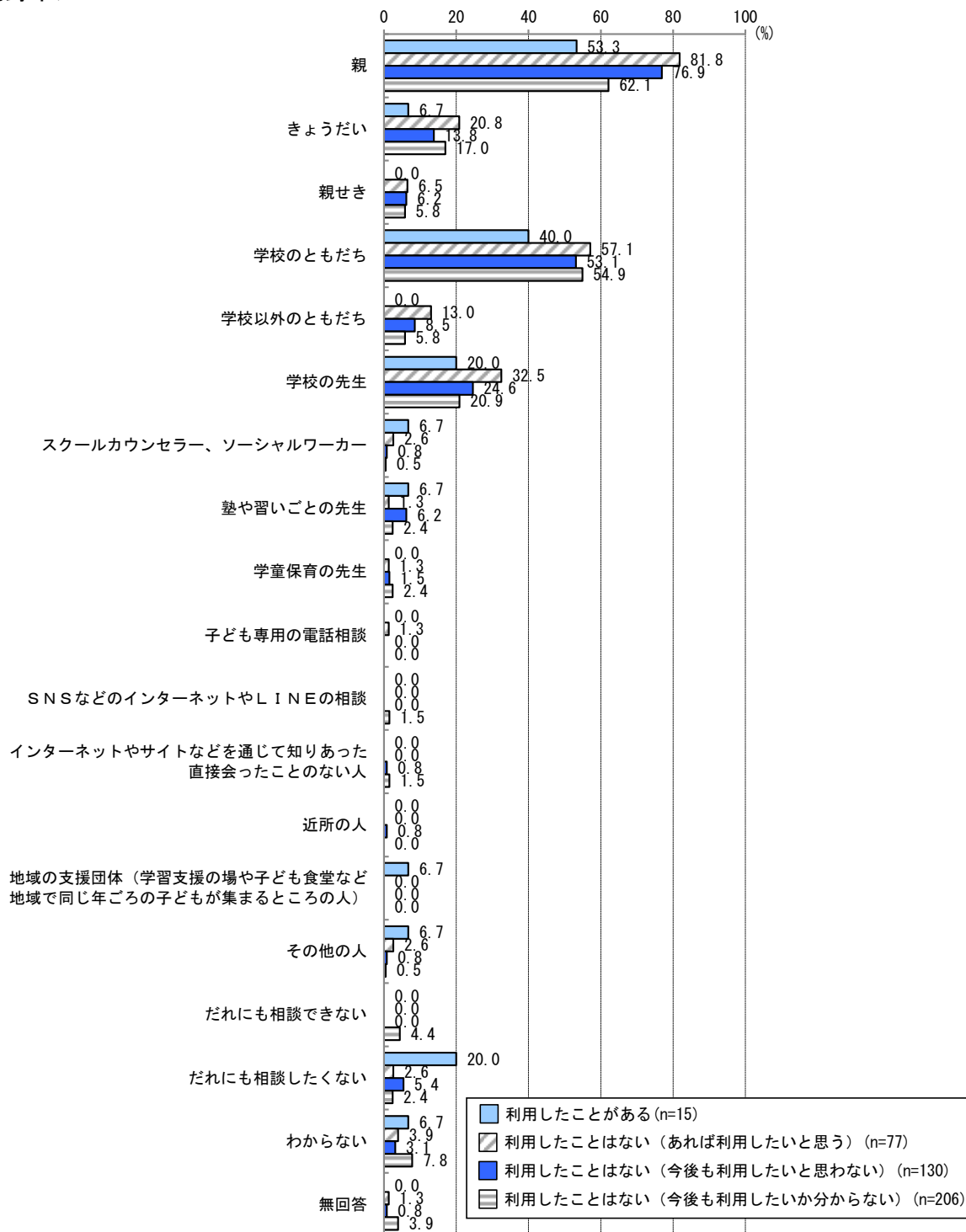
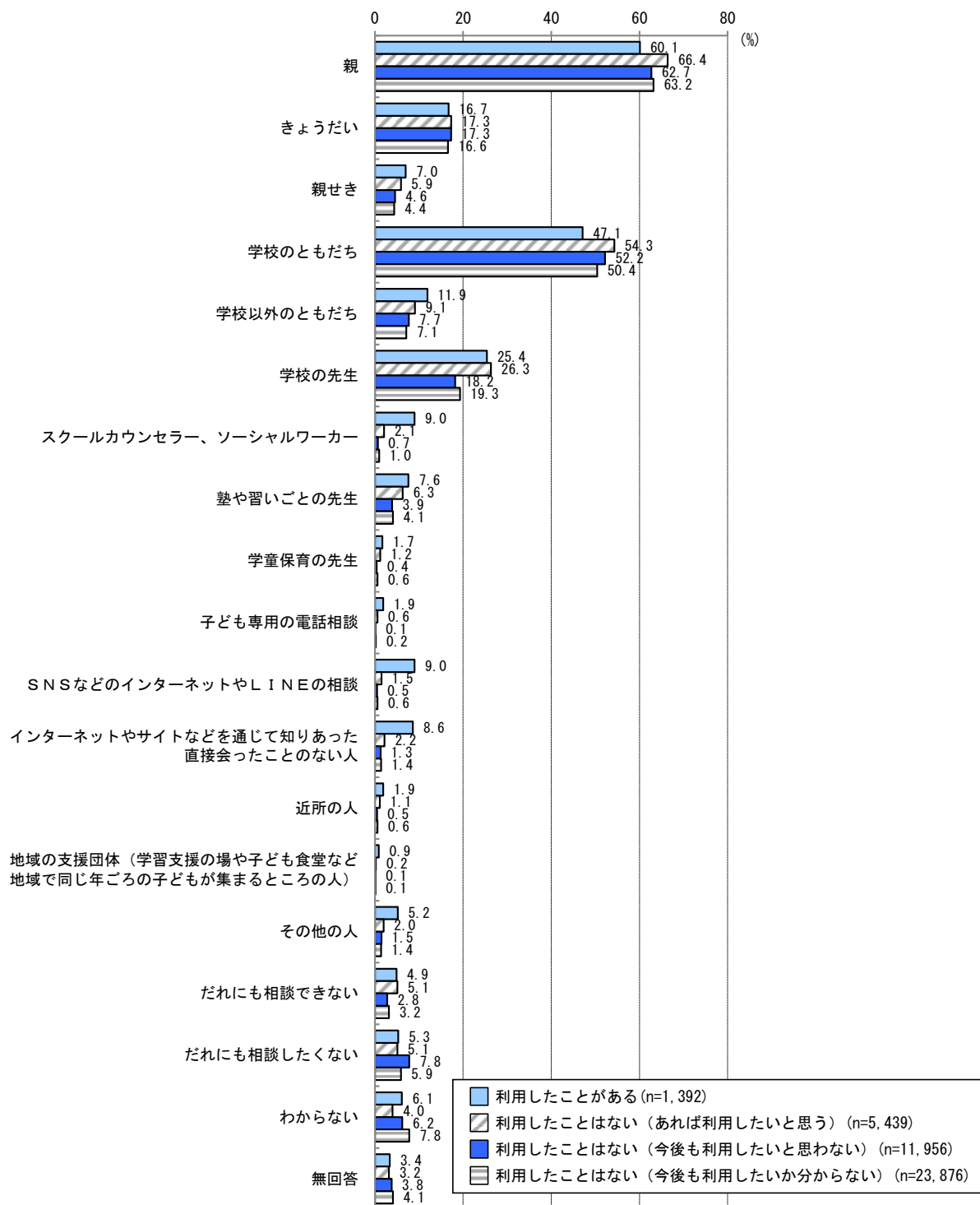


図 169. 勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「親」や「きょうだい」、「親せき」、「学校のともだち」、「学校以外のともだち」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が低くなっている。

何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 25(1)④×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

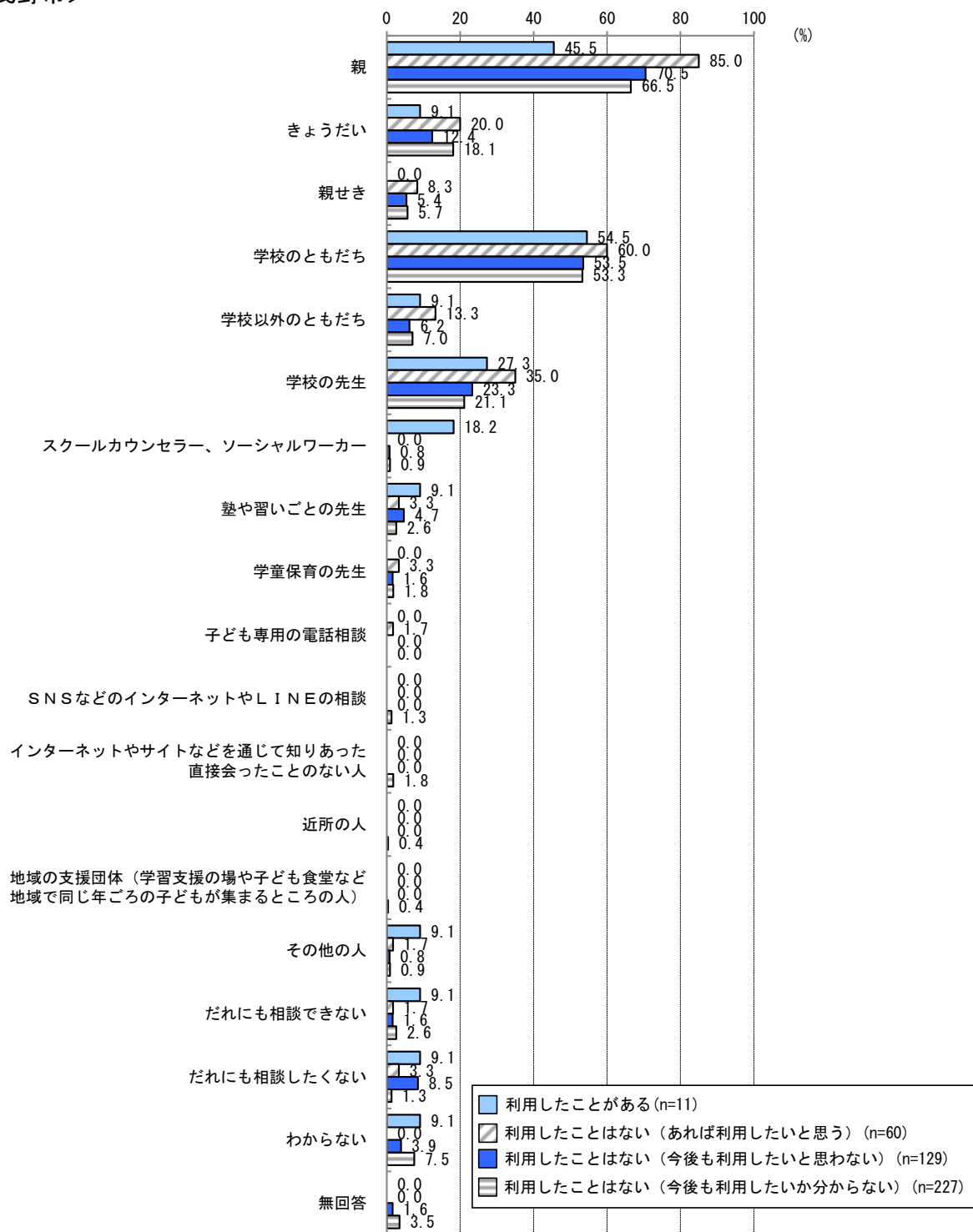
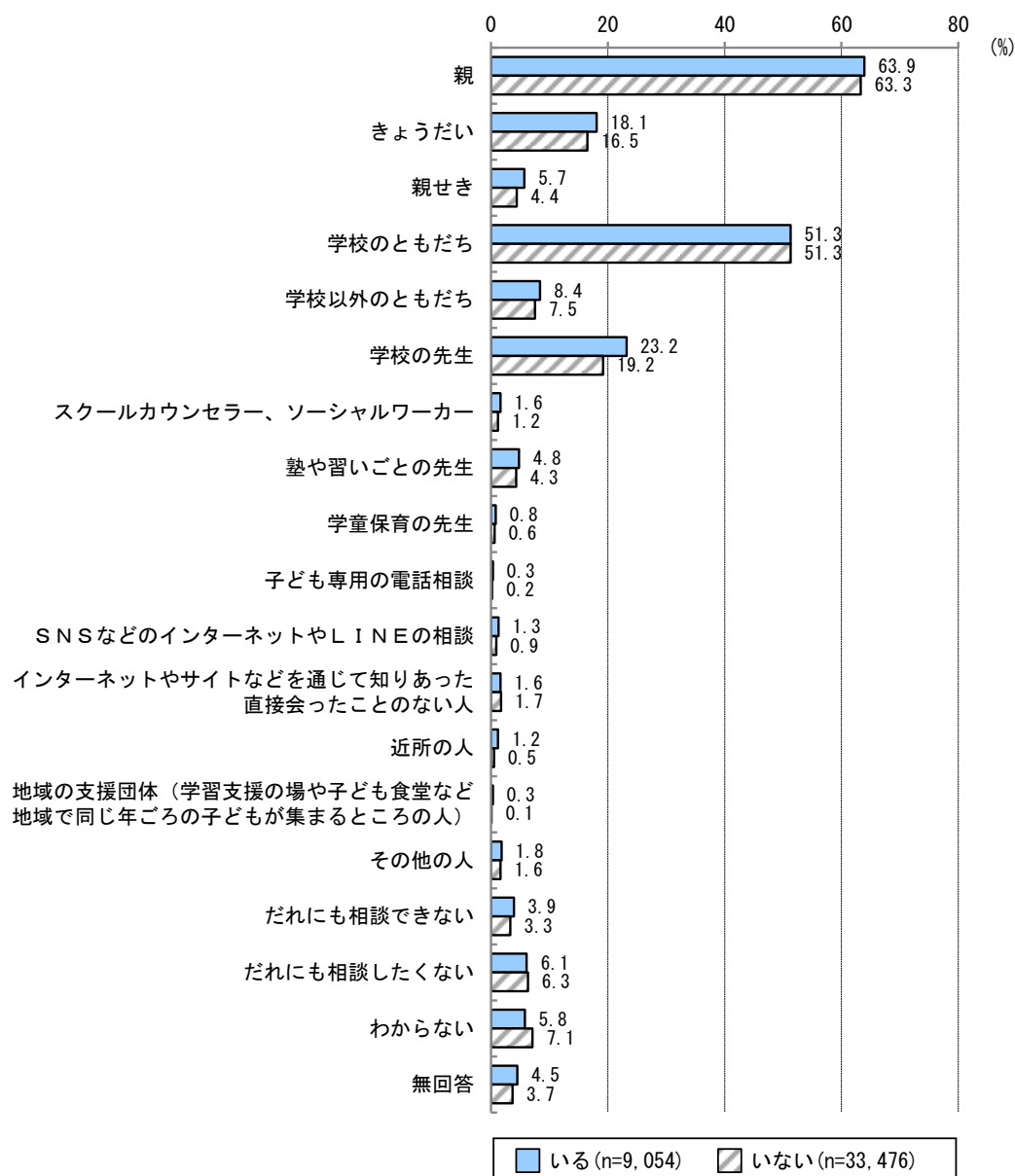


図 170. 何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

何でも相談できる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「親」、「きょうだい」、「親せき」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が低くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 18)

<大阪府内全体>



＜羽曳野市＞

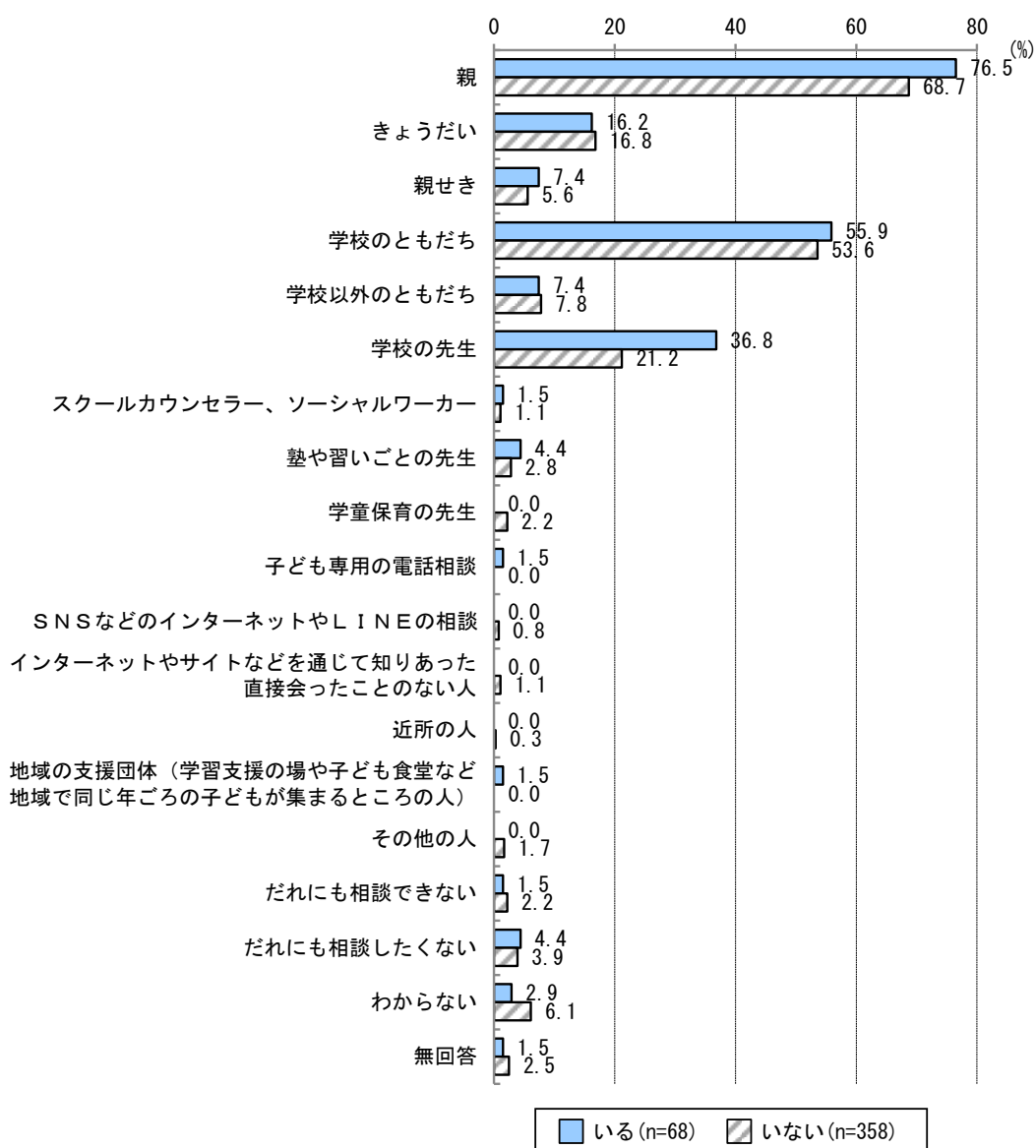
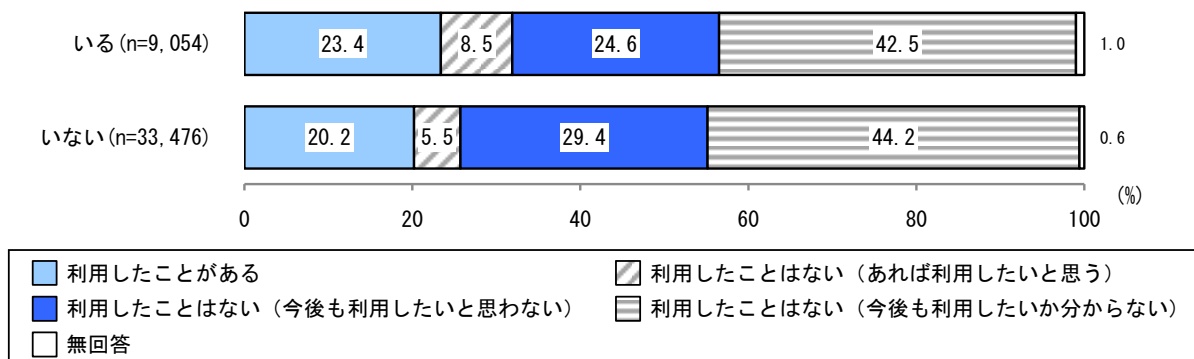


図 171. 自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

自分が世話をしている人の有無別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手をみると、相談相手が「親」、「親せき」、「学校のともだち」、「学校の先生」、「塾や習いごとの先生」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。また、「だれにも相談したくない」と回答した人の割合も、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高く、世話をしている人では4.4%となっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)①)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

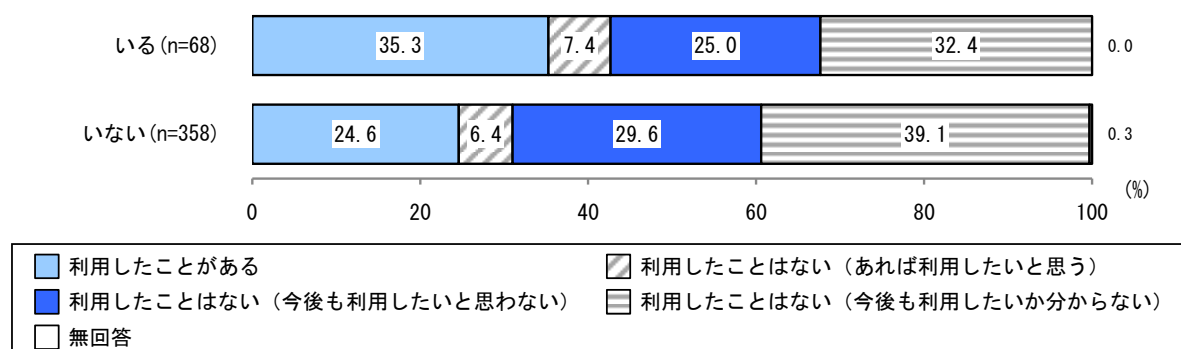
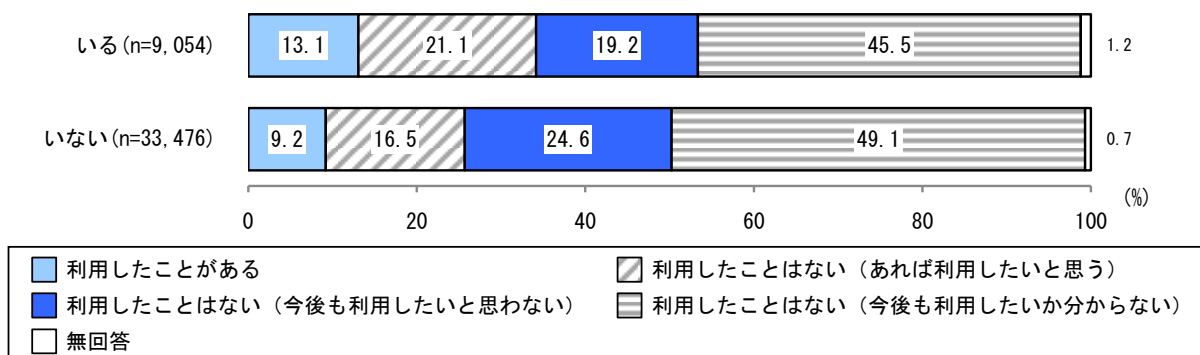


図 172. 自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

自分が世話をしている人の有無別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、平日の夜や休日を過ごすことができる場所を「利用したことがある」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)②）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

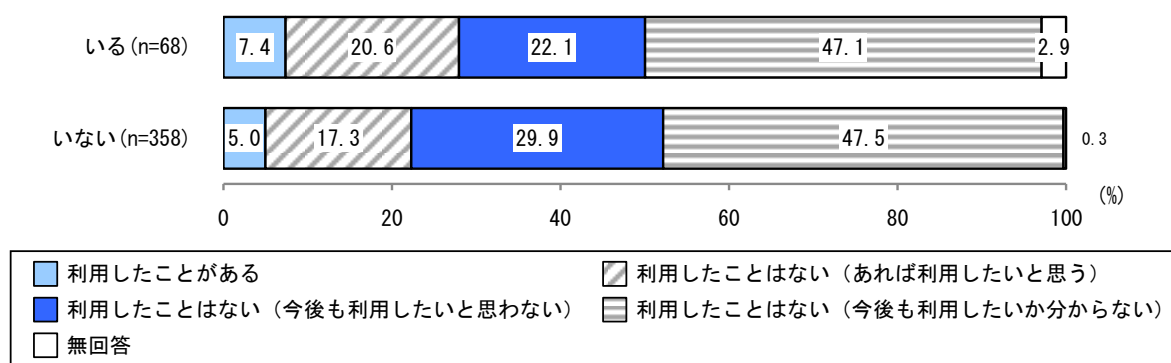
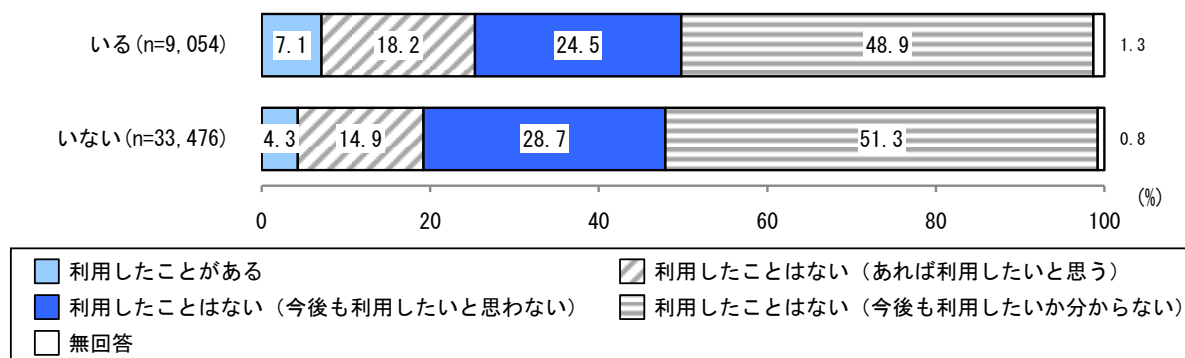


図 173. 自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

自分が世話をしている人の有無別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を「利用したことはない (今後も利用したいと思わない)」と回答した人の割合は、世話をしている人がいる人よりいない人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)③)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

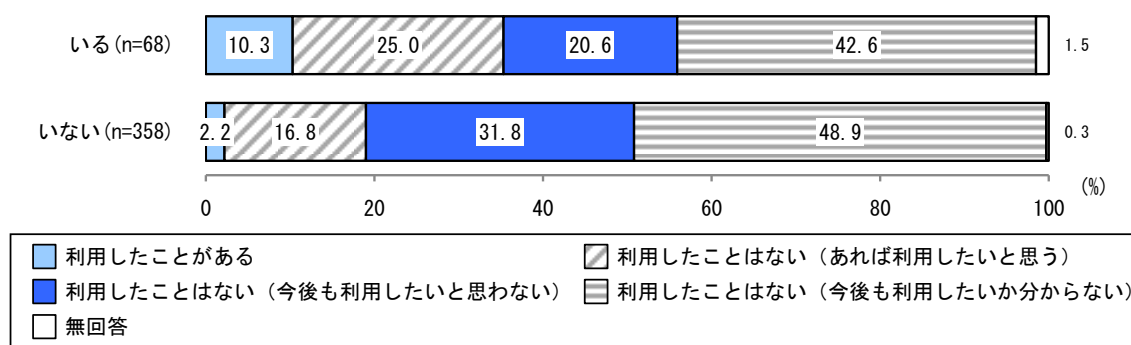
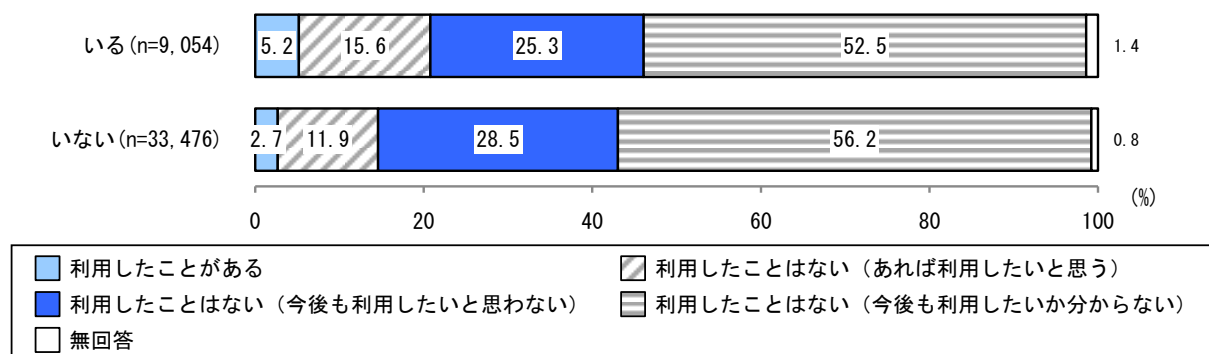


図 174. 自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

自分が世話をしている人の有無別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない (あれば利用したいと思う)」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)④)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

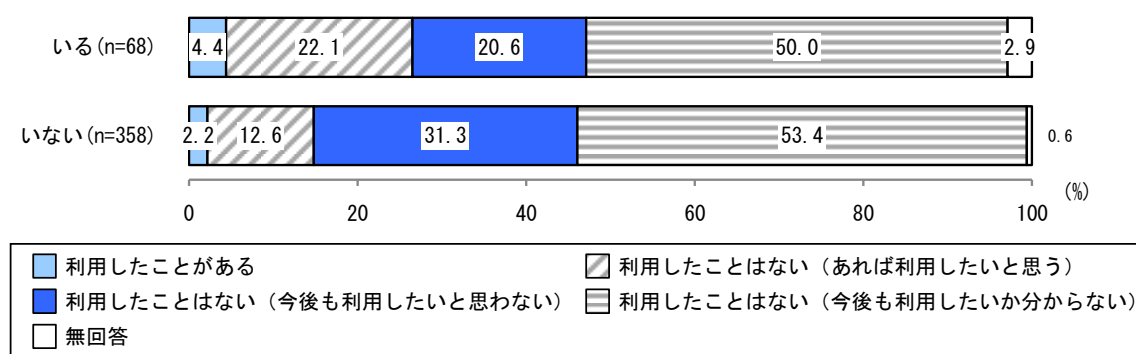
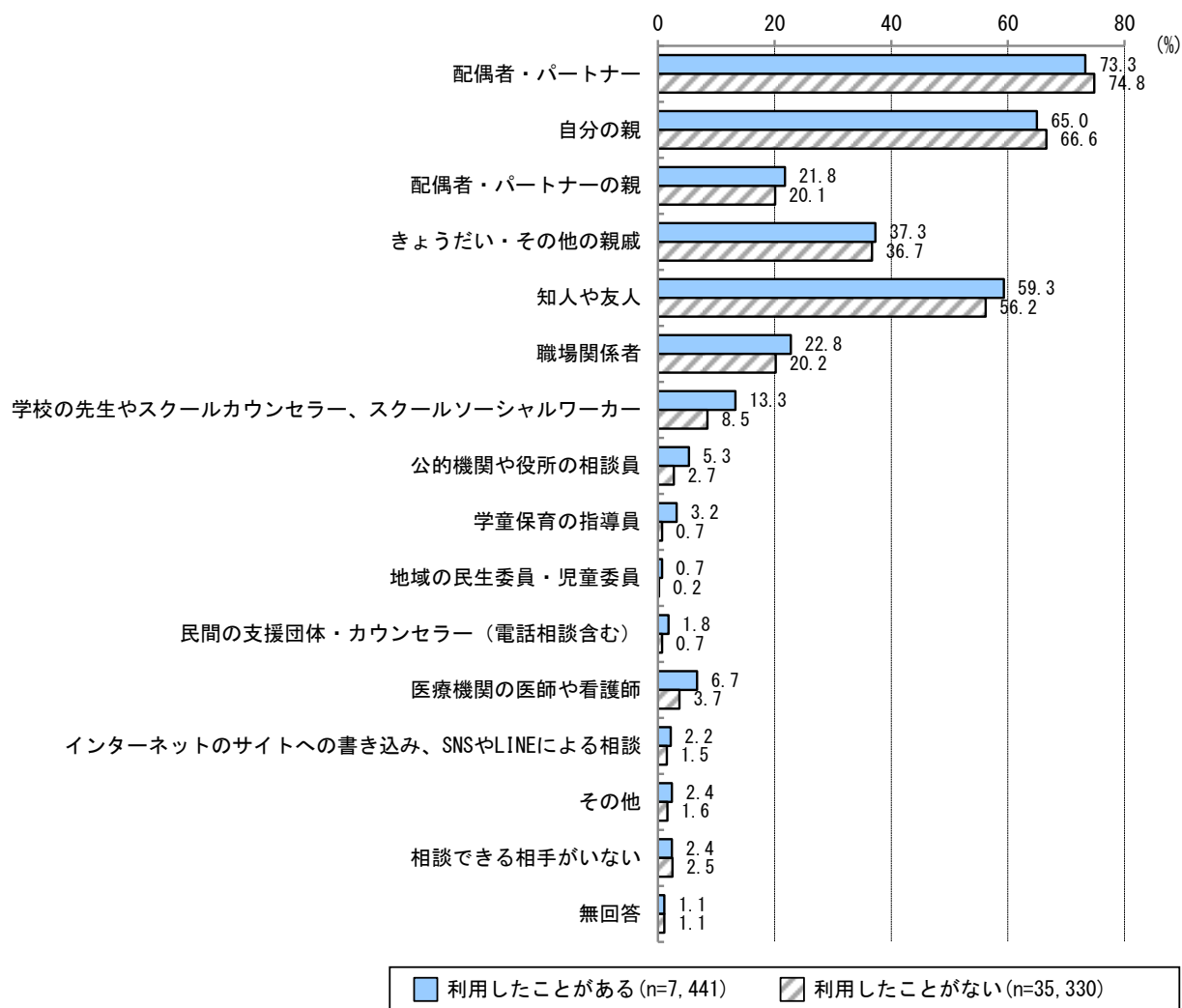


図 175. 自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所

自分が世話をしている人の有無別に何でも相談できる場所を見ると、何でも相談できる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 19)

<大阪府内全体>



＜羽曳野市＞

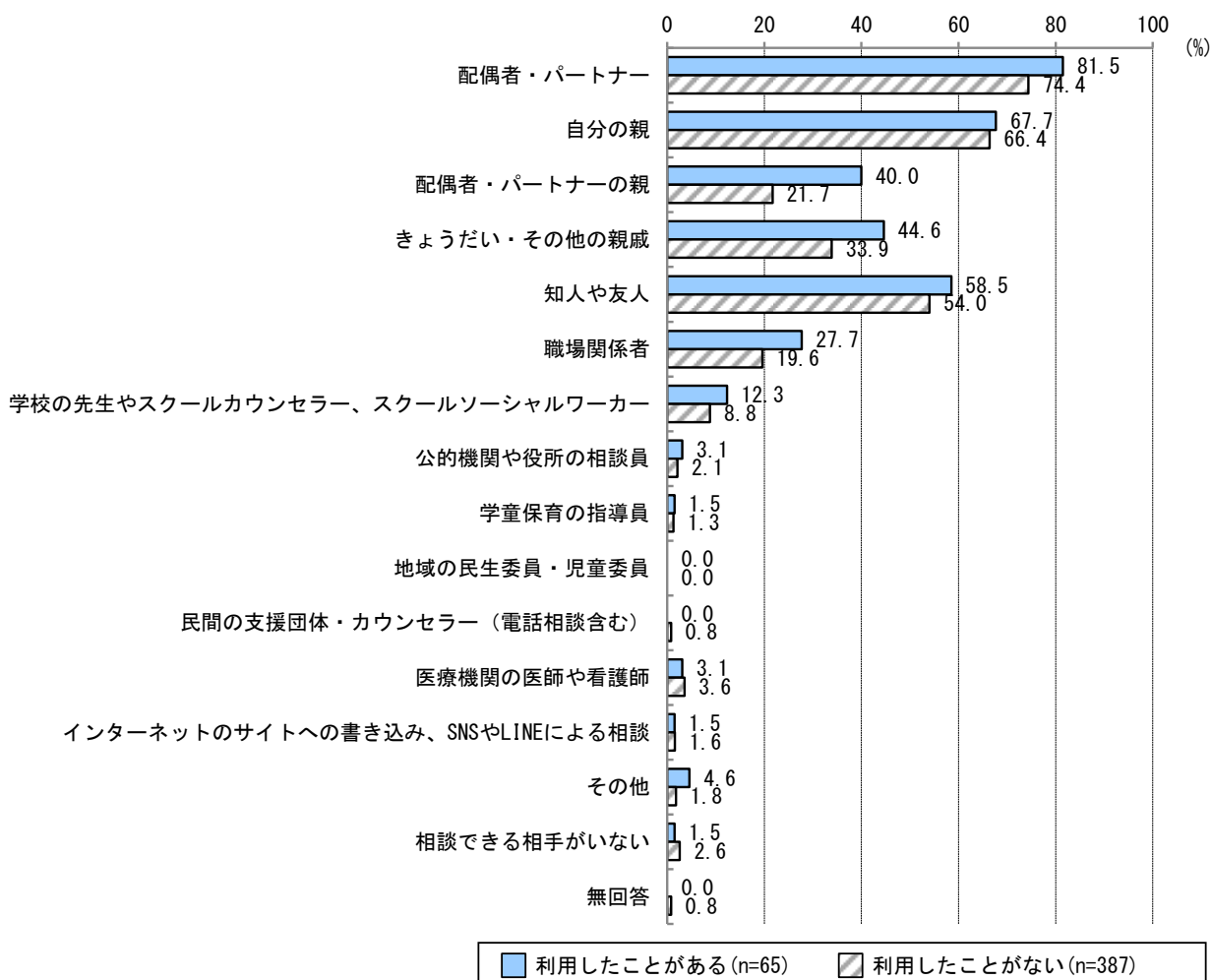
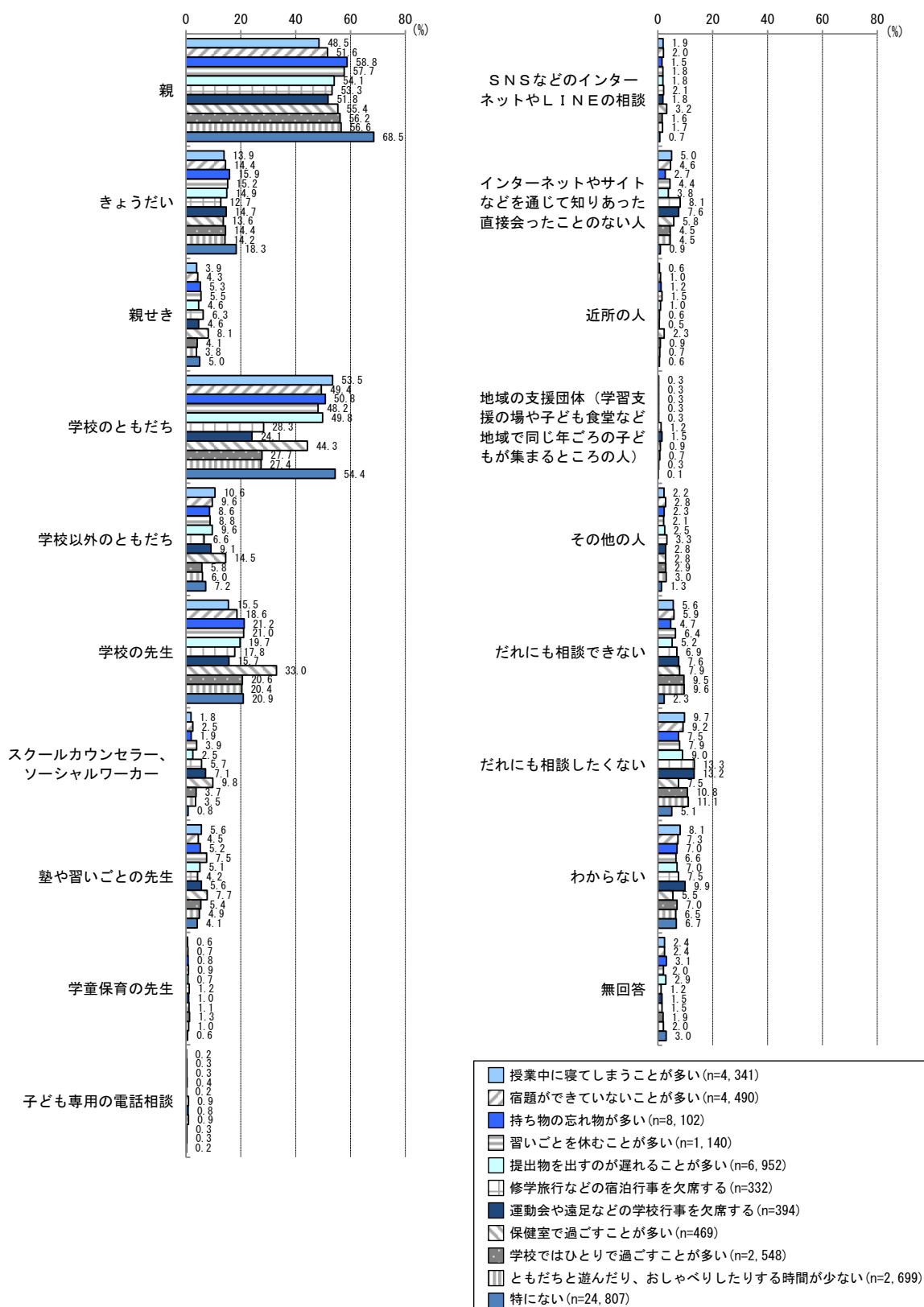


図 176. 子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

子どもの居場所の利用経験別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「配偶者・パートナー」、「自分の親」、「配偶者・パートナーの親」、「きょうだい・その他の親戚」、「知人や友人」、「職場関係者」、「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」、「公的機関や役所の相談員」、「学童保育の指導員」と回答した人の割合は、子どもの居場所を利用したことがない人より利用したことがある人のほうが割合が高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 16×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

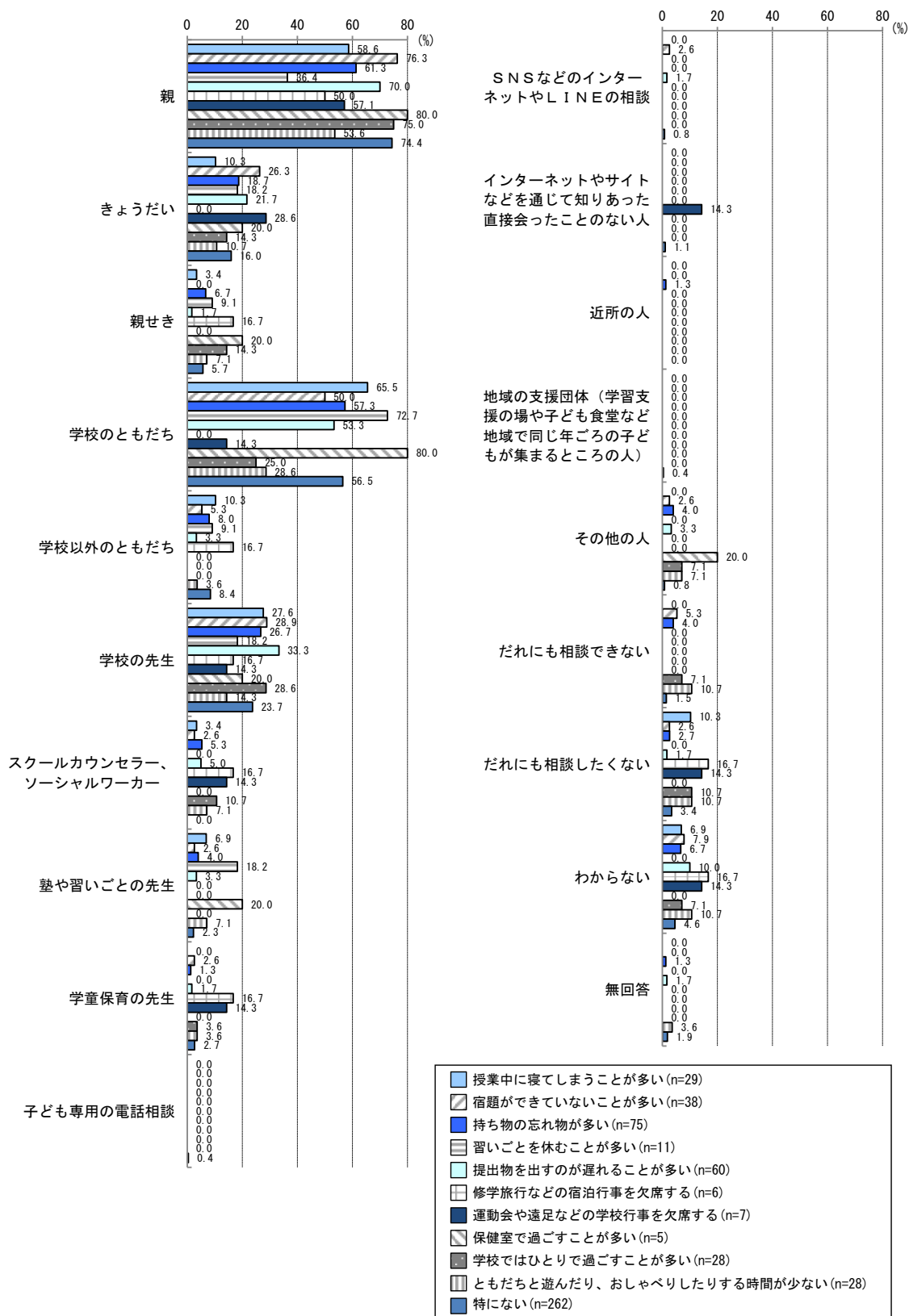
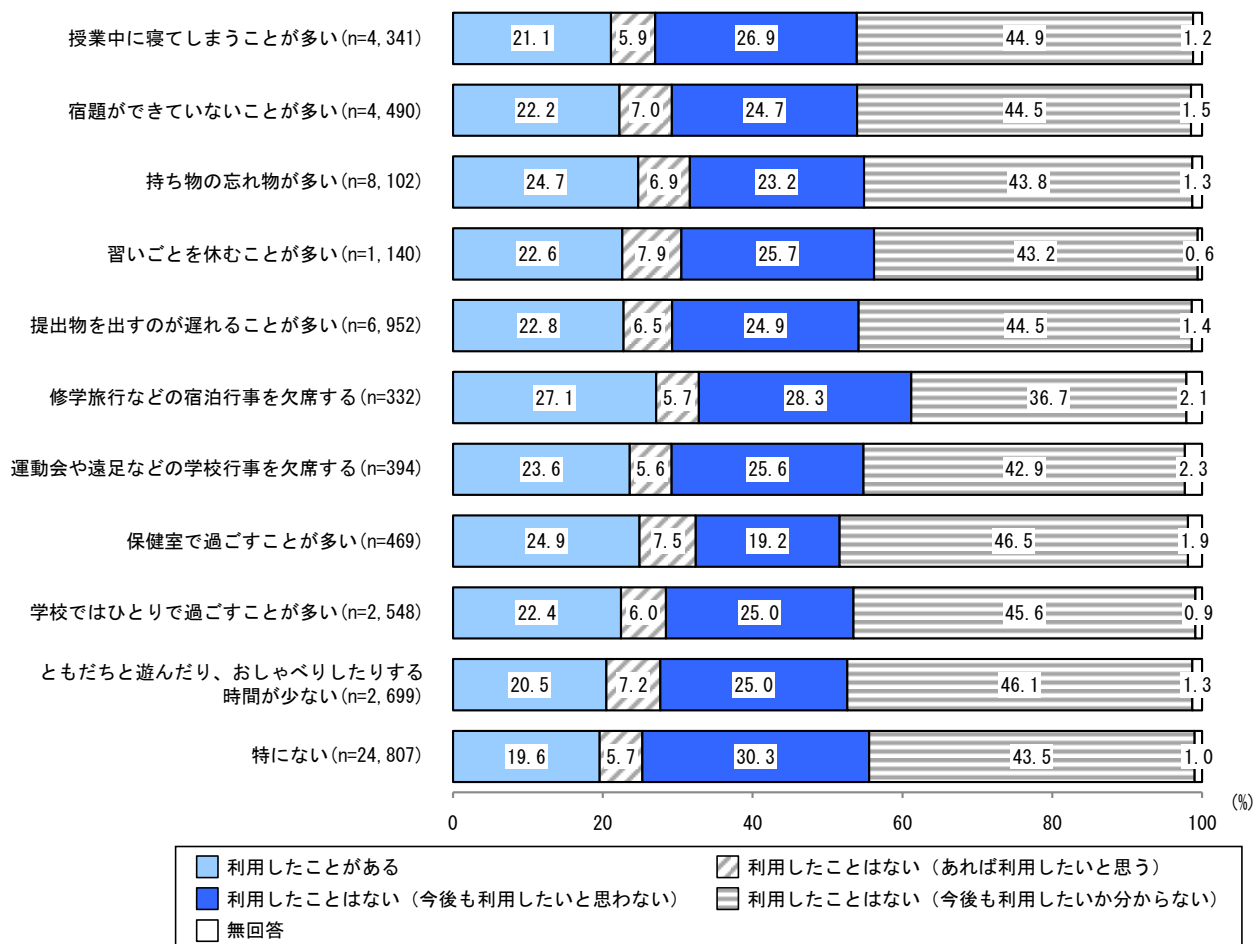


図 177. 学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

学校や学校の行事等の状況別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、「親」と回答した人の割合は「保健室で過ごすことが多い」と回答した人の割合が80.0%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(子ども票問 16×子ども票問 25(1)①)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

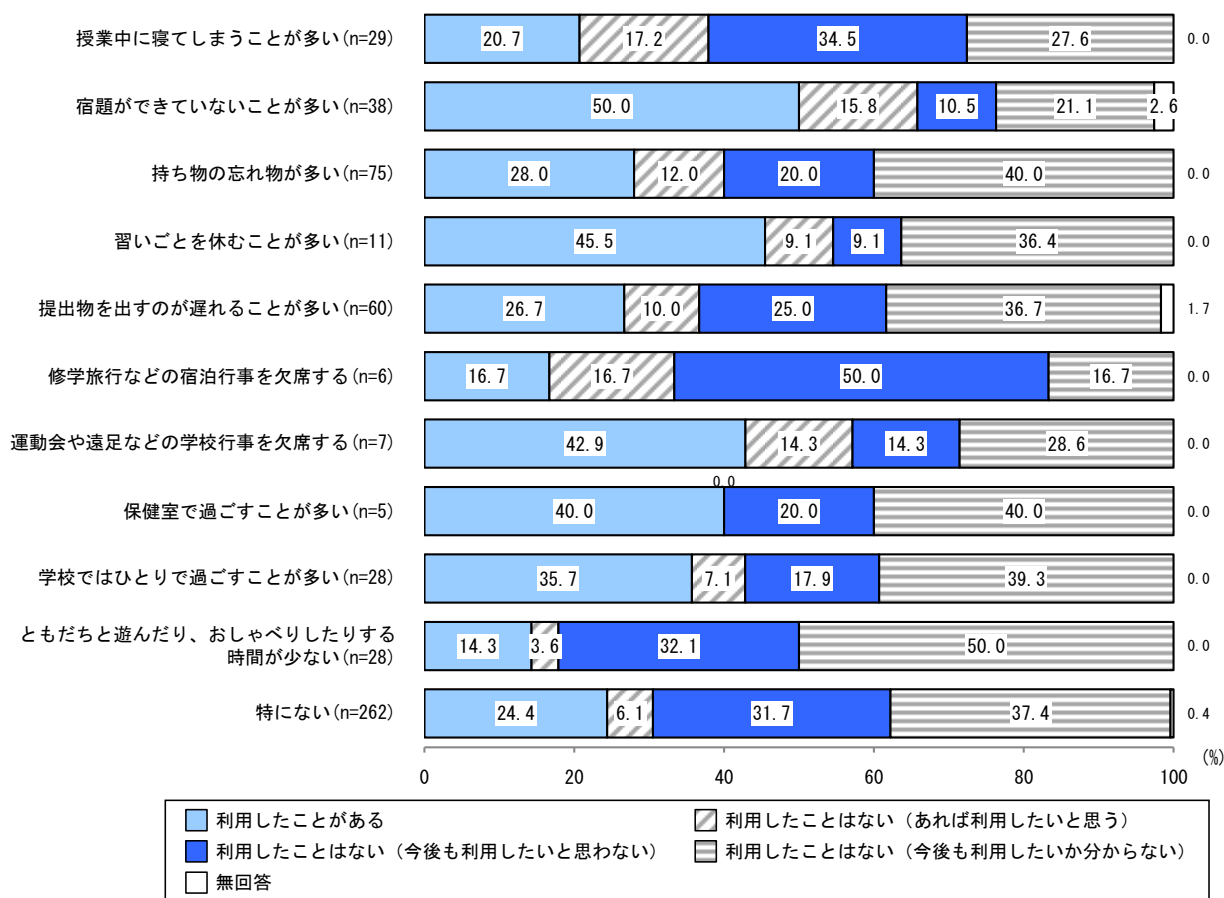
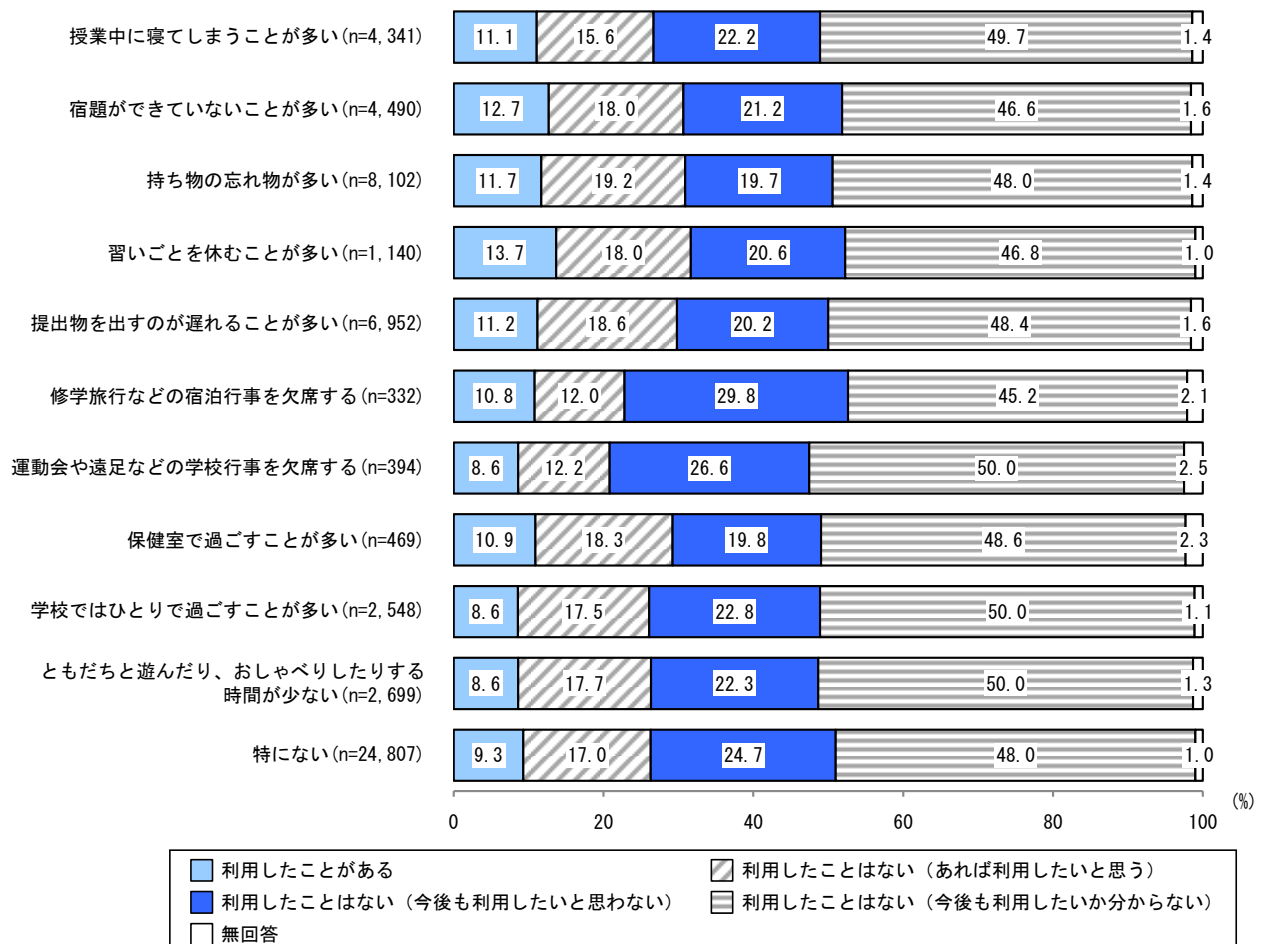


図 178. 学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

学校や学校の行事等の状況別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「宿題ができていないことが多い」が50.0%で最も低くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども票問 16×子ども票問 25(1)②）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

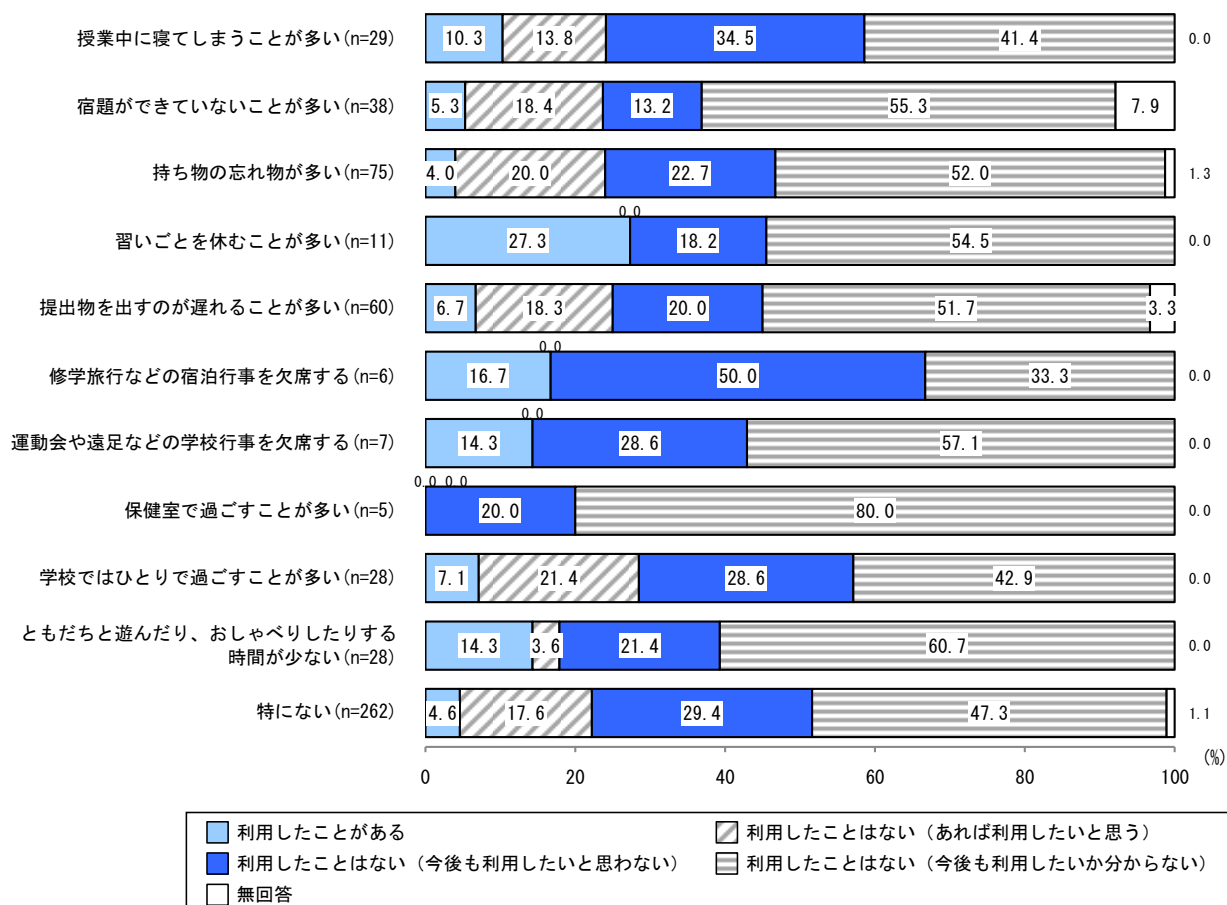
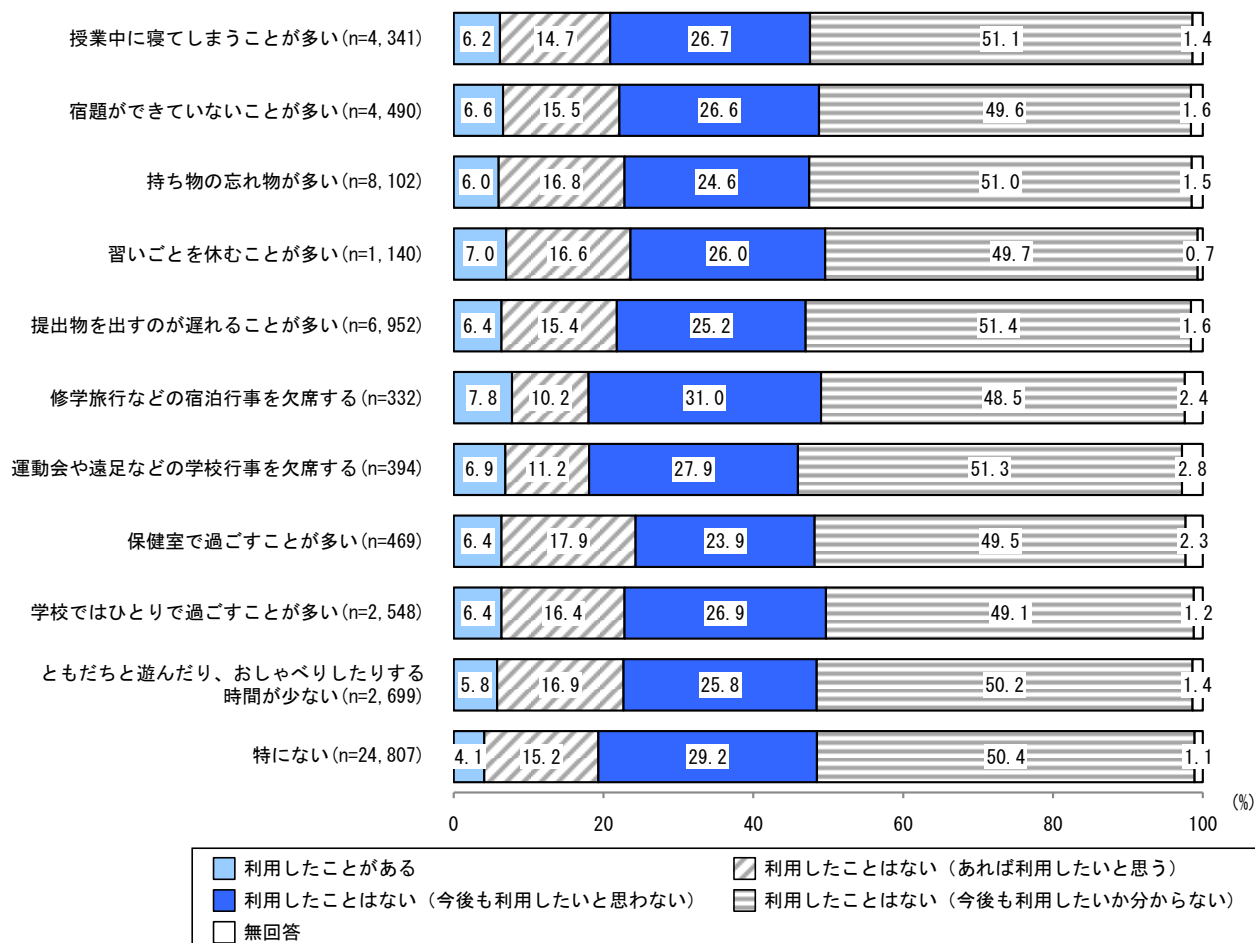


図 179. 学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

学校や学校の行事等の状況別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「習いごとを休むことが多い」が27.3%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
(子ども票問 16×子ども票問 25(1)③)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

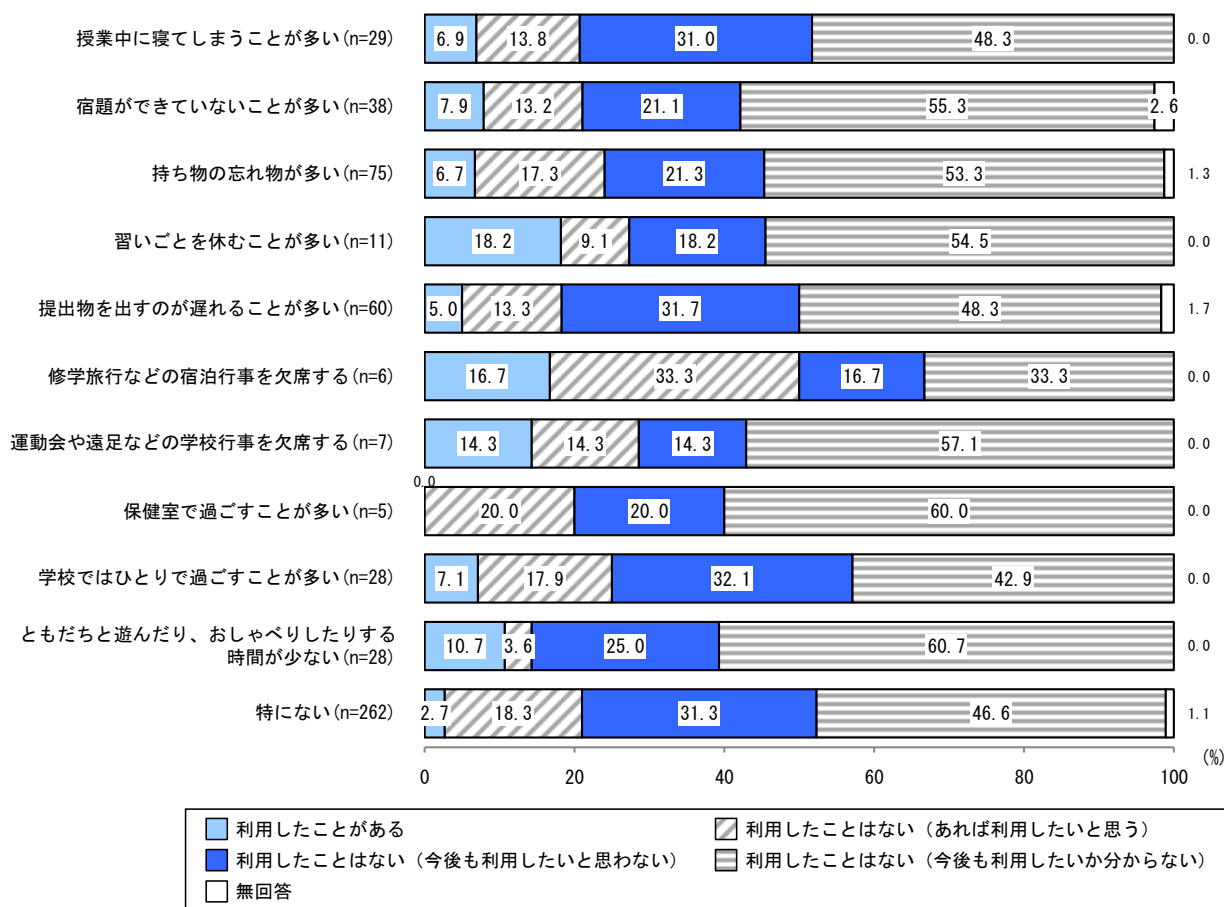
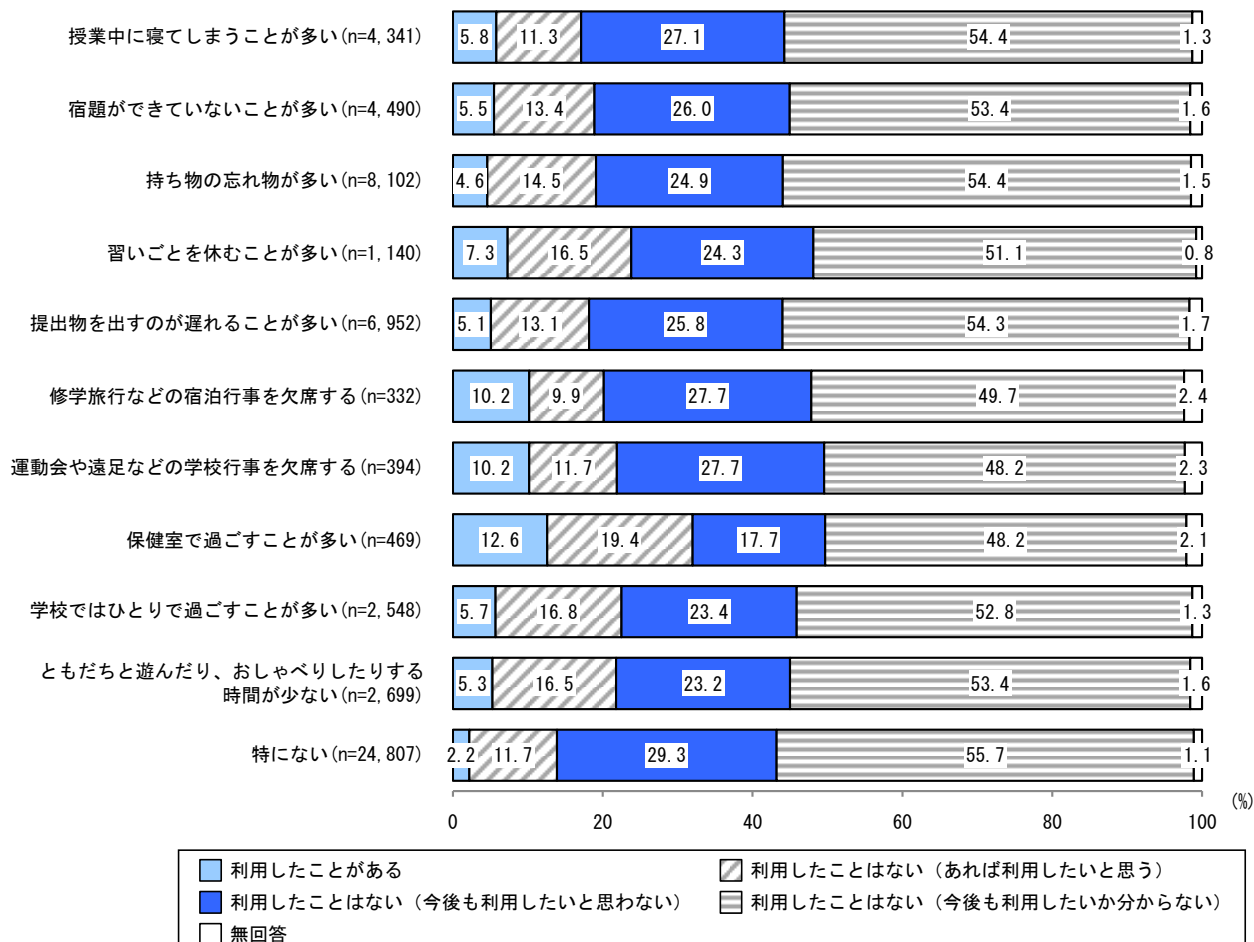


図 180. 学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

学校や学校の行事等の状況別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「習いごとを休むことが多い」が18.2%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所
(子ども票問 16×子ども票問 25(1)④)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

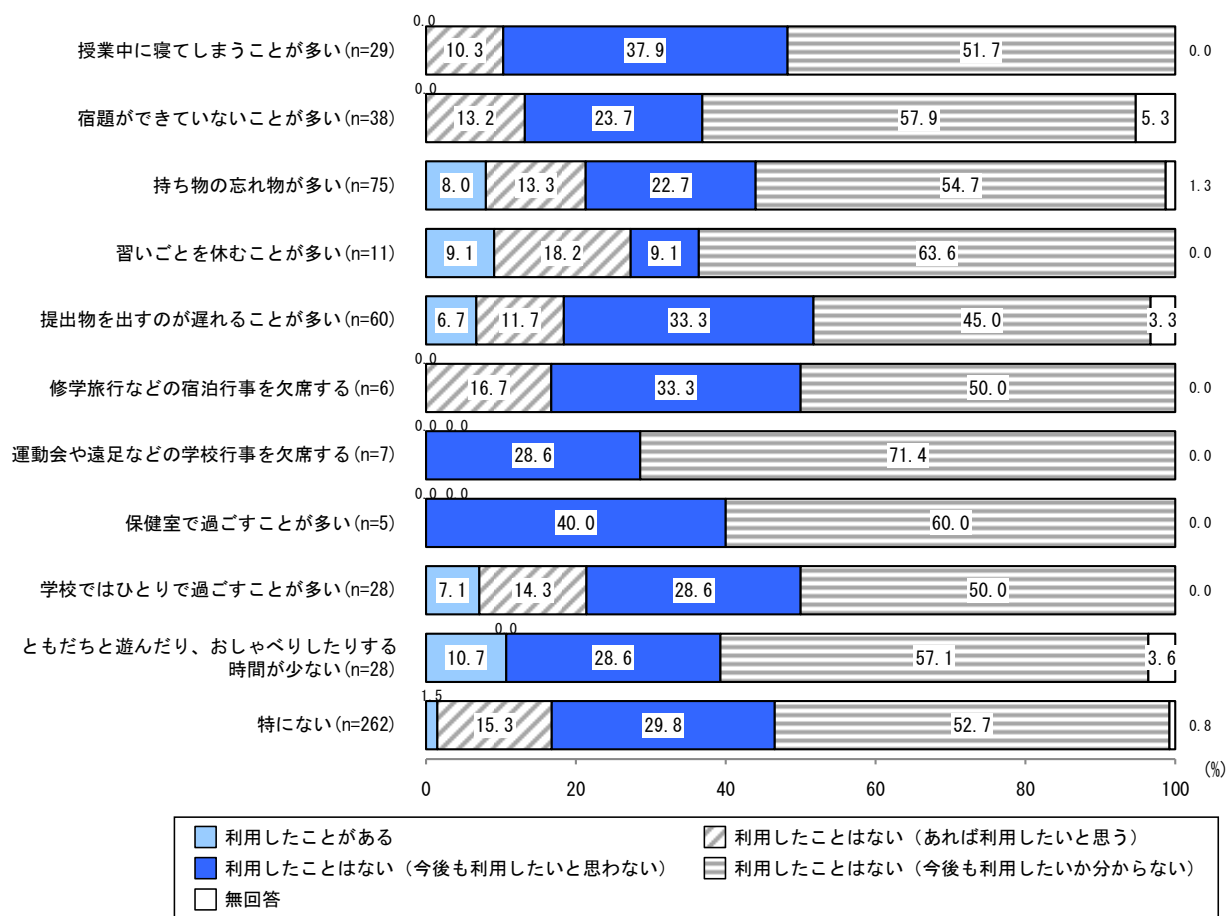
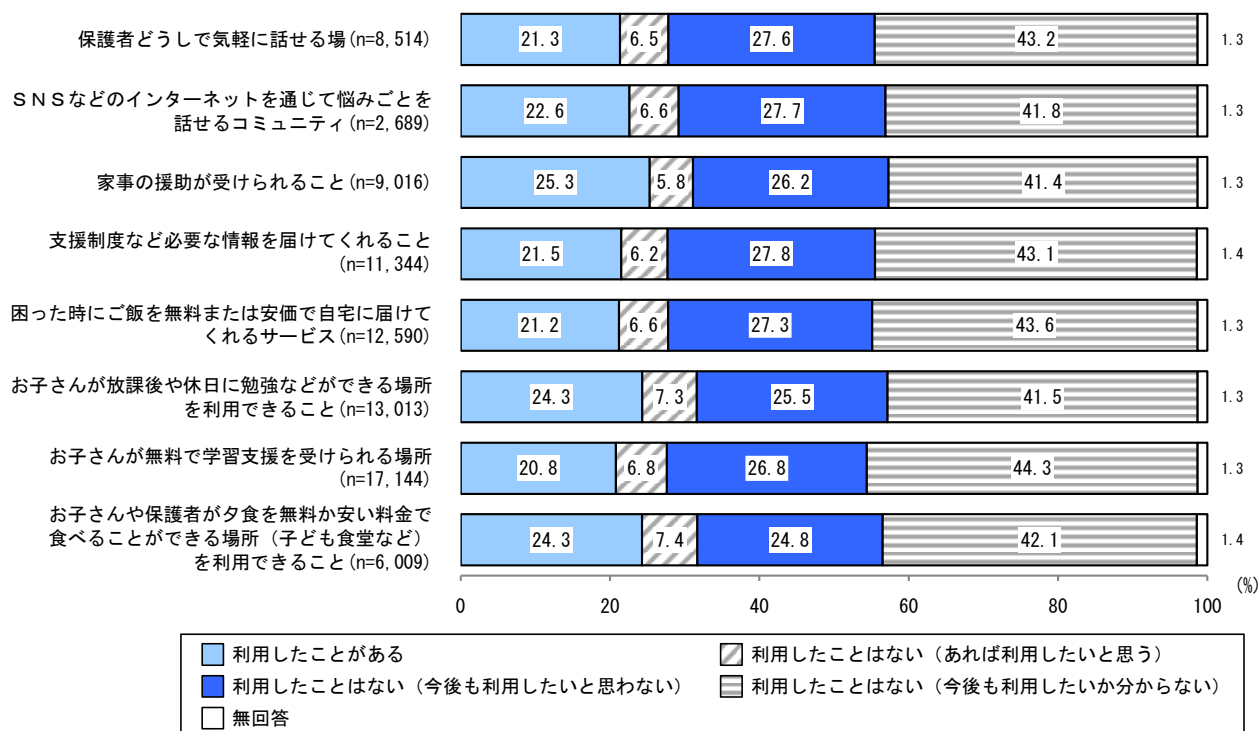


図 181. 学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所

学校や学校の行事等の状況別に何でも相談できる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」が10.7%で最も高く、次いで「習いごとを休むことが多い」が9.1%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(保護者票問 20×子ども票問 25(1)①)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

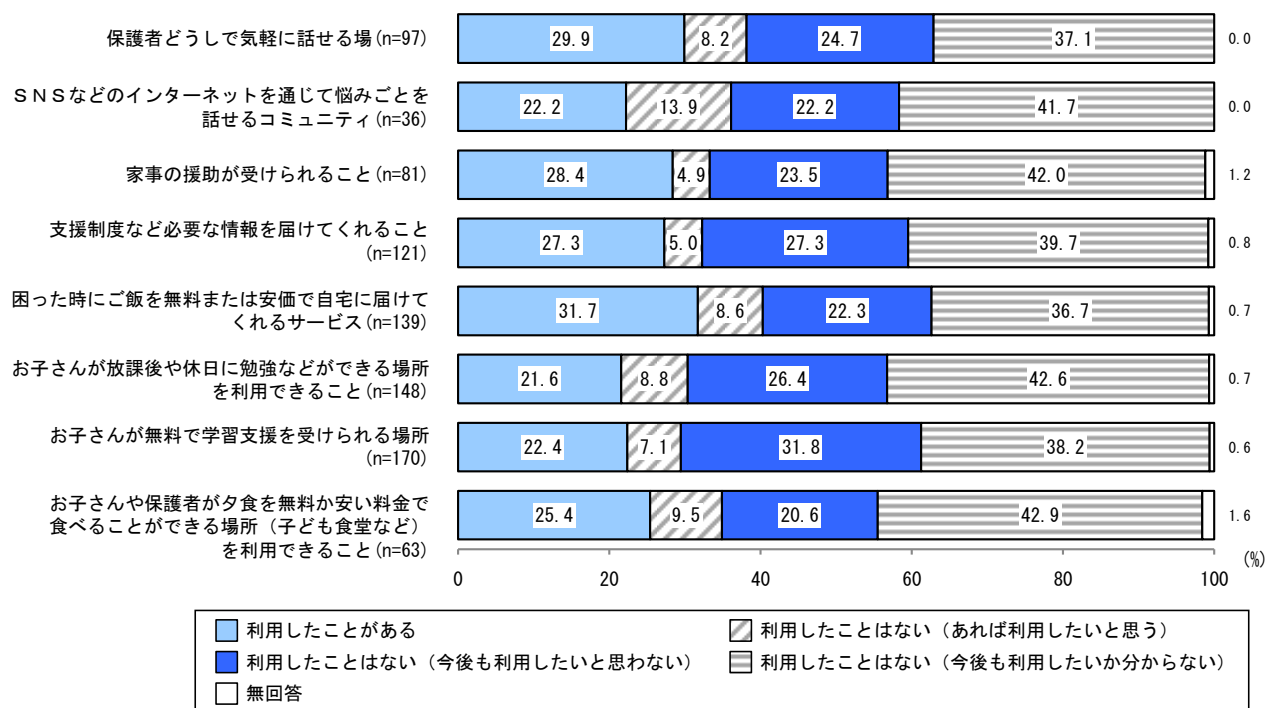
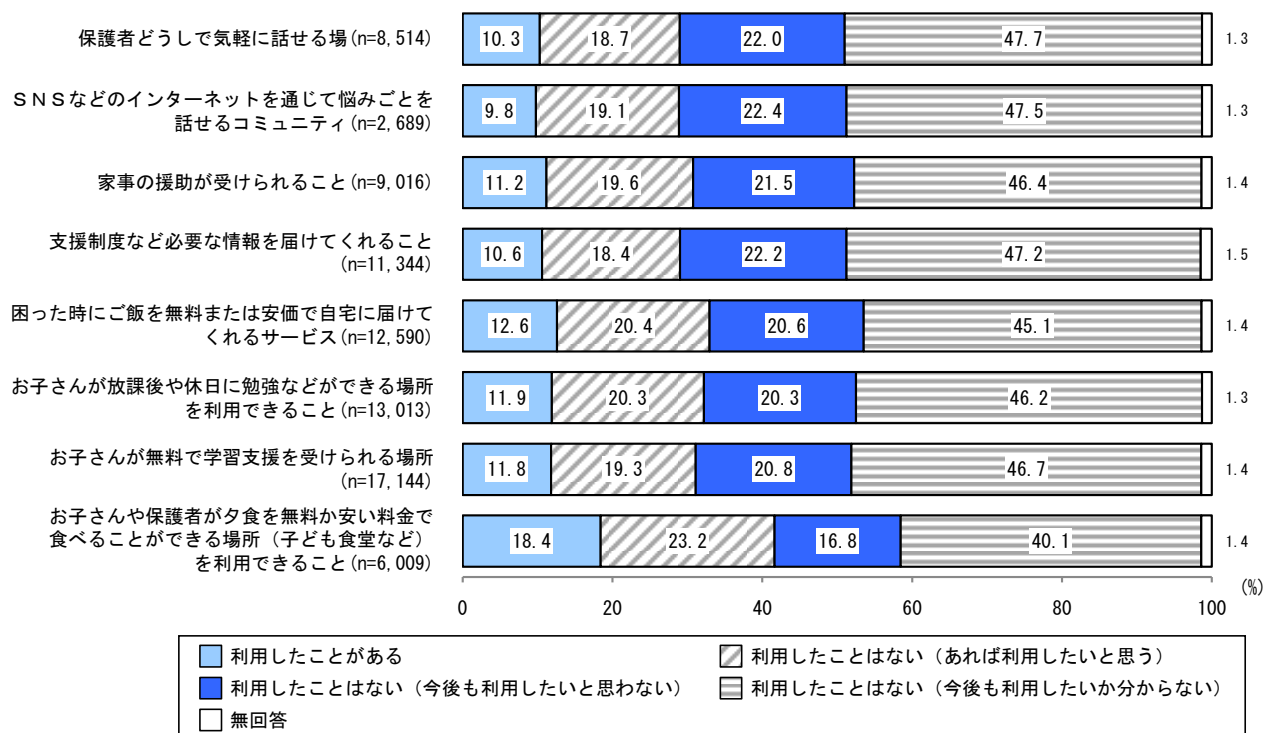


図 182. 身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

身近にあるといいと思うこと別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が31.7%で最も高く、次いで「保護者どうして気軽に話せる場」が29.9%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金を食べることができる場所（保護者票問 20×子ども票問 25(1)②）

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

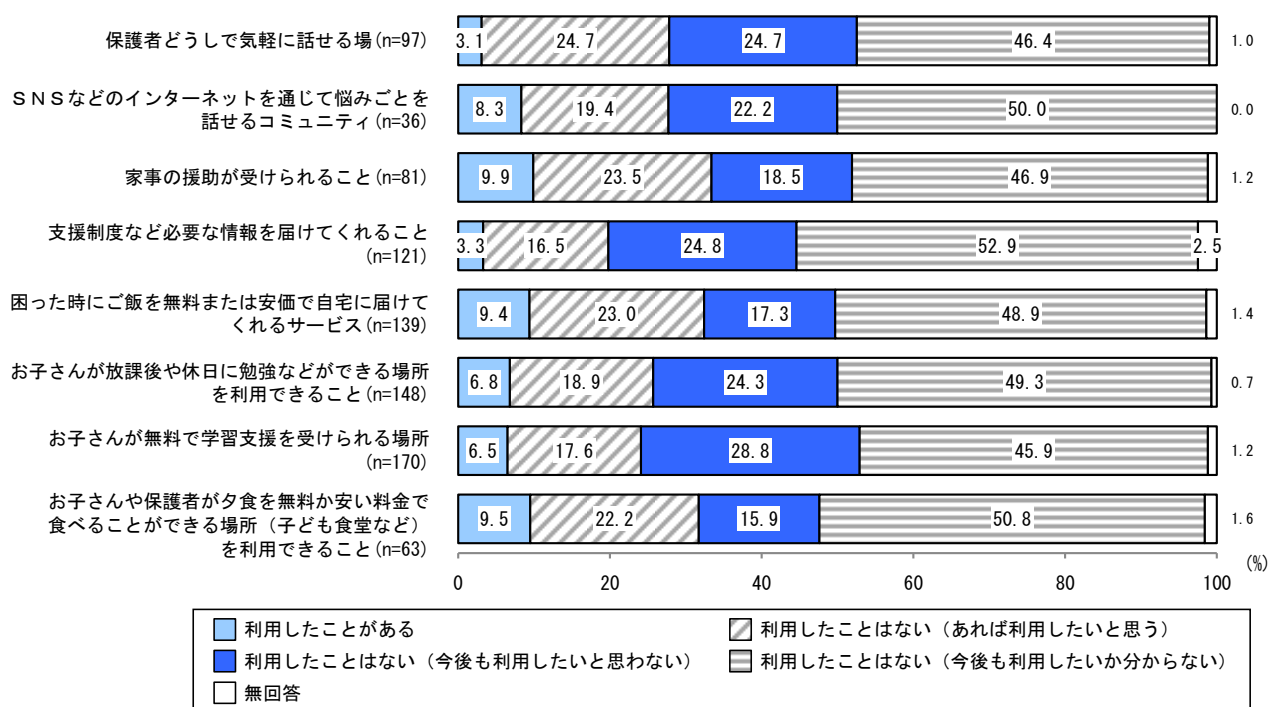
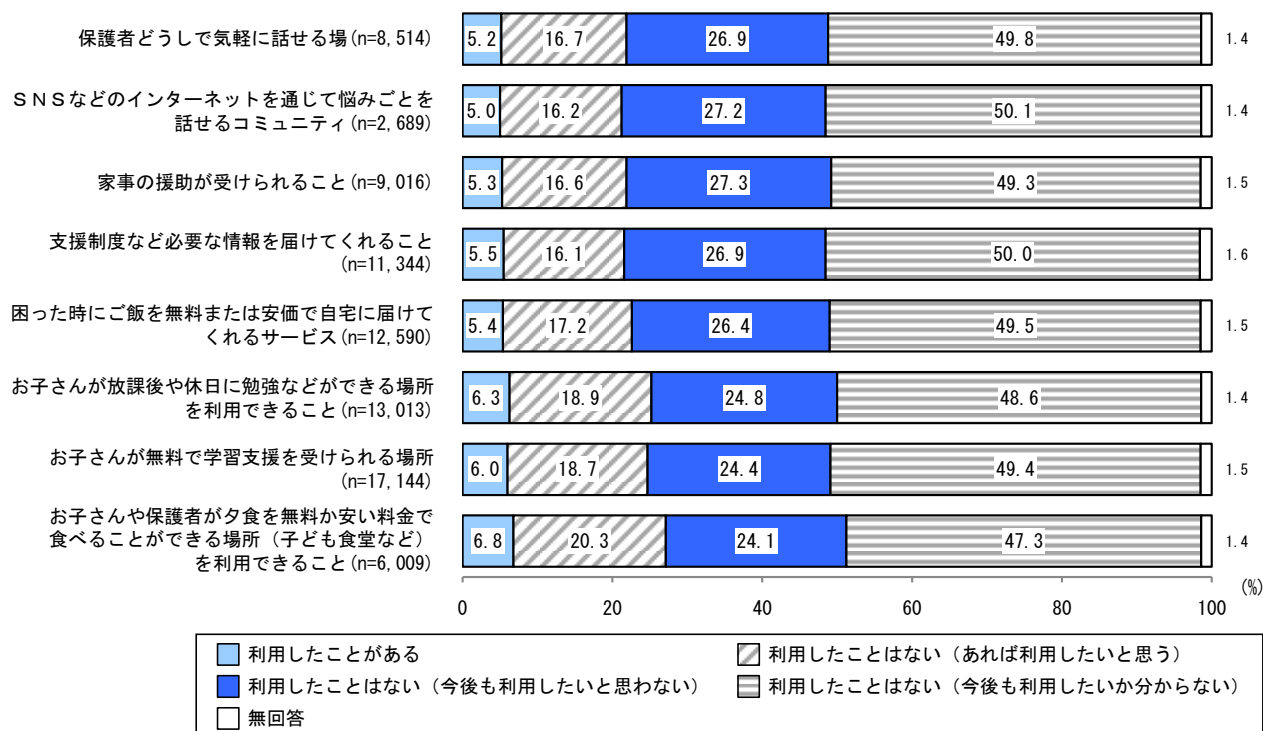


図 183. 身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

身近にあるといいと思うこと別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「家事の援助が受けられること」が9.9%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
(保護者票問 20×子ども票問 25(1)③)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

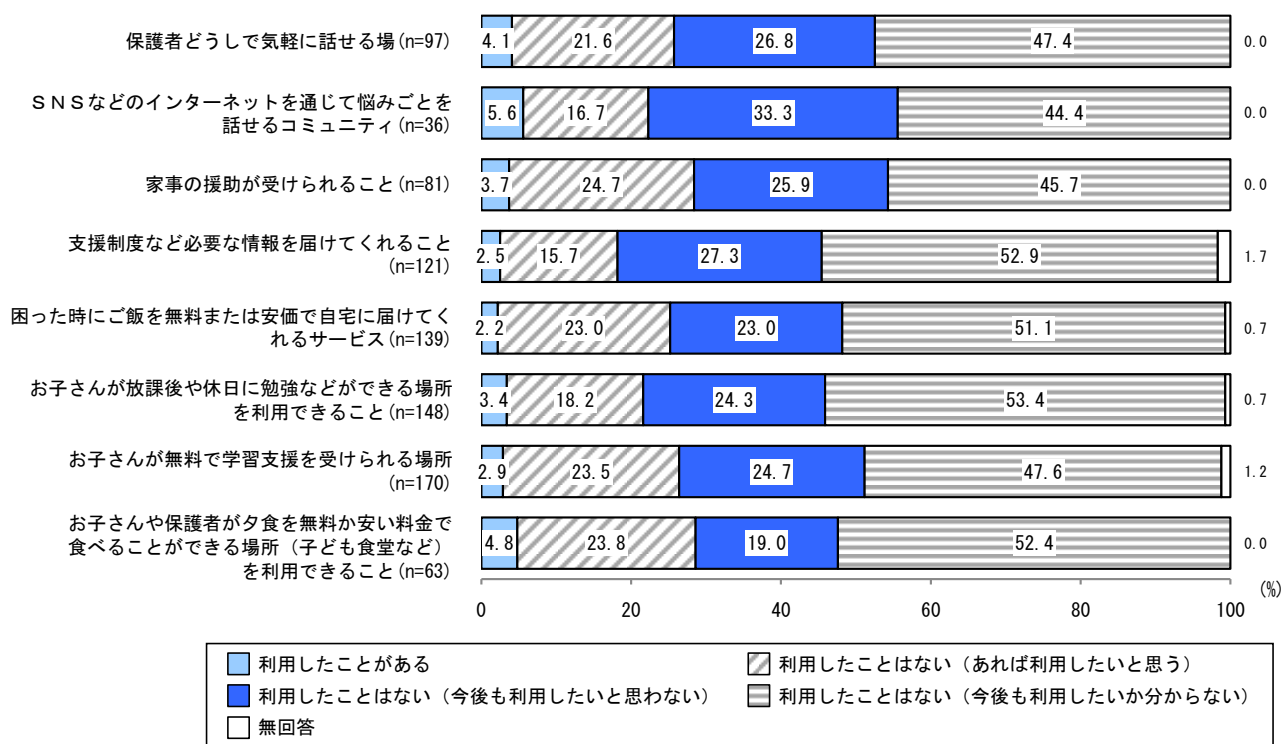
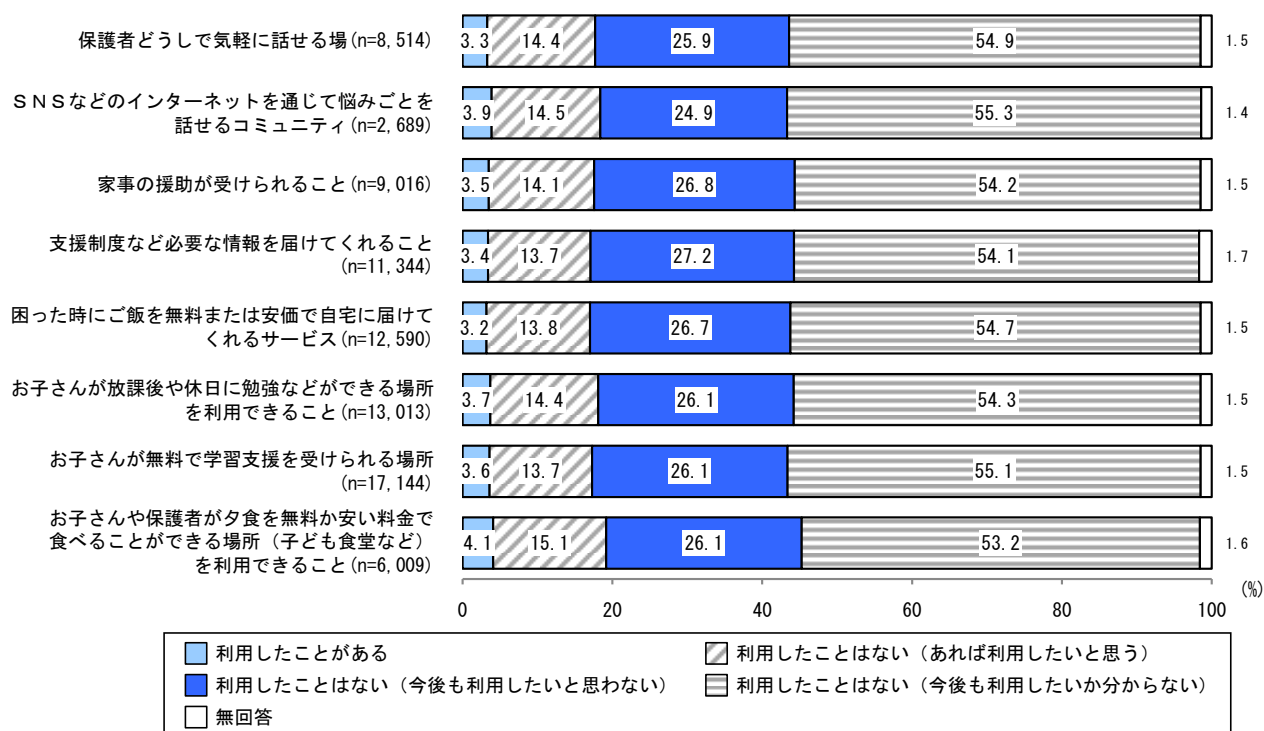


図 184. 身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

身近にあるといいと思うこと別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は、「SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が5.6%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所
(保護者票問 20×子ども票問 25(1)④)

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

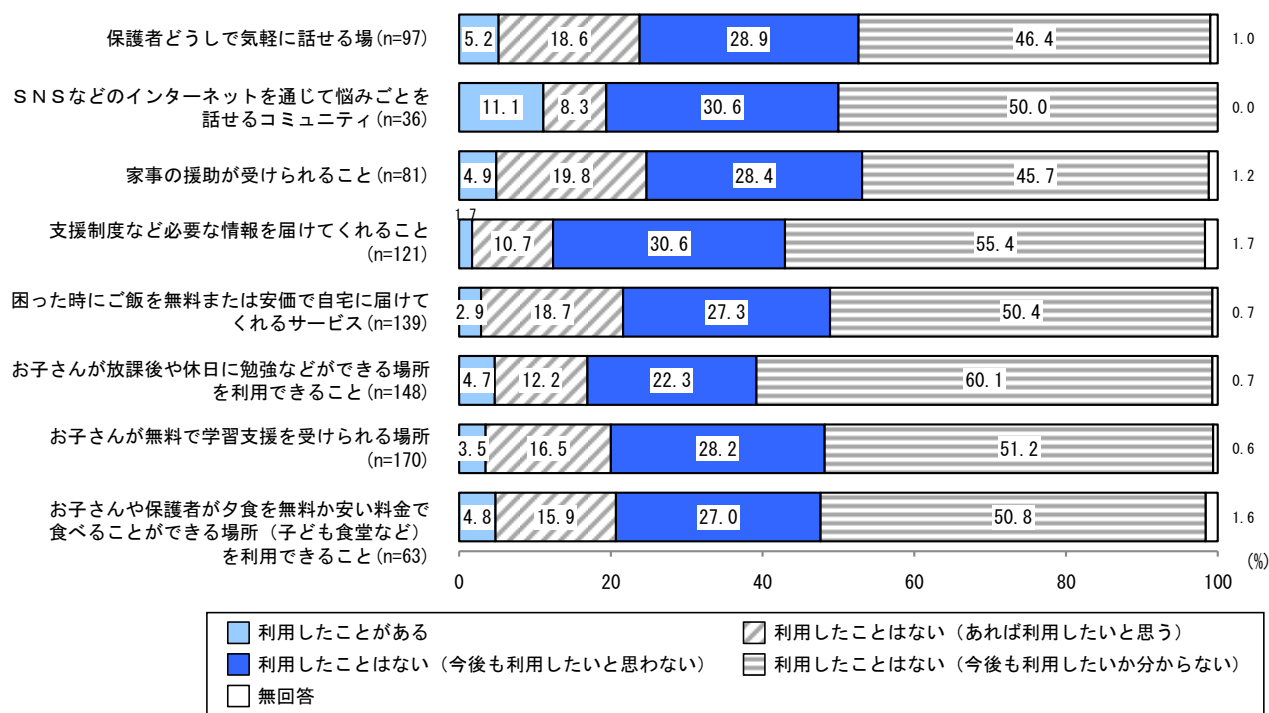
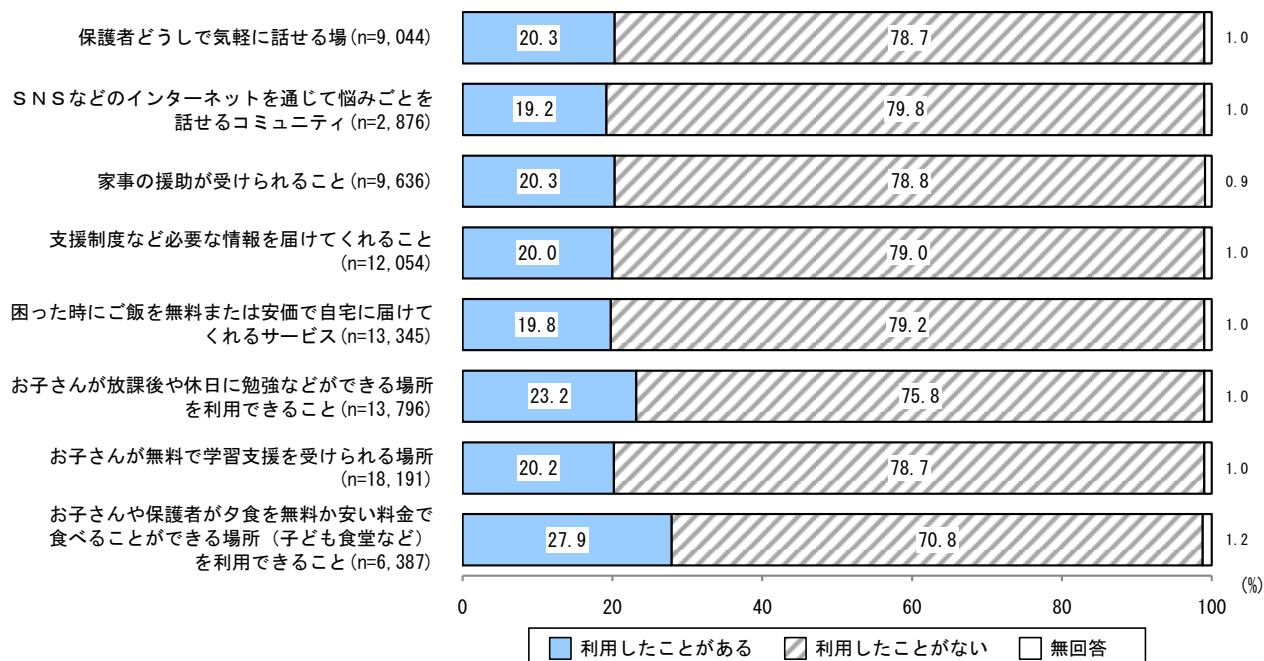


図 185. 身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所

身近にあるといいと思うこと別に何でも相談できる場所を見ると、「利用したことはない (あれば利用したいと思う)」と回答した人の割合は、「SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が11.1%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無
(保護者票問 20×保護者票問 16(1))

<大阪府内全体>



<羽曳野市>

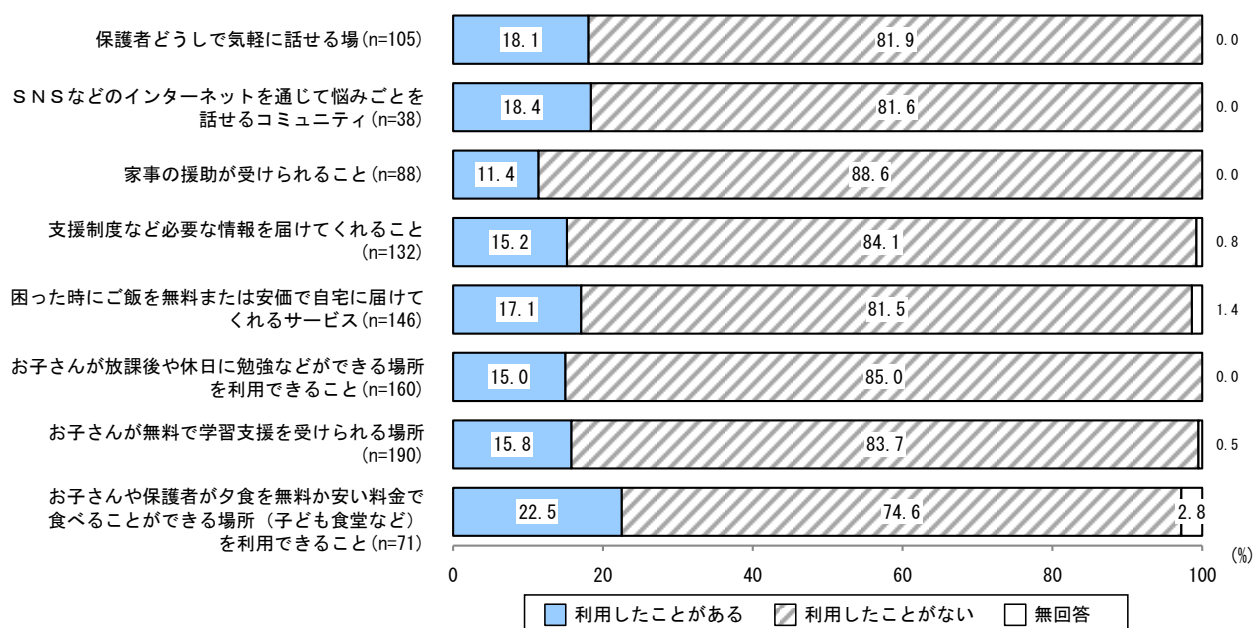
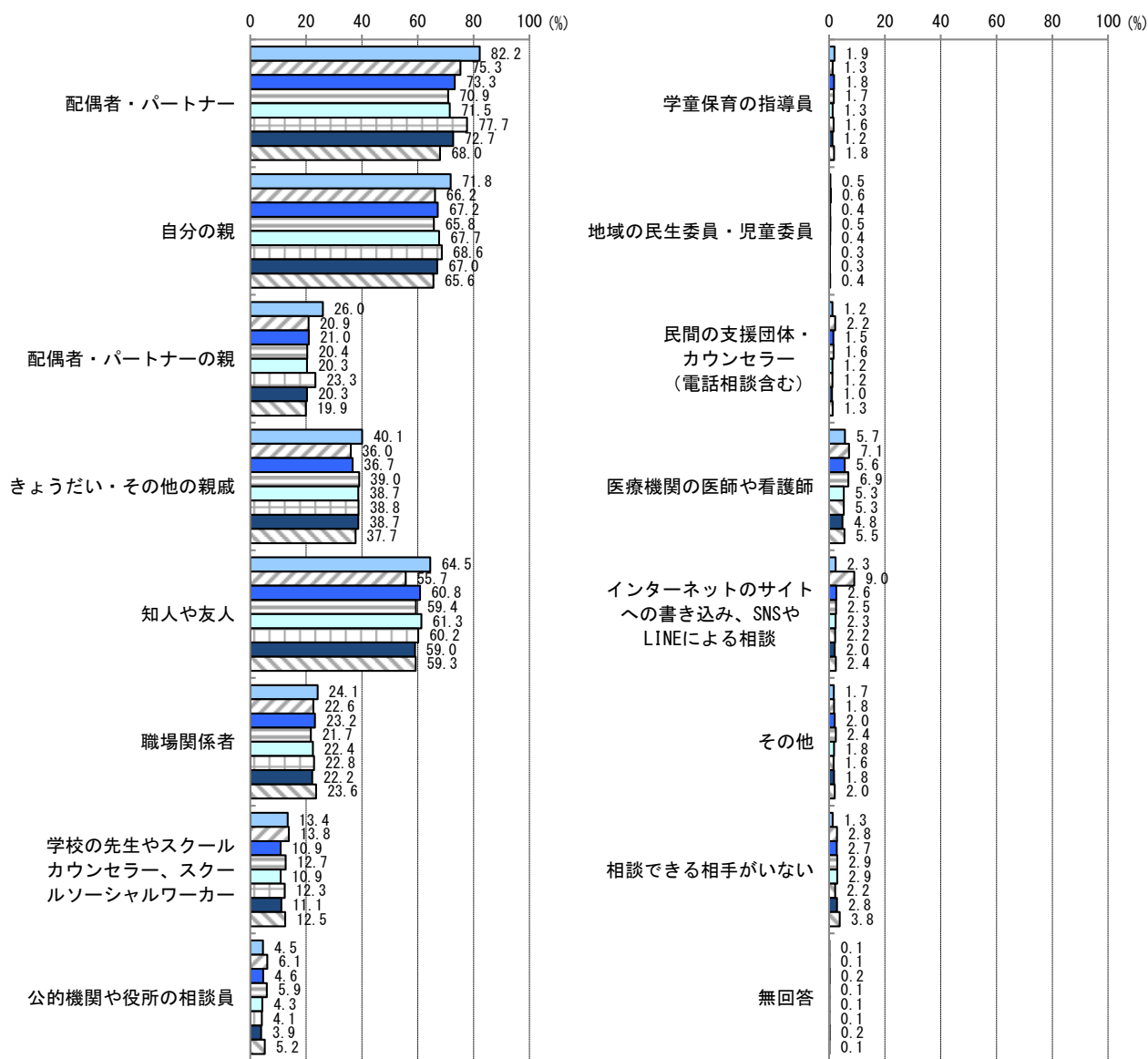


図 186. 身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無

身近にあるといいと思うこと別に子どもの居場所の利用有無を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が22.5%で最も高く、次いで「SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が18.4%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（保護者票問 20×保護者票問 19）

<大阪府内全体>



- 保護者どうして気軽に話せる場 (n=9, 044)
- SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ (n=2, 876)
- 家事の援助が受けられること (n=9, 636)
- 支援制度など必要な情報を届けてくれること (n=12, 054)
- 困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス (n=13, 345)
- お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること (n=13, 796)
- お子さんが無料で学習支援を受けられる場所 (n=18, 191)
- お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること (n=6, 387)

<羽曳野市>

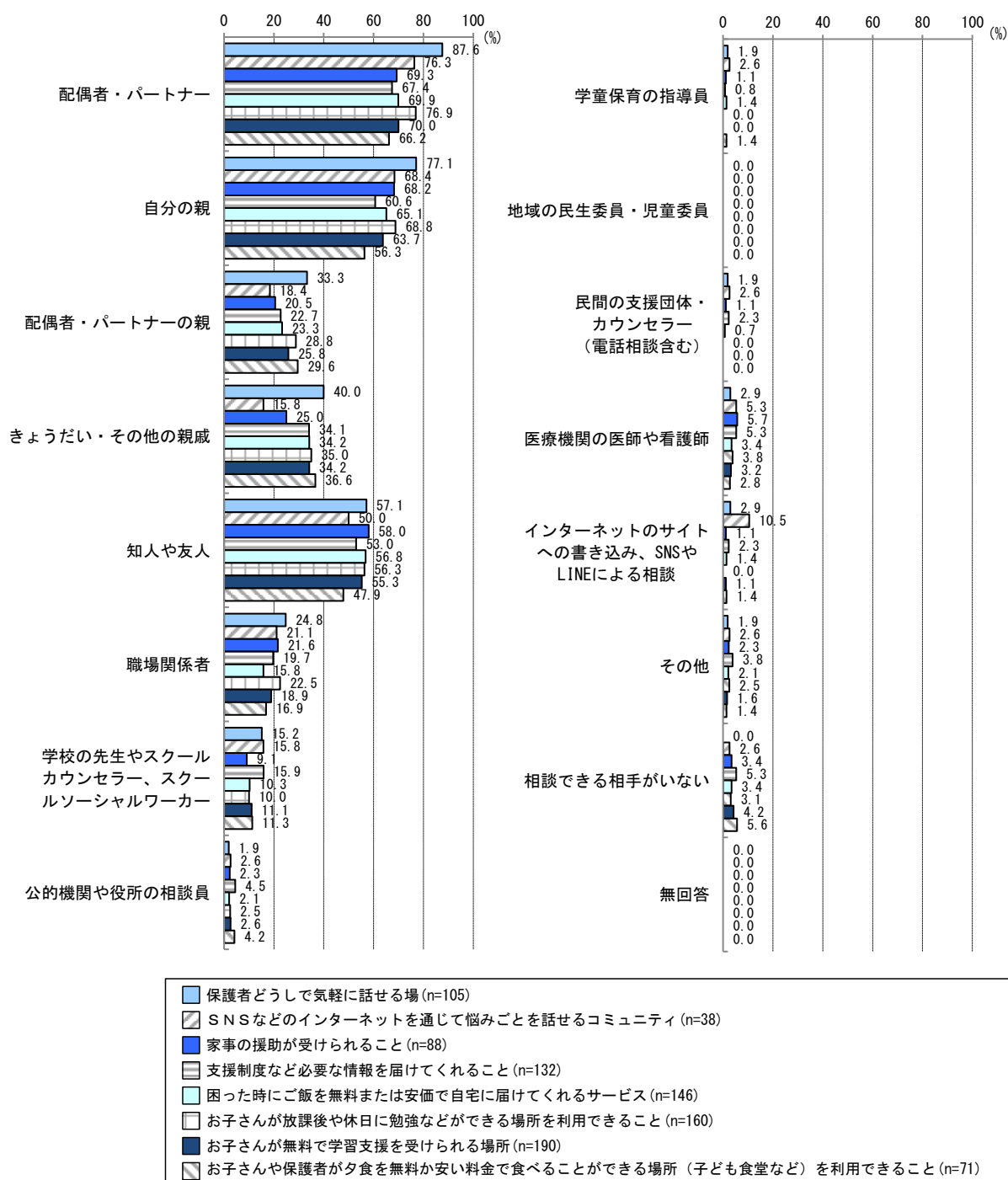


図 187. 身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

身近にあるといいと思うこと別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「配偶者・パートナー」と回答した人の割合は、「保護者どうして気軽に話せる場」が87.6%で最も高く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が76.9%となっている。

<対人関係に関する考察>

中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目した分析結果を以下にまとめる。子どもが「放課後に過ごす場所」では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」(15.1%対4.9%)、「塾」(31.3%対18.0%)と「習いごと」(38.5%対24.6%)の利用率がいずれも10ポイント以上高くなっている。子どもが「放課後に一緒に過ごしている人物」では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「おうちの人以外の大人」(24.0%対18.0%)と一緒に過ごす割合が6ポイント高くなっている。更に、「生活の楽しいこと」及び「悩んでいること」について、中央値以上群は困窮度Ⅰ群に比べ、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」(68.7%対50.8%)、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」(66.5%対52.5%)、「塾や習いごとで過ごしているとき」(24.6%対16.4%)を「楽しいこと」として多くあげている。一方、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「学校や勉強のこと」(31.1%対16.8%)、「進学・進路のこと」(16.4%対9.5%)を「悩んでいること」として多くあげている。また、困窮度別に子どもの自己効力感をみると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群よりも高くなっている(平均値8.59対7.93)。加えて、この自己効力感については、放課後ひとりであることがない群は、そうである群よりも高くなっている(平均値8.62対7.68)。

これらの結果から、経済状況によって、子どもの教育的な活動へのアクセス、家族以外の社会的交流や人間関係を築く機会が制限されるだけでなく、子どもの自己効力感にも影響を及ぼす可能性があることが示唆される。

困窮度別に子どもの世話をしている人の有無をみると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、誰かの世話をしている割合が高くなっている(16.4%対12.3%)。また、子どもの世話している人の有無別に相談相手をみると、世話をしている子どもはそうでない子どもと比べて、「学校の先生」(36.8%対21.2%)、「親」(76.5%対68.7%)に相談する割合が高く、居場所を利用している割合は「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」(35.3%対24.6%)、「昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所」(7.4%対5.0%)、「勉強を無料か安い料金でみてる場所」(10.3%対2.2%)、「何でも相談できる場所」(4.4%対2.2%)が高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な家庭では、子どもが家族の世話を担っているケースが多く、家族の世話をしている子どもにとって、周りの支えが重要であり、社会的支援を必要としていることが示唆される。

困窮度別に保護者の相談相手をみると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「配偶者・パートナー」(88.8%対52.4%)に相談する割合が30ポイント以上も高くなっている。また、世帯構成別にみた保護者の相談相手は、母子世帯はふたり親世帯と比べ、「相談できる相手がいない」割合(6.3%対2.1%)は4ポイント以上高くなっている。これらの結果から、経済状況や世帯構成によって保護者の相談相手が異なり、とくに困難な経済状況にある世帯や特定の世帯構成の保護者は相談相手の不足を経験していることを示している。

また、子どもの居場所の利用有無別に保護者の相談相手・相談先をみると、子どもが居場所を利用している家庭は、そうでない家庭と比べて、「配偶者・パートナーの親」(40.0%対21.7%)、「きょうだい・その他の親戚」(44.6%対33.9%)、「職場関係者」(27.7%対19.6%)に相談する割合が高くなっている。これらの結果から、子どもの居場所は保護者の身内だけでなく、様々な専門家や機関との連携が必要となり、総合的なサポート体制として機能させる必要があると考えられる。

Ⅲ 総合考察

本報告書における「子どもの貧困」概念の捉え方であるが、基本的に、2016年の調査で扱った貧困概念に基づいている。簡単に述べると、子どもの貧困を相対的貧困で捉えた上で、①所得や資産などの経済的資本、②健康や教育などのヒューマン・キャピタル、③つながりやネットワークなどのソーシャル・キャピタル、の3つのキャピタルの欠如を枠組みとしている。この数年で、「子どもの貧困」「相対的貧困」概念も十分に知られるようになったことから、詳細な説明はここでは割愛するが、山野則子編著（2019）を参照されたい。

次に、総合考察においては羽曳野市が実施した数値で検討を行う。各ページにはグラフコメントやクロスの分析を考察したセクションコメント（経済状況、雇用、健康、家庭状況制度、家庭生活と学習、対人関係）を記載している。総合考察において、同じことを書くのではなく、総合考察として、これらセクションコメントを踏まえ、考察すべきものを中心に記載している。単純集計はセクションコメントに出てこないのもので、可能な限り数字を入れて説明する。そして、全体はこれらの結果から政策の評価を行うものである。

1）大阪府共同調査の意義

本調査で、羽曳野市の調査のみならず大阪府内43自治体で共同実施して把握したことは、その回答者数の多さにおいても都道府県レベルで域内すべての自治体の対象者が入っている点においても、意義がある。その上で、大阪府内全自治体の結果は、傾向として羽曳野市の調査結果を裏付けるものであった。これは全体と比較してみることで、傾向の把握が可能であり、信頼性があることを示すものとなった。

本報告では、すべての項目に羽曳野市のグラフを入れることで、結果をわかりやすくしている。本調査は、子どもの貧困対策につながる基礎調査である。

2）単純集計

<経済状況・家庭状況制度面>

可処分所得の分布について、実態が明らかになった。

羽曳野市の保護者全体では、「400～450万円未満」が7.5%で最も高く、「600～650万円未満」が6.6%、「550～600万円未満」が5.5%、「500～550万円未満」「650～700万円未満」がそれぞれ4.8%の順に高くなっている。小学5年生の保護者では、「400～450万円未満」が9.7%で最も高く、「650～700万円未満」が6.5%、「600～650万円未満」がそれぞれ6.0%の順に高くなっている。中学2年生の保護者では、「600～650万円未満」が7.1%で最も高く、「500～550万円未満」が6.6%、「200～250万円未満」「400～450万円未満」がそれぞれ5.6%の順に高くなっている。以上のことから、小学5年生の保護者では「400～450万円未満」が最も高く、中学2年生の保護者では「600～650万円未満」が最も高くなっている。

また、羽曳野市の等価処分所得の中央値は257万円、国の定める基準で行くと相対的貧困率は16.4%であった。なお、前回調査（2016年）における大阪府内全自治体における相対的貧困率は14.9%であった。

羽曳野市では、2023年度の今回調査（以後、今回調査とする）では27.5%の世帯が赤字となっている。中2の世帯が小5の世帯よりも高い。クラブや塾など小学生よりも中学生の方が家計を圧迫していることに十分対応する必要がある。また、子どものための貯蓄をしたいができない

状態が、今回38.0%となっている。また、持ち家率は今回86.4%となっている。

経済的な理由で経験できなかったこと（はく奪項目）について、生活における食費の切り詰めやレジャーを控えるなどの項目は、どれにもあてはまらないという回答が今回66.2%となっている。

ただし経済的理由による子どもに関する経験（子どものはく奪）に関しては、「子どもを医療機関に受診させることができなかった」が今回1.1%（「子どものための本や絵本が買えなかった」が今回5.7%、「子どもの学校行事（遠足や修学旅行）などに参加させられなかった」今回0.2%、「子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった」今回0.4%、「子どもの誕生日を祝えなかった」今回2.0%、「子どもを習い事に通わすことができなかった」、今回14.9%、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」今回21.1%など）であった。この結果は、医療面での子どものいる世帯での施策が各自治体において広く実施され、その成果が出たものと思われる。

また、子どもが持っているものや使えるものを見ると、本は今回70.1%、子ども部屋今回73.1%、自転車今回92.1%である。また、スマートフォンやタブレットが今回77.8%であり、これらは学校からの配布の成果であろう。

以上から、家計の実態が明らかになったが、医療補助を受けられない究極な状況に置かれた場合は約1%存在している。家計の余裕を子どもに回せない世帯も見られる。経済的理由による子どもにできなかった経験（上記に挙げたようなこと）がどの家庭でも経験できるような方策が非常に重要である。

養育費の取り決めについては今回養育費の取り決めをして受け取っているのは約2割であった。反面、養育費を取り決めているが、受け取っていないのは約2割となっている。2016年度全国ひとり親世帯等調査（厚生労働省2017）では、ひとり親家庭のうち養育費についての取決めをしている割合が母子世帯で62.9%、父子世帯で20.8%、ひとり親家庭で養育費を受け取っていない子どもの割合が、母子世帯69.8%、父子世帯90.2%という値であり、今回の結果は、養育費関連の施策の必要性を示している。

<雇用・健康>

持ち家が多いなど居住形態などについて実態が明らかになった。学歴については、母親の学歴を取り上げると、高校卒業が今回27.3%、大学卒業が今回21.5%となっている。雇用状況では、何等かに仕事をしている母親は、今回84.6%となっている。そのなかで、正規職員が今回25.2%となっている。これらは、世の中の人手不足と相まって働く人が増加したことにより、可処分所得も増加したことと関連するであろう。社会の認識の変化や政策による変化があったのではないかと考えられる。子どもの貧困の世論が広まり、各所に出された政策の効果を反映したものと考えられよう。

支援制度の利用状況について、就学援助は今回12.5%、児童扶養手当が今回15.2%、生活保護が今回2.2%であった。就学援助制度について、「利用したことがない」との回答が今回78.9%であり、その理由は、「制度の対象外だと思うから」が利用経験のない者の86.9%でほぼ大多数が対象外だと思っていることがわかった。この数値は可処分所得の結果から考えてももっと受けることができる世帯があると思われるが、受けていない。「あなたが受けることができる権利がある」メッセージを必要な人にどう届けるのか大きな課題であり、各制度を正しく知らせ、他人ごとにせず、そこでのスティグマを無くし受けやすくする工夫がさらに必要である。

<健康・家庭生活・学習・対人関係>

同居家族が新型コロナウイルスに感染した延べ回数は平均1.89回であり、小学生5年生の世帯で1.84回、中学生の世帯で1.87回であった。

食事について確認する。「朝食を食べない」(週に1回も食べていない)が今回2.5%であった。食べない理由には「食べる習慣がない」(6.9%)などが挙げられる。小学生の20名、中学生の38名が毎日食べていない。このことは改善すべき喫緊の課題である。また、家族の人と食事をしていない子どもは、「ほとんどない」、「まったくない」を合計して、朝食では、小学5年生の子どもが38名おり、警鐘をならすべきこととしてとらえるべきである。

おうちの人と関わる設問について、放課後過ごす場所は、「友だちの家」が今回22.0%、「学校(クラブ活動など)」が今回33.3%となっており、コロナの影響による社会的交流が減ったことの影響が考えられる。友人との関係性が薄れることは、孤立や孤独へ向かう懸念も生じる。

勉強に関しては、今回調査から「授業がわからなくなった時期」小学生なら3,4年生(44.4%)、中学生なら1年生(47.2%)でつまづいていることがわかった。相談相手では、誰にも相談できない、相談したくないと感じている子どもは、今回は6.2%となっている。今回は身体の状態が気になることは、「とくに気になるところはない」が今回38.2%(体調)、「やる気が起きない」において「そんなことはない」が32.9%であった。

悩みについては、最も多いのが、「学校や勉強のこと」、次いで「自分のこと(外見や体型のこと)」「友達のこと」であった。

制度やサービスでいうと、子どもの居場所において、「平日の夜や休日過ごす居場所」の利用では小5で32.7%、中2で19.3%の子どもが利用したことがあり、「食事提供の居場所」は小5で6.3%、中2で4.8%、「学習支援の居場所」は小5で4.0%、中2で2.9%、「何でも相談できる場所」は、小5で1.8%、中2で3.4%の子どもが利用したことがあった。これらと併せて、居場所の効果として「友だちの増加」が小学生で37.8%、中学生で40.0%、「生活の中に楽しみなことが増えた」は小5が19.5%、中2が10.9%、「気軽に話せる大人が増えた」は小5で18.3%、中2で12.7%という結果であった。このことは今後の展開に大きな意味をなすであろう。ただし、中学2年生は、友達が増えたと回答する反面、同じくらい「特に変化なし」(27.3%)と回答している。そのため、早期に居場所に繋ぎ、居場所が誰にとっても当たり前の選択肢にする必要がある。「平日の夜や休日過ごせる居場所」以外は、利用頻度は「食事提供の居場所」約6%、「学習支援の居場所」約4%、「何でも相談できる場所」は約3%と少なくなり、将来の利用に関する積極的な利用希望も「食事提供の居場所」が小中合わせて17.6%、「学習支援の居場所」が小中合わせて17.8%になる。子どもたちの希望があるととらえられ、「放課後過ごす場所」において、「友だちの家」や「学校(クラブ活動など)」が低調であることと併せて、子どもたちに多くの選択肢を提供できる方がよいと考えられること、自分には関係ない考える傾向があるかもしれないこと、などから居場所の充実とより自然な提供が望まれる。

最後に、ヤングケアラーの項目である「家族に世話をしている人」がいるかどうかについては、厚生労働省の研究事業として実施された調査結果と比べると、小学生6.5%(日本総研2022)、中学生5.7%(MURC2021)という値よりはるかに高い、小5が19.7%、中2が11.6%であり、内容もきょうだいの世話が最も多く、小5は77.3%(小学6年生28.5%:日本総研2022)、中2が66.7%(中学生79.8%:MURC2021)である。小学生の世話が国に比べてきょうだいの世話の割合が高い。「家事」は、本調査では複数の質問にまたがっていることや複数回答可にしていることから単純に比較できないが、先述した厚生労働省の研究事業では、小6の世話の内容を家事と答えたのが、35.2%(日本総研2022)できょうだいの世話より高いが、本調査では逆であった。時間をみると1時間未満が最も多く、定義のあいまいさが子どもに答えにくくさせている可能性も

あるであろう。今後、イギリスのように定義を明確にしていくことも検討を行う必要がある。

今回の調査で保護者が身近にあるといいと思うことは、上位3つが「無料で学習支援が受けられる場所」41.8%、「放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」35.2%、「困ったときにご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」32.1%であった。学習に関して最も気にしていることがわかり、これらのサービスを利用している率の低さから、身近に届けられるような工夫が必要である。

3) クロス集計

政策における6セクション（経済状況、支援制度、雇用、健康、家庭生活と学習、対人関係）について、できなかった経験、つまりはく奪指標との関連が明らかになり、課題が明らかになった。

経済状況に関しては、以下の5課題が明らかになった。

1. 生活水準の維持に関する課題

「通常であれば可能な生活」を基準にした質問項目に対する「どれもあてはまらない」という回答の割合は、中央値以上の層で40.3%であるのに対し、困窮度Ⅰ群では7.9%に過ぎない。

2. 子どもの教育に関する課題

困窮度Ⅰ群は、中央値以上の層と比較して、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」、「お子さんのための本や絵本が買えなかった」といった回答が高い割合を示している。

3. 多様な体験機会の提供に関する課題

困窮度Ⅰ群は、「家族旅行（日帰りのおでかけを含む）ができなかった」と回答している割合が高い。

4. 貯蓄の確保に関する課題

中央値以上の層では「貯蓄をしている」と回答した割合が78.1%であるのに対し、困窮度Ⅰ群では23.8%と大きな差が見られ、困窮度Ⅰ群では「貯蓄をしたいが、できていない」との回答が74.6%である。

5. ヤングケアラーの存在に関する課題

困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べて「世話をしている人がいる」と答えた割合が高くなっており（16.4%対12.3%）、経済的困難な家庭ではヤングケアラーの割合が高い傾向にあることが示されている。

支援制度に関しては、以下の6課題が明らかになった。

1. 就学援助の必要性

困窮度Ⅰ群の家庭で50.8%、困窮度Ⅱ群で36.0%が就学援助を利用していることから、経済状況が子どもの学校生活を左右することを避けるため、入学前も含めた支援が必要とされている。

2. 児童扶養手当の利用状況

ひとり親世帯、特に困窮度Ⅰ群で83.3%、困窮度Ⅱ群で85.7%が児童扶養手当を利用しており、これらの家庭に対する支援が求められる。

3. 生活保護制度の利用率の低さ

全体で2.2%、困窮度Ⅰ群で7.9%、困窮度Ⅱ群で4.0%という低い利用率は、調査回答者の中に貧困層が漏れ落ちている可能性を示唆しており、制度の周知と支援体制の充実が必要である。

4. 養育費の取り決めと受け取りの状況

母子世帯で26.3%のみが養育費の受け取りをしており、困窮度Ⅰ群で57.9%、困窮度Ⅱ群で50.0%が取り決めをしておらず、受け取っていない状況である。

5. 若年で親になる割合

「10代」での中学校卒業が33.3%、高等学校中途退学が33.3%と高い。

6. 住宅形態別の家計状況

「府営・市営の住宅」に住む家庭の50.0%が「赤字である」と回答し、70.0%が「貯蓄をしたいが、できていない」と答えている。

特に、就学援助制度は、経済的に厳しい家庭にとって、制度利用は決して進んでおらず、さらに厳しい状況となったとも推察できる。子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況は、本調査において全体で7.4%、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金は1.3%である。全国レベルのデータを見ると、2020年コロナ発生後の10月の調査（厚生労働科学特別研究）において、収入200万未満の世帯で35.6%（山野研究室2021）である。これらの数値を直接比較することはできないが、いずれにおいても割合の低さから、2016年以降子どもの貧困が周知されるようになり、コロナ禍となって、さらに支援制度の広がりや周知が今まで以上になされたが、大阪においてもその活用が広がり切れなかったと言わざるを得ない。これら最も厳しい世帯における利用が減少した要因を探る必要がある。

10代で親になった世帯の厳しさは、教育や就労の面でも顕著である。出産などによって学業を中断せざるを得なかった10代への教育支援や就業支援もさることながら、そもそもの予防的支援として、自分を大切にすることや将来を見据えるような教育的支援が必要である。例えば、小学生から高校生まで、性教育含む生きる教育（西澤・西岡ほか2022）の積極的な導入を進めるべきである。またスウェーデンで行われる、実際の社会問題と向き合い、制度を知り選択できる力を養う社会科授業の実施など、思い切った根本的な教育改革が必要である。

雇用に関しては、以下の4課題が明らかになった。

経済的困難な家庭の保護者の就労状況が所得階層の分布に反映されており、正規雇用の割合が低く、経済的に不安定な状況にある。

1. 雇用

困窮度が高い家庭では、正規雇用の割合が低く、非正規雇用が多い。

2. 学歴と雇用形態

困窮度が高い家庭の保護者は、大学卒業以上の割合が低い。

3. 世帯構成と就労状況

特定の世帯構成、特に母子世帯では、正規雇用の割合がさらに低く、非正規雇用が高い。

4. 雇用形態と家計状況

正規雇用の家庭は貯蓄ができるなど経済的に安定しているが、非正規雇用の家庭では家計が赤字になりやすい。

非正規雇用の方の困窮度が増すことや、最終学歴が低いほど困窮度Ⅰ群に占める割合が高くなる傾向がある。母子世帯へのさらなる重点支援を検討すべきである。

健康については、以下の6課題が明らかになった。

経済的に困難な世帯では、経済状況が保護者と子どもの健康状態や心の状態に様々な影響を及ぼしている。特に朝食の摂取頻度や保護者の就業状況が健康や親子関係、自己効力感、支援とのつながりやすさにも影響を与えている。

1. 朝食の頻度

中央値以上群の家庭の方が困窮度の高い家庭に比べて、定期的に朝食を摂る割合が高い。

2. 子どもの自覚症状

困窮度の高い家庭の子どもは、皮膚のかゆみなどの自覚症状を感じる割合が高い。一方で、中央値以上群の家庭の子どもは、健康上の特に気になる症状がない割合が高い。

3. 保護者の自覚症状

困窮度の高い家庭の保護者は、不眠や頭痛、歯の痛みなど様々な健康上の問題を抱える割合が高い。

不安やお腹の痛みなど、特定の自覚症状を感じる割合が特に高い。

4. 子どもの心の状態

中央値以上群の家庭の子どもは、楽しみや外出への関心、元気な状態を感じる割合が高い。

5. 保護者の心の状態

中央値以上群の家庭の保護者は、生活を楽しんだり、将来に希望を持ったりする割合が高い。また、ストレス発散の手段を持っている割合や、幸せを感じる割合も高い。

6. 保護者の就業状況と生活習慣

正規雇用、自営業、非正規雇用の家庭では朝食を定期的に摂る割合が高いが、無業の家庭では低い。

困窮度が増すほど身体面、精神面不調が高くなる。セクションコメントで述べてきたように、

毎日の規則正しい朝食・昼食の習慣が、保護者と子どもがよりよい関係となって、子どもの自己効力感を高める可能性があり、自己肯定感や夢や目標があるほど、日常生活の中で元気に過ごしているという傾向があることから、基本的な生活習慣を維持できるような取り組み、将来の夢や目標が持てるような取り組みの工夫が必要である。

家庭生活や学習については、以下の5課題が明らかになった。

経済的に困難な家庭では、子どもと保護者のコミュニケーションの深さや子どもの学習習慣、進学希望に大きな影響がある。また、ヤングケアラーは、学習状況に困難を抱えていることも示唆される。

1. 食事頻度と会話

困窮度の高い家庭では、子どもと保護者が一緒に朝食や夕食を取る頻度が低い。また、保護者の子どもとの会話頻度も、経済的に恵まれた家庭より低い。

2. 学校への遅刻状況

遅刻しない子どもたちの家庭では、保護者との会話や親の子どもに対する期待が高い。

3. 学習習慣と進学希望

経済的に困難な家庭の子どもは、学校のある日やない日の勉強時間が少なく、学習理解度も低い。これらの子どもは、読書習慣も不十分であり、高校より上の進学を希望する割合が低い。

4. 朝の習慣と学習習慣

起床時刻の規則性や朝食の摂取が不規則な家庭の子どもは、学習時間が少なく、学習理解度も低い。

5. ヤングケアラーと学習状況

世話をしている人がいる子どもは、学校において忘れ物や提出物の遅れが多く、学習においても困難を抱える傾向がある。

以上より、経済状況が保護者と子どもの間のコミュニケーションや子どもの生活リズムに影響を及ぼしうると考えられる。遅刻頻度の多さは保護者と子どものコミュニケーション不足を暗示しう。経済的に困難な世帯の子どもは、通学や進学が難しくなっているほか、学習習慣や家庭内での文化活動の習慣がなく、結果的に学習理解が不十分となっている可能性が示された。そのため、横断的に判断できて支援に繋ぐような、例えば家庭学習を補完するためにも、学習支援や学校での少し先輩である就学前児童なら小学生、小学生なら中学生、中学生なら高校生、など年齢の近い年上の子ども・若者を各所で導入する仕組みを作ったり、校内でサポートを展開するメンターの導入などが望ましい。(イギリスやアメリカで活用されるメンター制度など)

対人関係については、以下の7課題が明らかになった。

経済的な困難さが子どもの放課後の活動、社会的交流、自己効力感に影響を及ぼし、またヤングケアラーの子どもは精神的健康に影響があることが示唆されている。さらに、経済状況や世帯

構成が保護者の支援ネットワークにも影響を与えていることが明らかになった。

経済状況によって、子どもの教育的な活動へのアクセス、家族以外の社会的交流や人間関係を築く機会が制限される。加えて、経済的困難な家庭では、子どもが家族の世話を担っているケースが多く、家族の世話をしている子どもにとって、周りの支えが重要であり、社会的支援を必要としていることが示唆された。

1. 放課後の過ごし方

中央値以上群の家庭の子どもたちは、祖父母の家や塾、習い事で過ごす割合が高い。

2. 放課後の付き合い

中央値以上群の家庭の子どもたちは、家族以外の大人と過ごす時間が多い。

3. 生活の楽しみと悩み

中央値以上群の家庭では、子どもたちが家族や学校生活、習い事を楽しむ割合が高い。また、困窮度の高い家庭では、子どもたちが学校や進学に関する悩みを抱える割合が高い。

4. 自己効力感

中央値以上群の家庭の子どもたちは、自己効力感が高い。また、放課後に一人で過ごす子どもたちは、自己効力感が低い傾向にある。

5. ヤングケアラーの問題

困窮度の高い家庭では、子どもが家族の世話をする割合が高く、その結果として学校の先生や親への相談が多い。

6. 保護者の相談相手

経済状況や世帯構成によって、保護者の相談相手が異なる。また、困窮度の高い家庭や母子世帯では、相談できる相手が少ない。

7. 子どもの居場所の利用と保護者の相談相手

子どもが居場所を利用する家庭では、保護者が配偶者の親、親戚、職場関係者との相談が多い。

コロナ禍後の行動抑制・行動制限が続いていることも留意する必要がある、人間関係への影響も懸念される。特に、困難な経済状況にある世帯や特定の世帯構成の保護者が支えや相談相手の不足を経験していることが示された。子どもの居場所が様々な専門家や機関との連携を可能にしておき、総合的なサポート体制として機能していると考えられる。

そこで、対応策として以下の3点が示唆される。

1. 子どもが保護者以外と話せる機会を創出する

家庭と学校しかソーシャルキャピタルを持たない子どもたちにとって、今回の調査において、「おうちの人に関する悩み」は「おうちの人」と「学校の友だち」に話しにくいという結果であった。これは、ますます経済的に厳しい子どもたちを孤立させ、ソーシャルキャピタルを欠如させてしまう。

2. 自然と話せるような場や人材を確保する

おうちの人や学校の友だちに相談すること自体難しいと考えられるが、おうちの人や友だちに話せないという状況を改善する人的資源や場の確保が必要である。

3. 仕組みづくり

すべての子どもが自然に通う、学校から自然に構えずに参加できる、流れるような仕組みを創設または充実させる必要がある。

まとめ

今回の調査結果から、子どもの貧困に関する実態や対策の基礎情報が明らかになった。羽曳野市は、歴史、自然、文化にあふれたまちであるが、近年は人口減少や少子高齢化などの課題を抱えている。

今回の調査により、親の就労や学歴、所得状況、物価高の影響等々による子どもの状況の格差が見られた。その要因と影響の範囲は、経済状況、支援制度、雇用、健康、家庭生活と学習、対人関係と広範囲に及んでいる。このことは子どもの貧困を考える立場にとっては厳しい結果である。この解決には、国が縦割りを解消しようとこども家庭庁を設立し、データ連携等々新たな動きをしているなか、同様に教育や福祉という既存の枠組みを越えて、子どもをまんやかに実行できる体制や制度設計を早急に考えるべきである。以下のような覚悟ある対策をとる必要がある。

- ① 経済面：母子世帯への支援や収入アップを企業側が実行できるような施策が必要である。
- ② 学習面：学校だけでなく、しかしすべての子どもが通う学校と連携した学びの保障を検討する。方策として、コミュニティスクールや学習支援、無料塾の創設などの活用である。保護者のニーズのある無料塾は、例えば沖縄で導入している。貧困調査の結果から支援員を大々的に投入し、訪問による給付や支援の申請書書きのサポートなどの人的支援方策を実施した。そういう方法を検討する必要がある。あるいはそれをクラウドデータで行えるようなデータから社会資源を選択できるよう可視化と自治体内でどこに部署でも所持するような共有化が必要である。
- ③ 無償化の対象にならない部活の費用などの補助を行う。塾代助成のような方策を検討し、かつ申請をしなくても必要な人には利用できるよう、塾側に措置費のような形で配分する枠組みの提示や方策の提案を行う。
- ④ 価値の創造：教育の力はすべての子どもに影響することが出来る。年齢に応じて子どもの人権や生きる価値など人間尊重の理念から獲得できるような学びとその方法を導入する。小学1年生から体験的に教育を受ける生きる教育（西澤・西岡 2022）やブレインストーミングのように子どもたちとの対話で進めるフィンランドの教育（北川 2005）、実際的な生活課題から制度やサービス、権利に関して体験的に学ぶスウェーデンの社会科（リンドクウィスト・ウエステル 1997）のように、その年齢に合わせて体験型であり、自身の意見を出し、周りの意見を聞きながら進めるレクチャー型ではない教育の進め方を根本から検討すべきである。そのことによって、10代の妊娠やいじめ、ヤングケアラーなど家庭状況を抱えるようになってからも早期にSOSが出せたり、自身で支援を選択できる力を養うことができる。
- ⑤ 地域資源：支援の場所を周知することである。自治体のパンフなど見やすい形で拡充する必要がある。「広報はびきの」または、子育て支援センターニュース「てとてと」に加え、ホームページなどでも周知と工夫が必要である。また、子ども食堂に限らず、様々な機能（駄菓子屋や公園などほっと寄れるような場を使ったりたまり場など）を持つ居場所や体験交流できる

場かつ子どもが自力で行ける小学校区に必要である。学校が場所を開放するのがベストであり、学校を拠点とした学校プラットフォーム（山野 2018）構想を引き続き検討すべきである。その意味は、2016 年後政策展開されてきたように、その場所が子どもにとっても親にとってもわかりやすく、行きやすい場所であるからであり、選択肢が増え、可視化し利用しやすくなる必要がある。相談機関を増やしても子どもや親からの相談の数値は決して上がらず、居場所などの場の方が有効である。

- ⑥ 連携の考え方：連携とは個人情報共有をしなければいけないわけではない。個人情報は把握しないまま連携することが重要である。これが社会資源を知らない教師と個人情報を持ってない地域の居場所の新しい連携の方法であり、これらのちょっとした手法を周知徹底させることである。
- ⑦ すべての子どもを視野に入れ、そこから自然につながる仕組みなど、今までの縦割りとは次元の違う支援の仕組みが必要である。
- ⑧ 社会福祉協議会など居場所の中間支援を行う機関の役割を明確化し、機能的に促進させる。社会教育分野が持つ公民館や図書館や博物館なども場であり、さらなる協働を明確にする。（子ども食堂等居場所の活動団体が無料で入れる、利用できるなど）
- ⑨ 全数からの仕組み：必要な子どもが確実に発見され自然につながるためには、スクリーニングから繋ぐ機能まで持った、例えば文部科学省推奨（2020）の YOSS スクリーニング（山野研究室 2021）の仕組みが必要である。今回の調査で 2016 年からの比較によってアウトリーチでは乗り越えられなかった壁が明かになった。相談ではなく、自然に伴走する支援を厳しい家庭の保護者や子どもたちは求めていることがわかる。必要な子どもを早期に発見し、伴走しながら、必要な制度や仕組みを紹介し、利用を増やすことで生活の改善をはかることと、伴走することで子どもや保護者本人の力をアップさせ、資源を活用できるようにする機能が必要である。
- ⑩ システム化：洩れなく持続可能に巡回させるためには、人に頼るだけでなく、福祉と学校のデータ連携を推奨し、地域資源の可視化のためにクラウド化することも考慮すべき点である。クラウドによっていち早く支援場所や居場所が学校にもすぐにわかり、地域活動と支援の必要な子どもを結び、支援提供を展開する必要がある。
- ⑪ 人材：これら学校においてすべての子どもの検討、発見から支援に繋ぐ校内の体制作りができる人材養成に力を入れる必要がある。スキルを取得する講座の予算化や新たな認定制度になることも家庭ソーシャルワーカー養成制度の活用などである。
- ⑫ その専門職の 1 つがスクールソーシャルワーカーである。先述した個人情報を交換しない連携のあり方がわかるソーシャルワーカーの職種は鍵であり、各校に 1 名配置できるよう、正規職化への働きかけ、あるいは各自治体での正職化計画を立てる必要がある。
- ⑬ 法制化：これらは連携ではなく仕組み作りであり、制度化である。要項や規定を作成し、自治体や機関として動きやすいように作成すべきである。
- ⑭ 制度設計：デジタル化のために補助金や助成金を検討することも必要である。なぜなら、どこに必要な子どもが存在するのかがわからない。まずは校務系内のデータ連携、学習系と校務系のデータ連携、それから福祉と教育のデータ連携を検討することでどこに必要な子どもが存在し、様々な制度を活用してどうだったかを検証できるように作りこむことである。知らないまま恐れるより、まずはすべての子どものために個人情報だけでなくシステムの理解を進めること、そしてデジタル庁や子ども家庭庁において策定しているガイドライン等も活用しつつ一歩でも進める覚悟が必要である。これらのシステム費用がベンダーロックにより莫大な金額がかかる課題がある。企業を巻き込むと同時に、自治体や政府からクラウド化に向

けた助成制度を創設する必要がある。

引用・参考文献

- アーネ・リンドクウィスト&ヤン・ウェステル, 川上 邦夫 (翻訳) (1997) 『あなた自身の社会: スウェーデンの中学教科書』新評論.
- 大阪府 (2023) 「大阪府子ども (子育て世帯) に対する食費支援事業 (第2弾)」
(<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/20980/00457638/2-9.pdf>)
- 大阪府立大学 (2017) 「大阪府子どもの生活実態調査」
- 北川達夫 (2005) 「図解フィンランド・メソッド入門」経済界.
- 厚生労働省 (2004) 「ワークシェアリング導入促進に関する秘訣集及びリーフレットについて」
(<https://www.mhlw.go.jp/houdou/2004/06/h0630-2.html>)
- 厚生労働省 (2017) 「平成28年度 全国ひとり親世帯等調査結果報告」
(<https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11923000-Kodomokateikyoku-Kateifukishika/0000190325.pdf>)
- 厚生労働省 (2022) 「2022 (令和4) 年国民生活基礎調査の概況」
(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa22/index.html>)
- 柴田悠 (2016) 『子育て支援が日本を救うー政策効果の統計分析』勁草書房.
- 内閣府 (2010) 「平成21年度インターネットによる子育て費用に関する調査」
(https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/13024511/www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/research/cyousa21/net_hiyo/mokuji_pdf.html)
- 西澤哲・西岡加名恵ほか (2022) 『『生きる』教育: 自己肯定感を育み, 自分と相手を大切にする方法を学ぶ』日本標準.
- 日本総研 (2022) 「令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業: ヤングケアラーの実態に関する調査研究」厚生労働省.
- 三菱UFJリサーチコンサルティング(株) (2021) 「令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業: ヤングケアラーの実態に関する調査研究」厚生労働省.
- 文部科学省 (2023) 「令和5年度就学援助の実施状況」
(https://www.mext.go.jp/content/20210324-mxt_shuugaku-000013450_27.pdf)
- 文部科学省・山野研究室 (2020) 「スクリーニング活用ガイド」
(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/_icsFiles/afieldfile/2020/03/27/20200327_mxt_kouhou02_2.pdf)
- 山野則子編著 (2019) 『子どもの貧困調査ー子どもの生活に関する実態調査から見えてきたもの』明石書店.
- 山野則子 (2018) 『学校プラットフォーム』有斐閣.
- 山野則子研究室 (2021) 「コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究 保護者調査・子ども調査報告書」厚生労働省
- 山野則子研究室 (2021) 「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究」文部科学省.
- 柳澤靖明・福島尚子 (2019) 『隠れ教育費: 公立小中学校でかかるお金を徹底検証』太郎次郎社エディタス.
- UNESCO(2020) 'International technical guidance on sexuality education: an evidence-informed approach (jpn)' (<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000374167>)

図表目次

図 1. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験.....	160
図 2. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験.....	162
図 3. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの.....	164
図 4. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均.....	165
図 5. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均.....	166
図 6. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均.....	167
図 7. 困窮度別に見た、世帯員の構成.....	168
図 8. 世帯構成別に見た、家計の状況.....	169
図 9. 困窮度別に見た、子どもの人数.....	170
図 10. 困窮度別に見た、住居形態.....	171
図 11. 困窮度別に見た、家計の状況.....	172
図 12. 困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況.....	173
図 13. 困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無.....	174
図 14. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況.....	177
図 15. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）.....	178
図 16. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況.....	179
図 17. 困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（ひとり親世帯のみ）.....	180
図 18. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢.....	181
図 19. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢（母親の回答者のみ）.....	182
図 20. 初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（母親の回答者のみ）.....	183
図 21. 初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（母親の回答者のみ）.....	184
図 22. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況（母親の回答者のみ）.....	185
図 23. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（母親の回答者のみ）.....	187
図 24. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（母親の回答者のみ）.....	189
図 25. 住居形態別に見た、家計の状況.....	190
図 26. 住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況.....	191
図 27. 子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況.....	192
図 28. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況.....	193
図 29. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況.....	194
図 30. 子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）.....	195
図 31. 子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況.....	196
図 32. 子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況.....	197
図 33. 子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況.....	198
図 34. 学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況.....	200
図 35. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況.....	202
図 36. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況.....	204
図 37. 学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）.....	206
図 38. 学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況.....	208
図 39. 学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況.....	210
図 40. 学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況.....	212
図 41. 身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況.....	213
図 42. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況.....	214

図 43. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況.....	215
図 44. 身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）.....	216
図 45. 身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況.....	217
図 46. 身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況....	218
図 47. 身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況..	219
図 48. 困窮度別に見た、就労状況.....	221
図 49. 困窮度別に見た、お母さんの最終学歴.....	222
図 50. 困窮度別に見た、お父さんの最終学歴.....	223
図 51. お母さんの最終学歴別に見た、就労状況.....	224
図 52. お父さんの最終学歴別に見た、就労状況.....	225
図 53. 世帯構成別に見た、就労状況.....	226
図 54. 就労状況別に見た、家計の状況.....	227
図 55. 困窮度別に見た、朝食の頻度.....	229
図 56. 就労状況別に見た、朝食の頻度.....	230
図 57. 朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度.....	231
図 58. 朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度.....	232
図 59. 朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間.....	233
図 60. 朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間.....	234
図 61. 朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度.....	235
図 62. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）.....	236
図 63. 休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）.....	237
図 64. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある.....	238
図 65. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ.....	239
図 66. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ.....	240
図 67. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる.....	241
図 68. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする.....	242
図 69. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる.....	243
図 70. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる.....	244
図 71. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない.....	245
図 72. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする.....	246
図 73. 困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること.....	248
図 74. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある.....	249
図 75. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ.....	250
図 76. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ.....	251
図 77. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる....	252
図 78. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする....	253
図 79. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる....	254
図 80. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる.....	255
図 81. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない.....	256
図 82. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする.....	257
図 83. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること.....	259
図 84. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること.....	261
図 85. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること.....	263

図 86. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数	264
図 87. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点.....	265
図 88. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）	266
図 89. 困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）	267
図 90. 困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）	268
図 91. 困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）	269
図 92. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか	272
図 93. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか	273
図 94. 困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか	274
図 95. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか	275
図 96. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）	276
図 97. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）	277
図 98. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間.....	278
図 99. 困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの	279
図 100. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値（学校がある日）	280
図 101. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値（学校がない日）	281
図 102. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）	282
図 103. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）	283
図 104. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）	284
図 105. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）	285
図 106. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間.....	286
図 107. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間.....	287
図 108. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連....	288
図 109. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連....	289
図 110. 学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度	290
図 111. 学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度	291
図 112. 学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間	292
図 113. 学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間	293
図 114. 学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度	294
図 115. 困窮度別に見た、子どもの将来への期待度	295
図 116. 困窮度別に見た、希望する進学先.....	296
図 117. 困窮度別に見た、子どもに希望する進学.....	297
図 118. 困窮度別に見た、学校への遅刻.....	298
図 119. 困窮度別に見た、子どもの通学状況.....	299
図 120. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか	300
図 121. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか	301
図 122. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか	302
図 123. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか.....	303
図 124. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか.....	304
図 125. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか.....	305
図 126. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか	306
図 127. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか	307
図 128. 学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること	309

図 129. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数	310
図 130. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	311
図 131. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先	312
図 132. 学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの	313
図 133. 子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること	315
図 134. 子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合	316
図 135. 子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数	317
図 136. 子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	318
図 137. 子どもの通学状況別に見た、希望する進学先	319
図 138. 困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯	320
図 139. 困窮度別に見た、子どもへの信頼度	321
図 140. 困窮度別に見た、子どもとの会話頻度	322
図 141. 困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間	323
図 142. 困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間	324
図 143. 自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況	326
図 144. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日） ..	327
図 145. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日） ..	328
図 146. 困窮度別に見た、放課後を過ごす場所	332
図 147. 困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人	334
図 148. 困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと	336
図 149. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること	338
図 150. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	340
図 151. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先	342
図 152. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合	343
図 153. 困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	344
図 154. 子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	345
図 155. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか	346
図 156. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとに宿題（勉強）をみてもらうか	347
図 157. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと学校のできごとについて話すか	348
図 158. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと遊んだり、体を動かしたりするか	349
図 159. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話すか ...	350
図 160. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと文化活動をするか	351
図 161. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと一緒に外出するか	352
図 162. 困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所	353
図 163. 困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所	354
図 164. 困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所	355
図 165. 困窮度別に見た、何でも相談できる場所	356
図 166. 困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験	357
図 167. 平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	359
図 168. 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手 ..	361
図 169. 勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	363
図 170. 何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	365
図 171. 自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	367

図 172. 自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所.....	368
図 173. 自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所..	369
図 174. 自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所.....	370
図 175. 自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所	371
図 176. 子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先....	373
図 177. 学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	375
図 178. 学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所.....	377
図 179. 学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所	379
図 180. 学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所.....	381
図 181. 学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所	383
図 182. 身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所.....	385
図 183. 身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所 ...	387
図 184. 身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所.....	389
図 185. 身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所	391
図 186. 身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無	393
図 187. 身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先..	395

IV 資料編

＜家庭状況（制度等）に関する考察＞ 参照データ

（上段：実数、下段：％）

	調査数	男子	女子	その他	答えたくない	無回答
全 体	432 100.0	203 47.0	206 47.7	2 0.5	16 3.7	5 1.2
親	302 100.0	148 49.0	142 47.0	1 0.3	7 2.3	4 1.3
きょうだい	71 100.0	27 38.0	40 56.3	－	3 4.2	1 1.4
親せき	25 100.0	8 32.0	17 68.0	－	－	－
学校のともだち	233 100.0	103 44.2	125 53.6	1 0.4	3 1.3	1 0.4
学校以外のともだち	33 100.0	13 39.4	20 60.6	－	－	－
学校の先生	103 100.0	57 55.3	43 41.7	－	2 1.9	1 1.0
スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー	5 100.0	2 40.0	3 60.0	－	－	－
塾や習いごとの先生	15 100.0	6 40.0	9 60.0	－	－	－
学童保育の先生	8 100.0	3 37.5	5 62.5	－	－	－
子ども専用の電話相談	1 100.0	1 100.0	－	－	－	－
SNSなどのインターネットやLINEの相談	3 100.0	2 66.7	－	－	1 33.3	－
インターネットやサイトなどを通じて知りあった 直接会ったことのない人	4 100.0	－	3 75.0	－	1 25.0	－
近所の人	1 100.0	－	1 100.0	－	－	－
地域の支援団体（学習支援の場や子ども食堂など地 域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人）	1 100.0	1 100.0	－	－	－	－
その他の人	6 100.0	4 66.7	2 33.3	－	－	－
だれにも相談できない	10 100.0	3 30.0	3 30.0	－	3 30.0	1 10.0
だれにも相談したくない	17 100.0	2 11.8	12 70.6	1 5.9	2 11.8	－
わからない	24 100.0	14 58.3	8 33.3	－	2 8.3	－
無回答	10 100.0	6 60.0	4 40.0	－	－	－

おおさかふ こ せいかつ かん じったいちようさ
大阪府子どもの生活に関する実態調査

しょうがくせい ちゅうがく せい む ちょうさ ちょうさひょう はびきのし
小学生・中学生向け調査 調査票 【羽曳野市】

＜ ちょうさ きょうりょく ねが
調査への協力のお願い ＞

- ◆この調査は、大阪府内の小学生・中学生のみなさんの学校や家での生活の様子、将来についての考えや希望などについてたずねるものです。
- ◆この調査は、小学生または中学生のあなたが自分で答えてください。
- ◆名前を書く必要はありません。テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
- ◆答えたくない質問は答える必要はありません。
- ◆答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
- ◆あなたが答えた内容は、おうちの人や先生に見せる必要はありません。
- ◆大阪府、羽曳野市はこの調査結果を参考に、子どもたちのために何ができるかを考えていきますので、ご協力をお願いします。
- ◆Webまたは紙の調査票のどちらかで令和5年7月31日までに回答してください。

（1）Webによるご回答

- この調査は、Webから回答することができます。
- 回答方法は、16ページをざらんください。
- ※Webでの回答は1回限りです。回答を送信すると、そのあとの修正はできません。

（2）紙の調査票によるご回答

- ・調査票に記入後、「小学生・中学生用」と書かれた封筒に入れ、シールをはがしてフタを閉じて、おうちの人に渡してください。

◆期限： 令和5年7月31日（月曜日）◆

【調査に関するお問合せ先】

はびきのし ぶ せいさくか
羽曳野市こどもえが部こども政策課

でんわ 072-947-2231（直通） ※9:00～17:30 土・日曜日・祝日を除く

ファクシミリ 072-956-0730

※この調査は大阪府との共同実施です。

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように答えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

1. 赤色	3. 緑色
2. 黄色	4. その他の色

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号 1 つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などを書いてありますので、それにしたがってください。

あなたについておたずねします。

問1 あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 小学生	2. 中学生

あなたのふだんの生活のことについておたずねします。

問2 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時刻に起きていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 起きている	3. あまり、起きていない
2. どちらかといえば、起きている	4. 起きていない

問3 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時に寝ていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 午後9時より前	4. 午後11時台	7. きまっていない
2. 午後9時台	5. 午前0時台	
3. 午後10時台	6. 午前1時より後	

問4 朝食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 食べない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

(2) 前の質問で「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが朝食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問5 夕食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、夕食を食べていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 食べない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

(2) 前の質問で「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが夕食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問6 お休みの日の昼食についておたずねします。

(1) あなたは、学校がお休みの日に昼食を食べますか。(夏休みなどの長期のお休みの日もふくみます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 必ず食べる	3. 食べないことが多い	5. わからない
2. 食べることが多い	4. 食べない	

(2) 前の質問で「1. 必ず食べる」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが、学校がお休みの日に昼食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問7 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 遅刻はしない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	



とい 問8 あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。（①～⑩それぞれについて、あてはまる番号ばんごう
ひと まる
1つに○をつけてください）

	ほとんど毎日 まいにち	週に4～5回 しゅう かい	週に2～3回 しゅう かい	週に1回程度 しゅう かい	月に1～2回 つき かい	ほとんどない	まったくない
① おうちの大人のひとと一緒に朝食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
② おうちの大人のひとと一緒に夕食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
③ おうちの大人のひとに朝、起こしてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
④ おうちの手伝いをしていますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑤ おうちの大人のひとに宿題（勉強）をみてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑥ おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑦ おうちの大人のひとと遊んだり、体を動かしたりしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑧ おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑨ おうちの大人のひとと文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑩ おうちの大人のひとと一緒に外出しますか。（散歩する・買い物に出かける・外食をするなど）	1	2	3	4	5	6	7

とい 問9 あなたは、毎日の生活でどのようなときに楽しいとおもいますか。

（あてはまる番号ばんごうすべてに○をつけてください）

1. おうちのひとと一緒に過ごしているとき	5. 今、住んでいる地域の行事に参加しているとき
2. ともだちと一緒に過ごしているとき	6. 塾や習いごとで過ごしているとき
3. 学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	7. 特に楽しいと思うときはない
4. ひとりで過ごしているとき	8. その他

とい
問10 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）
2. きょうだい
3. おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）
4. 学校のともだち
5. クラブ活動・部活動の仲間
6. 学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）
7. ひとりでいる
8. その他の人

とい
問11 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 自分の家	9. コンビニエンスストア
2. おばあちゃん・おじいちゃんの家	10. ゲームセンター
3. ともだちの家	11. 図書館や公民館など公共の施設
4. 塾	12. 地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所）
5. 習いごと	13. 学童保育（※）
6. 学校（クラブ活動・部活動など）	14. その他
7. 公園・広場	
8. スーパーやショッピングモール	

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会（室）」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」もふくみます。

とい
問12 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

1. 自分で勉強する	6. おうちの人に教えてもらう
2. 塾で勉強する	7. ともだちと勉強する
3. 学校の補習を受ける	8. その他
4. 家庭教師に教えてもらう	9. 学校の授業以外で勉強はしない
5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	

とい 問13 あなたは、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。
 (塾などの時間もふくみます。) (①、②それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない
① 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6	7
② 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6	7

はんぶん
あと半分だよ。
がんばってね!

とい 問14 学校の勉強についておたずねします。
 (1) 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくわかる	3. あまりわからない	5. わからない
2. だいたいわかる	4. ほとんどわからない	

(2) 前の質問で「3. あまりわからない」「4. ほとんどわからない」「5. わからない」に○をつけた方に
 おたずねします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。
 (あてはまるもの1つに○をつけてください)

1. 小学1・2年生のころ	3. 小学5年生になってから	5. 中学1年生のころ
2. 小学3・4年生のころ	4. 小学6年生のころ	6. 中学2年生になってから

とい 問15 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。
 (教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. まったくしない	5. 2時間以上、3時間より少ない
2. 30分より少ない	6. 3時間以上
3. 30分以上、1時間より少ない	7. わからない
4. 1時間以上、2時間より少ない	

とい 問16 あなたは、^{がっこう}学校や^{がっこう}学校の^{ぎょうじ}行事等で次のようなことがありますか。

(あてはまる^{ばんごう}番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ^{じゅぎょう} 授業中に ^ね 寝てしまうことが多い	7. ^{うんどうかい} 運動会や ^{えんそく} 遠足などの ^{がっこうぎょうじ} 学校行事を ^{けっせき} 欠席する
2. ^{しゅくだい} 宿題ができていないことが多い	8. ^{ほけんしつ} 保健室で ^す 過ごすことが多い
3. ^も 持ち物の ^{わす} 忘れ物が ^も 多い	9. ^{がっこう} 学校では ^{ひとり} ひとりで ^す 過ごすことが多い
4. ^{なら} 新しいことを ^{やす} 休むことが ^{おほ} 多い	10. ^{ともだち} ともだちと ^{あそ} 遊んだり、 ^{おしゃべり} おしゃべりしたりする ^{じかん} 時間が
5. ^{ていしゅつぶつ} 提出物を ^だ 出すのが ^{おく} 遅れることが ^{おほ} 多い	^{すく} 少ない
6. ^{しゅうがくりょこう} 修学旅行などの ^{しゅくはくぎょうじ} 宿泊行事を ^{けっせき} 欠席する	11. ^{とく} 特にない

とい 問17 今、あなたは、いやなことや^{なや}悩んでいることはありますか。

(あてはまる^{ばんごう}番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ^{うち} おうちのこと	6. ^す 好きな ^{ひと} 人のこと
2. ^{がっこう} 学校や ^{べんきょう} 勉強のこと	7. ^{しんがく} 進学・ ^{しんろ} 進路のこと
3. ^{くらぶ} クラブ活動や ^{ぶかつどう} 部活動のこと	8. ^た その他のこと
4. ^{じぶん} 自分のこと(外見や ^{がいけん} 体型など)	9. いやなことや ^{なや} 悩んでいることはない
5. ^{ともだち} ともだちのこと	10. ^{わからぬ} わからない

とい 問18 あなたは、いやなことや^{なや}悩んでいることがあるとき、だれかに^{そうだん}相談しますか。(だれに^{はな}話しますか。)

(あてはまる^{ばんごう}番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ^{おや} 親	12. ^{いんたーねっと} インターネットや ^{さいと} サイトなどを ^{つうし} 通じて ^し 知りあった
2. ^{きょうだい} きょうだい	^{ちよくせつ} 直接会ったことのない ^{ひと} 人
3. ^{しん} 親せき	13. ^{きんじよ} 近所の ^{ひと} 人
4. ^{がっこう} 学校の ^{ともだち} ともだち	14. ^{ちいき} 地域の ^{しえんだんたい} 支援団体
5. ^{がっこう} 学校以外の ^い ともだち	^{がくしゅうしえん} (学習支援の ^ば 場や ^こ 子ども ^{しょくどう} 食堂など ^{ちいき} 地域で
6. ^{がっこう} 学校の ^{せんせい} 先生	^{おなとし} 同じ ^こ 年ごろの ^{あつ} 子どもが ^{ひと} 集まるところの ^{ひと} 人)
7. ^{すくー} スクール ^{かうんせらー} カウンセラー、 ^{そーしゃるわーかー} ソーシャルワーカー	15. ^た その他の ^{ひと} 人
8. ^{じゅく} 塾や ^{なら} 習いごとの ^{せんせい} 先生	16. ^{だれ} だれにも ^{そうだん} 相談できない
9. ^{がくどうほいく} 学童保育の ^{せんせい} 先生(※)	17. ^{だれ} だれにも ^{そうだん} 相談したくない
10. ^こ 子ども ^{せんよう} 専用の ^{でんわ} 電話 ^{そうだん} 相談	18. ^{わからぬ} わからない
11. ^{えすえぬえす} SNSなどの ^{いんたーねっと} インターネットや ^{らいん} LINEの ^{そうだん} 相談	

※「学童保育」とは、「^{がくどうほいく}放課後児童クラブ」、「^{ほしかぎ}いきいき放課後児童クラブ」、「^{るす}留守家庭児童会(室)」、「^{がくどうくらぶ}学童クラブ」、「^{なかよ}仲良し^{くらぶ}クラブ」もふくみます。

問19 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。あなたが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。

(①～⑨それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	そう うっ だも	とき どき そう だ	そ ん な い こ と
① 楽しみにしていることがたくさんある	1	2	3
② 遊びにでかけるのが好きだ	1	2	3
③ 元気いっぱいだ	1	2	3
④ やろうと思ったことがうまくできる	1	2	3
⑤ 一人ぼっちのような気がする	1	2	3
⑥ 不安な気持ちになる	1	2	3
⑦ まわりが気になる	1	2	3
⑧ やる気が起きない	1	2	3
⑨ いらいらする	1	2	3

問20 あなたは、自分の体の状態で気になることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ねむれない	6. よくかゆくなる
2. よく頭がいたくなる	7. とくに気になるところはない
3. 歯がいたい	8. その他
4. よくおなかがいたくなる	9. わからない
5. よくかぜをひく	



答えたくない質問は答える必要はないよ。

答えに迷うときは、あなたの気持ちや考えに

できるだけ近いものを選んでね。

とい 問21 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 本 (学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく)	8. テレビ
2. マンガ・雑誌	9. けいたい電話
3. 子ども部屋 (ひとり部屋やきょうだいと 一緒に使っている部屋など)	10. スマートフォン・タブレット機器
4. インターネットにつながるパソコン (学校のパソコンはのぞく)	11. 化粧品・アクセサリ
5. 運動用具 (ボール・ラケットなど)	12. 習いごとなどの道具 (ピアノなど)
6. ゲーム機	13. 自分で選んだ服
7. 自転車	14. キャラクターグッズ
	15. その他
	16. あてはまるものはない

あなたが、ふだん 考 えていることについておたずねします。

とい 問22 あなたは、つらいことがあってもすぐ立ち直ることができますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. そう思う	3. どちらかというそう思わない
2. どちらかというそう思う	4. そう思わない

とい 問23 あなたがふだん 考 えていることについて、次の (1) ~ (3) について教えてください。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

(1) 自分に自信がある

1. ある	3. どちらかというない
2. どちらかというとある	4. ない

(2) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

1. できる	3. どちらかというといけない
2. どちらかというところ	4. できない

(3) 自分の将来の夢や目標を持っている

1. 持っている	3. どちらかというっていない
2. どちらかという持っている	4. っていない

問24 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 中学校	6. 留学 (外国で長い期間勉強すること)
2. 高校	7. 専門学校 (美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など) ・高等
3. 短期大学	せんもんがっこう
4. 大学	専門学校
5. 大学院	8. 考えたことがない
	9. わからない

あともう少しだよ！

がんばってね！



©2014 大阪府もずやん

あなたのことについて、おたずねします。

問25 自分やともだちの家以外の場所についておたずねします。

- (1) あなたは、次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。

(①～④それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	利用したことがある	利用したことはない (あれば利用したい と思う)	利用したことはない (今後利用したい と思わない)	利用したことはない (今後利用したい から分らない)
① 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童保育など)	1	2	3	4
② 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所 (子ども食堂など)	1	2	3	4
③ 勉強を無料か安い料金でみくれる場所 (一般的な学習塾とはちがう学習支援など)	1	2	3	4
④ 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談をふくむ。)	1	2	3	4

- (2) 前の質問で、1つでも「利用したことがある」と答えた方におたずねします。そこを利用したことで、次のような変化がありましたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ともだちが増えた	6. 勉強がわかるようになった
2. 気軽に話せる大人が増えた	7. 勉強する時間が増えた
3. 生活の中で楽しみなことが増えた	8. その他
4. ほっとできる時間が増えた	9. 特に変化はない
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	

(3) 問25(1)の質問で、「利用したことがある」に○をつけた方以外におたずねします。利用したことがないのはなぜですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. どこにあるか知らないから	7. Wi-fi (インターネット通信環境) がないから
2. 家の近く(ひとりでいける場所)にないから	8. 行きたいと思わないから
3. 家で過ごしたいと思うから	9. 何をしているかわからないから
4. 楽しくなさそうだから	10. 利用していることを近所の人やともだちに知られたくないから
5. 「行ってもいけない」と親などの大人に言われるから	11. その他
6. 行きたい日・時間に開いていないから	

問26 あなたがおうちでしているお世話の様子についておたずねします。

(1) おうちの人のなかあなたが世話をしている人はいますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. いる	2. いない

(2) 前の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。誰のお世話をしていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. お母さん	4. おじいちゃん
2. お父さん	5. きょうだい
3. おばあちゃん	6. その他

(3) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。あなたがやっているお世話の内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 料理や買い物、食器洗いなど	5. 病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など
2. 洗濯など	6. その他
3. そうじやゴミ捨てなど	
4. きょうだいのめんどろを見ることや保育所のおむかえなど	

(4) 前の質問で「6. その他」に○をつけた方は、具体的な内容を書いてください。

(5) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。お世話をするのはどれくらいありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ほぼ毎日	3. 週に1日または2日
2. 週に3日～5日	4. 1か月に数日

(6) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。学校がある日に、お世話を1日のうちどれくらいしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 1時間より少ない	4. 3時間以上、5時間より少ない
2. 1時間以上、2時間より少ない	5. 5時間以上、7時間より少ない
3. 2時間以上、3時間より少ない	6. 7時間より多い

(7) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。お世話をしていることによって次のようなことがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. おうちの人と話したり遊んだりすることが 増える	8. とても疲れることがある
2. 時間の使い方を工夫できる	9. いろいろしやすい
3. 家の中で気持ちよく過ごすことができる	10. 気持ちが落ち込む
4. おうちの人健康に過ごすことができる	11. 学校を欠席や遅刻、早退することがある
5. 「お世話」にやりがいを感じる	12. その他
6. おうちの人以外と話す時間が減る	13. 特になし
7. 自分のことをする時間がない	

問27 あなたの性別をえらんでください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 男子	3. その他
2. 女子	4. 答えたくない

質問はこれで終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました。

「小学生・中学生用」と書いてある封筒に入れ、シールをはがしてフタを閉じて、保護者の方に渡してください。

相談窓口のご案内

○親子やきょうだいのことなど家庭での悩みについては

＜子どもの悩み相談フリーダイヤル＞

TEL : 0 1 2 0 - 7 2 8 5 - 2 5

24時間 365日

LINE <https://www.pref.osaka.lg.jp/kateishien/sodanliner3/index.html>

＜親子のための相談LINE＞

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29751.html

○友人関係など学校での悩みについては

＜すこやかホットライン＞

TEL : 0 6 - 6 6 0 7 - 7 3 6 1

月曜日～金曜日 : 9時～17時30分（※祝日・年末年始を除く）

Eメール sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp



@2014 大阪府もずやん

【ひとりで悩まないで、相談してね。】

パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！

■ WEBで回答された場合は、同封の調査票の返送は不要です。

■ 携帯電話（ガラケー）では回答できませんのでご注意ください。

- ◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。

[二次元バーコード]



- ◆ パソコンの場合は、次のURL（「https…」から始まるアドレス）を検索画面に手入力し、エンターキーを押してください。

[URL] <https://src.webcas.net/form/pub/src/2700082>

- ◆ 最初の画面がでてきたら、次のIDを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。

◇ ID

※ IDは、個人を特定するものではありません。

- ◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。

お お さ か ふ こ せ い か つ か ん じ ャ ャ い ち ょ う さ
大阪府子どもの生活に関する実態調査
ほ ご し や む ち ょ う さ ち ょ う さ ひ ょ う は び き の し
保護者向け調査 調査票 【羽曳野市】

ち ょ う さ き ょ う り ゃ く ね が
< 調査への協力 のお願い >

- ◆この調査は、保護者の方に家庭状況などをお聞きし、大阪府、羽曳野市の子どものための支援策に役立てるために実施します。皆様からの回答を支援策の充実や改善につなげていきたいと考えていますので、お忙しい中お手数ですが、調査への協力をお願いします。
- ◆調査の対象は、小学5年生と中学2年生です。
- ◆お名前や住所を書く必要はありません。調査の集計は統計的に処理し、個人や学校を特定することはありません。また、目的以外に使うことはありません。
- ◆この調査で「お子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。「お子さん」と書かれた質問には調査票を受け取ったお子さんについてのみお答えください。
- ◆ごきょうだいなどで、この調査用紙が複数届いた場合も、お手数ですが、それぞれのお子さんについて、それぞれの調査用紙（またはWebフォーム）に回答してください。
- ◆回答するときには、お子さんと別々に、お互いの回答を見ないように記入してください。
- ◆Webまたは紙の調査票のどちらかで令和5年7月31日までに回答してください。

う え ぶ か い と う
(1) Webによるご回答

- この調査は、Webから回答することができます。
- 回答方法は、16ページをごらんください。
- ※Webでの回答は1回限りです。回答を送信すると、そのあとの修正はできません。

か み ち ょ う さ ひ ょ う か い と う
(2) 紙の調査票によるご回答

- ・調査票に記入後、「保護者用」と書かれた封筒に入れ、シールをはがして封をしてください。お子さんの回答の入った「小学生・中学生用封筒」と「保護者用封筒」を返信用封筒にまとめて入れ、期限までに返信してください。切手は不要です。

き げ ん れ い わ ね ん が つ に ち げ つ よ う び
◆期限： 令和5年7月31日（月曜日）◆

ち ょ う さ か ん と い あ わ さ き
【調査に関するお問合せ先】

は び き の し ぶ せ い さ く か
羽曳野市こどもえが部こども政策課

で ん わ ち ょ う つ ど に ち ょ う び し ゅ く じ つ の ぞ
電話 072-947-2231（直通） ※9:00～17:30 土・日曜日・祝日を除く

ふ あ く し み り
ファクシミリ 072-956-0730

ち ょ う さ お お さ か ふ き ょ う ど う じ ャ ャ
※この調査は大阪府との共同実施です。

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように教えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

1. 赤色	3. 緑色
2. 黄色	4. その他の色

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号 1 つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などを書いてありますので、それにしたがってください。

最初に、あなたとお子さんの関係についておたずねします。

問1 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. お母さん	4. おじ、おばなど親戚
2. お父さん	5. 施設職員・ファミリーホーム・里親
3. おじいさん・おばあさん	6. その他の人

世帯の状況についておたずねします。

※あなたの世帯について、令和5年4月1日現在の状況を教えてください。

※世帯とは、普段、住居と生計を共にしている方々(世帯員)の集まりをいいます。血縁関係のない人でも同居していれば世帯に含んでください。また、単身赴任の方も含みます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人を含みます。

※また、病院・診療所に入院している人を含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。さらに、学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人を除きます。

問2 あなたの世帯の構成と人数をお答えください。（①～⑧それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください）（⑧は、あなたや対象のお子さんを含んだ人数をお答えください。）

①おばあさん	②おじいさん	③お母さん	④お父さん	⑧合計 (あなたや対象のお子さんを含む)
0. いない 1. 1人 2. 2人	0. いない 1. 1人 2. 2人	0. いない 1. 1人	0. いない 1. 1人	1. 2人 2. 3人 3. 4人 4. 5人 5. 6人 6. 7人 7. 8人 8. 9人 9. 10人以上
⑤姉・兄	対象のお子さん (本人) (※)	⑥妹・弟	⑦その他	
0. いない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上	1人	0. いない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上	0. いない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上	

※「対象のお子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。

問3 お子さんと同居し、生計を共にしている親の婚姻状況を教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 結婚している（再婚や事実婚を含む。）	4. 未婚
2. 離婚	5. わからない
3. 死別	6. いない

問4 前の質問で「2. 離婚」に○をつけた方におたずねします。

離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。

また養育費を現在受け取っていますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 取り決めをしており、受け取っている
2. 特に取り決めはしていないが、受け取っている
3. 取り決めをしているが、受け取っていない
4. 取り決めをしておらず、受け取っていない

問5 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

1. 持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	4. 民間の賃貸住宅
2. 府営・市営の住宅	5. 官舎・社宅
3. UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	6. その他

問6 あなたの家計の収支状況についておたずねします。

（1）前年（2022年）の1年間のあなたの家計の状況について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 貯蓄ができています	3. 赤字でもなく黒字でもない
2. 赤字である	4. わからない

（2）お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

1. 貯蓄をしている	3. 貯蓄をするつもりはない
2. 貯蓄をしたいが、できていない	

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 食費を切りつめた	13. 鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした
2. 電気・ガス・水道などが止められた	14. 電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある
3. 医療機関を受診できなかった	15. 家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある
4. 国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	16. 趣味やレジャーの出費を減らした
5. 国民年金の支払いが滞ったことがある	17. 冷暖房の使用を控えた
6. 金融機関などに借金をしたことがある	18. 友人・知人との外食を控えた
7. クレジットカードの利用が停止になったことがある	19. 敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した
8. 新しい衣服・靴を買うのを控えた	20. 理髪店・美容院に行く回数を減らした
9. 新聞や雑誌を買うのを控えた	21. 子ども部屋が欲しかったがつくれなかった
10. スマートフォンへの切替・利用を断念した	22. 1～21の項目には、どれもあてはまらない
11. 冠婚葬祭のつきあいを控えた	
12. 生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	

問8 お子さんのお母さんとお父さんの最後に通った学校を教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）（現在、ひとりでお子さんを育てている場合（ひとり親の場合）はあてはまる方だけに○をつけてください。）

お母さん	お父さん
1. 中学校卒業	1. 中学校卒業
2. 高等学校中途退学	2. 高等学校中途退学
3. 高等学校卒業	3. 高等学校卒業
4. 高専、短大、専門学校等卒業	4. 高専、短大、専門学校等卒業
5. 大学卒業	5. 大学卒業
6. 大学院修了	6. 大学院修了
7. その他の教育機関卒業	7. その他の教育機関卒業
8. 答えたくない	8. 答えたくない

問9 お子さんの保護者の方の現在の就業状況についておたずねします。（複数か所にお勤めされている方はあてはまる番号をすべて選んでください）

※お母さん、お父さん以外の方が主として家計を支えている場合、「お母さん、お父さん以外の方」にもご記入をお願いします。

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

お母さん	1. いる	2. いない



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「7. 仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め（常勤・正規職員） 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事を探していない ①家事や育児に専念したため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

とう お父さん	1. いる	2. いない



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「7. 仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め（常勤・正規職員） 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事を探していない ①家事や育児に専念したため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

お母さん、お父さん以外に主として家計を支えている方（おばあさん、おじいさん、おじ、おば、親戚など）	
1. いる	2. いない



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「7. 仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め（常勤・正規職員） 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事を探していない ①家事や育児に専念したため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

問10 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、多い時間帯を選んでください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※保護者の方には、おばあさん、おじいさん、おじ、おばなど親戚を含みます。

※自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間帯を選んでください。

1. お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	4. お子さんが寝た後に帰ってくる
2. お子さんの夕食時間には家にいる	5. 帰宅時間が決まっていない
3. お子さんの寝る時間には家にいる	6. その他

問11 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 日本語のみを使用している
2. 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3. 日本語以外の言語を使うことが多い

お子さんに関することについておたずねします。

問12 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。（おおむね1年の間でお考えください。）（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. お子さんを医療機関に受診させることができなかった	9. お子さんを学習塾に通わせることができなかった
2. お子さんの進路を変更した	10. お子さんの誕生日を祝えなかった
3. お子さんのための本や絵本が買えなかった	11. お子さんにお年玉をあげることができなかった
4. お子さんにおこづかいを渡すことができなかった	12. お子さんの学校行事などに参加することができなかった
5. お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった	13. 子ども会、地域の行事（祭りなど）の活動に参加することができなかった
6. お子さんを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	14. 家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった
7. お子さんを習い事に通わすことができなかった	15. 1～14の項目には、どれにもあてはまらない
8. お子さんを学校のクラブ活動・部活動に参加させられなかった	

問13 あなたとお子さんとの関係について、次の項目でもっとも近いものを選んでください。

(1) あなたは、お子さんを信頼していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. とても信頼している	3. あまり信頼していない
2. 信頼している	4. 信頼していない

(2) あなたは、お子さんとよく会話をしますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. よくする	3. あまりしない
2. する	4. しない

(3) あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。(平日、休日それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

平日	休日
1. 0～15分未満	1. 2時間未満
2. 15分～30分未満	2. 2時間～4時間未満
3. 30分～1時間未満	3. 4時間～6時間未満
4. 1時間～2時間未満	4. 6時間～8時間未満
5. 2時間～3時間未満	5. 8時間～10時間未満
6. 3時間～4時間未満	6. 10時間以上
7. 4時間以上	

(4) あなたは、お子さんの将来に期待していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. とても期待している	3. あまり期待していない
2. 期待している	4. 期待していない

(5) お子さんの授業参観や運動会などの学校行事に参加していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. よく参加している	3. あまり参加していない
2. ととき参加している	4. まったく参加していない

問14 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 中学校	4. 大学	7. 専門学校・高等専門学校
2. 高校	5. 大学院	8. 考えたことがない
3. 短期大学	6. 留学	9. わからない

問15 お子さんの通学状況について、もっとも近いもの1つに○をつけてください。

1. ほぼ毎日通っている
2. 欠席は年間30日未満である
3. 欠席が年間30日以上、60日未満である
4. 欠席が年間60日以上、1年未満である
5. 欠席が1年以上続いている
6. わからない

問16 子どもの居場所について、おたずねします。

(1) あなたのお子さんは、次のような「子どもの居場所」を利用したことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- ・自宅や学校以外の場所で、子どもたちが本を読んだり、みんなで遊んだりできるような場所
- ・子どもが無料又は低額で食事ができる場所（子ども食堂）
- ・自宅や学校、塾以外の場所で、無料でボランティアの方などが勉強を教える学習支援の場

1. 利用したことがある

2. 利用したことがない

(2) 前の質問で「1. 利用したことがある」と答えた方におたずねします。

お子さんが子どもの居場所を利用することで良いと思うことは何ですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 地域の人とつながれるから

2. お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから

3. 栄養バランスのとれた食事がとれるから

4. 運営者が相談に乗ってくれるから

5. 低額（または無料）でご飯が食べられるから

6. 宿題など勉強を見てくれるから

7. お子さんが楽しんでいるから

8. 特になし

9. その他

(3) 問16 (1) の質問で「2. 利用したことがない」と答えた方におたずねします。

子どもの居場所を利用しないのはなぜですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. どこにあるか知らないから

2. 家の近く（小学校区内）にないから

3. 家で過ごしてほしいと思うから

4. 居場所のイメージがよくないから

5. お子さんが「行きたくない」と言っているから

6. 行きたい日・時間に開いていないから

7. 利用したいと思わないから

8. 何をしているかわからないから

9. その他

あなたのことについておたずねします。

問17 初めて親となった年齢はいくつですか。(実子以外も含みます)

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 10代	3. 24～26歳	5. 31～34歳	7. 40歳以上
2. 20～23歳	4. 27～30歳	6. 35～39歳	

問18 次の①～⑦について、おうちの方を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	いる	いない	わからない
① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3
② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3
③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3
④ お子さんとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3
⑤ お子さんの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人 (運動や文化活動)	1	2	3
⑥ お子さんの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3
⑦ 留守を頼める人	1	2	3

問19 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 配偶者・パートナー	9. 学童保育の指導員(※)
2. 自分の親	10. 地域の民生委員・児童委員
3. 配偶者・パートナーの親	11. 民間の支援団体・カウンセラー(電話相談含む)
4. きょうだい・その他の親戚	12. 医療機関の医師や看護師
5. 知人や友人	13. インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談
6. 職場関係者	14. その他
7. 学校の先生やスクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカー	15. 相談できる相手がいない
8. 公的機関や役所の相談員	

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会(室)」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」も含みます。

とい つぎ み ぢ か おも なん ばんごう まる
問20 次のうち、身近にあるといいと思うことは何ですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 保護者^{ほごしや}どうして気軽に^{きがる}話せる^{はな}場^ば 2. SNSなどのインターネット^{えすえぬえす いんたーねっと}を通じて^{つう}悩みごと^{なや}を話せる^{はな}コミュニティ^{こみゆにてい} 3. 家事^{かじ}の援助^{えんじょ}が受けられる^うこと 4. 支援^{しえん}制度^{せいど}など必要な^{ひつよう}情報^{じょうほう}を届けて^{とど}くれること 5. 困った^{こま}時^{とき}にご飯^{はん}を無料^{わりよう}または安価^{あんか}で自宅^{じたく}に届けて^{とど}くれるサービス^{さーびす}	6. お子^こさんが放課後^{ほうかご}や休日^{きゅうじつ}に勉強^{べんきょう}などができる^{ばしよ}場所^{ばしよ}を利用^{りよう}できること 7. お子^こさんが無料^{わりよう}で学習^{がくしゅう}支援^{しえん}を受けられる^う場所^{ばしよ} 8. お子^こさんや保護者^{ほごしや}が夕食^{ゆうしよく}を無料^{わりよう}か安い^{やす}料金^{りょうきん}で食べる^たこととができる^{ばしよ}場所^{ばしよ}（子ども食堂^{こどもしきどう}など）を利用^{りよう}できること

とい
問21 あなたの心^{こころ}の状態^{じょうたい}についておたずねします。

（1）生活^{せいかつ}を楽し^{たの}んでいますか（仕事^{しごと}や家事^{かじ}、育児^{いくじ}など）。

（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. とても楽し ^{たの} んでいる	3. あまり楽し ^{たの} んでいない	5. わからない
2. 楽し ^{たの} んでいる	4. 楽し ^{たの} んでいない	

（2）将来^{しょうらい}に対して希望^{たい}を持^もっていますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てる	3. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てない
2. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てるときもあれば、持 ^も てないときもある	4. わからない

（3）ストレス^{すとりす}を発散^{はっさん}できるものがありますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. ある	3. ない
2. あるときもあれば、ないときもある	4. わからない

（4）あなたは、ご自分^{じぶん}が幸^{しあわ}せだと思^{おも}いますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. とても幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} う	4. 幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} わない
2. 幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} う	5. わからない
3. あまり幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} わない	

とい
問22 あなたは、自分の^{じぶん}体^{からだ}や^き気^も持^きちで^き気^きになることはありますか。

(あてはまる^{ばんごう}番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ねむれない	10. まわりが ^き 気 ^き になる
2. よく ^{あたま} 頭 ^{あたま} がいたくなる	11. やる ^き 気 ^き が ^お 起きない
3. ^は 歯 ^は がいたい	12. ^{いら} イ ^{いら} ライ ^{いら} ラする
4. ^{ふあん} 不安 ^き な ^も 気 ^も 持 ^き ちになる	13. よく ^{かた} 肩 ^{かた} がこる
5. ものを見 ^み づらい	14. よく ^{こし} 腰 ^{こし} がいたくなる
6. ^き 聞 ^き こえにくい	15. とくに ^き 気 ^き になるところはない
7. よくおなかがいたくなる	16. その他 ^た
8. よくかぜをひく	17. わからない
9. よくかゆくなる	

^{こた}答^{こた}え^{しつもん}たくない^{こた}質^{ひつよう}問^{ひつよう}に答^{こた}える必要^{ひつよう}はありません。

^{こた}答^{こた}えに迷^{まよ}う^{ばあい}場^{ばあい}合^{ばあい}には、あなたの^き気^も持^きちや^{かんが}考^{かんが}えにできるだけ^{ちか}近^{ちか}いもの^{えら}を選^{えら}ぶようにしてください。

問23 あなたの世帯では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

(a～gそれぞれについて、1～3のあてはまる番号1つに○をつけてください)

また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤のあてはまる番号1つに○をつけてください)

	a 就学援助 ※1	b 生活保護 ※2	c 生活困窮者の 自立支援相談窓口 ※3	d 児童扶養手当 ※4	e 母子家庭等就業・ 自立支援センター ※5	f 低所得 の子育て世帯に対する子育て 世帯生活支援特別給付金 ※6	g 新型コロナウイルス感染症に伴う 生活福祉資金(貸付金) ※7
現在利用している	1	1	1	1	1	1	1
現在利用していないが、 以前利用したことがある	2	2	2	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3	3	3	3
制度の対象外 (収入などの条件を 満たさない) だと思う から	①	①	①	①	①	①	①
利用はできるが、特に 利用したいと思わな かったから	②	②	②	②	②	②	②
利用したいが、今まで この支援制度を知ら なかったから	③	③	③	③	③	③	③
利用したいが、手続きが わからなかったり、 利用しにくいから	④	④	④	④	④	④	④
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

3に○をつけた場合、
①～⑤のあてはまるもの1つに○をつけてください

(参考)

※1 就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費などを補助する制度。

- ※ 2 生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。
- ※ 3 生活困窮者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。
- ※ 4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。（児童手当とは異なります。）
- ※ 5 母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けることができる。
- ※ 6 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金：新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯（児童扶養手当受給者など）に対し子育て世帯生活支援特別給付金を支給する制度。
- ※ 7 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）：新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業などにより、一時的又は継続的に収入減少した世帯を対象に、生活福祉資金貸付制度における生活支援費などを支給する制度。

世帯の経済状況についておたずねします。

問24 前年（2022年）のあなたの世帯の手取り収入の合計額は、およそいくらでしたか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※収入には、働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。

税金や社会保険料を払ったあとの額でお答えください。

※また、公的な援助手当や養育費・仕送りを含んだ額でお答えください。

1. 50万円未満	12. 550～600万円未満	23. 1,200～1,300万円未満
2. 50～100万円未満	13. 600～650万円未満	24. 1,300～1,400万円未満
3. 100～150万円未満	14. 650～700万円未満	25. 1,400～1,500万円未満
4. 150～200万円未満	15. 700～750万円未満	26. 1,500～1,750万円未満
5. 200～250万円未満	16. 750～800万円未満	27. 1,750～2,000万円未満
6. 250～300万円未満	17. 800～850万円未満	28. 2,000～2,250万円未満
7. 300～350万円未満	18. 850～900万円未満	29. 2,250～2,500万円未満
8. 350～400万円未満	19. 900～950万円未満	30. 2,500～2,750万円未満
9. 400～450万円未満	20. 950～1,000万円未満	31. 2,750～3,000万円未満
10. 450～500万円未満	21. 1,000～1,100万円未満	32. 3,000万円以上
11. 500～550万円未満	22. 1,100～1,200万円未満	33. わからない

新型コロナウイルスの感染状況についておたずねします。

問25 この1年間でお子さんを含め、同居家族が新型コロナウイルスに感染したのべ回数を教えてください。
（例：母 1回、長男 1回 ⇒ 2回とお答えください。）

かい
回

問26 あなたの住居環境についておたずねします。

（1）あなたがお住まいの住居の間取りは、次のどれにあてはまりますか。（あてはまる番号1つに
○をつけてください）

1. ワンルーム	3. 居室2部屋（2K、2DK、2LDK）
2. 居室1部屋（1K、1DK、1LDK）	4. 居室3部屋（3K、3DK、3LDK）以上

（2）その住居には、何人でお住まいですか。（□に数字をお書きください。）

にん
人

質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。

相談窓口のご案内

○生活困窮者自立支援相談窓口

https://www.pref.osaka.lg.jp/shakaiengo/seikon_gaiyou/index.html#jiritu

○大阪府立母子・父子福祉センター（大阪市、堺市、豊中市は各市の窓口）

<https://osakafu-boshiren.jp/>

○子育てや親子関係の悩みについては

<親子のための相談LINE>

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29751.html

パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！

- WEBで回答された場合は、同封の調査票の返送は不要です。
- 携帯電話（ガラケー）では回答できませんのでご注意ください。

- ◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。

[二次元バーコード]



- ◆ パソコンの場合は、次のURL（「https…」から始まるアドレス）を検索画面に手入力し、エンターキーを押してください。

[URL] <https://src.webcas.net/form/pub/src/2700081>

- ◆ 最初の画面が表示されたら、次のIDを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。

◇ ID

※ IDは、個人を特定するものではありません。

- ◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。

子ども・保護者のみなさまに本調査にご協力いただきました。ご多忙の中快くお引き受けくださりご協力くださいましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

羽曳野市子どもの生活に関する実態調査

令和6年3月

羽曳野市

調査研究業務 受注者

公立大学法人大阪 大阪公立大学